

**成田市総合保健福祉計画
策定のための市民アンケート調査
報告書**

令和2年3月

成田市

一 目 次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	2
2 調査の種類.....	2
3 調査設計.....	2
4 回収結果.....	3
5 報告書の見方.....	4
第2章 調査結果の総括.....	5
1 一般市民対象調査の結果概要.....	6
2 一般高齢者対象調査（ニーズ調査）の結果概要.....	9
3 在宅介護実態調査の結果概要.....	12
4 障がい者対象調査の結果概要.....	14
第3章 市民アンケート調査.....	19
1 あなたやあなたのご家族のことについて.....	20
2 地域福祉について.....	26
3 福祉のまちづくりについて.....	43
4 災害時に対する備えについて.....	55
5 健康状態と健康への備えについて.....	57
6 かかりつけ医について.....	67
7 あなたの生活状況について.....	71
8 成田市の保健福祉について.....	75
第4章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	79
1 あなたのご家族や生活状況について.....	83
2 からだを動かすことについて.....	90
3 食べることについて.....	102
4 毎日の生活について.....	112
5 地域での活動について.....	130
6 たすけあいについて.....	142
7 健康について.....	151
8 認知症にかかる相談窓口の把握について.....	159
9 その他.....	161
10 生活機能の項目別評価.....	178
第5章 在宅介護実態調査.....	195
A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目.....	197
B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目.....	210

第6章 障害福祉に関するアンケート調査.....	219
1 あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて.....	221
2 障がいの状況について.....	232
3 住まいや暮らしについて.....	237
4 日中活動や就労について.....	241
5 障害福祉サービスの利用について.....	253
6 相談相手について.....	259
7 権利擁護について.....	261
8 災害時の避難などについて.....	269
9 障がい福祉全般について.....	273
第7章 自由回答.....	275
1 市民アンケート調査.....	276
2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	280
3 障害福祉に関するアンケート調査.....	284

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は次期「成田市総合保健福祉計画」、「第6期成田市障がい福祉計画」及び「第8期成田市介護保険事業計画」を策定するため、本市に居住する一般市民、障がい者、一般高齢者、要介護認定高齢者に対して、保健・福祉に対する意識及び保健・福祉サービスのニーズなどを把握し、計画策定の基礎資料とするために実施しました。

2 調査の種類

本調査は、以下の4種類の調査により構成されます。

- 一般市民
- 障がい者
- 一般高齢者
- 要介護認定高齢者

3 調査設計

4種類の調査設計は次の通りとなっています。

(1) 調査対象者及び抽出方法

調査種別	調査対象者及び抽出方法
① 一般市民	市内在住の 20 歳以上 65 歳未満の市民（無作為抽出）
② 障がい者	本市に居住する 65 歳未満の身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者、難病認定者
③ 一般高齢者	本市に居住する 65 歳以上の要介護認定を受けていない高齢者（無作為抽出）
④ 要介護認定高齢者	本市に居住する 65 歳以上で要介護・要支援認定を受けている高齢者

(2) 調査方法

調査種別	調査方法
① 一般市民	郵送配布・郵送回収による調査票調査方式で実施。
② 障がい者	
③ 一般高齢者	
④ 要介護認定高齢者	調査員による聴取調査方式で実施。

(3) 調査期間

調査種別	調査期間
① 一般市民	令和2年1月17日～令和2年2月3日を調査期間とした。
② 障がい者	
③ 一般高齢者	
④ 要介護認定高齢者	令和元年9月9日～令和2年2月14日を調査期間とした。

4 回収結果

回収結果は次の通りとなっています。

調査種別	配布数	有効回収数	有効回収率
① 一般市民	1,500 件	518 件	34.5%
② 障がい者	2,879 件	1,235 件	42.9%
③ 一般高齢者	3,997 件	2,577 件	64.5%
④ 要介護認定高齢者	438 件	438 件	—
合計 (①～③)	8,376 件	4,330 件	51.7%

※④要介護認定高齢者は調査実施方法が異なるため、合計には含んでいません。

【参考：前回結果】

調査種別	配布数	有効回収数	有効回収率
① 小学校低学年児童	600 件	267 件	44.5%
② 一般高齢者	1,800 件	1,188 件	66.1%
③ 要介護認定高齢者	500 件	256 件	51.5%
④ 身体障がい者	1,044 件	549 件	52.9%
⑤ 知的障がい者	562 件	284 件	50.6%
⑥ 精神障がい者	590 件	311 件	53.3%
※小計 (障がい者)	2,196 件	1,144 件	52.1%
⑦ 一般市民	1,500 件	527 件	35.4%
合計	6,596 件	3,382 件	51.5%

5 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n(number of case)」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を表しています。
- 市民アンケート調査の中に記載されている「前回」とは、平成25年11月に実施された「成田市総合保健福祉計画策定のための市民アンケート調査」を表しています。介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査及び障害福祉に関するアンケート調査の中に記載されている前回とは、平成29年に実施された調査となります。
- 福祉に関するアンケート調査では、それぞれの手帳所持者と難病(特定疾患)認定者にクロス集計をかけることで、身体障害者手帳所持者・療育手帳所持者・精神障害者保健福祉手帳所持者・難病(特定疾患)認定者を別々に集計しています。よって、重複手帳所持者・難病(特定疾患)認定者がそれぞれに数えられ集計されています。
- 福祉に関するアンケート調査の中に記載されている「身体」は身体障害者手帳所持者、「療育」は療育手帳所持者、「精神」は精神障害者保健福祉手帳所持者、「難病」は難病(特定疾患)認定者のことを示しています。

第 2 章 調査結果の総括

1 一般市民対象調査の結果概要

(1) 回答者自身やご家族のことについて

- 回答者の性別は、「男性」が 42.1%、「女性」が 53.7%で女性が多く、年齢は「40 歳代」、「50 歳代」、「60 歳以上」が2割台となっています。職業は「勤め人(正規従業員・正社員)」が 45.6%で最も多くなっています。〔問 1、問 2、問 7〕
- 回答者のご家族は、「4人」が 29.3%で最も多く、世帯構成は「子どもと同居(二世帯)」が 33.4%で最も多くなっています。〔問 3、問 4〕
- お住まいは「一戸建て持ち家」が 58.1%で最も多く、次いで「賃貸マンション・アパート」が 15.4%となっています。また、地区別では成田地区、公津地区、遠山地区やニュータウン地区といった市南部エリアにおいて「分譲マンション」や「賃貸マンション・アパート」といった集合住宅の割合が多くなっています。〔問 6〕

(2) 地域福祉のことについて

- 近所付き合いの程度については、「顔を合わせれば、あいさつをする」が 72.4%で突出して多くっており、次いで「ほとんど顔も知らない」が 9.8%となっています。また、地区別では成田地区、公津地区や遠山地区の市南部エリアにおいて「ほとんど顔も知らない」が1割台の回答があり、ほかの地区よりも多くなっています。〔問 8〕
- 地域への参加状況について、「区・自治会の行事に参加している」が 37.1%となっています。また、地域の中に“居場所”を感じられる場所が「ある」は 24.3%、「いいえ(そのような場所はない)」が 50.6%となっています。〔問 9 エ、サ〕
- 近所に気にかかる人(支援が必要と思われる人)がいるかについては、「気にかかる人はいない」が 29.9%で最も多く、次いで「わからない」が 28.6%、「高齢者のみの世帯」が 25.9%と続いています。「ひきこもりや閉じこもりの人」は 2.1%となっています。〔問 11〕
- 地域の中で現在問題となっていることについては、「緊急時の対応体制がわからない」が 27.2%で最も多く、次いで「特になし」が 25.7%、「交通マナーの乱れ」が 19.5%、「隣近所との交流が少ない」が 18.7%と続いています。また、地区別では大栄地区や下総地区では「緊急時の対応体制が分からない」が4割台となっているほか、成田地区、遠山地区やニュータウン地区では「交通マナーの乱れ」が2割台となっています。〔問 14〕
- ボランティア経験について、「ある」が 27.8%となっており、参加している理由としては「付き合いで参加」が 34.7%で最も多くなっています。〔問 16、問 16-1〕
- 今後のボランティア活動への参加意向は「できれば活動したい」が 39.8%で最も多く、地域活動に参加したいと思う条件については「気軽に参加できる」が 51.4%で最も多く、次いで「身近なところで活動できる」が 41.7%、「活動時間や曜日が自由に決められる」が 34.2%と続いています。〔問 17、18〕

(3) 福祉のまちづくりのことについて

- 健康や福祉での相談先について、「家族・親族」が 80.1%で最も多く、次いで「友人・知人」が 45.9%、「医師・歯科医師・看護師」が 29.9%と続いています。〔問 19〕

- 福祉サービス情報の入手状況について、「ほとんど入手できていない」が33.4%、「あまり入手できていない」が32.0%と、半数以上が“入手できていない”と回答しています。また、福祉サービス情報の主な入手先としては、「市役所の窓口や広報紙」が35.9%で最も多く、次いで「インターネット」が27.4%、「家族・親族」が27.2%と続いています。〔問20、問21〕
- 福祉への関心について、「社会的な問題として関心がある」が53.3%で最も多く、「関心がない」は13.1%となっています。〔問22〕
- 成田市が高齢者、障がい者や子どもにとって住みやすいまちであるかについて、「ふつう」が46.1%で最も多く、「住みやすい」が20.8%、「住みにくい」が10.6%となっており、地区別にみると下総地区と大栄地区では「住みにくい」が3割前後の回答となっています。住みにくいと思う理由については、「交通機関が不便・利用しにくい」が69.1%で最も多く、次いで「買い物が不便」が58.2%と続いています。〔問23、問23-1〕
- 成年後見制度の利用意向について、「今はわからない」が52.3%で最も多くなっています。また、誰に後見人となってもらいたいかについて、「自分の子どもやその配偶者」が47.3%で最も多く、次いで「配偶者」が40.9%となっています。〔問25、問26〕
- 社会福祉協議会の認知度について、「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が49.6%で最も多くなっています。〔問28〕
- 地域福祉を推進する上で地域住民として必要な取り組みについて、「介護者や介護を必要としている人々への支援」が45.8%で最も多く、次いで「病院への通院等の際の外出援助」が35.1%と続いています。〔問29〕

（４）災害時に対する備えについて

- 災害時の対応の取り決めの共有状況について、「同居の家族と」が62.5%で最も多くなっていますが、次いで「特に誰とも取り決めていない」が28.2%で続いています。〔問31〕
- 災害時に避難の援護が必要な方の情報を地域関係者で共有することについて、「生命に関わることなので必要である」が54.2%で最も多くなっています。〔問32〕

（５）健康状態と健康への備えについて

- ふだんから健康に気をつけているかについて、「少しは気をつけている」が54.4%で最も多く、次いで「気をつけている」が29.7%で続いています。一方で、健康の維持増進のために意識的に運動をしているかについて、「全くしたことがない」が22.6%で最も多く、次いで「以前はしていたが、今はしていない」が21.2%と続いています。〔問36、問38〕
- 喫煙状況について、「吸う」が15.6%となっています。また、たばこが及ぼす健康への影響について、「はい（知っている）」が95.0%となっています。〔問39、問40〕
- 生活の中でイライラしたりストレスを感じることにについて、「たまに感じる」が47.7%で最も多く、次いで「しばしば感じる」が30.9%で続いています。〔問43〕

(6) かかりつけ医について

○かかりつけ医の有無について、「いる」が 60.6%、かかりつけ歯科医の有無についても、「いる」が 61.4%となっています。〔問 48、問 50〕

(7) 生活の状況について

○外出の頻度について、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 67.2%で最も多くなっています。また、“ひきこもりの傾向”がうかがえる割合(選択肢「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」の合計)は 4.6%となっています。〔問 52〕

(8) 成田市の保健福祉について

○現在満足している施策について、「健康診断や健康教育などの保健・医療サービス」が 26.1%で最も多く、次いで「誰もが参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動」が 21.8%、「隣近所などの理解や協力による見守り活動への支援」と「住民同士がふれあう機会や場」が 16.8%で続いています。〔問 53①〕

○今後特に重要である施策について、「交通の利便性確保」が 41.9%で最も多く、特に下総地区と大栄地区では6割台と多くなっています。次いで「災害時の避難誘導体制の整備」が 36.9%、「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制」が 36.3%で続いています。〔問 53②〕

2 一般高齢者対象調査（ニーズ調査）の結果概要

（１）回答者（宛名の方）のご家族や生活状況について

- 回答者の家族構成について、「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 36.0%で最も多くなっています。年齢別にみると、〔85 歳以上〕において「息子・娘との２世帯」が他と比べて多くなっています。圏域別にみると、〔西部北圏域〕では他に比べて「夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が多く、「息子・娘との２世帯」が少なくなっています。また、〔東部圏域〕では他に比べて「１人暮らし」が少なく、「息子・娘との２世帯」が多くなっています。〔問１(１)〕
- お住まいについて、「持家（一戸建て）」が 80.2%で最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が 7.4%と続いています。〔問１(４)〕

（２）からだを動かすことについて

- 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについて、「できない」が 13.2%と１割を超えています。性別にみると、〔女性〕では「できない」が〔男性〕と比べて多くなっています。〔問２(１)〕
- 過去１年間の転倒有無について、「何度もある」が 9.3%となっています。また、転倒に対する不安については、「とても不安である」と「やや不安である」の合計が 48.3%と半数近くに上ります。性別にみると、〔男性〕では「あまり不安でない」、〔女性〕では「やや不安である」が多くなっています。〔問２(４)、問２(５)〕
- 外出を控えているかについて、「はい」が 16.7%となっており、その理由としては「足腰などの痛み」が 54.3%で最も多く、次いで「交通手段がない」が 23.9%、「外での楽しみがない」が 20.2%と続いています。理由について年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「足腰などの痛み」「交通手段がない」が多くなっています。〔問２(８)、問２(８)①〕

（３）食べることについて

- 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているかについて、「はい」が 91.9%と９割を超えています。年齢別にみると、〔85 歳以上〕において「いいえ」が他と比べて多くなっています。〔問３(５)〕
- 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 37.3%と最も多くなっている一方、次いで多いのは「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」で 34.1%となっています。〔問３(６)〕

（４）毎日の生活について

- 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が 41.3%となっています。性別にみると、〔女性〕では「はい」が〔男性〕と比べて多くなっています。〔問４(１)〕

- 自分で食品・日用品の買物をしているかについて、「できるけどしていない」が 10.4%、「できない」が 3.5%となっています。また、「できるけどしていない」または「できない」と回答した方に、しない・できない理由についてうかがったところ、「その他」が 32.0%と最も多く、次いで「歩くことが大変」が 29.8%と続いており、「その他」の内訳としては「家族(自分以外の人)がする」が大半となっています。さらに食品・日用品の買物についてどのような支援が必要かについてうかがったところ、「不要」が 29.5%で最も多く、次いで「送迎」が 13.9%と続いています。圏域別にみると、いずれの圏域でも「不要」が最も多くなっています。また、〔東部圏域〕では他と比べて「移動販売」が多く、〔南部圏域〕では「送迎」が多くなっています。〔問4(5)、問9(4)－①、問9(4)－②〕
- 自分でごみ出しをしているかについて、「できるけどしていない」が 11.8%、「できない」が 3.8%となっています。圏域別にみると、〔東部圏域〕では他と比べて「できるし、している」が少なくなっています。また、「できるけどしていない」または「できない」と回答した方に、しない・できない理由についてうかがったところ、「その他」が 55.3%と最も多く、次いで「歩くことが大変」が 24.5%と続いており、「その他」の内訳としては「家族(自分以外の人)がする」が大半となっています。圏域別にみると、〔東部圏域〕〔南部圏域〕では「歩くことが大変」が3割以上となっており、また、他と比べて「一人でごみが持てない」「ごみの収集場所が自宅から遠い」も多くなっています。〔問9(5)－①、問9(5)－②〕
- 趣味があるかについて、「趣味あり」が 73.4%、「思いつかない」が 20.6%となっています。年齢別にみると、〔85歳以上〕において「思いつかない」が他と比べて多くなっています。また、生きがいはあるかについて、「生きがいあり」が 59.9%、「思いつかない」が 31.0%となっており、趣味や生きがいと思いつかない割合が一定程度存在することがうかがえます。年齢別にみると、趣味・生きがいともに、〔85歳以上〕において「思いつかない」が他と比べて多くなっています。〔問4(17)、問4(18)〕

(5) 地域での活動について

- 各種の活動の参加頻度について、『参加している(合算)』(「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合算)は「スポーツ関係のグループやクラブ」で 22.7%、「趣味関係のグループ」で 29.7%、「町内会・自治会」で 31.4%、「収入のある仕事」で 26.6%となっており、特に「収入のある仕事」では、「週4回以上」が 12.7%と1割を超えています。一方で、「(なりたいいきいき百歳体操、あおぞら会など)介護予防のための通いの場」では『参加している(合算)』が 6.7%となっています。〔問5(1)〕
- 健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいかについて、「参加したくない」が 55.9%と最も多く、次いで「参加してもよい」が 29.8%、「既に参加している」が 3.8%となっています。〔問5(3)〕

(6) たすけあいについて

- 心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が 55.5%と最も多く、次いで「友人」が 43.2%で続いており、「そのような人はいない」は 4.4%となっています。また、心配事や愚痴を聞いてあげる人については、同様に「配偶者」が 52.5%と最も多く、次いで「友人」が 44.2%と続いています。〔問6(1)、(2)〕
- 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手については、「そのような人はいない」が 37.6%と最も多くなっており、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 27.7%、「地域包括支援センター・役所・役場」が 16.6%で続いています。〔問6(5)〕

○友人や知人と会う頻度について、「週に何度かある」が 29.5%で最も多くなっている一方、「ほとんどない」が 12.0%となっています。また、この1か月間に会った友人・知人の数についても、「10人以上」が 29.6%で最も多くなっている一方、「0人(いない)」が 11.8%となっています。年齢別にみると、〔85歳以上〕において「0人(いない)」が他と比べて多くなっています。〔問6(6)、問6(7)〕

(7) 健康について

○直近の1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについて、「はい」が 34.1%となっています。年齢別にみると、〔85歳以上〕において「はい」が他と比べて多くなっています。〔問7(3)〕

○現在治療中、または後遺症のある病気があるかについて、「高血圧」が 42.8%と最も多く、次いで「目の病気」が 20.1%、「糖尿病」が 15.5%と続いており、「ない」は 15.3%となっています。性別にみると、男女ともに「高血圧」が多くなっていますが、〔女性〕では「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が〔男性〕と比べて多くなっています。〔問7(7)〕

(8) 認知症にかかる相談窓口、地域包括支援センターについて

○認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい」が 24.7%、「いいえ」が 71.9%となっています。圏域別にみると、〔西部西圏域〕では「はい」が3割を超えています。〔問8(2)〕

○地域包括支援センターが行う支援の認知度について、「ほとんど知らない」が 35.7%と最も多く、次いで「全く知らない」が 31.0%で続いています。圏域別にみると、〔南部圏域〕では他と比べて「全く知らない」が多く、また〔西部西圏域〕では少なくなっています。また、地域包括支援センターに愛称を設けることへの考えについて、「担当地区名が分かる愛称がよい」が 32.9%で最も多く、次いで「親しみ易い愛称がよい」が 26.3%で続いています。〔問9(2)、(3)〕

(9) 成年後見制度、成田市の保健福祉について

○成年後見制度の認知度について、「利用はしていないが、聞いたことがある程度」が 50.4%と最も多く、次いで「知らない」が 31.7%で続いています。圏域別にみると、〔西部西圏域〕〔西部北圏域〕では「利用はしていないが、聞いたことがある程度」、〔東部圏域〕では「知らない」が他と比べて多くなっています。また、成年後見制度を利用する場合の支援してほしい後見人について、「自分の子どもやその配偶者」が 59.4%で最も多く、次いで「配偶者」が 35.8%で続いています。〔問9(6)、問9(9)〕

○日常生活自立支援事業の認知度について、「知らない」が 50.2%と最も多く、次いで「利用はしていないが、聞いたことがある程度」が 38.1%で続いています。〔問9(7)〕

○成田市の保健福祉について、現在満足しているものは「健康診断や健康教育などの保健・医療サービス」が 25.7%で最も多くなっています。また、今後特に重要であると思うものは「交通の利便性確保」が 40.5%で最も多く、次いで「自宅での生活を支援する在宅福祉サービス」が 34.2%、「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制」が 34.1%となっています。〔問9(10)〕

(10) 生活機能の項目別評価について

○生活機能の項目別評価について、「リスクあり」は「転倒」で29.4%、「認知機能」で41.3%、「うつ」で37.2%となっています。圏域別にみると、「認知機能」は〔東部圏域〕〔南部圏域〕で「リスクあり」が多く、「うつ」は〔西部圏域〕で多くなっています。

3 在宅介護実態調査の結果概要

(1) 介護の状況について

- ご家族やご親族の方からの介護の頻度について、「ほぼ毎日ある」が72.4%で最も多く、「ない」が8.2%となっています。世帯類型別にみると、〔単身世帯〕では「ない」が他に比べて多くなっています。〔A 票問 2〕
- 主な介護者について、「子」が 53.0%で最も多く、次いで「配偶者」が 28.0%となっています。また、主な介護者の年齢は、「60 代」が 29.5%で最も多く、次いで「50 代」が 28.3%、「70 代」が 19.2%、「80 歳以上」が 9.6%で続いています。〔A 票問 3、問 5〕
- ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として過去 1 年の間に仕事を辞めた方の有無について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 88.4%で最も多い一方、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 6.3%で次いで多くなっています。〔A 票問 7〕

(2) 支援・サービスの利用について

- 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、「特になし」が 55.5%と最も多い一方、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 17.1%、「外出同行（通院、買い物など）」が 13.5%で続いています。世帯類型別にみると、多くの項目において〔単身世帯〕で割合が最も高く、次いで〔夫婦のみ世帯〕、〔その他〕の順となっています。特に、「掃除・洗濯」「買い物（宅配は含まない）」「見守り、声かけ」では、〔単身世帯〕と〔その他〕で約 20 ポイントの差が生じています。〔A 票問 9〕
- 施設等への入所・入居の検討状況（現時点）について、「入所・入居は検討していない」が 76.7%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が 14.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 4.8%で続いています。前回と比較すると、「入所・入居は検討していない」が 7.4 ポイント減少しています。〔A 票問 10〕
- 現在、介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）の利用状況について、「利用している」が 84.7%、「利用していない」が 13.9%となっています。また、介護保険サービスを利用していない理由について、「本人にサービス利用の希望がない」が 39.3%と最も多く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 31.1%で続いています。〔A 票問 13、問 14〕

(3) 介護者の方について

- 主な介護者の現在の勤務形態について、「働いていない」が 47.0%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が 29.8%、「パートタイムで働いている」が 20.2%で続いています。また、「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方に、今後も働きながら介護を続けることの可否についてうかがったところ、「問題はあるが、何とか続けていける」が 56.6%と最も多く、次いで「問題なく続けていける」が 21.2%となっています。要介護度別にみると、〔要介護2以上〕では「問題なく、続けていける」が1割を下回っています。〔B 票問 1、問 4〕
- 勤務形態別に主な介護者が行っている介護をみると、〔働いていない〕に比べて〔フルタイム勤務〕で割合が低い項目が多くなっており、特に「身だしなみ(洗顔・歯磨き等)」「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」では、〔働いていない〕と〔フルタイム勤務〕の間で 20 ポイント以上の差が生じています。一方、「認知症状への対応」の割合は、〔フルタイム勤務〕〔パートタイム勤務〕が〔働いていない〕を上回っています。
- 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、「認知症状への対応」が 33.1%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が 23.2%、「入浴・洗身」が 22.5%で続いています。前回と比較すると、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 12.2 ポイント、「外出の付き添い、送迎等」が 12.0 ポイント減少しています。また、要介護度別にみると、「日中の排泄」「夜間の排泄」「認知症状への対応」について、〔要支援1・2〕に比べて〔要介護3以上〕では 20 ポイントから 30 ポイント程度高くなっています。〔B 票問 5〕

(4) その他

- 地域包括支援センターの支援内容の認知度について、「ある程度知っている」が 40.4%と最も多く、次いで「ほとんど知らない」が 26.0%と続いています。また、地域包括支援センターに愛称を設けることへの考えについては、「十分に浸透している名称なので、愛称は不要」が 36.9%と最も多く、次いで「担当地区名が分かる愛称がよい」が 25.8%で続いています。〔B 票問 7、問 8〕

4 障がい者対象調査の結果概要

(1) 回答者（調査対象者）の年齢・性別・ご家族などについて

- 回答者の年齢は「50 歳代」が2割台、次いで「40 歳代」、「60～64 歳」が1割台後半と続いています。所持手帳別と難病の有無別にみると、〔身体〕では「60～64 歳」、〔療育〕では「10 歳代」、〔精神〕では「40 歳代」、〔難病〕では「50 歳代」がそれぞれ多くなっています。〔問 2〕
- 回答者の性別は、「男性」が55.4%、「女性」が42.4%で男性が多く、所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔療育〕では「男性」、〔精神〕〔難病〕では「女性」がそれぞれ多くなっています。〔問 3〕
- 日常生活における10の項目について、いずれの項目も「一人で行える」が最も多くなっている一方、一つでも「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と回答した人は49.3%となっています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔療育〕では⑤身だしなみ、⑦外出、⑧家族以外の人との意思疎通、⑨お金の管理、⑩薬の管理について「一人で行える」割合が5割以下となっています。〔問 6〕
- 介助者については「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が62.4%で最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」、「ホームヘルパーや施設の職員」が1割台で続いています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔療育〕では「配偶者（夫または妻）」「子ども」が他と比べて少なくなっています。〔問 7〕

(2) あなたの障がいの状況について

- 所持している手帳について、「身体障害者手帳」については、「所持している」が41.0%となっています。程度については「1 級」が14.1%で最も多く、次いで「2 級」が10.2%と続いています。〔問 9〕
- 所持している手帳について、「療育手帳」については、「所持している」が25.9%となっています。程度については「Bの2」が9.6%で最も多くなっています。〔問 11〕
- 所持している手帳について、「精神障害者保健福祉手帳」については、「所持している」が31.4%となっています。程度については「2級」が2割台となっています。〔問 12〕
- 難病（特定疾患）の認定について、「ある」が17.8%となっています。〔問 13〕
- 発達障がいの診断有無について、「ある」が17.7%となっています。〔問 14〕
- 高次脳機能障がいの診断有無について、「ある」が3.8%となっています。〔問 15〕
- 医療的ケアの状況について、「受けていない」が51.9%で最も多くなっていますが、次いで「服薬管理」が30.7%と続いています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔療育〕では「受けていない」が他と比べて多くなっています。〔問 16〕

(3) 住まいや暮らしについて

- 現在の暮らしについて、「家族と暮らしている」が79.6%で最も多く、所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔療育〕では「一人で暮らしている」が他と比べて少なくなっています。前回と比較すると、〔療育〕〔精神〕では「家族と暮らしている」が増加し、「福祉施設（障がい者支援施設など）で暮らしている」が減少しています。〔問 17〕

○福祉施設や病院に入院している人の将来の生活に対する希望については、「施設入所を続けたい」が 32.4%、次いで「家族と一緒に生活したい」が 21.6%、「病気等が治るまで入院を続けたい」が 18.9%と続いています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔精神〕では「施設入所を続けたい」、〔療育〕では「施設入所を続けたい」「グループホームなどを利用したい」がともに多くなっています。前回と比較すると、〔身体〕では「家族と一緒に生活したい」、「一般の住宅で一人暮らしをしたい」が減少しています。また、〔療育〕では「施設入所を続けたい」が減少し、「グループホームなどを利用したい」、「家族と一緒に生活したい」、「一般の住宅で一人暮らしをしたい」が増加しています。〔精神〕では「施設入所を続けたい」、「グループホームなどを利用したい」、「一般の住宅で一人暮らしをしたい」が減少しています。〔問 18〕

（４）日中活動や就労について

○外出するときに困ることについて、「困った時にどうすればいいのか心配」が 27.2%で最も多く、次いで「公共交通機関が少ない(ない)」が 25.0%、「外出にお金がかかる」が 23.1%で続いています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕では「道路や駅に階段や段差が多い」、〔療育〕では「困った時にどうすればいいのか心配」、〔精神〕では「外出にお金がかかる」、〔難病〕では「発作など、急に体調が悪くなることが心配」がそれぞれ多くなっています。また、全体と比較して、〔身体〕では「道路や駅に階段や段差が多い」、〔療育〕では「切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい」、「困った時にどうすればいいのか心配」、〔精神〕では「外出にお金がかかる」、「周囲の目が気になる」、「発作など、急に体調が悪くなることが心配」が多くなっています。前回と比較すると、〔難病〕では「公共交通機関が少ない(ない)」が減少し、「外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)」、「発作など、急に体調が悪くなることが心配」、「困った時にどうすればいいのか心配」が増加しています。〔問 22〕

○日中の主な過ごし方について、「会社員や、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が 31.8%、次いで「自宅で過ごしている」が 22.7%で続いています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔難病〕では「会社員や、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」、〔療育〕では「福祉施設、作業所などに通っている(就労継続支援A型も含む)」、〔精神〕では「自宅で過ごしている」がそれぞれ多くなっています。また、全体と比較して、〔療育〕では「福祉施設、作業所などに通っている(就労継続支援A型も含む)」、「特別支援学校(小中高等部)に通っている」が多くなっています。前回と比較すると、〔療育〕では「福祉施設、作業所などに通っている(就労継続支援A型も含む)」が減少しています。また、〔精神〕では「自宅で過ごしている」が減少しています。〔問 23〕

○収入を得て仕事をしている人の勤務形態について、「正社員で他の社員と勤務条件などに違いはない」が 37.7%、次いで「パート、アルバイトなどの派遣社員、非常勤職員」が 31.0%で続いています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔難病〕では「正社員で他の社員と勤務条件などに違いはない」、〔療育〕〔精神〕では「パート、アルバイトなどの派遣社員、非常勤職員」がそれぞれ多くなっています。前回と比較すると、〔身体〕では「障がい者雇用の正社員で短時間勤務など配慮を受けている」、「パート、アルバイトなどの派遣社員、非常勤職員」が減少しています。また、〔療育〕では「パート、アルバイトなどの派遣社員、非常勤職員」が減少しています。〔精神〕では「パート、アルバイトなどの派遣社員、非常勤職員」が減少し、「その他」が増加しています。〔難病〕では「正社員で他の社員と勤務条件などに違いはない」が増加しています。〔問 24〕

○障がい者の就労支援として必要だと思うことについて、「職場の障がい者理解」が 59.4%で最も多く、次いで「短時間勤務や勤務日数などの配慮」が 43.5%、「通勤手段の確保」が 37.0%と続いています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合では「職場の障がい者理解」が多くなっています。また、全体と比較して、〔療育〕では「就労後のフォローなど職場と支援機関の連携」、〔精神〕では「短時間勤務や勤務日数などの配慮」、〔難病〕では「勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮」がそれぞれ多くなっています。前回と比較すると、〔身体〕では「在宅勤務の拡充」が増加し、「仕事についての職場外での相談対応、支援」が減少しています。また、〔精神〕では「仕事についての職場外での相談対応、支援」が減少しています。〔難病〕では「勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮」、「在宅勤務の拡充」、「職場の障がい者理解」、「職場で介助や援助などが受けられること」が増加し、「仕事の内容に合った就労訓練」が減少しています。〔問 27〕

（５）障害福祉サービスの利用について

○障害支援区分の認定を受けているかについては、“区分を受けている”人が 12.4%、「受けていない」が 72.0%となっています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合では「受けていない」が多くなっています。〔問 28〕

（６）相談相手について

○悩みや困ったことを相談する相手について、「家族や親せき」が 75.1%で突出して多くなっており、次いで「友人・知人」が 36.0%、「かかりつけ医療機関の医師や看護師」が 33.1%が続いています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合では「家族や親せき」が多くなっています。また、全体と比較して、〔療育〕では「施設の支援員など」「通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生」、〔精神〕では「かかりつけ医療機関の医師や看護師」が多くなっています。〔問 30〕

○障がいのことや福祉サービスなどに関する情報の入手先について、「市や県の広報紙やホームページ」、「インターネット」、「家族や親せき、友人・知人」が3割台で多くなっています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕では「市や県の広報紙やホームページ」、〔療育〕では「家族や親せき、友人・知人」、〔精神〕では「かかりつけ医療機関の医師や看護師」、〔難病〕では「インターネット」がそれぞれ多くなっています。また、全体と比較して、〔療育〕では「家族や親せき、友人・知人」「サービス事業所の人や施設職員」、「通所施設や保育所、幼稚園、学校の先生」、〔精神〕では「かかりつけ医療機関の医師や看護師」、〔難病〕では「インターネット」がそれぞれ多くなっています。〔問 31〕

（７）権利擁護について

○障がいがあることで差別や嫌な思いをする(した)ことがあるかについて、「ある」と「少しある」の合計が 53.2%となっています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔難病〕では「ない」、〔療育〕では「少しある」、〔精神〕では「ある」がそれぞれ多くなっています。前回と比較すると、いずれの障がいでも大きな差はみられません。〔問 32〕

○どのような場所で嫌な思いをしたかについては、「学校や職場」が47.2%で最も多く、次いで「電車やバス、タクシーなどの交通機関」、「スーパーや商店などの商業施設」、「仕事を探すとき」も2割台と多くなっています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合では「学校や職場」が多くなっていますが、〔精神〕では「仕事を探すとき」が他と比べて多くなっています。前回と比較すると、いずれの障がいでも大きな差はみられません。〔問 33〕

○成年後見制度の周知度について、「名称も内容も知らない」が35.9%で最も多く、次いで「名称を聞いたことがあるが、内容は知らない」が35.1%、「名称も内容も知っている」が22.7%が続いています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔療育〕〔難病〕では「名称を聞いたことがあるが、内容は知らない」、〔精神〕では「名称も内容も知らない」がそれぞれ多くなっています。成年後見制度の利用について、「わからない」が58.9%で最も多く、「考えている」は9.9%となっています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合では「わからない」が多くなっていますが、〔療育〕では「考えている」が他と比べて多くなっています。〔問 35、38〕

（８）災害時の避難などについて

○災害時に避難できるかについて、「一人で避難できる」が46.8%で最も多くなっています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔精神〕〔難病〕では「一人で避難できる」、〔療育〕では「介助は不要だが同行者が必要である」がそれぞれ多くなっています。〔問 39〕

○災害時に困ることについては、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」が51.7%で最も多く、次いで「治療や投薬が受けられない」が49.1%、「安全なところまで、一人で避難することができない」が32.6%と続いています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕では「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」、〔療育〕では「安全なところまで、一人で避難することができない」、〔精神〕〔難病〕では「治療や投薬が受けられない」がそれぞれ多くなっています。また、全体と比較して、〔療育〕では「救助を求めることができない」「安全なところまで、一人で避難することができない」「被害状況、避難場所などの情報が入手できない」「周囲と容易に意思疎通ができない」が他と比較して多くなっています。前回と比較すると、〔療育〕では「救助を求めることができない」が減少しています。また、〔精神〕では「被害状況、避難場所などの情報が入手できない」「周囲と容易に意思疎通ができない」が減少しています。〔難病〕では「補装具や日常生活用具の使用が困難になる」、「安全なところまで、一人で避難することができない」が増加しています。〔問 41〕

（９）障がい福祉全般について

○地域で安心して生活していくために必要な体制や仕組みについて、「家族等の急な体調不良などに対応できる、緊急時の受け入れ体制」、「災害などが発生したときに、障がい者児が安心して過ごせる仕組み」がそれぞれ5割台、「移動手段の充実やタクシー助成券の交付など移動に関する負担の軽減」が4割台で続いています。所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合では「家族等の急な体調不良などに対応できる、緊急時の受け入れ体制」が多くなっていますが、〔療育〕では「成年後見制度に関する相談や必要な手続きを代わりに行う仕組み」「災害などが発生したときに、障がい者児が安心して過ごせる仕組み」が他と比べて多くなっています。〔問 43〕

第3章 市民アンケート調査

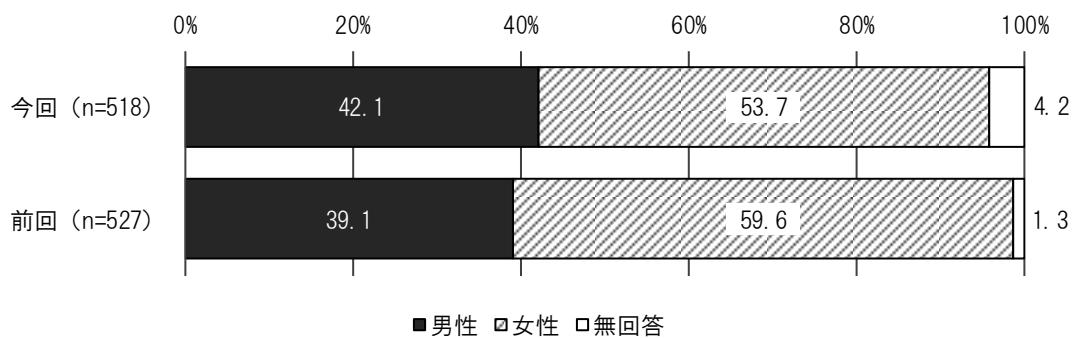
1 あなたやあなたのご家族のことについて

問1 あなたの性別はどちらですか。

(単数回答)

性別についてみると、「男性」が42.1%、「女性」が53.7%となっています。

前回と比較すると、「女性」が5.9ポイント減少しています。

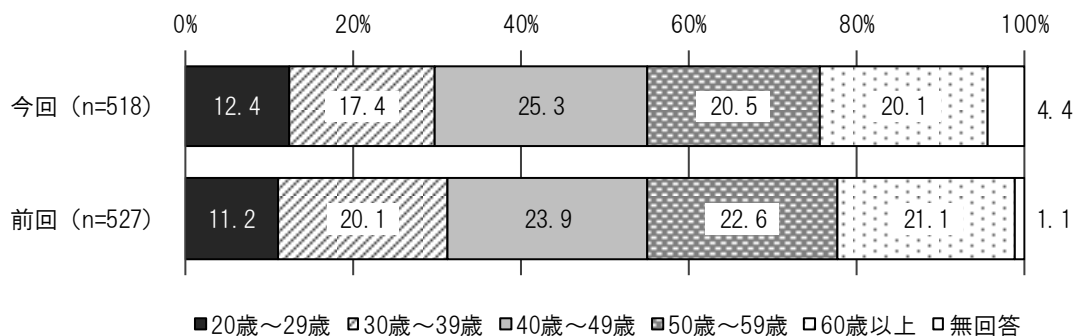


問2 あなたの年齢はどれですか。

(単数回答)

年齢についてみると、「40歳～49歳」が25.3%と最も多く、次いで「50歳～59歳」が20.5%、「60歳以上」が20.1%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

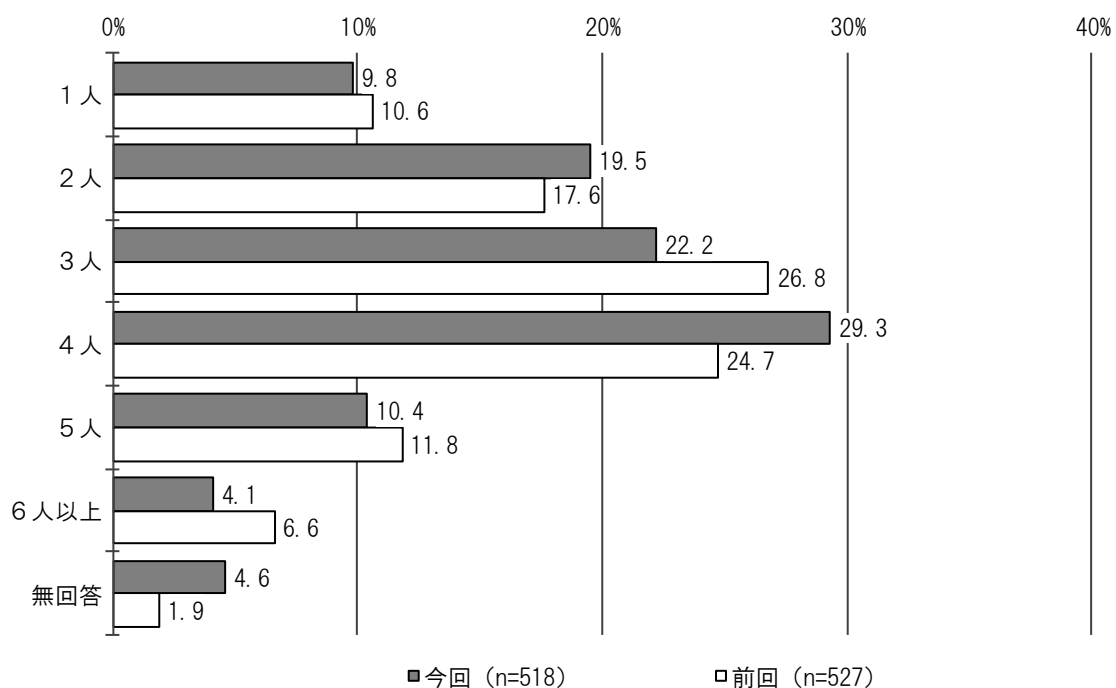


問3 ご家族はあなたを含めて何人ですか。

(単数回答)

家族の人数についてみると、「4人」が 29.3%と最も多く、次いで「3人」が 22.2%、「2人」が 19.5%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

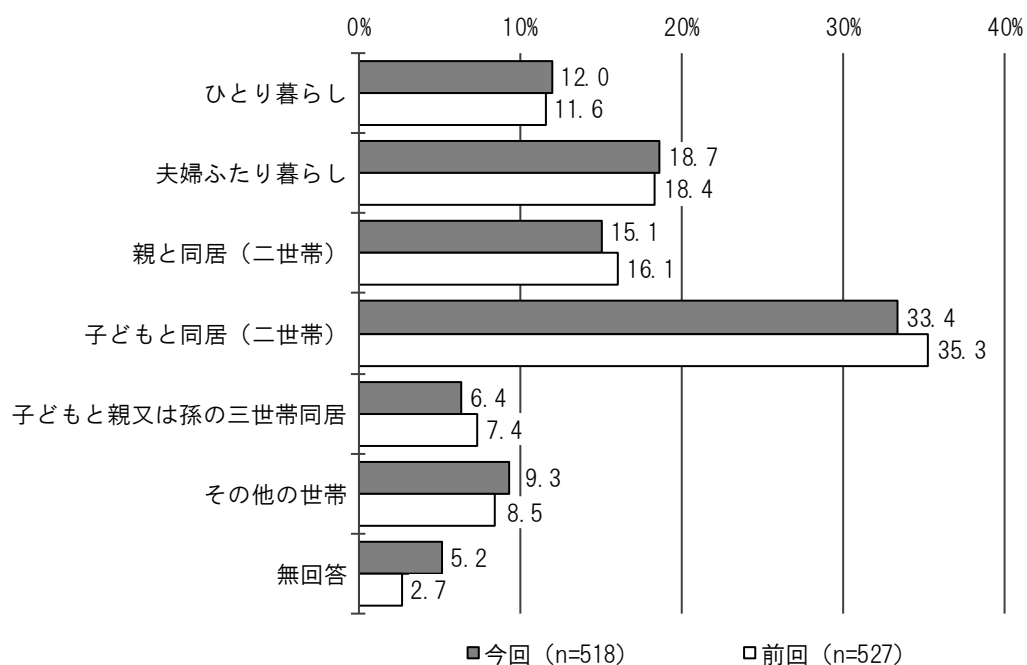


問4 あなたの世帯構成はどれにあてはまりますか。

(単数回答)

世帯構成についてみると、「子どもと同居(二世帯)」が 33.4%と最も多く、次いで「夫婦ふたり暮らし」が 18.7%、「親と同居(二世帯)」が 15.1%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

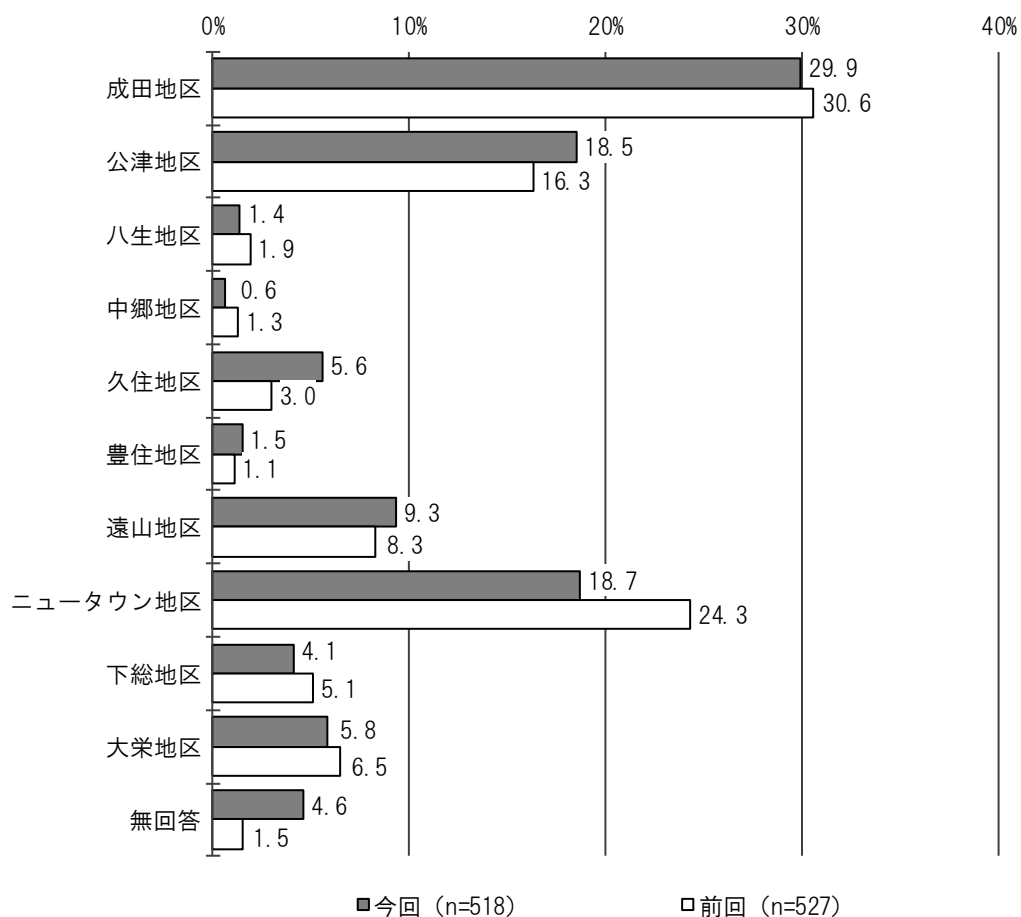


問5 あなたが住んでいる地区はどこですか。

(単数回答)

住んでいる地区についてみると、「成田地区」が29.9%と最も多く、次いで「ニュータウン地区」が18.7%、「公津地区」が18.5%となっています。

前回と比較すると、「ニュータウン地区」が5.6ポイント減少しています。



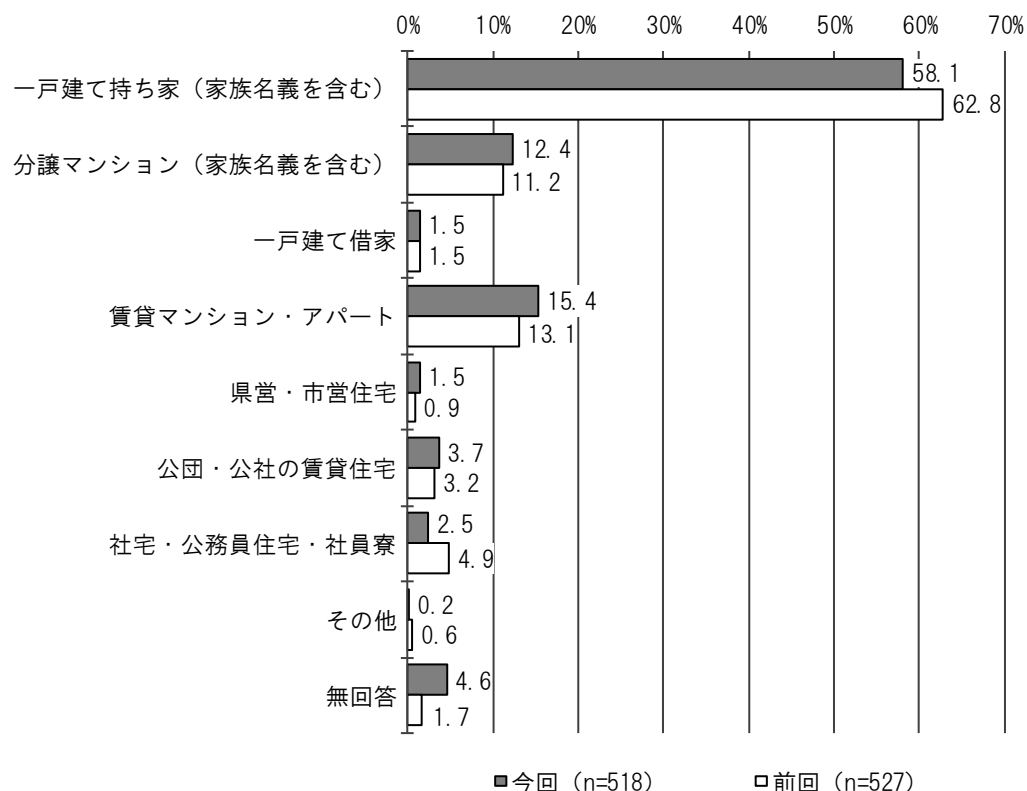
問6 現在、あなたのお住まいは次のどれですか。

(単数回答)

住まいについてみると、「一戸建て持ち家(家族名義を含む)」が 58.1%と最も多く、次いで「賃貸マンション・アパート」が 15.4%、「分譲マンション(家族名義を含む)」が 12.4%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、成田地区、公津地区、遠山地区、ニュータウン地区といった市南部では、「分譲マンション(家族名義を含む)」や「賃貸マンション・アパート」といった集合住宅の割合が多くなっています。



【地区別】

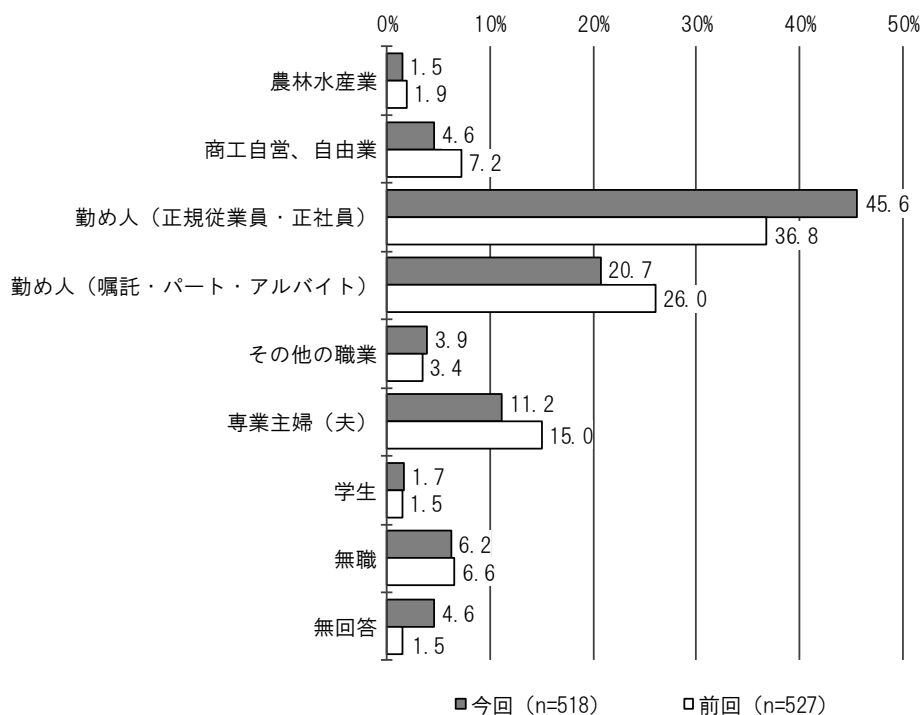
		問6 現在、あなたのお住まいは次のどれですか。									
% (地区別)		n	一戸建て持ち家 (家族名義を含む)	分譲マンション (家族名義を含む)	一戸建て借家	賃貸マンション・アパート	県営・市営住宅	公団・公社の賃貸住宅	社宅・公務員住宅・社員寮	その他	無回答
全体		518	58.1	12.4	1.5	15.4	1.5	3.7	2.5	0.2	4.6
居住地区	成田地区	155	45.8	14.2	3.9	22.6	3.2	3.9	6.5	0.0	0.0
	公津地区	96	60.4	14.6	0.0	21.9	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0
	八生地区	7	85.7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中郷地区	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	久住地区	29	96.6	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	豊住地区	8	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	遠山地区	48	66.7	0.0	0.0	31.3	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	ニュータウン地区	97	48.5	27.8	0.0	5.2	2.1	13.4	0.0	1.0	2.1
	下総地区	21	95.2	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大栄地区	30	96.7	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問7 あなたの職業は、次のどれですか。

(単数回答)

職業についてみると、「勤め人(正規従業員・正社員)」が45.6%と最も多く、次いで「勤め人(嘱託・パート・アルバイト)」が20.7%、「専業主婦(夫)」が11.2%となっています。

前回と比較すると、「勤め人(正規従業員・正社員)」が8.8ポイント増加していますが、「勤め人(嘱託・パート・アルバイト)」が5.3ポイント減少しています。



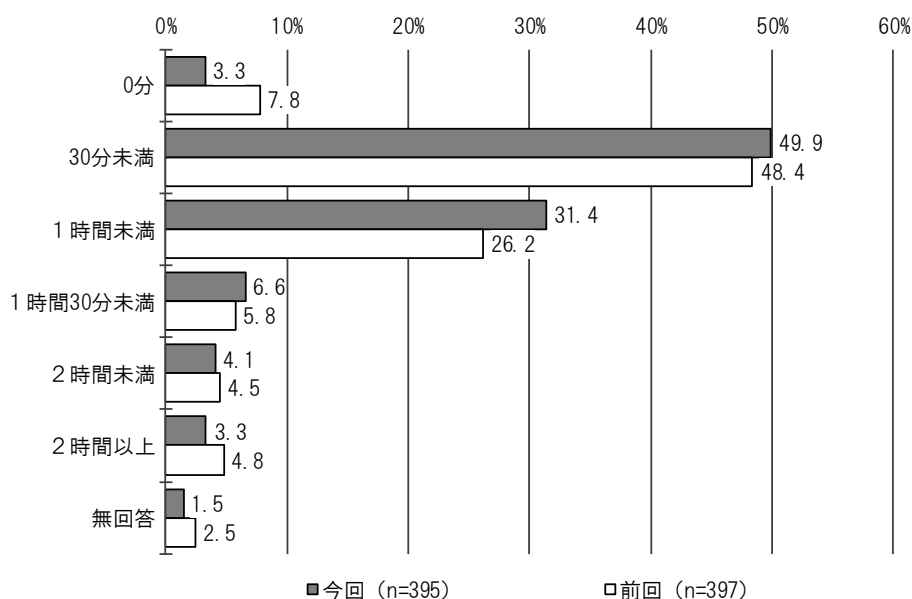
《問7で「農林水産業」～「その他の職業」のいずれかをお答えの方》

問7-1 あなたの通勤時間はどれくらいですか。

(単数回答)

通勤時間についてみると、「30分未満」が49.9%と最も多く、次いで「1時間未満」が31.4%、「1時間30分未満」が6.6%となっています。

前回と比較すると、「1時間未満」が5.2ポイント増加しています。



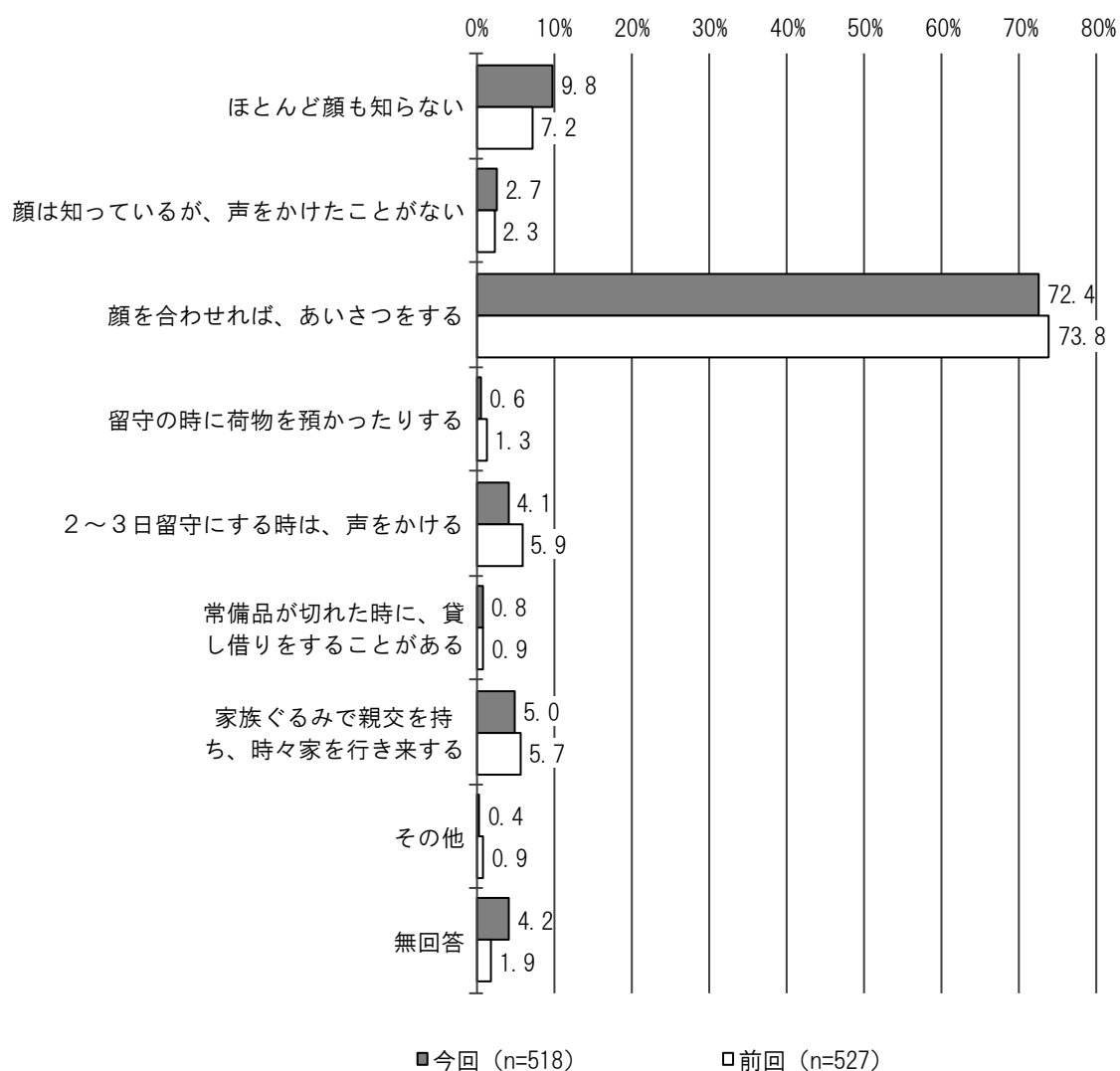
2 地域福祉について

問8 あなたは、普段ご近所の人とどの程度のつきあいをしていますか。 （単数回答）

近所の人とのつきあいについてみると、「顔を合わせれば、あいさつをする」が72.4%と最も多く、次いで「ほとんど顔も知らない」が9.8%、「家族ぐるみで親交を持ち、時々家を行き来する」が5.0%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、成田地区、公津地区、遠山地区では、「ほとんど顔も知らない」が1割台の回答となっています。



【地区別】

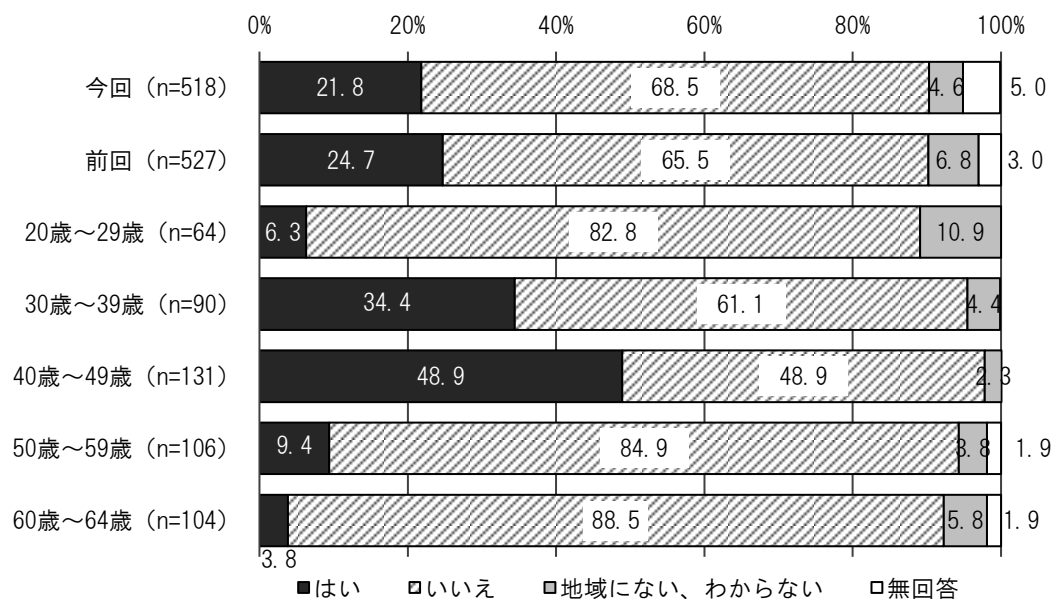
		問8 あなたは、普段ご近所の人との程度のつきあいをしていますか。								
%	n	なほ いと んど 顔も 知ら	とが 顔は 知 いを つ か て い こ	あ 顔 い を 合 つ を せ ら ば、	預 留 か つ の 時 に 荷 物 を	る る 2 時 は 3 日 留 守 か け す	る に 常 こ 、 備 品 が し が あ り れ た 時	行 き 持 来 ち る 時 々 で 家 族 と 交 往 す る	そ の 他	無 回 答
全体	518	9.8	2.7	72.4	0.6	4.1	0.8	5.0	0.4	4.2
居住地区	成田地区	155	13.5	5.2	74.8	1.3	3.9	0.0	1.3	0.0
	公津地区	96	14.6	0.0	74.0	0.0	2.1	1.0	7.3	1.0
	八生地区	7	0.0	0.0	85.7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
	中郷地区	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	久住地区	29	3.4	0.0	86.2	0.0	3.4	0.0	6.9	0.0
	豊住地区	8	0.0	12.5	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	遠山地区	48	16.7	2.1	75.0	0.0	4.2	0.0	2.1	0.0
	ニュータウン地区	97	6.2	2.1	77.3	0.0	5.2	2.1	7.2	0.0
	下総地区	21	0.0	4.8	71.4	0.0	4.8	0.0	19.0	0.0
	大栄地区	30	0.0	0.0	76.7	3.3	6.7	3.3	6.7	0.0

問9 ア. 保育園の保護者会、小中学校のPTAなどの行事に参加している（単数回答）

保育園の保護者会、小中学校のPTAなどの行事に参加しているかについてみると、「いいえ」が68.5%と最も多く、次いで「はい」が21.8%、「地域にない、わからない」が4.6%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〔30歳～39歳〕、〔40歳～49歳〕では「はい」が3割以上となっています。

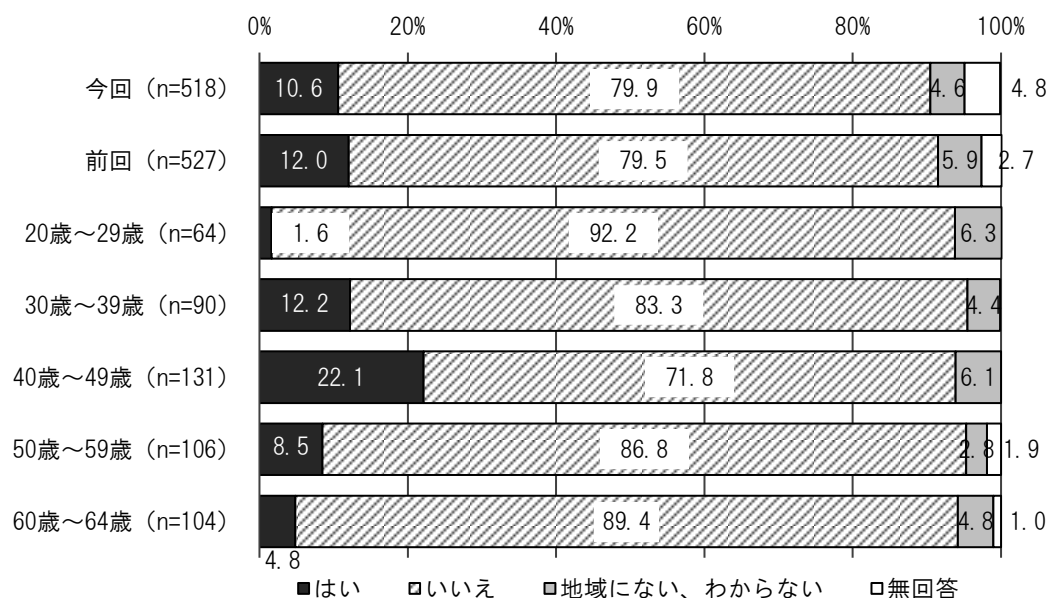


問9 イ. 地域の防犯パトロール・子どもの登下校の見守りなどに参加している（単数回答）

地域の防犯パトロール・子どもの登下校の見守りなどに参加しているかについてみると、「いいえ」が 79.9%と最も多く、次いで「はい」が 10.6%、「地域にない、わからない」が 4.6%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〔40歳～49歳〕では「はい」が2割強となっています。



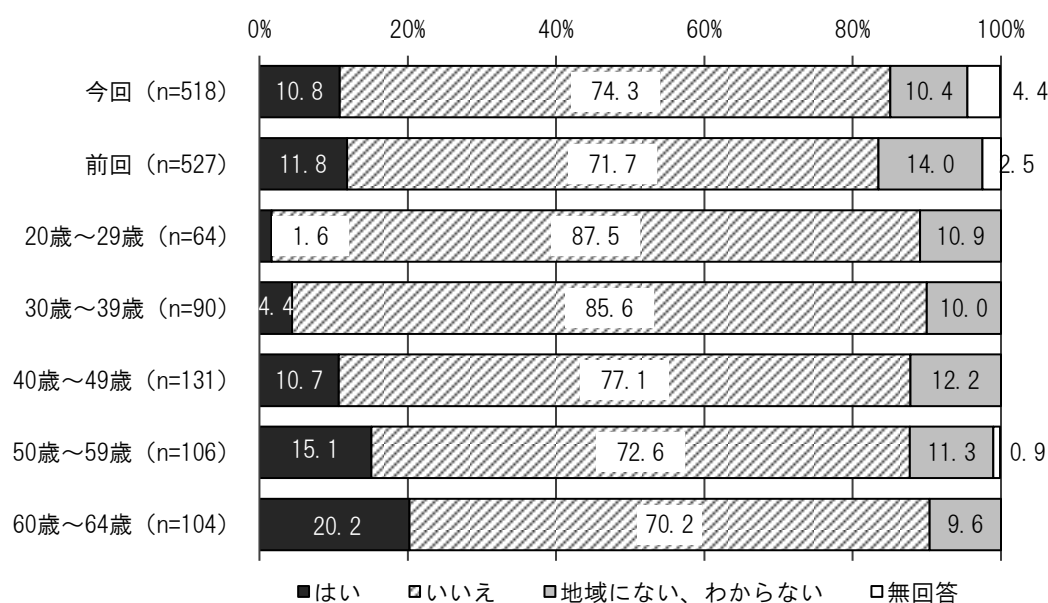
問9 ウ. 地域の防災訓練に参加している

（単数回答）

地域の防災訓練に参加しているかについてみると、「いいえ」が 74.3%と最も多く、次いで「はい」が 10.8%、「地域にない、わからない」が 10.4%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「はい」が多くなっています。



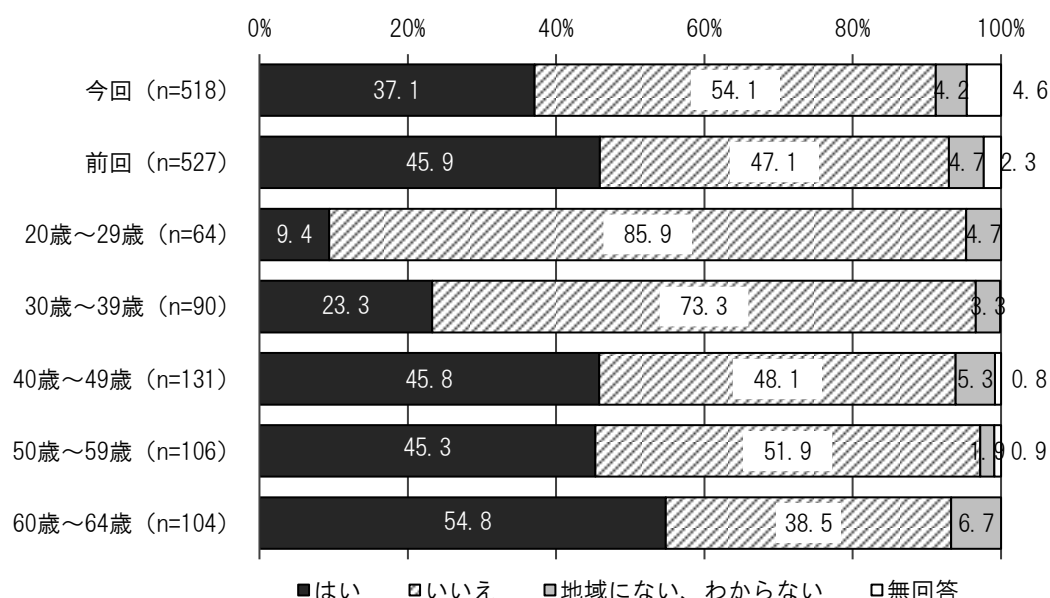
問9 エ. 区・自治会の行事に参加している

(単数回答)

区・自治会の行事に参加しているかについてみると、「いいえ」が54.1%と最も多く、次いで「はい」が37.1%、「地域にない、わからない」が4.2%となっています。

前回と比較すると、「はい」が8.8ポイント減少していますが、「いいえ」が7.0ポイント増加しています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「はい」が多くなっています。

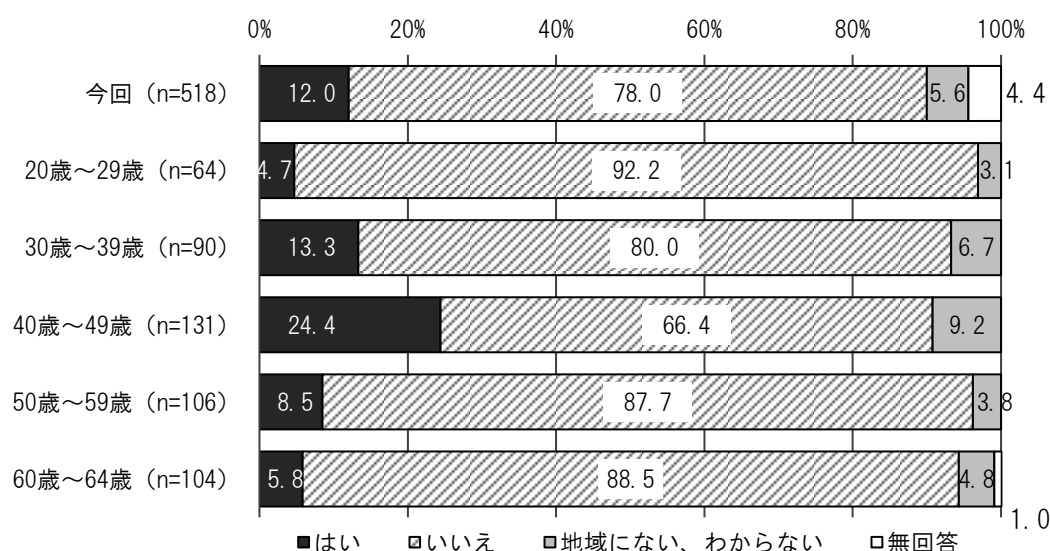


問9 オ. 地域の子ども会、スポーツ少年団、青少年健全育成の行事に参加している

(単数回答)

地域の子ども会、スポーツ少年団、青少年健全育成の行事に参加しているかについてみると、「いいえ」が78.0%と最も多く、次いで「はい」が12.0%、「地域にない、わからない」が5.6%となっています。

年齢別にみると、〔40歳～49歳〕では「はい」が2割半ばとなっています。

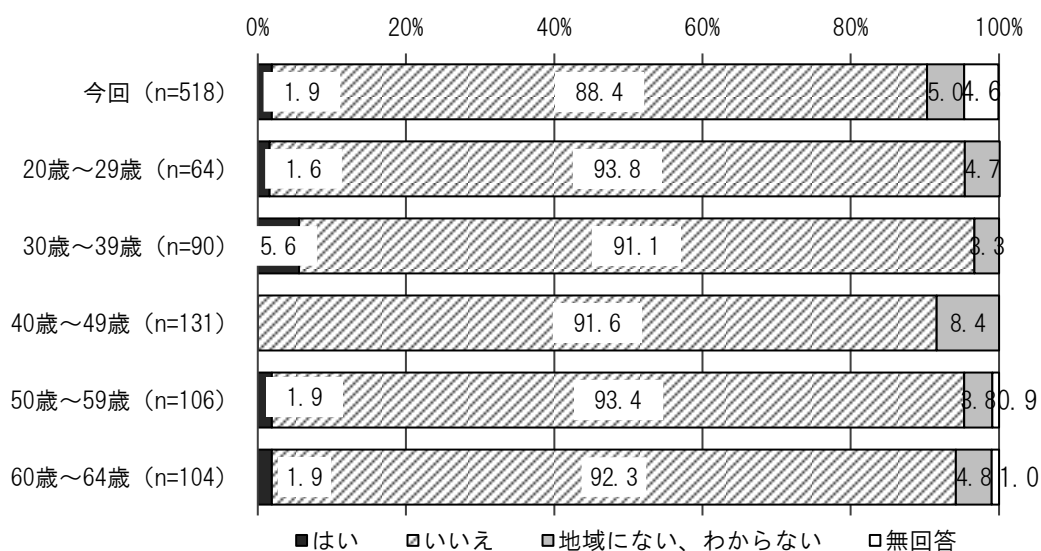


問9 カ. 消防団員として活動している

(単数回答)

消防団員として活動しているかについてみると、「いいえ」が88.4%と最も多く、次いで「地域にない、わからない」が5.0%、「はい」が1.9%となっています。

年齢別にみると、いずれの年齢も「いいえ」が9割台となっています。



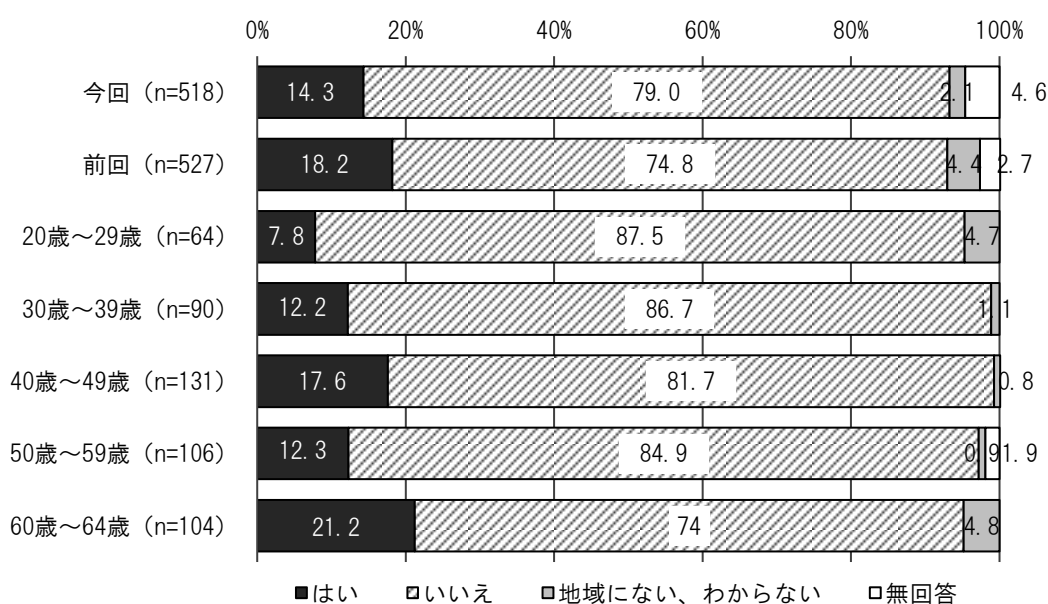
問9 キ. 地域の子どもたちに声かけしたり、高齢者や障がい者の話し相手になったりしている

(単数回答)

地域の子どもたちに声かけしたり、高齢者や障がい者の話し相手になったりしているかについてみると、「いいえ」が79.0%と最も多く、次いで「はい」が14.3%、「地域にない、わからない」が2.1%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〔40歳～49歳〕、〔60～64歳〕で「はい」が2割前後となっています。

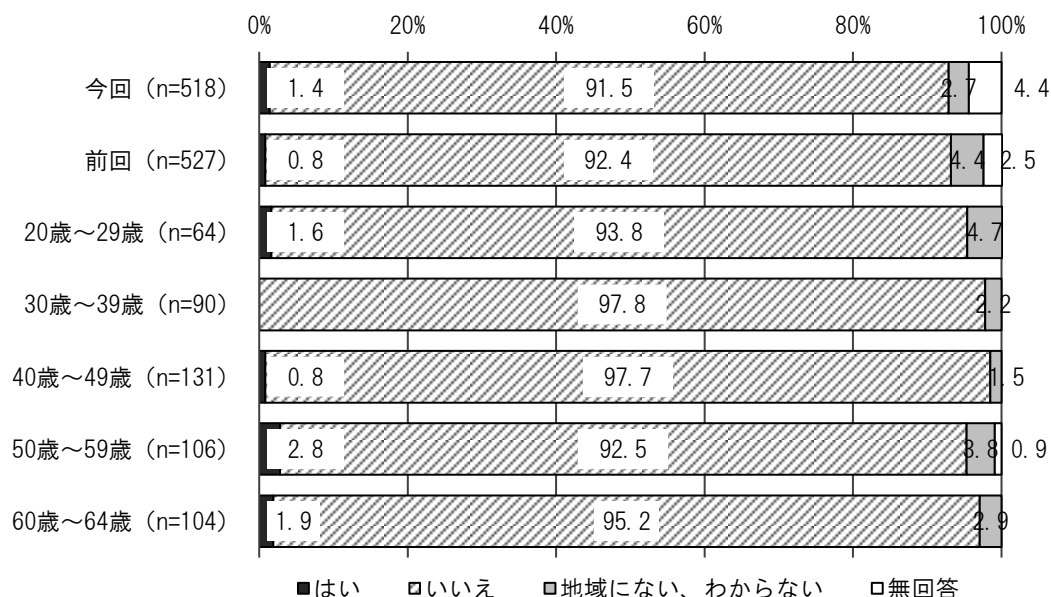


問9 ク. 地域の高齢者や障がい者で、外出が困難な方のために買い物や通院などを手伝っている (単数回答)

外出が困難な方のために買い物や通院などを手伝っているかについてみると、「いいえ」が 91.5%と最も多く、次いで「地域にない、わからない」が 2.7%、「はい」が 1.4%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、いずれの年齢も「いいえ」が9割台となっています。

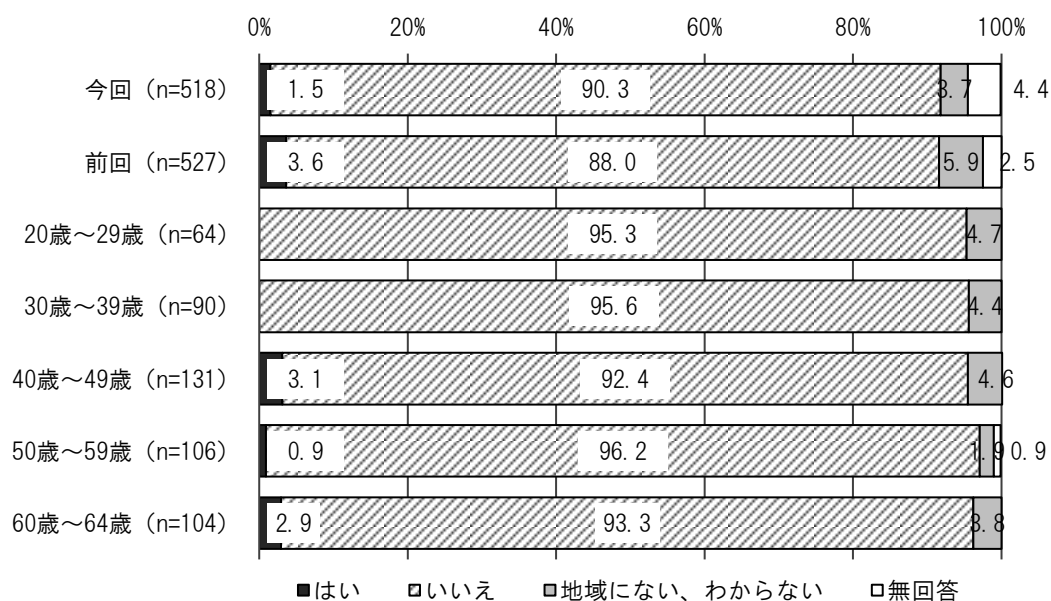


問9 ケ. 地区社会福祉協議会の行事に参加している (単数回答)

地区社会福祉協議会の行事に参加しているかについてみると、「いいえ」が 90.3%と最も多く、次いで「地域にない、わからない」が 3.7%、「はい」が 1.5%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、いずれの年齢も「いいえ」が9割台となっています。



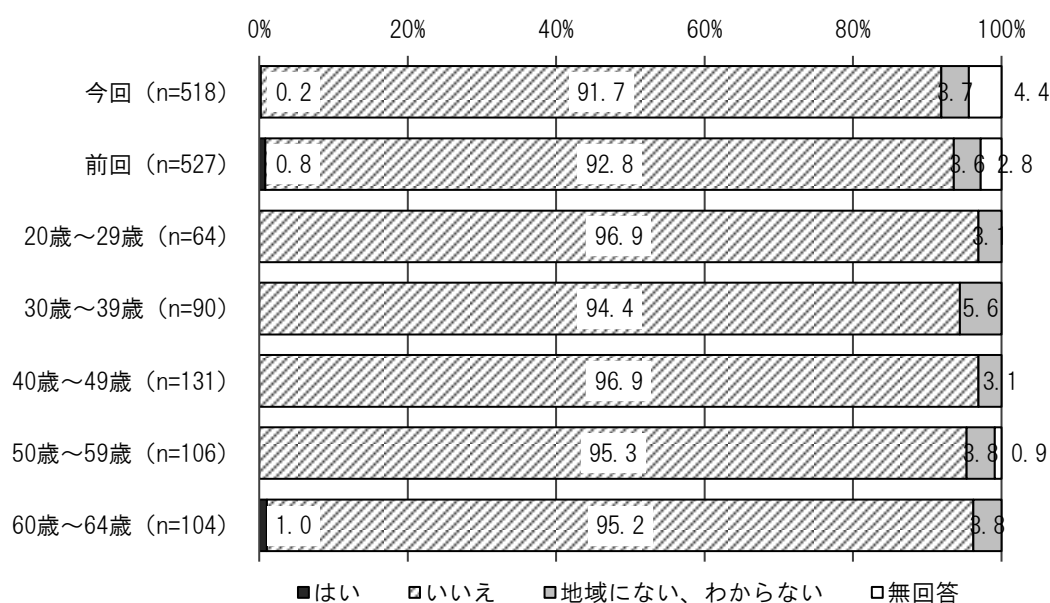
問9 コ. 高齢者クラブに参加している

(単数回答)

高齢者クラブに参加しているかについてみると、「いいえ」が91.7%と最も多く、次いで「地域にない、わからない」が3.7%、「はい」が0.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、いずれの年齢も「いいえ」が9割台となっています。

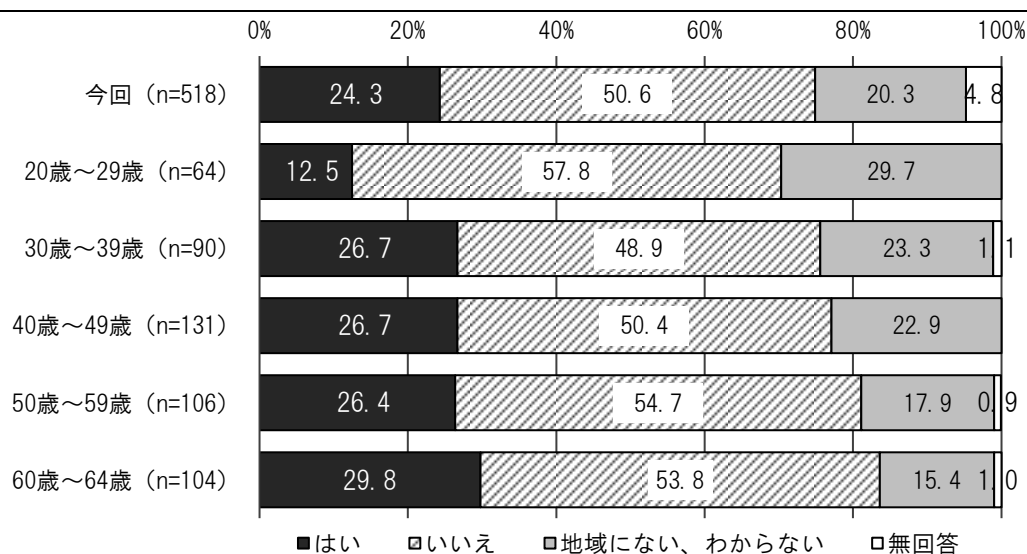


問9 サ. 地域の中に「居場所」を感じられる場所がある

(単数回答)

地域の中に「居場所」を感じられる場所があるかについてみると、「いいえ」が50.6%と最も多く、次いで「はい」が24.3%、「地域にない、わからない」が20.3%となっています。

年齢別にみると、いずれの年齢も「いいえ」が5割前後となっていますが、年齢が下がるにつれて、「地域にない、わからない」が多くなっています。

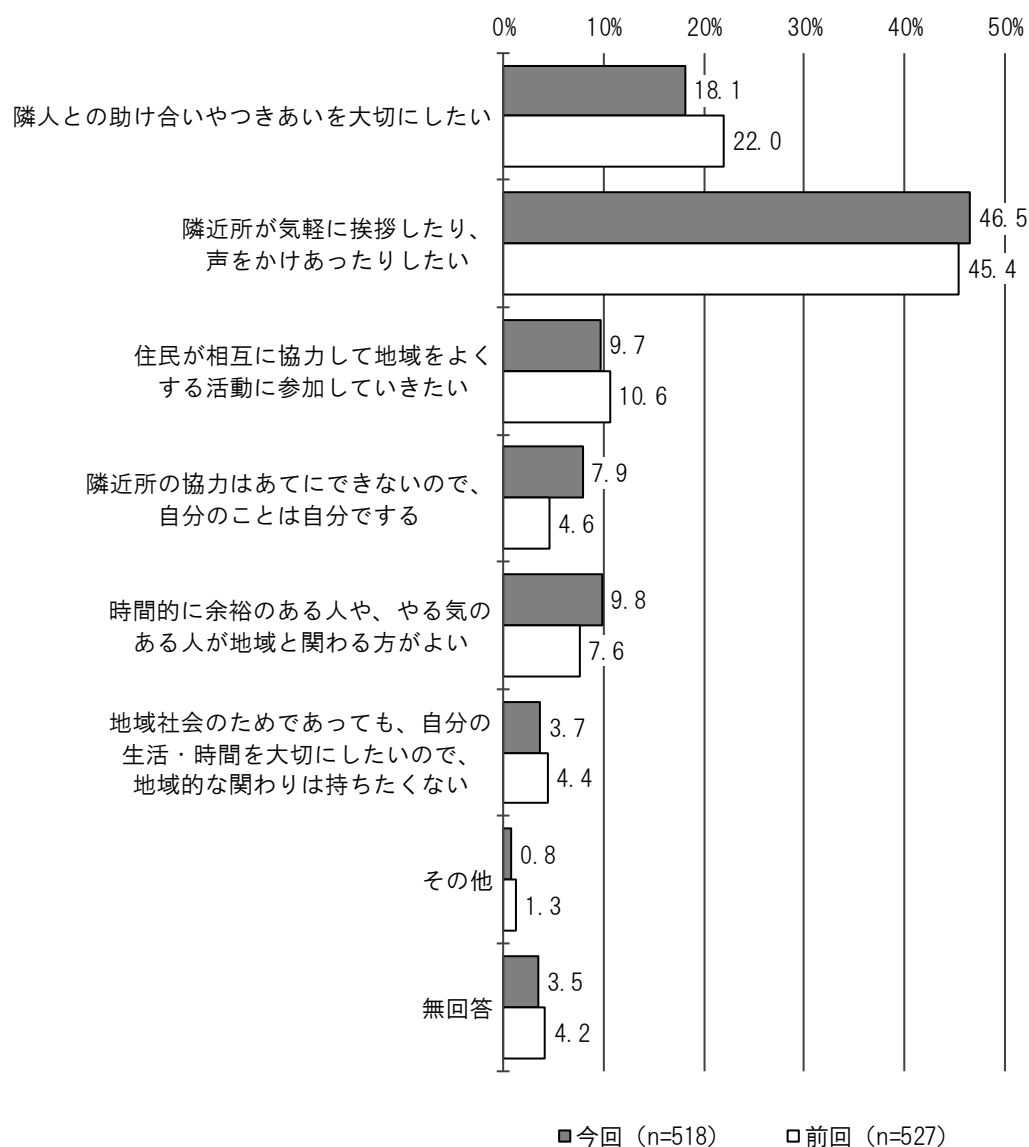


問 10 地域における人とのつきあいや地域との関わりについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(単数回答)

地域における人とのつきあいや地域との関わりについての考えについてみると、「隣近所が気軽に挨拶したり、声をかけあったりしたい」が 46.5%と最も多く、次いで「隣人との助け合いやつきあいを大切にしたい」が 18.1%、「時間的に余裕のある人や、やる気のある人が地域と関わる方がよい」が 9.8%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、おおむねいずれの地区も「隣近所が気軽に挨拶したり、声をかけあったりしたい」が最も多くなっており、地区による差はあまりみられません。

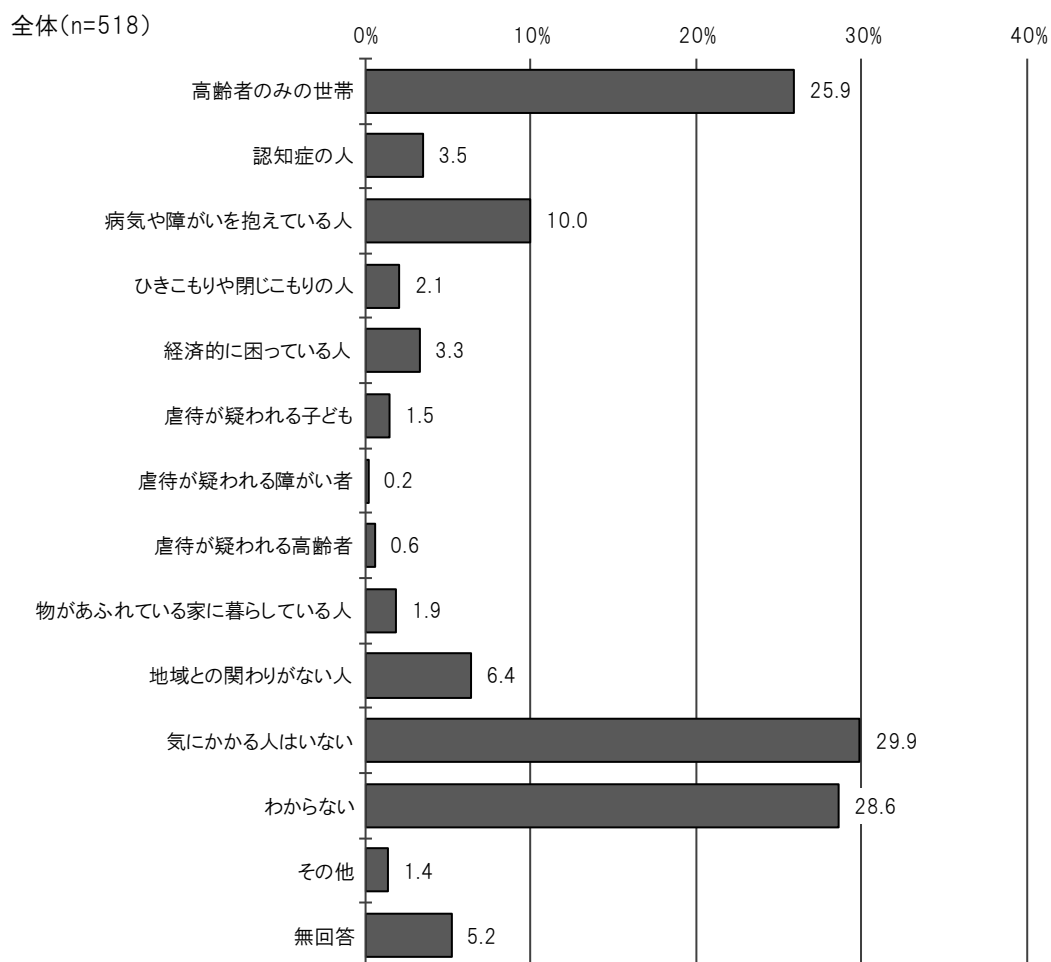


【地区別】

		問10 地域における人とのつきあいや地域との関わりについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。								
%		n	に隣 人との 助け合 いやつ きあい を大切	け隣 近所が 気軽に 挨拶し たり、 声をか	る住 民が相 互に協 力して いき たい地 域をよ くす	で隣 近所 の協力 はあて にでき ないの	ある 時間 的に余 裕ある 人や、 やる 気の	域生 活・社 会のた めであ っても 、自分 の地	その他	無 回 答
全体		518	18.1	46.5	9.7	7.9	9.8	3.7	0.8	3.5
居住地区	成田地区	155	19.4	44.5	8.4	5.2	14.2	4.5	0.0	3.9
	公津地区	96	15.6	51.0	4.2	6.3	9.4	5.2	1.0	7.3
	八生地区	7	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	中郷地区	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	久住地区	29	24.1	48.3	10.3	6.9	10.3	0.0	0.0	0.0
	豊住地区	8	12.5	37.5	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0
	遠山地区	48	18.8	39.6	6.3	14.6	14.6	4.2	2.1	0.0
	ニュータウン地区	97	15.5	51.5	12.4	10.3	4.1	3.1	1.0	2.1
	下総地区	21	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0
	大栄地区	30	30.0	43.3	13.3	6.7	3.3	0.0	0.0	3.3

問 11 あなたの近所や地域には、次のような気にかかる人（支援が必要と思われる人）がいますか。
（複数回答）

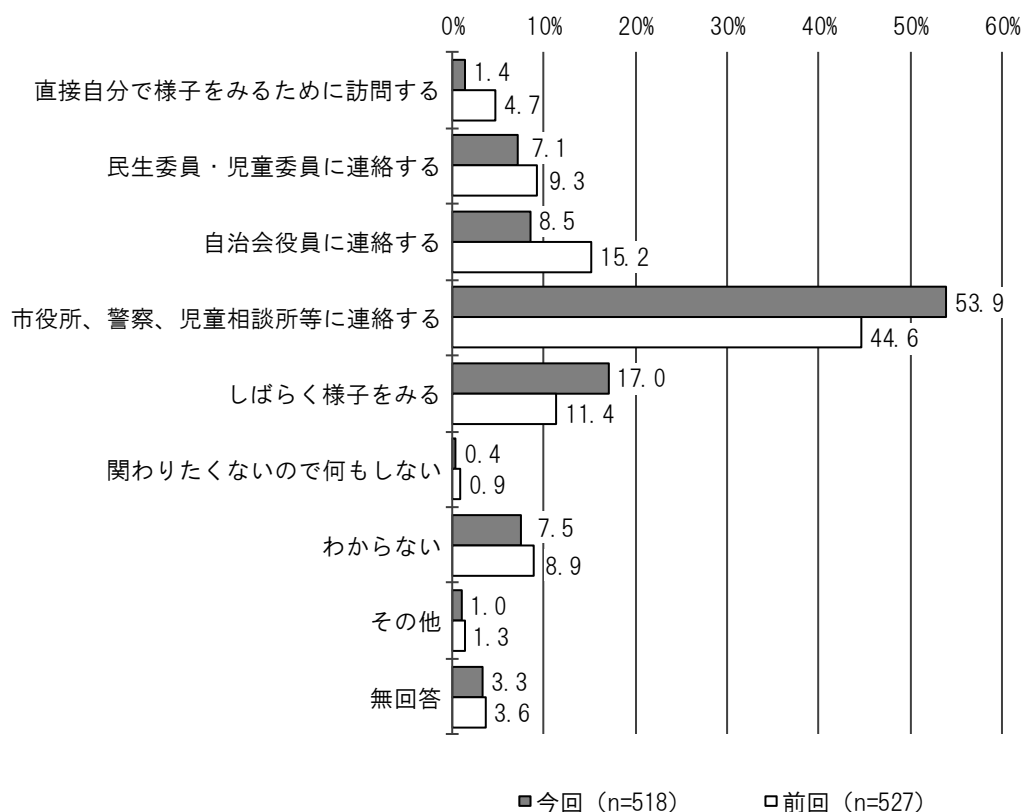
近所や地域に、気にかかる人（支援が必要と思われる人）がいるかについてみると、「気にかかる人はいない」が 29.9%と最も多く、次いで「わからない」が 28.6%、「高齢者のみの世帯」が 25.9%となっています。



問 12 最近、高齢者の孤独死や児童虐待などのニュースを聞くことがあります。もし、あなたの周辺でそのようなことが起きるおそれがある状況を知ったとしたら、どのように対応しますか。
(単数回答)

あなたの周辺で、高齢者の孤独死や児童虐待などが起きるおそれがある状況を知ったとしたら、どのように対応するかについてみると、「市役所、警察、児童相談所等に連絡する」が 53.9%と最も多く、次いで「しばらく様子を見る」が 17.0%、「自治会役員に連絡する」が 8.5%となっています。

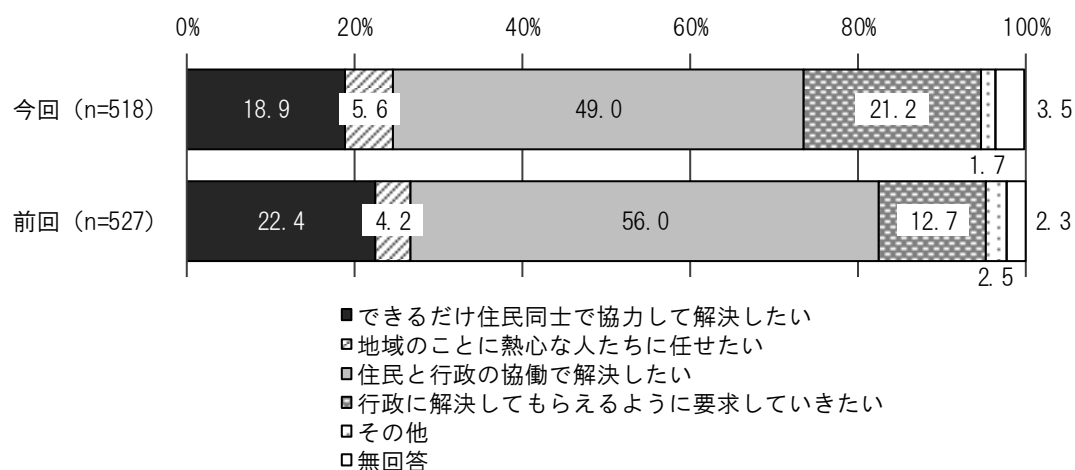
前回と比較すると、「市役所、警察、児童相談所等に連絡する」が 9.3 ポイント増加していますが、「自治会役員に連絡する」が 6.7 ポイント減少しています。



問 13 日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。
(単数回答)

日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思うかについてみると、「住民と行政の協働で解決したい」が 49.0%と最も多く、次いで「行政に解決してもらえるように要求していきたい」が 21.2%、「できるだけ住民同士で協力して解決したい」が 18.9%となっています。

前回と比較すると、「行政に解決してもらえるように要求していきたい」が 8.5 ポイント増加していますが、「住民と行政の協働で解決したい」が 7.0 ポイント減少しています。

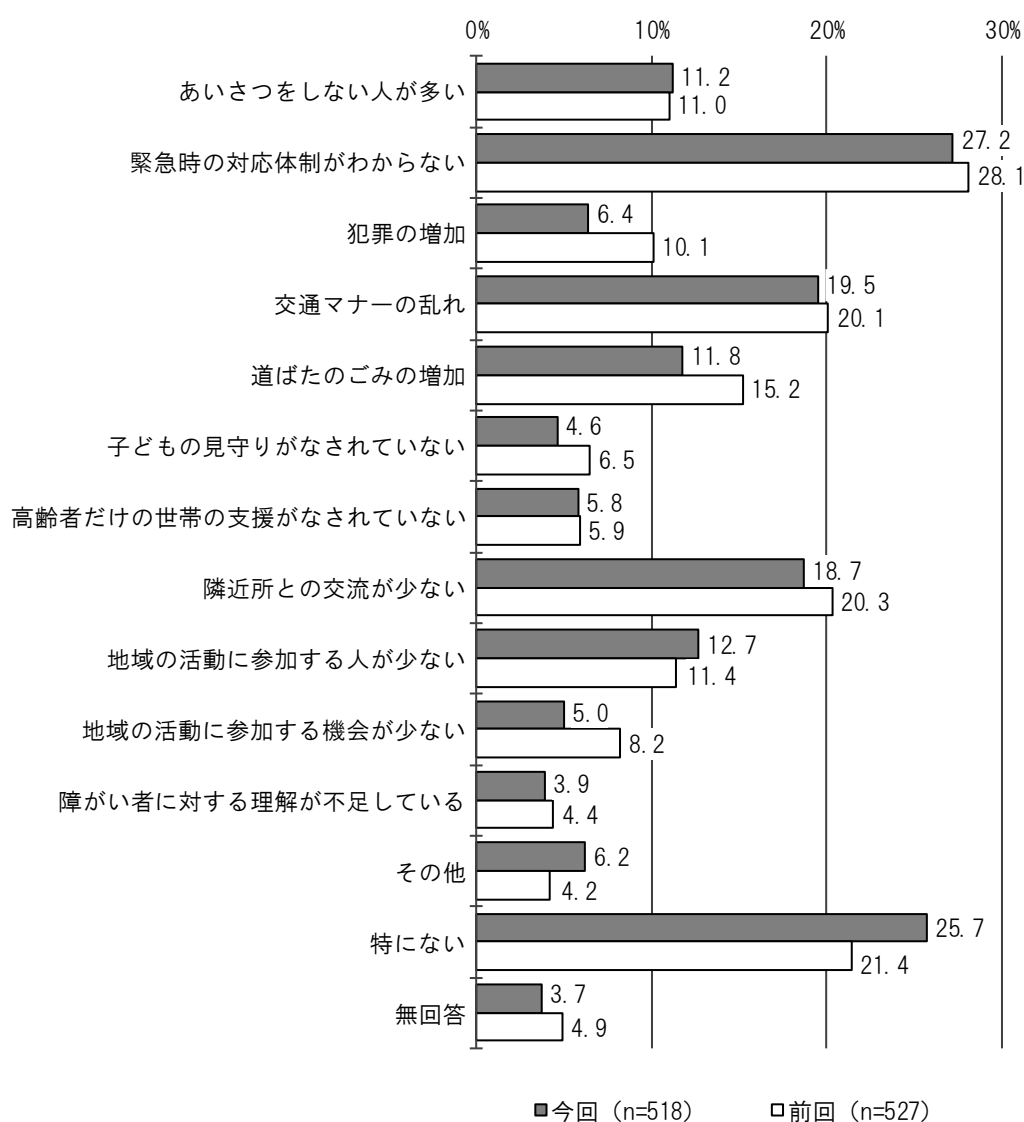


問 14 現在、あなたの住んでいる地域の中で、どのようなことが問題だと思われますか。
(複数回答)

住んでいる地域の中で、どのようなことが問題だと思うかについてみると、「緊急時の対応体制がわからない」が27.2%と最も多く、次いで「特にない」が25.7%、「交通マナーの乱れ」が19.5%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、大栄地区では「高齢者だけの世帯の支援がなされていない」が30%となっているほか、大栄地区や下総地区で「緊急時の対応体制がわからない」が4割台となっています。また、成田地区、遠山地区やニュータウン地区といった市南部の地区では「交通マナーの乱れ」が2割台となっています。



【地区別】

		問14 現在、あなたの住んでいる地域の中で、どのようなことが問題だと思われますか。														
%	n	あいさつをしない人が多い	緊急時の対応体制がわからない	犯罪の増加	交通マナーの乱れ	道ばたのごみの増加	子どもの見守りがなされていない	高齢者だけの世帯の支援がなされていない	隣近所との交流が少ない	地域の活動に参加する人が少ない	地域の活動に参加する機会が少ない	障がい者に対する理解が不足している	その他	特にない	無回答	
全体	518	11.2	27.2	6.4	19.5	11.8	4.6	5.8	18.7	12.7	5.0	3.9	6.2	25.7	3.7	
居住地区	成田地区	155	15.5	23.9	7.7	23.9	11.0	2.6	3.2	21.9	12.3	5.2	4.5	5.8	26.5	3.2
	公津地区	96	3.1	31.3	7.3	14.6	13.5	5.2	1.0	12.5	7.3	4.2	1.0	6.3	30.2	7.3
	八生地区	7	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3
	中郷地区	3	33.3	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	久住地区	29	10.3	20.7	3.4	13.8	10.3	6.9	3.4	17.2	13.8	3.4	0.0	3.4	34.5	0.0
	豊住地区	8	12.5	25.0	0.0	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0	25.0	12.5	12.5	0.0	25.0	0.0
	遠山地区	48	12.5	33.3	8.3	27.1	25.0	4.2	10.4	18.8	14.6	4.2	6.3	6.3	20.8	0.0
	ニュータウン地区	97	13.4	22.7	2.1	22.7	4.1	5.2	6.2	19.6	14.4	6.2	7.2	7.2	20.6	3.1
	下総地区	21	4.8	42.9	9.5	9.5	14.3	4.8	4.8	14.3	19.0	0.0	0.0	14.3	14.3	4.8
	大栄地区	30	3.3	40.0	3.3	10.0	13.3	10.0	30.0	23.3	13.3	3.3	3.3	0.0	23.3	3.3

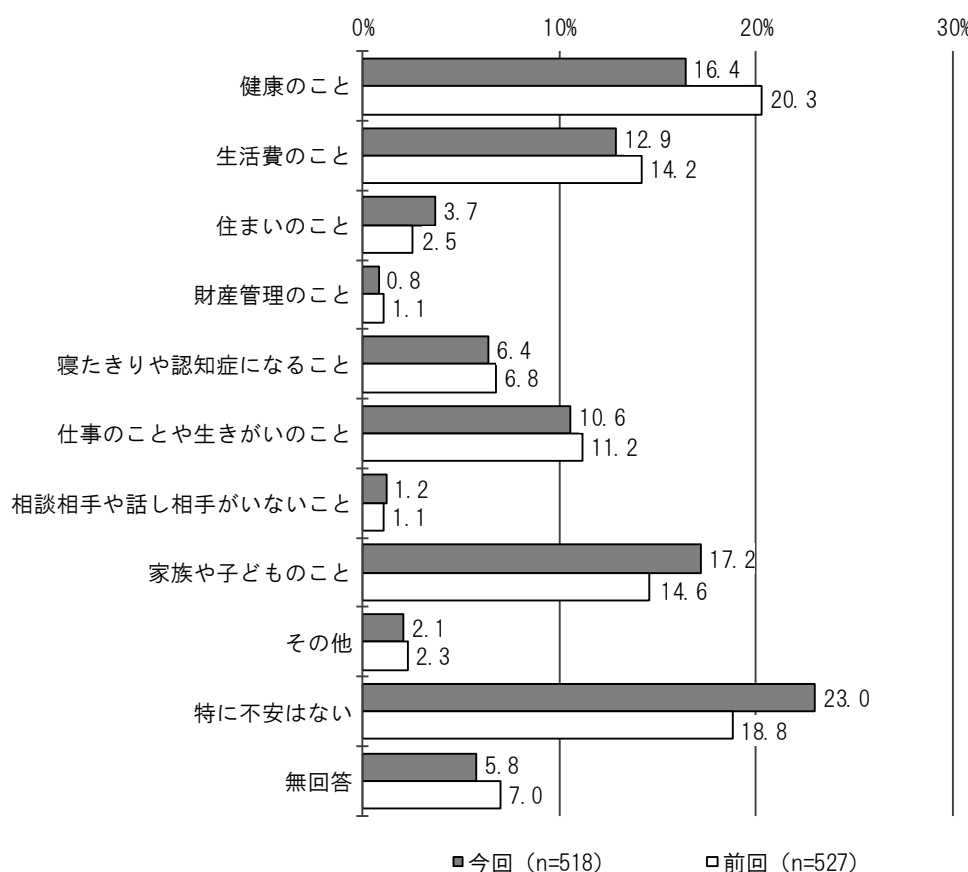
問 15 現在、一番不安に感じていることは何ですか。

(単数回答)

現在、一番不安に感じていることについてみると、「特に不安はない」が 23.0%と最も多く、次いで「家族や子どものこと」が 17.2%、「健康のこと」が 16.4%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、50 歳以上では「健康のこと」が2割以上となっています。また、20・30 歳代では「仕事のことや生きがいのこと」が2割前後となっています。



【年齢別】

		問15 現在、一番不安に感じていることは何ですか。											
%		n	健康のこと	生活費のこと	住まいのこと	財産管理のこと	寝たきりや認知症になること	仕事のことや生きがいのこと	相談相手や話し相手がないこと	家族や子どものこと	その他	特に不安はない	無回答
全体		518	16.4	12.9	3.7	0.8	6.4	10.6	1.2	17.2	2.1	23.0	5.8
年齢別	20歳～29歳	64	9.4	17.2	1.6	1.6	0.0	21.9	1.6	10.9	1.6	28.1	6.3
	30歳～39歳	90	3.3	22.2	6.7	2.2	3.3	18.9	4.4	20.0	0.0	13.3	5.6
	40歳～49歳	131	10.7	9.2	3.8	0.8	4.6	9.2	0.0	21.4	2.3	31.3	6.9
	50歳～59歳	106	25.5	11.3	1.9	0.0	5.7	3.8	0.0	22.6	3.8	22.6	2.8
	60歳～64歳	104	29.8	8.7	3.8	0.0	16.3	6.7	1.0	6.7	2.9	18.3	5.8
	無回答	23	17.4	13.0	4.3	0.0	4.3	4.3	0.0	21.7	0.0	21.7	13.0

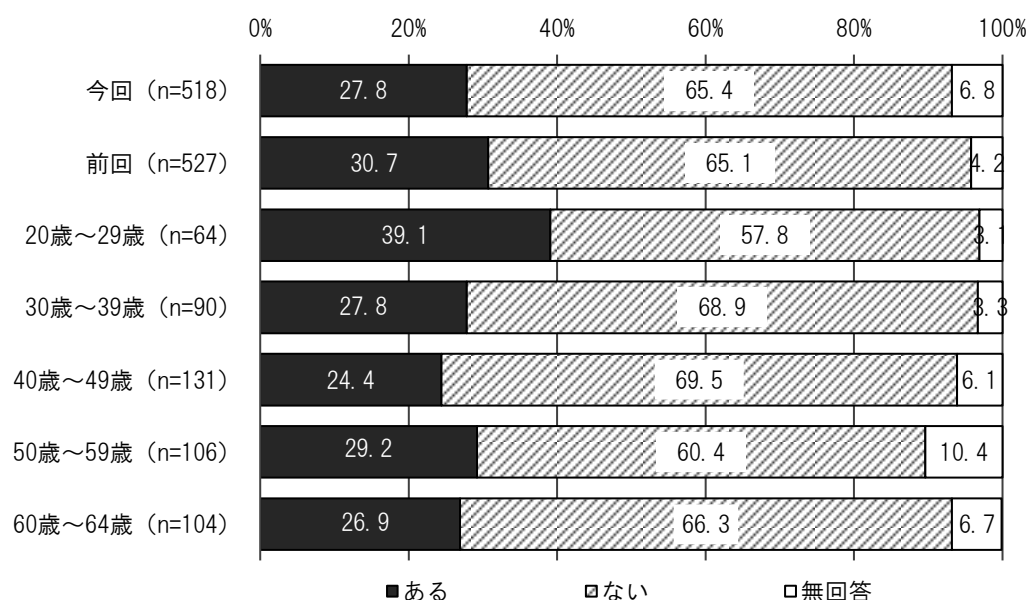
問 16 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。

(単数回答)

ボランティア活動をしたことがあるかについてみると、「ある」が 27.8%、「ない」が 65.4%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〔20 歳～29 歳〕で「ある」が 39.1%となっており、ほかの年齢は2割台となっています。



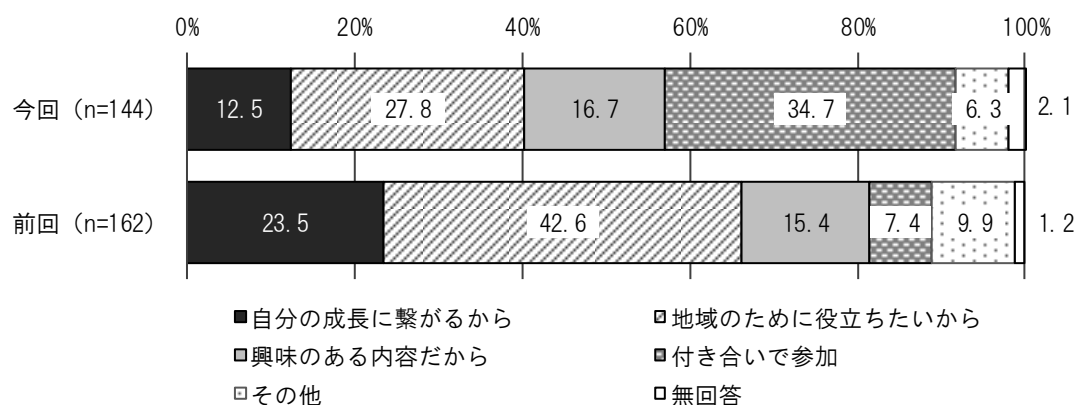
《問 16 で「ある」とお答えの方》

問 16-1 ボランティア活動に参加している理由として最も当てはまるものは何ですか。

(単数回答)

ボランティア活動に参加している理由についてみると、「付き合いで参加」が 34.7%と最も多く、次いで「地域のために役立ちたいから」が 27.8%、「興味のある内容だから」が 16.7%となっています。

前回と比較すると、「付き合いで参加」が 27.3 ポイント増加していますが、「地域のために役立ちたいから」が 14.8 ポイント減少しています。

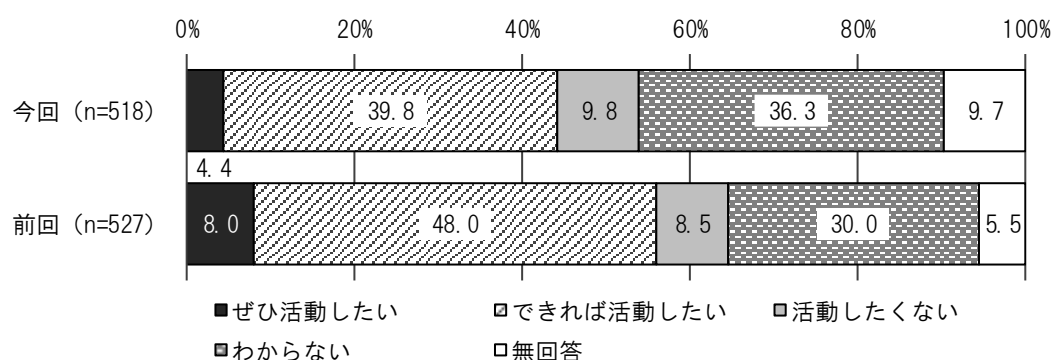


問 17 今後、あなたはボランティア活動をしたいと思いますか。

(単数回答)

今後、ボランティア活動をしたいかについてみると、「できれば活動したい」が 39.8%と最も多く、次いで「わからない」が 36.3%、「活動したくない」が 9.8%となっています。

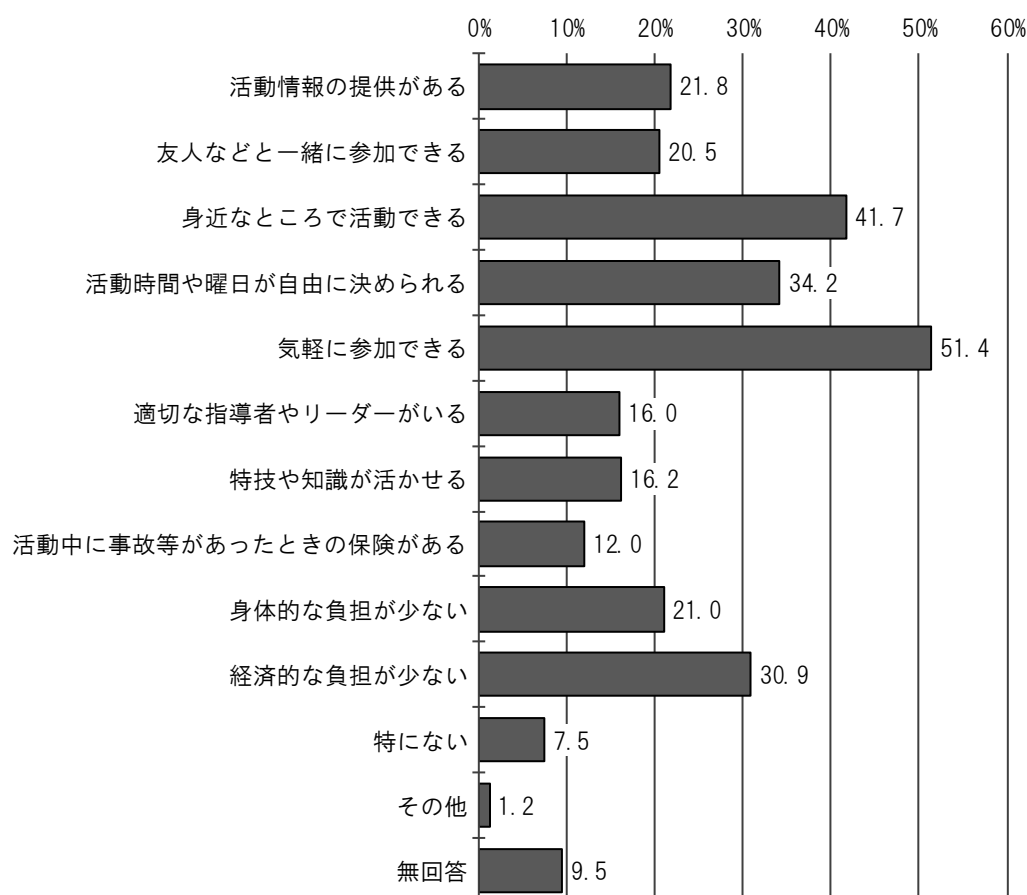
前回と比較すると、「できれば活動したい」が 8.2 ポイント減少していますが、「わからない」が 6.3 ポイント増加しています。



問 18 どのような条件であれば、地域活動などに参加したいと思いますか。(複数回答)

どのような条件であれば、地域活動などに参加したいと思うかについてみると、「気軽に参加できる」が 51.4%と最も多く、次いで「身近なところで活動できる」が 41.7%、「活動時間や曜日が自由に決められる」が 34.2%となっています。

全体(n=518)

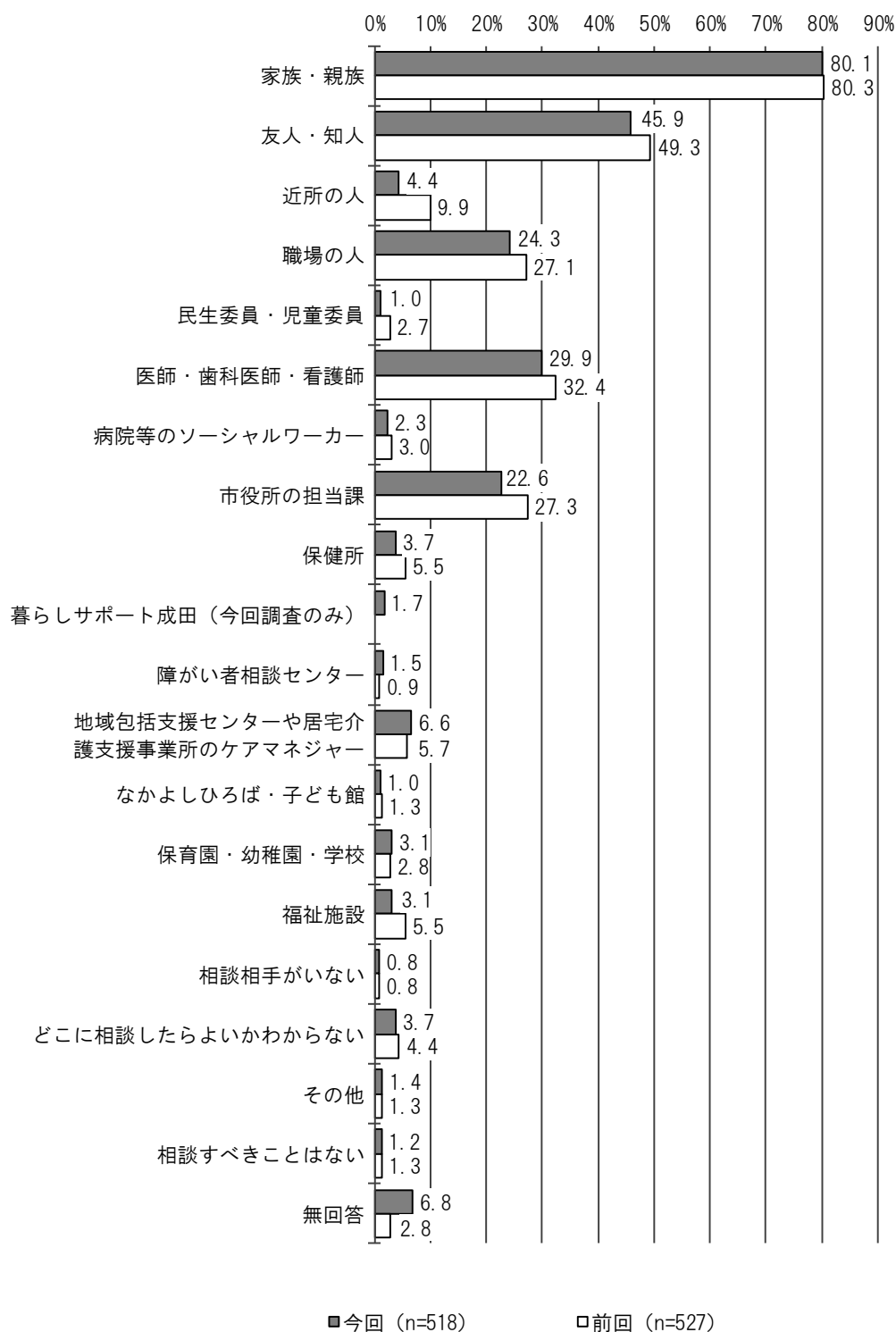


3 福祉のまちづくりについて

問 19 あなたは、健康や福祉について困ったとき、誰に相談しますか。 (複数回答)

健康や福祉について困ったとき、誰に相談するかについてみると、「家族・親族」が 80.1%と最も多く、次いで「友人・知人」が 45.9%、「医師・歯科医師・看護師」が 29.9%となっています。

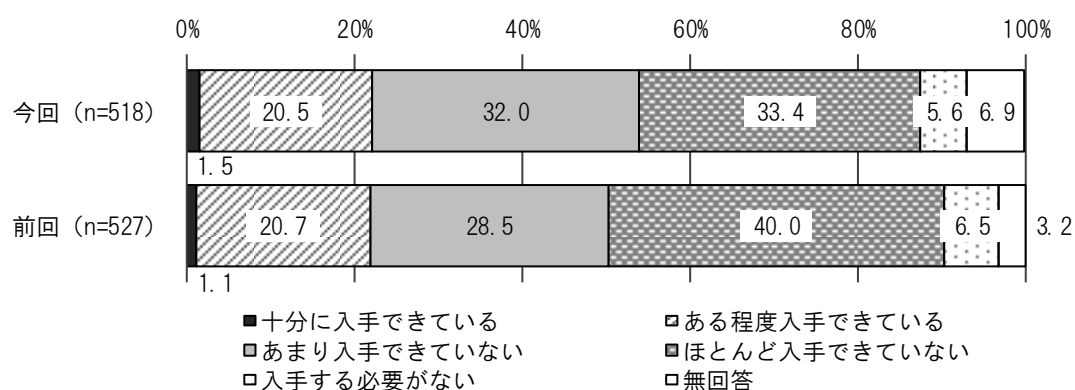
前回と比較すると、「近所の人」が 5.5 ポイント減少しています。



問 20 あなたは、福祉サービスに関する情報をどの程度入手できていると思いますか。
(単数回答)

福祉サービスに関する情報をどの程度入手できているかについてみると、「ほとんど入手できていない」が 33.4%と最も多く、次いで「あまり入手できていない」が 32.0%、「ある程度入手できている」が 20.5%となっています。

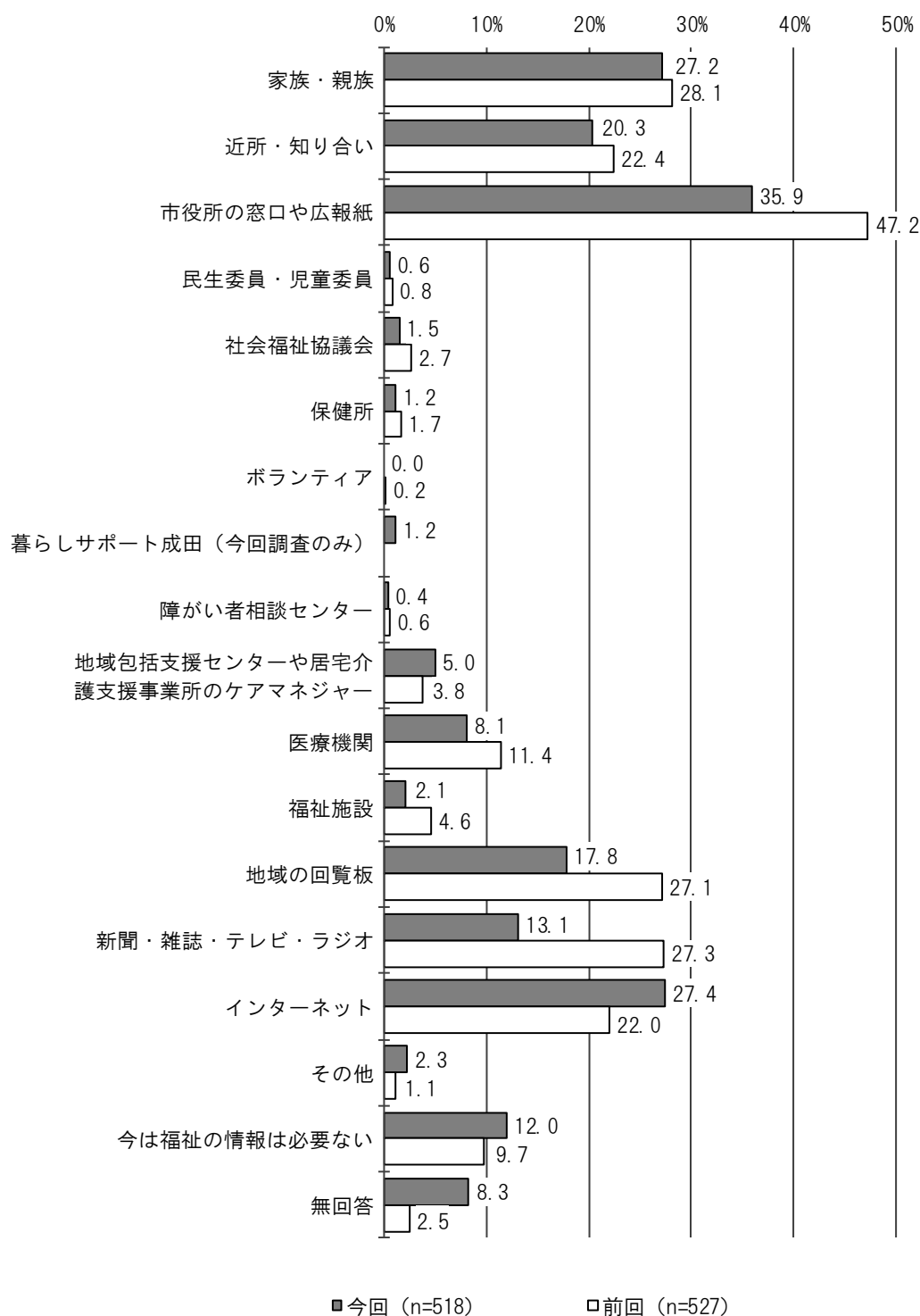
前回と比較すると、「ほとんど入手できていない」が 6.6 ポイント減少しています。



問21 あなたは、福祉サービスに関する情報を主にどこから入手していますか。(複数回答)

福祉サービスに関する情報を主にどこから入手しているかについてみると、「市役所の窓口や広報紙」が35.9%と最も多く、次いで「インターネット」が27.4%、「家族・親族」が27.2%となっています。

前回と比較すると、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が14.2ポイント、「市役所の窓口や広報紙」が11.3ポイント減少しています。

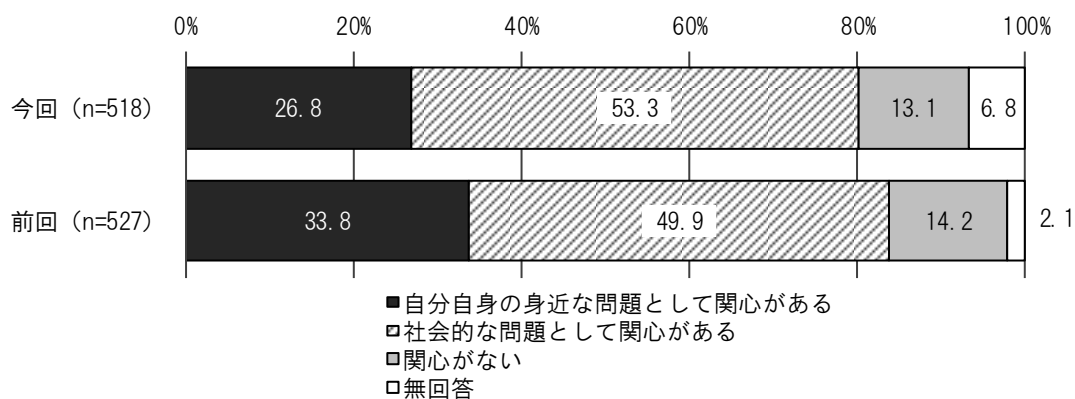


問 22 あなたは「福祉」に関心をお持ちですか。

(単数回答)

福祉に関心を持っているかについてみると、「社会的な問題として関心がある」が 53.3%と最も多く、次いで「自分自身の身近な問題として関心がある」が 26.8%、「関心がない」が 13.1%となっています。

前回と比較すると、「自分自身の身近な問題として関心がある」が 7.0 ポイント減少しています。



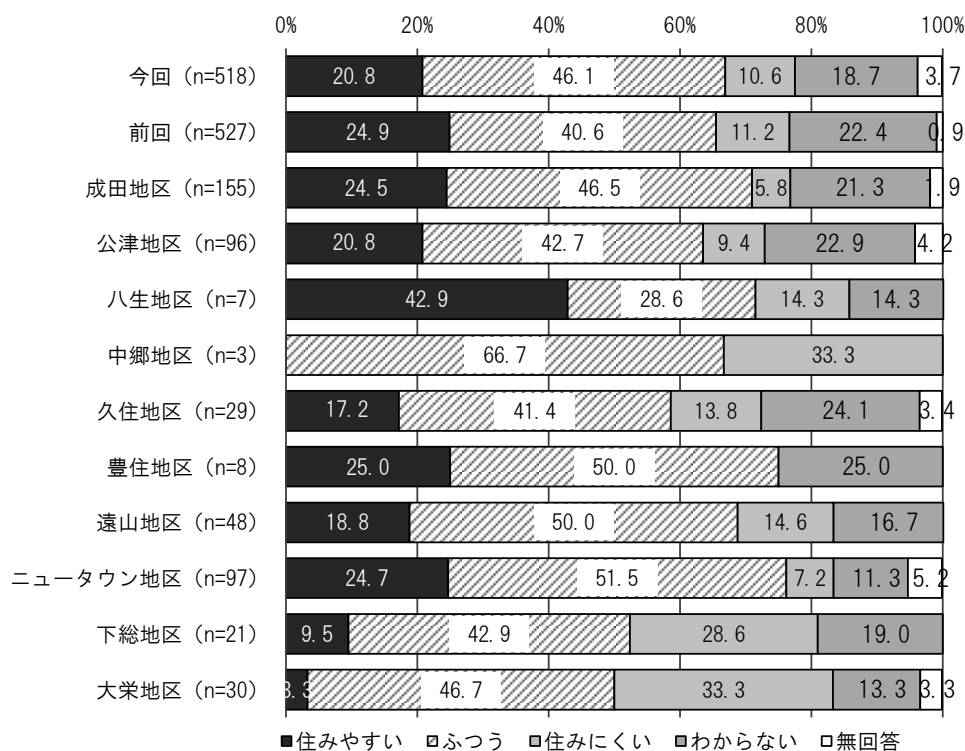
問 23 成田市は、高齢者・障がい者・子どもにとって住みやすいまちだと思いますか。

(単数回答)

成田市は、高齢者・障がい者・子どもにとって住みやすいまちだと思うかについてみると、「ふつう」が 46.1%と最も多く、次いで「住みやすい」が 20.8%、「わからない」が 18.7%となっています。

前回と比較すると、「ふつう」が 5.5 ポイント増加しています。

地区別にみると、下総地区や大栄地区において「住みにくい」が3割前後となっています。



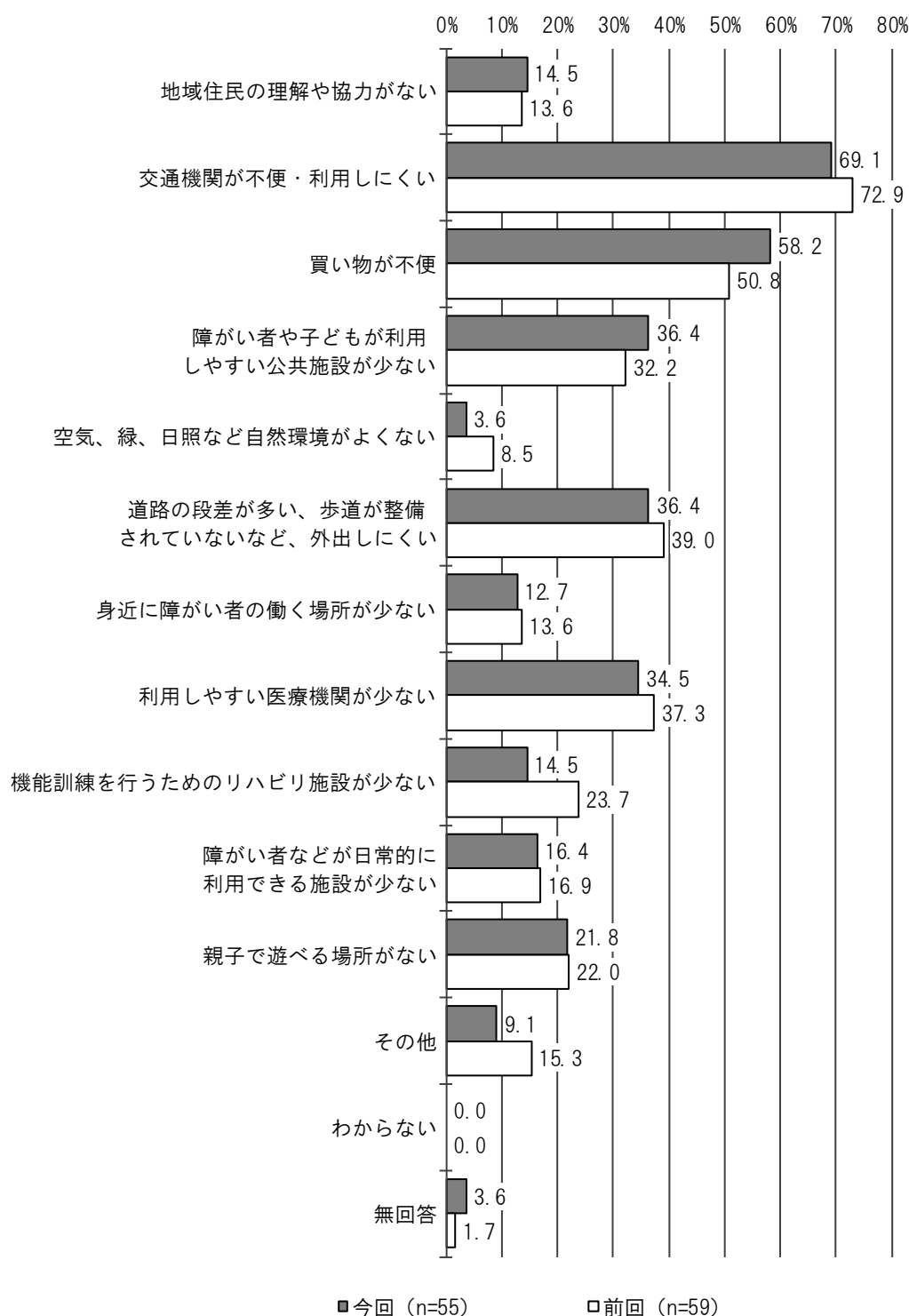
《問 23 で「住みにくい」とお答えの方》

問 23－１ どのような点が住みにくいと思いますか。

(複数回答)

どのような点が住みにくいと思うかについてみると、「交通機関が不便・利用しにくい」が 69.1%と最も多く、次いで「買い物が不便」が 58.2%、「障がい者や子どもが利用しやすい公共施設が少ない」「道路の段差が多い、歩道が整備されていないなど、外出しにくい」が 36.4%となっています。

前回と比較すると、「機能訓練を行うためのリハビリ施設が少ない」が 9.2 ポイント減少していますが、「買い物が不便」が 7.4 ポイント増加しています。



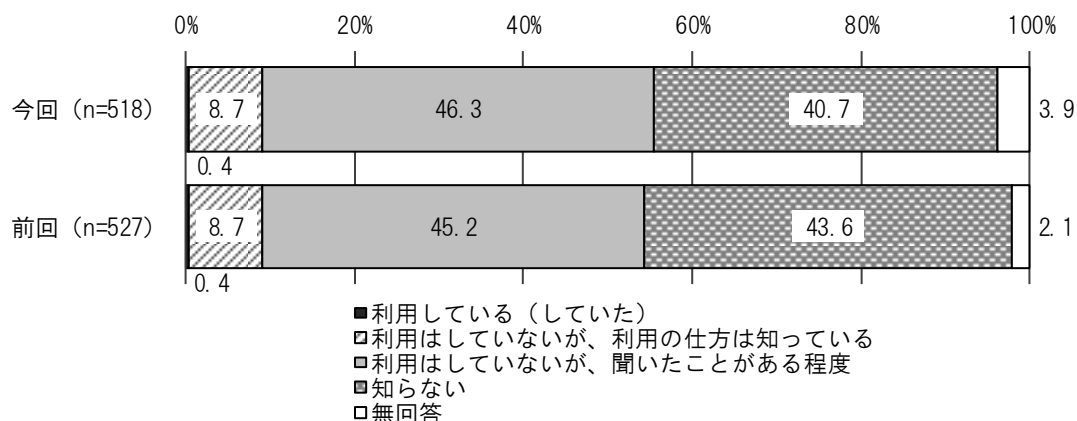
問 24 あなたは、次の権利擁護の制度や事業について、どの程度知っていますか。

ア. 成年後見制度

(単数回答)

成年後見制度をどの程度知っているかについてみると、「利用はしていないが、聞いたことがある程度」が 46.3%と最も多く、次いで「知らない」が 40.7%、「利用はしていないが、利用の仕方は知っている」が 8.7%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。



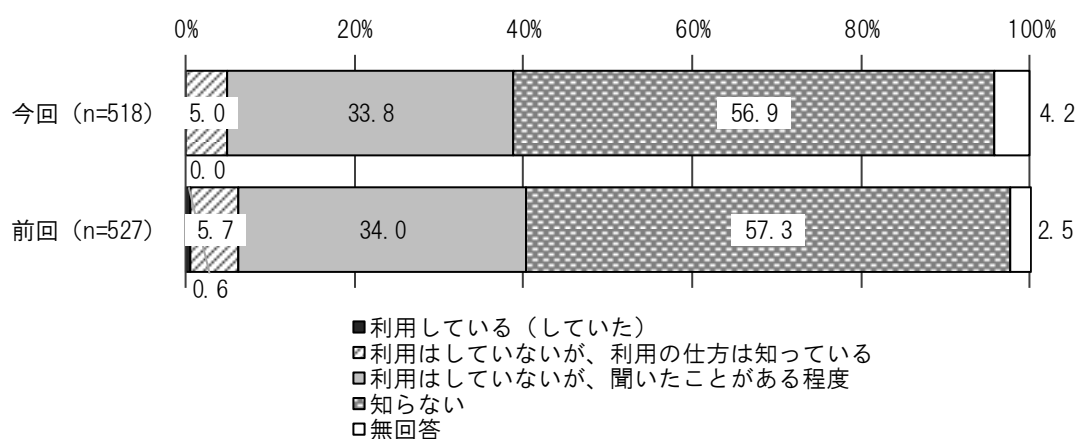
問 24 あなたは、次の権利擁護の制度や事業について、どの程度知っていますか。

イ. 日常生活自立支援事業

(単数回答)

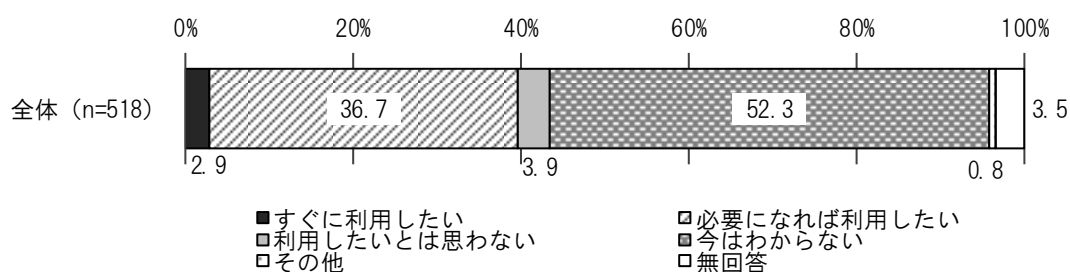
日常生活自立支援事業をどの程度知っているかについてみると、「知らない」が 56.9%と最も多く、次いで「利用はしていないが、聞いたことがある程度」が 33.8%、「利用はしていないが、利用の仕方は知っている」が 5.0%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。



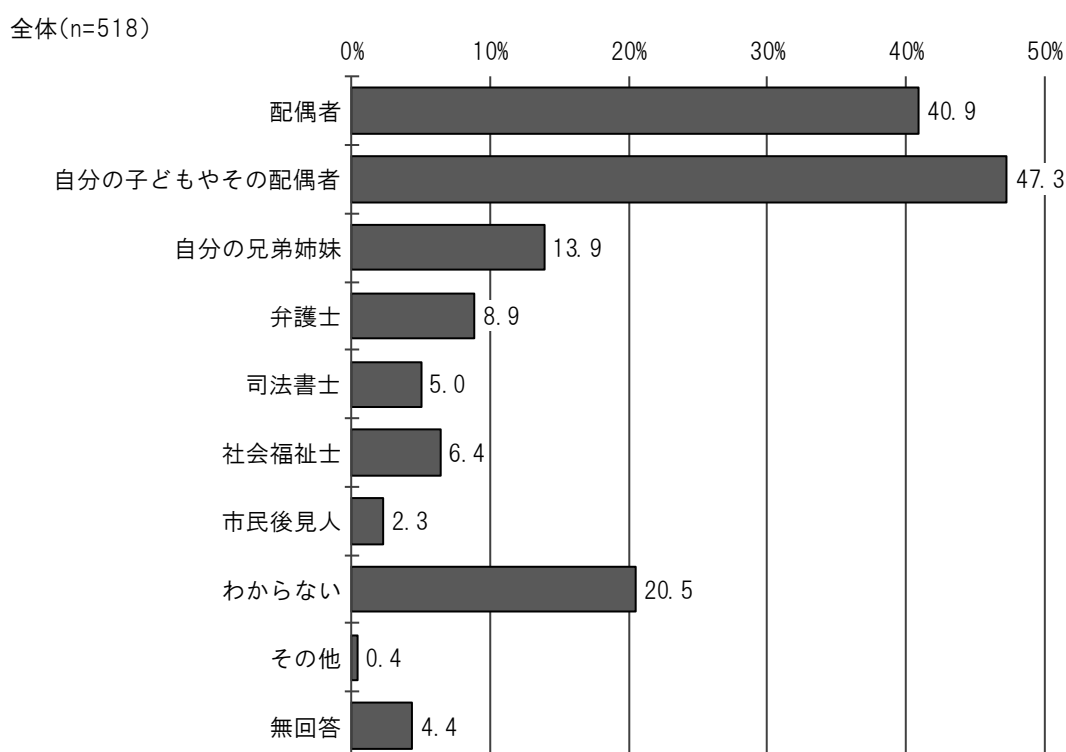
問 25 あなたは、判断能力が低下するなどし、支援が必要になったときには、成年後見制度を利用したいと思いますか。
(単数回答)

支援が必要になったときには、成年後見制度を利用したいかについてみると、「今はわからない」が 52.3%と最も多く、次いで「必要になれば利用したい」が 36.7%、「利用したいとは思わない」が 3.9%となっています。



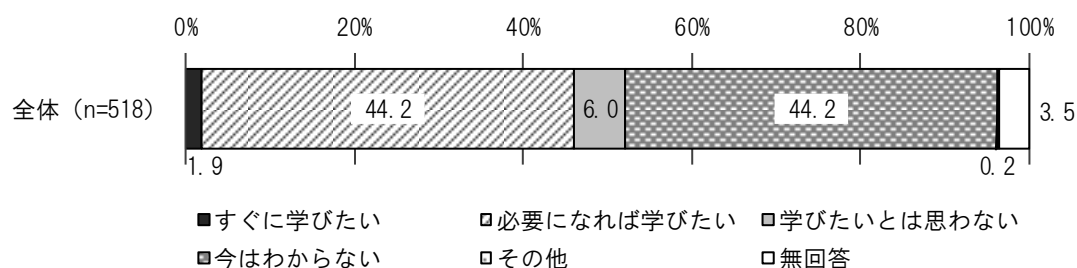
問 26 あなたが、もしも成年後見制度を利用することになった場合、誰に後見人になって支援してほしいと思いますか。
(複数回答)

もしも成年後見制度を利用することになった場合、誰に後見人になって支援してほしいかについてみると、「自分の子どもやその配偶者」が 47.3%と最も多く、次いで「配偶者」が 40.9%、「わからない」が 20.5%となっています。



問 27 あなたは、成年後見制度に関する講座や研修等があれば、学びたいと思いますか。
(単数回答)

成年後見制度に関する講座や研修等があれば、学びたいと思うかについてみると、「必要になれば学びたい」「今はわからない」が44.2%と最も多く、次いで「学びたいとは思わない」が6.0%、「すぐに学びたい」が1.9%となっています。

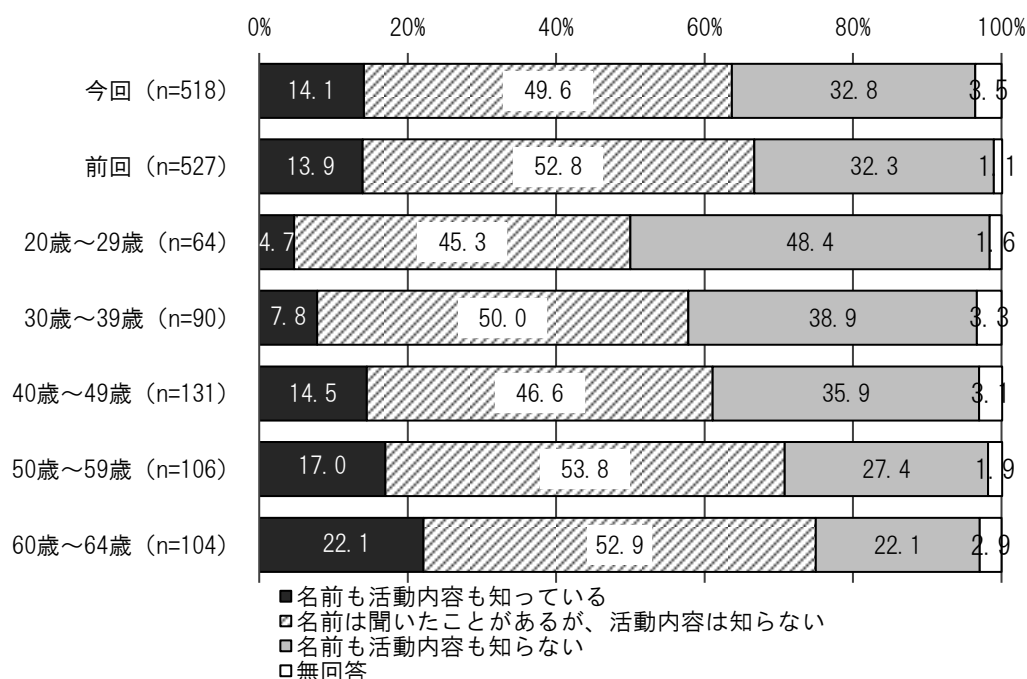


問 28 あなたは社会福祉協議会をご存知でしたか。
(単数回答)

社会福祉協議会を知っていたかについてみると、「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」が49.6%と最も多く、次いで「名前も活動内容も知らない」が32.8%、「名前も活動内容も知っている」が14.1%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

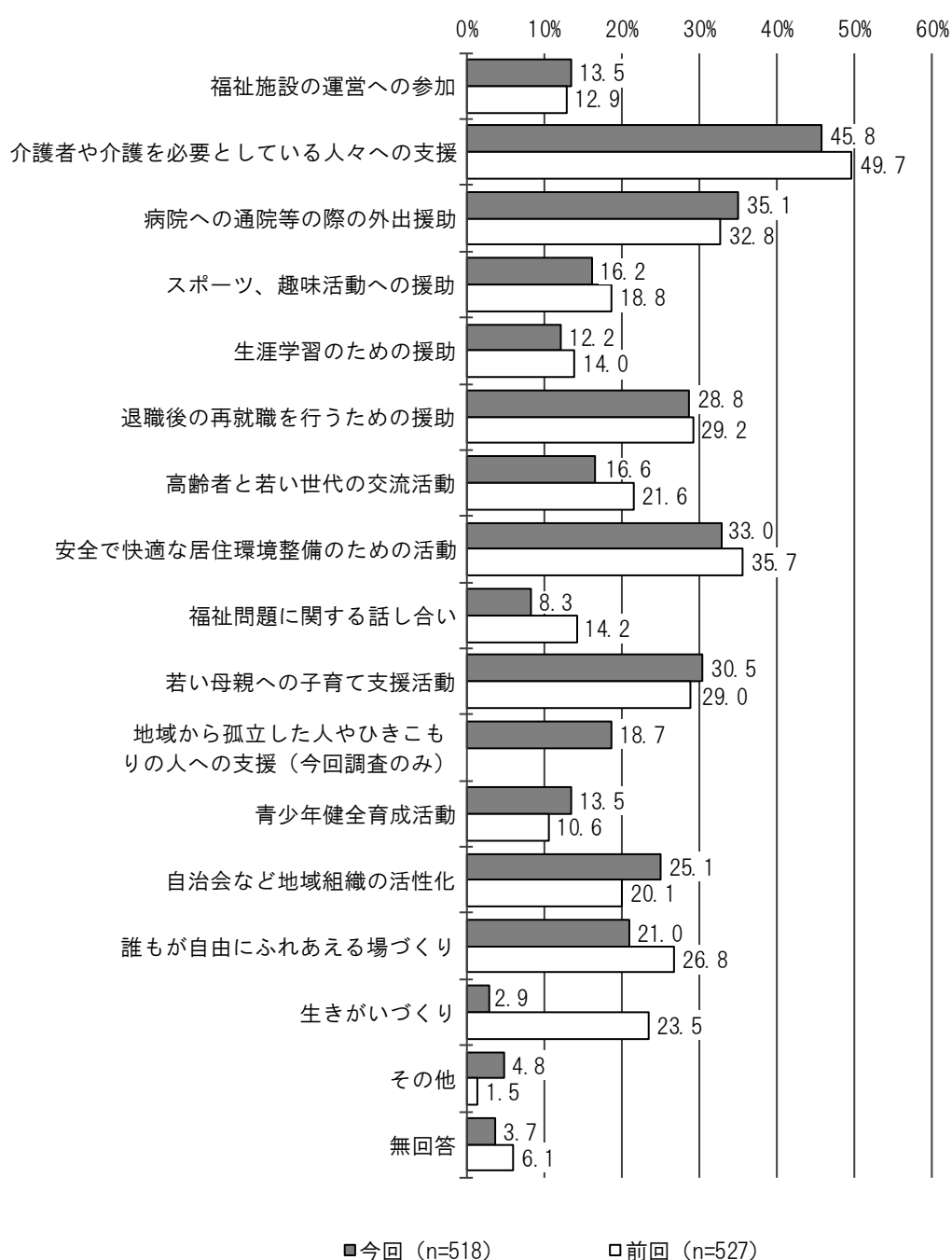
年齢別にみると、年齢が下がるにつれて「名前も活動内容も知らない」が多くなっています。



問 29 今後、地域福祉活動を推進していく上で、地域住民として、どのような取組が必要であるとお考えですか。（複数回答）

今後、地域福祉活動を推進していく上で、地域住民として、どのような取組が必要と考えるかについてみると、「介護者や介護を必要としている人々への支援」が 45.8%と最も多く、次いで「病院への通院等の際の外出援助」が 35.1%、「安全で快適な居住環境整備のための活動」が 33.0%となっています。

前回と比較すると、「生きがいづくり」が 20.6 ポイント、「福祉問題に関する話し合い」が 5.9 ポイント減少しています。



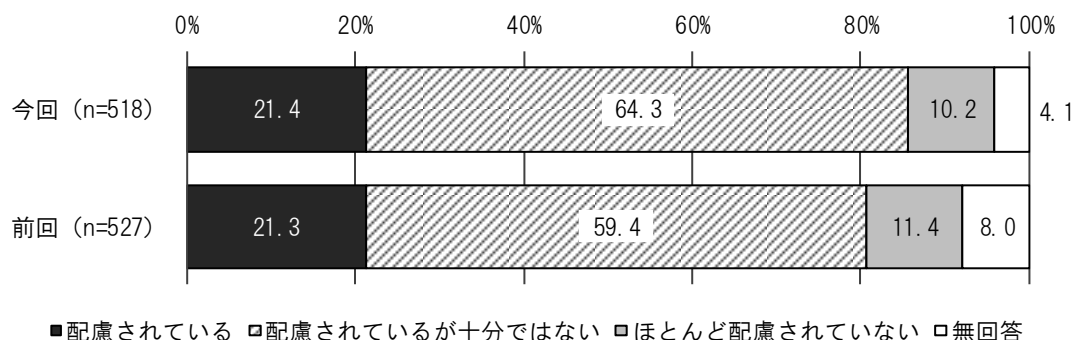
問 30 障がい者をはじめとして、高齢者や妊産婦等が支障なく外出できるような福祉のまちづくりの整備が課題となっていますが、次の施設の状況はどうでしょうか。

ア. 公園や公共施設等のスロープ設置

(単数回答)

公園や公共施設等のスロープ設置についてみると、「配慮されているが十分ではない」が 64.3%と最も多く、次いで「配慮されている」が 21.4%、「ほとんど配慮されていない」が 10.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

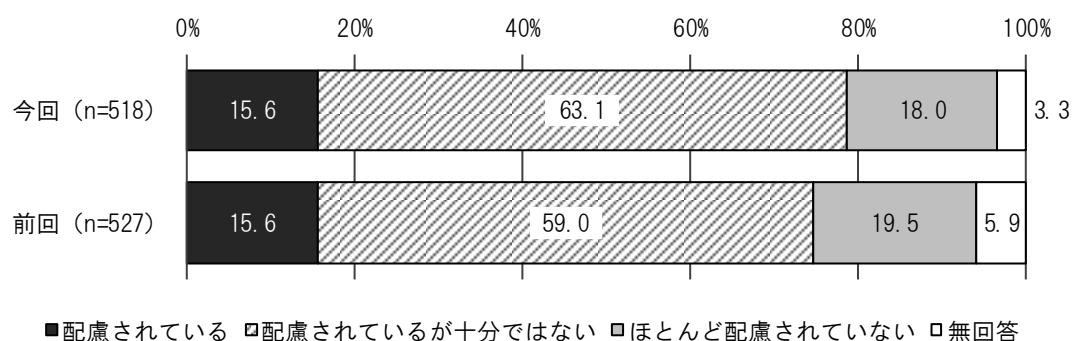


問 30 イ. 歩道の整備

(単数回答)

歩道の整備についてみると、「配慮されているが十分ではない」が 63.1%と最も多く、次いで「ほとんど配慮されていない」が 18.0%、「配慮されている」が 15.6%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

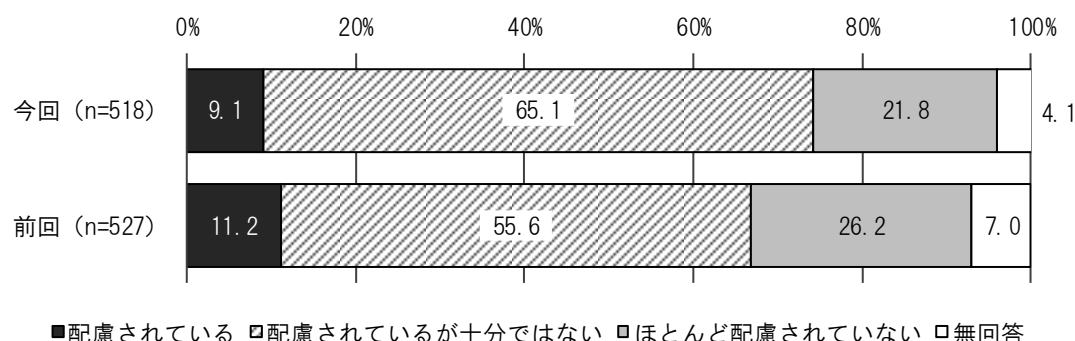


問 30 ウ. 道路等の段差の解消

(単数回答)

道路等の段差の解消についてみると、「配慮されているが十分ではない」が 65.1%と最も多く、次いで「ほとんど配慮されていない」が 21.8%、「配慮されている」が 9.1%となっています。

前回と比較すると、「配慮されているが十分ではない」が 9.5 ポイント増加しています。

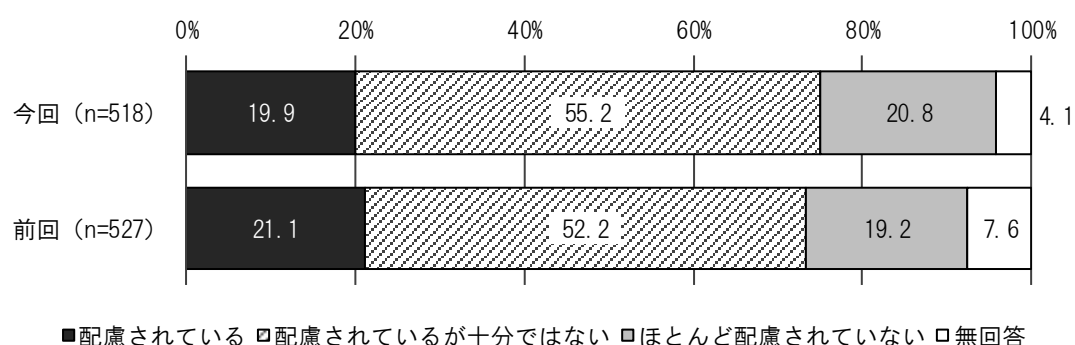


問 30 エ. エレベーターの設置

(単数回答)

エレベーターの設置についてみると、「配慮されているが十分ではない」が 55.2%と最も多く、次いで「ほとんど配慮されていない」が 20.8%、「配慮されている」が 19.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

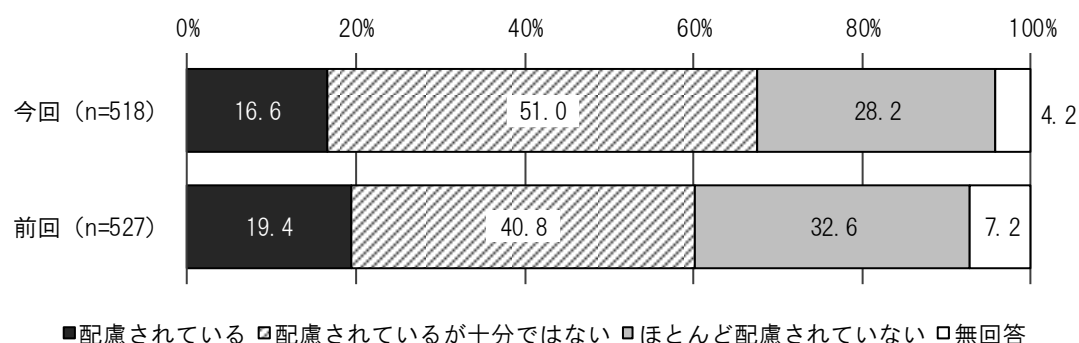


問 30 オ. 音の出る歩行者信号機

(単数回答)

音の出る歩行者信号機についてみると、「配慮されているが十分ではない」が 51.0%と最も多く、次いで「ほとんど配慮されていない」が 28.2%、「配慮されている」が 16.6%となっています。

前回と比較すると、「配慮されているが十分ではない」が 10.2 ポイント増加しています。

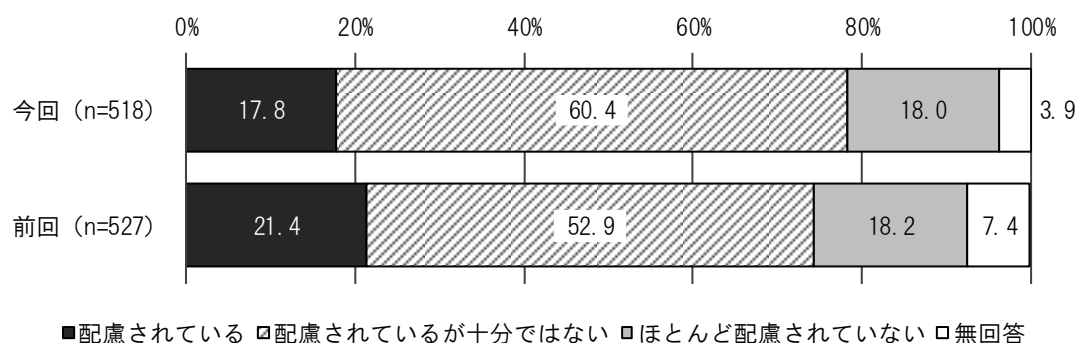


問 30 カ. 障がい者等に配慮したトイレの整備

(単数回答)

障がい者等に配慮したトイレの整備についてみると、「配慮されているが十分ではない」が 60.4%と最も多く、次いで「ほとんど配慮されていない」が 18.0%、「配慮されている」が 17.8%となっています。

前回と比較すると、「配慮されているが十分ではない」が 7.5 ポイント増加しています。

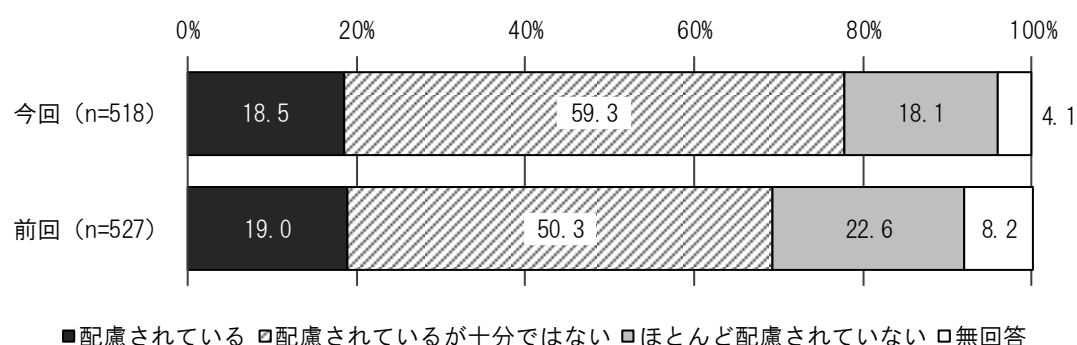


問 30 キ. 点字ブロック

(単数回答)

点字ブロックについてみると、「配慮されているが十分ではない」が 59.3%と最も多く、次いで「配慮されている」が 18.5%、「ほとんど配慮されていない」が 18.1%となっています。

前回と比較すると、「配慮されているが十分ではない」が 9.0 ポイント増加しています。

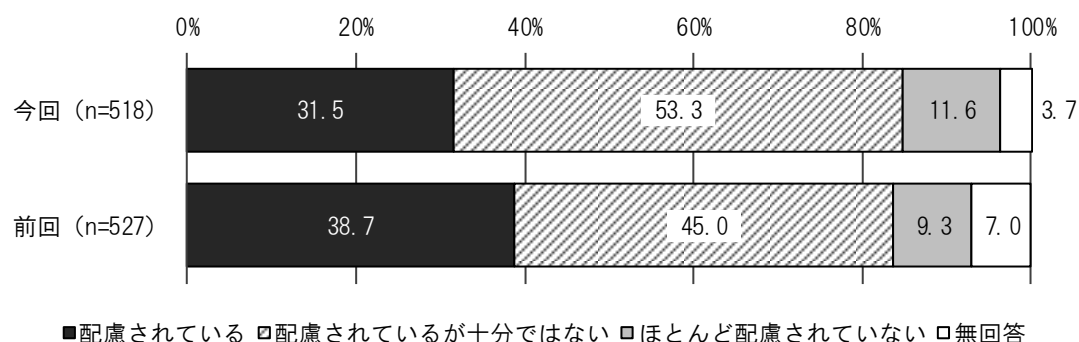


問 30 ク. 障がい者用駐車場

(単数回答)

障がい者用駐車場についてみると、「配慮されているが十分ではない」が 53.3%と最も多く、次いで「配慮されている」が 31.5%、「ほとんど配慮されていない」が 11.6%となっています。

前回と比較すると、「配慮されているが十分ではない」が 8.3 ポイント増加していますが、「配慮されている」が 7.2 ポイント減少しています。

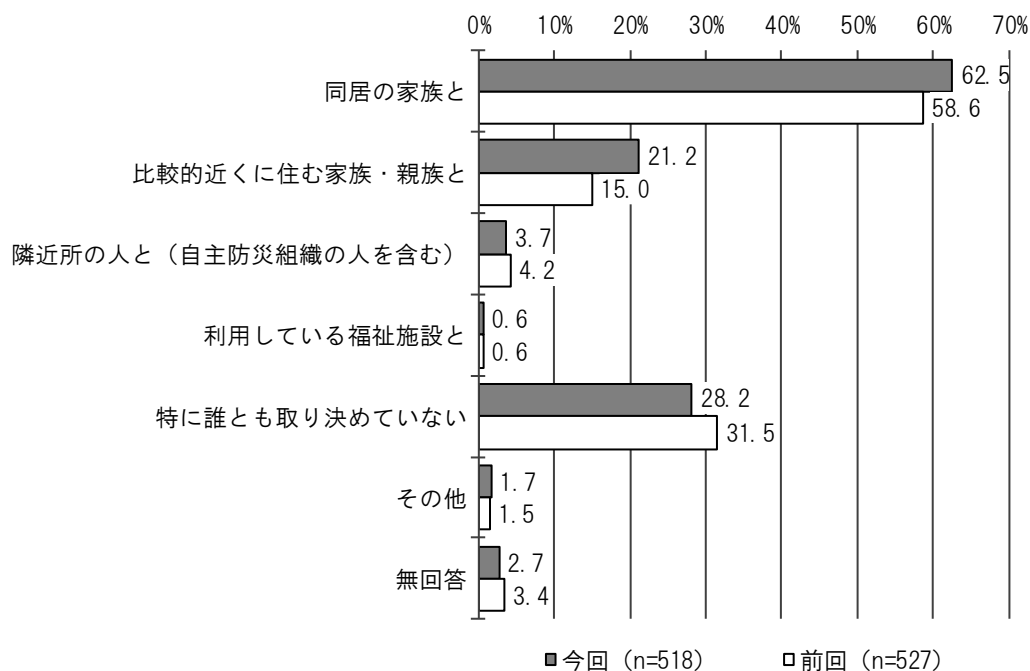


4 災害時に対する備えについて

問 31 あなたは、災害が起きた時の対応（連絡のとり方や避難の方法など）について、自分以外の誰かと取り決めていますか。（複数回答）

災害が起きた時の対応（連絡のとり方や避難の方法など）を、自分以外の誰かと取り決めていないかについてみると、「同居の家族と」が 62.5%と最も多く、次いで「特に誰とも取り決めていない」が 28.2%、「比較的近くに住む家族・親族と」が 21.2%となっています。

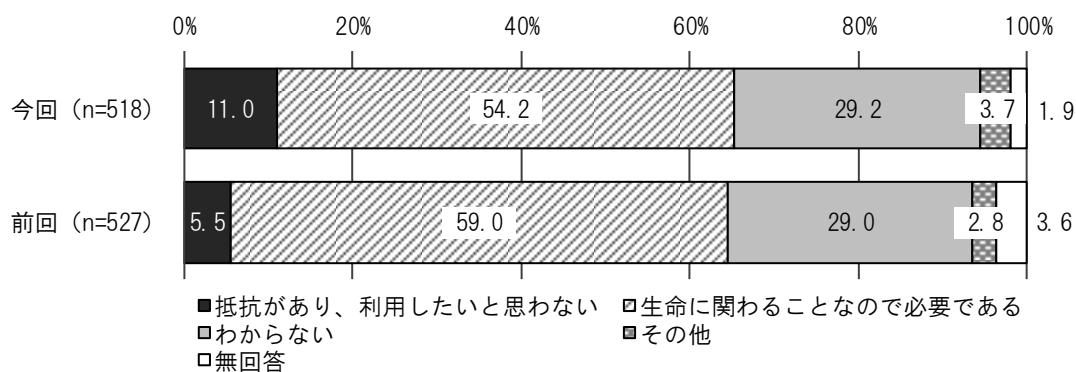
前回と比較すると、「比較的近くに住む家族・親族と」が 6.2 ポイント増加しています。



問 32 要援護者の住所や連絡先などの個人情報地域関係者で共有することに対してどのように思いますか。（単数回答）

要援護者の住所や連絡先などの個人情報を地域関係者で共有することに対して、どのように思うかについてみると、「生命に関わることなので必要である」が 54.2%と最も多く、次いで「わからない」が 29.2%、「抵抗があり、利用したいと思わない」が 11.0%となっています。

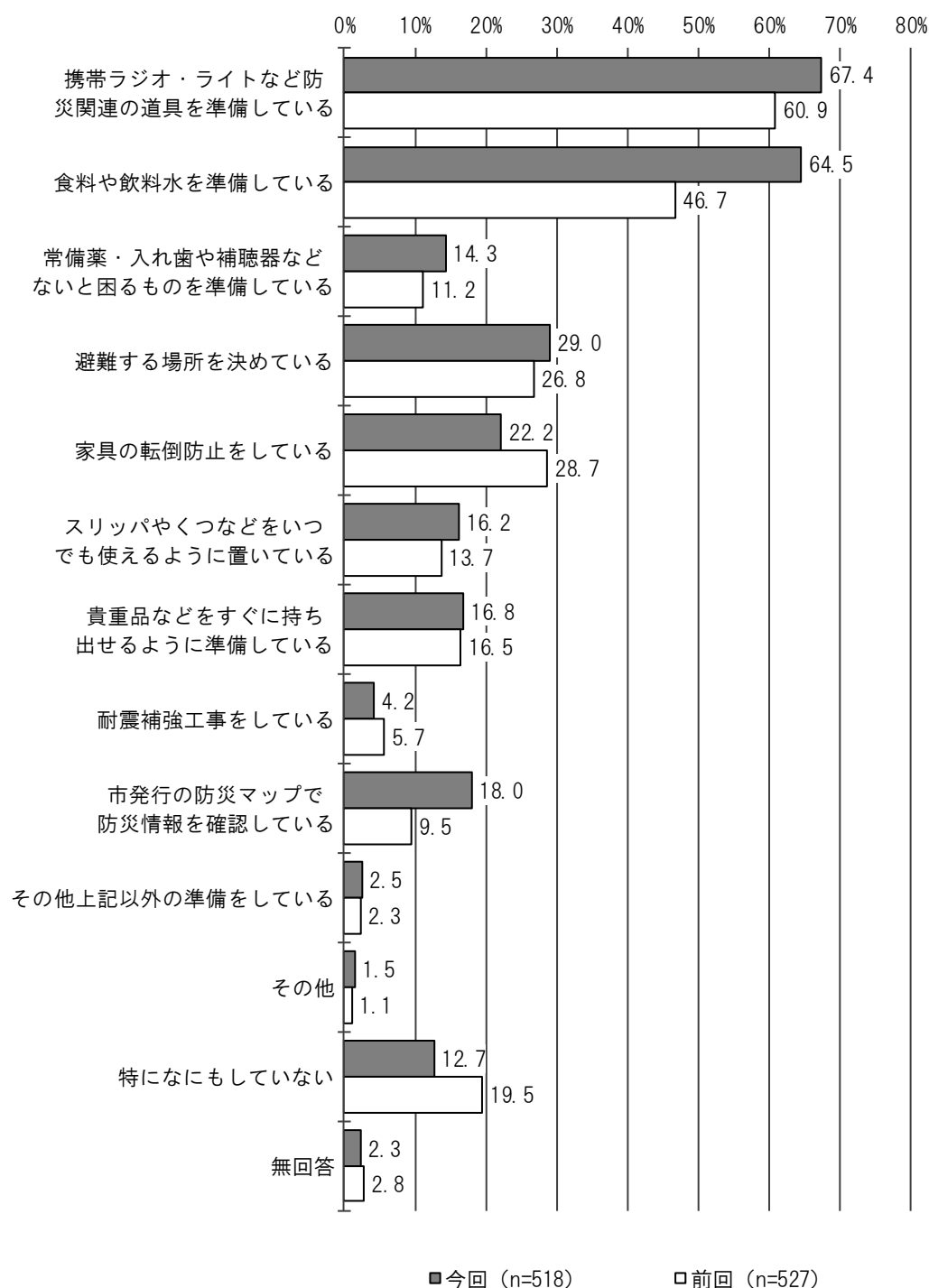
前回と比較すると、「抵抗があり、利用したいと思わない」が 5.5 ポイント増加しています。



問 33 あなたは、災害が起こった場合に備えてどのような準備をしていますか。
(複数回答)

災害が起こった場合に備えてどのような準備をしているかについてみると、「携帯ラジオ・ライトなど防災関連の道具を準備している」が 67.4%と最も多く、次いで「食料や飲料水を準備している」が 64.5%、「避難する場所を決めている」が 29.0%となっています。

前回と比較すると、「食料や飲料水を準備している」が 17.8 ポイント、「市発行の防災マップで防災情報を確認している」が 8.5 ポイント増加しています。

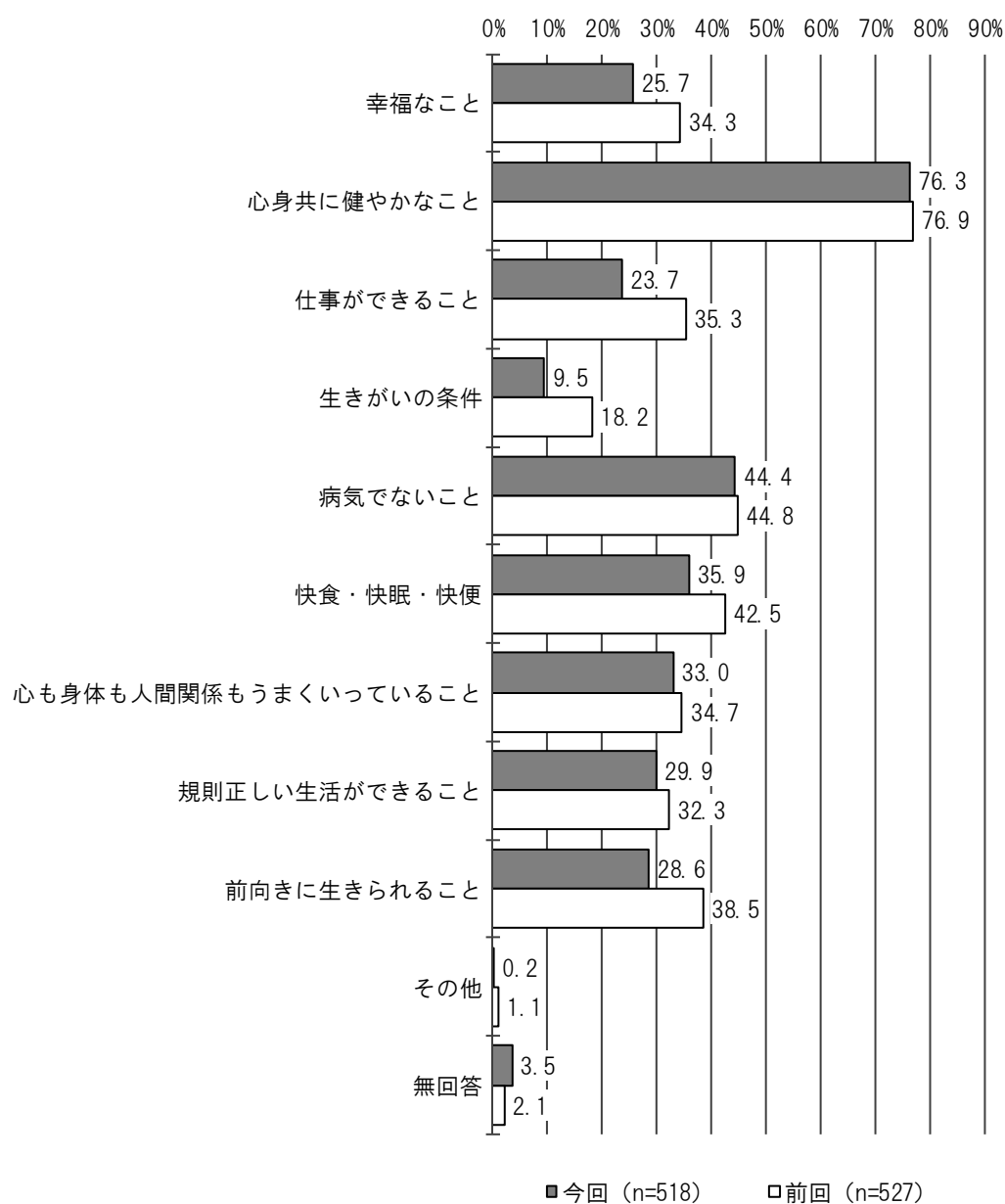


5 健康状態と健康への備えについて

問 34 「健康とはなんですか」と聞かれたら、どのように答えますか。 (複数回答)

「健康とはなんですか」と聞かれたら、どのように答えるかについてみると、「心身共に健やかなこと」が 76.3% と最も多く、次いで「病気でないこと」が 44.4%、「快食・快眠・快便」が 35.9%となっています。

前回と比較すると、「仕事ができること」が 11.6 ポイント、「前向きに生きられること」が 9.9 ポイント減少しています。

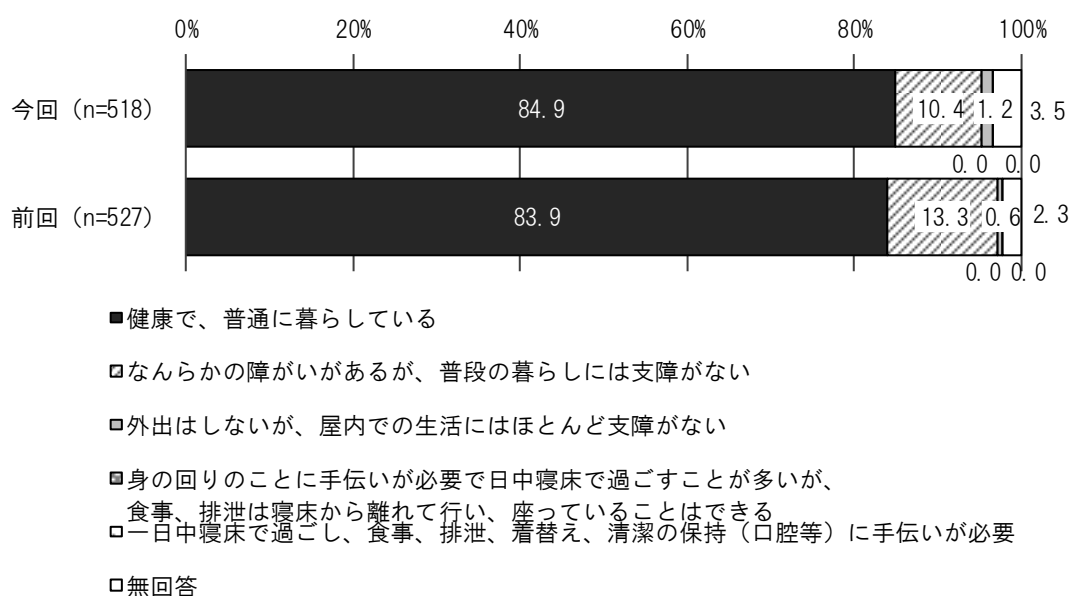


問 35 あなたの体調はいかがですか。

(単数回答)

体調についてみると、「健康で、普通に暮らしている」が84.9%と最も多く、次いで「なんらかの障がいがあるが、普段の暮らしには支障がない」が10.4%、「外出はしないが、屋内での生活にはほとんど支障がない」が1.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

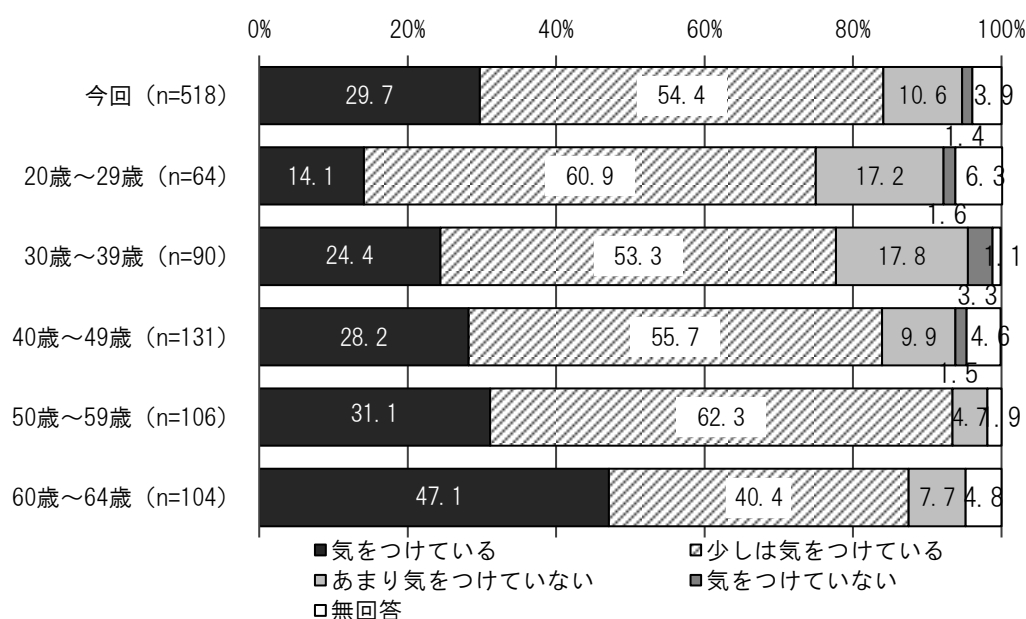


問 36 あなたは、ふだんから健康に気をつけていますか。

(単数回答)

ふだんから健康に気をつけているかについてみると、「少しは気をつけている」が54.4%と最も多く、次いで「気をつけている」が29.7%、「あまり気をつけていない」が10.6%となっています。

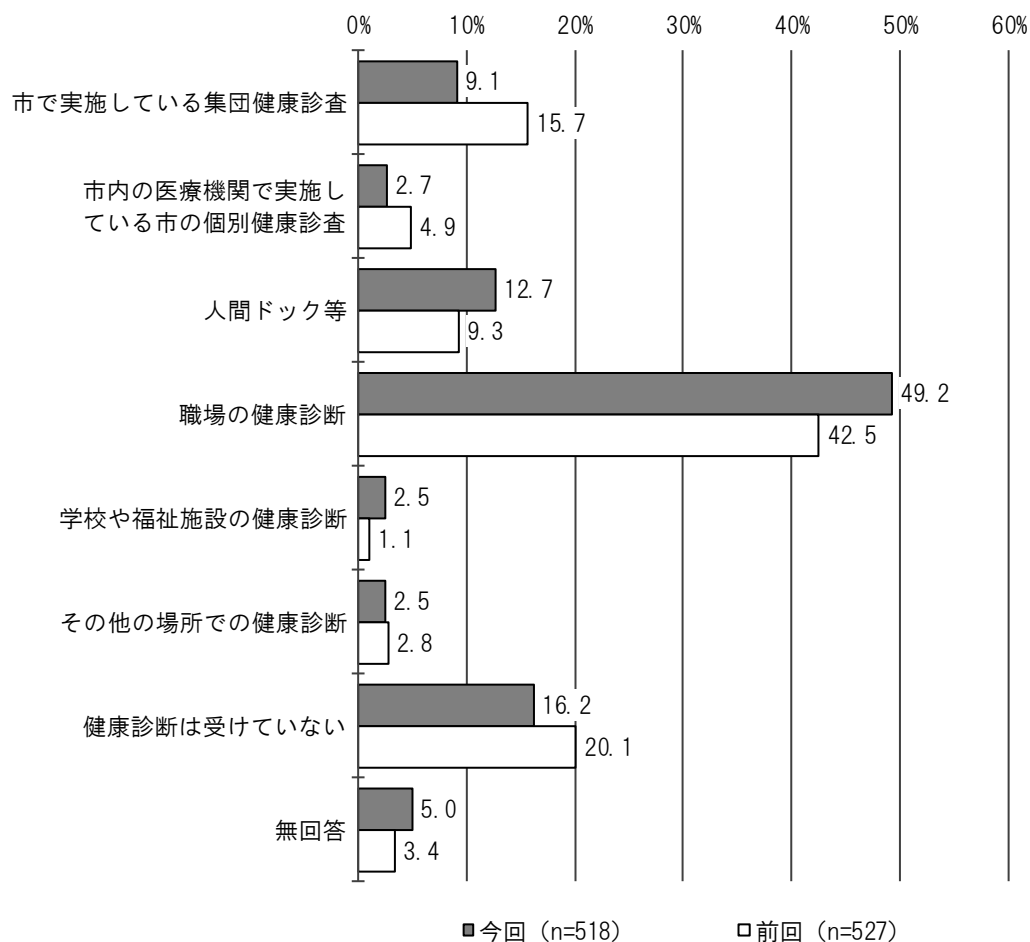
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「気をつけている」が多くなっています。



問 37 あなたは、過去 1 年間に健康診断（健康診査）を受けましたか。 （単数回答）

過去1年間に健康診断（健康診査）を受けたかについてみると、「職場の健康診断」が 49.2%と最も多く、次いで「健康診断は受けていない」が 16.2%、「人間ドック等」が 12.7%となっています。

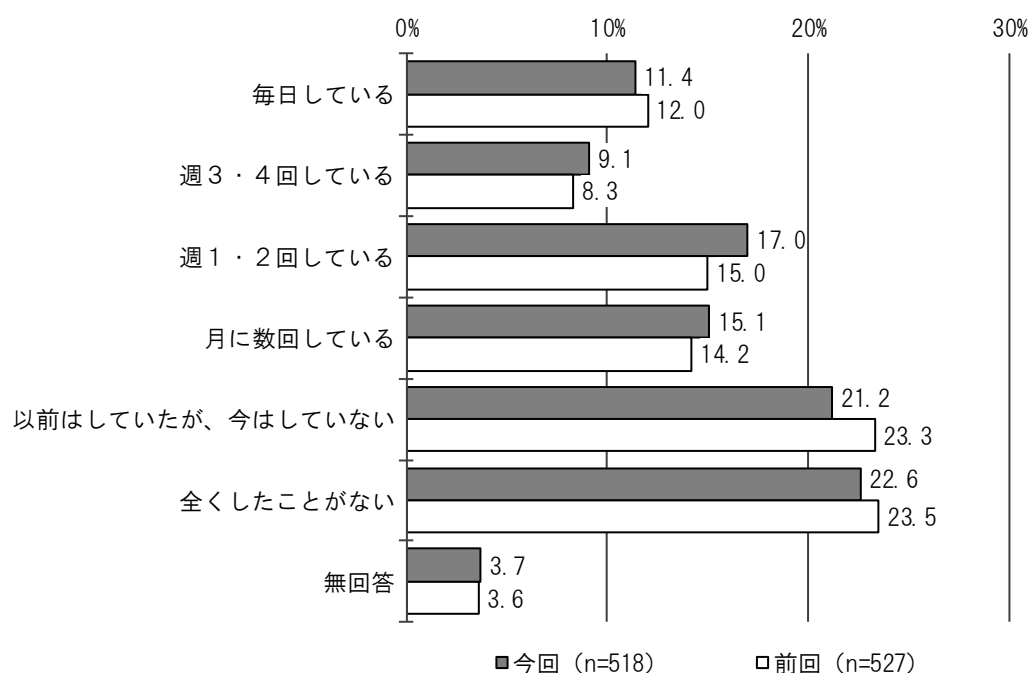
前回と比較すると、「職場の健康診断」が 6.7 ポイント増加していますが、「市で実施している集団健康診査」が 6.6 ポイント減少しています。



問 38 あなたは、日頃から、健康の維持増進のために、意識的に運動（ウォーキングの場合
30分程度）をしていますか。 (単数回答)

日頃から、健康の維持増進のために、意識的に運動しているかについてみると、「全くしたことがない」が22.6%と最も多く、次いで「以前はしていたが、今はしていない」が21.2%、「週1・2回している」が17.0%となっています。

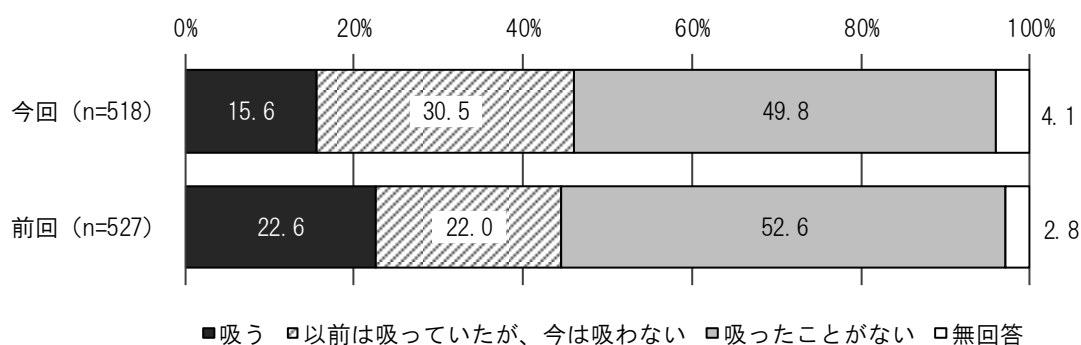
前回と比較すると、大きな差はみられません。



問 39 あなたは、タバコを吸いますか。 (単数回答)

タバコを吸うかについてみると、「吸ったことがない」が49.8%と最も多く、次いで「以前は吸っていたが、今は吸わない」が30.5%、「吸う」が15.6%となっています。

前回と比較すると、「以前は吸っていたが、今は吸わない」が8.5ポイント増加しており、「吸う」が7.0ポイント減少しています。

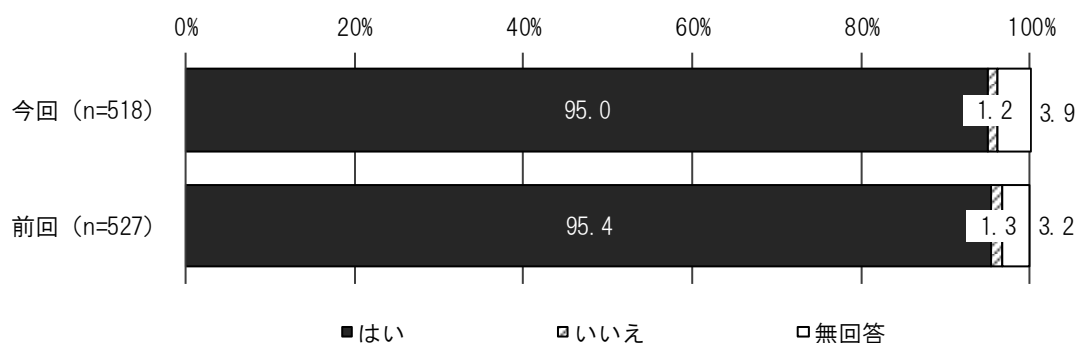


問 40 たばこが及ぼす健康への影響について知っていますか。

(単数回答)

たばこが及ぼす健康への影響について知っているかについてみると、「はい」が 95.0%、「いいえ」が 1.2%となっています。

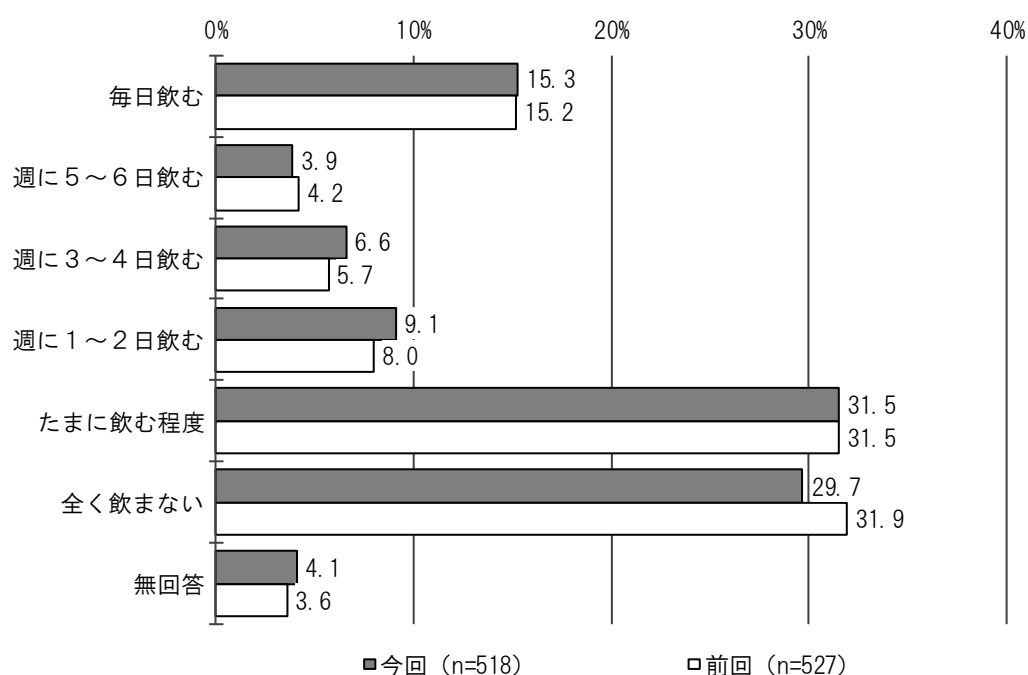
前回と比較すると、大きな差はみられません。



問 41 あなたはお酒（ビール、日本酒、洋酒など）をどの程度飲みますか。（単数回答）

お酒をどの程度飲むかについてみると、「たまに飲む程度」が 31.5%と最も多く、次いで「全く飲まない」が 29.7%、「毎日飲む」が 15.3%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

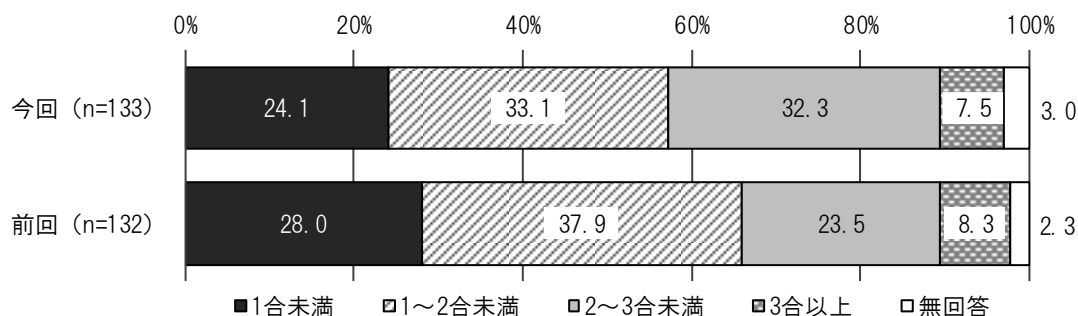


《問 41 で「毎日飲む」～「週に3～4日飲む」のいずれかをお答えの方》

問 41－1 あなたの、1 日当たりの飲酒量はどのくらいですか。 (単数回答)

1 日当たりの飲酒量についてみると、「1～2 合未満」が 33.1%と最も多く、次いで「2～3 合未満」が 32.3%、「1 合未満」が 24.1%となっています。

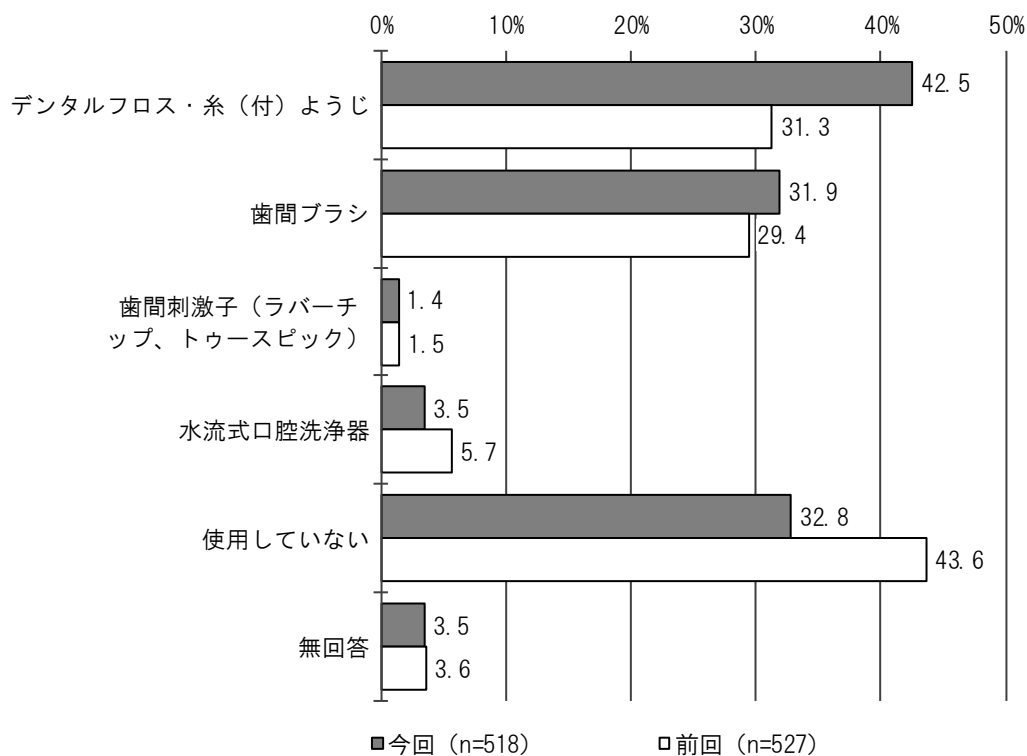
前回と比較すると、「2～3 合未満」が 8.8 ポイント増加しています。



問 42 あなたは、歯や歯のすき間の手入れのために、どのような歯間部清掃用具を使用していますか。 (複数回答)

使用している歯間部清掃用具についてみると、「デンタルフロス・糸(付)ようじ」が 42.5%と最も多く、次いで「使用していない」が 32.8%、「歯間ブラシ」が 31.9%となっています。

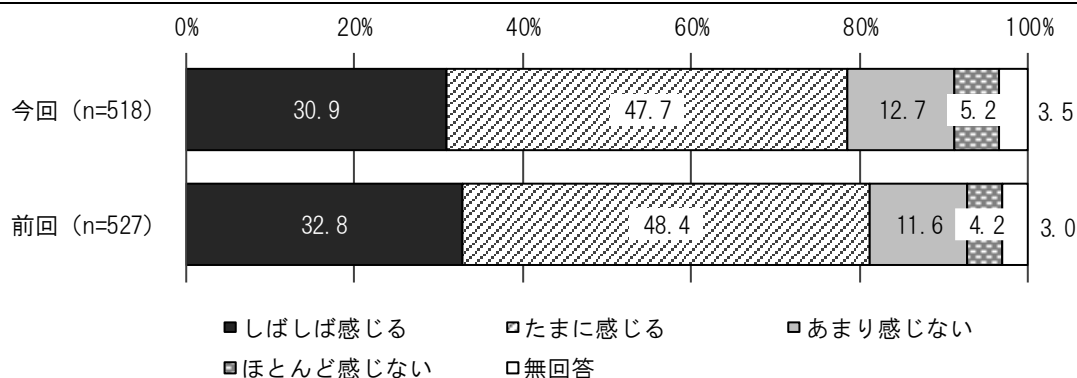
前回と比較すると、「デンタルフロス・糸(付)ようじ」が 11.2 ポイント増加しており、「使用していない」が 10.8 ポイント減少しています。



問 43 あなたは、毎日の生活の中でイライラしたり、ストレスを感じたりすることがあります。 (単数回答)

毎日の生活の中でイライラしたり、ストレスを感じたりすることがあるかについてみると、「たまに感じる」が 47.7%と最も多く、次いで「しばしば感じる」が 30.9%、「あまり感じない」が 12.7%となっています。

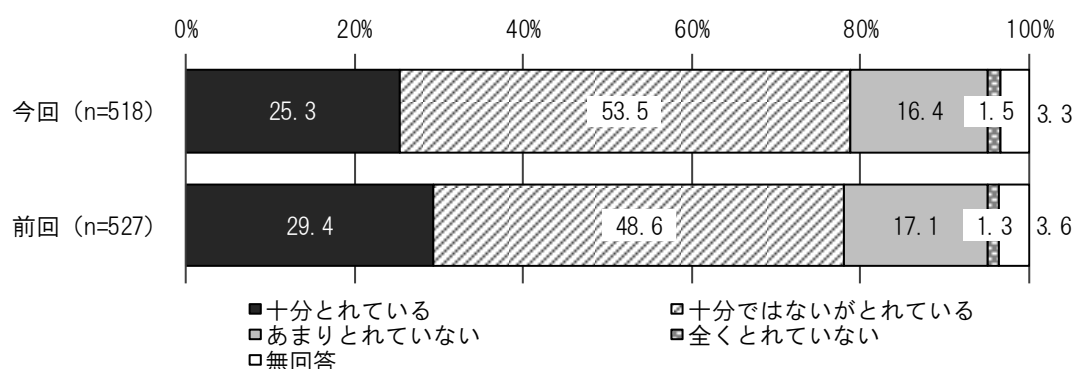
前回と比較すると、大きな差はみられません。



問 44 あなたは、睡眠による休養がとれていると思いますか。 (単数回答)

睡眠による休養がとれているかについてみると、「十分ではないがとれている」が 53.5%と最も多く、次いで「十分とれている」が 25.3%、「あまりとれていない」が 16.4%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

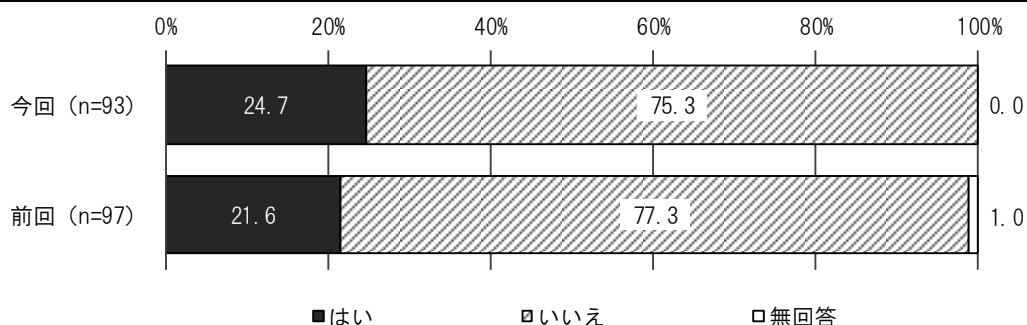


《問 44 で「あまりとれていない」「全くとれていない」とお答えの方》

問 44-1 睡眠不足の解消のために睡眠補助品（睡眠薬・精神安定剤）やアルコールを使ったことがありますか。 (単数回答)

睡眠不足の解消のために睡眠補助品（睡眠薬・精神安定剤）やアルコールを使ったことがあるかについてみると、「はい」が 24.7%、「いいえ」が 75.3%となっています。

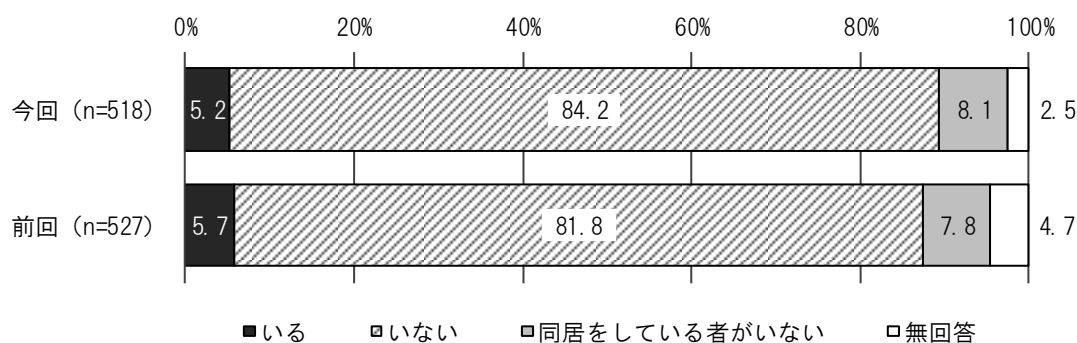
前回と比較すると、大きな差はみられません。



問 45 同居しているご家族に、病気や障がいにより介護が必要な方はいますか。
(単数回答)

同居しているご家族に、病気や障がいにより介護が必要な方はいるかについてみると、「いない」が 84.2%と最も多く、次いで「同居をしている者がいない」が 8.1%、「いる」が 5.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

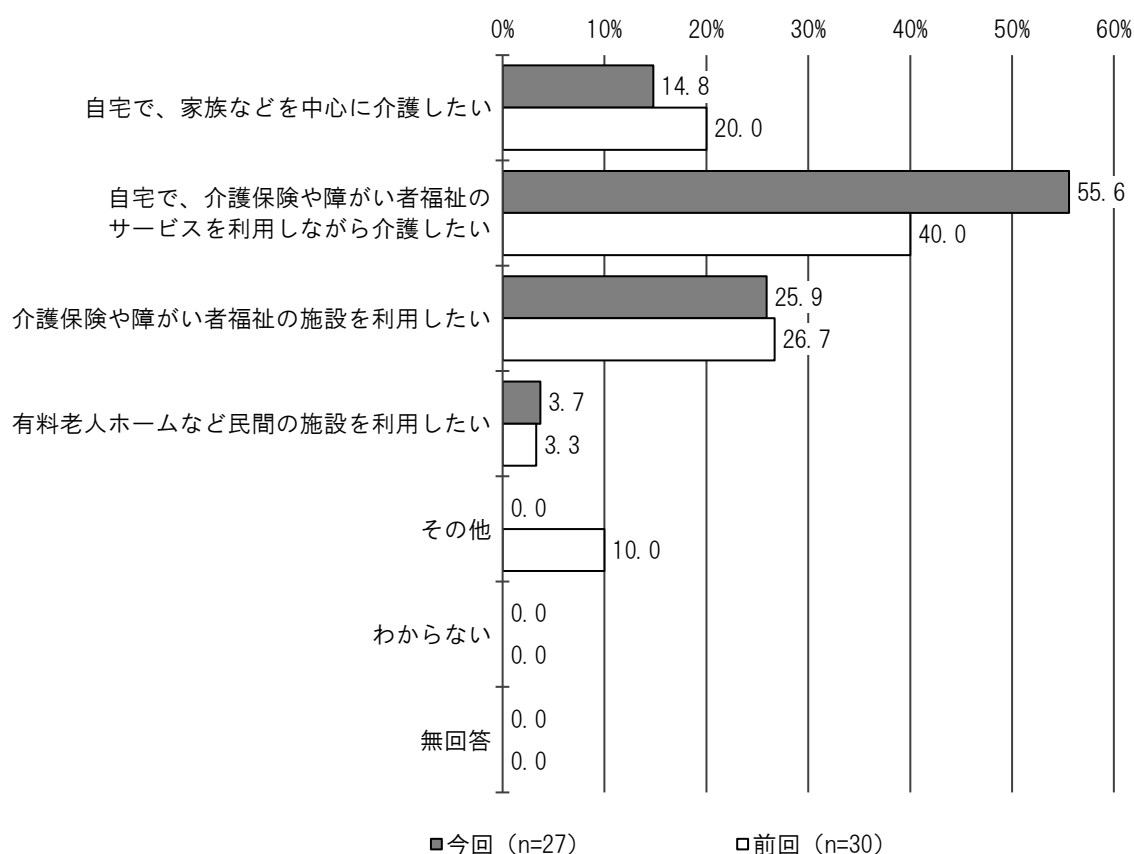


《問 45 で「いる」とお答えの方》

問 45-1 その方の介護をどのようにしたいとお考えですか。
(単数回答)

その方の介護をどのようにしたいと考えているかについてみると、「自宅で、介護保険や障がい者福祉のサービスを利用しながら介護したい」が 55.6%と最も多く、次いで「介護保険や障がい者福祉の施設を利用したい」が 25.9%、「自宅で、家族などを中心に介護したい」が 14.8%となっています。

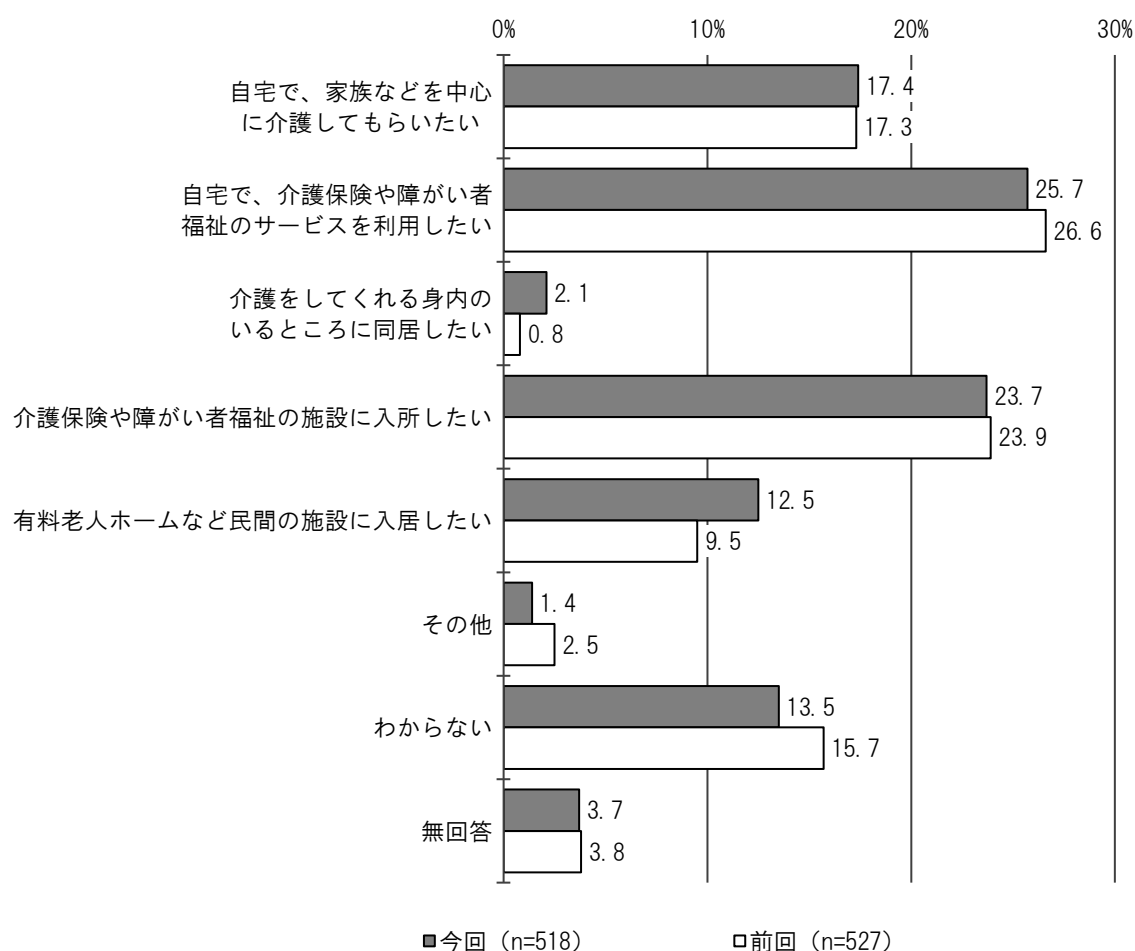
前回と比較すると、「自宅で、介護保険や障がい者福祉のサービスを利用しながら介護したい」が 15.6 ポイント増加しています。



問 46 今後、あなたご自身に介護が必要となったとき、あなたはどこで身の回りの世話を
してもらいたいと思いますか。 (単数回答)

介護が必要となったとき、どこで身の回りの世話をしてもらいたいと思うかについてみると、「自宅で、介護保険や障がい者福祉のサービスを利用したい」が25.7%と最も多く、次いで「介護保険や障がい者福祉の施設に入所したい」が23.7%、「自宅で、家族などを中心に介護してもらいたい」が17.4%となっています。

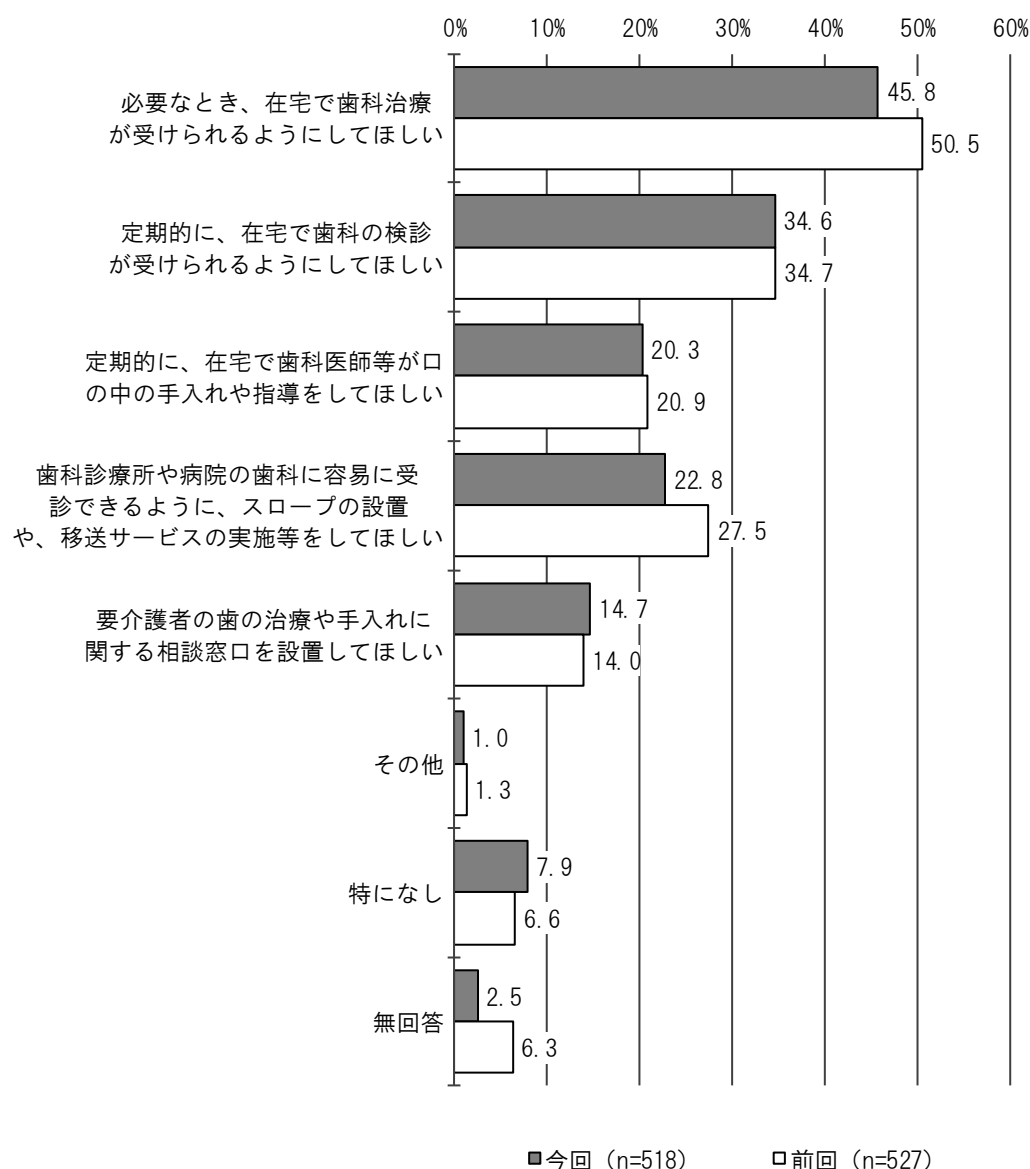
前回と比較すると、大きな差はみられません。



問 47 あなたは、もしご自分が寝たきり等の状態で在宅介護を受けるようになったとしたら、どのようなサービスを望みますか。
(複数回答)

寝たきり等の状態で在宅介護を受けるときに、望むサービスについてみると、「必要なとき、在宅で歯科治療が受けられるようにしてほしい」が 45.8%と最も多く、次いで「定期的に、在宅で歯科の検診が受けられるようにしてほしい」が 34.6%、「歯科診療所や病院の歯科に容易に受診できるように、スロープの設置や、移送サービスの実施等をしてほしい」が 22.8%となっています。

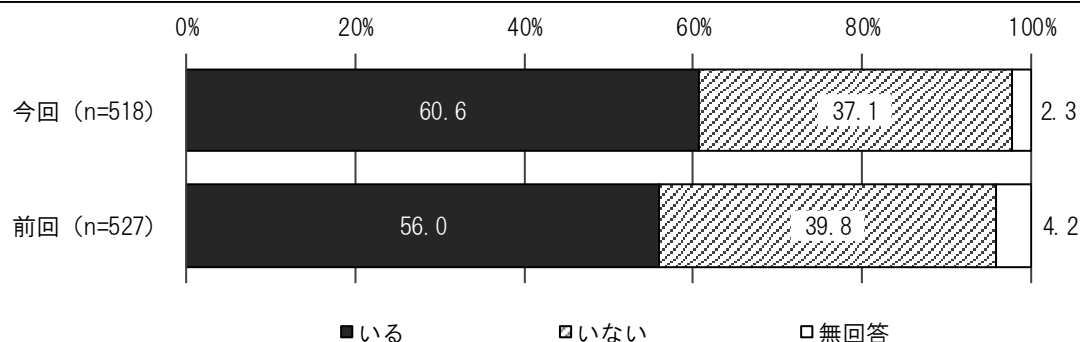
前回と比較すると、大きな差はみられません。



6 かかりつけ医について

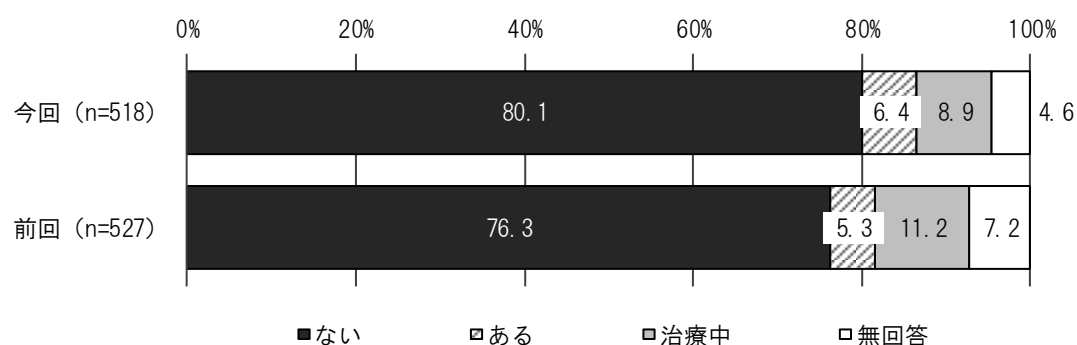
問 48 あなたには、かかりつけのお医者さんはいますか。 (単数回答)

かかりつけのお医者さんがいるかについてみると、「いる」が 60.6%、「いない」が 37.1%となっています。
前回と比較すると、大きな差はみられません。



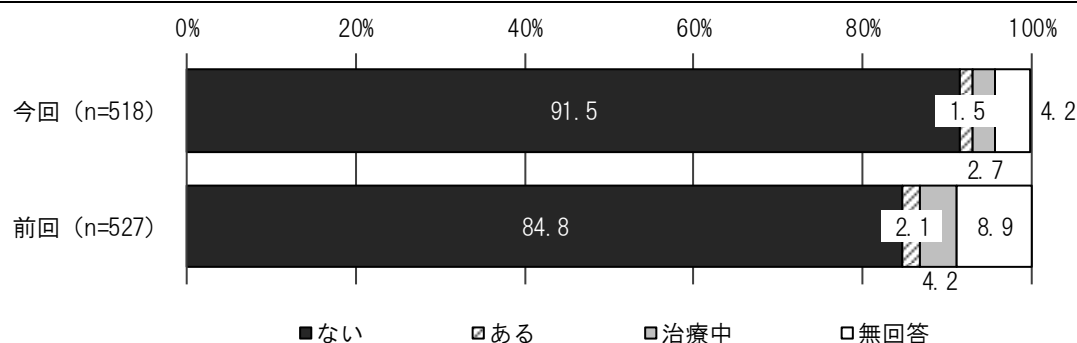
問 49 次の病気の中で、これまでに診断されたり、治療をうけたりしたものはありますか。
ア. 高血圧 (単数回答)

高血圧の診断、治療をうけたかについてみると、「ない」が 80.1%と最も多く、次いで「治療中」が 8.9%、「ある」が 6.4%となっています。
前回と比較すると、大きな差はみられません。



問 49 次の病気の中で、これまでに診断されたり、治療をうけたりしたものはありますか。
イ. 糖尿病 (単数回答)

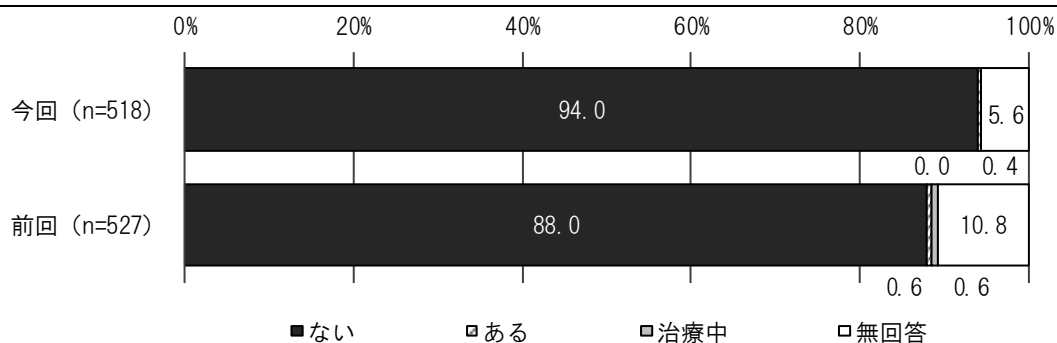
糖尿病の診断、治療をうけたかについてみると、「ない」が 91.5%と最も多く、次いで「治療中」が 2.7%、「ある」が 1.5%となっています。
前回と比較すると、「ない」が 6.7 ポイント増加しています。



問 49 次の病気の中で、これまでに診断されたり、治療をうけたりしたものはありますか。
ウ. 脳卒中 (単数回答)

脳卒中の診断、治療をうけたかについてみると、「ない」が 94.0%と最も多く、次いで「ある」が 0.4%となっています。

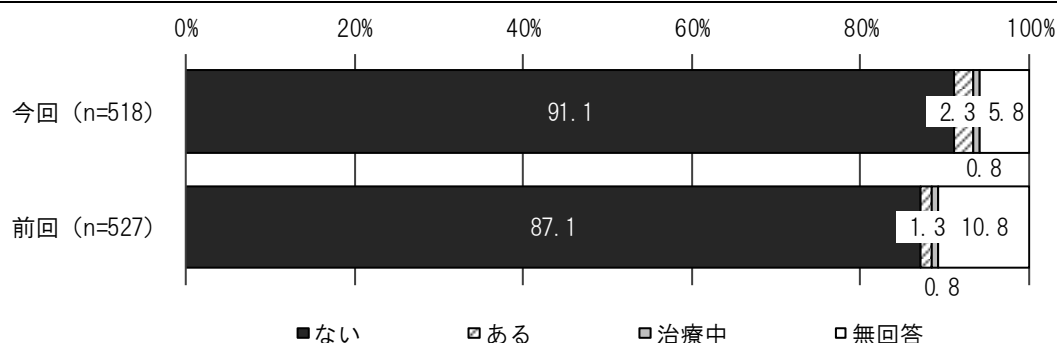
前回と比較すると、「ない」が 6.0 ポイント増加しています。



問 49 次の病気の中で、これまでに診断されたり、治療をうけたりしたものはありますか。
エ. 心疾患 (単数回答)

心疾患の診断、治療をうけたかについてみると、「ない」が 91.1%と最も多く、次いで「ある」が 2.3%、「治療中」が 0.8%となっています。

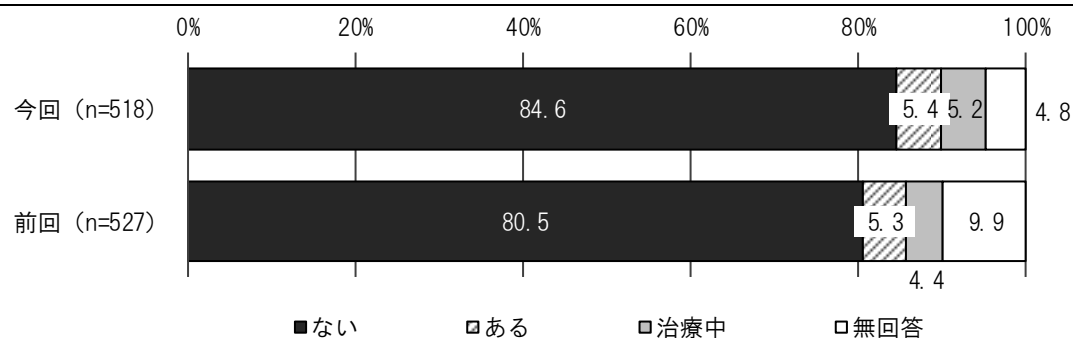
前回と比較すると、大きな差はみられません。



問 49 次の病気の中で、これまでに診断されたり、治療をうけたりしたものはありますか。
オ. 高脂血症 (単数回答)

高脂血症の診断、治療をうけたかについてみると、「ない」が 84.6%と最も多く、次いで「ある」が 5.4%、「治療中」が 5.2%となっています。

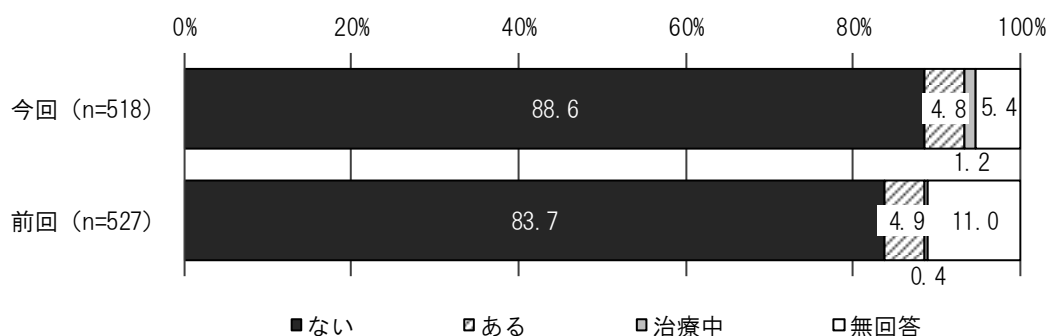
前回と比較すると、大きな差はみられません。



問 49 次の病気の中で、これまでに診断されたり、治療をうけたりしたものはありますか。
カ. 心の病気 (単数回答)

心の病気の診断、治療をうけたかについてみると、「ない」が 88.6%と最も多く、次いで「ある」が 4.8%、「治療中」が 1.2%となっています。

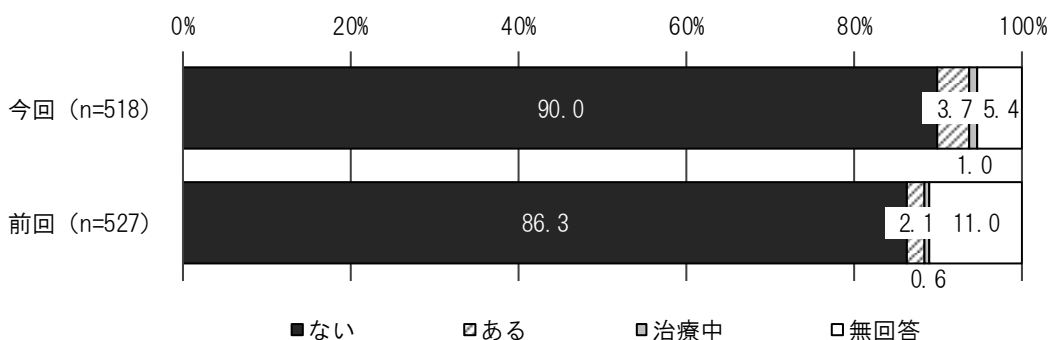
前回と比較すると、大きな差はみられません。



問 49 次の病気の中で、これまでに診断されたり、治療をうけたりしたものはありますか。
キ. 睡眠障害 (単数回答)

睡眠障害の診断、治療をうけたかについてみると、「ない」が 90.0%と最も多く、次いで「ある」が 3.7%、「治療中」が 1.0%となっています。

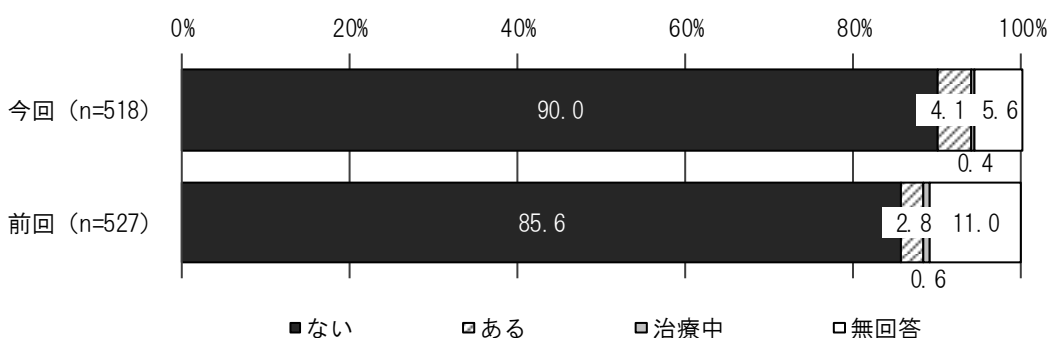
前回と比較すると、大きな差はみられません。



問 49 次の病気の中で、これまでに診断されたり、治療をうけたりしたものはありますか。
ク. がん (単数回答)

がんの診断、治療をうけたかについてみると、「ない」が 90.0%と最も多く、次いで「ある」が 4.1%、「治療中」が 0.4%となっています。

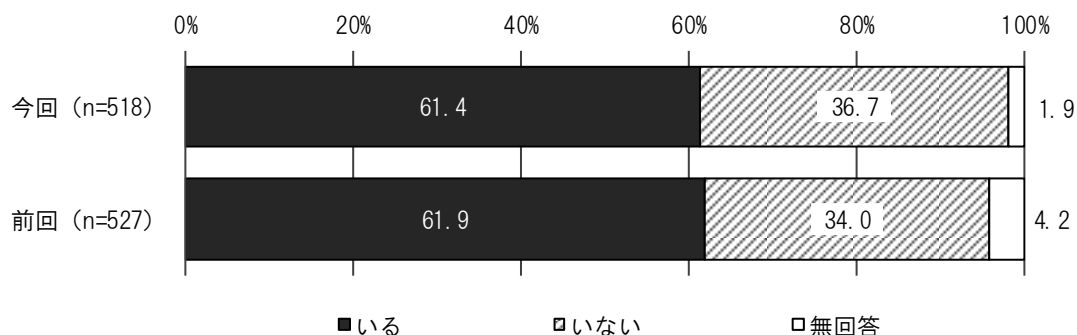
前回と比較すると、大きな差はみられません。



問 50 あなたには、かかりつけの歯医者さんがいますか。

(単数回答)

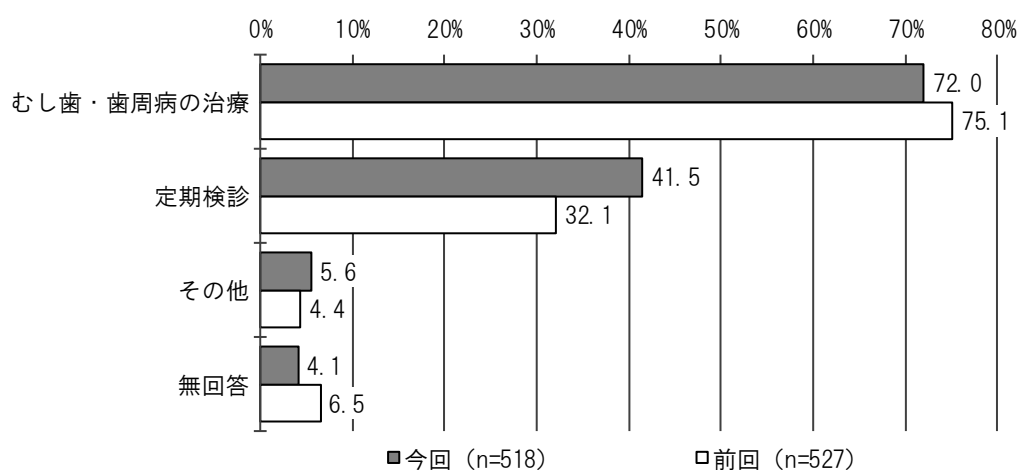
かかりつけの歯医者さんがいるかについてみると、「いる」が 61.4%、「いない」が 36.7%となっています。
前回と比較すると、大きな差はみられません。



問 51 あなたが、歯科に通院する理由は何ですか。

(複数回答)

歯科に通院する理由についてみると、「むし歯・歯周病の治療」が 72.0%と最も多く、次いで「定期検診」が 41.5%、「その他」が 5.6%となっています。
前回と比較すると、「定期検診」が 9.4 ポイント増加しています。

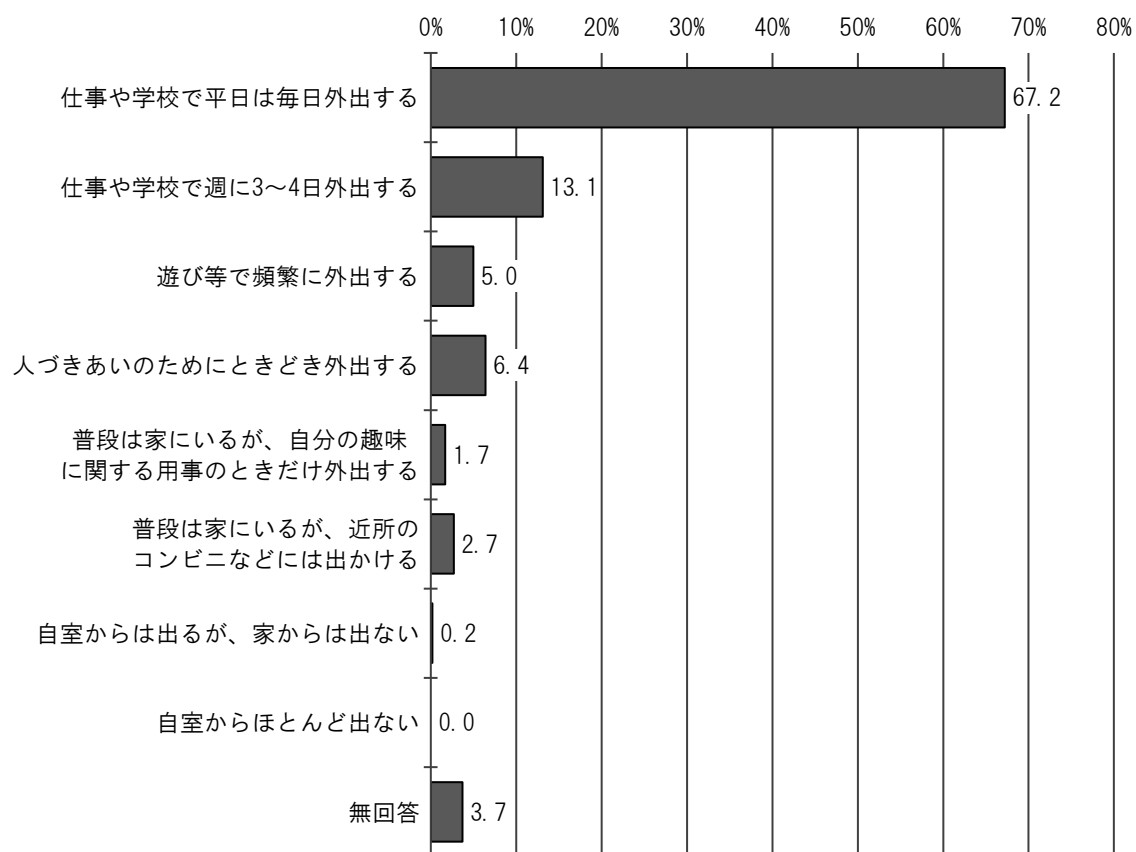


7 あなたの生活状況について

問 52 あなたは、普段どのくらい外出しますか。

(単数回答)

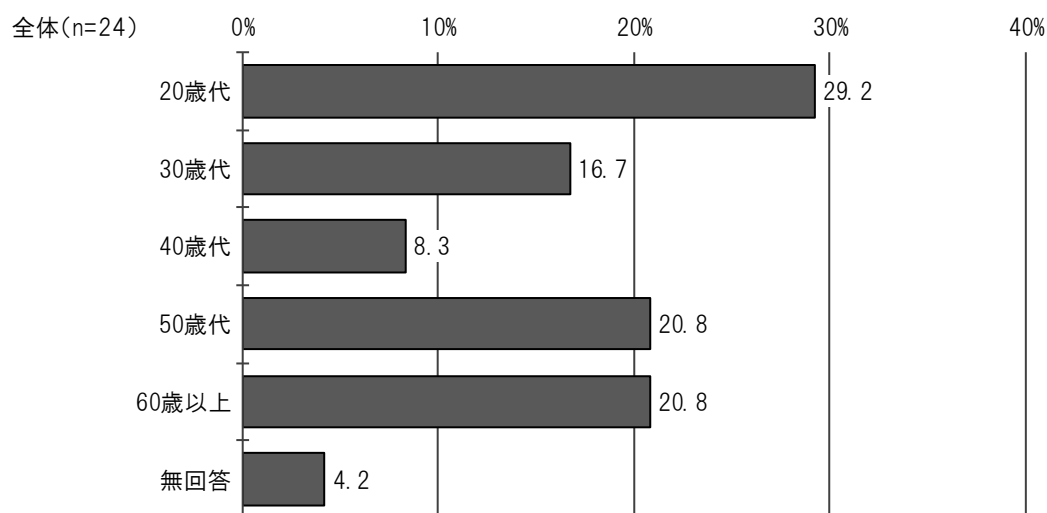
普段の外出頻度についてみると、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 67.2%と最も多く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」が 13.1%、「人づきあいのためにときどき外出する」が 6.4%となっています。



《問 52 で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」～「自室からほとんど出ない」のいずれかをお答えの方》

問 52－1 現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。 (数量回答)

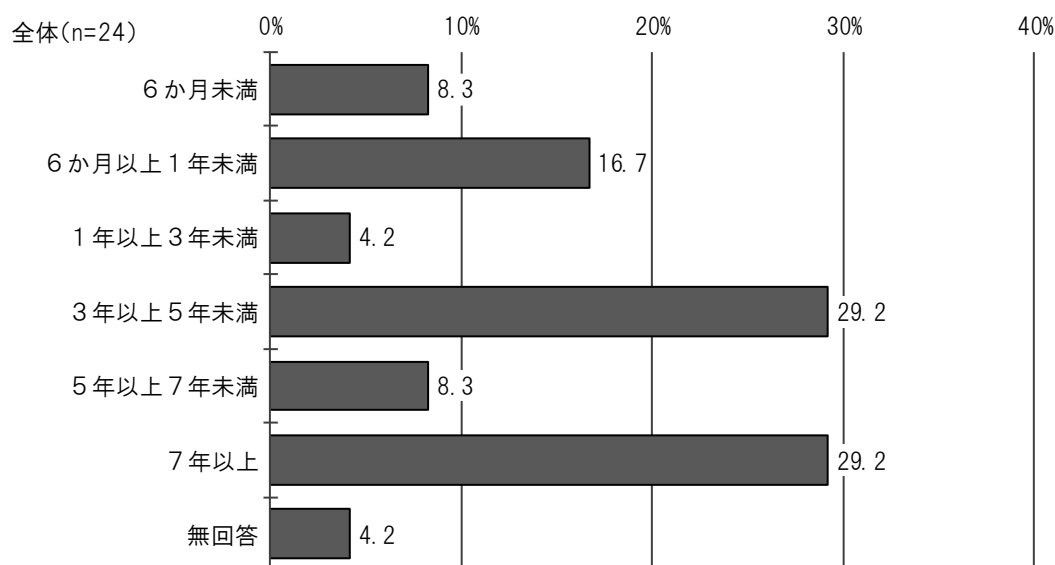
現在の状態になった年齢についてみると、「20 歳代」が 29.2%と最も多く、次いで「50 歳代」「60 歳以上」が 20.8%、「30 歳代」が 16.7%となっています。



《問 52 で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」～「自室からほとんど出ない」のいずれかをお答えの方》

問 52－2 現在の状態となってどのくらい経ちますか (単数回答)

現在の状態となってどのくらい経つかについてみると、「3年以上5年未満」「7年以上」が 29.2%と最も多く、次いで「6か月以上1年未満」が 16.7%、「6か月未満」「5年以上7年未満」が 8.3%となっています。

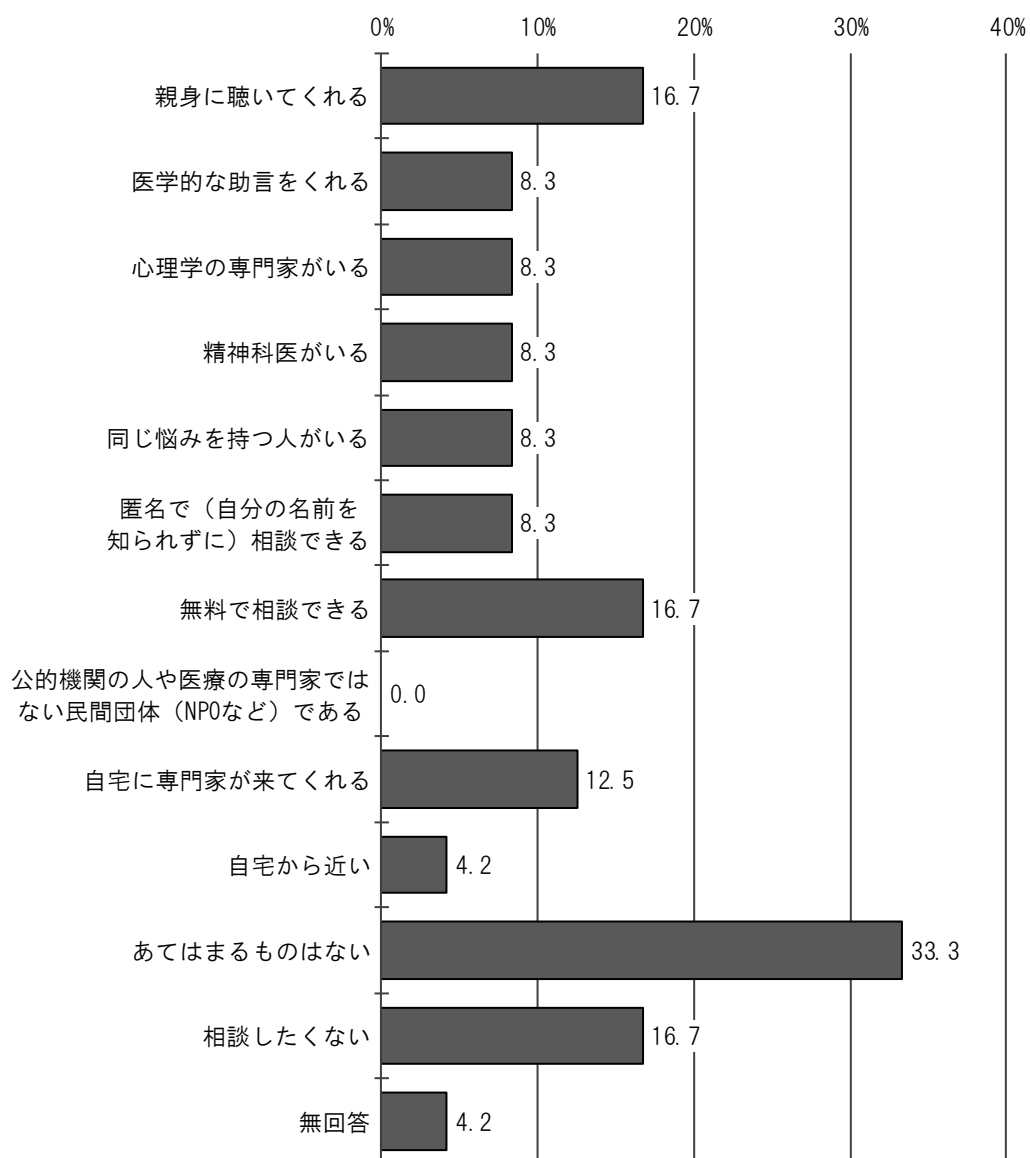


《問 52 で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」～「自室からほとんど出ない」のいずれかをお答えの方》

問 52－3 現在の状態について、どのようなところなら相談したいと思いますか。
(複数回答)

現在の状態について、どのようなところなら相談したいと思うかについてみると、「あてはまるものはない」が 33.3%と最も多く、次いで「親身に聴いてくれる」「無料で相談できる」「相談したくない」が 16.7%、「自宅に専門家が来てくれる」が 12.5%となっています。

全体(n=24)

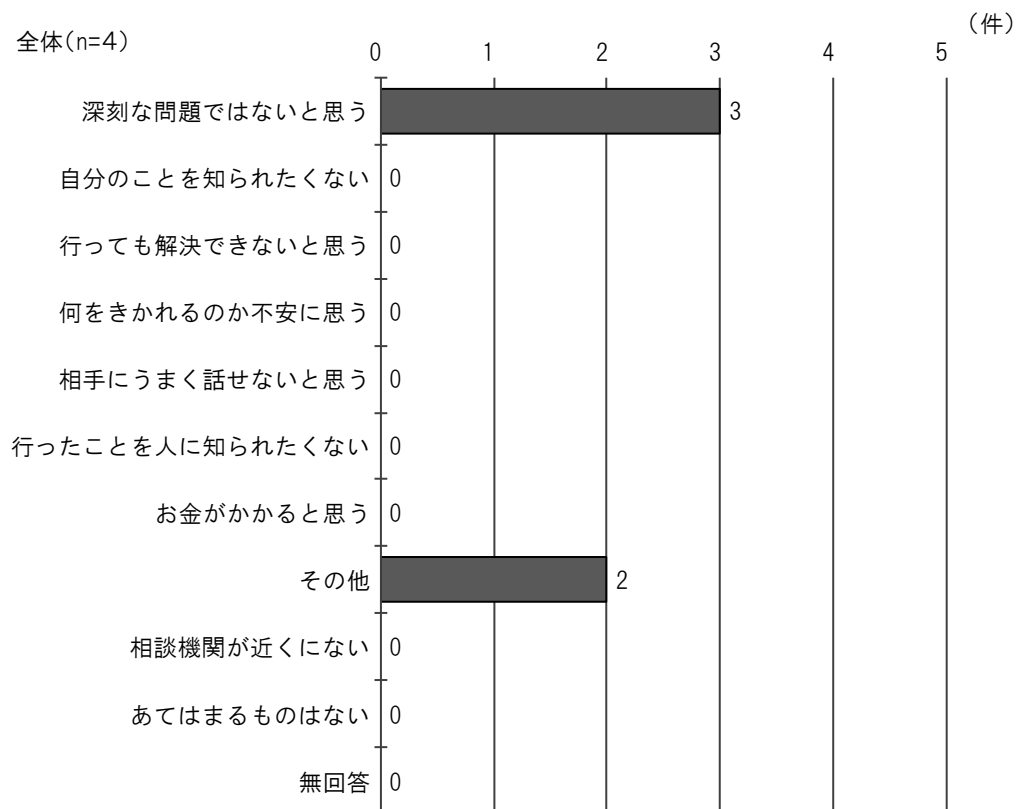


《問 52－3で「相談したくない」とお答えの方》

問 52－4 相談したくないと思う理由は何ですか。

(複数回答)

相談したくないと思う理由についてみると、「深刻な問題ではないと思う」が3件と最も多く、次いで「その他」が2件となっています。

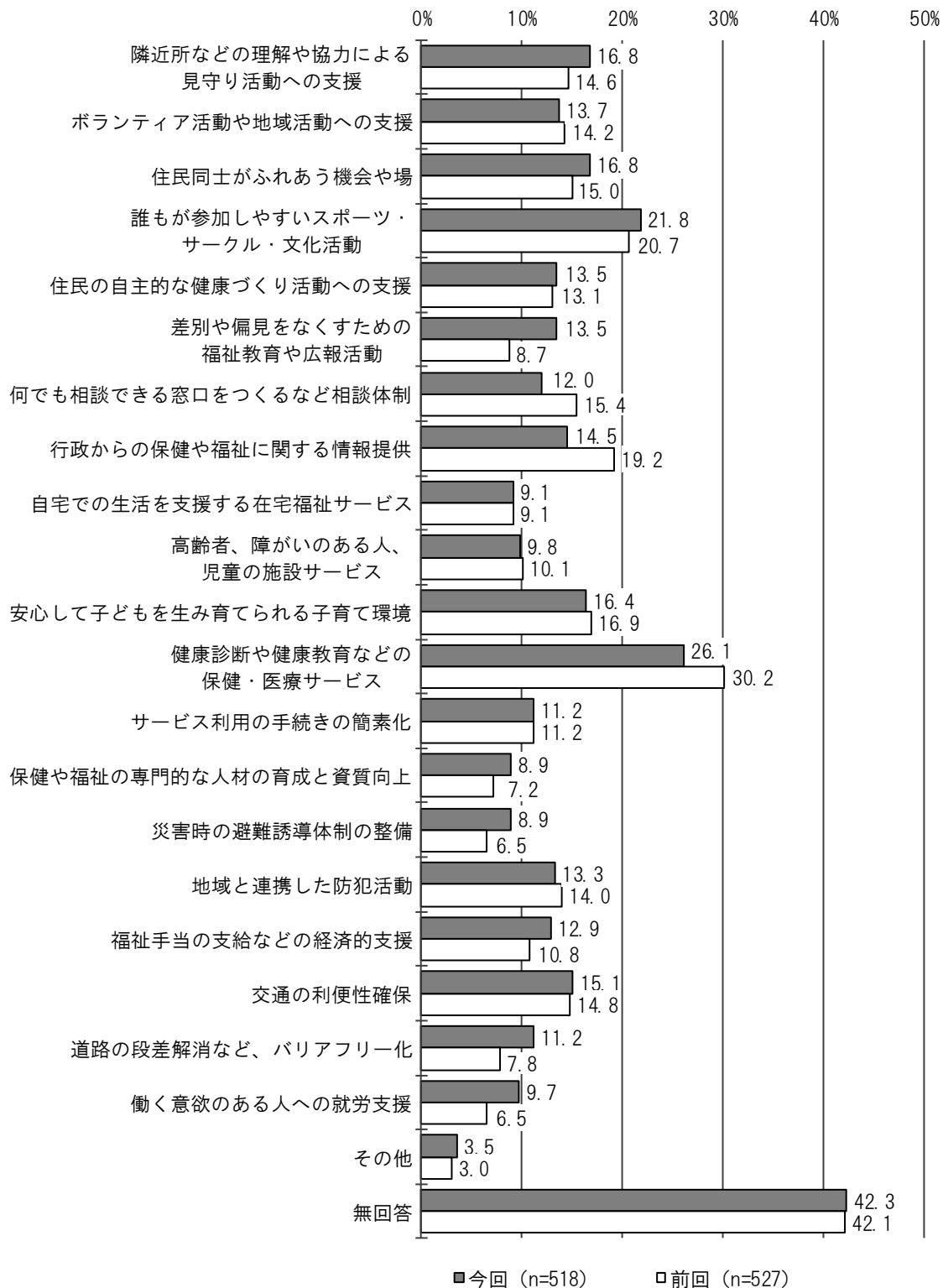


8 成田市の保健福祉について

問 53 ①成田市の保健福祉について、現在満足しているものは何ですか。（複数回答）

成田市の保健福祉で、現在満足しているものについてみると、「健康診断や健康教育などの保健・医療サービス」が 26.1%と最も多く、次いで「誰もが参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動」が 21.8%、「隣近所などの理解や協力による見守り活動への支援」が 16.8%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。



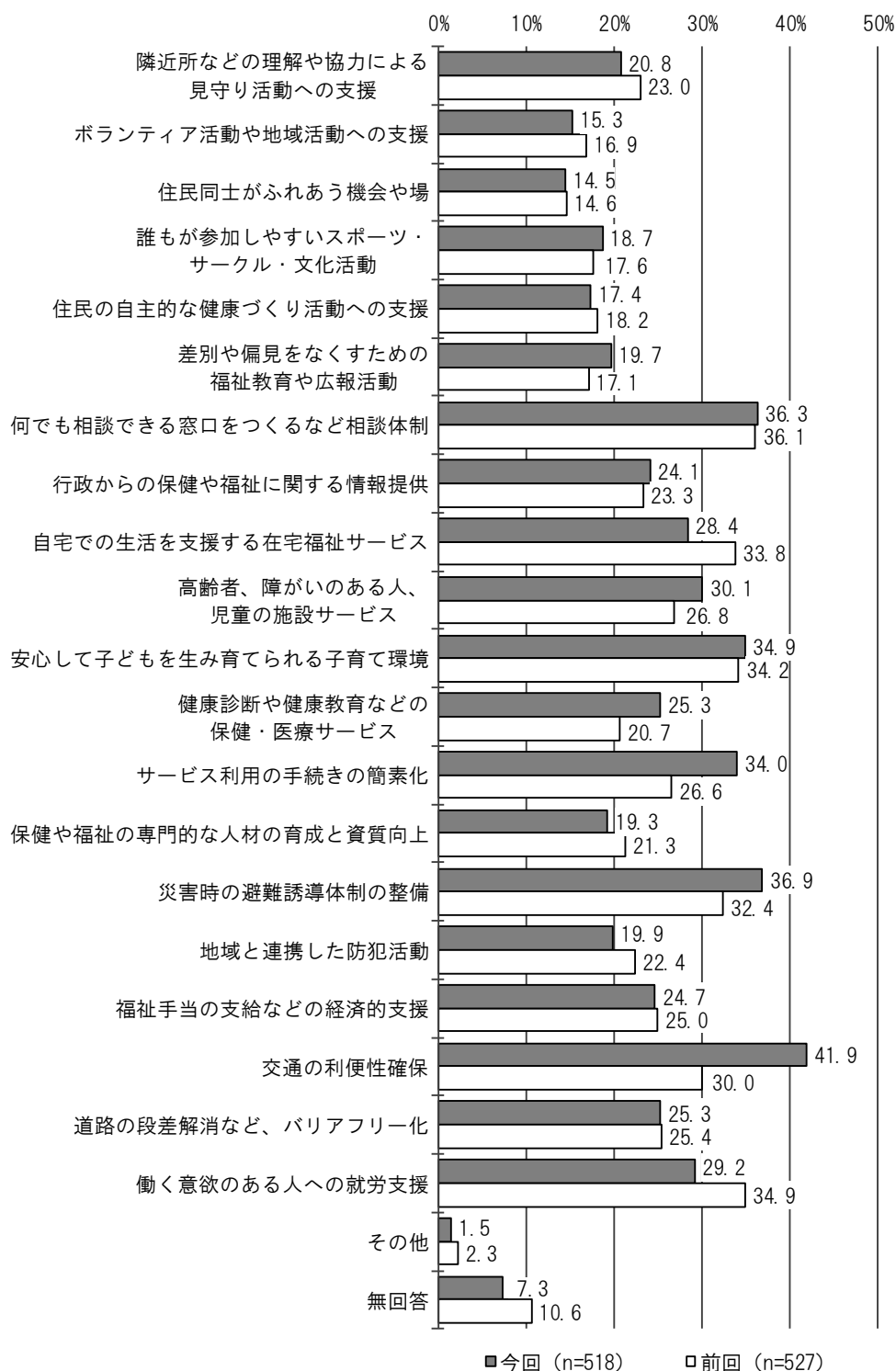
問 53 ②成田市の保健福祉について、今後特に重要であると思うものは何ですか。

(複数回答)

成田市の保健福祉について、今後特に重要であると思うものについてみると、「交通の利便性確保」が41.9%と最も多く、次いで「災害時の避難誘導體制の整備」が36.9%、「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制」が36.3%となっています。

前回と比較すると、「交通の利便性確保」が11.9ポイント、「サービス利用の手続きの簡素化」が7.4ポイント増加しています。

地区別にみると、下総地区や大栄地区で「交通の利便性」が6割台となっています。



【地区別】

%		問53 ②成田市の保健福祉について、今後特に重要であると思うものは何ですか。												
		n	動協隣 への所 支援よ のな 見の 守理 り解 活や	地ボ 域ラン 活テ 動ヘ の支 援活 動や	機住 会民 や同 場士 が ふ れ あ う	ルス ・ポ ・文 化 活 動 誰 も が 参 加 し や す い	づ住 く民 の 自 動 主 的 な 支 援 健 康	報た めの 福 祉 教 育 を な く す	差 別 の 偏 見 を な く す	口 を つ く 相 談 な ど 可 能 な 相 談 窓	社 に 関 する 情 報 提 供 や 福	行 政 か ら の 保 健 や 福	ス る 在 宅 の 福 祉 サ ー ビ ス	自 宅 で の 生 活 を 支 援
全体		518	20.8	15.3	14.5	18.7	17.4	19.7	36.3	24.1	28.4	30.1	34.9	
居住地区	成田地区	155	21.9	20.6	19.4	23.9	19.4	25.2	32.9	23.2	27.7	31.6	38.1	
	公津地区	96	15.6	12.5	12.5	24.0	17.7	16.7	32.3	19.8	20.8	27.1	36.5	
	八生地区	7	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	42.9	42.9	14.3	42.9	
	中郷地区	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	久住地区	29	13.8	10.3	13.8	10.3	20.7	20.7	37.9	17.2	48.3	41.4	41.4	
	豊住地区	8	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	25.0	37.5	0.0	25.0	12.5	12.5	
	遠山地区	48	25.0	14.6	4.2	16.7	16.7	25.0	41.7	29.2	25.0	22.9	31.3	
	ニュータウン地区	97	21.6	11.3	11.3	16.5	14.4	15.5	43.3	32.0	24.7	35.1	33.0	
	下総地区	21	19.0	4.8	9.5	9.5	19.0	9.5	23.8	28.6	42.9	19.0	33.3	
	大栄地区	30	30.0	20.0	20.0	10.0	23.3	20.0	40.0	16.7	43.3	26.7	36.7	

		問53 ②成田市の保健福祉について、今後特に重要であると思うものは何ですか。												
%		n	健康診断や健康 教育などの 保健・医療サ ービス	素 化 サ ー ビ ス 利 用 の 手 続 き の 簡	保 健 や 福 祉 の 専 門 的 な 人 材 の 育 成 と 資 質 向 上	備 災 害 時 の 避 難 誘 導 体 制 の 整	地 域 と 連 携 し た 防 犯 活 動	的 福 祉 支 援 手 当 の 支 給 な ど の 経 済	交 通 の 利 便 性 確 保	ア 道 路 の 段 差 解 消 な ど 、 バ リ	支 働 く 意 欲 の あ る 人 へ の 就 労 援	そ の 他	無 回 答	
全体		518	25.3	34.0	19.3	36.9	19.9	24.7	41.9	25.3	29.2	1.5	7.3	
居 住 地 区	成田地区	155	24.5	29.7	16.8	42.6	23.9	27.1	37.4	27.1	27.7	1.3	7.1	
	公津地区	96	34.4	30.2	21.9	35.4	15.6	16.7	37.5	20.8	27.1	1.0	10.4	
	八生地区	7	28.6	28.6	0.0	42.9	14.3	28.6	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0	
	中郷地区	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	久住地区	29	24.1	24.1	27.6	24.1	17.2	24.1	55.2	20.7	24.1	3.4	6.9	
	豊住地区	8	0.0	37.5	25.0	0.0	25.0	25.0	75.0	0.0	12.5	0.0	12.5	
	遠山地区	48	22.9	39.6	14.6	33.3	18.8	27.1	39.6	29.2	41.7	2.1	4.2	
	ニュータウン地区	97	20.6	41.2	22.7	36.1	19.6	22.7	36.1	26.8	34.0	1.0	5.2	
	下総地区	21	23.8	23.8	14.3	47.6	9.5	28.6	66.7	23.8	19.0	4.8	4.8	
	大栄地区	30	26.7	53.3	23.3	40.0	16.7	30.0	63.3	23.3	23.3	3.3	3.3	

第4章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

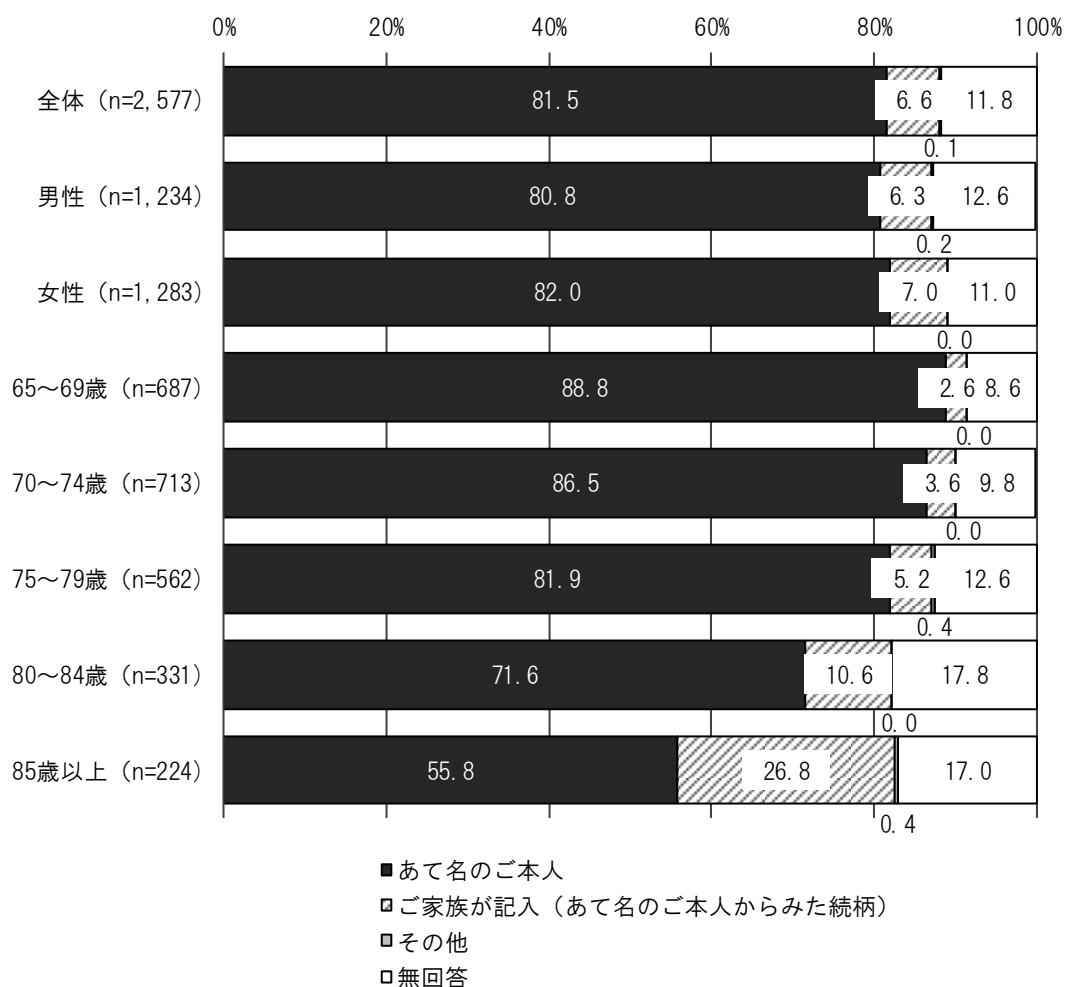
(ア) 記入者

(単数回答)

調査票の記入者についてみると、全体では「あて名のご本人」が 81.5%と最も多く、次いで「ご家族が記入」が 6.6%、「その他」が 0.1%となっています。

性別にみると、男女ともに「あて名のご本人」が多くなっています。

年齢別にみると、すべての年齢において「あて名のご本人」が多くなっていますが、年齢が上がるにつれて「ご家族が記入」が多くなっています。



(イ) お住まいの圏域・地区

(単数回答)

お住まいの圏域についてみると、全体では「西部南圏域」が 26.8%と最も多く、次いで「西部北圏域」が 26.2%、「東部圏域」が 15.3%となっています。

お住まいの地区についてみると、全体では「成田地区」が 24.8%と最も多く、次いで「ニュータウン地区」が 21.0%、「遠山地区」が 15.0%となっています。

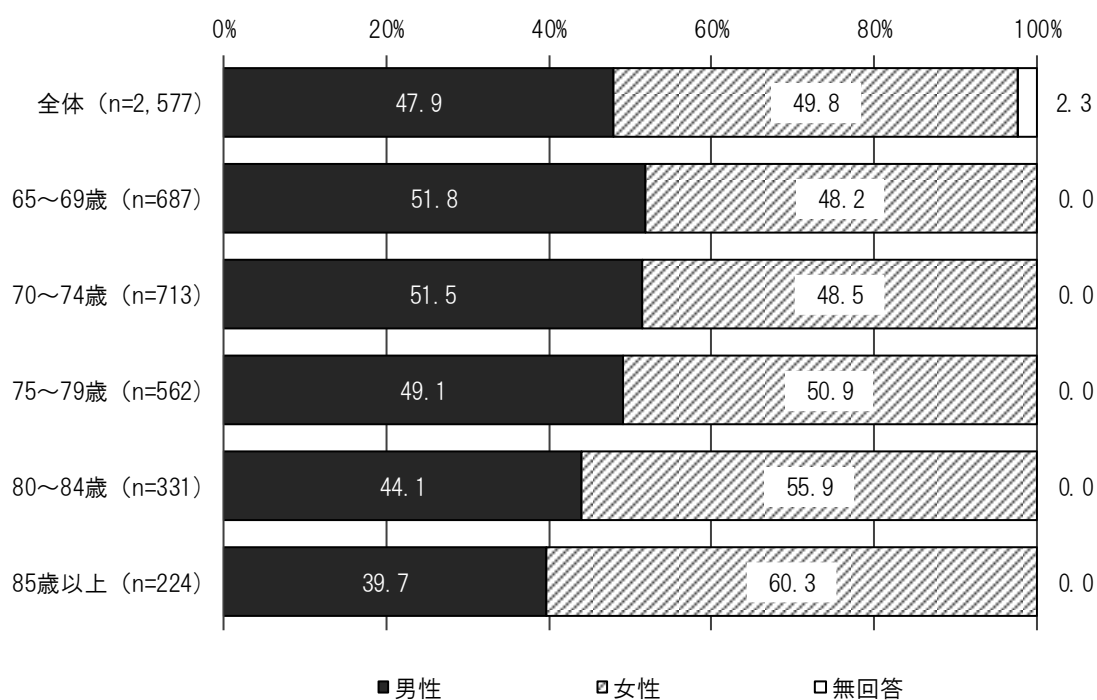
%		(イ)あなたのお住まいの圏域はどこですか。						
		n	西部南圏域	西部西圏域	西部北圏域	東部圏域	南部圏域	無回答
全体		2,577	26.8	9.7	26.2	15.3	15.0	7.0
性別	男性	1,234	27.8	8.9	24.9	15.4	15.6	7.5
	女性	1,283	26.3	10.8	27.0	14.9	14.3	6.5
年齢別	65～69歳	687	27.1	9.8	22.7	17.0	17.0	6.4
	70～74歳	713	27.1	9.4	29.3	12.1	13.9	8.3
	75～79歳	562	26.2	10.7	30.8	13.2	13.0	6.2
	80～84歳	331	29.6	8.8	23.6	17.8	13.3	6.9
	85歳以上	224	25.4	11.6	17.0	20.1	19.2	6.7

%		(イ)あなたのお住まいの地区はどこですか。												
		n	西武南圏域		西部西圏域	西部北圏域				東部圏域			南部圏域	無回答
			成田地区	中郷地区	（はな のき 台を 除く） 公津地区	ニ ュー タ ウ ン 地 区	は な の き 台 地 区	八 生 地 区	豊 住 地 区	久 住 地 区	下 総 地 区	大 栄 地 区	遠 山 地 区	
全体		2,577	24.8	2.1	9.7	21.0	0.4	3.0	1.7	2.6	5.9	6.8	15.0	7.0
性別	男性	1,234	25.0	2.8	8.9	20.7	0.4	2.4	1.4	2.5	6.5	6.4	15.6	7.5
	女性	1,283	24.9	1.5	10.8	20.9	0.5	3.7	2.0	2.7	5.2	7.0	14.3	6.5
年齢別	65～69歳	687	24.6	2.5	9.8	18.6	0.1	2.3	1.6	2.9	5.4	8.7	17.0	6.4
	70～74歳	713	25.2	1.8	9.4	24.5	0.8	2.4	1.5	2.1	5.2	4.8	13.9	8.3
	75～79歳	562	24.0	2.1	10.7	25.6	0.5	2.8	1.8	2.1	5.3	5.7	13.0	6.2
	80～84歳	331	28.1	1.5	8.8	16.6	0.3	4.8	1.8	2.7	8.8	6.3	13.3	6.9
	85歳以上	224	22.8	2.7	11.6	9.4	0.0	5.4	2.2	4.0	6.3	9.8	19.2	6.7

(ウ) 性別

(単数回答)

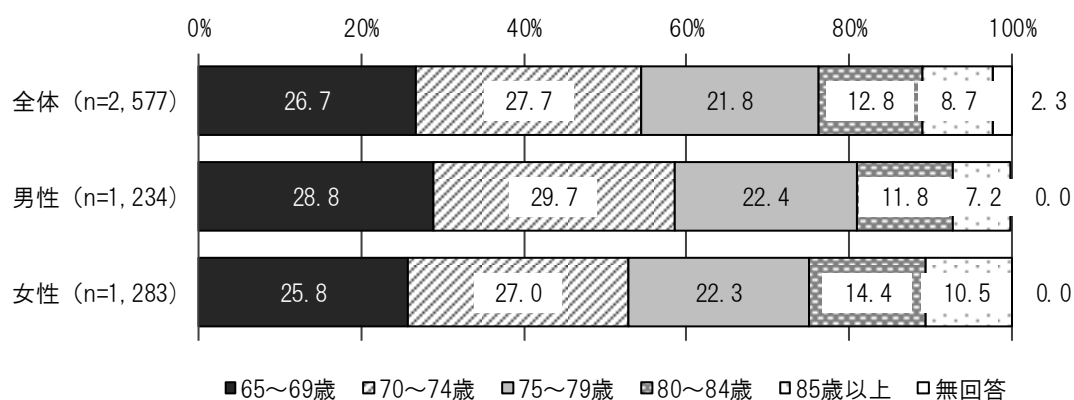
性別についてみると、全体では「男性」が 47.9%、「女性」が 49.8%となっています。
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「女性」が多くなっています。



(エ) 年齢

(数量回答)

年齢についてみると、全体では「70～74 歳」が 27.7%と最も多く、次いで「65～69 歳」が 26.7%、「75～79 歳」が 21.8%となっています。
性別にみると、大きな差はみられません。



1 あなたのご家族や生活状況について

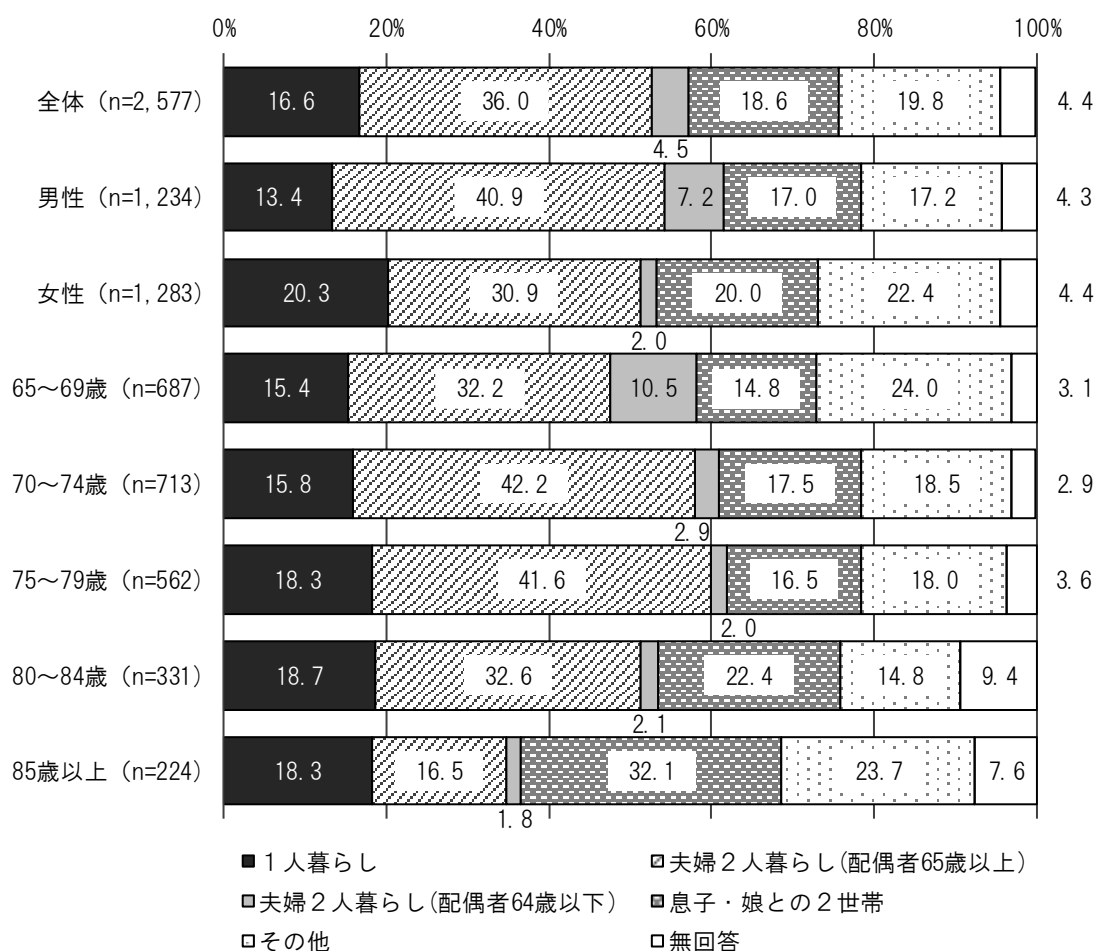
問1 (1) 家族構成をお教えてください

(単数回答)

家族構成についてみると、全体では「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 36.0%と最も多く、次いで「その他」が 19.8%、「息子・娘との2世帯」が 18.6%となっています。

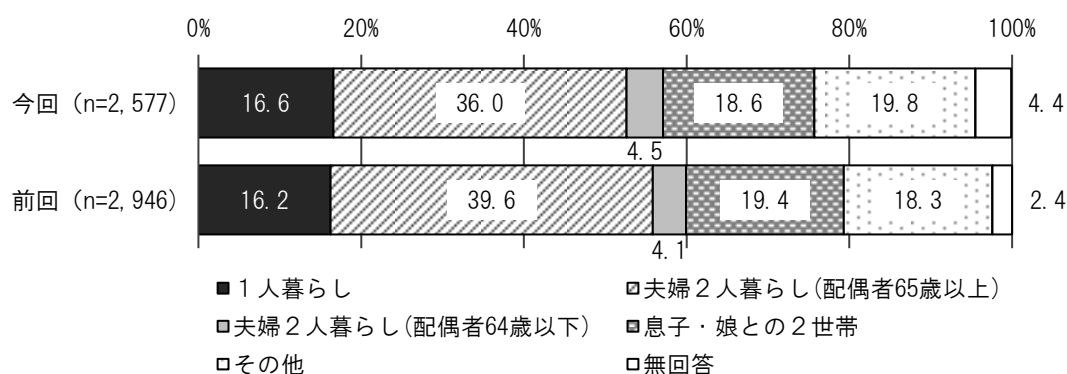
性別にみると、男女ともに「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が多くなっています。

年齢別にみると、〔85 歳以上〕において「息子・娘との2世帯」が他と比べて多くなっています。



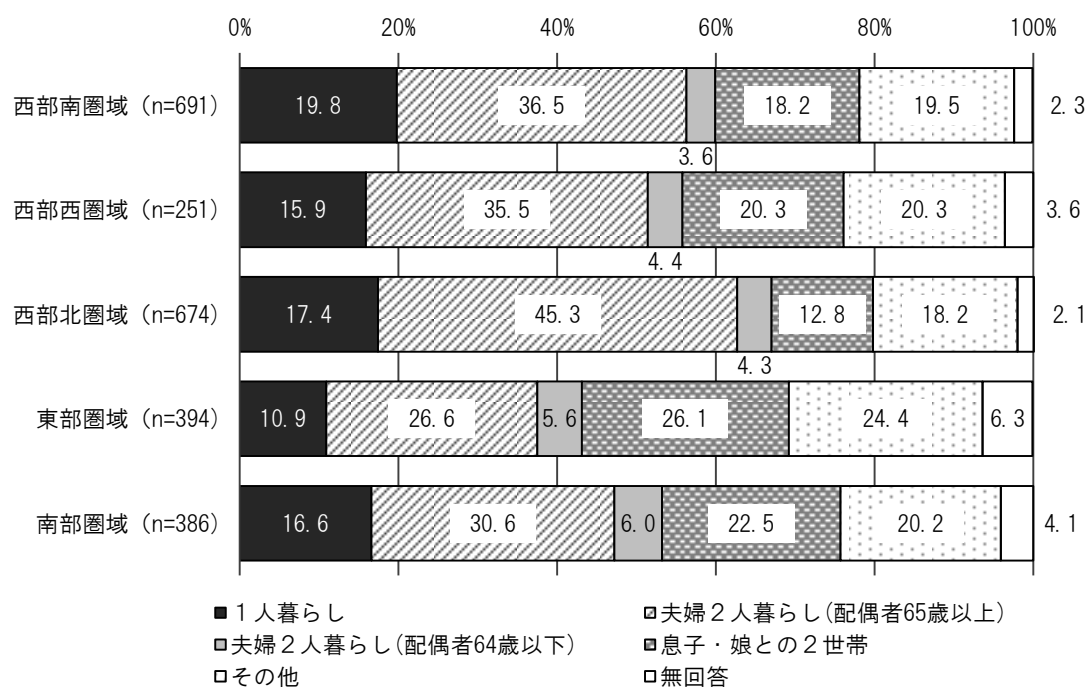
【経年比較】

前回と比較すると、大きな差はみられません。



【圏域別】

圏域別にみると、〔西部北圏域〕では他に比べて「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が多く、「息子・娘との2世帯」が少なくなっています。また、〔東部圏域〕では他に比べて「1人暮らし」が少なく、「息子・娘との2世帯」が多くなっています。

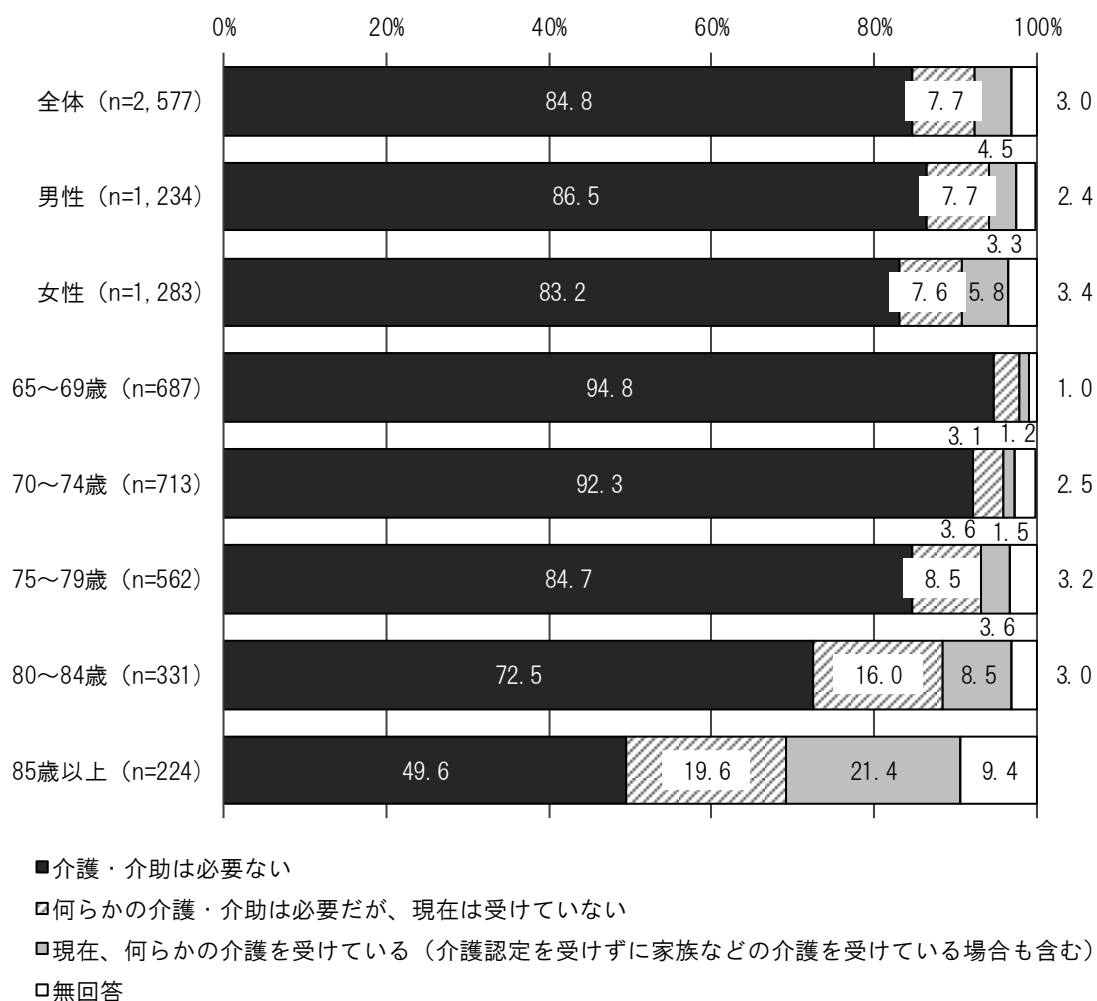


問１（２）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか （単数回答）

介護・介助の必要性についてみると、全体では「介護・介助は必要ない」が 84.8%と最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 7.7%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が 4.5%となっています。

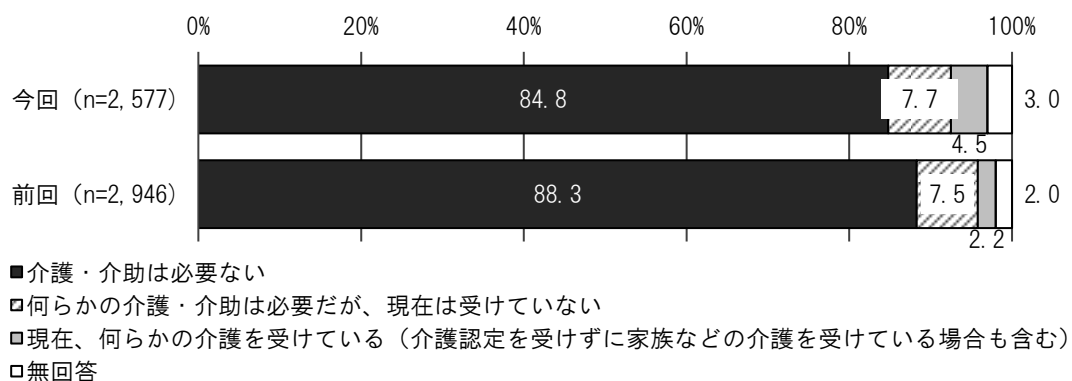
性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が多くなっています。



【経年比較】

前回と比較すると、大きな差はみられません。



《問1(2)で「介護・介助は必要ない」以外をお答えの方》

問1(2)①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか

(複数回答)

介護・介助が必要になった主な原因についてみると、全体では「高齢による衰弱」が22.0%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が15.7%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が11.5%となっています。

性別にみると、男女ともに「高齢による衰弱」が多くなっていますが、〔男性〕では「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」、〔女性〕では「骨折・転倒」が多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「高齢による衰弱」が多くなっています。

		問1(2)①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか										
%		n	脳卒中 (脳出血・ 脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の 病気 (肺炎等)	関節の 病気 (リウマチ等)	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障害
全体		313	11.5	8.0	6.4	5.4	7.7	6.7	2.2	9.9	1.9	9.9
性別	男性	136	16.9	13.2	8.8	7.4	5.9	9.6	2.2	13.2	3.7	12.5
	女性	171	5.8	4.1	4.7	4.1	8.8	4.7	2.3	7.0	0.6	8.2
年齢別	65～69歳	29	24.1	6.9	10.3	3.4	6.9	10.3	0.0	13.8	0.0	6.9
	70～74歳	37	16.2	5.4	5.4	8.1	13.5	0.0	2.7	18.9	0.0	13.5
	75～79歳	68	11.8	13.2	5.9	2.9	7.4	7.4	2.9	5.9	4.4	8.8
	80～84歳	81	6.2	11.1	6.2	6.2	9.9	9.9	3.7	4.9	2.5	4.9
	85歳以上	92	7.6	3.3	6.5	6.5	3.3	5.4	1.1	12.0	1.1	15.2

%		n	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体		313	15.7	7.3	22.0	10.2	1.0	21.1
性別	男性	136	10.3	7.4	22.1	5.9	1.5	18.4
	女性	171	20.5	7.0	22.2	13.5	0.6	23.4
年齢別	65～69歳	29	6.9	0.0	3.4	17.2	0.0	13.8
	70～74歳	37	8.1	10.8	10.8	10.8	0.0	29.7
	75～79歳	68	10.3	10.3	13.2	16.2	1.5	29.4
	80～84歳	81	22.2	3.7	22.2	4.9	1.2	23.5
	85歳以上	92	20.7	8.7	39.1	7.6	1.1	12.0

《問1(2)で「現在、何らかの介護を受けている」とお答えの方》

問1(2)②主にどなたの介護、介助を受けていますか。

(複数回答)

主な介護者・介助者についてみると、全体では「息子」が33.0%と最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)」が28.7%、「娘」が26.1%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「配偶者(夫・妻)」、〔女性〕では「息子」が多くなっています。

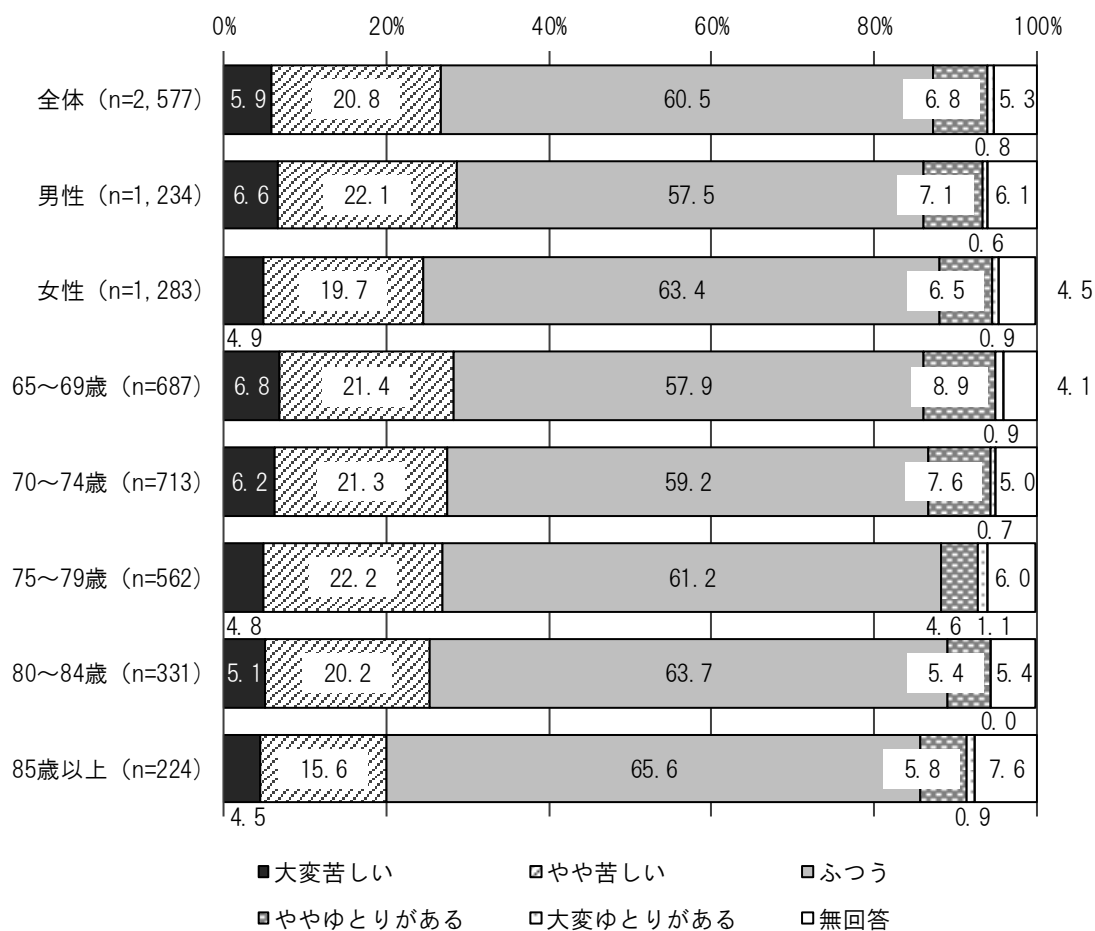
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「娘」「子の配偶者」が多くなっています。

		問1(2)②主にどなたの介護、介助を受けていますか									
		n	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ- ビスの ヘルパー	その他	無 回 答
全体		115	28.7	33.0	26.1	18.3	2.6	1.7	20.0	8.7	8.7
性別	男性	41	46.3	31.7	24.4	12.2	2.4	0.0	14.6	4.9	7.3
	女性	74	18.9	33.8	27.0	21.6	2.7	2.7	23.0	10.8	9.5
年齢別	65～69歳	8	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	12.5
	70～74歳	11	54.5	45.5	18.2	0.0	0.0	9.1	9.1	27.3	0.0
	75～79歳	20	45.0	10.0	20.0	15.0	0.0	0.0	5.0	0.0	25.0
	80～84歳	28	17.9	39.3	25.0	21.4	3.6	3.6	39.3	7.1	3.6
	85歳以上	48	20.8	39.6	33.3	25.0	4.2	0.0	12.5	6.3	6.3

問 1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。 (単数回答)

現在の経済的状況についてみると、全体では「ふつう」が 60.5%と最も多く、次いで「やや苦しい」が 20.8%、「ややゆとりがある」が 6.8%となっています。

性別、年齢別にみると、大きな差はみられません。

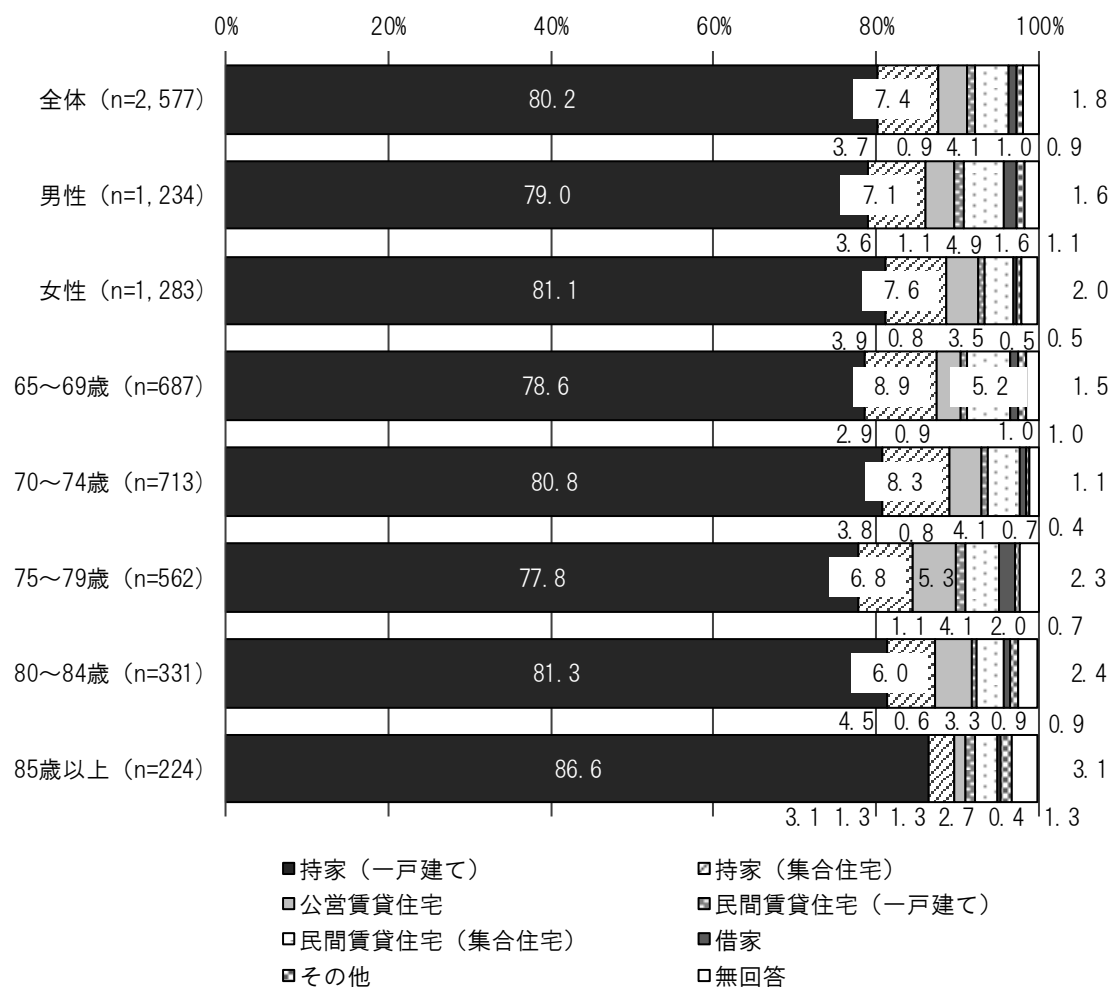


問 1 (4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

(単数回答)

お住まいが一戸建て、または集合住宅のどちらかについてみると、全体では「持家(一戸建て)」が 80.2%と最も多く、次いで「持家(集合住宅)」が 7.4%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が 4.1%となっています。

性別、年齢別にみると、大きな差はみられません。



2 からだを動かすことについて

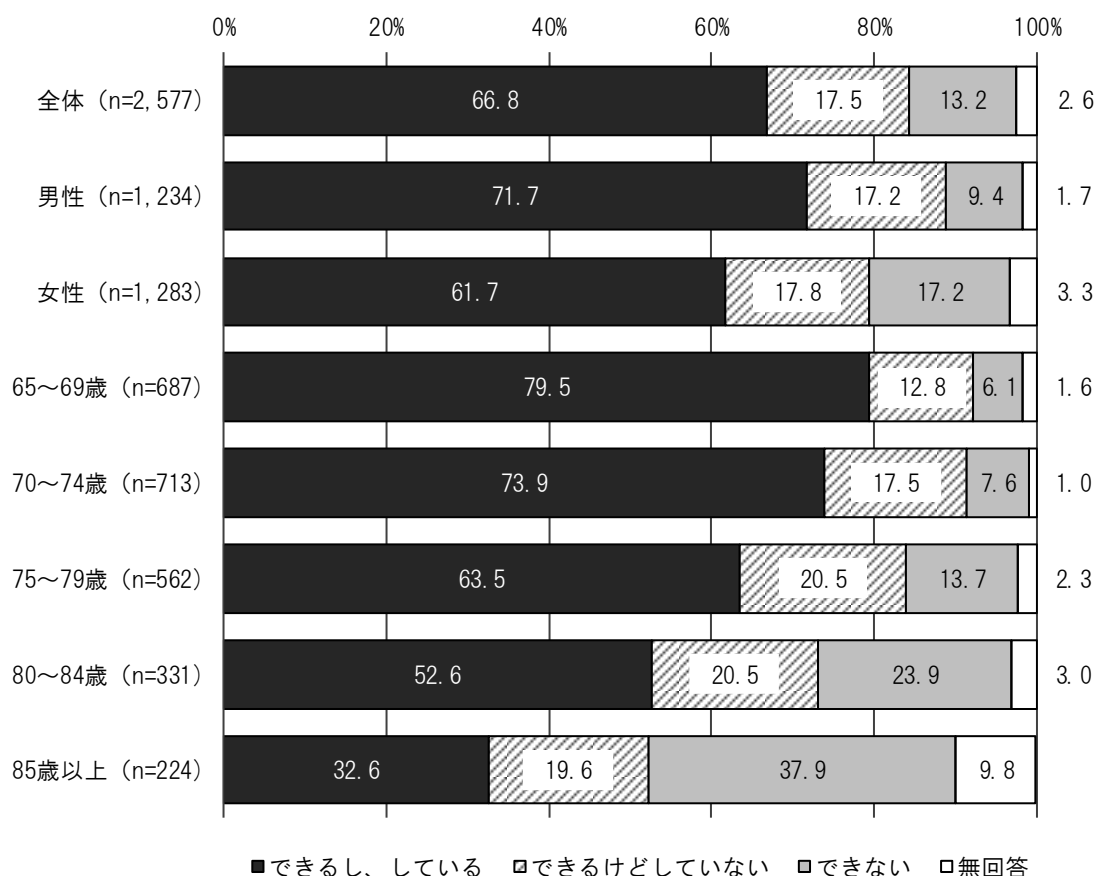
問2（1）階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

（単数回答）

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについてみると、全体では「できるし、している」が66.8%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が17.5%、「できない」が13.2%となっています。

性別にみると、〔女性〕では「できない」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「できない」が多くなっています。

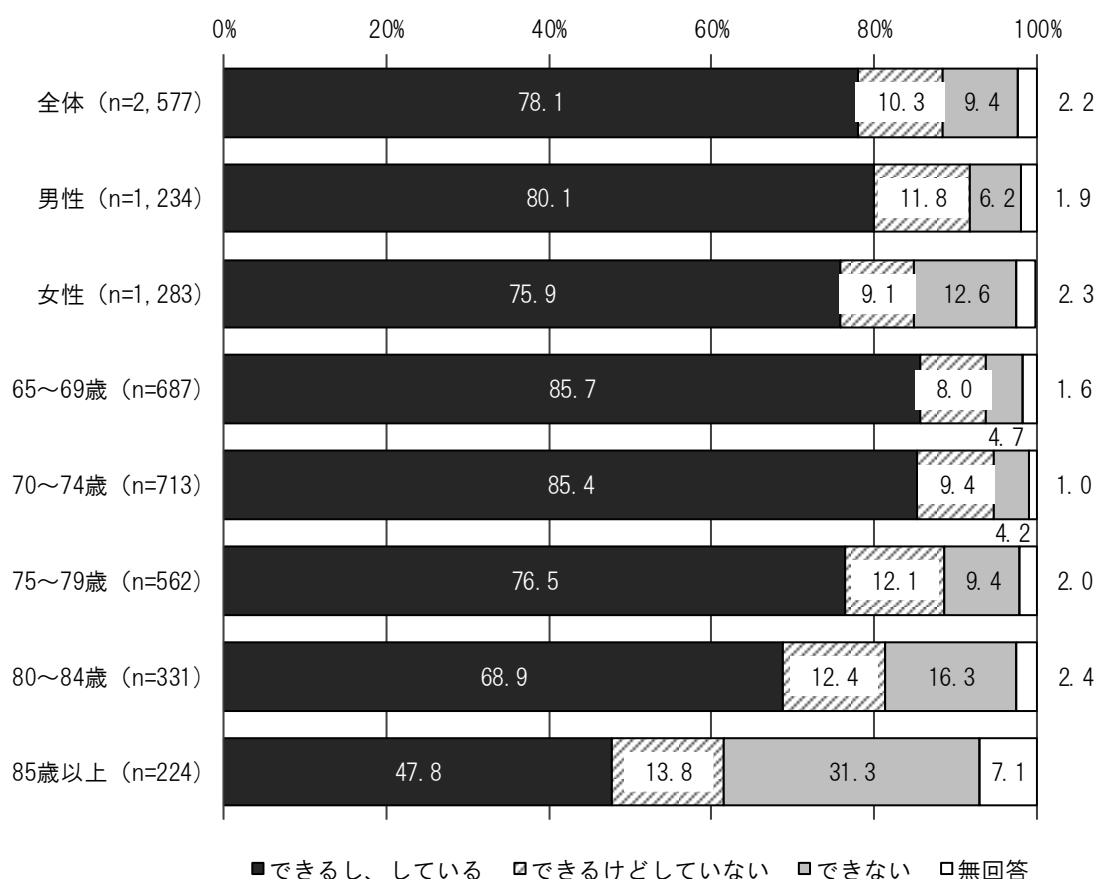


問 2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(単数回答)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについてみると、全体では「できるし、している」が78.1%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.3%、「できない」が9.4%となっています。

性別にみると、〔女性〕では「できない」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「できない」が多くなっています。



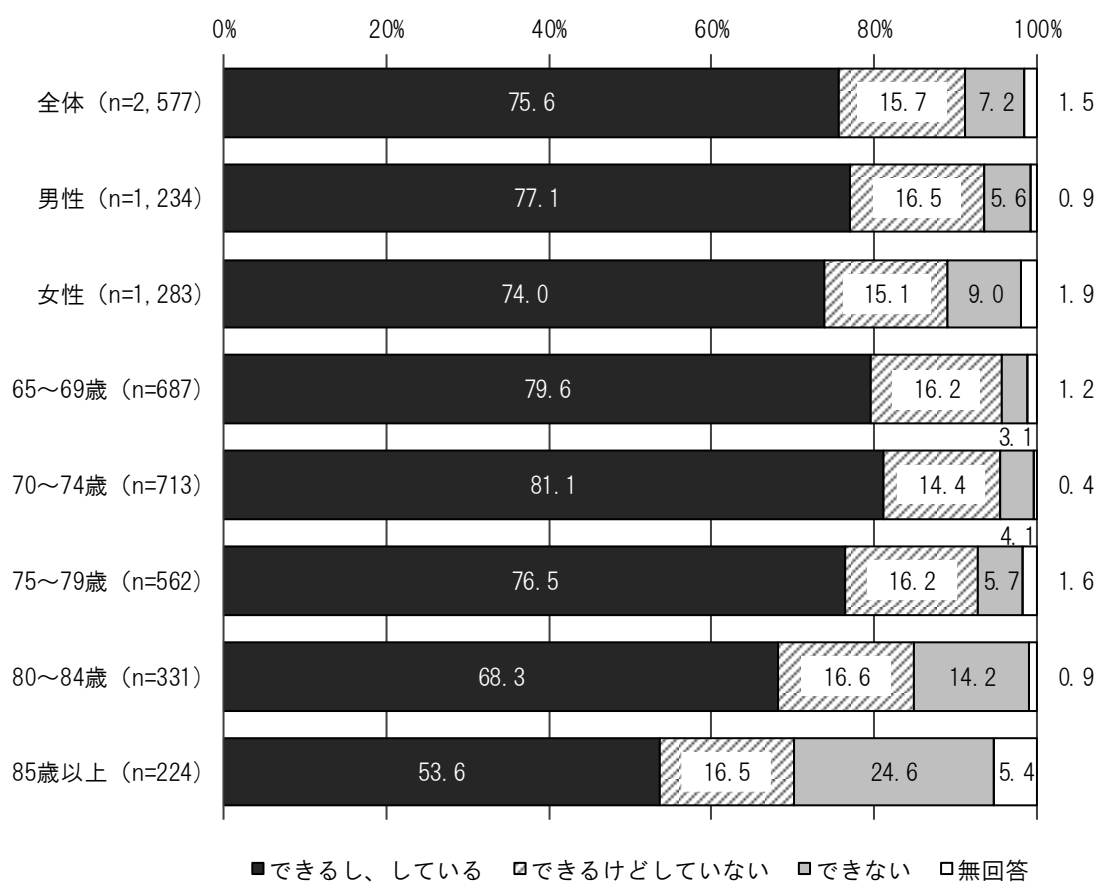
問 2（3）15 分位続けて歩いていますか。

（単数回答）

15 分位続けて歩いているかについてみると、全体では「できるし、している」が 75.6%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が 15.7%、「できない」が 7.2%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「できない」が多くなっています。



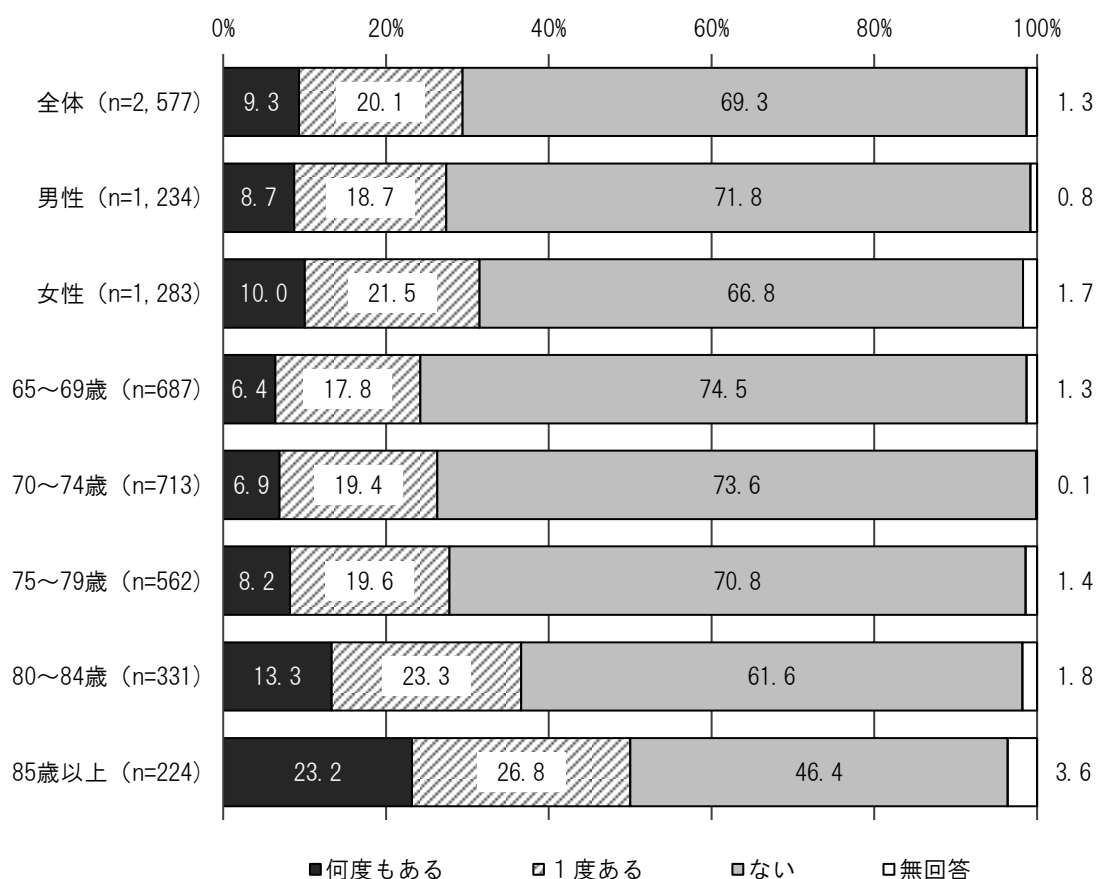
問 2（４）過去 1 年間に転んだ経験がありますか

（単数回答）

過去 1 年間に転んだ経験があるかについてみると、全体では「ない」が 69.3%と最も多く、次いで「1度ある」が 20.1%、「何度もある」が 9.3%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「何度もある」が多くなっています。



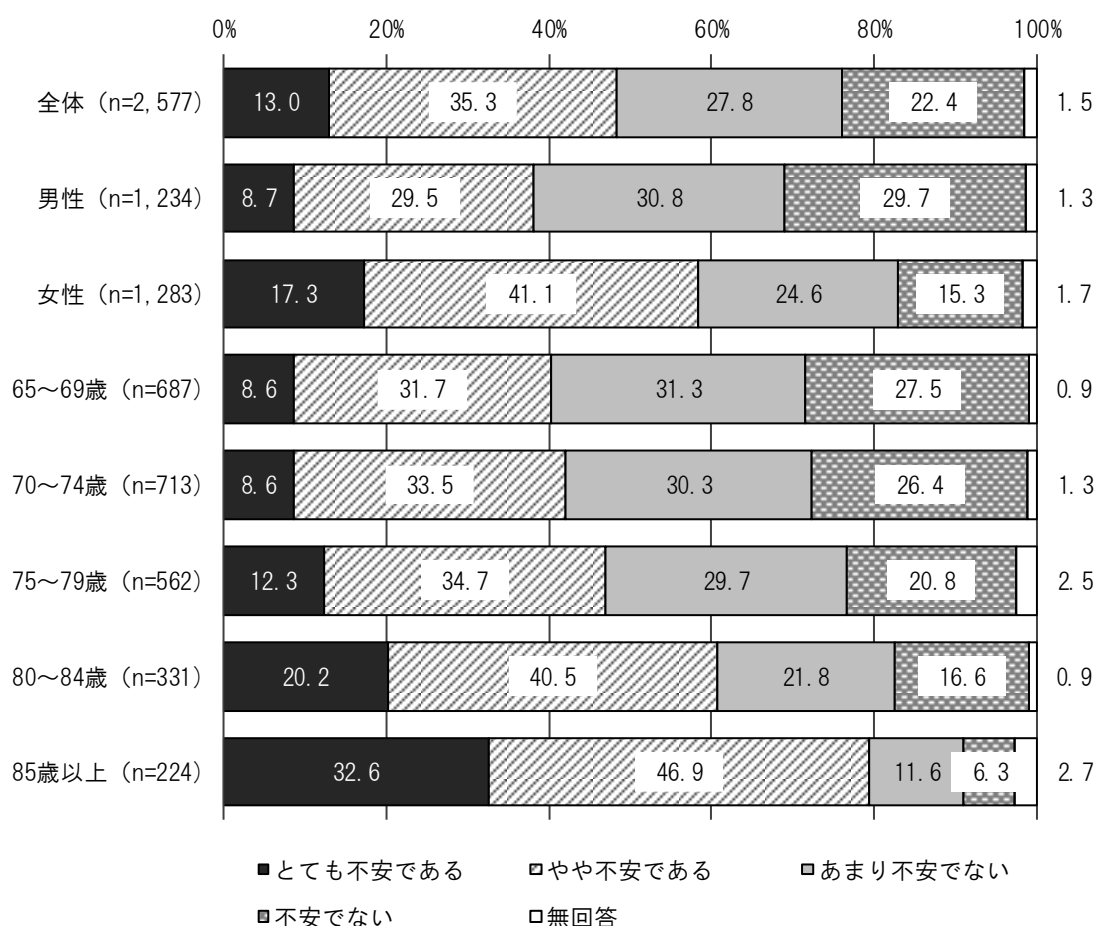
問 2（5）転倒に対する不安は大きいですか

（単数回答）

転倒に対する不安の大きさについてみると、全体では「やや不安である」が 35.3%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が 27.8%、「不安でない」が 22.4%となっています。

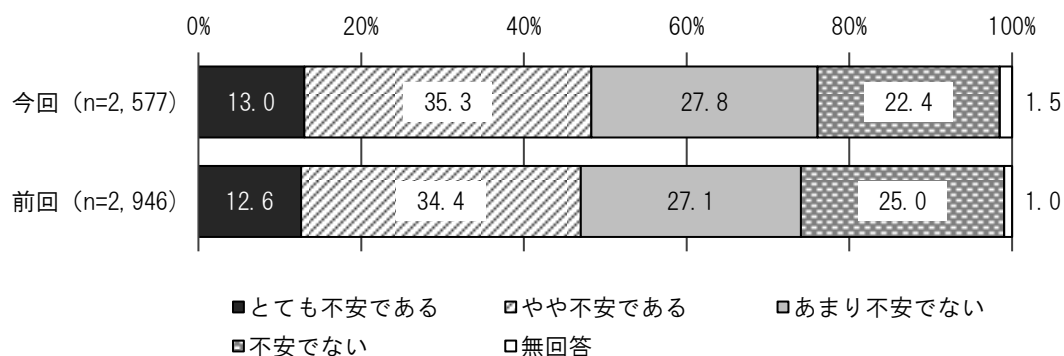
性別にみると、〔男性〕では「あまり不安でない」、〔女性〕では「やや不安である」が多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「とても不安である」「やや不安である」が多くなっています。



【経年比較】

前回と比較すると、大きな差はみられません。



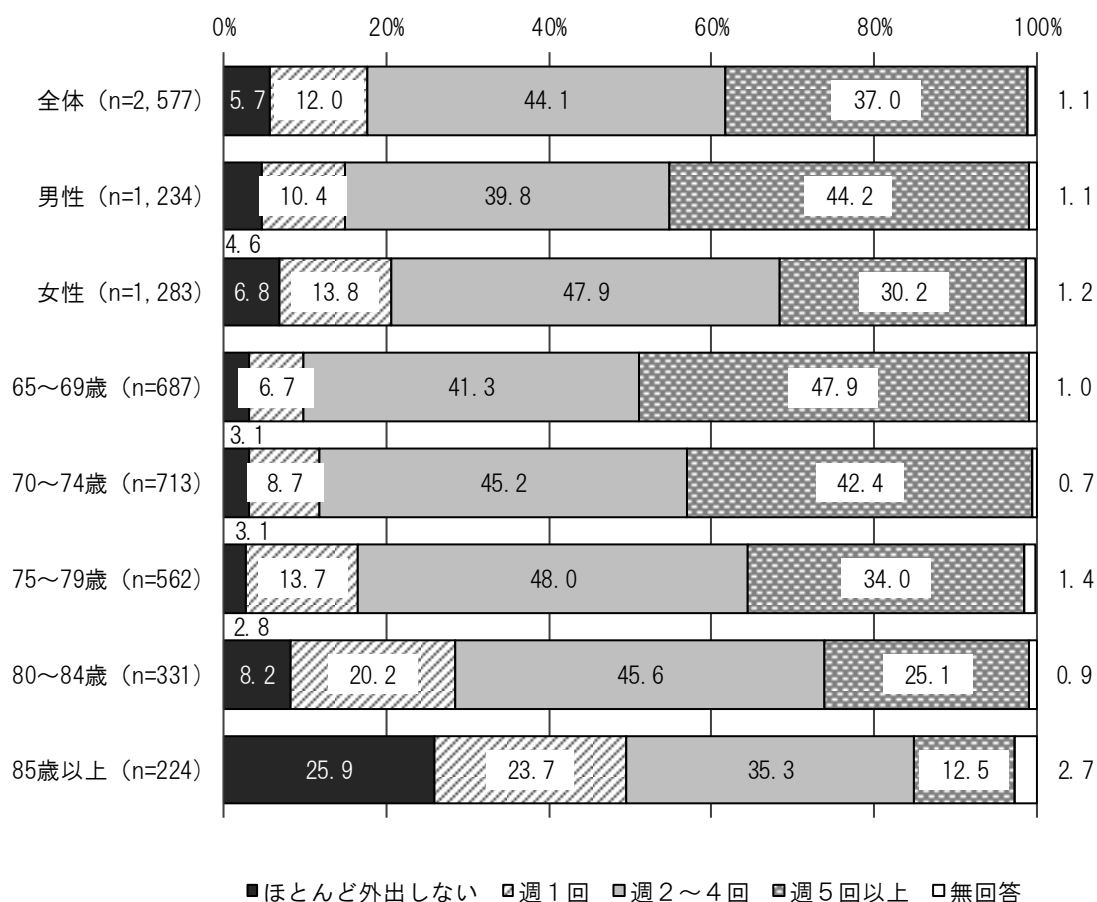
問 2（6）週に 1 回以上は外出していますか。

（単数回答）

週に何回外出しているかについてみると、全体では「週2～4回」が 44.1%と最も多く、次いで「週5回以上」が 37.0%、「週1回」が 12.0%となっています。

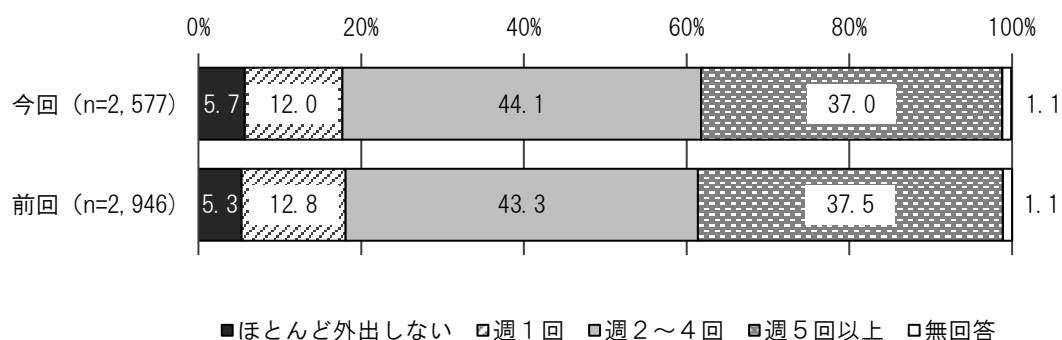
性別にみると、〔男性〕では「週5回以上」、〔女性〕では「週2～4回」が多くなっています。

年齢別にみると、〔85 歳以上〕において「ほとんど外出しない」が他と比べて多くなっています。



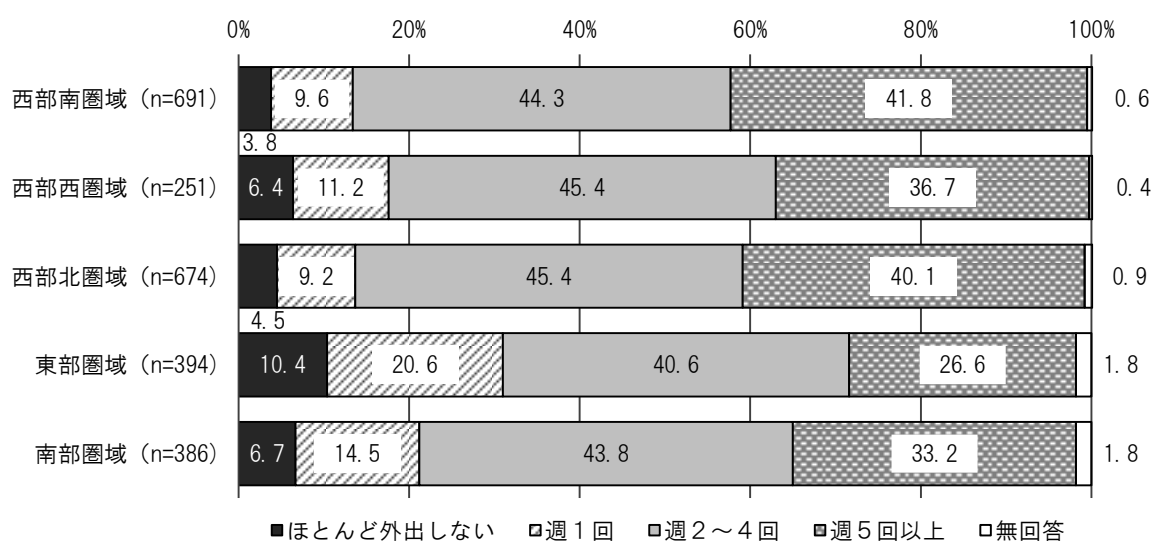
【経年比較】

前回と比較すると、大きな差はみられません。



【圏域別】

圏域別にみると、〔西部南圏域〕〔西部北圏域〕では「週5回以上」が4割を超えています。また、〔東部圏域〕では「ほとんど外出しない」が1割を超えており、「週5回以上」が他に比べて少なくなっています。



【物忘れの傾向との関係】

物忘れの傾向との関係を見ると、外出頻度が低いほど、物忘れが多いと感じる割合は高くなっており、〔ほとんど外出しない〕と〔週5回以上〕では、物忘れが多いと感じる割合に20ポイント以上の差が生じています。

%		問4 (1) 物忘れが多いと感じますか			
		n	はい	いいえ	無回答
問2 (6) 週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない	148	57.4	40.5	2.0
	週1回	310	57.4	40.0	2.6
	週2～4回	1,136	41.9	56.2	1.9
	週5回以上	954	33.3	65.0	1.7

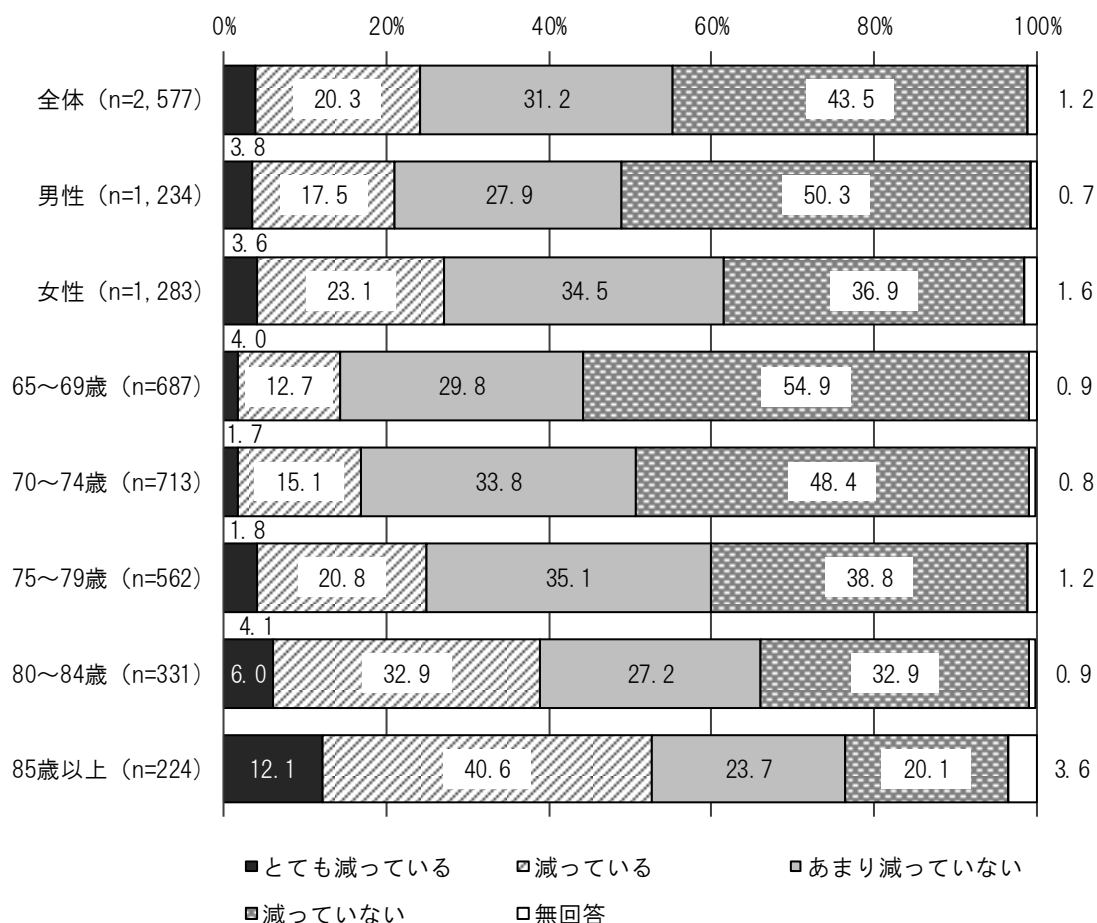
問2（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

（単数回答）

昨年と比べて外出の回数が減っているかについてみると、全体では「減っていない」が43.5%と最も多く、次いで「あまり減っていない」が31.2%、「減っている」が20.3%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「減っていない」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「とても減っている」「減っている」が多くなっています。



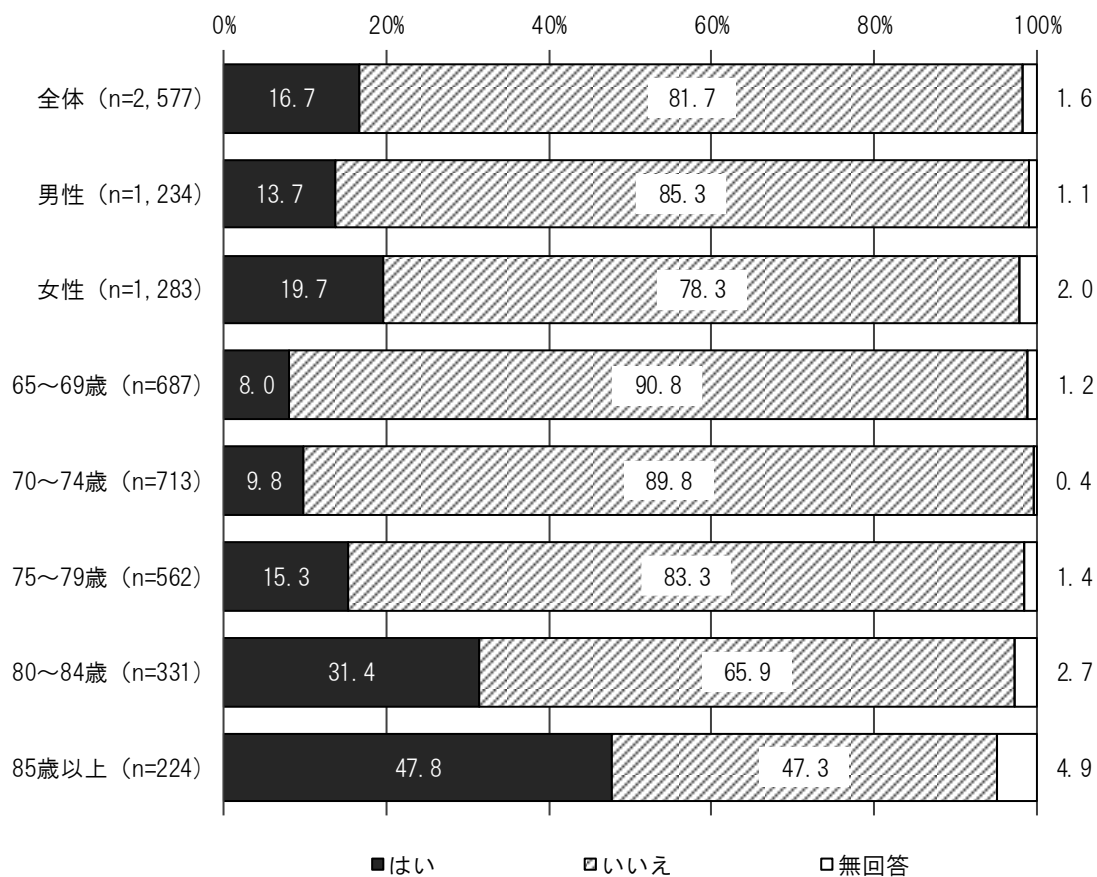
問2（8）外出を控えていますか。

（単数回答）

外出を控えているかについてみると、全体では「はい」が16.7%、「いいえ」が81.7%となっています。

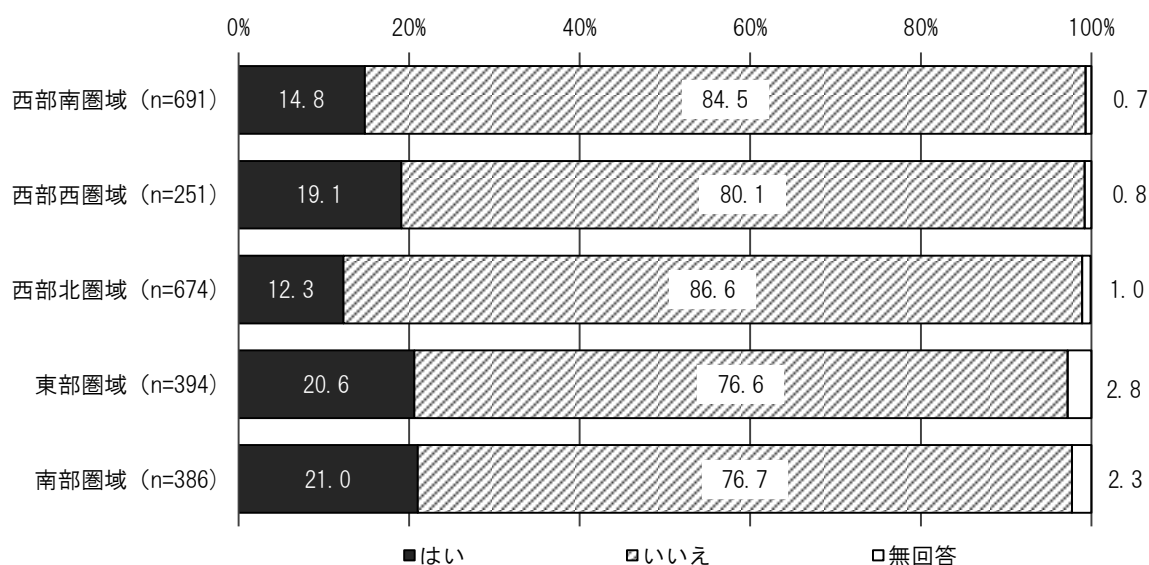
性別にみると、〔女性〕では「はい」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「はい」が多くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、〔東部圏域〕〔南部圏域〕では「はい」が2割を超えています。



《問2(8)で「はい」(外出を控えている)とお答えの方》

問2 (8) ①外出を控えている理由は、次のどれですか

(複数回答)

外出を控えている理由についてみると、全体では「足腰などの痛み」が 54.3%と最も多く、次いで「交通手段がない」が 23.9%、「外での楽しみがない」が 20.2%となっています。

性別にみると、男女ともに「足腰などの痛み」が多くなっていますが、〔女性〕では「足腰などの痛み」「交通手段がない」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「足腰などの痛み」「交通手段がない」が多くなっています。

%		問2（8）①外出を控えている理由は、次のどれですか											
		n	病気	障害 （脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配 （失禁など）	耳の障害 （聞こえの問題など）	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全体		431	13.9	2.6	54.3	15.3	9.3	10.7	20.2	10.7	23.9	13.2	1.2
性別	男性	169	18.3	4.7	47.3	13.0	7.7	9.5	21.3	11.2	14.2	14.2	1.2
	女性	253	9.9	1.2	60.1	17.4	10.3	11.9	19.8	10.7	30.0	12.3	1.2
年齢別	65～69歳	55	20.0	3.6	30.9	12.7	0.0	7.3	18.2	18.2	16.4	21.8	1.8
	70～74歳	70	12.9	4.3	37.1	11.4	10.0	12.9	31.4	20.0	15.7	22.9	1.4
	75～79歳	86	16.3	3.5	52.3	10.5	2.3	12.8	23.3	14.0	19.8	18.6	0.0
	80～84歳	104	14.4	1.9	62.5	21.2	12.5	5.8	13.5	7.7	26.0	5.8	1.9
	85歳以上	107	6.5	0.9	73.8	18.7	15.9	15.0	18.7	1.9	33.6	4.7	0.9

問2（9）外出する際の移動手段は何ですか

（複数回答）

外出する際の移動手段についてみると、全体では「自動車（自分で運転）」が 61.7%と最も多く、次いで「徒歩」が 52.5%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 27.9%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「自動車（自分で運転）」が〔女性〕と比べて多くなっています。また、〔女性〕では「自動車（人に乗せてもらう）」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「自動車（人に乗せてもらう）」が多くなっています。また、年齢が上がるにつれて「自動車（自分で運転）」が少なくなっています。

		問2（9）外出する際の移動手段は何ですか										
		n	徒歩	自転車	バイク	（自動車 自分で 運転）	（自動車 人に 乗せて もらう）	電車	路線バス	病院 や施設 のバス	車 いす	（電動 車いす カート）
全体		2,577	52.5	17.2	2.6	61.7	27.9	22.8	24.9	1.4	0.4	0.1
性別	男性	1,234	51.7	18.6	3.6	78.0	14.3	21.6	20.3	1.0	0.4	0.2
	女性	1,283	53.5	16.1	1.6	45.8	40.9	23.9	29.0	1.9	0.5	0.1
年齢別	65～69歳	687	51.2	17.3	3.8	79.6	18.8	25.3	21.0	0.3	0.3	0.1
	70～74歳	713	56.0	20.6	2.7	73.6	21.6	26.4	25.2	0.7	0.1	0.1
	75～79歳	562	53.4	19.4	2.8	55.7	28.6	24.0	29.5	2.1	0.2	0.0
	80～84歳	331	53.5	13.0	1.2	39.0	37.2	16.9	25.7	2.7	0.6	0.0
	85歳以上	224	42.9	8.5	0.0	15.6	59.8	8.9	21.0	4.0	2.2	0.4

		n	シルバー ウォーカー	タクシー	その他	無回答
全体		2,577	1.3	8.6	1.1	1.2
性別	男性	1,234	0.3	6.4	0.6	1.2
	女性	1,283	2.2	11.0	1.7	1.1
年齢別	65～69歳	687	0.3	5.2	0.1	1.5
	70～74歳	713	0.1	4.9	0.8	0.8
	75～79歳	562	0.2	9.8	1.6	1.1
	80～84歳	331	2.7	15.7	2.1	0.9
	85歳以上	224	8.5	18.8	2.7	1.8

【圏域別】

圏域別にみると、〔西部南圏域〕〔西部北圏域〕では「徒歩」が最も多く、〔西部西圏域〕〔東部圏域〕〔南部圏域〕では「自動車（自分で運転）」が最も多くなっています。また、〔西部北圏域〕では「電車」「路線バス」が他に比べて多くっており、〔東部圏域〕〔南部圏域〕では「徒歩」が他に比べて少なくなっています。

		問2（9）外出する際の移動手段は何ですか										
		n	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）
圏域別	西部南圏域	691	61.2	16.9	3.6	57.0	26.3	23.6	23.0	1.7	0.4	0.3
	西部西圏域	251	58.6	18.7	3.6	62.5	29.1	25.9	20.7	0.4	0.0	0.0
	西部北圏域	674	62.2	24.6	2.5	61.4	27.2	33.4	41.1	1.2	0.1	0.1
	東部圏域	394	31.5	9.4	1.8	67.0	30.2	12.4	7.4	0.8	1.3	0.0
	南部圏域	386	42.2	13.5	1.8	65.0	30.8	14.8	23.1	2.1	0.3	0.0

		n	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
圏域別	西部南圏域	691	1.2	12.4	1.2	0.9
	西部西圏域	251	1.2	11.2	0.4	0.4
	西部北圏域	674	0.7	7.0	0.9	1.2
	東部圏域	394	1.5	4.8	1.8	2.0
	南部圏域	386	1.8	7.0	1.0	0.5

3 食べることについて

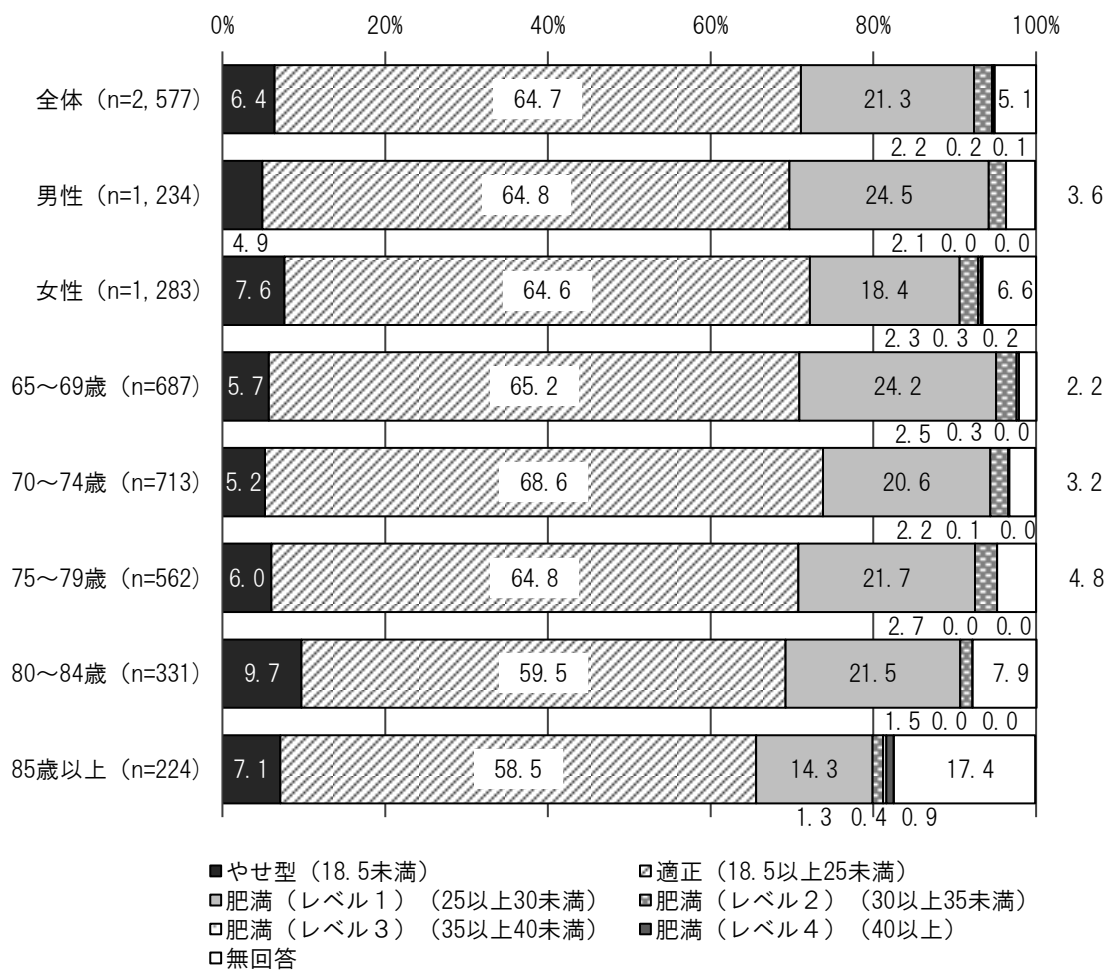
問3 (1) BMI (身長・体重より算出)

(数量回答)

BMIについてみると、全体では「適正」が64.7%と最も多く、次いで「肥満(レベル1)」が21.3%、「やせ型」が6.4%となっています。

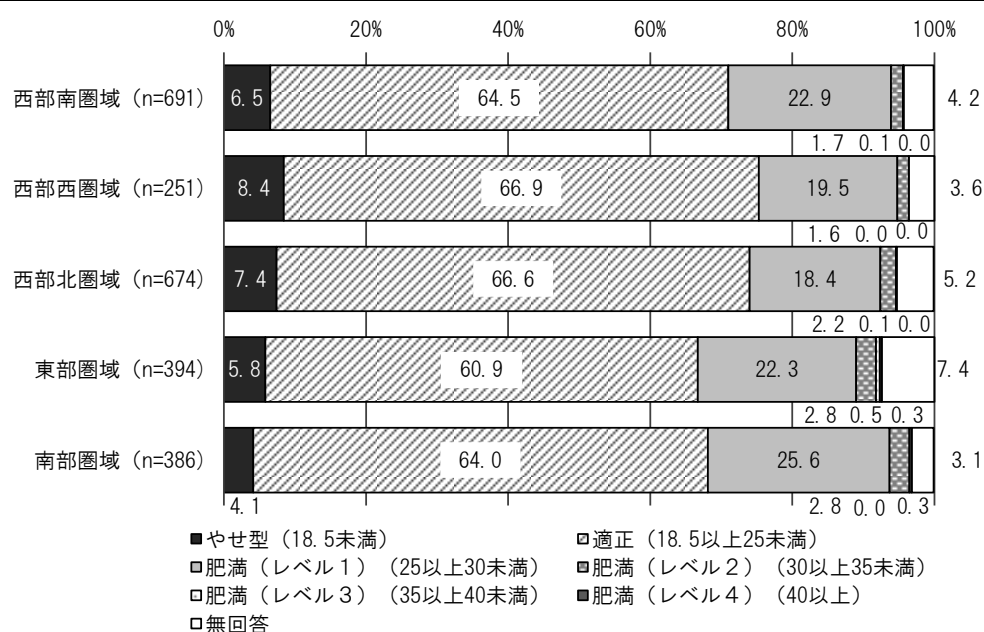
性別にみると、男女ともに「適正」が多くなっていますが、〔男性〕では「肥満(レベル1)」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、すべての年齢において「適正」が多くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、すべての圏域で「適正(18.5 以上 25 未満)」が最も多くなっていますが、〔南部圏域〕では他に比べて「肥満(レベル1)(25 以上 30 未満)」が多くなっています。



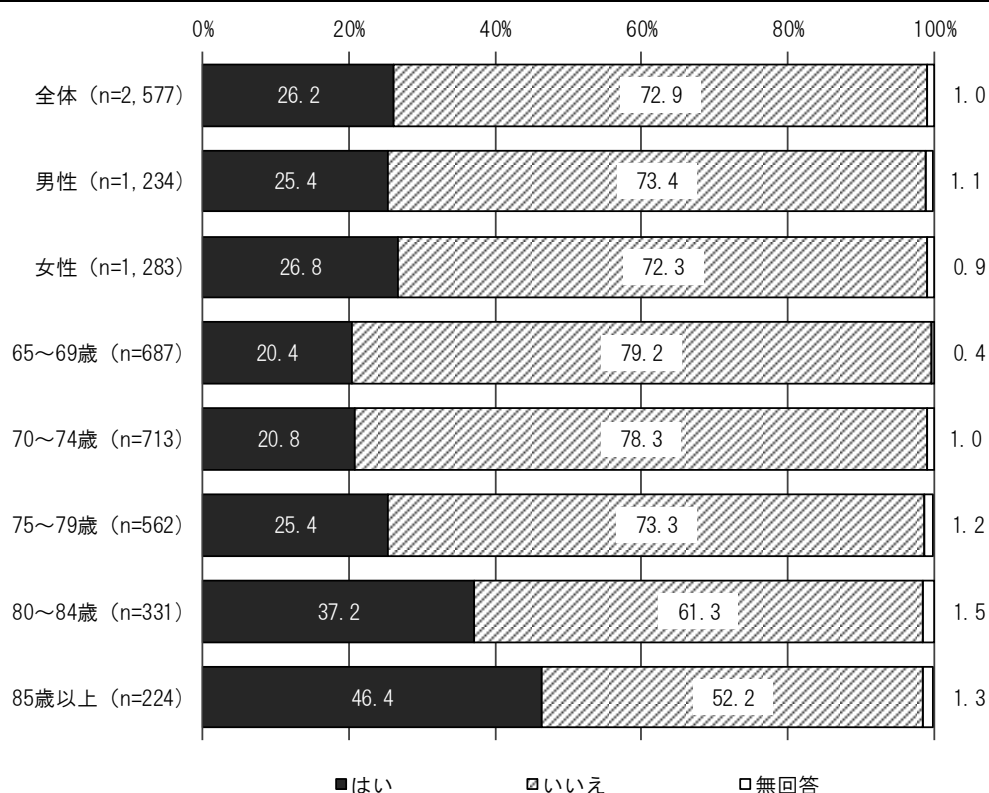
問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

(単数回答)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについてみると、全体では「はい」が 26.2%、「いいえ」が 72.9%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「はい」が多くなっています。



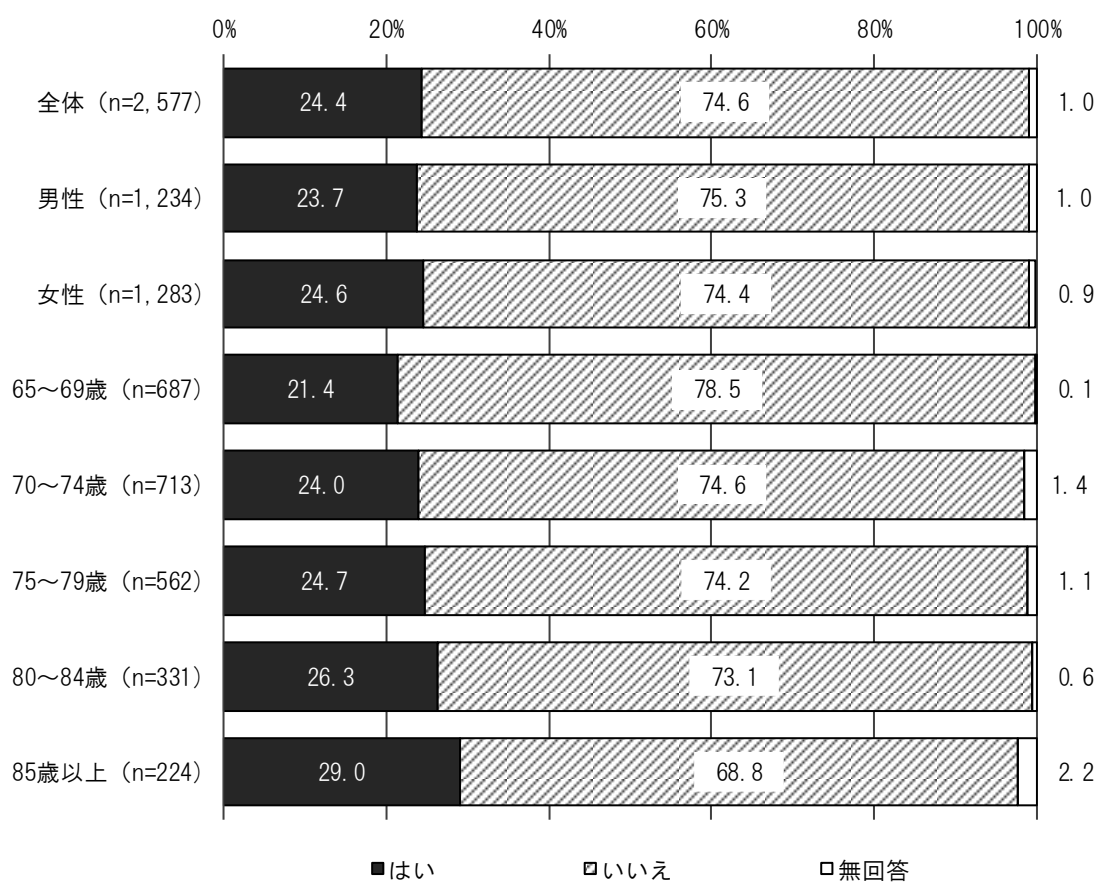
問3（3）お茶や汁物等でむせることがありますか

（単数回答）

お茶や汁物等でむせることがあるかについてみると、全体では「はい」が 24.4%、「いいえ」が 74.6%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「はい」が多くなっています。



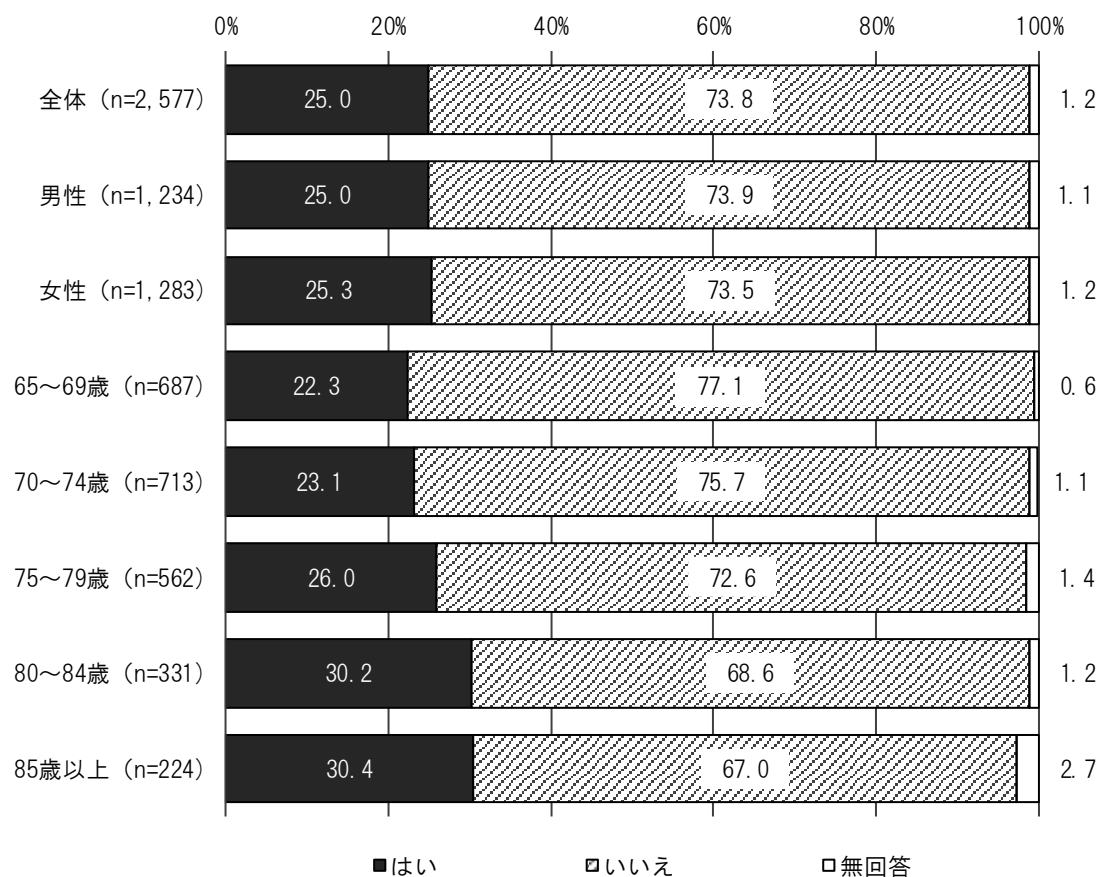
問3（4）口の渇きが気になりますか

（単数回答）

口の渇きが気になるかについてみると、全体では「はい」が25.0%、「いいえ」が73.8%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「はい」が多くなっています。

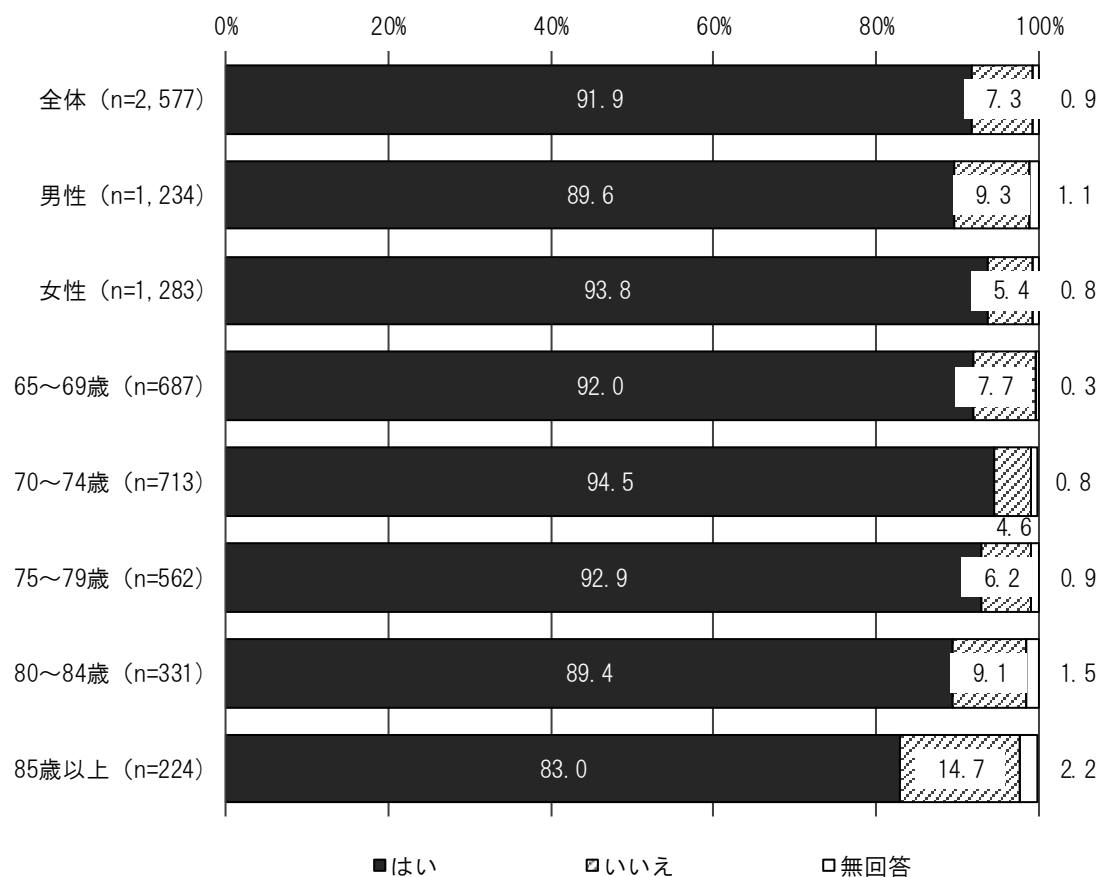


問3（5）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（単数回答）

歯磨きを毎日しているかについてみると、全体では「はい」が91.9%、「いいえ」が7.3%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〔85歳以上〕において「いいえ」が他と比べて多くなっています。



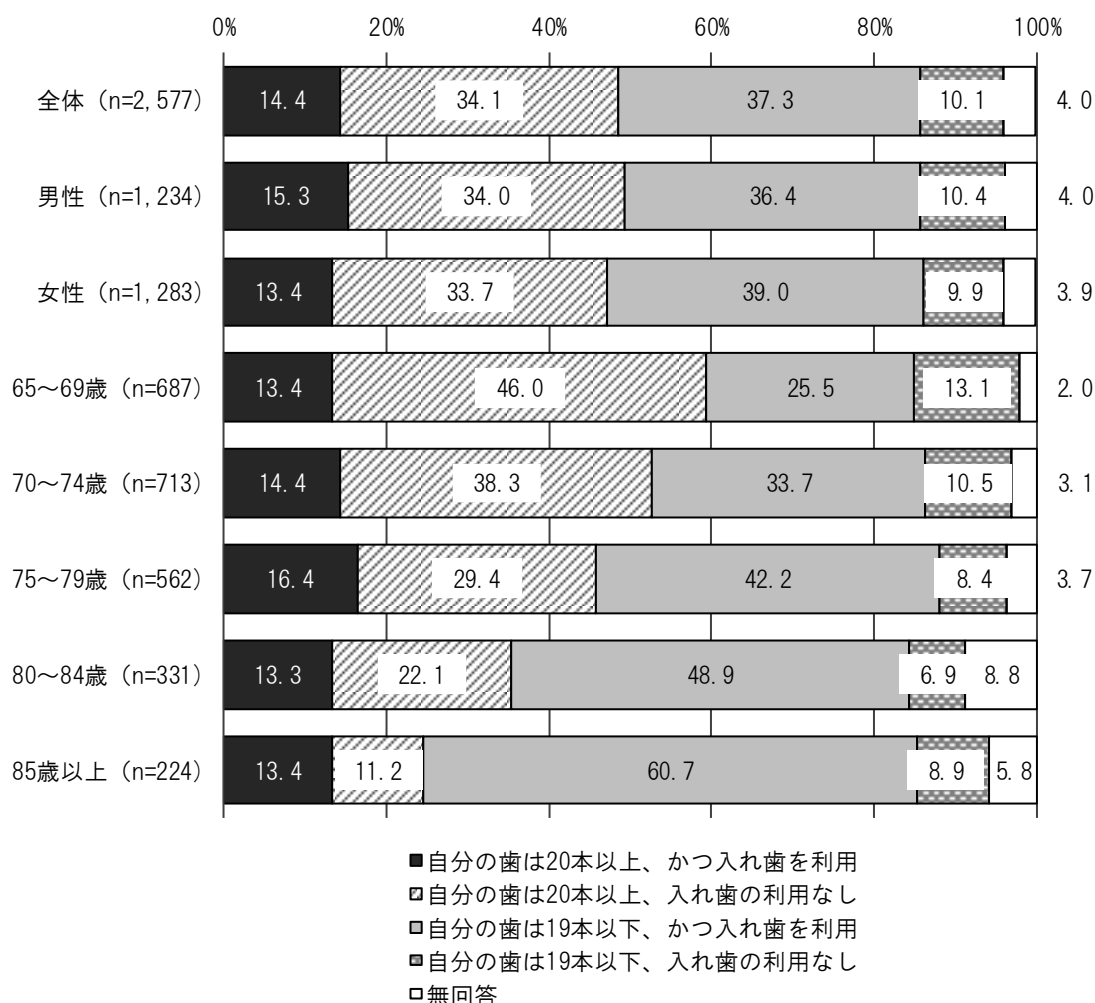
問3（6）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

（単数回答）

歯の数と入れ歯の利用状況についてみると、全体では「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 37.3%と最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 34.1%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 14.4%となっています。

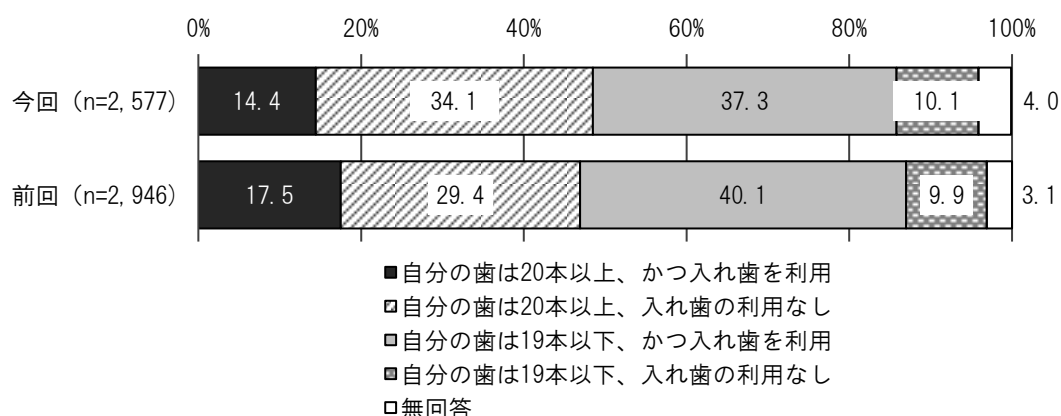
性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が多くなっています。



【経年比較】

前回と比較すると、大きな差はみられません。



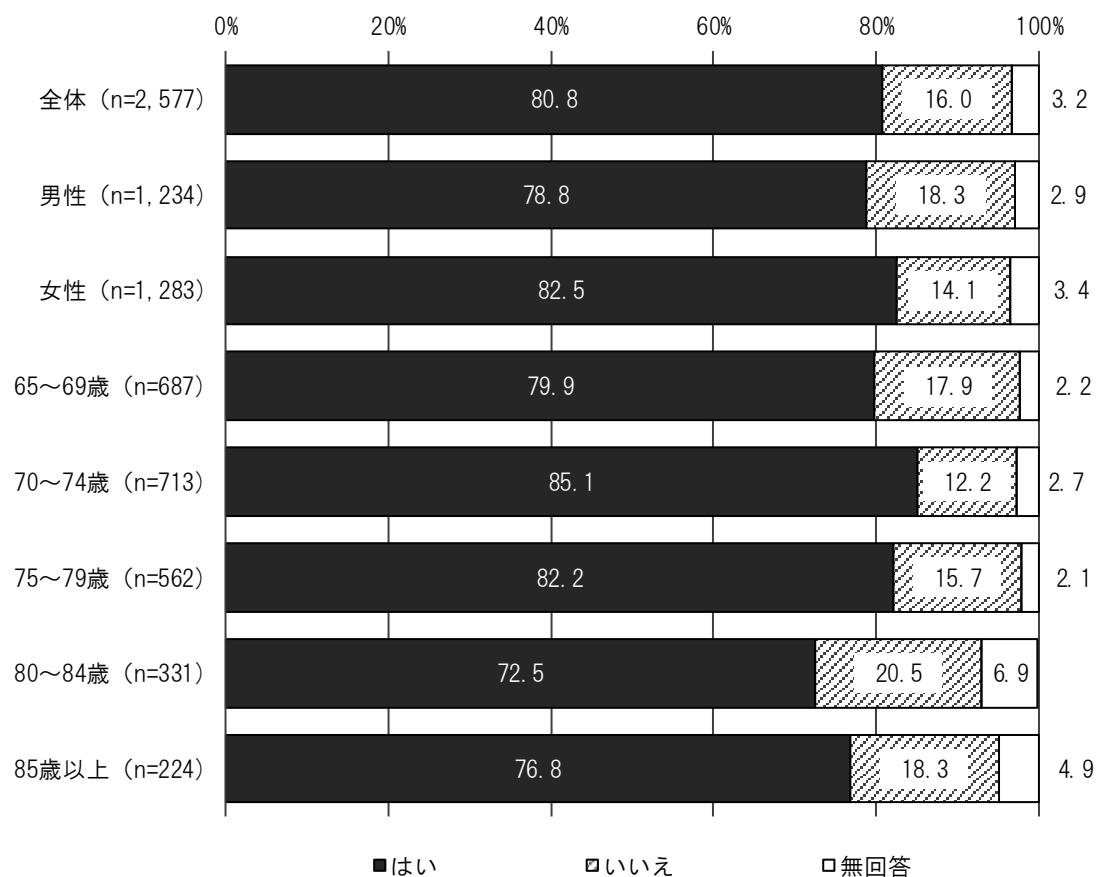
問3（6）①噛み合わせは良いですか

（単数回答）

噛み合わせは良いですかについてみると、全体では「はい」が80.8%、「いいえ」が16.0%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、すべての年齢において「はい」が多くなっています。



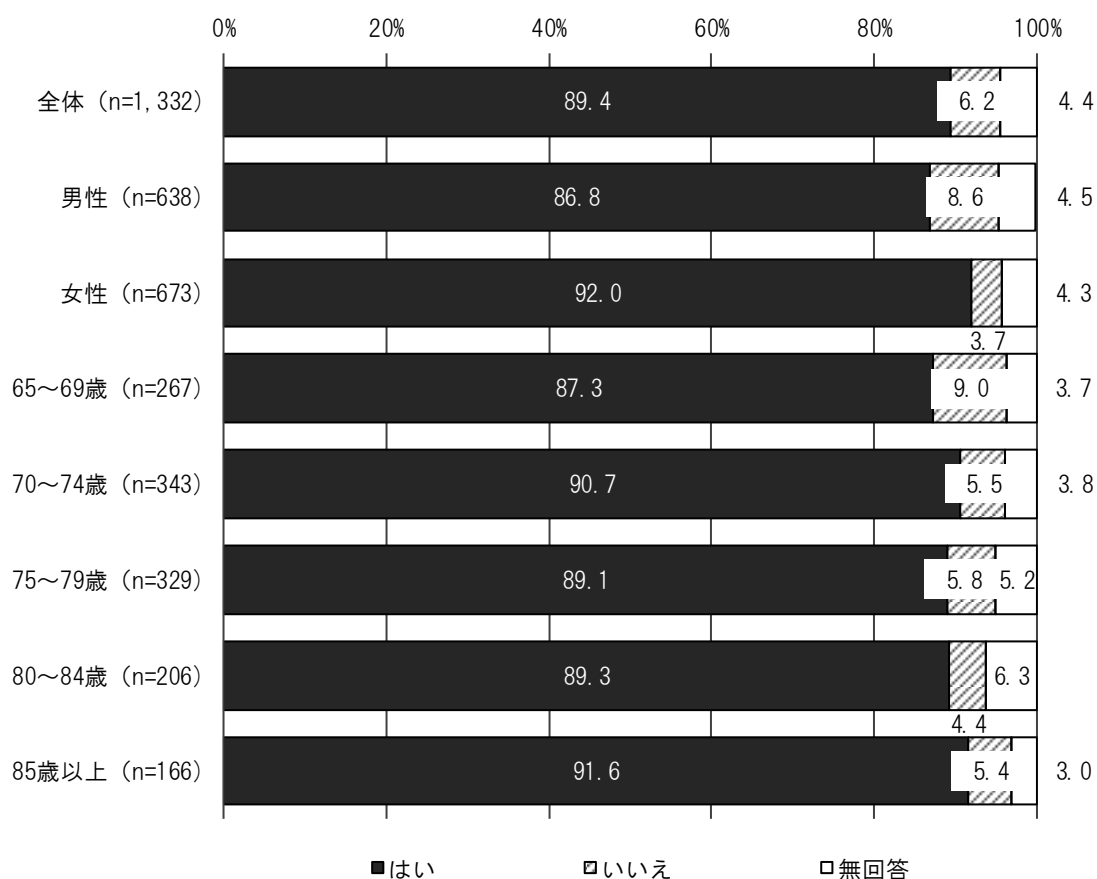
《問3(6)で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方》

問 3 (6) ②毎日入れ歯の手入れをしていますか。

(単数回答)

毎日入れ歯の手入れをしているかについてみると、全体では「はい」が 89.4%、「いいえ」が 6.2%となっています。

性別、年齢別にみると、大きな差はみられません。



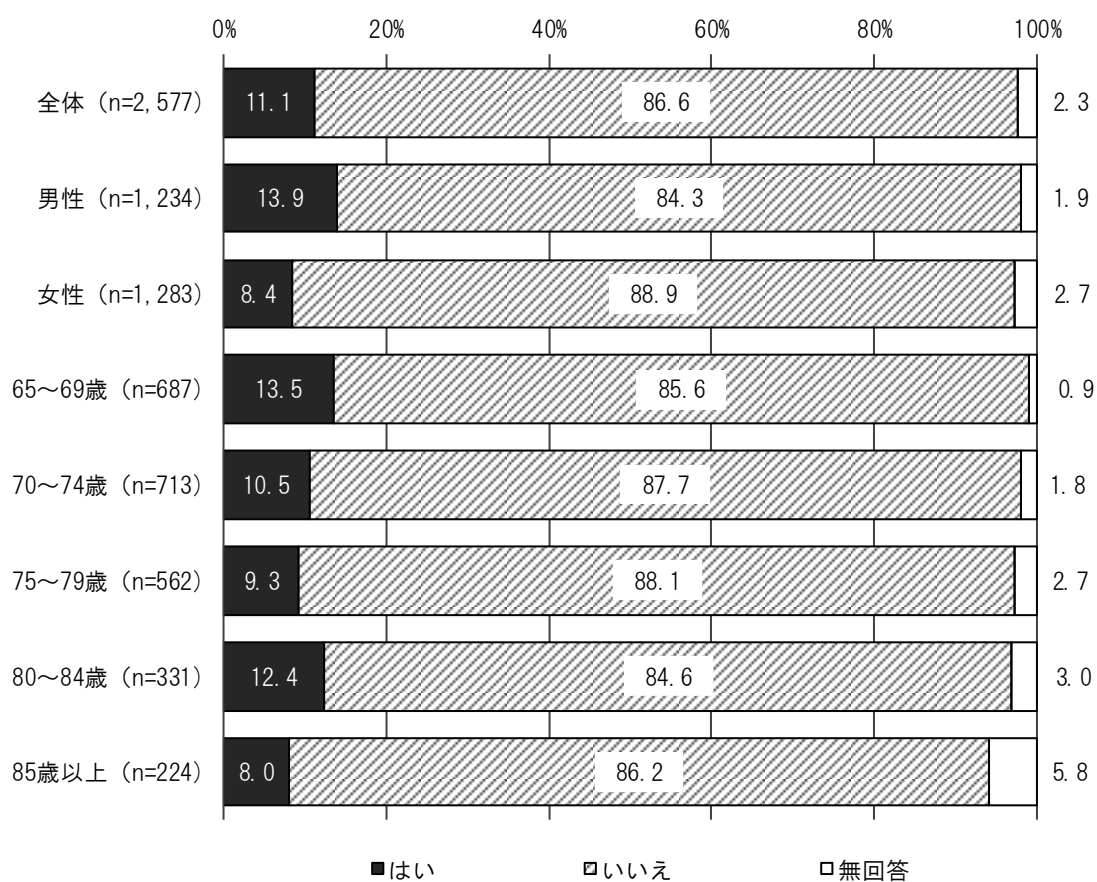
問3（7）6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

（単数回答）

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについてみると、全体では「はい」が11.1%、「いいえ」が86.6%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「はい」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、すべての年齢において「いいえ」が多くなっています。



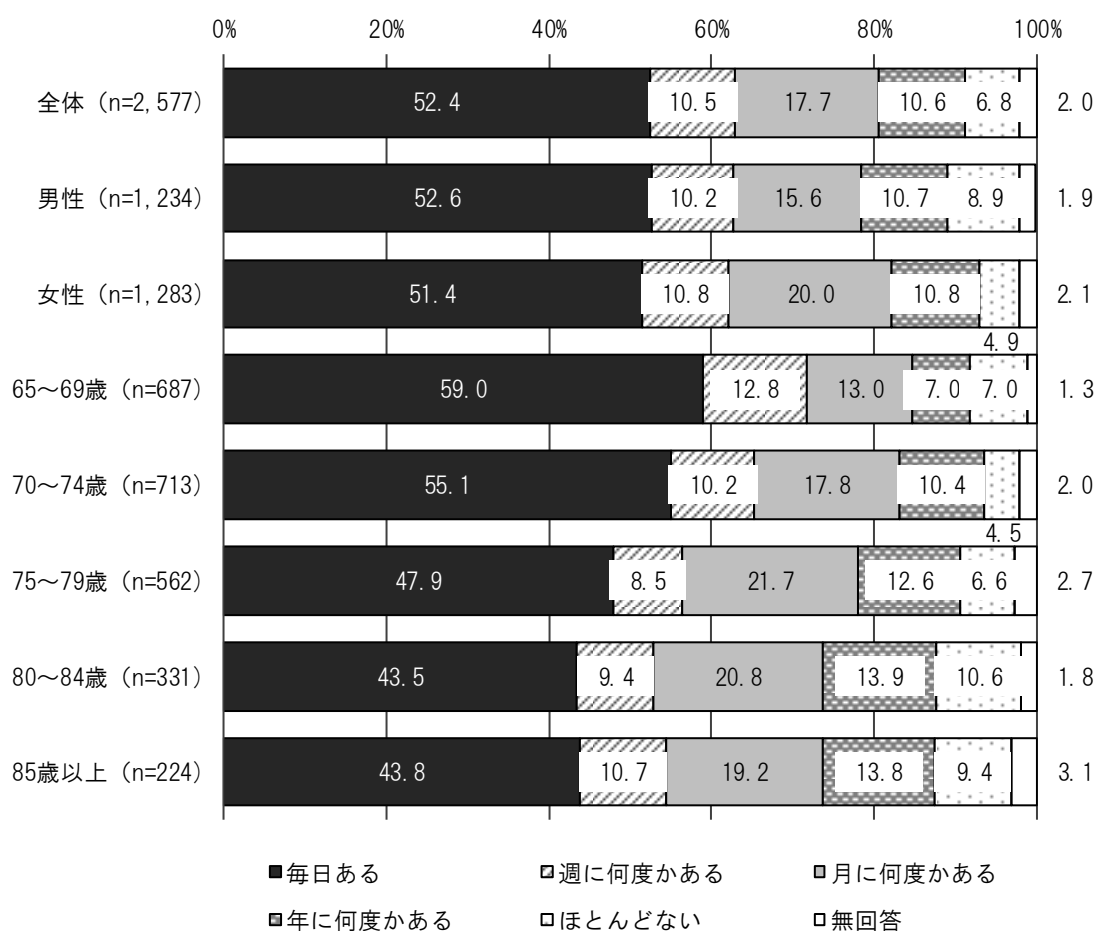
問3（8）どなたかと食事をとにもする機会がありますか

（単数回答）

食事をとにもする機会についてみると、全体では「毎日ある」が 52.4%と最も多く、次いで「月に何度かある」が 17.7%、「年に何度かある」が 10.6%となっています。

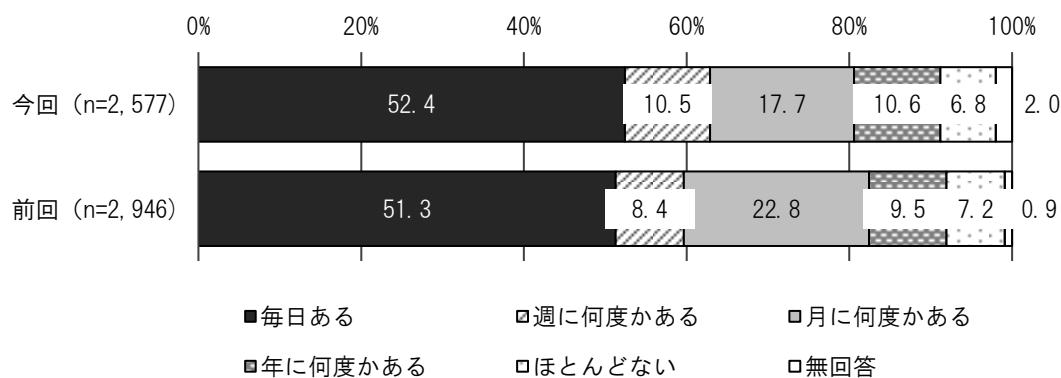
性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「毎日ある」が少なくなっています。



【経年比較】

前回と比較すると、「月に何度かある」が 5.1 ポイント減少しています。

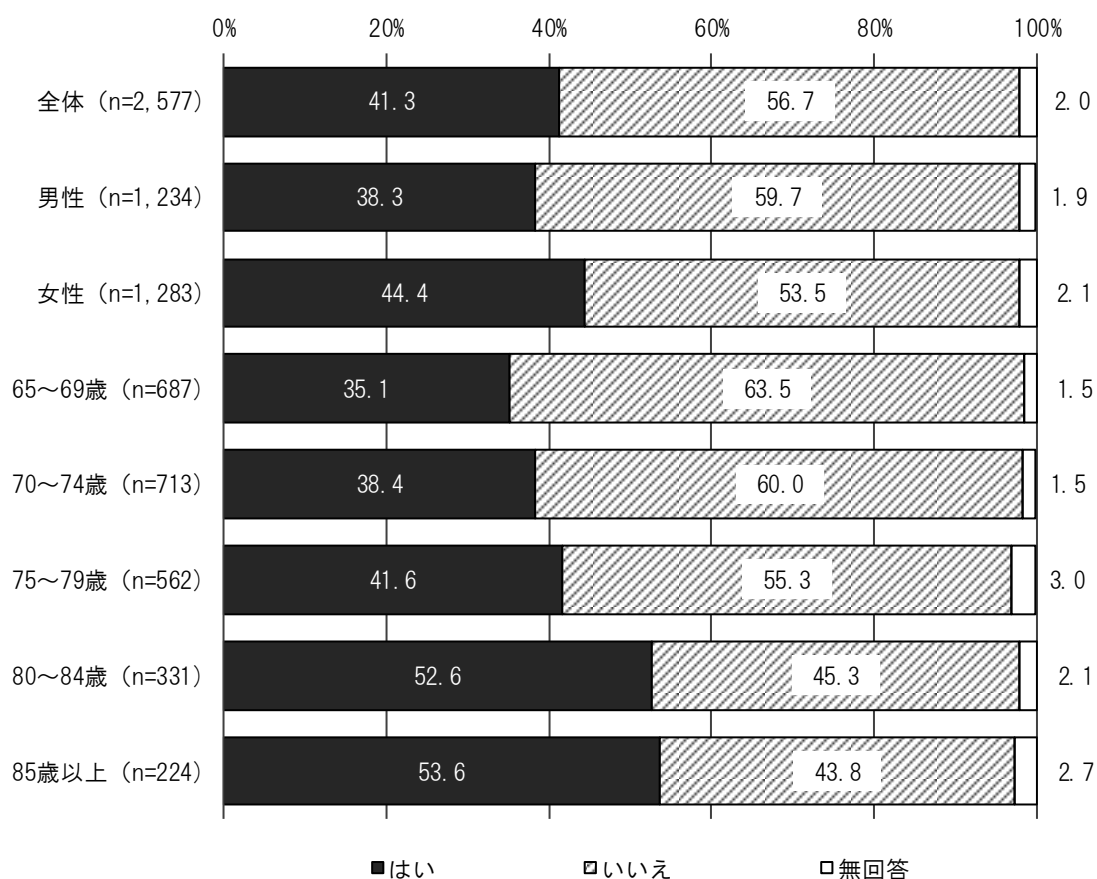


4 毎日の生活について

問4（1）物忘れが多いと感じますか

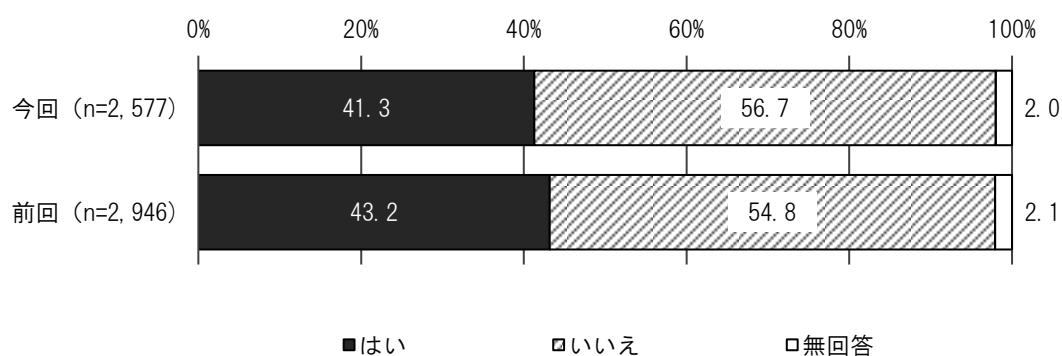
（単数回答）

物忘れが多いと感じるかについてみると、全体では「はい」が41.3%、「いいえ」が56.7%となっています。
性別にみると、〔女性〕では「はい」が〔男性〕と比べて多くなっています。
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「はい」が多くなっています。



【経年比較】

前回と比較すると、大きな差はみられません。

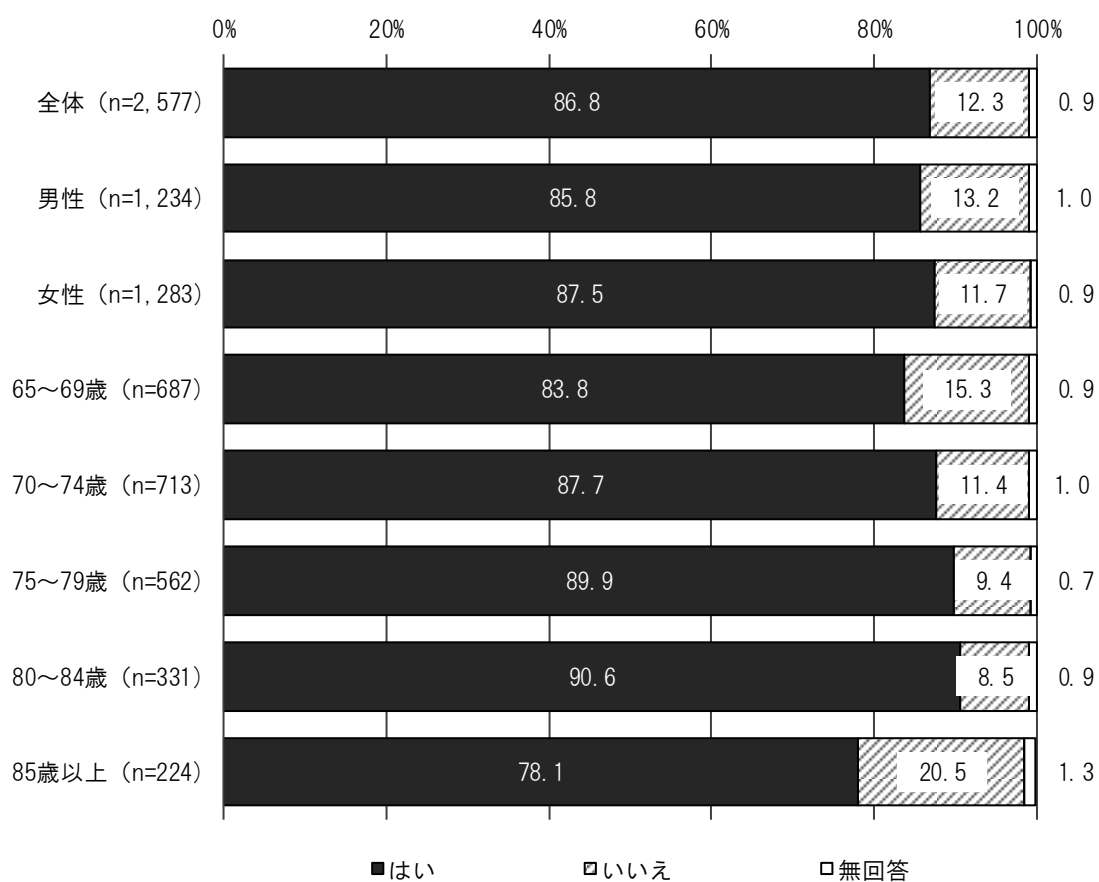


問4（2）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（単数回答）

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについてみると、全体では「はい」が 86.8%、「いいえ」が 12.3%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〔85 歳以上〕において「いいえ」が他と比べて多くなっています。



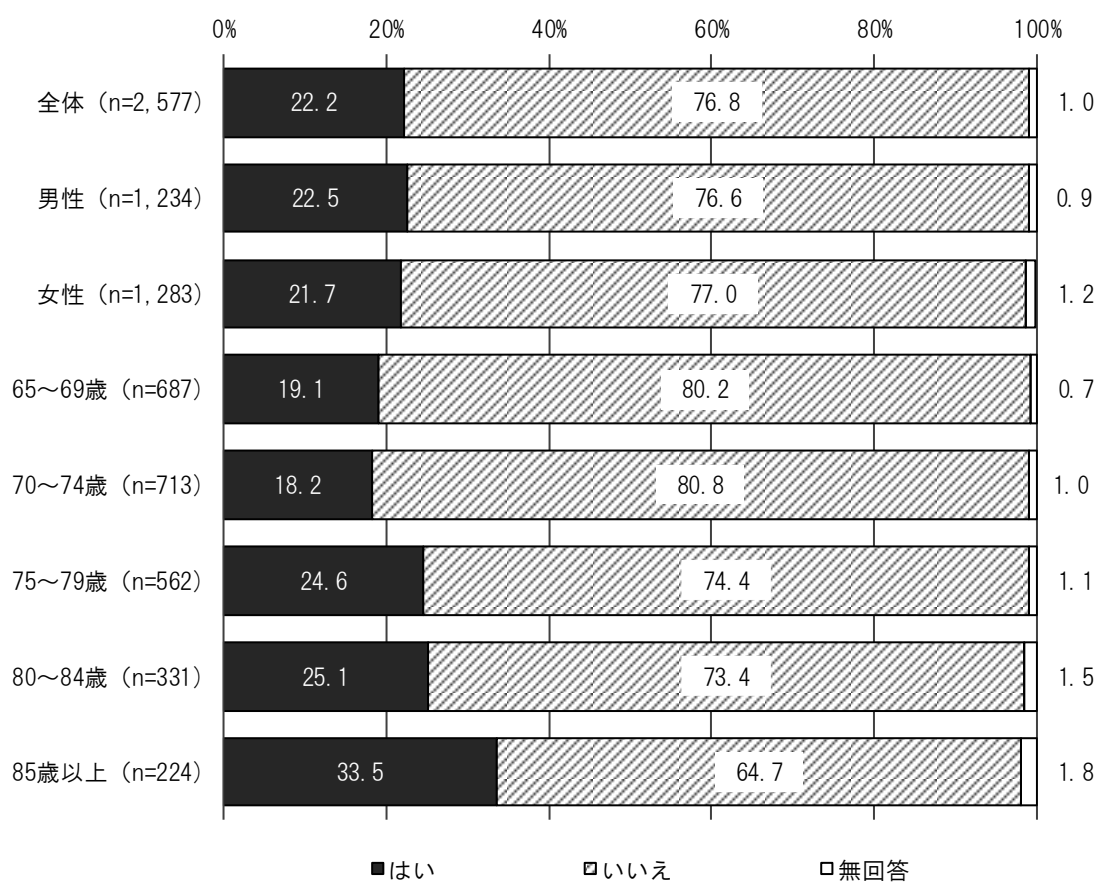
問4（3）今日が何月何日かわからない時がありますか

（単数回答）

今日が何月何日かわからない時があるかについてみると、全体では「はい」が 22.2%、「いいえ」が 76.8%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「はい」が多くなっています。

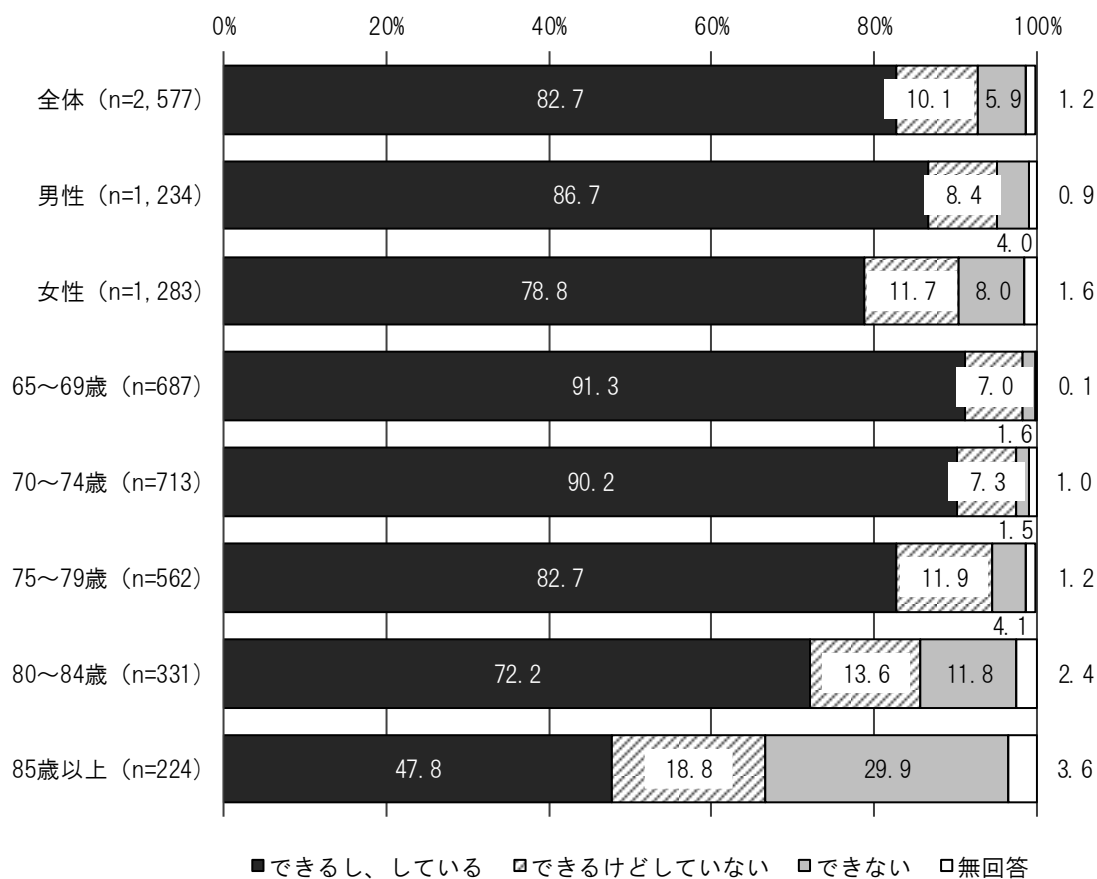


問4（4）バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（単数回答）

バスや電車を使って1人で外出しているかについてみると、全体では「できるし、している」が82.7%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.1%、「できない」が5.9%となっています。

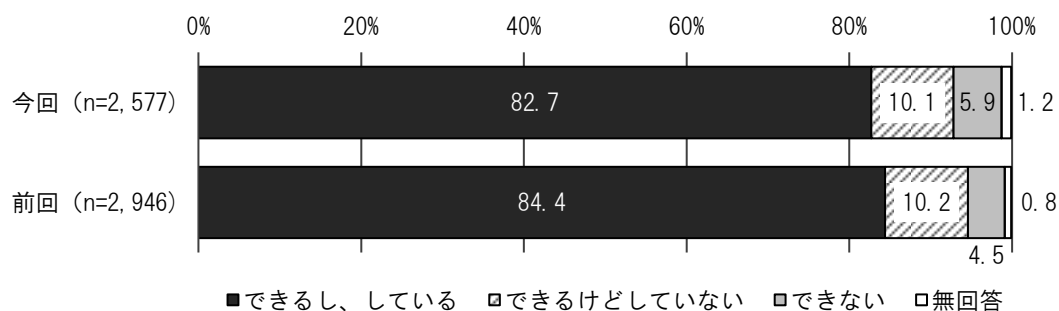
性別にみると、〔男性〕では「はい」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「できるし、している」が少なくなっています。



【経年比較】

前回と比較すると、大きな差はみられません。



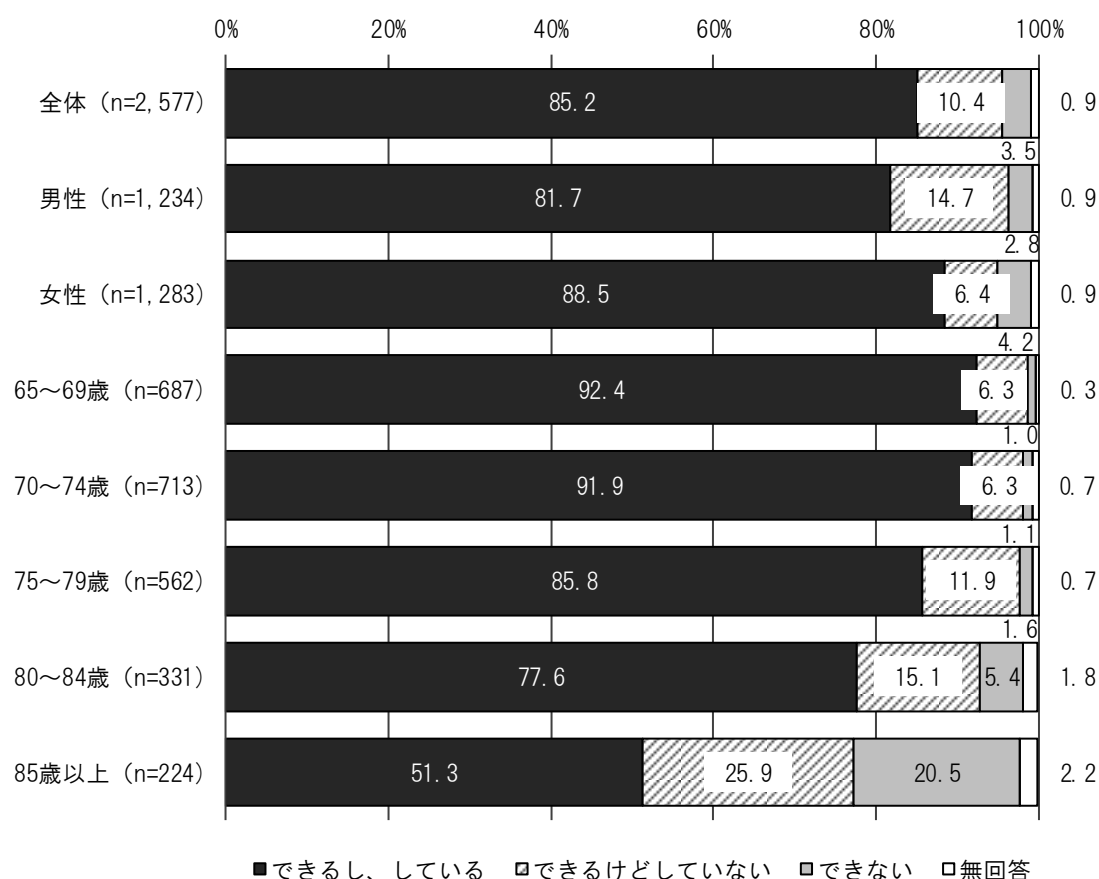
問4（5）自分で食品・日用品の買物をしていますか。

（単数回答）

自分で食品・日用品の買物をしているかについてみると、全体では「できるし、している」が85.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.4%、「できない」が3.5%となっています。

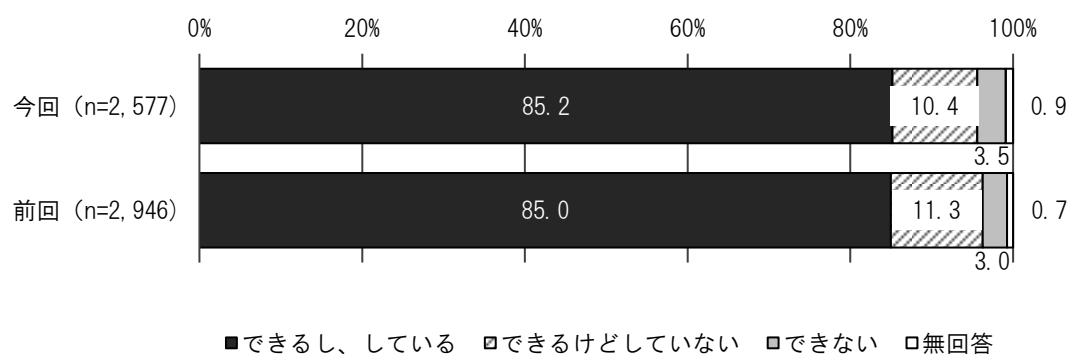
性別にみると、〔女性〕では「できるし、している」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「できるけどしていない」「できない」が多くなっています。



【経年比較】

前回と比較すると、大きな差はみられません。



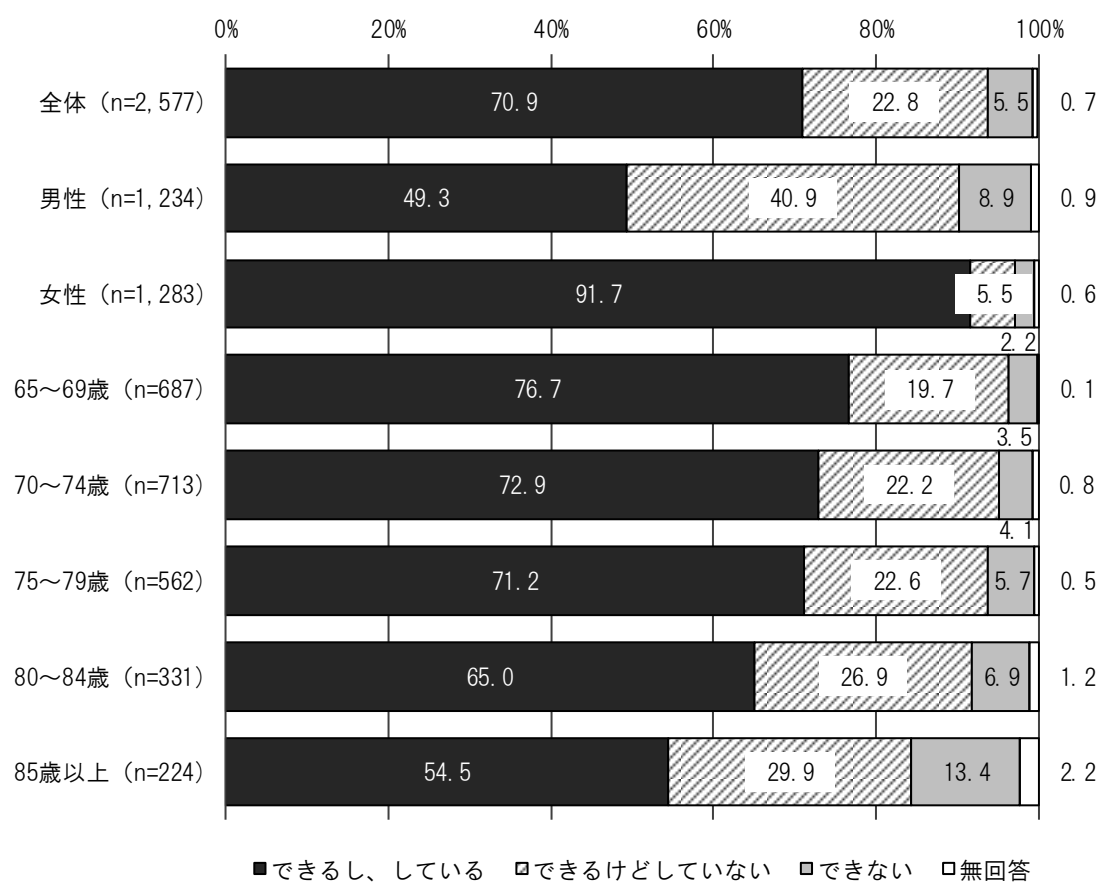
問4（6）自分で食事の用意をしていますか。

（単数回答）

自分で食事の用意をしているかについてみると、全体では「できるし、している」が70.9%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が22.8%、「できない」が5.5%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「できるけどしていない」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「できるけどしていない」「できない」が多くなっています。



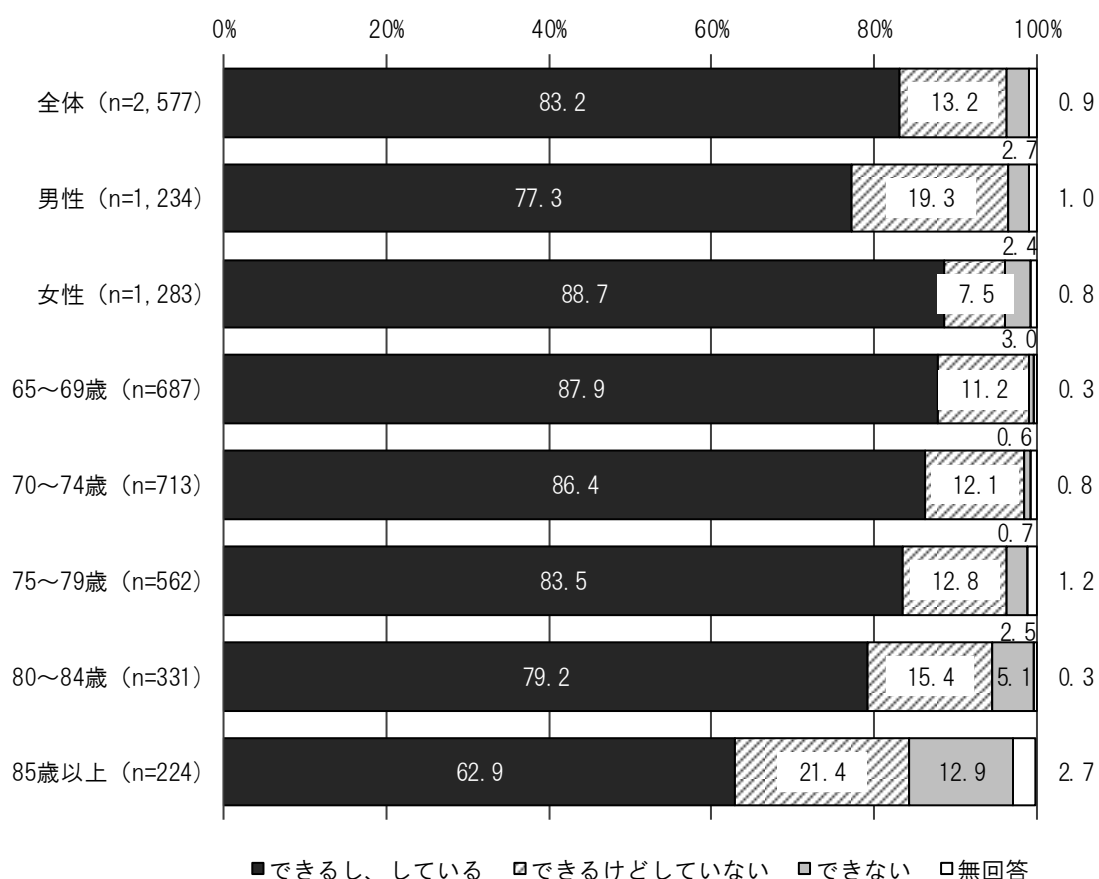
問4（7）自分で請求書の支払いをしていますか。

（単数回答）

自分で請求書の支払いをしているかについてみると、全体では「できるし、している」が 83.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が 13.2%、「できない」が 2.7%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「できるけどしていない」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「できるけどしていない」「できない」が多くなっています。



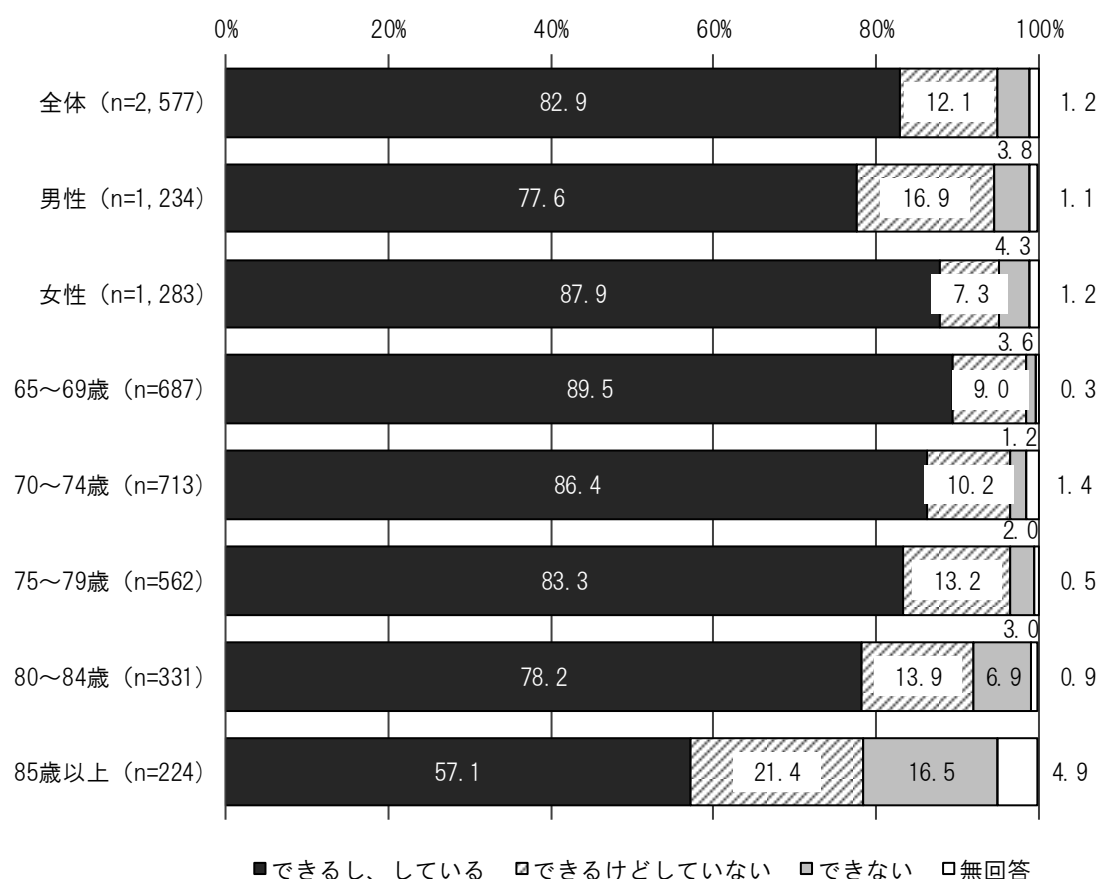
問4（8）自分で預貯金の出し入れをしていますか。

（単数回答）

自分で預貯金の出し入れをしているかについてみると、全体では「できるし、している」が82.9%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.1%、「できない」が3.8%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「できるけどしていない」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「できるけどしていない」「できない」が多くなっています。

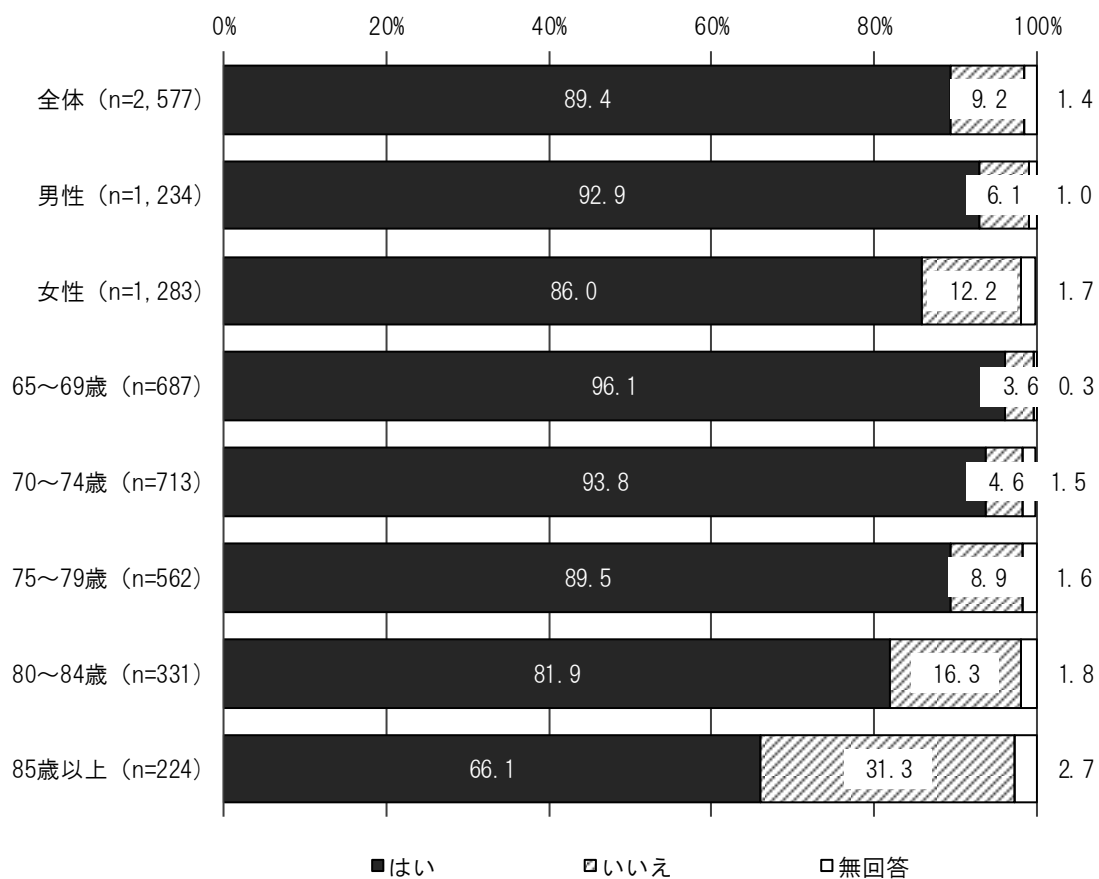


問4（9）年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか （単数回答）

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けるかについてみると、全体では「はい」が89.4%、「いいえ」が9.2%となっています。

性別にみると、〔女性〕では「いいえ」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「いいえ」が多くなっています。



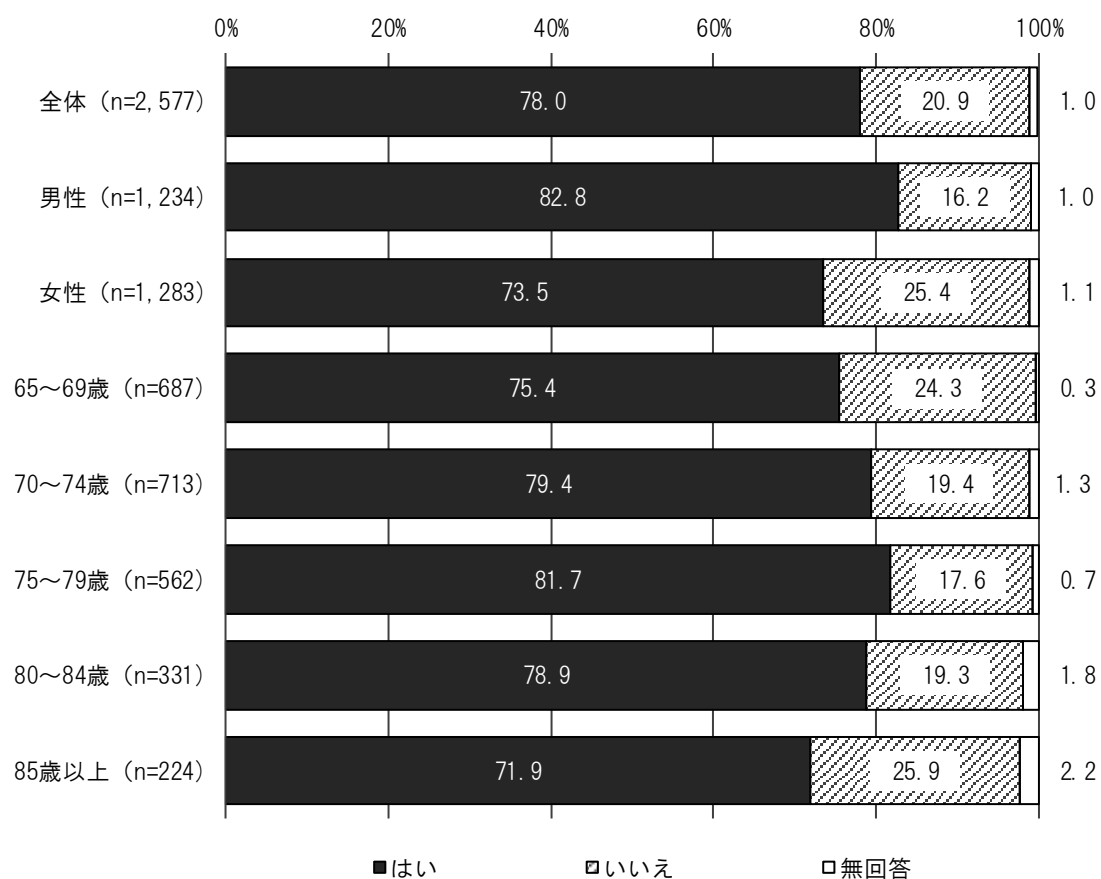
問 4 (10) 新聞を読んでいますか

(単数回答)

新聞を読んでいるかについてみると、全体では「はい」が78.0%、「いいえ」が20.9%となっています。

性別にみると、「女性」では「いいえ」が「男性」と比べて多くなっています。

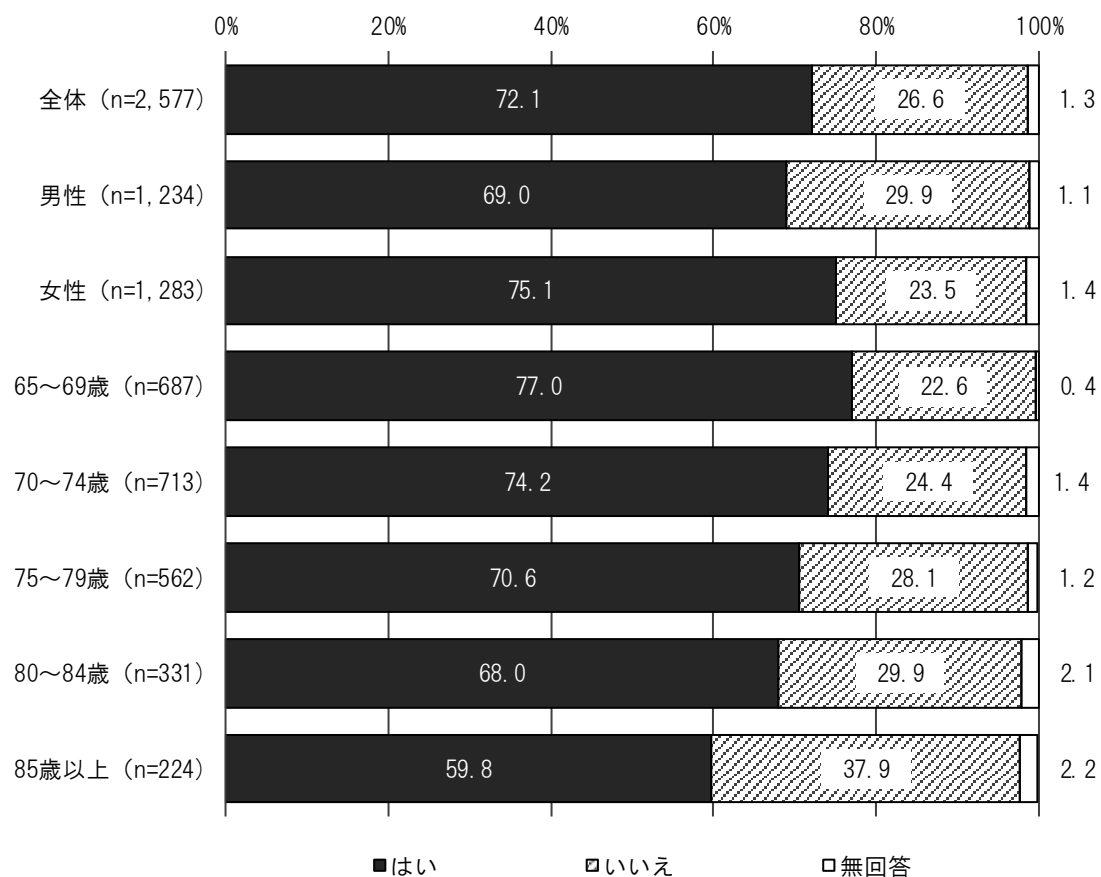
年齢別にみると、すべての年齢において「はい」が多くなっています。



問4（11）本や雑誌を読んでいますか

（単数回答）

本や雑誌を読んでいるかについてみると、全体では「はい」が72.1%、「いいえ」が26.6%となっています。
性別にみると、「男性」では「いいえ」が「女性」と比べて多くなっています。
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「いいえ」が多くなっています。



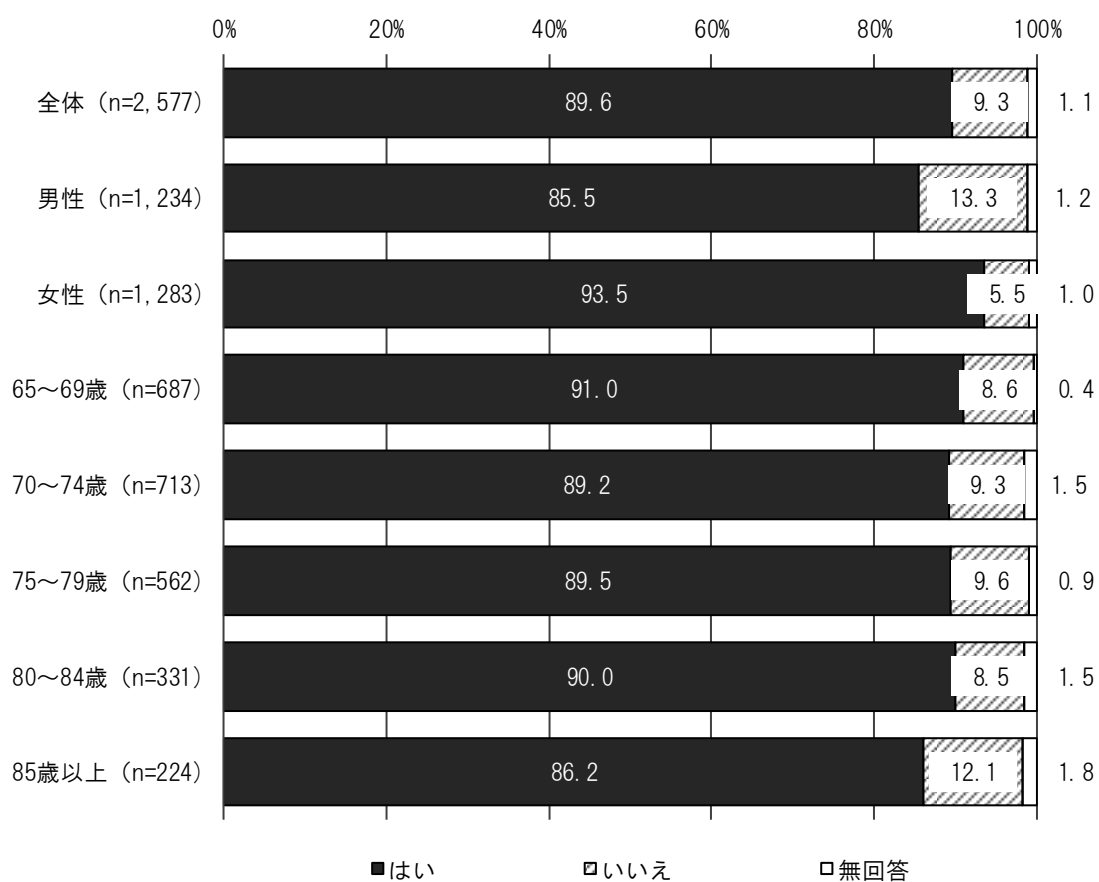
問4 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

(単数回答)

健康についての記事や番組に関心があるかについてみると、全体では「はい」が89.6%、「いいえ」が9.3%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「いいえ」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、大きな差はみられません。



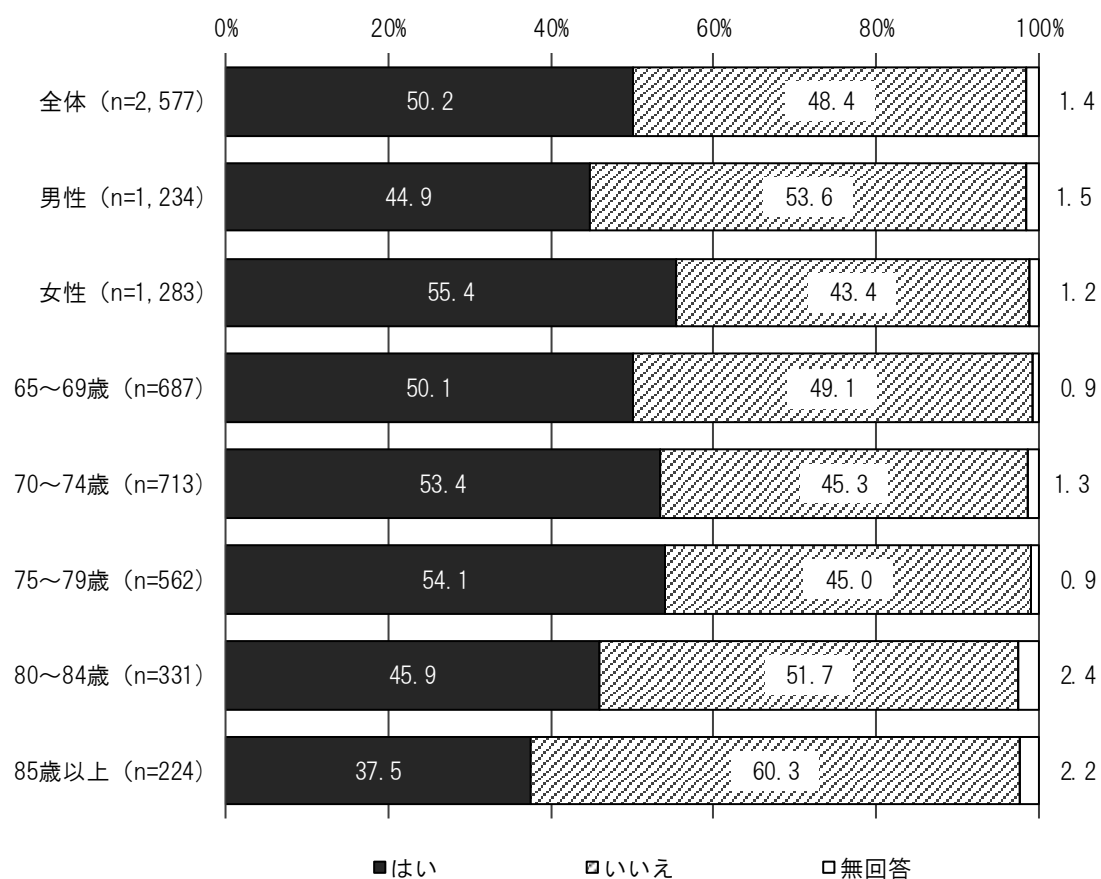
問4（13）友人の家を訪ねていますか。

（単数回答）

友人の家を訪ねているかについてみると、全体では「はい」が50.2%、「いいえ」が48.4%となっています。

性別にみると、〔女性〕では「はい」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、〔85歳以上〕において「いいえ」が他と比べて多くなっています。



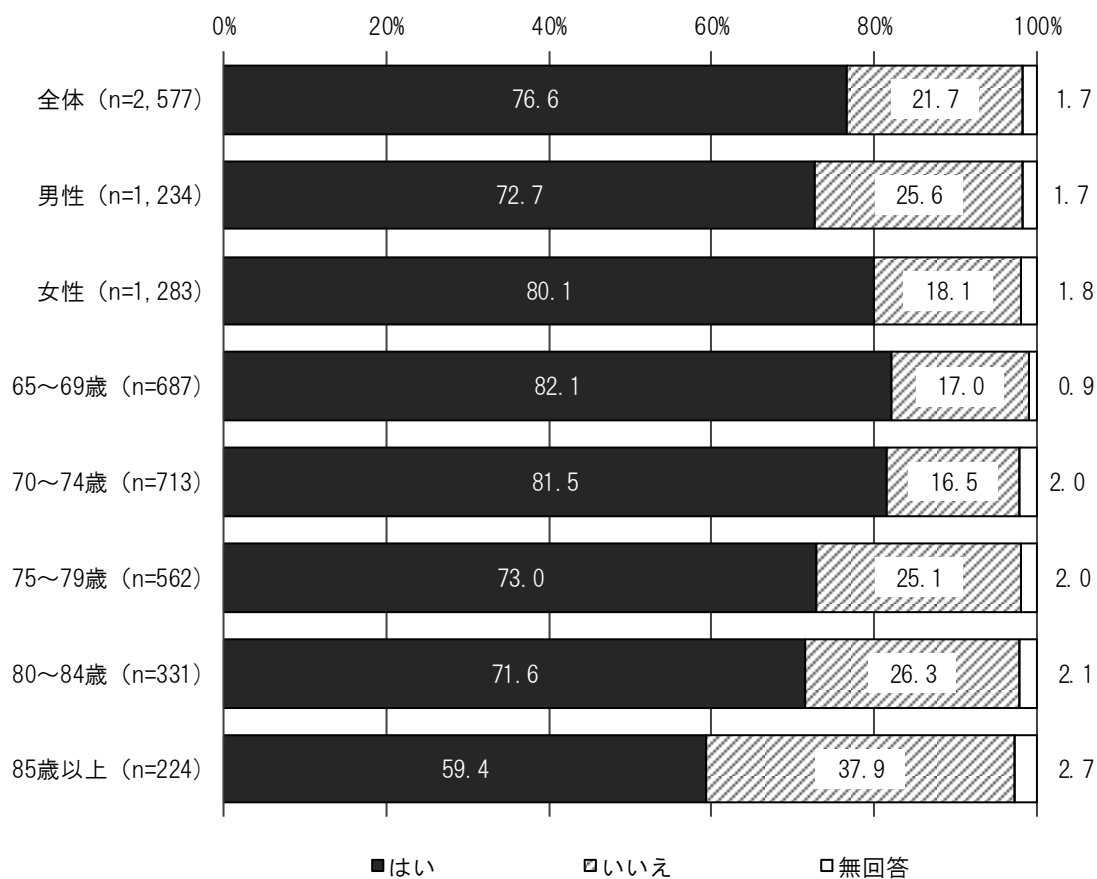
問4（14）家族や友人の相談にのっていますか。

（単数回答）

家族や友人の相談にのっているかについてみると、全体では「はい」が76.6%、「いいえ」が21.7%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「いいえ」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「いいえ」が多くなっています。



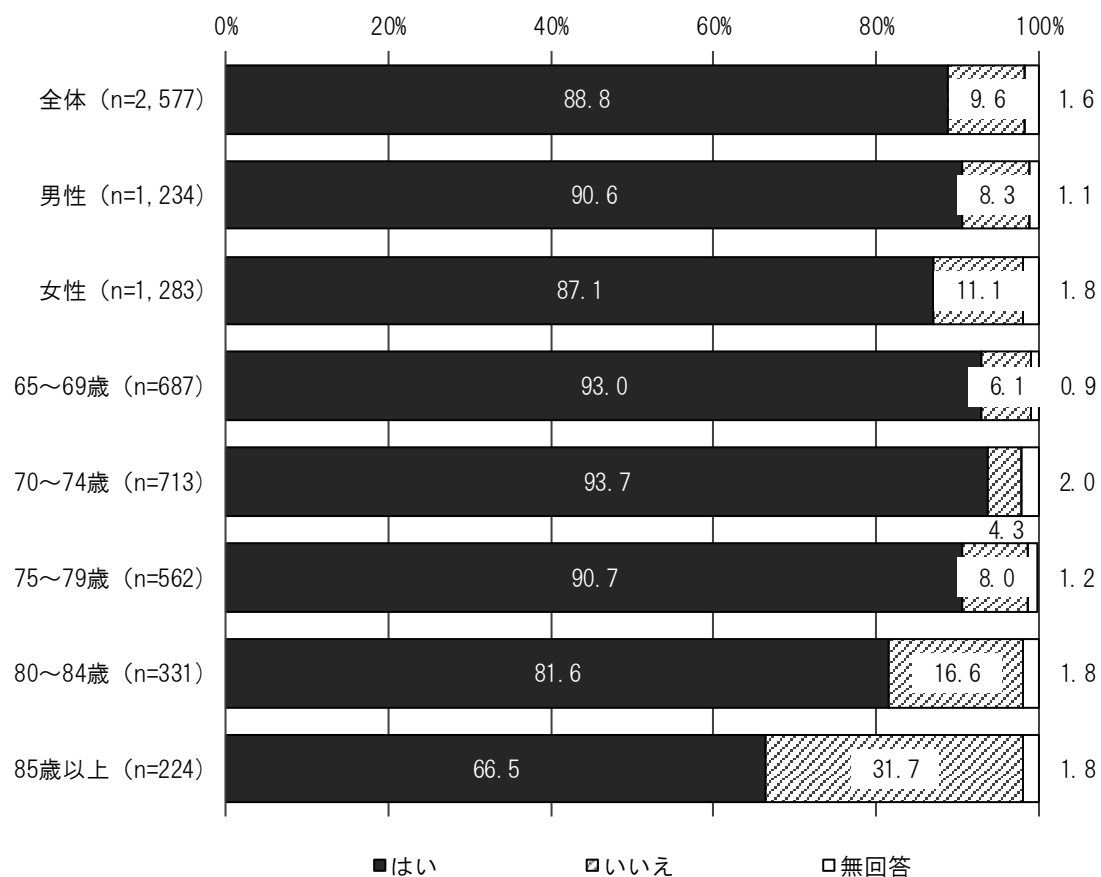
問4 (15) 病人を見舞うことができますか

(単数回答)

病人を見舞うことができるかについてみると、全体では「はい」が88.8%、「いいえ」が9.6%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「いいえ」が多くなっています。



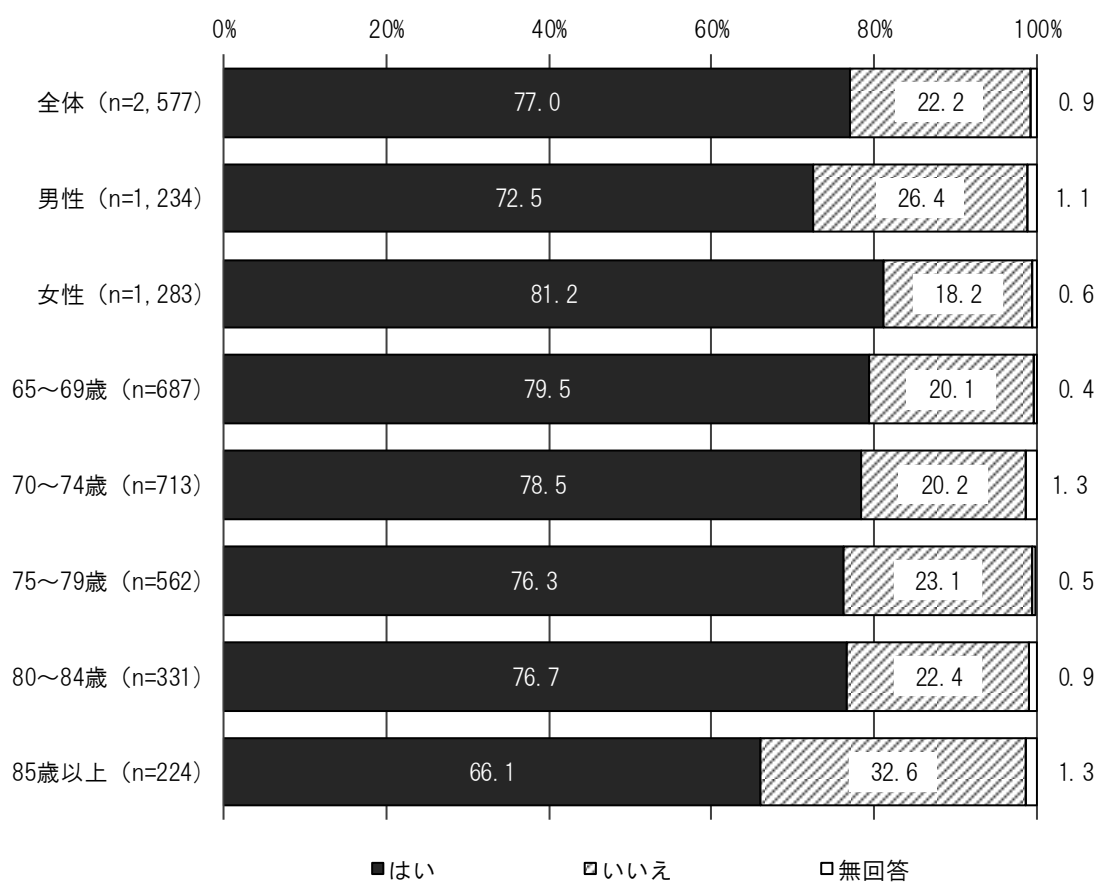
問 4 (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

(単数回答)

若い人に自分から話しかけることがあるかについてみると、全体では「はい」が 77.0%、「いいえ」が 22.2%となっています。

性別にみると、〔女性〕では「はい」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、〔85 歳以上〕において「いいえ」が他と比べて多くなっています。



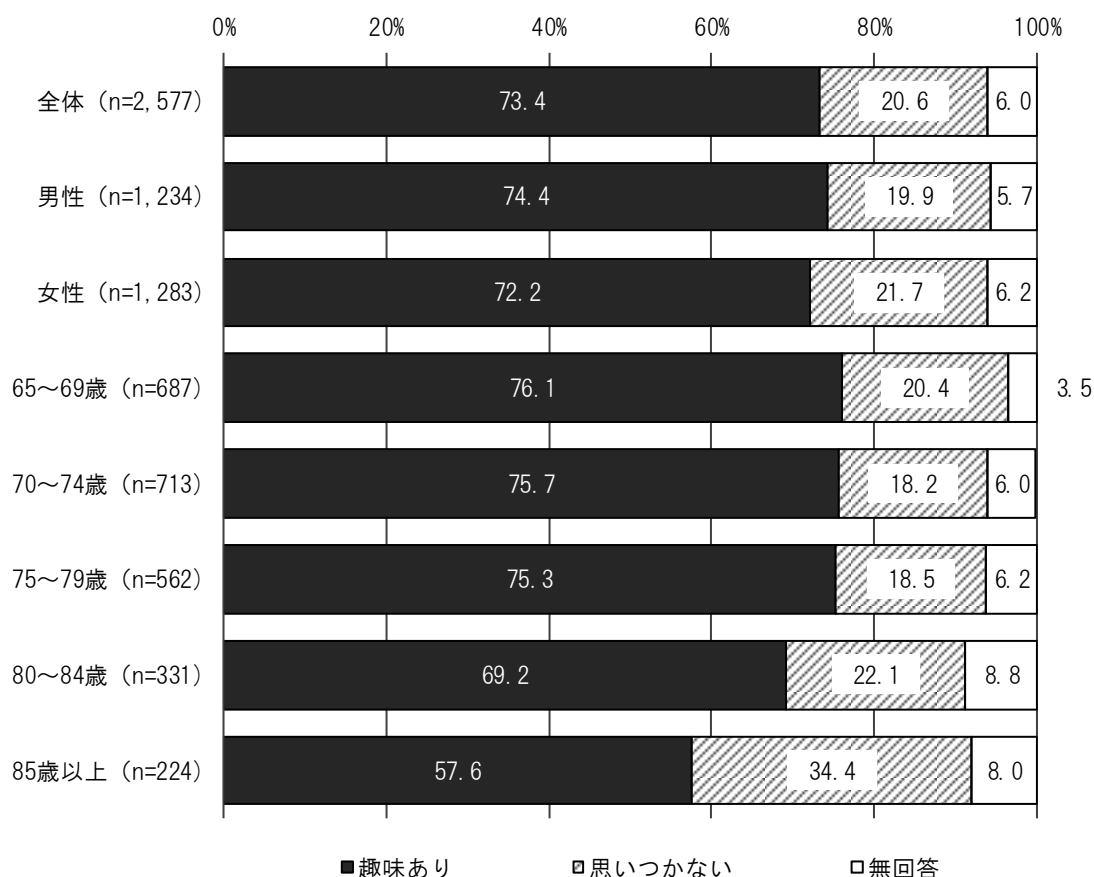
問4 (17) 趣味はありますか

(単数回答)

趣味があるかについてみると、全体では「趣味あり」が73.4%、「思いつかない」が20.6%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〔85歳以上〕において「思いつかない」が他と比べて多くなっています。



【趣味の内容】

趣味の内容について、上位10項目を以下に掲載します。回答が多かったのは「家庭菜園・園芸」が236件、「ゴルフ(パークゴルフ含む)」が217件、「読書」が200件となっています。

	項目	件数
1	家庭菜園・園芸	236
2	ゴルフ(パークゴルフ含む)	217
3	読書	200
4	手芸・パッチワーク	188
5	旅行	157
6	ウォーキング・散歩	117
7	カラオケ	93
8	釣り	87
9	演奏・コーラス	84
10	物作り(彫刻・細工系を含む)	76

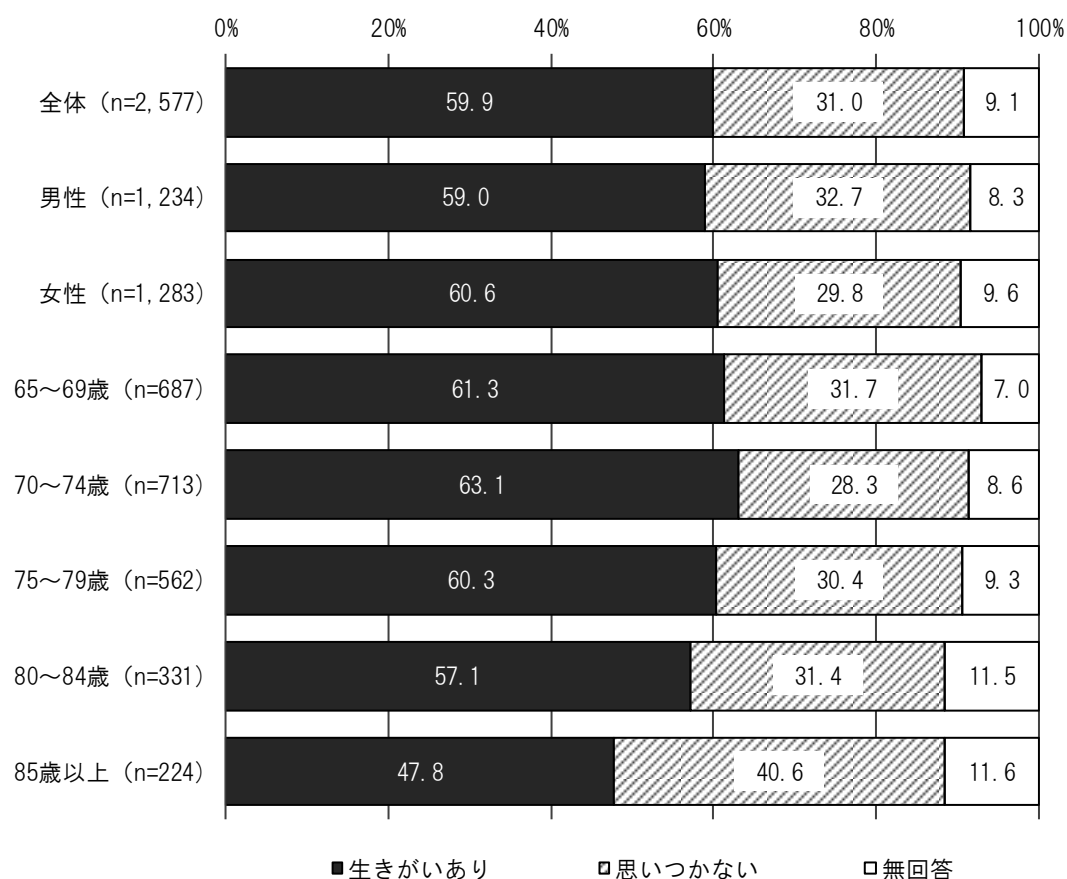
問4（18）生きがいがありますか

（単数回答）

生きがいについてみると、全体では「生きがいあり」が 59.9%、「思いつかない」が 31.0%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〔85 歳以上〕において「思いつかない」が他と比べて多くなっています。



【生きがいの内容】

生きがいの内容について、上位 10 項目を以下に掲載します。回答が多かったのは「子ども・孫・ひ孫・甥・姪のこと」が 371 件、「旅行」が 119 件、「仕事(家事を含む)」が 107 件となっています。

	項目	件数
1	子ども・孫・ひ孫・甥・姪のこと	371
2	旅行	119
3	仕事（家事を含む）	107
4	スポーツ・運動	93
5	農業・家庭菜園	91
6	家族に関して	78
7	健康・元気であること	71
8	趣味	63
9	友人に関して	60
10	社会貢献活動	40

5 地域での活動について

問5(1)①ボランティアのグループにどのくらいの頻度で参加していますか。(単数回答)

ボランティアのグループへの参加状況についてみると、全体では「参加していない」が58.6%と最も多く、次いで「年に数回」が6.1%、「月1回～3回」が5.4%となっています。また、『参加している(合算)』(「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合算)は、14.6%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「参加していない」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別に『参加している(合算)』をみると、〔65～69歳〕〔70～74歳〕〔75～79歳〕では1割台、〔80～84歳〕〔85歳以上〕では1割未満となっています。

%		問5（1）① ボランティアのグループにどのくらいの頻度で参加していますか										
		n	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 回 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	（ 参 加 し て い る （ 合 算 ） ）	（ 参 加 し て い る （ う ち 週 1 回 以 上 ） ）	（ 参 加 し て い な い （ 再 掲 ） ）
全体		2,577	0.5	1.6	1.0	5.4	6.1	58.6	26.8	14.6	3.1	58.6
性別	男性	1,234	0.5	1.6	1.3	5.7	6.5	63.4	21.1	15.6	3.4	63.4
	女性	1,283	0.5	1.6	0.7	5.1	5.5	54.3	32.2	13.4	2.8	54.3
年齢別	65～69歳	687	0.3	1.2	1.5	6.0	7.1	68.6	15.4	16.1	3.0	68.6
	70～74歳	713	0.8	1.8	1.3	6.3	6.6	59.5	23.7	16.8	3.9	59.5
	75～79歳	562	0.7	2.5	0.7	6.6	6.6	52.1	30.8	17.1	3.9	52.1
	80～84歳	331	0.3	1.5	0.6	2.4	3.9	50.2	41.1	8.7	2.4	50.2
	85歳以上	224	0.0	0.4	0.0	1.8	2.2	55.8	39.7	4.4	0.4	55.8

【経年比較】

前回と比較すると、大きな差はみられません。

%	問5（1）① ボランティアのグループにどのくらいの頻度で参加していますか										
	n	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 回 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	参 加 し て い る （ 合 算 ）	参 加 し て い る （ う ち 週 1 回 以 上 ）	参 加 し て い な い （ 再 掲 ）
今回	2,577	0.5	1.6	1.0	5.4	6.1	58.6	26.8	14.6	3.1	58.6
前回	2,946	0.6	1.6	1.5	5.1	7.5	55.4	28.2	16.3	3.7	55.4

問5（1）②スポーツ関係のグループやクラブにどのくらいの頻度で参加していますか。
（単数回答）

スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況についてみると、全体では「参加していない」が 52.1%と最も多く、次いで「週2～3回」が 6.7%、「月1回～3回」が 5.4%となっています。また、『参加している（合算）』が 22.7%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「参加していない」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別に『参加している（合算）』をみると、〔65～69歳〕〔70～74歳〕〔75～79歳〕では2割台、〔80～84歳〕では1割台、〔85歳以上〕では1割未満となっています。

%		問5（1）② スポーツ関係のグループやクラブにどのくらいの頻度で参加していますか										
		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1回～3回	年に数回	参加していない	無回答	参加している（合算）	参加している（うち週1回以上）	参加していない（再掲）
全体		2,577	2.9	6.7	4.7	5.4	3.0	52.1	25.1	22.7	14.3	52.1
性別	男性	1,234	2.3	5.2	3.1	7.4	4.7	57.5	19.9	22.7	10.6	57.5
	女性	1,283	3.7	8.1	6.3	3.4	1.2	47.1	30.2	22.7	18.1	47.1
年齢別	65～69歳	687	2.8	6.4	6.0	7.1	3.2	59.2	15.3	25.5	15.2	59.2
	70～74歳	713	3.4	8.6	5.5	5.9	3.6	51.9	21.2	27.0	17.5	51.9
	75～79歳	562	3.6	8.2	3.7	5.7	3.7	46.4	28.6	24.9	15.5	46.4
	80～84歳	331	3.6	3.9	3.9	1.8	1.5	45.6	39.6	14.7	11.4	45.6
	85歳以上	224	0.4	1.8	2.2	2.2	0.0	55.8	37.5	6.6	4.4	55.8

【経年比較】

前回と比較すると、大きな差はみられません。

%	問5（1）② スポーツ関係のグループやクラブにどのくらいの頻度で参加していますか										
	n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1回～3回	年に数回	参加していない	無回答	参加している（合算）	参加している（うち週1回以上）	参加していない（再掲）
今回	2,577	2.9	6.7	4.7	5.4	3.0	52.1	25.1	22.7	14.3	52.1
前回	2,946	3.5	8.1	4.9	5.4	2.5	51.7	24.0	24.4	16.5	51.7

問5（1）③趣味関係のグループにどのくらいの頻度で参加していますか。（単数回答）

趣味関係のグループへの参加状況についてみると、全体では「参加していない」が47.5%と最も多く、次いで「月1回～3回」が13.0%、「年に数回」が5.9%となっています。また、『参加している（合算）』が29.7%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「参加していない」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別に『参加している（合算）』をみると、〔65～69歳〕〔70～74歳〕〔75～79歳〕では3割台、〔80～84歳〕では2割台、〔85歳以上〕では1割台となっています。

%		問5（1）③ 趣味関係のグループにどのくらいの頻度で参加していますか										
		n	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 回 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	（ 参 加 し て い る （ 合 算 ） ）	（ 参 加 し て い る （ う ち 週 1 回 以 上 ） ）	（ 参 加 し て い な い （ 再 掲 ） ）
全体		2,577	1.8	4.6	4.4	13.0	5.9	47.5	22.7	29.7	10.8	47.5
性別	男性	1,234	1.5	4.4	4.0	11.8	8.4	52.4	17.4	30.1	9.9	52.4
	女性	1,283	2.0	4.9	4.6	14.4	3.5	42.8	27.7	29.4	11.5	42.8
年齢別	65～69歳	687	0.9	4.2	5.2	15.0	7.1	54.1	13.4	32.4	10.3	54.1
	70～74歳	713	2.2	4.1	4.8	16.0	6.6	46.4	19.9	33.7	11.1	46.4
	75～79歳	562	1.4	7.1	3.9	13.2	6.8	42.2	25.4	32.4	12.4	42.2
	80～84歳	331	3.6	4.8	3.0	8.2	3.9	42.3	34.1	23.5	11.4	42.3
	85歳以上	224	1.3	1.3	2.7	5.8	0.9	51.8	36.2	12.0	5.3	51.8

【経年比較】

前回と比較すると、大きな差はみられません。

%	問5（1）③ 趣味関係のグループにどのくらいの頻度で参加していますか										
	n	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 回 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	（ 合 算 ） 参 加 し て い る	（ 参 加 し て い る う ち 週 1 回 以 上 ）	（ 参 加 し て い な い （ 再 掲 ） ）
今回	2,577	1.8	4.6	4.4	13.0	5.9	47.5	22.7	29.7	10.8	47.5
前回	2,946	1.6	5.8	5.9	12.8	5.6	46.9	21.4	31.7	13.3	46.9

問5（1）④学習・教養サークルにどのくらいの頻度で参加していますか。（単数回答）

学習・教養サークルへの参加状況についてみると、全体では「参加していない」が 60.7%と最も多く、次いで「月1回～3回」「年に数回」が 3.7%、「週1回」が 1.2%となっています。また、『参加している(合算)』が 9.8%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「参加していない」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別に『参加している(合算)』をみると、〔65～69 歳〕〔70～74 歳〕〔75～79 歳〕〔80～84 歳〕では1割程度となっています。

%		問5（1）④ 学習・教養サークルにどのくらいの頻度で参加していますか										
		n	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 回 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	（ 参 加 し て い る （ 合 算 ） ）	（ 参 加 し て い る （ う ち 週 1 回 以 上 ） ）	（ 参 加 し て い な い （ 再 掲 ） ）
全体		2,577	0.2	1.0	1.2	3.7	3.7	60.7	29.5	9.8	2.4	60.7
性別	男性	1,234	0.2	0.5	1.1	2.8	3.4	68.6	23.4	8.0	1.8	68.6
	女性	1,283	0.3	1.4	1.4	4.7	3.8	52.9	35.5	11.6	3.1	52.9
年齢別	65～69歳	687	0.1	0.4	1.5	3.2	4.1	71.3	19.4	9.3	2.0	71.3
	70～74歳	713	0.3	1.3	1.0	3.5	4.5	62.6	26.9	10.6	2.6	62.6
	75～79歳	562	0.2	1.2	1.4	5.0	4.1	53.6	34.5	11.9	2.8	53.6
	80～84歳	331	0.6	1.5	1.5	4.8	2.1	48.9	40.5	10.5	3.6	48.9
	85歳以上	224	0.0	0.0	0.4	1.8	0.4	56.7	40.6	2.6	0.4	56.7

【経年比較】

前回と比較すると、大きな差はみられません。

%	問5（1）④ 学習・教養サークルにどのくらいの頻度で参加していますか										
	n	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 回 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	（ 合 算 ） 参 加 し て い る	（ 参 加 し て い る う ち 週 1 回 以 上 ）	（ 参 加 し て い な い （ 再 掲 ） ）
今回	2,577	0.2	1.0	1.2	3.7	3.7	60.7	29.5	9.8	2.4	60.7
前回	2,946	0.6	1.5	2.0	4.8	2.9	58.0	30.3	11.8	4.1	58.0

問5（1）⑤（なりたいいきいき百歳体操、あおぞら会など）介護予防のための通いの場にどのくらいの頻度で参加していますか。（単数回答）

介護予防のための通いの場への参加状況についてみると、全体では「参加していない」が65.5%と最も多く、次いで「月1回～3回」が2.1%、「週1回」が1.7%となっています。また、『参加している（合算）』が6.7%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「参加していない」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、〔65～69歳〕において「参加していない」が他と比べて多くなっています。

		問5（1）⑤（なりたいいきいき百歳体操、あおぞら会など）介護予防のための通いの場にどのくらいの頻度で参加していますか										
%		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1回～3回	年に数回	参加していない	無回答	参加している（合算）	参加している（うち週1回以上）	参加していない（再掲）
全体		2,577	0.6	1.0	1.7	2.1	1.3	65.5	27.8	6.7	3.3	65.5
性別	男性	1,234	0.3	0.5	0.5	0.8	1.1	73.5	23.3	3.2	1.3	73.5
	女性	1,283	0.9	1.5	2.8	3.3	1.6	57.8	32.2	10.1	5.2	57.8
年齢別	65～69歳	687	0.1	0.4	1.0	1.5	0.6	78.0	18.3	3.6	1.5	78.0
	70～74歳	713	0.7	0.6	1.3	2.4	1.5	68.4	25.1	6.5	2.6	68.4
	75～79歳	562	0.7	1.1	2.1	2.0	2.5	58.7	32.9	8.4	3.9	58.7
	80～84歳	331	1.5	1.5	3.0	2.4	0.6	52.0	39.0	9.0	6.0	52.0
	85歳以上	224	0.4	3.1	1.8	2.7	1.3	54.5	36.2	9.3	5.3	54.5

問5（1）⑥老人クラブにどのくらいの頻度で参加していますか。

（単数回答）

老人クラブへの参加状況についてみると、全体では「参加していない」が 64.0%と最も多く、次いで「年に数回」が 5.5%、「月1回～3回」が 2.8%となっています。また、『参加している(合算)』が 9.6%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「参加していない」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別に『参加している(合算)』をみると、〔65～69歳〕〔70～74歳〕では1割未満、〔75～79歳〕〔80～84歳〕〔85歳以上〕では1割台となっています。

%		問5（1）⑥ 老人クラブにどのくらいの頻度で参加していますか										
		n	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 回 ～ 3 回	年 に 数 回	参加 して いない	無 回 答	参加 して いる （ 合 算 ）	参加 して いる （ うち 週 1 回 以上 ）	参加 して いない （ 再 掲 ）
全体		2,577	0.3	0.5	0.5	2.8	5.5	64.0	26.3	9.6	1.3	64.0
性別	男性	1,234	0.2	0.5	0.2	2.8	5.0	70.0	21.3	8.7	0.9	70.0
	女性	1,283	0.5	0.6	0.8	2.9	6.0	58.1	31.1	10.8	1.9	58.1
年齢別	65～69歳	687	0.0	0.3	0.0	0.7	2.2	79.0	17.8	3.2	0.3	79.0
	70～74歳	713	0.0	0.4	0.3	2.7	4.5	67.6	24.5	7.9	0.7	67.6
	75～79歳	562	0.7	1.2	0.7	3.6	7.1	56.4	30.2	13.3	2.6	56.4
	80～84歳	331	0.6	0.6	0.6	6.0	8.8	46.8	36.6	16.6	1.8	46.8
	85歳以上	224	0.9	0.0	1.8	3.6	10.3	50.4	33.0	16.6	2.7	50.4

問5（1）⑦町内会・自治会にどのくらいの頻度で参加していますか。（単数回答）

町内会・自治会への参加状況についてみると、全体では「参加していない」が 43.2%と最も多く、次いで「年に数回」が 24.4%、「月1回～3回」が 5.5%となっています。また、『参加している(合算)』が 31.4%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「年に数回」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別に『参加している(合算)』をみると、〔65～69歳〕では4割台、〔70～74歳〕〔75～79歳〕では3割台、〔80～84歳〕〔85歳以上〕では1割台となっています。

		問5（1）⑦ 町内会・自治会にどのくらいの頻度で参加していますか										
		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1回～3回	年に数回	参加していない	無回答	参加している(合算)	参加している(うち週1回以上)	参加していない(再掲)
全体		2,577	0.3	0.5	0.7	5.5	24.4	43.2	25.3	31.4	1.5	43.2
性別	男性	1,234	0.5	0.7	1.1	6.9	29.3	43.4	18.2	38.5	2.3	43.4
	女性	1,283	0.2	0.4	0.3	4.1	19.7	43.2	32.2	24.7	0.9	43.2
年齢別	65～69歳	687	0.3	0.4	0.4	5.4	33.6	44.5	15.3	40.1	1.1	44.5
	70～74歳	713	0.4	0.7	0.8	6.7	25.5	43.6	22.2	34.1	1.9	43.6
	75～79歳	562	0.4	0.9	1.2	5.3	24.2	38.8	29.2	32.0	2.5	38.8
	80～84歳	331	0.3	0.3	0.3	5.1	13.6	42.6	37.8	19.6	0.9	42.6
	85歳以上	224	0.0	0.0	0.0	2.2	8.9	50.4	38.4	11.1	0.0	50.4

問5（1）⑧収入のある仕事にどのくらいの頻度で参加していますか。（単数回答）

収入のある仕事への参加状況についてみると、全体では「参加していない」が48.9%と最も多く、次いで「週4回以上」が12.7%、「週2～3回」が7.8%となっています。また、『参加している（合算）』が26.6%となっています。

性別にみると、〔男性〕では『参加している（合算）』が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別に『参加している（合算）』をみると、〔65～69歳〕では4割台、〔70～74歳〕では3割台、〔75～79歳〕では1割台、〔80～84歳〕〔85歳以上〕では1割未満となっています。

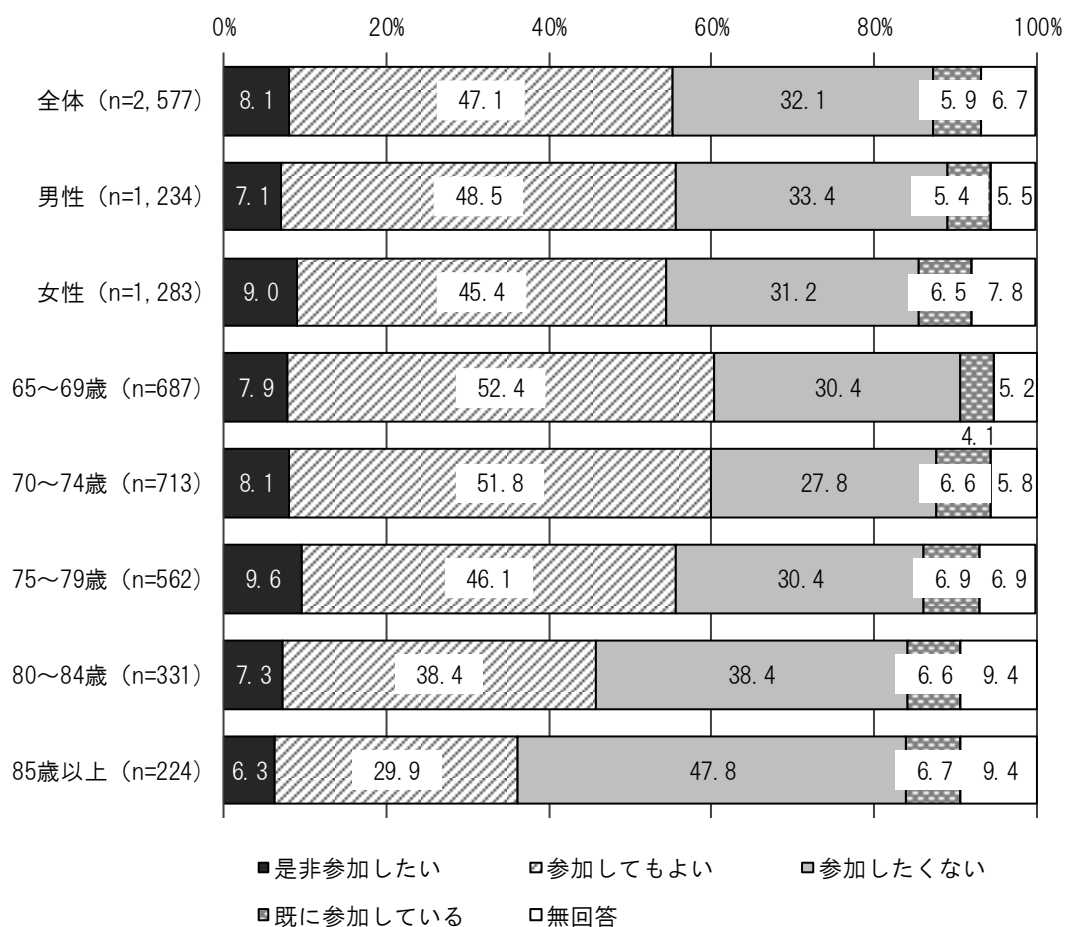
%		問5（1）⑧ 収入のある仕事にどのくらいの頻度で参加していますか										
		n	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 回 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	（ 参 加 し て い る （ 合 算 ） ）	（ 参 加 し て い る （ う ち 週 1 回 以 上 ） ）	（ 参 加 し て い な い （ 再 掲 ） ）
全体		2,577	12.7	7.8	1.6	1.9	2.6	48.9	24.4	26.6	22.1	48.9
性別	男性	1,234	15.5	9.6	2.1	2.8	3.4	48.1	18.6	33.4	27.2	48.1
	女性	1,283	9.5	5.9	1.2	1.0	1.9	50.3	30.2	19.5	16.6	50.3
年齢別	65～69歳	687	24.7	13.2	1.7	2.5	3.9	43.7	10.2	46.0	39.6	43.7
	70～74歳	713	14.7	10.7	2.2	2.4	2.5	47.8	19.6	32.5	27.6	47.8
	75～79歳	562	4.6	3.9	1.8	2.1	2.8	52.1	32.6	15.2	10.3	52.1
	80～84歳	331	3.6	1.5	0.6	0.6	1.2	52.3	40.2	7.5	5.7	52.3
	85歳以上	224	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	58.5	40.6	0.8	0.4	58.5

問5（2）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか
（単数回答）

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思うかについてみると、全体では「参加してもよい」が47.1%と最も多く、次いで「参加したくない」が32.1%、「是非参加したい」が8.1%となっています。

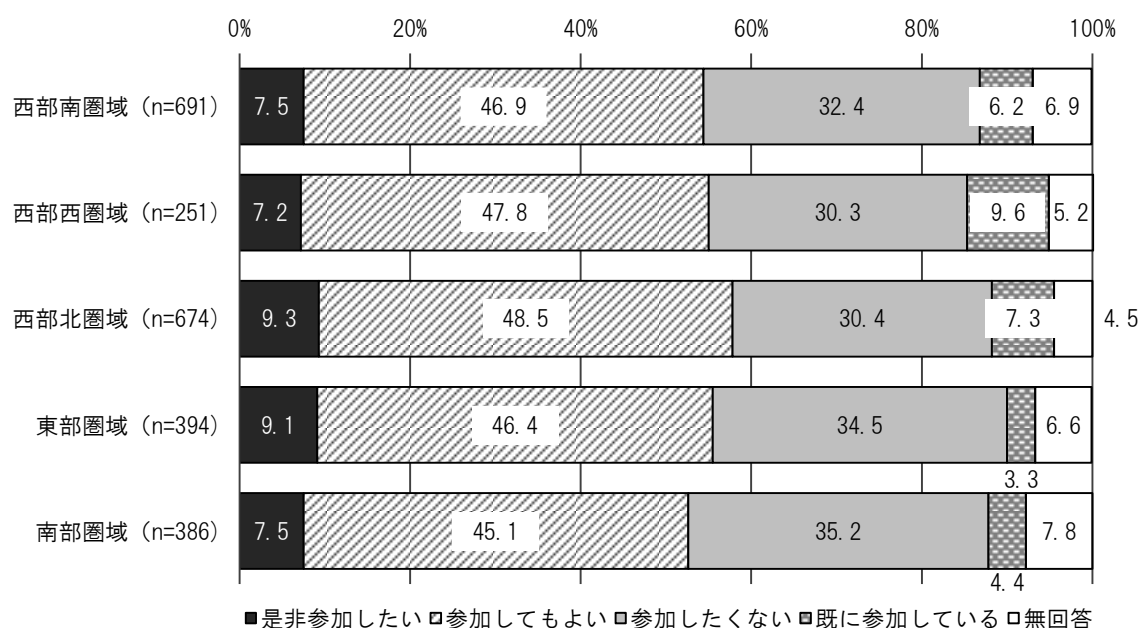
性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「参加したくない」が多くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

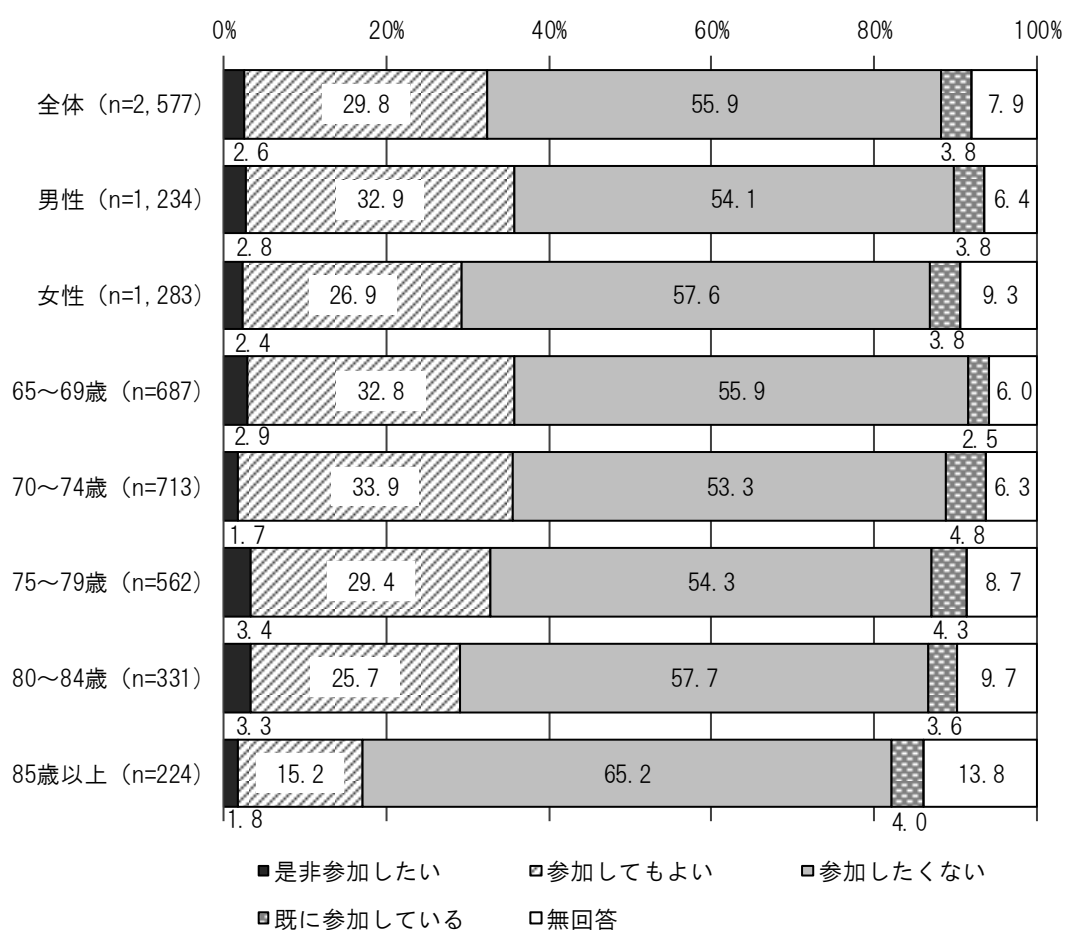


問5（3）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか
（単数回答）

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うかについてみると、全体では「参加したくない」が55.9%と最も多く、次いで「参加してもよい」が29.8%、「既に参加している」が3.8%となっています。

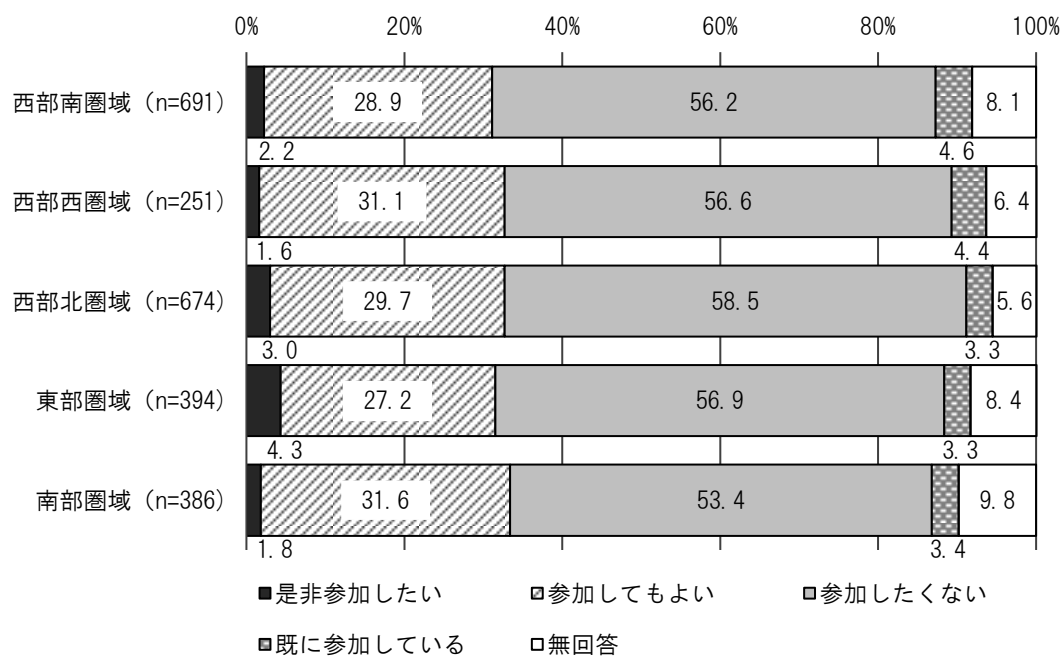
性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「参加したくない」が多くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



6 たすけあいについて

問6（1）あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人

（複数回答）

心配事や愚痴を聞いてくれる人についてみると、全体では「配偶者」が 55.5%と最も多く、次いで「友人」が 43.2%、「別居の子ども」が 34.3%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「配偶者」、〔女性〕では「友人」が多くなっています。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」が少なくなっています。

%		問6（1）あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人									
		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,577	55.5	23.9	34.3	34.1	13.9	43.2	2.4	4.4	3.5
性別	男性	1,234	69.0	16.6	24.9	24.5	8.6	31.5	2.8	6.2	4.3
	女性	1,283	42.2	30.9	43.6	43.7	19.0	54.5	1.8	2.6	2.6
年齢別	65～69歳	687	63.8	20.8	33.6	36.8	11.1	50.9	2.2	4.1	3.2
	70～74歳	713	63.1	22.7	37.4	35.8	15.4	46.8	2.2	3.8	2.2
	75～79歳	562	52.3	20.6	33.6	32.2	14.1	41.1	2.8	5.2	4.6
	80～84歳	331	45.0	28.4	33.5	32.9	15.1	39.0	1.5	3.0	3.0
	85歳以上	224	28.1	38.4	30.8	29.0	15.6	19.6	2.2	7.1	5.4

問6（2）反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人

（複数回答）

心配事や愚痴を聞いてあげる人についてみると、全体では「配偶者」が 52.5%と最も多く、次いで「友人」が 44.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 37.1%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「配偶者」、〔女性〕では「友人」が多くなっています。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」が少なくなっています。

%		問6（2）反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人									
		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,577	52.5	21.3	34.2	37.1	17.0	44.2	1.6	6.3	4.4
性別	男性	1,234	67.0	16.7	27.4	29.0	11.2	32.2	1.8	8.5	4.6
	女性	1,283	38.6	25.9	40.7	45.4	22.5	55.7	1.2	4.1	4.1
年齢別	65～69歳	687	62.0	21.0	37.1	40.2	13.4	51.5	1.9	5.1	3.2
	70～74歳	713	59.9	21.3	38.0	40.8	19.9	47.0	1.0	4.3	2.5
	75～79歳	562	49.1	19.8	32.0	35.2	18.1	43.4	1.2	7.3	6.0
	80～84歳	331	42.3	21.8	30.5	35.0	15.4	38.1	0.9	7.3	5.4
	85歳以上	224	23.7	26.3	23.7	26.8	17.9	23.7	3.1	11.6	7.6

問6（3）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（複数回答）

看病や世話をしてくれる人についてみると、全体では「配偶者」が 61.4%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 34.3%、「同居の子ども」が 31.5%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「配偶者」、〔女性〕では「別居の子ども」が多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「配偶者」が少なくなっています。また、年齢が上がるにつれて「同居の子ども」が多くなっています。

		問6（3）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人									
%		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,577	61.4	31.5	34.3	18.9	3.4	7.1	1.6	5.2	3.3
性別	男性	1,234	75.4	24.1	27.6	16.2	1.5	4.4	1.4	5.6	3.6
	女性	1,283	47.4	38.8	41.5	22.0	5.2	9.8	1.9	4.6	3.0
年齢別	65～69歳	687	70.0	26.9	31.3	17.3	2.3	8.3	0.6	6.8	2.9
	70～74歳	713	69.4	28.1	34.4	20.3	4.6	7.6	1.3	4.8	2.5
	75～79歳	562	58.5	28.1	35.9	18.1	3.6	7.5	2.3	4.6	4.4
	80～84歳	331	48.9	38.1	39.0	20.5	3.0	6.6	2.4	4.2	3.0
	85歳以上	224	31.7	56.3	36.6	21.4	3.1	2.2	3.1	3.1	4.0

問6（4）反対に、看病や世話をしあける人

（複数回答）

看病や世話をしあける人についてみると、全体では「配偶者」が 59.8%と最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 28.9%、「別居の子ども」が 27.8%となっています。

性別にみると、男女ともに「配偶者」が多くなっていますが、〔男性〕では「配偶者」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が少なくなっています。また、〔85歳以上〕において「そのような人はいない」が他と比べて多くなっています。

		問6（4）反対に、看病や世話をしあける人									
%		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,577	59.8	25.2	27.8	28.9	4.8	10.3	1.4	11.8	7.0
性別	男性	1,234	70.7	20.3	21.0	22.0	2.7	6.5	1.3	12.2	6.1
	女性	1,283	48.8	29.9	34.8	35.5	6.9	14.1	1.4	11.8	7.8
年齢別	65～69歳	687	67.1	25.8	33.2	36.5	3.9	9.9	2.5	10.3	4.4
	70～74歳	713	68.2	26.6	32.7	33.0	5.8	12.8	1.1	9.1	3.6
	75～79歳	562	57.5	22.6	25.3	25.6	6.0	11.7	0.7	10.7	8.0
	80～84歳	331	49.8	26.9	22.1	18.7	4.8	8.2	0.6	12.7	10.6
	85歳以上	224	28.1	22.8	12.9	15.6	1.8	4.0	1.3	28.1	17.4

問6（5）家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
（複数回答）

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手についてみると、全体では「そのような人はいない」が 37.6%と最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 27.7%、「地域包括支援センター・役所・役場」が 16.6%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〔85歳以上〕において「ケアマネジャー」が他と比べて多くなっています。

		問6（5）家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください								
%		n	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,577	7.1	10.7	5.6	27.7	16.6	7.8	37.6	11.1
性別	男性	1,234	9.6	11.2	3.8	28.5	15.7	10.0	37.6	8.2
	女性	1,283	4.9	10.4	7.2	26.7	17.7	5.3	37.9	13.6
年齢別	65～69歳	687	6.4	6.3	4.4	29.3	14.7	8.7	43.2	7.9
	70～74歳	713	8.1	9.7	3.8	27.3	17.8	7.6	40.3	9.3
	75～79歳	562	6.9	14.1	6.0	25.8	18.5	6.9	35.6	12.8
	80～84歳	331	6.6	14.5	6.3	28.7	18.7	7.6	27.8	15.4
	85歳以上	224	8.0	14.3	12.5	25.9	12.1	5.8	33.0	14.7

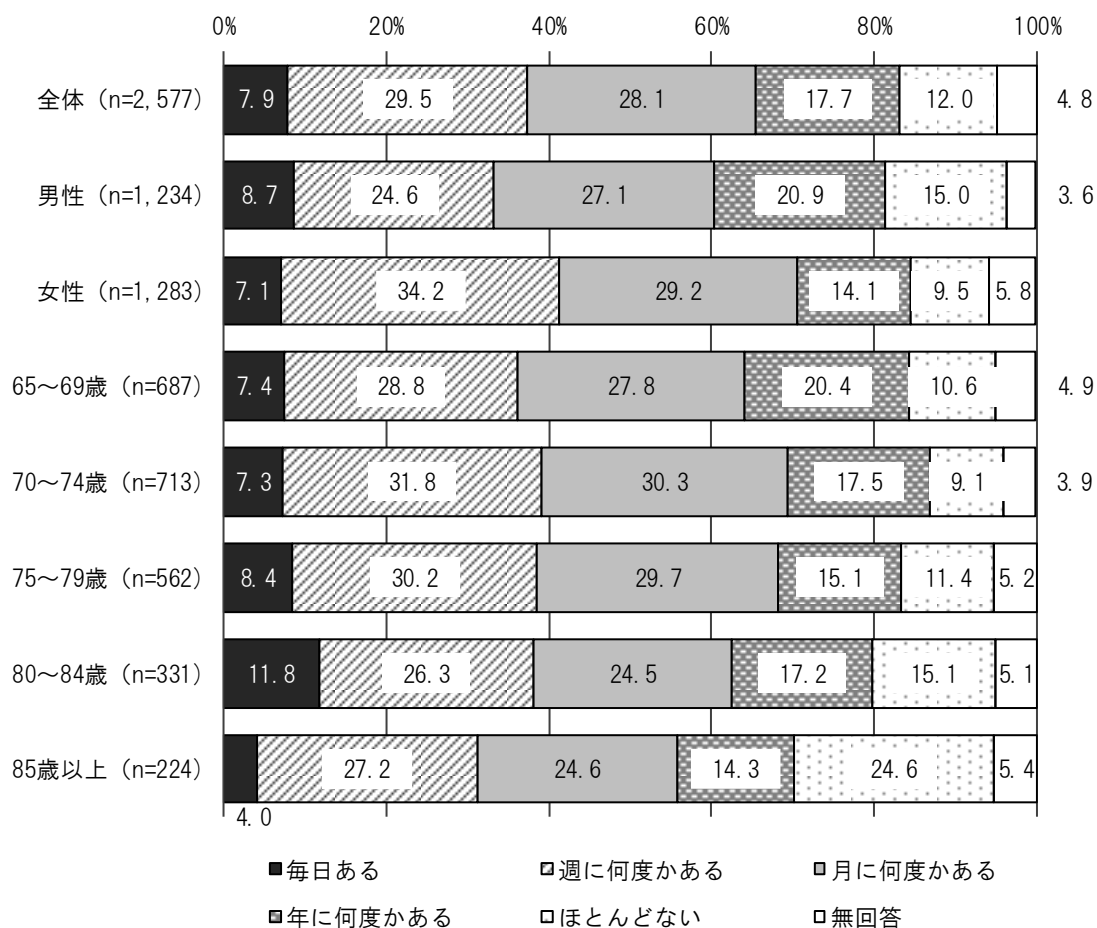
問6（6）友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

（単数回答）

友人・知人と会う頻度についてみると、全体では「週に何度かある」が29.5%と最も多く、次いで「月に何度かある」が28.1%、「年に何度かある」が17.7%となっています。

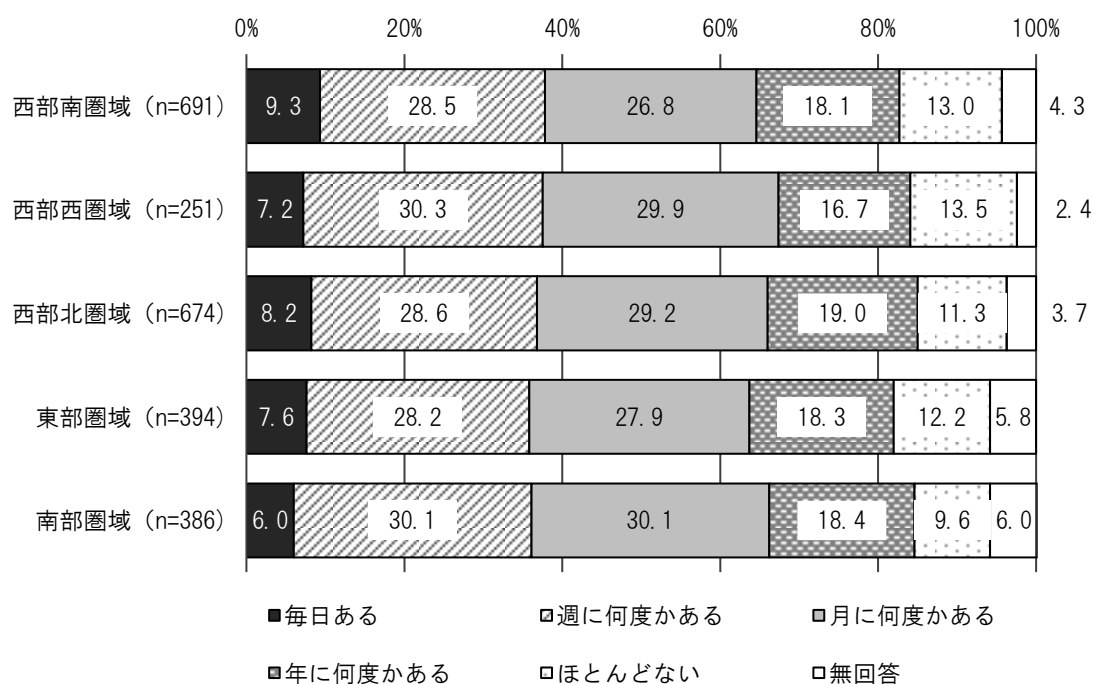
性別にみると、〔男性〕では「月に何度かある」、〔女性〕では「週に何度かある」が多くなっています。

年齢別にみると、〔85歳以上〕において「ほとんどない」が他と比べて多くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。

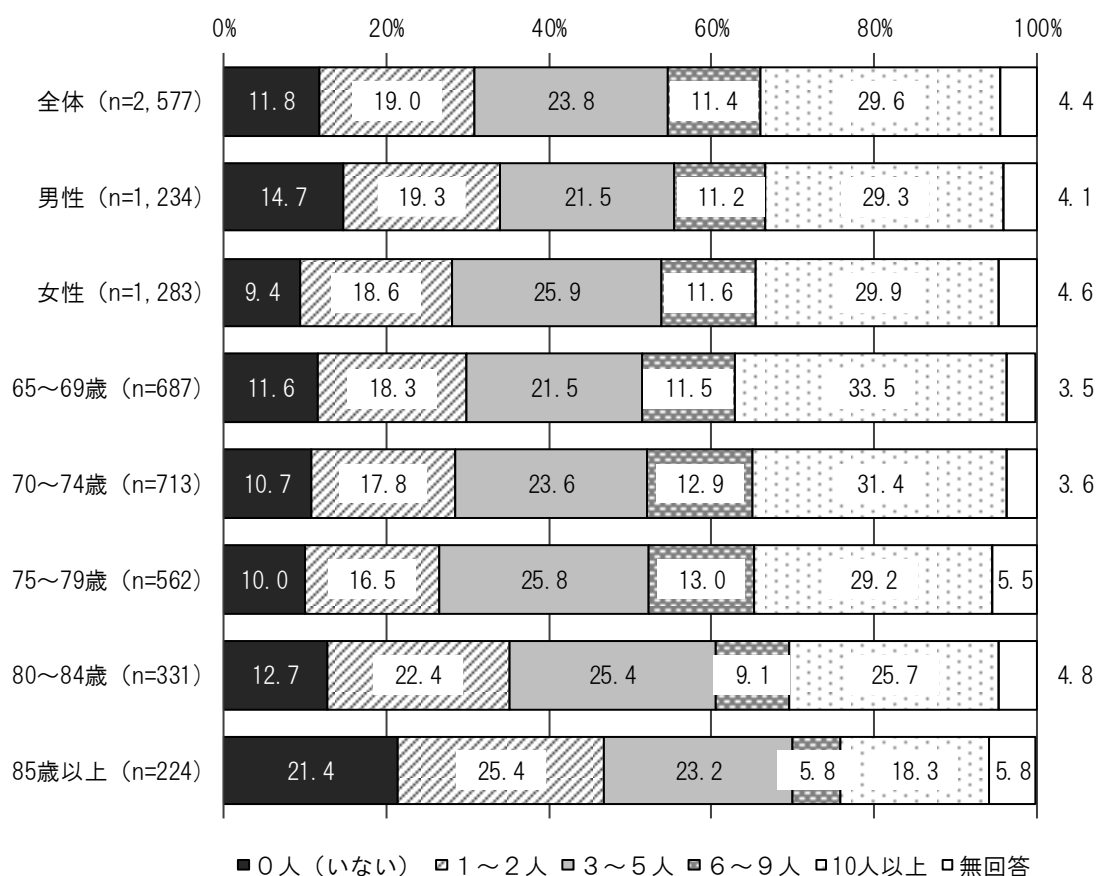


問6（7）この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。（単数回答）

この1か月間に会った友人・知人の人数についてみると、全体では「10人以上」が29.6%と最も多く、次いで「3～5人」が23.8%、「1～2人」が19.0%となっています。

性別にみると、男女ともに「10人以上」が多くなっていますが、〔男性〕では「0人（いない）」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、〔85歳以上〕において「0人（いない）」が他と比べて多くなっています。



問6（8）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。

（複数回答）

よく会う友人・知人との関係についてみると、全体では「近所・同じ地域の人」が 52.4%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 37.7%、「仕事での同僚・元同僚」が 33.2%となっています。

性別にみると、男女ともに「近所・同じ地域の人」が多くなっていますが、〔男性〕では「仕事での同僚・元同僚」が〔女性〕と比べて多くなっています。また、〔女性〕では「近所・同じ地域の人」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「仕事での同僚・元同僚」が少なくなっています。また、〔85 歳以上〕において「趣味や関心が同じ友人」が他と比べて少なくなっています。

		問6（8）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。									
%		n	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	活動での友人 ボランティア等の	その他	いない	無回答
全体		2,577	52.4	8.0	15.7	33.2	37.7	8.4	6.8	7.8	4.0
性別	男性	1,234	44.8	8.9	15.6	38.3	35.1	7.8	6.3	9.5	4.4
	女性	1,283	59.8	6.9	15.7	28.3	40.2	8.9	7.1	6.2	3.4
年齢別	65～69歳	687	46.7	9.8	19.1	48.2	37.1	7.7	6.8	8.3	2.9
	70～74歳	713	52.9	8.7	17.5	38.7	41.7	11.4	6.7	5.8	3.1
	75～79歳	562	51.4	8.0	12.5	26.9	39.9	9.1	6.0	7.3	4.6
	80～84歳	331	57.4	4.8	16.0	17.8	39.0	5.7	6.9	9.7	3.9
	85歳以上	224	63.8	4.0	7.1	8.5	19.6	2.7	7.6	11.6	7.6

7 健康について

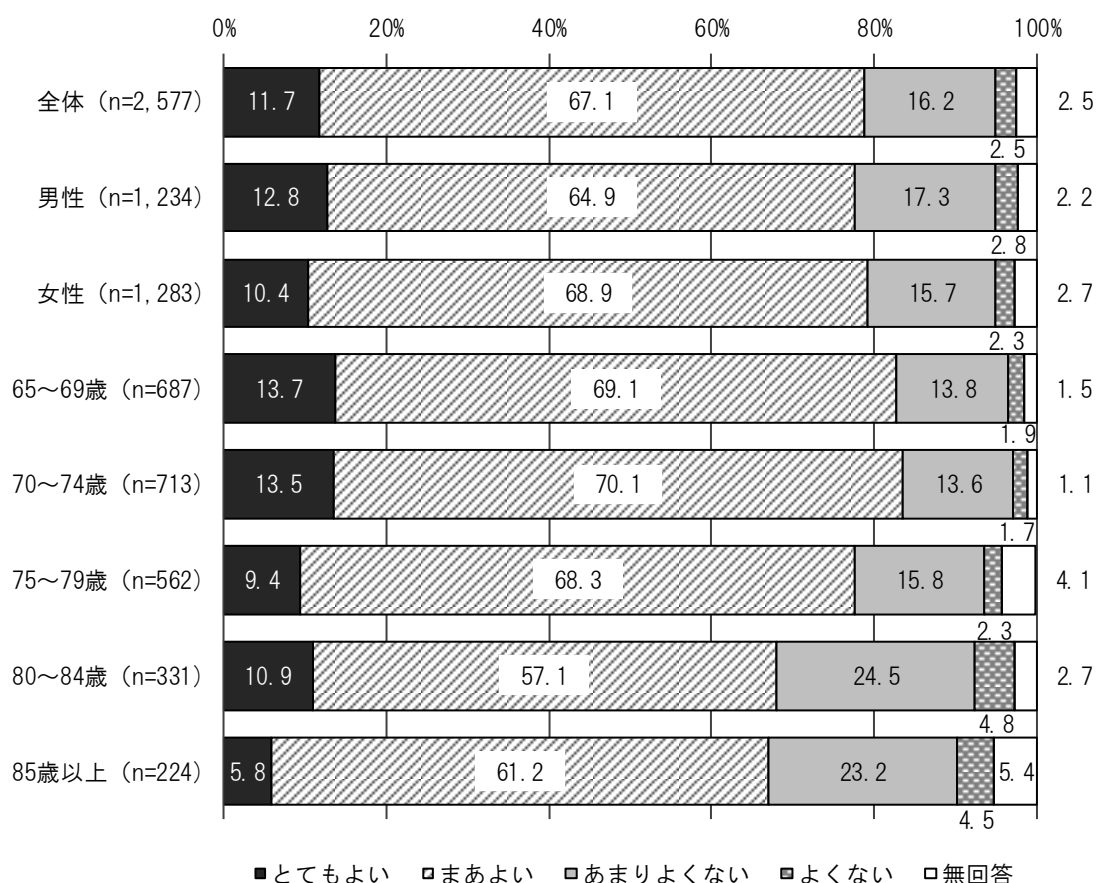
問7（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか

（単数回答）

健康状態についてみると、全体では「まあよい」が67.1%と最も多く、次いで「あまりよくない」が16.2%、「とてもよい」が11.7%となっています。

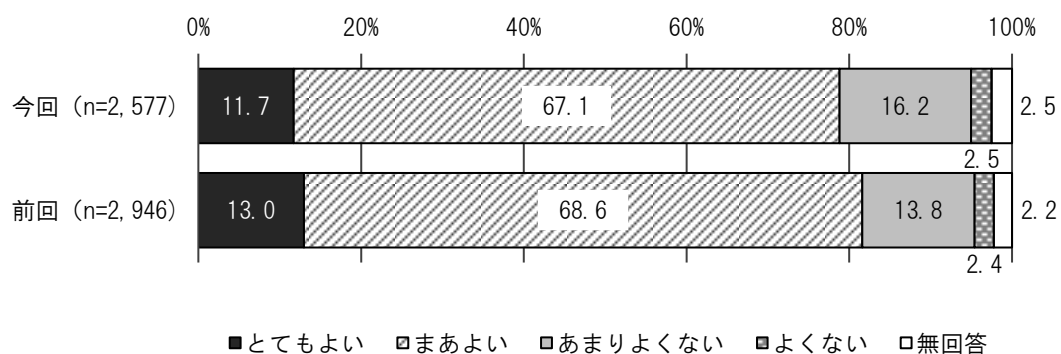
性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〔80～84歳〕〔85歳以上〕において「よくない」が他と比べて多くなっています。



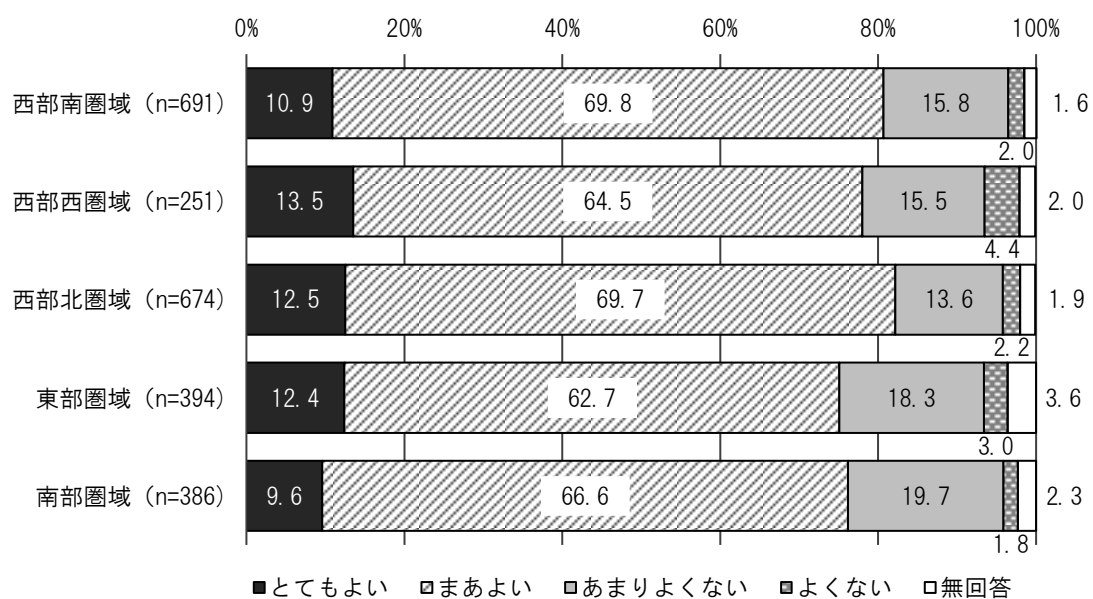
【経年比較】

前回と比較すると、大きな差はみられません。



【圏域別】

圏域別にみると、大きな差はみられません。



問7（2）あなたは、現在どの程度幸せですか

（単数回答）

幸福度についてみると、全体では「8点」が 22.2%と最も多く、次いで「10点」が 17.5%、「5点」が 17.4%となっています。また、平均点は『7.2点』となっています。

性別にみると、男女ともに「8点」が多くなっていますが、〔女性〕では「10点」が〔男性〕と比べて多くなっています。また、平均点は〔男性〕が『7.0点』、〔女性〕が『7.4点』となっています。

年齢別にみると、大きな差はみられません。

		問7（2）あなたは、現在どの程度幸せですか													
		n	（平均点 （無回答除く）	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体		2,577	7.2	0.5	0.5	0.7	2.6	2.6	17.4	8.5	15.1	22.2	8.7	17.5	3.7
性別	男性	1,234	7.0	0.7	0.5	0.6	3.0	2.9	18.7	9.9	15.8	22.8	7.9	14.0	3.2
	女性	1,283	7.4	0.2	0.3	0.8	2.2	2.3	16.4	7.2	14.2	21.7	9.4	21.0	4.1
年齢別	65～69歳	687	7.1	0.7	0.4	1.0	2.8	3.1	15.7	9.6	17.5	24.0	8.2	15.1	1.9
	70～74歳	713	7.4	0.4	0.3	0.3	2.5	1.8	16.4	8.4	14.7	23.3	11.1	17.0	3.8
	75～79歳	562	7.2	0.0	0.4	0.7	2.7	2.8	20.6	6.8	14.2	20.6	8.4	18.5	4.3
	80～84歳	331	7.2	0.3	0.3	0.9	1.8	3.0	18.7	10.6	12.1	20.2	6.6	20.5	4.8
	85歳以上	224	7.1	1.3	0.9	0.9	3.1	2.7	17.4	7.1	14.3	20.5	5.8	20.5	5.4

【経年比較】

前回と比較すると、大きな差はみられません。

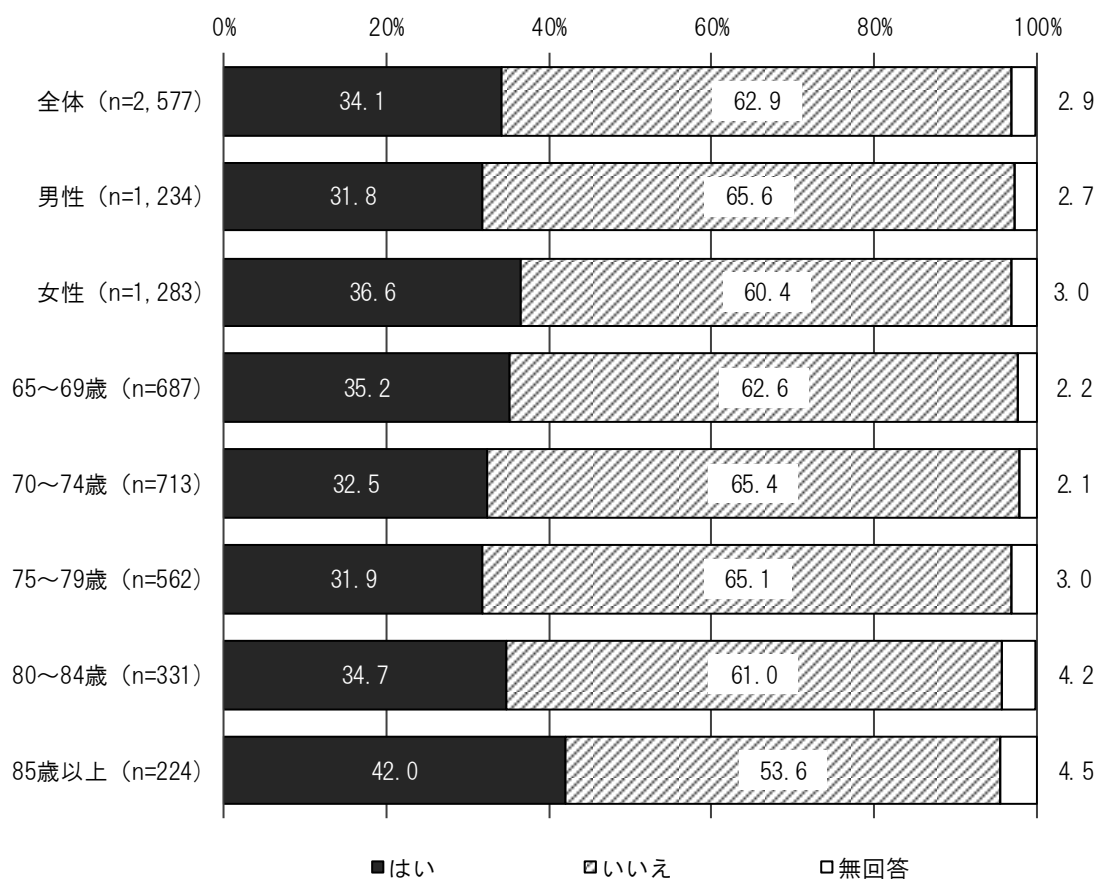
		問7（2）あなたは、現在どの程度幸せですか													
		n	（平均点 （無回答除く）	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
今回		2,577	7.2	0.5	0.5	0.7	2.6	2.6	17.4	8.5	15.1	22.2	8.7	17.5	3.7
前回		2,946	7.0	0.5	0.6	0.7	2.4	2.8	21.0	9.7	14.9	21.5	9.4	13.4	3.1

問7（3）この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
（単数回答）

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったかについてみると、全体では「はい」が 34.1%、「いいえ」が 62.9%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〔85歳以上〕において「はい」が他と比べて多くなっています。

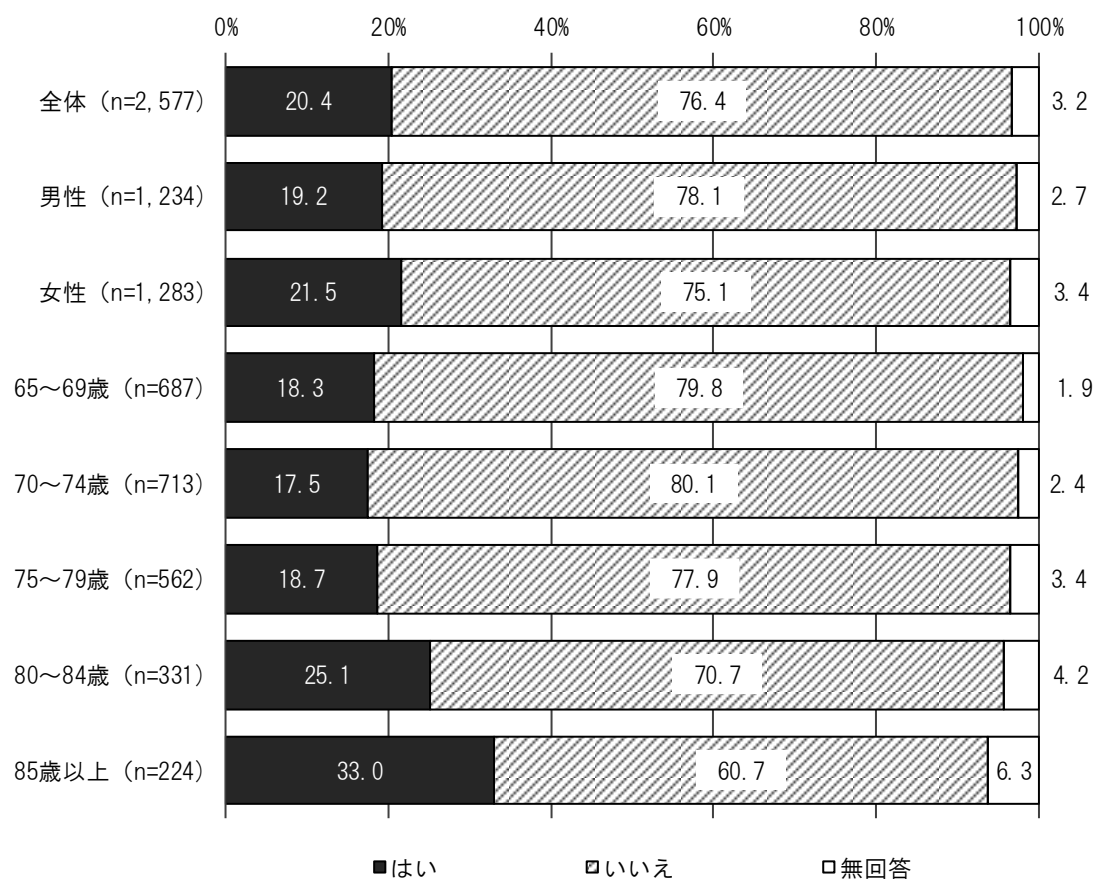


問7（4）この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか
（単数回答）

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについてみると、全体では「はい」が20.4%、「いいえ」が76.4%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「はい」が多くなっています。



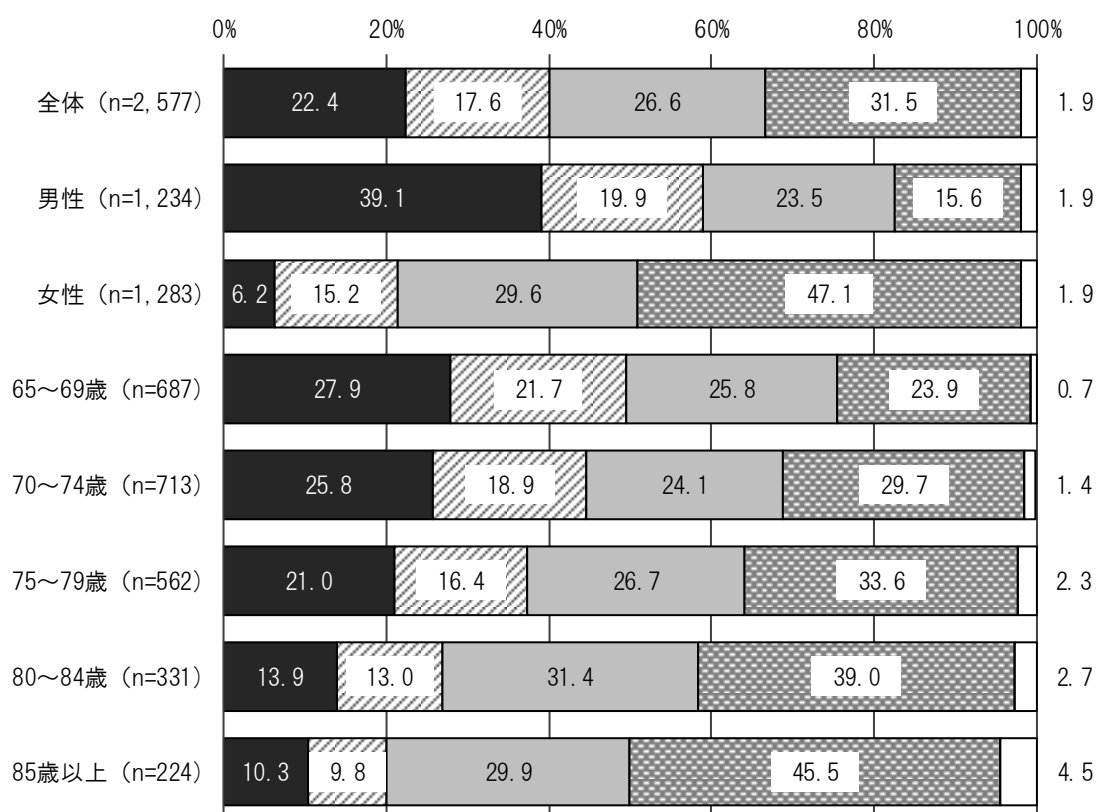
問 7 (5) お酒は飲みますか

(単数回答)

飲酒状況についてみると、全体では「もともと飲まない」が 31.5%と最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が 26.6%、「ほぼ毎日飲む」が 22.4%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「ほぼ毎日飲む」、〔女性〕では「もともと飲まない」が多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「もともと飲まない」が多くなっています。



■ほぼ毎日飲む □時々飲む □ほとんど飲まない □もともと飲まない □無回答

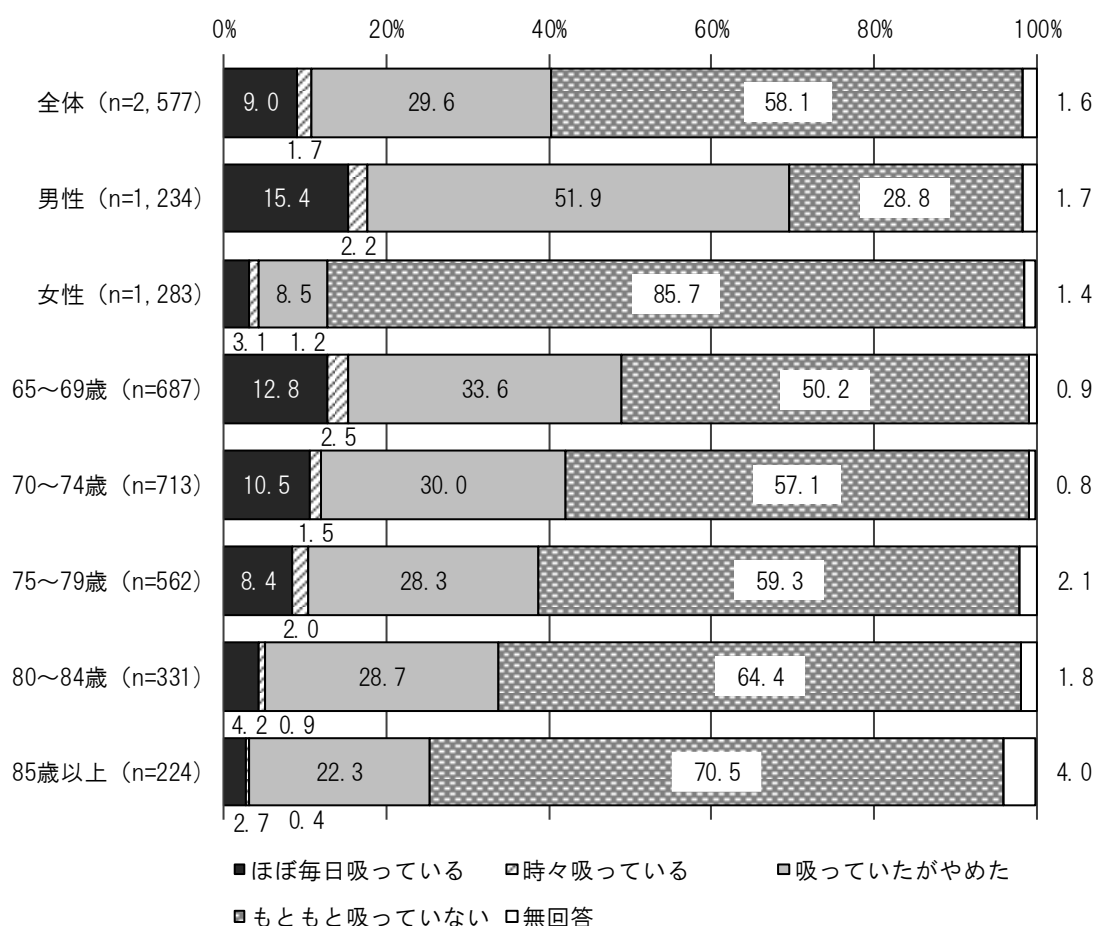
問7（6）タバコは吸っていますか。

（単数回答）

喫煙状況についてみると、全体では「もともと吸っていない」が58.1%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が29.6%、「ほぼ毎日吸っている」が9.0%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「吸っていたがやめた」、〔女性〕では「もともと吸っていない」が多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「もともと吸っていない」が多くなっています。



問7（7）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか

（複数回答）

治療中、または後遺症のある病気についてみると、全体では「高血圧」が 42.8%と最も多く、次いで「目の病気」が 20.1%、「糖尿病」が 15.5%となっています。

性別にみると、男女ともに「高血圧」が多くなっていますが、〔女性〕では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「高血圧」が多くなっています。

%		問7（7）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか										
		n	ない	高血圧	脳卒中 （脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症 （脂質異常）	呼吸器の病気 （肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 （骨粗しょう症、関節症等）
全体		2,577	15.3	42.8	3.4	7.5	15.5	12.2	5.0	6.4	8.6	10.8
性別	男性	1,234	15.0	45.1	5.3	10.0	19.8	9.8	5.3	6.8	16.0	3.3
	女性	1,283	15.6	41.1	1.4	5.0	11.6	14.5	4.9	5.8	1.5	18.3
年齢別	65～69歳	687	20.8	36.8	2.5	4.9	15.3	16.3	4.4	6.6	6.0	7.7
	70～74歳	713	15.8	41.8	2.4	5.5	16.4	13.0	4.5	5.2	7.4	9.5
	75～79歳	562	12.3	44.8	4.4	9.3	16.5	10.1	4.8	6.2	10.7	12.1
	80～84歳	331	13.9	47.7	3.9	12.1	14.5	9.1	7.3	6.9	11.8	15.1
	85歳以上	224	6.3	54.5	5.4	10.3	13.4	6.7	6.7	8.5	10.7	16.5

%		n	外傷 （転倒・骨折等）	がん （悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 （アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		2,577	3.3	3.9	0.9	0.9	0.7	0.6	20.1	5.1	9.4	5.8
性別	男性	1,234	1.9	4.4	0.5	0.6	0.7	0.6	18.1	5.4	8.3	5.3
	女性	1,283	4.9	3.6	1.2	1.1	0.7	0.5	22.2	4.9	10.3	6.2
年齢別	65～69歳	687	1.6	4.7	1.2	0.9	0.0	0.1	14.4	3.5	12.8	5.5
	70～74歳	713	2.5	2.5	0.3	0.7	0.7	0.1	20.3	4.2	9.7	5.2
	75～79歳	562	2.8	5.2	1.2	1.1	0.7	1.2	23.5	5.9	9.1	6.4
	80～84歳	331	6.3	3.9	0.6	0.6	1.5	1.2	23.0	7.3	4.2	5.1
	85歳以上	224	8.9	3.6	1.3	1.3	1.8	0.9	25.0	8.5	5.8	8.0

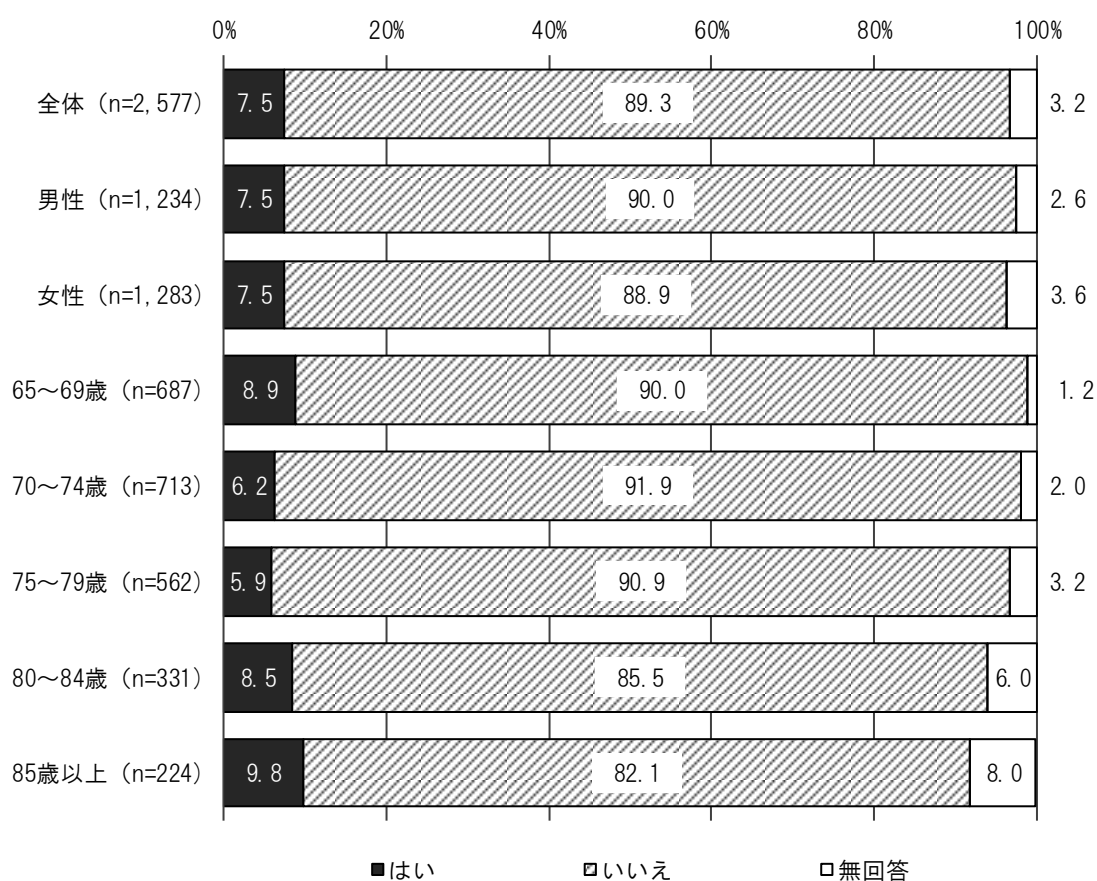
8 認知症にかかる相談窓口の把握について

問 8 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (単数回答)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについてみると、全体では「はい」が 7.5%、「いいえ」が 89.3%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、大きな差はみられません。



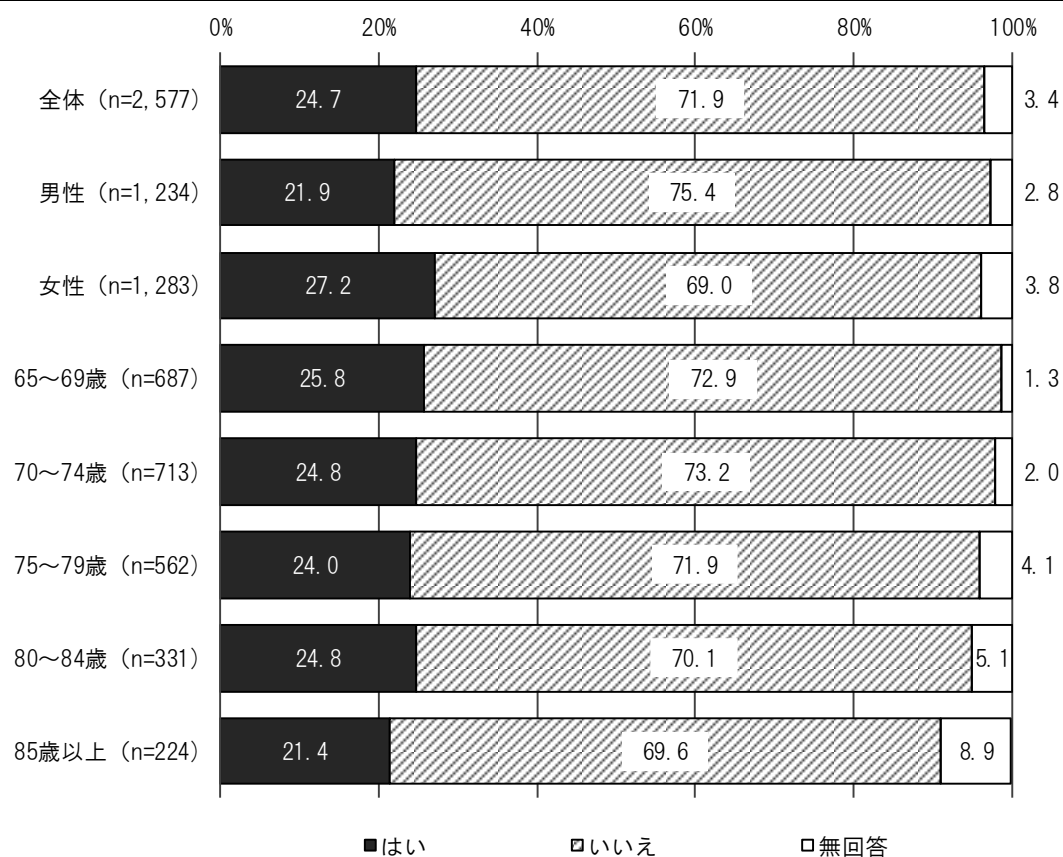
問 8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

(単数回答)

認知症に関する相談窓口を知っているかについてみると、全体では「はい」が 24.7%、「いいえ」が 71.9%となっています。

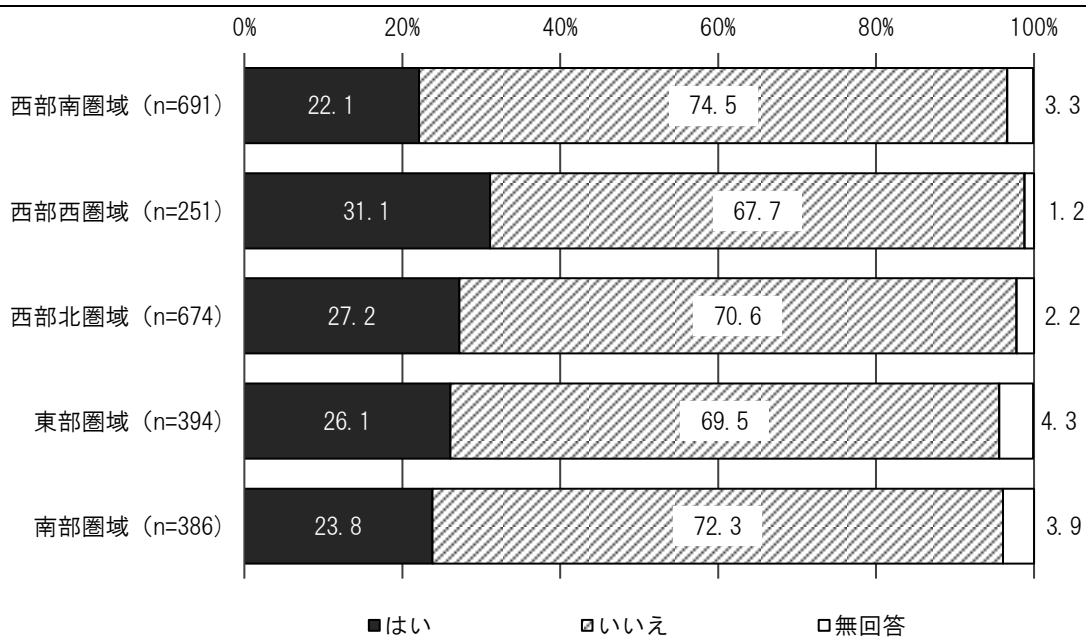
性別にみると、〔女性〕では「はい」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、大きな差はみられません。



【圏域別】

圏域別にみると、〔西部西圏域〕では「はい」が3割を超えています。



9 その他

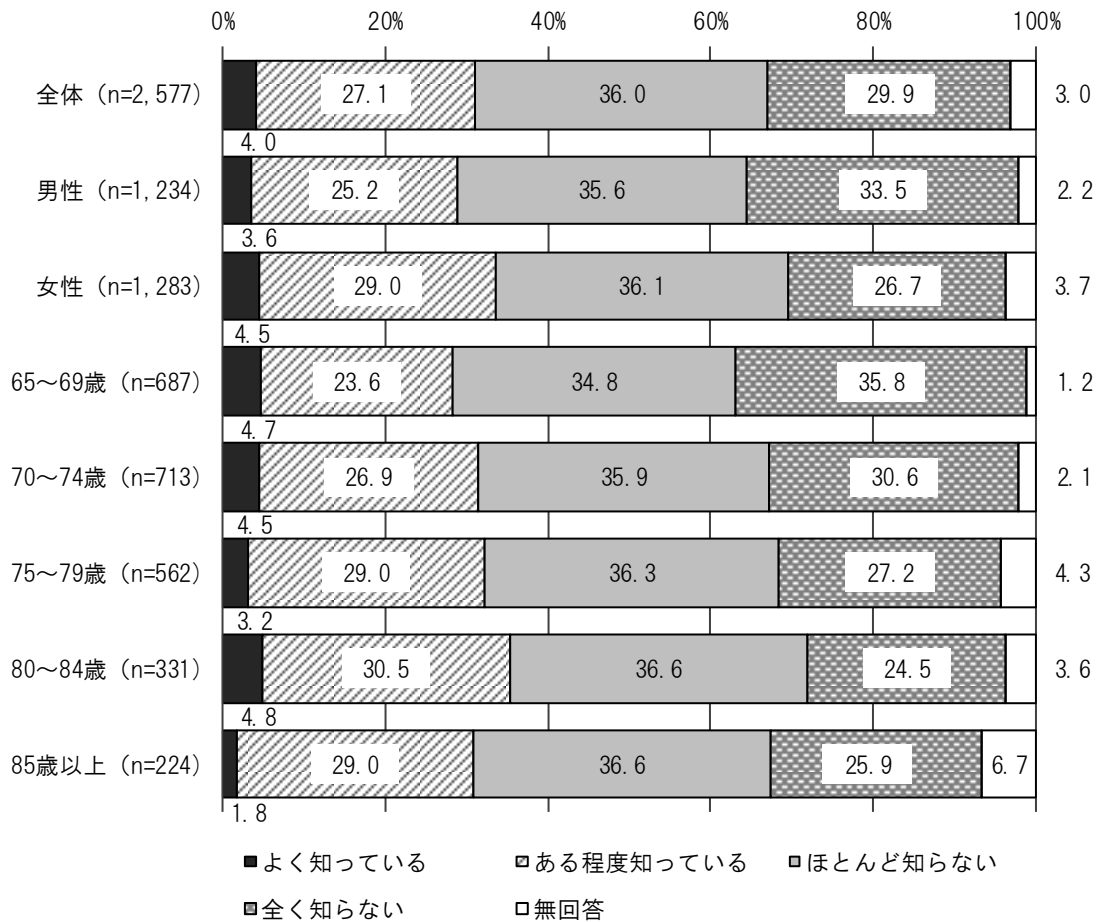
問9 (1) 「地域包括ケアシステム」について、ご存知ですか

(単数回答)

「地域包括ケアシステム」を知っているかについてみると、全体では「ほとんど知らない」が 36.0%と最も多く、次いで「全く知らない」が 29.9%、「ある程度知っている」が 27.1%となっています。

性別にみると、男女ともに「ほとんど知らない」が多くなっていますが、〔男性〕では「全く知らない」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、大きな差はみられません。

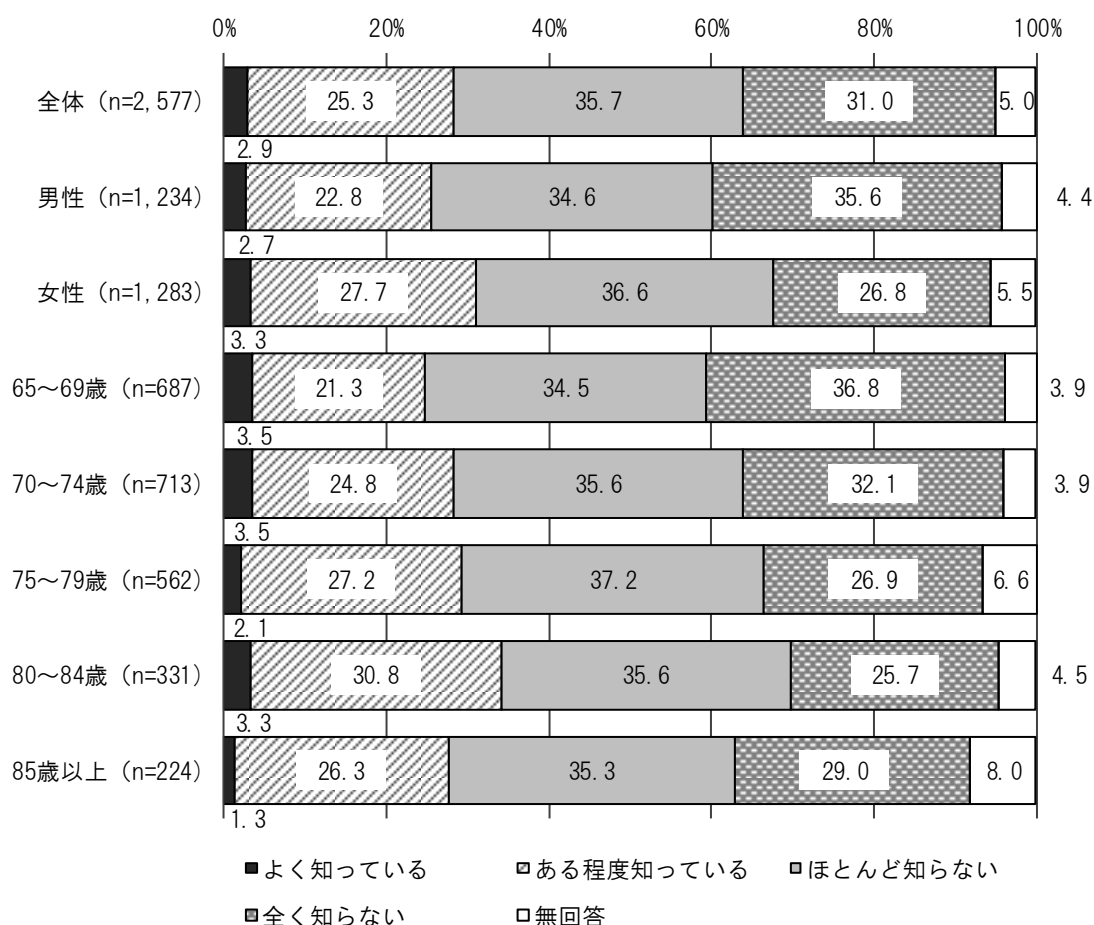


問9（2）「地域包括支援センター」について、どのような支援を行ってくれるかご存知ですか
（単数回答）

「地域包括支援センター」について、どのような支援を行ってくれるかを知っているかについてみると、全体では「ほとんど知らない」が35.7%と最も多く、次いで「全く知らない」が31.0%、「ある程度知っている」が25.3%となっています。

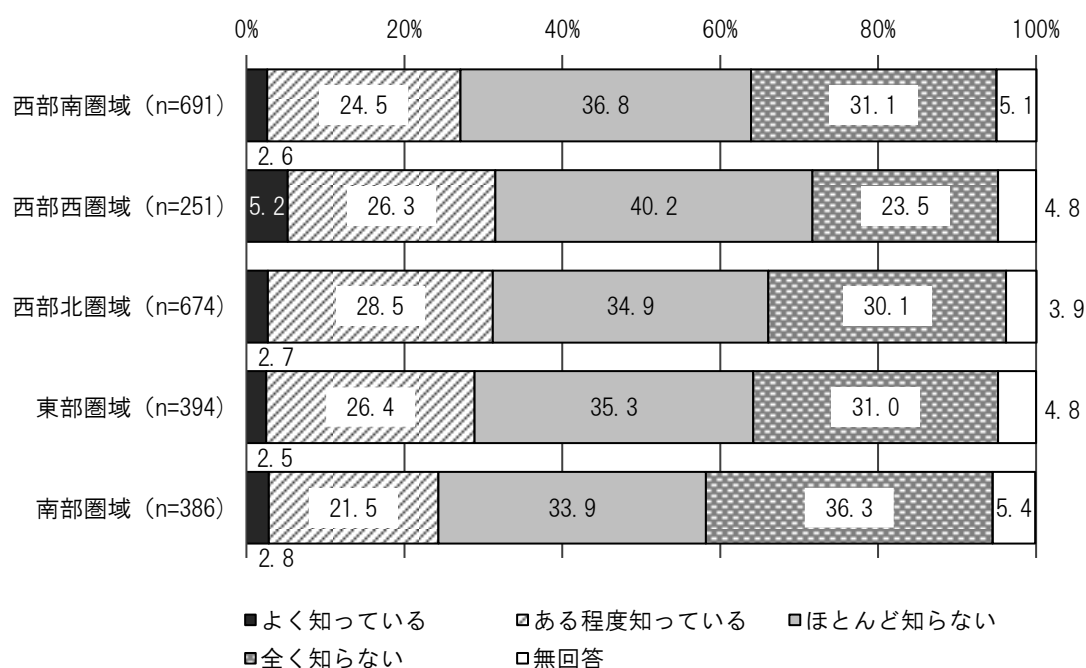
性別にみると、〔男性〕では「全く知らない」、〔女性〕では「ほとんど知らない」が多くなっています。

年齢別にみると、大きな差はみられません。



【圏域別】

圏域別にみると、「南部圏域」では他と比べて「全く知らない」が多く、また「西部西圏域」では少なくなっています。



問9（3）「地域包括支援センター」は、法律上の名称ですが、親しみ易い愛称を付けている自治体もあります。愛称を設けることについて、どう思いますか（複数回答）

「地域包括支援センター」に愛称を設けることをどう思うかについてみると、全体では「担当地区名が分かる愛称がよい」が 32.9%と最も多く、次いで「親しみ易い愛称がよい」が 26.3%、「正式名称と愛称とで混乱するため、愛称は不要」が 16.5%となっています。

性別にみると、男女ともに「担当地区名が分かる愛称がよい」が多くなっていますが、〔男性〕では「親しみ易い愛称がよい」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、大きな差はみられません。

		問9（3）「地域包括支援センター」は、法律上の名称ですが、親しみ易い愛称を付けている自治体もあります。愛称を設けることについて、どう思いますか					
%		n	の十分、愛称は不要	る正式名称と愛称とで混乱する	親しみ易い愛称がよい	よ担当地区名が分かる愛称が	無回答
全体		2,577	11.8	16.5	26.3	32.9	16.5
性別	男性	1,234	10.6	17.4	29.7	31.8	14.5
	女性	1,283	12.9	14.8	23.6	34.5	18.2
年齢別	65～69歳	687	11.9	18.8	28.8	32.3	12.2
	70～74歳	713	11.9	17.3	28.1	34.6	12.8
	75～79歳	562	13.3	14.8	21.9	33.5	20.6
	80～84歳	331	12.1	12.4	27.8	32.3	19.0
	85歳以上	224	6.7	12.9	25.0	31.3	26.3

《『問4(5)自分で食品・日用品の買物をしていますか』で「できるけどしていない」「できない」とお答えの方》

問9（4）①食品・日用品の買物をしない・できない理由は、次のどれですか。（複数回答）

食品・日用品の買物をしない・できない理由についてみると、全体では「その他」が 32.0%と最も多く、次いで「歩くことが大変」が 29.8%、「店が近くがない」が 19.2%となっています。「その他」の理由としては、「家族（自分以外の人）がする」が大半となっています。

性別にみると、「男性」では「その他」、「女性」では「歩くことが大変」が多くなっています。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「店が近くがない」「交通手段がない」「歩くことが大変」「一人で荷物が持てない」が多くなっています。

		問9（4）－① 食品・日用品の買物をしない・できない理由は、次のどれですか							
%		n	店が近くがない	家族に負担を掛けたくない	交通手段がない	歩くことが大変	一人で荷物が持てない	その他	無回答
全体		359	19.2	5.3	13.9	29.8	17.3	32.0	26.2
性別	男性	215	13.0	4.7	8.4	20.5	7.9	38.6	31.6
	女性	136	28.7	6.6	23.5	45.6	33.1	20.6	18.4
年齢別	65～69歳	50	8.0	2.0	4.0	20.0	8.0	46.0	28.0
	70～74歳	53	11.3	1.9	9.4	15.1	9.4	54.7	18.9
	75～79歳	76	14.5	6.6	7.9	22.4	18.4	34.2	31.6
	80～84歳	68	20.6	5.9	13.2	32.4	16.2	16.2	39.7
	85歳以上	104	30.8	7.7	26.9	47.1	26.9	21.2	17.3

【圏域別】

圏域別にみると、〔西部西圏域〕〔東部圏域〕では他と比べて「店が近くにない」が多くなっています。また、〔東部圏域〕では他と比べて「交通手段がない」「一人で荷物が持てない」も多くなっています。

		問9（4）－① 食品・日用品の買物をしない・できない理由は、次のどれですか							
		n	店が近くにない	家族に負担を掛けたくない	交通手段がない	歩くことが大変	一人で荷物が持てない	その他	無回答
圏域別	西部南圏域	99	13.1	9.1	13.1	24.2	15.2	29.3	33.3
	西部西圏域	35	25.7	2.9	11.4	28.6	17.1	25.7	31.4
	西部北圏域	69	14.5	4.3	13.0	34.8	14.5	46.4	15.9
	東部圏域	69	34.8	4.3	20.3	33.3	24.6	29.0	14.5
	南部圏域	62	14.5	3.2	11.3	30.6	17.7	24.2	37.1

《『問4(5)自分で食品・日用品の買物をしていますか』で「できるけどしていない」「できない」とお答えの方》

問9（4）②食品・日用品の買物について、どのような支援が必要です。（複数回答）

食品・日用品の買物について、どのような支援が必要かについてみると、全体では「不要」が29.5%と最も多く、次いで「送迎」が13.9%、「その他」が11.1%となっています。

性別にみると、男女ともに「不要」が多くなっていますが、〔女性〕では「移動販売」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「不要」が少なくなっています。また、年齢が上がるにつれて「送迎」が多くなっています。

		問9（4）－② 食品・日用品の買物について、どのような支援が必要ですか									
		n	送迎	移動販売	買物ツアー	経済的な支援	介助	買物代行	不要	その他	無回答
全体		359	13.9	10.3	1.4	3.6	4.5	5.8	29.5	11.1	33.7
性別	男性	215	11.6	5.1	0.9	3.3	3.3	4.7	31.6	13.0	36.3
	女性	136	18.4	17.6	2.2	4.4	6.6	8.1	26.5	7.4	30.1
年齢別	65～69歳	50	4.0	6.0	0.0	2.0	4.0	2.0	46.0	4.0	34.0
	70～74歳	53	9.4	7.5	1.9	1.9	1.9	5.7	30.2	20.8	34.0
	75～79歳	76	10.5	2.6	0.0	5.3	1.3	3.9	34.2	13.2	39.5
	80～84歳	68	13.2	8.8	1.5	2.9	5.9	5.9	25.0	10.3	41.2
	85歳以上	104	25.0	19.2	2.9	4.8	7.7	9.6	21.2	7.7	25.0

【圏域別】

圏域別にみると、いずれの圏域でも「不要」が最も多くなっています。また、〔東部圏域〕では他と比べて「移動販売」が多く、〔南部圏域〕では「送迎」が多くなっています。

		問9（4）－② 食品・日用品の買物について、どのような支援が必要ですか									
		n	送迎	移動販売	買物ツアー	経済的な支援	介助	買物代行	不要	その他	無回答
圏域別	西部南圏域	99	7.1	7.1	3.0	7.1	4.0	7.1	27.3	6.1	42.4
	西部西圏域	35	8.6	2.9	0.0	0.0	0.0	8.6	28.6	11.4	42.9
	西部北圏域	69	13.0	11.6	0.0	2.9	8.7	7.2	34.8	20.3	23.2
	東部圏域	69	17.4	18.8	1.4	2.9	5.8	2.9	31.9	10.1	27.5
	南部圏域	62	19.4	9.7	0.0	3.2	3.2	4.8	25.8	8.1	37.1

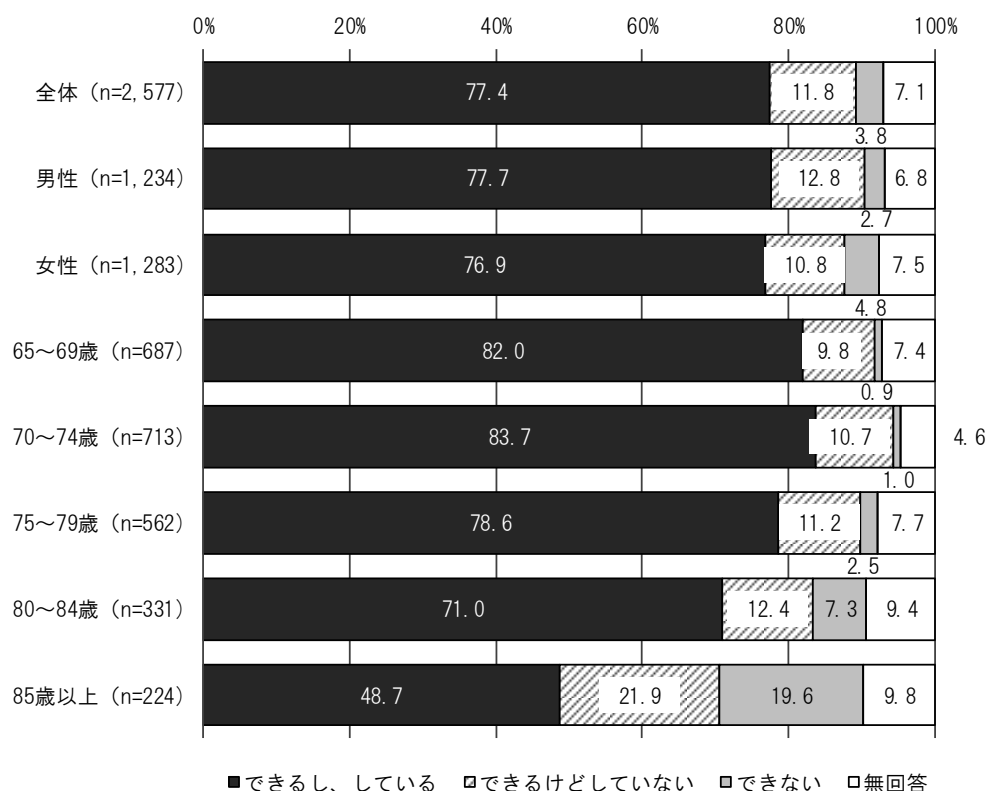
問9（5）①自分でごみ出しをしていますか。

（単数回答）

自分でごみ出しをしているかについてみると、全体では「できるし、している」が77.4%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が3.8%となっています。

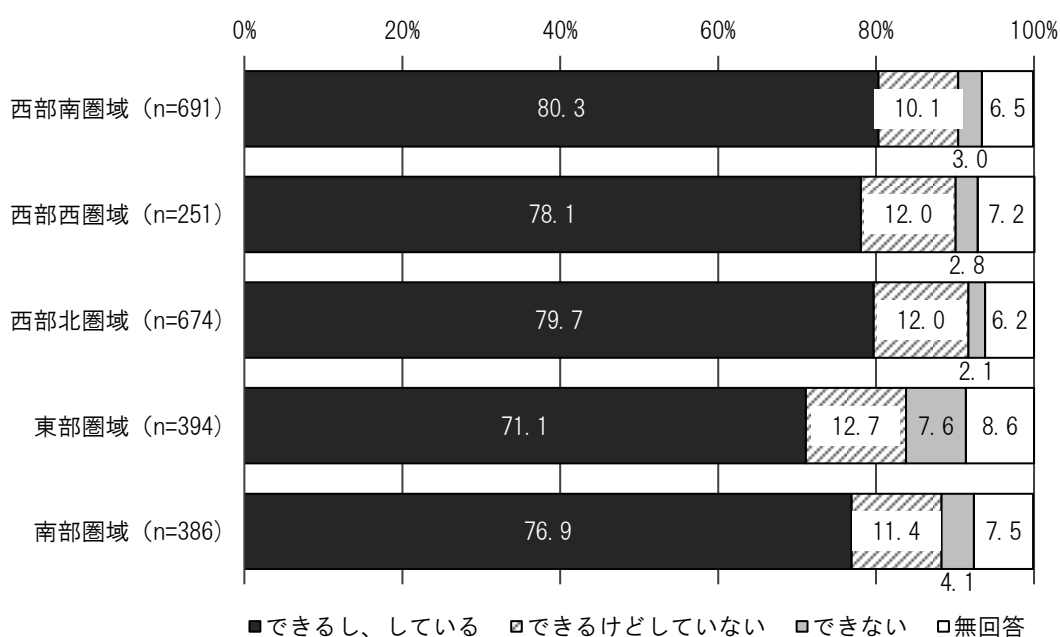
性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、すべての年齢において「できるし、している」が多くなっていますが、〔85歳以上〕では「できない」が他の年齢と比べて多くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、〔東部圏域〕では他と比べて「できるし、している」が少なくなっています。



《問9(5)①で「できるけどしていない」「できない」とお答えの方》

問9（5）②ごみ出しをしない・できない理由は、次のどれですか（複数回答）

ごみ出しをしない・できない理由についてみると、全体では「その他」が 55.3%と最も多く、次いで「歩くことが大変」が 24.5%、「一人でごみを持てない」が 19.3%となっています。「その他」の理由としては、「家族(自分以外の人)がする」が大半となっています。

性別にみると、〔女性〕では「歩くことが大変」「一人でごみを持てない」「ごみの収集場所が自宅から遠い」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「歩くことが大変」「一人でごみを持てない」「ごみの収集場所が自宅から遠い」が多くなっています。

		問9（5）－② ごみ出しをしない・できない理由は、次のどれですか					
		n	歩くことが大変	一人でごみを持てない	ごみの収集場所が自宅から遠い	その他	無回答
全体		400	24.5	19.3	8.3	55.3	11.0
性別	男性	191	18.8	9.9	3.7	61.8	17.3
	女性	200	30.0	29.0	12.5	48.5	5.0
年齢別	65～69歳	73	9.6	6.8	2.7	74.0	11.0
	70～74歳	83	12.0	7.2	2.4	72.3	13.3
	75～79歳	77	18.2	18.2	7.8	63.6	9.1
	80～84歳	65	29.2	26.2	13.8	36.9	13.8
	85歳以上	93	49.5	37.6	14.0	30.1	8.6

【圏域別】

圏域別にみると、〔東部圏域〕〔南部圏域〕では「歩くことが大変」が3割以上となっており、また、他と比べて「一人でごみが持てない」「ごみの収集場所が自宅から遠い」も多くなっています。

		問9（5）－② ごみ出しをしない・できない理由は、次のどれですか					
		%	n	歩くことが大変	一人でごみが持てない	ごみの収集場所が自宅から遠い	その他
圏域別	西部南圏域	91	20.9	16.5	3.3	62.6	12.1
	西部西圏域	37	18.9	18.9	5.4	62.2	10.8
	西部北圏域	95	16.8	14.7	6.3	62.1	9.5
	東部圏域	80	30.0	25.0	17.5	45.0	8.8
	南部圏域	60	36.7	23.3	11.7	48.3	10.0

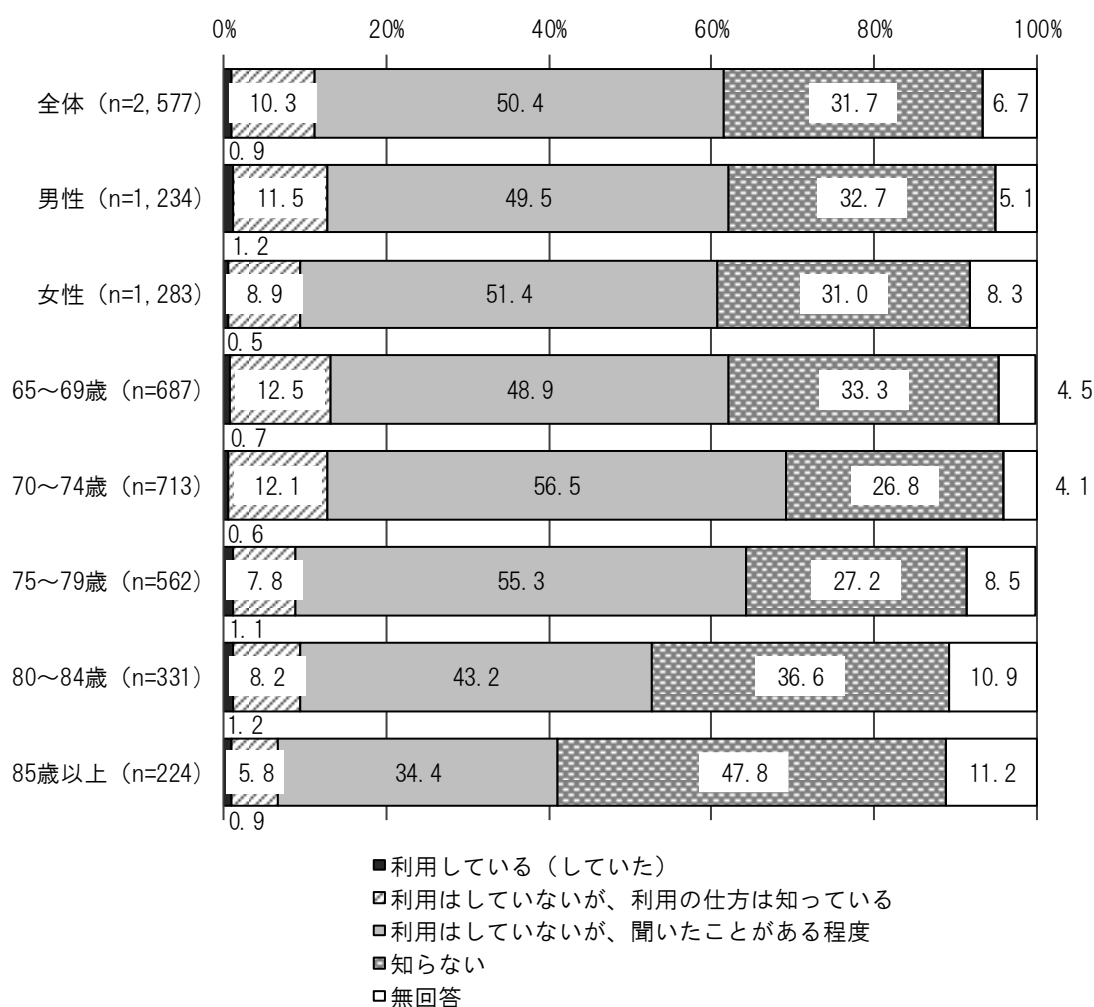
問9（6）「成年後見制度」について、ご存知ですか

（単数回答）

「成年後見制度」を知っているかについてみると、全体では「利用はしていないが、聞いたことがある程度」が50.4%と最も多く、次いで「知らない」が31.7%、「利用はしていないが、利用の仕方は知っている」が10.3%となっています。

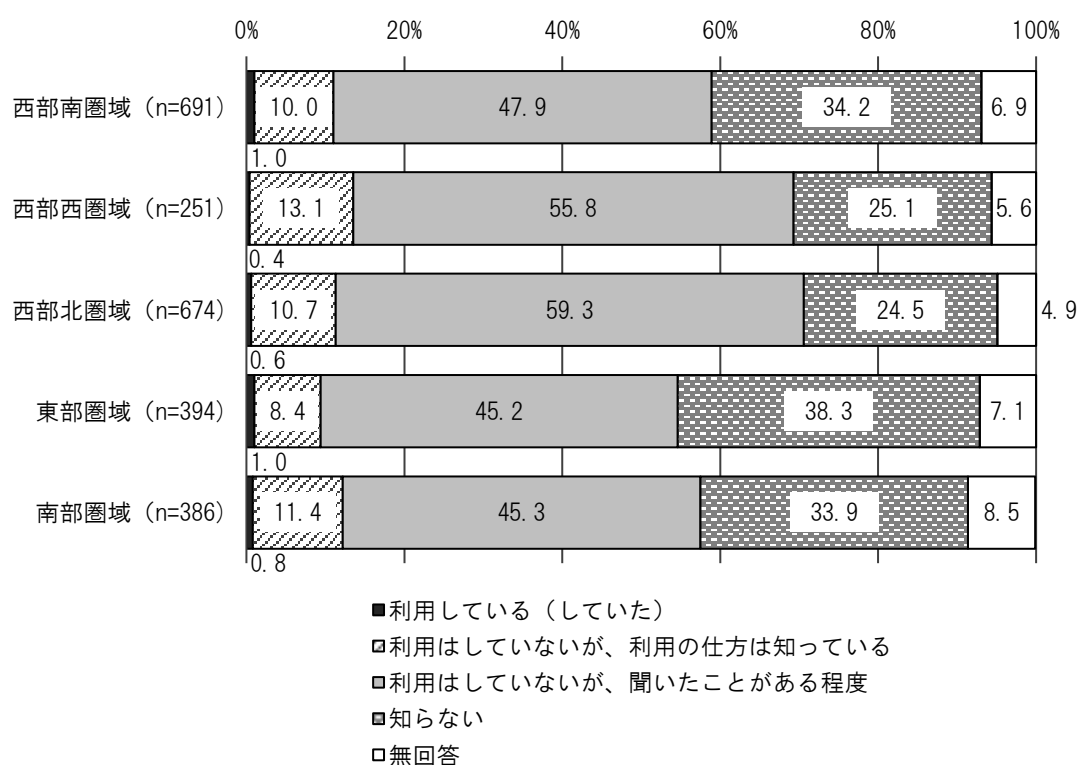
性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〔65～69歳〕〔70～74歳〕〔75～79歳〕〔80～84歳〕では「利用はしていないが、聞いたことがある程度」、〔85歳以上〕では「知らない」が多くなっています。



【圏域別】

圏域別にみると、「西部西圏域」「西部北圏域」では「利用はしていないが、聞いたことがある程度」、「東部圏域」では「知らない」が他と比べて多くなっています。



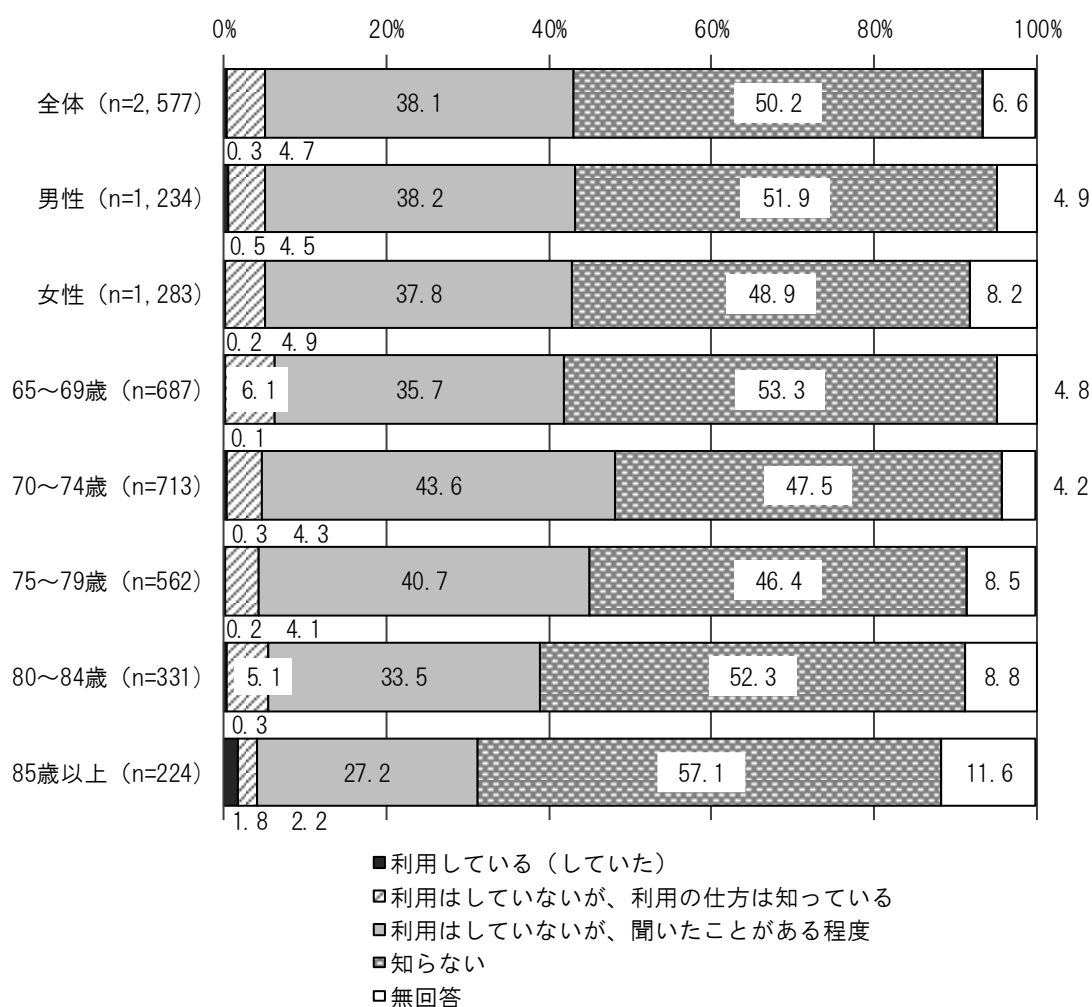
問9（7）「日常生活自立支援事業」について、ご存知ですか

（単数回答）

「日常生活自立支援事業」を知っているかについてみると、全体では「知らない」が 50.2%と最も多く、次いで「利用はしていないが、聞いたことがある程度」が 38.1%、「利用はしていないが、利用の仕方は知っている」が 4.7%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、すべての年齢において「知らない」が多くなっていますが、〔85 歳以上〕では「利用はしていないが、聞いたことがある程度」が他と比べて少なくなっています。

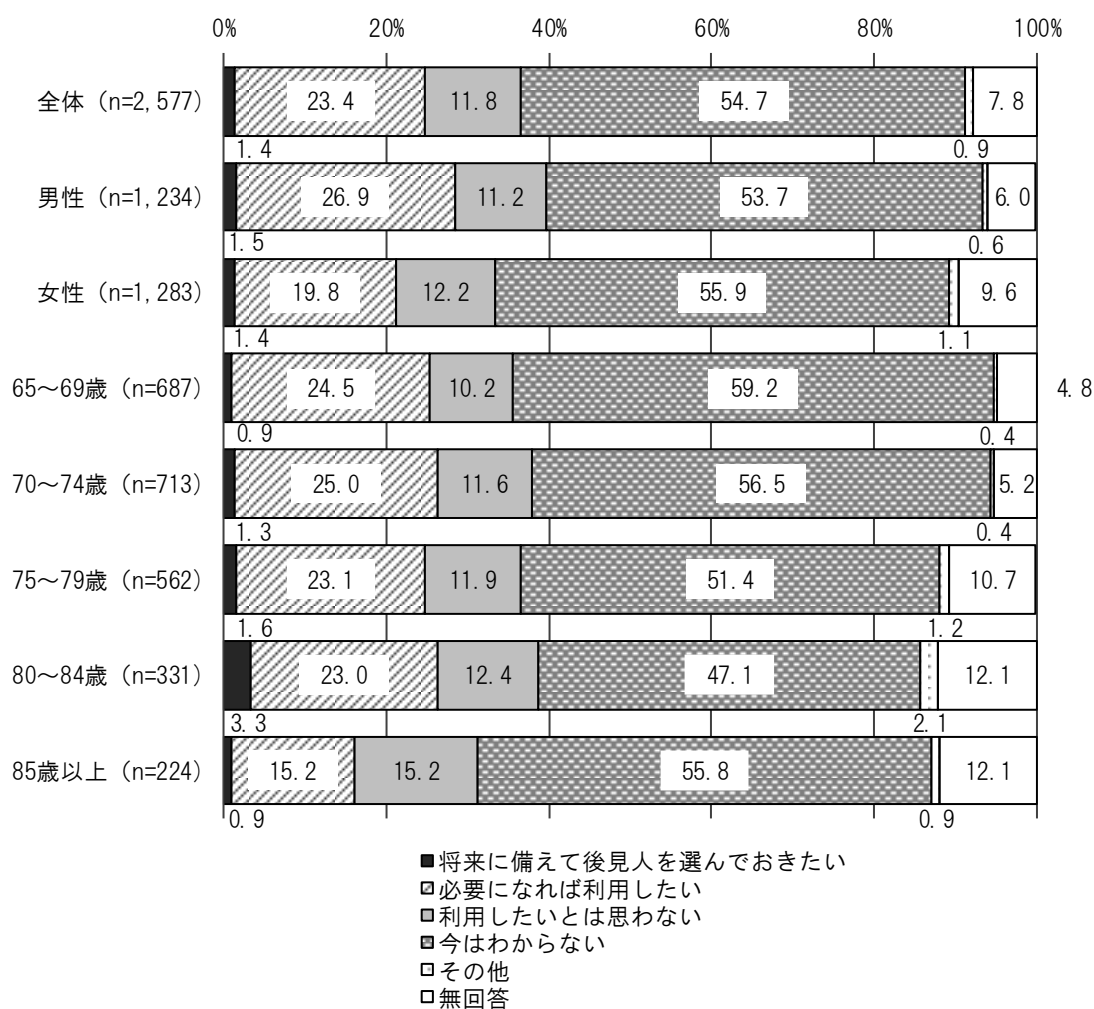


問 9（8）あなたは、支援が必要になったときには、成年後見制度を利用したいと思いますか
（単数回答）

支援が必要になったときには、成年後見制度を利用したいと思うかについてみると、全体では「今はわからない」が 54.7%と最も多く、次いで「必要になれば利用したい」が 23.4%、「利用したいとは思わない」が 11.8%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「必要になれば利用したい」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、〔85 歳以上〕において「必要になれば利用したい」が他と比べて少なくなっています。



問9（9）あなたが、もしも成年後見制度を利用することになった場合、誰に後見人になって支援してほしいと思いますか
（複数回答）

成年後見制度を利用することになった場合、誰に後見人になって支援してほしいと思うかについてみると、全体では「自分の子どもやその配偶者」が59.4%と最も多く、次いで「配偶者」が35.8%、「わからない」が15.3%となっています。

性別にみると、男女ともに「自分の子どもやその配偶者」が多くなっていますが、〔男性〕では「配偶者」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、すべての年齢において「自分の子どもやその配偶者」が多くなっていますが、〔85 歳以上〕では「配偶者」が他の年齢と比べて少なくなっています。

%		問9（9）あなたが、もしも成年後見制度を利用することになった場合、誰に後見人になって支援してほしいと思いますか。										
		n	配偶者	自分の子どもやその配偶者	自分の兄弟姉妹	弁護士	行政書士	社会福祉法人	市民後見人	わからない	その他	無回答
全体		2,577	35.8	59.4	8.9	3.3	2.4	3.2	1.0	15.3	1.4	9.5
性別	男性	1,234	45.2	53.4	8.9	4.7	2.3	4.0	1.4	16.5	1.2	9.0
	女性	1,283	26.8	65.6	9.0	2.0	2.6	2.5	0.8	13.9	1.5	9.9
年齢別	65～69歳	687	39.4	55.9	12.5	4.7	2.3	1.9	0.6	20.5	1.6	7.4
	70～74歳	713	39.7	60.9	9.7	3.6	2.2	3.1	0.7	14.7	1.3	8.1
	75～79歳	562	37.7	60.0	5.9	3.2	2.3	3.7	0.5	11.6	1.4	12.5
	80～84歳	331	27.5	63.4	7.9	1.8	3.3	4.8	3.3	10.6	0.6	10.6
	85歳以上	224	20.1	60.7	5.4	0.9	2.2	4.0	1.8	15.6	1.8	10.7

問9 (10) ①成田市の保健福祉について、現在満足しているものはなんですか（複数回答）

成田市の保健福祉について、現在満足しているものについてみると、全体では「健康診断や健康教育などの保健・医療サービス」が 25.7%と最も多く、次いで「誰もが参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動」が 15.9%、「行政からの保健や福祉に関する情報提供」が 13.9%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〔70～74 歳〕において「健康診断や健康教育などの保健・医療サービス」が他と比べて多くなっています。

%		問9（10）成田市の保健福祉について、現在満足しているものはなんですか												
		n	身近な 見守り活動への支援	ボランティア活動や 地域活動への支援	住民同士がふれあう機会や場	誰もが参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動	住民の自主的な健康づくり活動への支援	福祉教育や広報活動	差別や偏見をなくすための活動	何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制	行政からの保健や福祉に関する情報提供	自宅での生活を支援する在宅福祉サービス	高齢者、障がいのある人、児童の施設サービス	安心して子どもを育てられる子育て環境
全体		2,577	10.5	9.2	13.0	15.9	9.1	5.2	10.5	13.9	5.2	5.7	5.0	
性別	男性	1,234	10.2	10.0	13.1	15.1	8.8	6.2	11.8	15.8	5.3	7.1	6.1	
	女性	1,283	10.7	8.3	12.9	16.7	9.5	4.5	9.4	12.1	5.4	4.8	4.2	
年齢別	65～69歳	687	8.9	9.5	11.2	15.3	8.3	5.1	10.3	13.7	4.2	6.3	5.8	
	70～74歳	713	9.5	9.7	12.5	18.1	10.9	5.6	11.2	15.6	5.3	6.5	5.2	
	75～79歳	562	12.8	10.3	15.5	18.7	10.1	5.3	10.7	14.8	5.5	4.6	4.8	
	80～84歳	331	10.6	6.0	14.5	12.7	8.2	6.0	8.2	12.4	6.6	7.3	4.2	
	85歳以上	224	12.1	8.0	12.1	8.5	5.4	4.0	12.1	9.4	6.3	4.0	4.9	

%		n	健康診断や健康教育などの保健・医療サービス	サービス利用の手続きの簡素化	保健や福祉の専門的な人材の育成と資質向上	災害時の避難誘導体制の整備	地域と連携した防犯活動	福祉手当の支給などの経済的支援	交通の利便性確保	道路の段差解消など、バリアフリー化	働く意欲のある人への就労支援	その他	無回答
			全体	2,577	25.7	5.2	3.8	6.7	9.8	5.9	7.6	3.6	4.1
性別	男性	1,234	28.7	6.0	4.9	7.6	12.0	7.4	9.5	4.5	4.1	0.7	50.1
	女性	1,283	23.5	4.5	2.9	6.0	7.8	4.4	5.8	2.8	4.0	0.4	51.8
年齢別	65～69歳	687	26.5	5.1	3.9	5.8	10.0	4.8	7.3	3.6	4.2	0.7	53.3
	70～74歳	713	33.0	5.9	4.9	7.9	12.1	6.9	7.4	4.6	4.9	0.7	44.7
	75～79歳	562	24.0	5.7	3.0	7.7	9.3	5.3	8.5	2.7	4.1	0.5	49.6
	80～84歳	331	17.8	4.2	3.3	6.3	7.6	6.6	6.0	3.9	3.3	0.3	57.4
	85歳以上	224	19.6	4.0	3.1	4.9	7.1	6.3	8.9	2.7	1.8	0.0	57.6

問 9 (10) ②成田市の保健福祉について、今後特に重要であると思うものはなんですか
(複数回答)

成田市の保健福祉について、今後特に重要であると思うものについてみると、全体では「交通の利便性確保」が 40.5%と最も多く、次いで「自宅での生活を支援する在宅福祉サービス」が 34.2%、「何でも相談できる窓口をつくるなど相談体制」が 34.1%となっています。

性別にみると、〔女性〕では「サービス利用の手続きの簡素化」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、大きな差はみられません。

%		問9（10）成田市の保健福祉について、今後特に重要であると思うものはなんですか																
		n	身近な 見守り などの 活動への 支援	ボランティア 活動への 支援	住民同士 がふれあ う機会や 場	誰もが 参加しや すいスポ ーツ・文 化活動	住民の自 主的な健 康づくり 活動への 支援	福祉教育 や広報活 動	差別や偏 見をなく すための 福祉教育 や広報活 動	何でも相 談できる 窓口を つくるな ど相談体 制	関する情 報提供	行政から の保健や 福祉に 関する情 報提供	在宅福祉 サービス	自宅での 生活を支 援する	児童の施 設サービス	高齢者、 障がいあ る人、	安心して 子育てを する環境	
全体		2,577	25.7	11.9	15.9	13.9	14.4	10.4	34.1	20.5	34.2	23.5	22.4					
性別	男性	1,234	26.7	13.6	15.7	14.8	15.1	11.5	34.4	21.6	33.2	23.3	24.7					
	女性	1,283	25.3	10.4	16.4	13.1	13.8	9.6	34.2	19.5	35.4	23.9	20.2					
年齢別	65～69歳	687	26.2	12.4	13.8	16.9	16.2	10.6	32.8	22.1	35.2	23.6	27.4					
	70～74歳	713	26.1	11.8	16.0	16.1	14.6	10.0	33.5	20.2	35.1	23.6	24.0					
	75～79歳	562	23.7	11.6	16.5	10.5	13.2	13.2	34.5	21.5	34.7	25.1	19.6					
	80～84歳	331	26.6	12.7	18.1	12.4	14.5	8.5	38.4	16.9	32.0	20.8	18.1					
	85歳以上	224	30.4	11.2	18.8	8.9	11.6	8.5	34.8	19.6	31.7	24.6	15.6					
%		n	健康・医 療サービ スなどの	簡素化	人材の育 成と専門 的な	災害時の 避難誘導 体制の整 備	地域と連 携した防 犯活動	福祉手当 の支給な どの	交通の利 便性確保	道路の段 差解消な ど、バ リアフリ ー化	働く意欲 のある人 への	その他	無回答					
全体		2,577	20.3	27.4	16.0	33.3	17.6	22.4	40.5	21.1	20.6	1.6	14.9					
性別	男性	1,234	22.7	24.3	16.4	31.8	18.6	23.0	38.0	21.2	24.1	1.9	15.2					
	女性	1,283	17.7	30.4	15.7	35.2	16.8	21.8	43.1	21.0	17.3	1.3	14.2					
年齢別	65～69歳	687	22.1	29.4	21.0	35.7	17.9	22.3	39.0	21.3	25.8	1.5	9.9					
	70～74歳	713	19.6	29.0	15.3	35.5	17.4	21.7	44.2	20.6	22.0	1.3	10.1					
	75～79歳	562	18.1	25.1	12.5	31.5	17.8	22.6	40.6	21.5	17.6	1.8	17.3					
	80～84歳	331	23.0	23.3	13.6	29.3	20.5	24.5	38.1	20.2	16.3	2.7	22.1					
	85歳以上	224	16.5	28.1	15.6	31.7	13.4	21.4	37.9	22.8	14.3	1.3	26.8					

10 生活機能の項目別評価

調査結果を活用し、「運動器」「転倒」「閉じこもり」「栄養」「口腔機能」「認知機能」「うつ」「IADL(手段的日常生活動作)」の8項目について、次の通り機能評価を行いました。

※ I A D L…日常生活を送る上で必要な動作のうち、A D L（日常生活動作：食事、排せつ、入浴などの基本的な行動）より複雑で高次の動作。買い物や洗濯・掃除などの家事全般、金銭や服薬の管理、外出時に乗り物に乗ることなど。

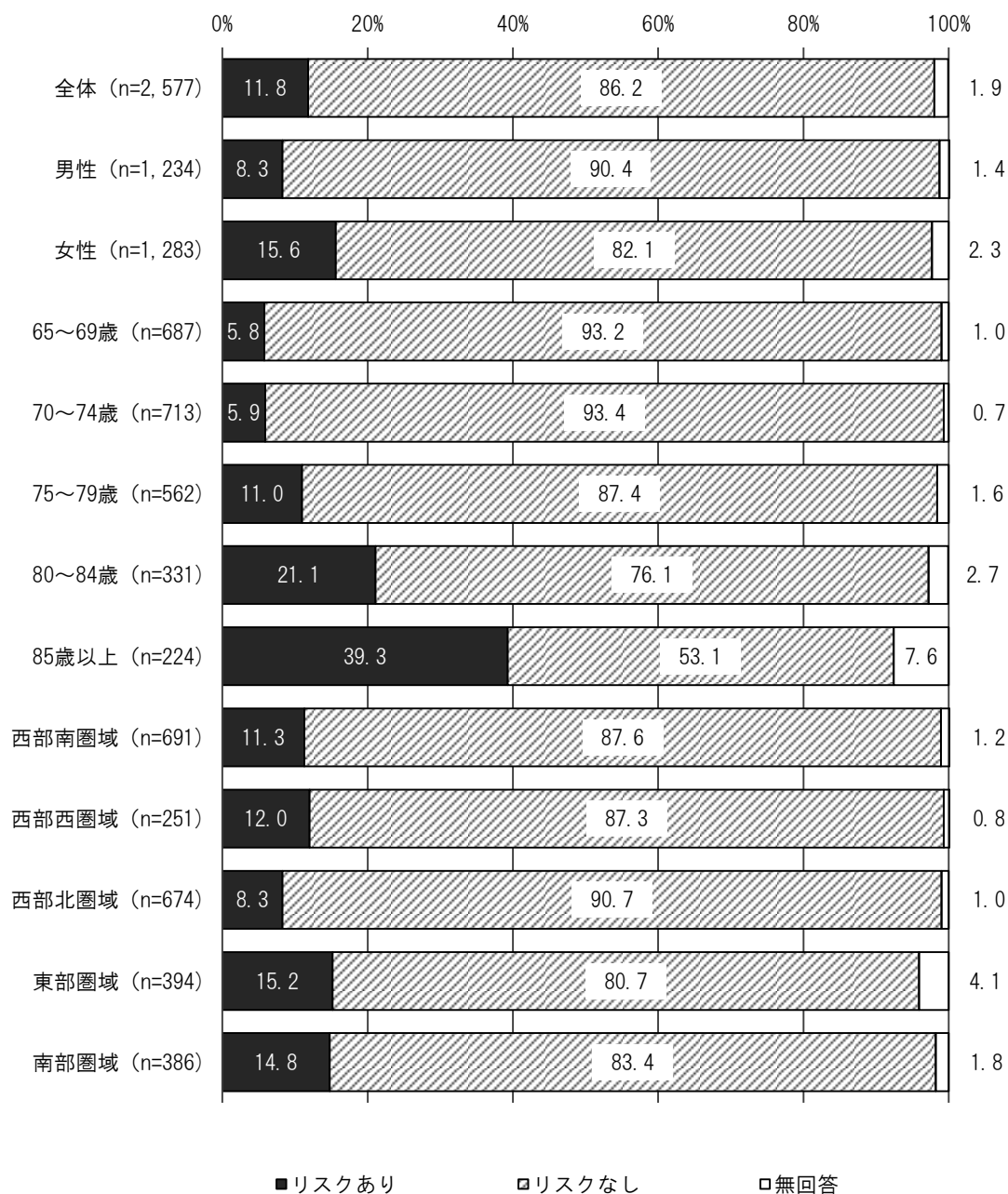
(1) 運動器

運動器についてみると、全体では「リスクあり」が11.8%、「リスクなし」が86.2%となっています。

性別にみると、〔女性〕では「リスクあり」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「リスクあり」が多くなっています。

圏域別にみると、〔西部北圏域〕では「リスクあり」が1割を下回っています。



【評価方法】

問 番 号	質 問 項 目	評 価 方 法
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	該当する選択肢(問2(1)～(3)で「できない」、(4)で「何度もある」または「1度ある」、(5)で「とても不安である」または「やや不安である」)が、5問中3問以上で選択された場合、該当者(運動器機能の低下している高齢者)とした。
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	
問2(3)	15分位続けて歩いていますか	
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	

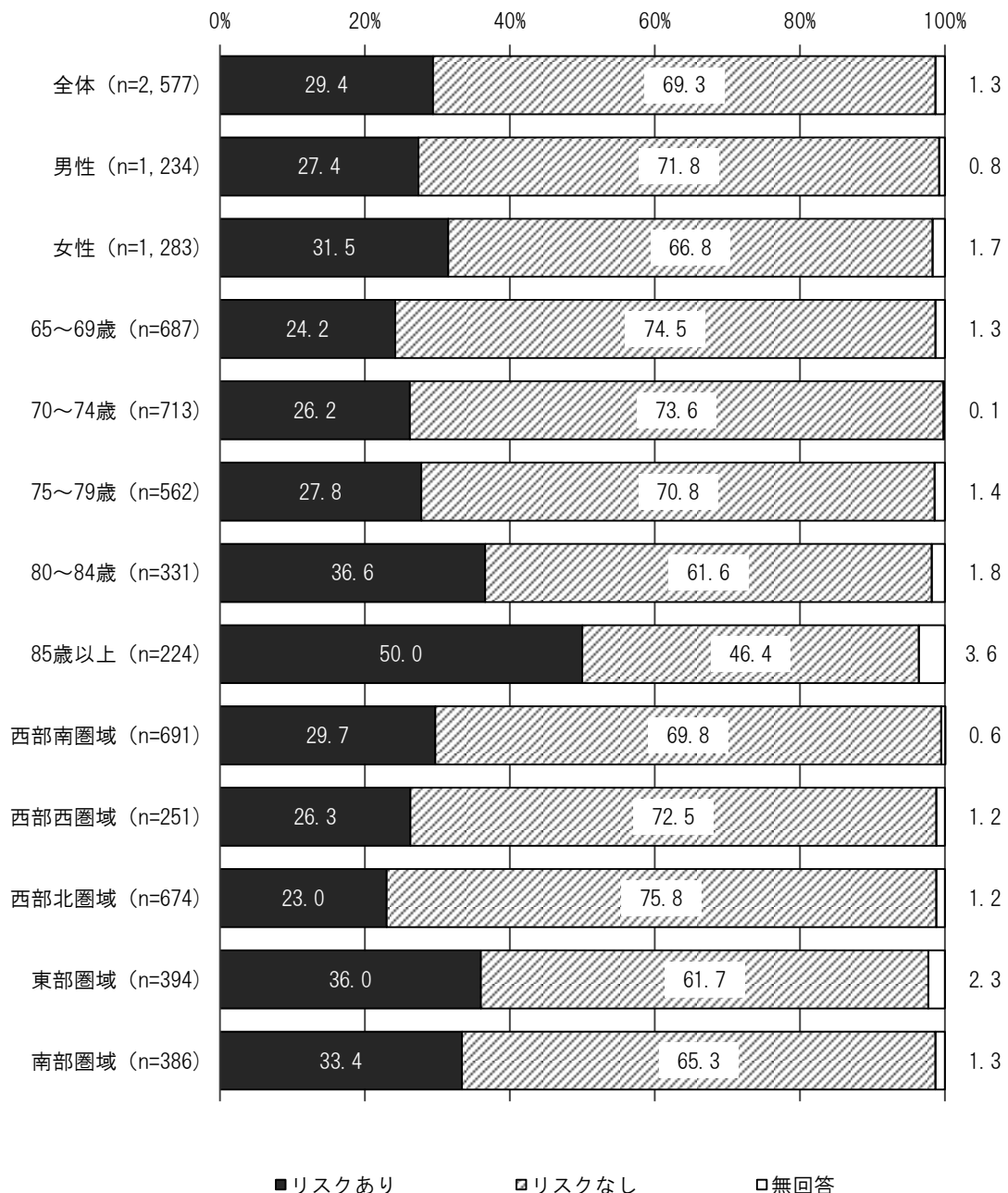
(2) 転倒

転倒についてみると、全体では「リスクあり」が29.4%、「リスクなし」が69.3%となっています。

性別にみると、〔男性〕では「リスクなし」が〔女性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「リスクあり」が多くなっています。

圏域別にみると、〔東部圏域〕〔南部圏域〕では「リスクあり」が3割を超えています。



【評価方法】

問番号	質問項目	評価方法
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	該当する選択肢(「何度もある」または「1度ある」)が選択された場合、該当者(転倒リスクのある高齢者)とした。

【地域活動の参加頻度別】

各種の地域活動の参加頻度別にみると、概ね参加頻度が高いほど「リスクなし」が多い傾向となっています。特に、①ボランティアのグループについて、〔週4回以上〕〔週2～3回〕〔週1回〕での「リスクなし」の割合は、〔参加していない〕における「リスクなし」の割合を10ポイントから20ポイント程度上回っています。

一方、⑤介護予防のための通いの場、⑥老人クラブについて、週1回以上参加している層でも、〔参加していない〕に比べて必ずしも「リスクなし」は多くない状況となっています。

%		転倒リスク			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)① ボランティアのグループにどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	13	7.7	92.3	0.0
	週2～3回	41	17.1	80.5	2.4
	週1回	26	15.4	84.6	0.0
	月1回～3回	139	22.3	77.0	0.7
	年に数回	157	27.4	72.0	0.6
	参加していない	1,511	30.6	69.0	0.5

%		転倒リスク			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)② スポーツ関係のグループやクラブにどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	76	19.7	80.3	0.0
	週2～3回	173	19.7	79.8	0.6
	週1回	122	23.8	75.4	0.8
	月1回～3回	138	18.8	79.7	1.4
	年に数回	78	26.9	71.8	1.3
	参加していない	1,343	31.9	67.5	0.6

%		転倒リスク			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)③ 趣味関係のグループにどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	46	23.9	76.1	0.0
	週2～3回	118	23.7	75.4	0.8
	週1回	113	25.7	74.3	0.0
	月1回～3回	336	23.8	75.0	1.2
	年に数回	153	26.1	71.2	2.6
	参加していない	1,225	31.5	68.2	0.2

%		転倒リスク			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)④ 学習・教養サークルにどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	6	0.0	100.0	0.0
	週2～3回	25	44.0	56.0	0.0
	週1回	32	21.9	78.1	0.0
	月1回～3回	95	30.5	68.4	1.1
	年に数回	95	26.3	73.7	0.0
	参加していない	1,563	29.6	69.9	0.4

%		転倒リスク			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)⑤ (なりたいいき百歳体操、あおぞら会など)介護予防のための通いの場にどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	16	25.0	75.0	0.0
	週2～3回	26	34.6	65.4	0.0
	週1回	43	44.2	55.8	0.0
	月1回～3回	53	32.1	66.0	1.9
	年に数回	34	35.3	64.7	0.0
	参加していない	1,688	28.9	70.6	0.5

%		転倒リスク			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)⑥ 老人クラブにどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	8	62.5	37.5	0.0
	週2～3回	14	14.3	85.7	0.0
	週1回	12	33.3	58.3	8.3
	月1回～3回	72	30.6	68.1	1.4
	年に数回	142	28.2	70.4	1.4
	参加していない	1,650	29.3	70.2	0.5

%		転倒リスク			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)⑦ 町内会・自治会にどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	8	25.0	75.0	0.0
	週2～3回	14	42.9	57.1	0.0
	週1回	17	23.5	76.5	0.0
	月1回～3回	141	24.1	75.9	0.0
	年に数回	630	22.5	77.1	0.3
	参加していない	1,114	32.4	67.1	0.5

%		転倒リスク			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)⑧ 収入のある仕事にどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	327	22.9	75.2	1.8
	週2～3回	201	18.9	81.1	0.0
	週1回	42	28.6	69.0	2.4
	月1回～3回	48	35.4	64.6	0.0
	年に数回	68	32.4	66.2	1.5
	参加していない	1,261	31.2	68.7	0.2

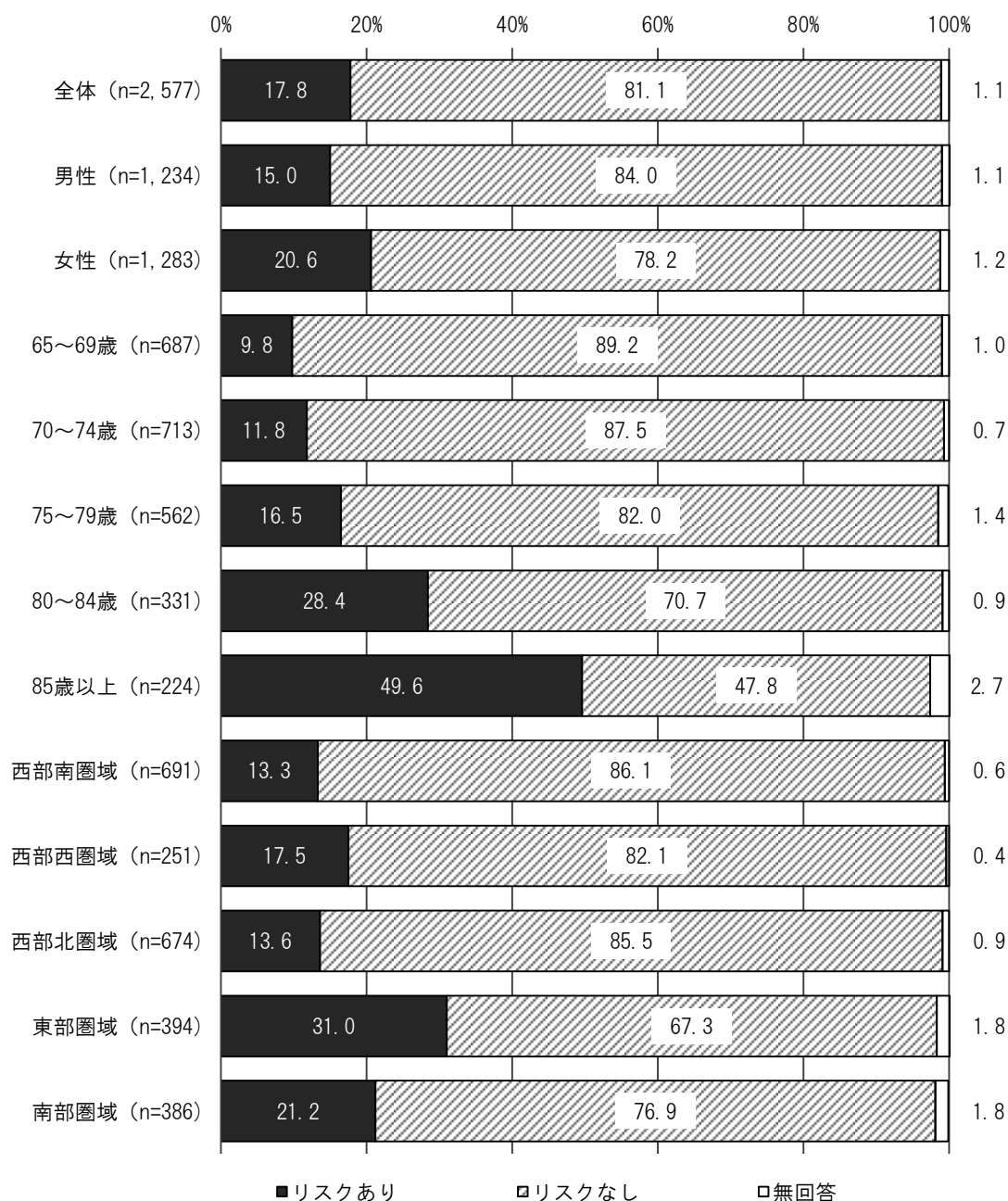
(3) 閉じこもり

閉じこもりについてみると、全体では「リスクあり」が17.8%、「リスクなし」が81.1%となっています。

性別にみると、〔女性〕では「リスクあり」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「リスクあり」が多くなっています。

圏域別にみると、〔東部圏域〕では「リスクあり」が3割を超えています。



【評価方法】

問番号	質問項目	評価方法
問2(6)	週に1回以上は外出していますか	該当する選択肢(「ほとんど外出しない」または「週1回」)が選択された場合、該当者(閉じこもり傾向のある高齢者)とした。

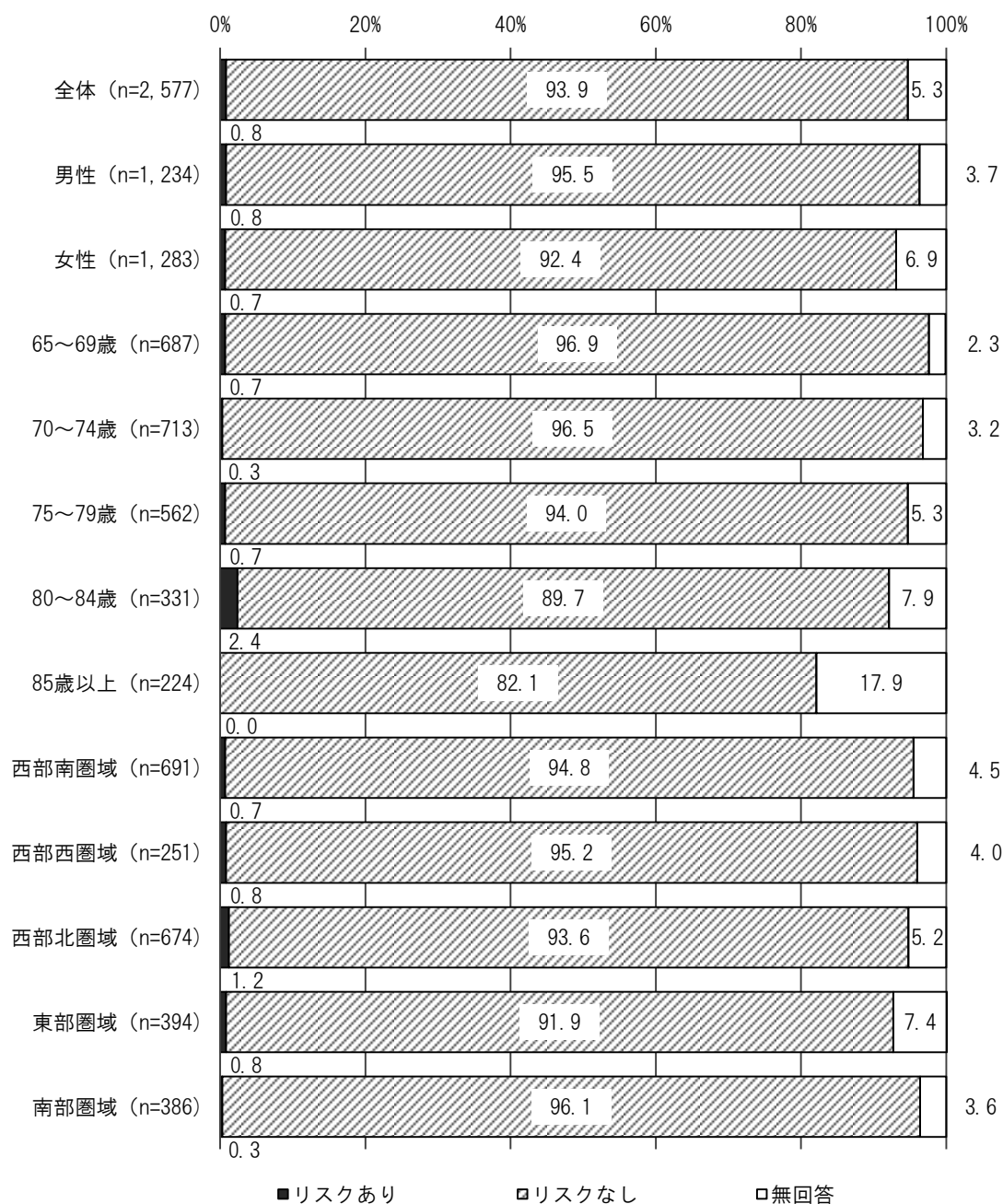
(4) 栄養

栄養についてみると、全体では「リスクあり」が 0.8%、「リスクなし」が 93.9%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「リスクなし」が少なくなっています。

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【評価方法】

問番号	質問項目	評価方法
問3(1)	BMI(身長・体重より算出)	BMIが18.5以下で、かつ問3(7)で該当する選択肢(「はい」)が選択された場合、該当者(低栄養状態にある高齢者)とした。
問3(7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	

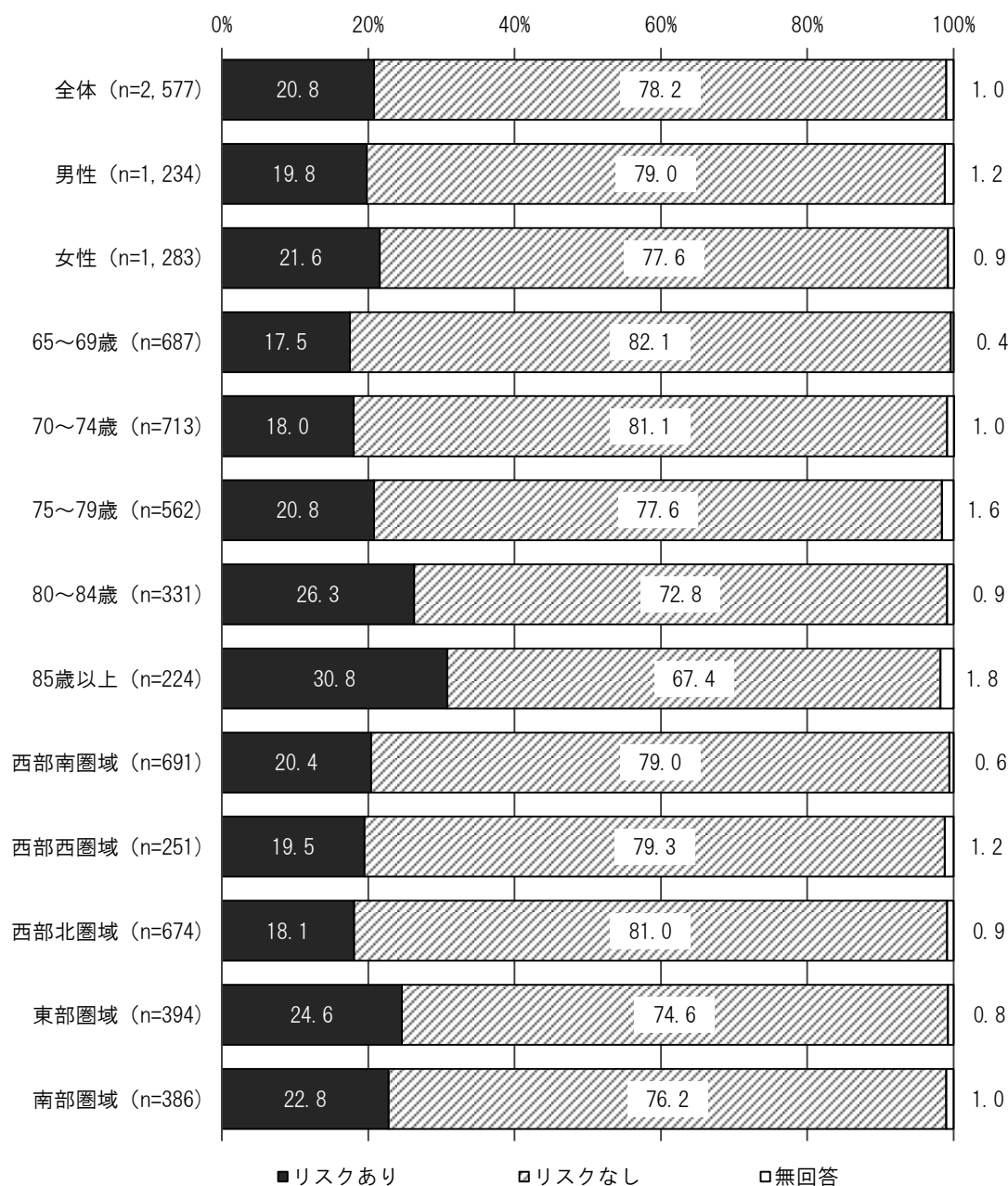
(5) 口腔機能

口腔機能についてみると、全体では「リスクあり」が 20.8%、「リスクなし」が 78.2%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「リスクあり」が多くなっています。

圏域別にみると、〔東部圏域〕では「リスクあり」が他に比べて多くなっています。



【評価方法】

問番号	質問項目	評価方法
問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	該当する選択肢(「はい」)が、3問中2問以上で選択された場合、該当者(口腔機能の低下がみられる高齢者)とした。
問3(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	
問3(4)	口の渇きが気になりますか	

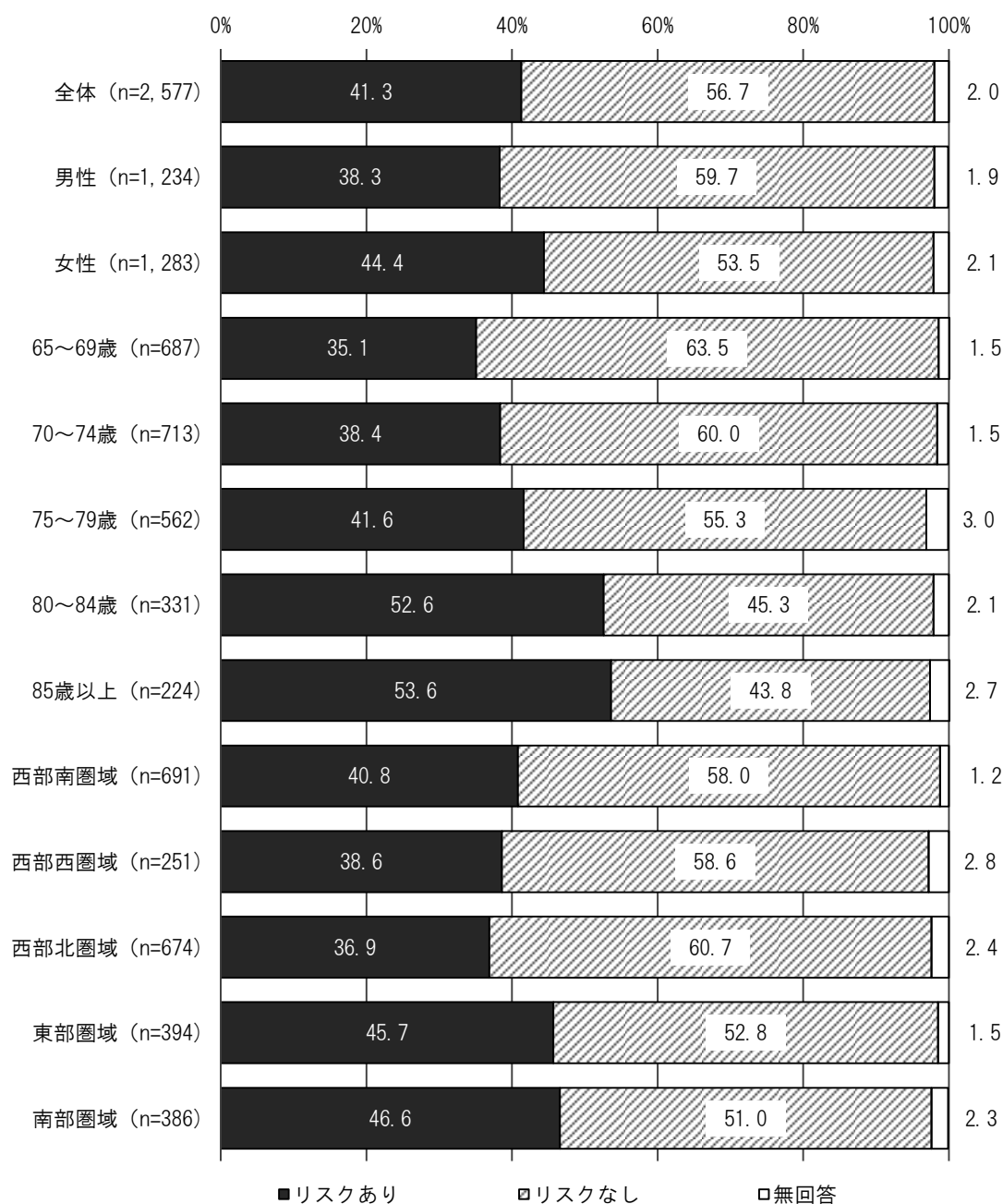
(6) 認知機能

認知機能についてみると、全体では「リスクあり」が41.3%、「リスクなし」が56.7%となっています。

性別にみると、〔女性〕では「リスクあり」が〔男性〕と比べて多くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「リスクあり」が多くなっています。

圏域別にみると、〔東部圏域〕〔南部圏域〕では「リスクあり」が他に比べて多くなっています。



【評価方法】

問 番 号	質 問 項 目	評 価 方 法
問4(1)	物忘れが多いと感じますか	該当する選択肢(「はい」)が選択された場合、該当者(認知機能の低下がみられる高齢者)とした。

【地域活動の参加頻度別】

各種の地域活動の参加頻度別にみると、いずれの活動についても、必ずしも参加頻度と「リスクなし」の割合との間に明確な関係はみられません。

⑤介護予防のための通いの場について、〔参加していない〕に比べ、〔週4回以上〕では「リスクなし」の割合が10ポイント以上上回っていますが、〔週2～3回〕〔週1回〕〔月1回～3回〕では下回っています。

%		認知機能の低下			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)① ボランティアのグループにどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	13	30.8	69.2	0.0
	週2～3回	41	41.5	58.5	0.0
	週1回	26	42.3	57.7	0.0
	月1回～3回	139	38.1	60.4	1.4
	年に数回	157	35.7	63.7	0.6
	参加していない	1,511	42.0	56.1	1.9

%		認知機能の低下			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)② スポーツ関係のグループやクラブにどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	76	35.5	59.2	5.3
	週2～3回	173	39.3	60.7	0.0
	週1回	122	45.9	52.5	1.6
	月1回～3回	138	37.0	61.6	1.4
	年に数回	78	38.5	59.0	2.6
	参加していない	1,343	41.6	56.6	1.8

%		認知機能の低下			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)③ 趣味関係のグループにどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	46	47.8	52.2	0.0
	週2～3回	118	41.5	57.6	0.8
	週1回	113	38.1	57.5	4.4
	月1回～3回	336	38.7	59.8	1.5
	年に数回	153	39.9	59.5	0.7
	参加していない	1,225	41.7	56.5	1.8

%		認知機能の低下			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)④ 学習・教養サークルにどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	6	83.3	16.7	0.0
	週2～3回	25	48.0	52.0	0.0
	週1回	32	31.3	65.6	3.1
	月1回～3回	95	44.2	52.6	3.2
	年に数回	95	36.8	63.2	0.0
	参加していない	1,563	41.0	57.3	1.7

%		認知機能の低下			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)⑤ (なりたいいき百歳体操、あおぞら会など)介護予防のための通いの場にどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	16	31.3	68.8	0.0
	週2～3回	26	61.5	38.5	0.0
	週1回	43	51.2	48.8	0.0
	月1回～3回	53	64.2	34.0	1.9
	年に数回	34	44.1	55.9	0.0
	参加していない	1,688	40.6	57.7	1.7

%		認知機能の低下			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)⑥ 老人クラブにどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	8	87.5	12.5	0.0
	週2～3回	14	21.4	71.4	7.1
	週1回	12	75.0	25.0	0.0
	月1回～3回	72	54.2	44.4	1.4
	年に数回	142	40.8	55.6	3.5
	参加していない	1,650	40.7	57.8	1.5

%		認知機能の低下			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)⑦ 町内会・自治会にどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	8	37.5	50.0	12.5
	週2～3回	14	21.4	64.3	14.3
	週1回	17	17.6	82.4	0.0
	月1回～3回	141	38.3	61.7	0.0
	年に数回	630	39.0	59.2	1.7
	参加していない	1,114	42.9	55.6	1.5

%		認知機能の低下			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)⑧ 収入のある仕事にどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	327	33.6	64.2	2.1
	週2～3回	201	36.3	62.2	1.5
	週1回	42	35.7	59.5	4.8
	月1回～3回	48	35.4	64.6	0.0
	年に数回	68	32.4	64.7	2.9
	参加していない	1,261	43.6	54.7	1.7

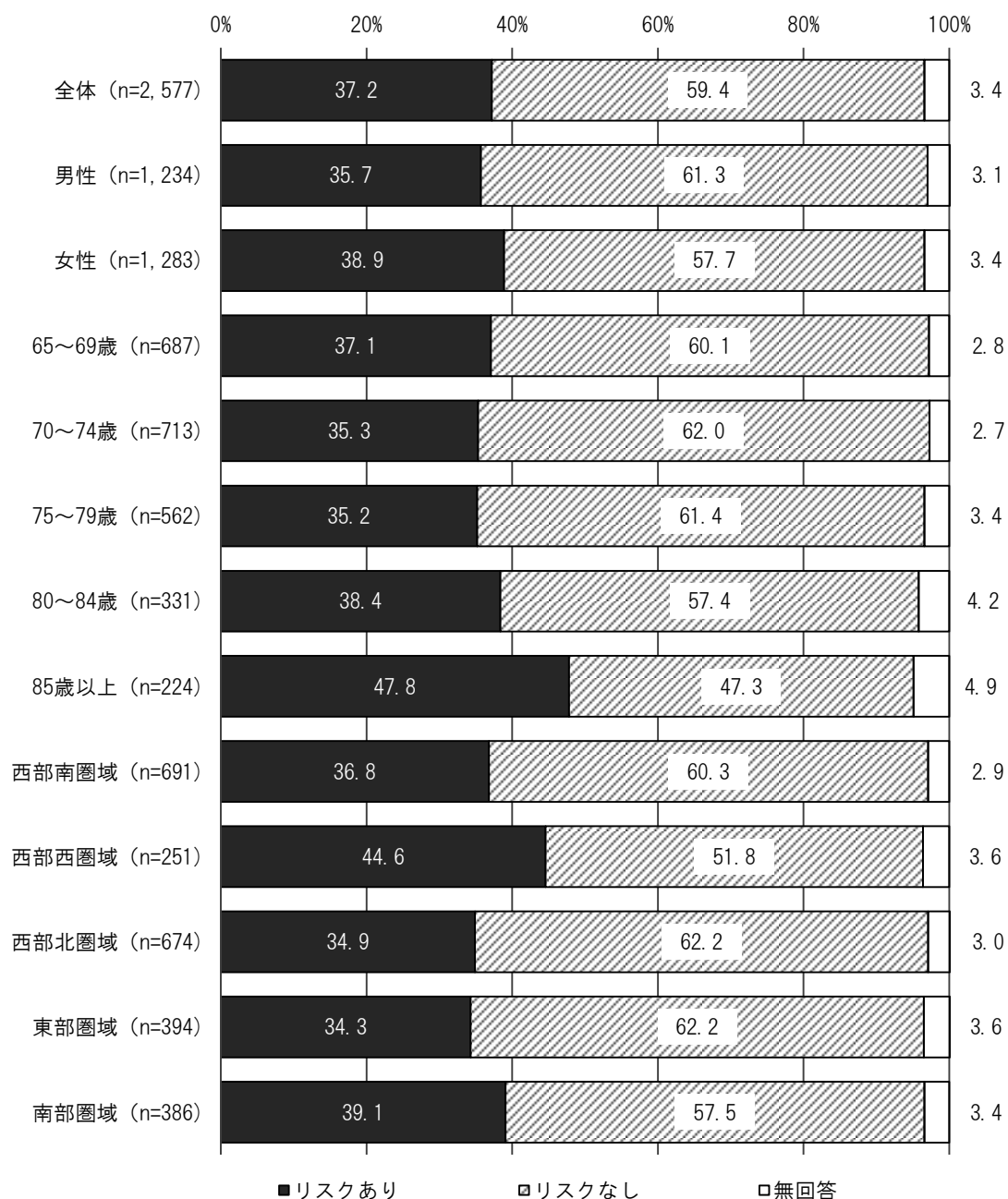
(7) うつ

うつについてみると、全体では「リスクあり」が 37.2%、「リスクなし」が 59.4%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、〔85 歳以上〕において「リスクあり」が他と比べて多くなっています。

圏域別にみると、〔西部西圏域〕では「リスクあり」が他と比べて多くなっています。



【評価方法】

問番号	質問項目	評価方法
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	いずれか1つでも該当する選択肢(「はい」)が選択された場合、該当者(うつ傾向の高齢者)とした。
問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	

【地域活動の参加頻度別】

各種の地域活動の参加頻度別にみると、①ボランティアのグループ、②スポーツ関係のグループやクラブ、③趣味関係のグループ、⑦町内会・自治会では、概ね参加頻度が高いほど「リスクなし」が多い傾向となっています。特に、①ボランティアのグループ、③趣味関係のグループ、⑦町内会・自治会について、〔週4回以上〕〔週2～3回〕〔週1回〕での「リスクなし」の割合は、〔参加していない〕における「リスクなし」の割合を10ポイント以上上回っています。

%		うつ傾向			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)① ボランティアのグループにどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	13	15.4	84.6	0.0
	週2～3回	41	26.8	70.7	2.4
	週1回	26	26.9	69.2	3.8
	月1回～3回	139	36.0	62.6	1.4
	年に数回	157	26.8	69.4	3.8
	参加していない	1,511	39.6	58.5	1.9

%		うつ傾向			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)② スポーツ関係のグループやクラブにどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	76	23.7	75.0	1.3
	週2～3回	173	25.4	72.8	1.7
	週1回	122	36.1	61.5	2.5
	月1回～3回	138	28.3	68.1	3.6
	年に数回	78	34.6	62.8	2.6
	参加していない	1,343	40.9	57.2	1.9

%		うつ傾向			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)③ 趣味関係のグループにどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	46	23.9	76.1	0.0
	週2～3回	118	28.8	66.9	4.2
	週1回	113	30.1	67.3	2.7
	月1回～3回	336	35.1	63.7	1.2
	年に数回	153	32.0	66.0	2.0
	参加していない	1,225	41.3	56.6	2.1

%		うつ傾向			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)④ 学習・教養サークルにどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	6	33.3	66.7	0.0
	週2～3回	25	28.0	72.0	0.0
	週1回	32	21.9	75.0	3.1
	月1回～3回	95	42.1	55.8	2.1
	年に数回	95	38.9	60.0	1.1
	参加していない	1,563	38.8	59.2	2.0

%		うつ傾向			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)⑤ (なりたいきいき百歳体操、あおぞら会など)介護予防のための通いの場にどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	16	50.0	50.0	0.0
	週2～3回	26	23.1	73.1	3.8
	週1回	43	44.2	48.8	7.0
	月1回～3回	53	39.6	60.4	0.0
	年に数回	34	47.1	50.0	2.9
	参加していない	1,688	38.2	59.8	2.0

%		うつ傾向			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)⑥ 老人クラブにどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	8	12.5	87.5	0.0
	週2～3回	14	0.0	100.0	0.0
	週1回	12	33.3	58.3	8.3
	月1回～3回	72	37.5	59.7	2.8
	年に数回	142	36.6	57.0	6.3
	参加していない	1,650	38.5	59.6	1.9

%		うつ傾向			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)⑦ 町内会・自治会にどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	8	12.5	87.5	0.0
	週2～3回	14	28.6	71.4	0.0
	週1回	17	23.5	76.5	0.0
	月1回～3回	141	29.8	68.8	1.4
	年に数回	630	37.9	59.8	2.2
	参加していない	1,114	39.5	58.1	2.4

%		うつ傾向			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問5(1)⑧ 収入のある仕事にどのくらいの頻度で参加していますか	週4回以上	327	33.6	62.4	4.0
	週2～3回	201	26.9	70.6	2.5
	週1回	42	23.8	73.8	2.4
	月1回～3回	48	37.5	58.3	4.2
	年に数回	68	29.4	70.6	0.0
	参加していない	1,261	41.0	56.9	2.1

【たすけあいの状況（相手の有無）別】

たすけあいの状況（相手の有無）別にみると、心配事や愚痴を聞いてくれる人・反対に聞いてあげる人、看病や世話をしてくれる人・反対にしてあげる人のいずれについても、〔そのような人はいない〕において「リスクあり」が5割前後となっており、たすけあいの相手がいる場合に比べて多くなっています。

%		うつ傾向			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問6（1）あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人	配偶者	1,430	34.0	63.8	2.2
	同居の子ども	616	34.7	63.1	2.1
	別居の子ども	883	35.2	62.1	2.7
	兄弟姉妹・親戚・親・孫	879	37.2	60.6	2.2
	近隣	357	32.8	63.9	3.4
	友人	1,114	36.0	61.5	2.5
	その他	62	33.9	62.9	3.2
	そのような人はいない	113	53.1	38.1	8.8

%		うつ傾向			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問6（2）反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人	配偶者	1,354	34.2	63.8	2.0
	同居の子ども	550	33.6	64.7	1.6
	別居の子ども	881	33.8	63.6	2.6
	兄弟姉妹・親戚・親・孫	956	34.8	62.7	2.5
	近隣	438	35.2	62.3	2.5
	友人	1,139	34.7	62.9	2.4
	その他	42	28.6	69.0	2.4
	そのような人はいない	162	54.3	39.5	6.2

%		うつ傾向			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問6（3）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	配偶者	1,581	35.1	62.2	2.7
	同居の子ども	813	35.1	62.6	2.3
	別居の子ども	884	34.4	63.1	2.5
	兄弟姉妹・親戚・親・孫	488	33.2	65.2	1.6
	近隣	88	36.4	59.1	4.5
	友人	184	31.0	66.3	2.7
	その他	41	39.0	58.5	2.4
	そのような人はいない	133	48.9	43.6	7.5

%		うつ傾向			
		n	リスクあり	リスクなし	無回答
問6（4）反対に、看病や世話をしてくれる人	配偶者	1,540	34.6	62.9	2.5
	同居の子ども	649	33.7	64.7	1.5
	別居の子ども	717	33.1	65.6	1.4
	兄弟姉妹・親戚・親・孫	744	34.5	63.8	1.6
	近隣	124	31.5	65.3	3.2
	友人	265	36.6	61.5	1.9
	その他	35	42.9	57.1	0.0
	そのような人はいない	305	48.9	46.2	4.9

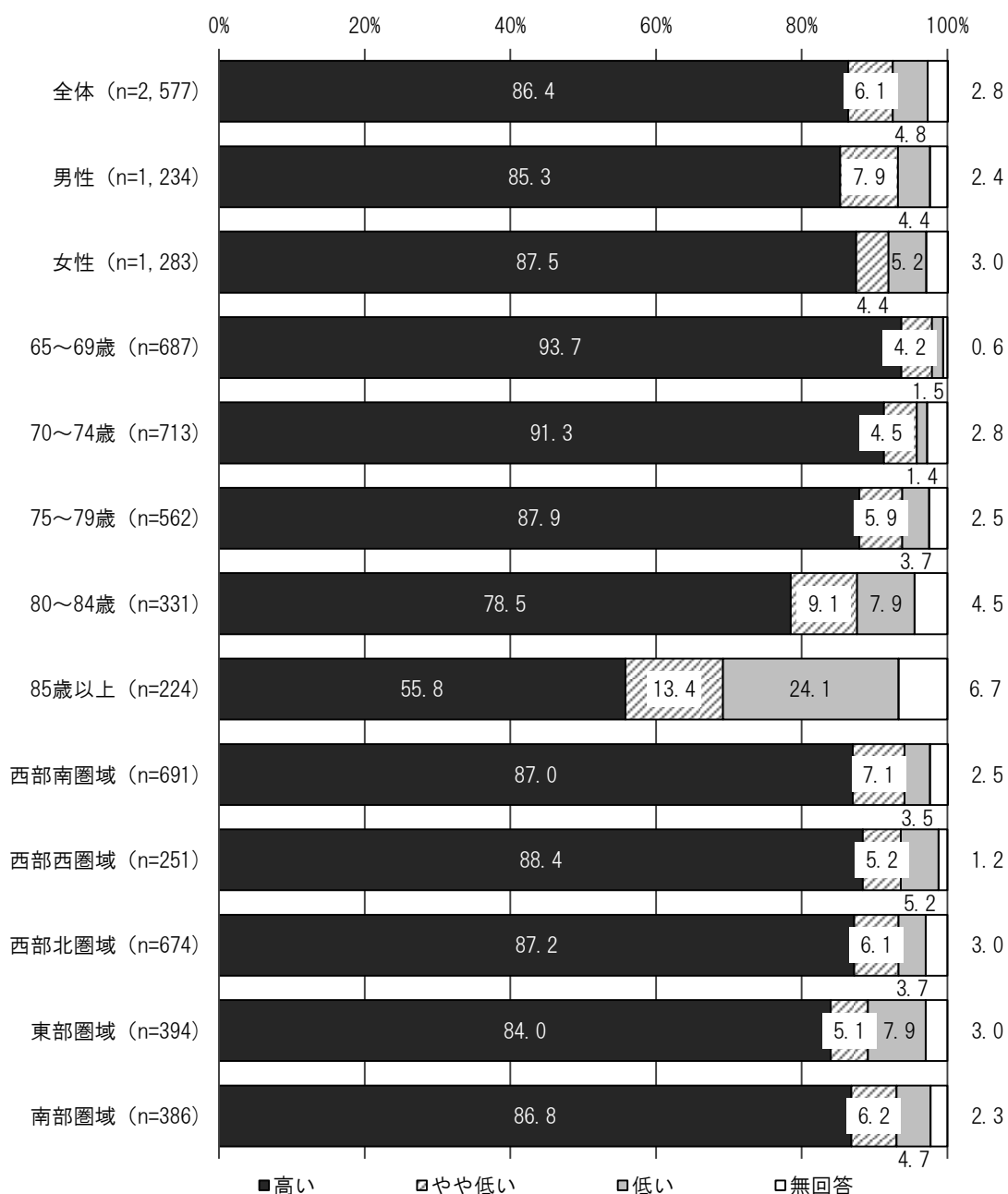
(8) I A D L (手段的日常生活動作)

IADLについてみると、全体では「高い」が 86.4%と最も多く、次いで「やや低い」が 6.1%、「低い」が 4.8%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。

年齢別にみると、概ね年齢が上がるにつれて「やや低い」「低い」が多くなっています。

圏域別にみると、大きな差はみられません。



【評価方法】

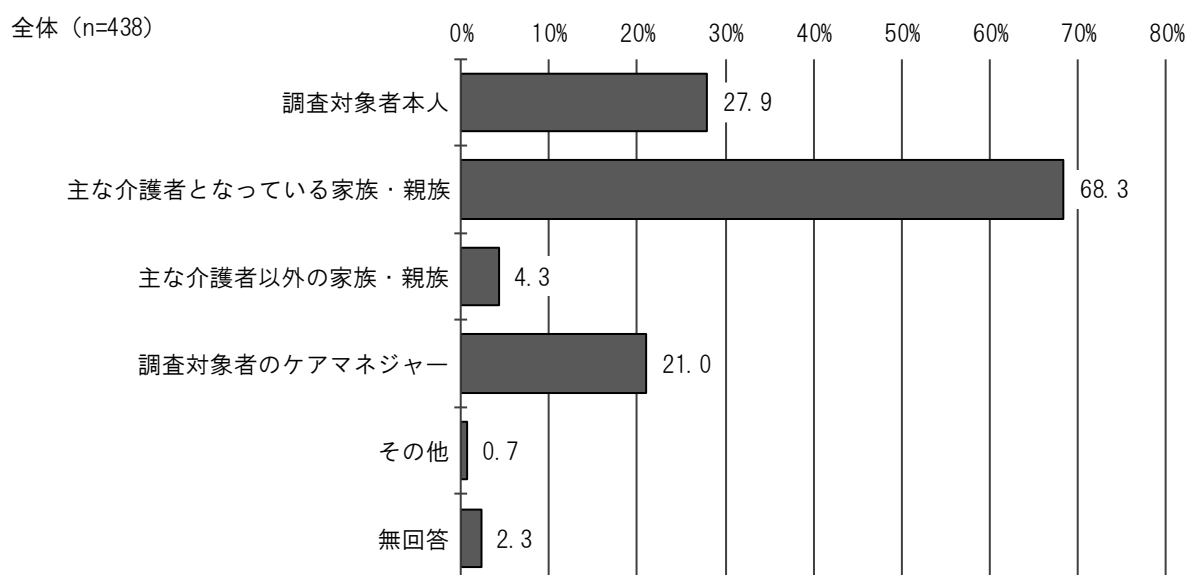
問 番 号	質 問 項 目	評 価 方 法
問4(4)	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	各問で、該当する選択肢(「できるし、している」または「できるけどしていない」)が選択された場合を1点とし、5問合わせて5点満点で評価した。5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」とした。
問4(5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
問4(6)	自分で食事の用意をしていますか	
問4(7)	自分で請求書の支払いをしていますか	
問4(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

第 5 章 在宅介護実態調査

A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか

(複数回答)

聞き取りを行った相手の方についてみると、「主な介護者となっている家族・親族」が 68.3%と最も多く、次いで「調査対象者本人」が 27.9%、「調査対象者のケアマネジャー」が 21.0%となっています。



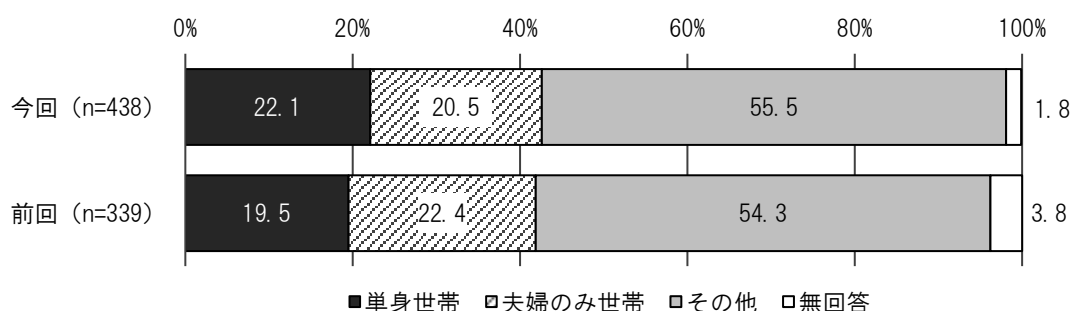
A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください

(単数回答)

世帯類型についてみると、「その他」が 55.5%と最も多く、次いで「単身世帯」が 22.1%、「夫婦のみ世帯」が 20.5%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

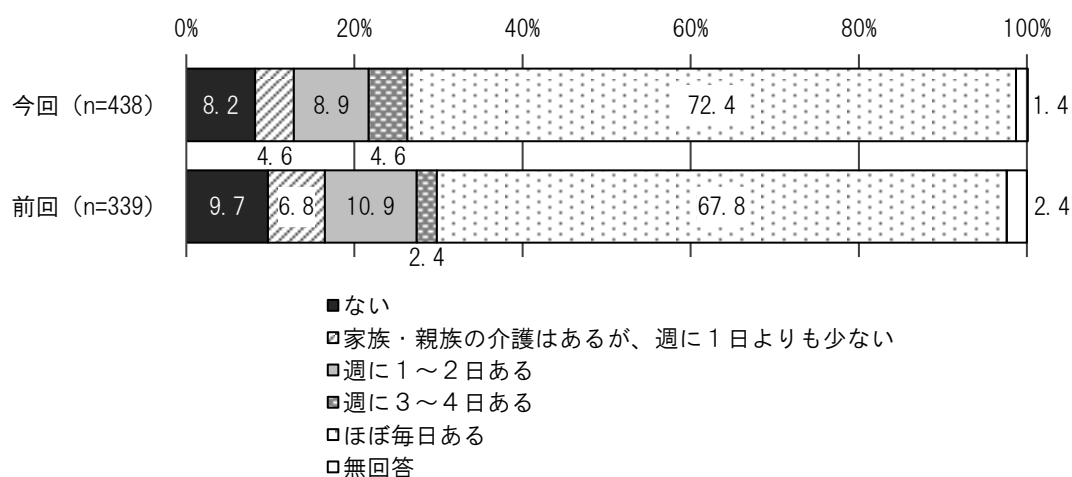


問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）

(単数回答)

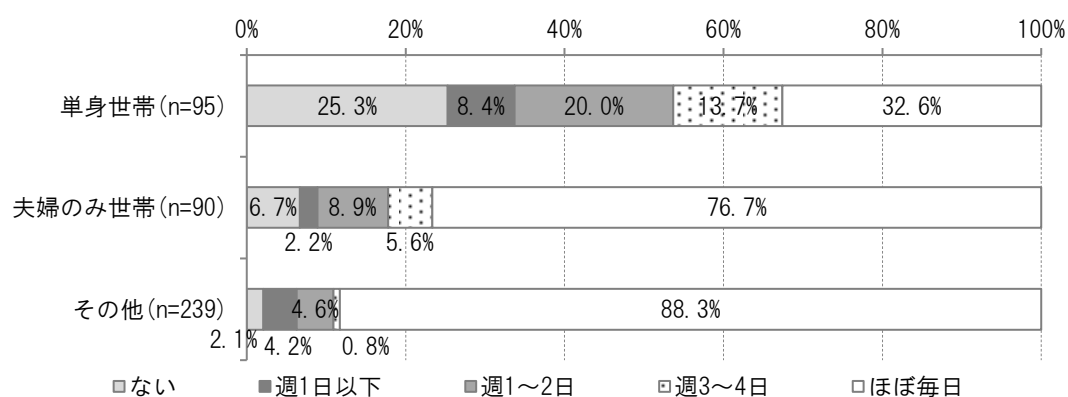
家族や親族の方からの介護頻度についてみると、「ほぼ毎日ある」が 72.4%と最も多く、次いで「週に1～2日ある」が 8.9%、「ない」が 8.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。



【世帯類型別】

世帯類型別にみると、「単身世帯」では「ない」が他に比べて多く、「ほぼ毎日」が少なくなっています。また、「夫婦のみ世帯」についても、「その他」に比べて「ほぼ毎日」が少なくなっています。

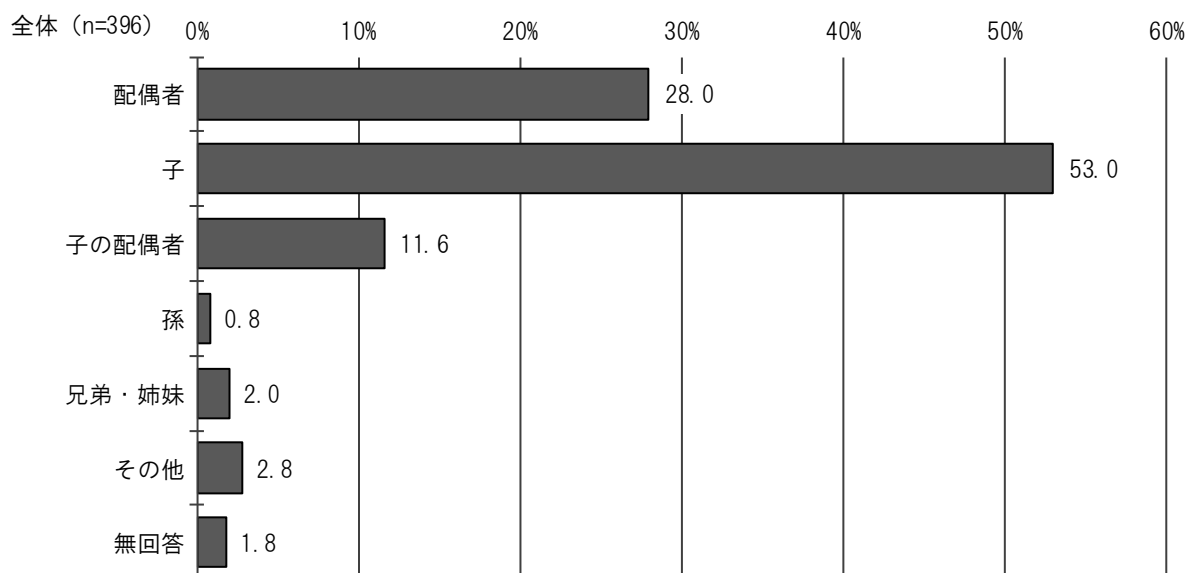


《問3～7は、問2で「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」のいずれかをお答えの方》

問3 主な介護者の方は、どなたですか

(単数回答)

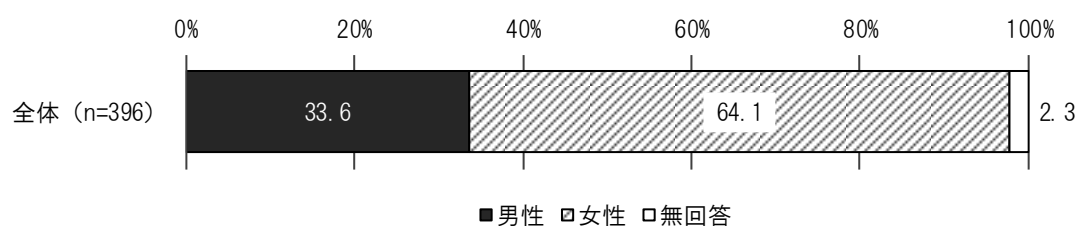
主な介護者についてみると、「子」が53.0%と最も多く、次いで「配偶者」が28.0%、「子の配偶者」が11.6%となっています。



問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください

(単数回答)

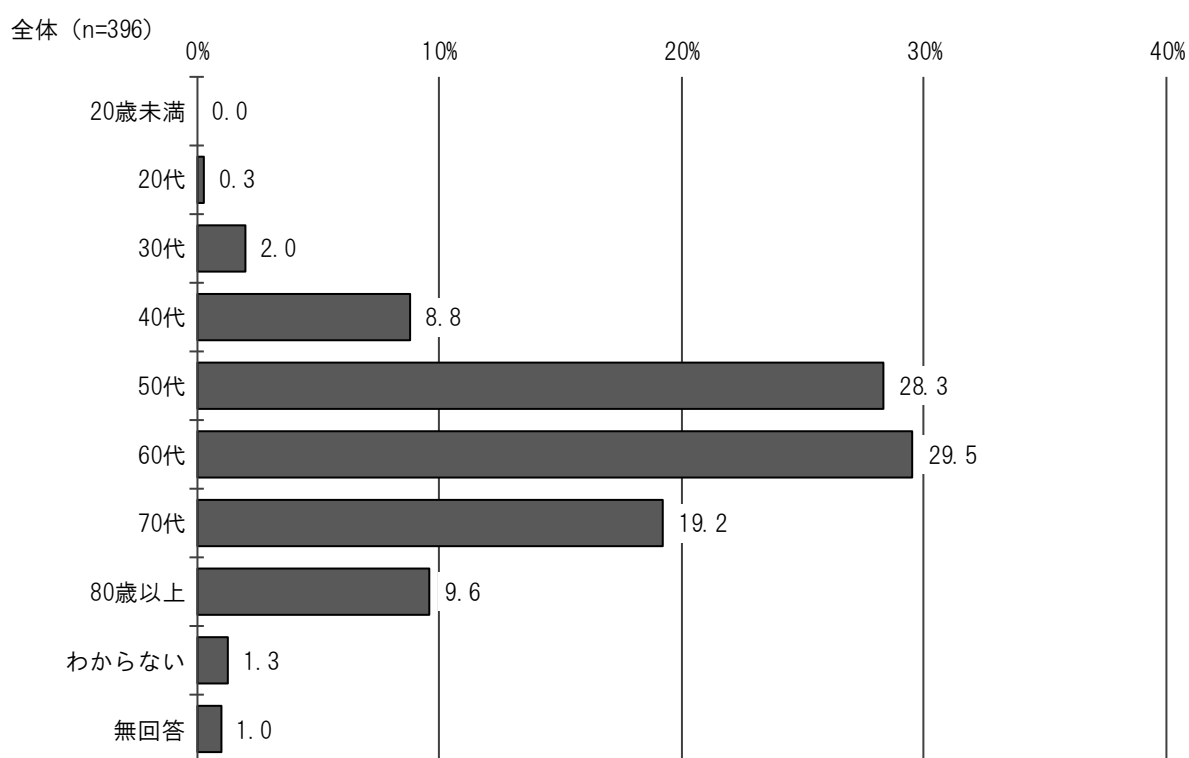
主な介護者の性別についてみると、「男性」が 33.6%、「女性」が 64.1%となっています。



問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください

(単数回答)

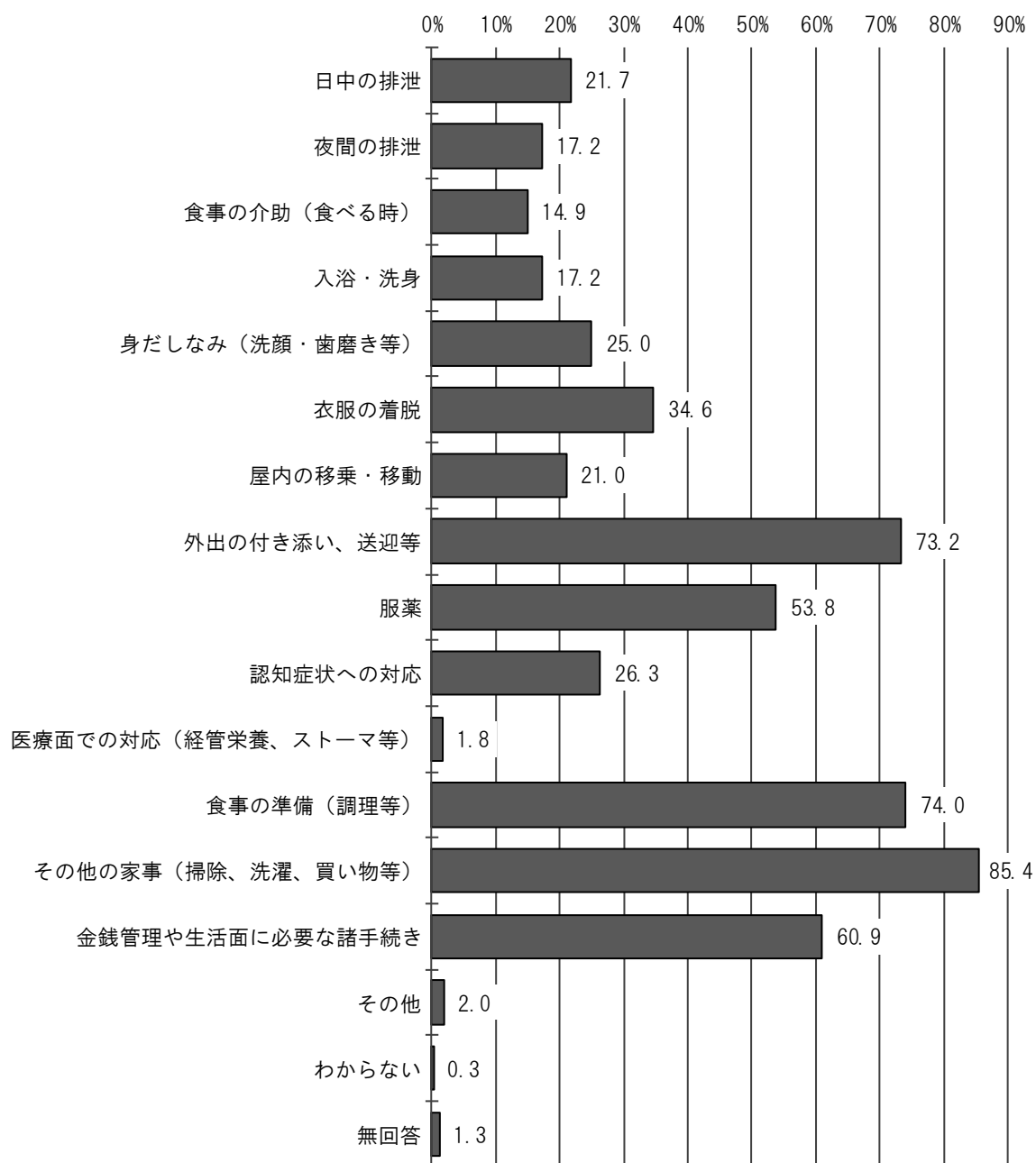
主な介護者の年齢についてみると、「60代」が 29.5%と最も多く、次いで「50代」が 28.3%、「70代」が 19.2%となっています。



問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数回答）

主な介護者の方が行っている介護等についてみると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 85.4%と最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」が 74.0%、「外出の付き添い、送迎等」が 73.2%となっています。

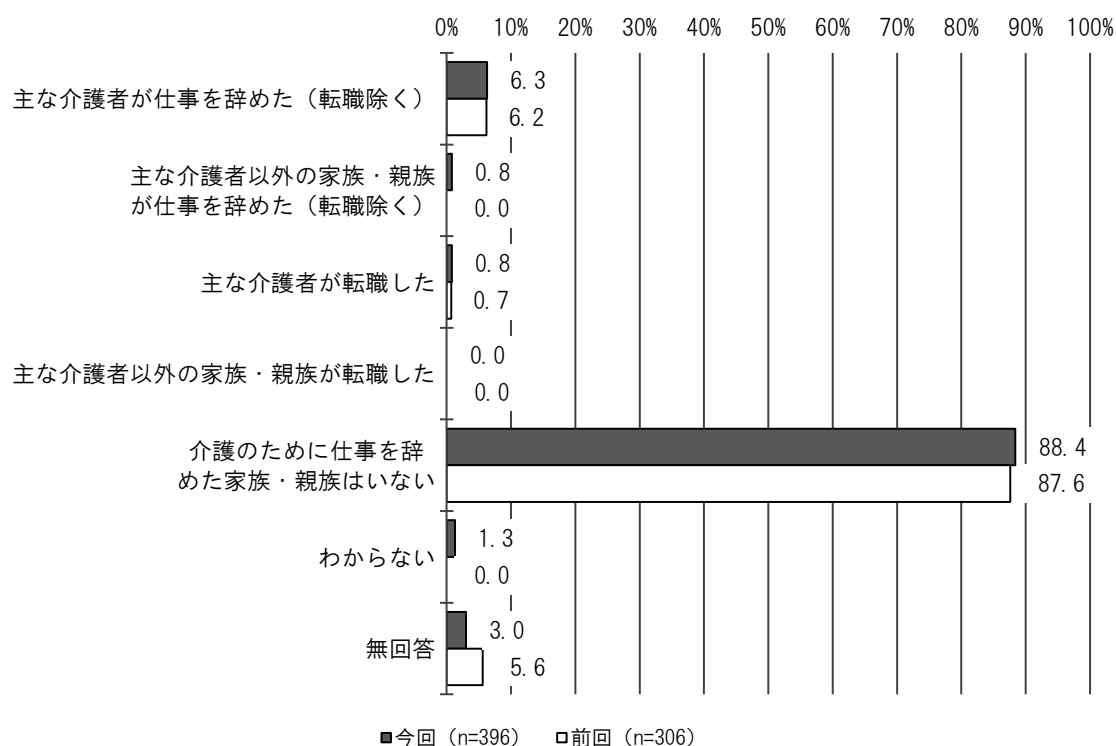
全体（n=396）



問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）
（複数回答）

ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方についてみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が88.4%と最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が6.3%、「わからない」が1.3%となっています。

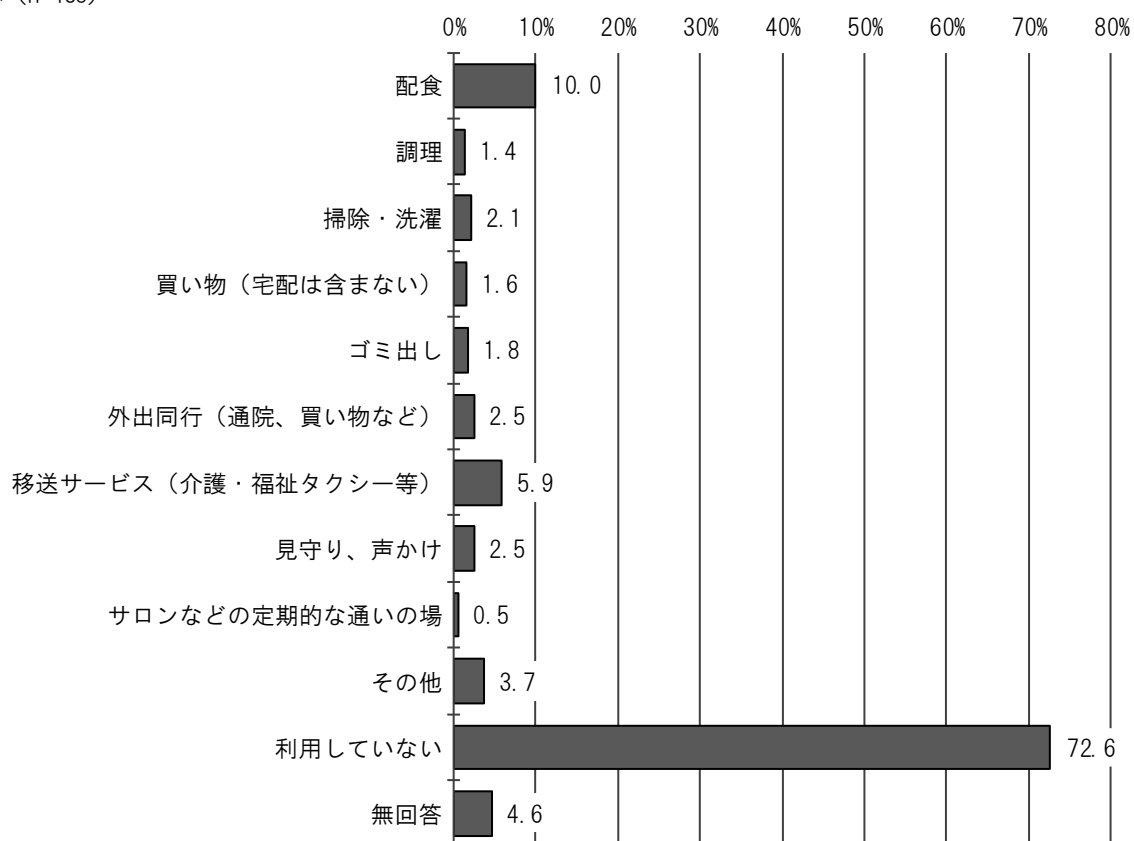
前回と比較すると、大きな差はみられません。



問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答
ください (複数回答)

利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについてみると、「利用していない」が 72.6%と最も多く、次いで「配食」が 10.0%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 5.9%となっています。

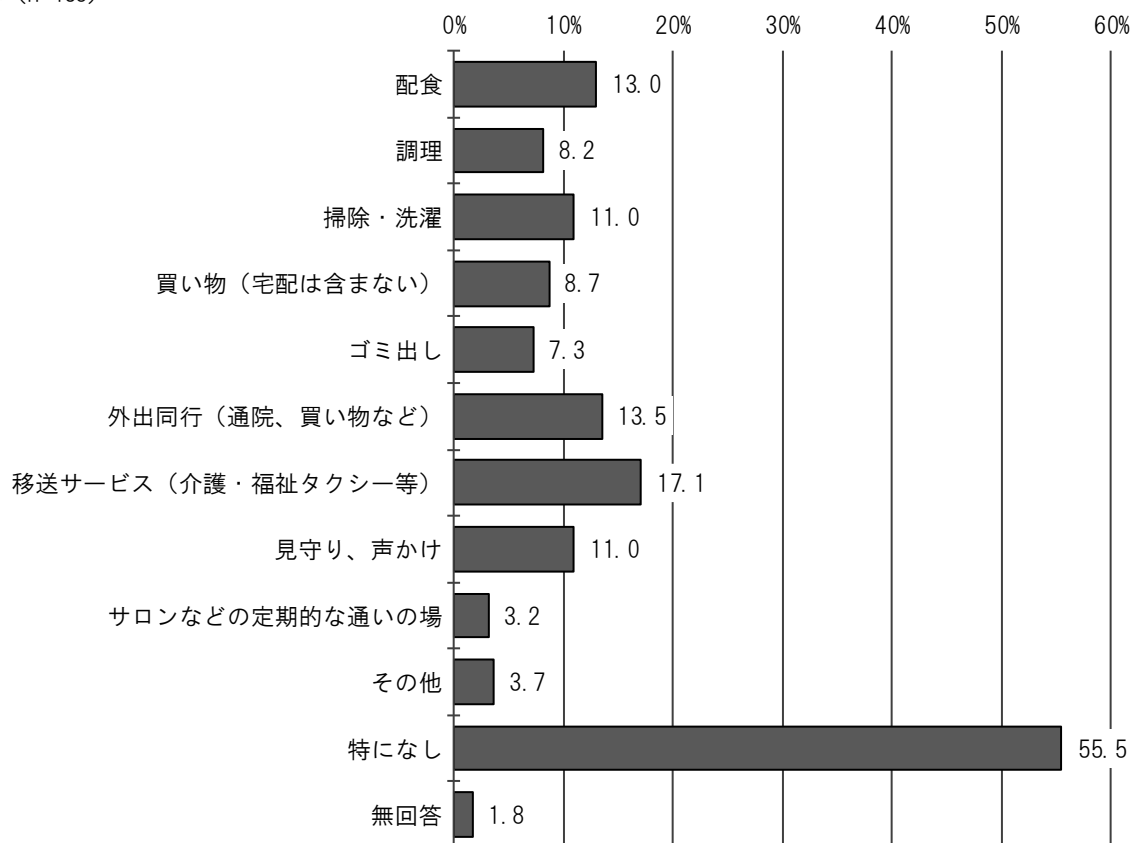
全体 (n=438)



問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数回答）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについてみると、「特になし」が55.5%と最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が17.1%、「外出同行（通院、買い物など）」が13.5%となっています。

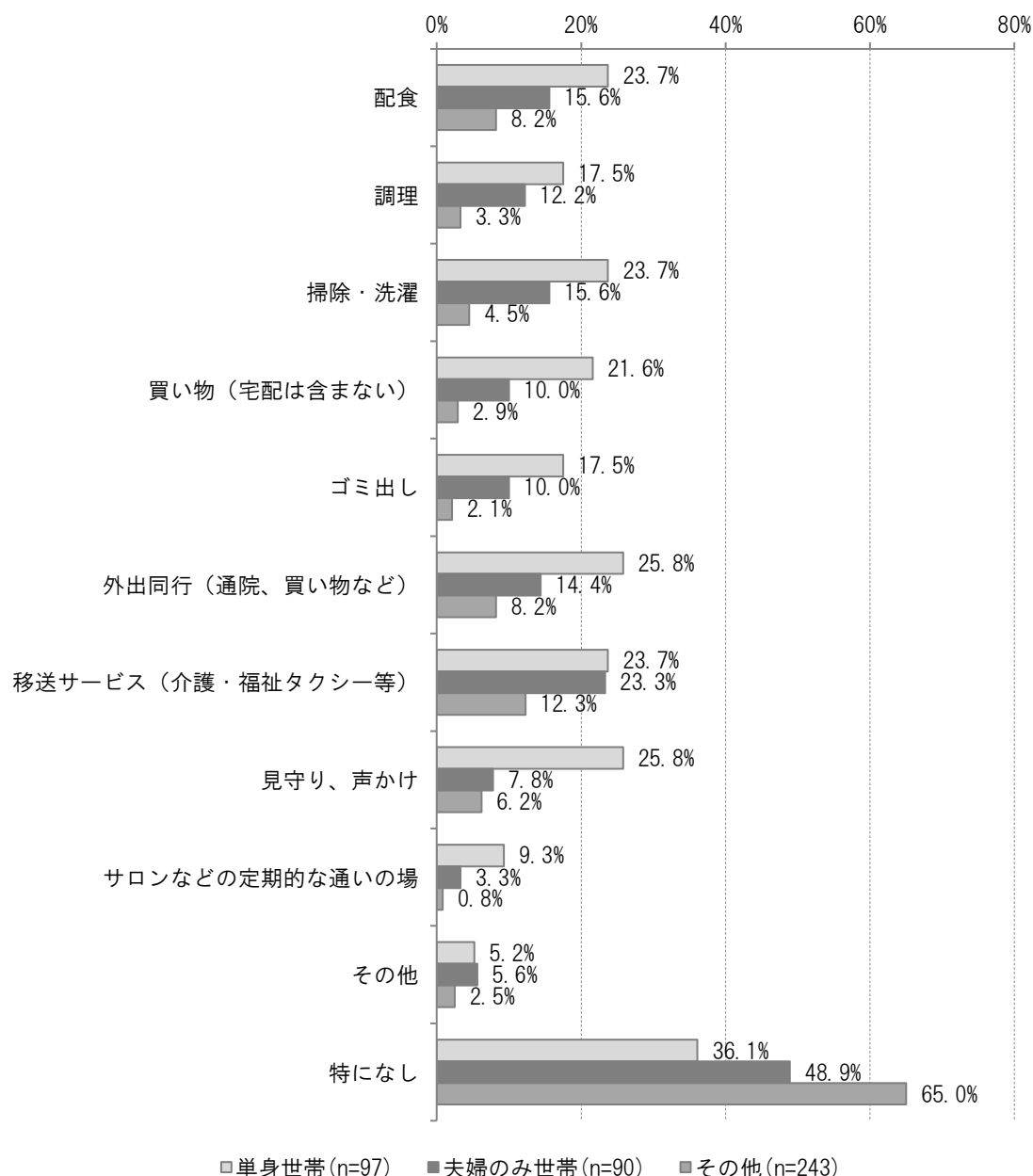
全体（n=438）



【世帯類型別】

世帯類型別にみると、「その他」「特になし」を除くすべての項目において、「単身世帯」で割合が最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」、「その他」の順となっています。特に、「掃除・洗濯」「買い物（宅配は含まない）」「見守り、声かけ」では、「単身世帯」と「その他」で約 20 ポイントの差が生じています。

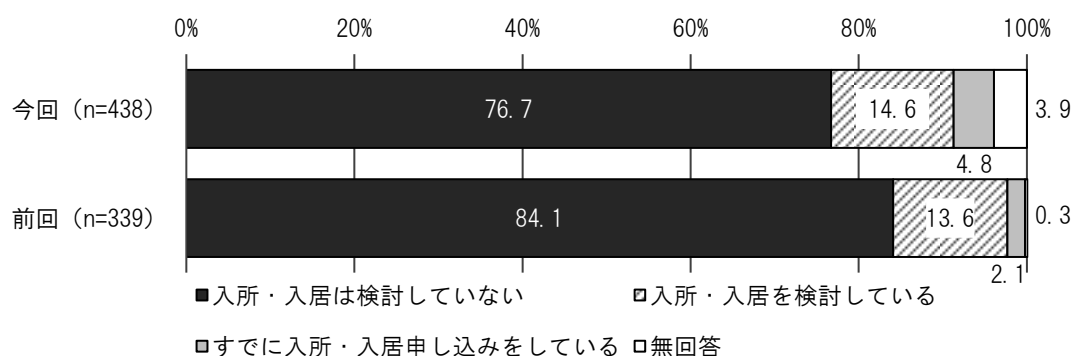
また、「夫婦のみ世帯」について、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」では「単身世帯」と同程度、「見守り、声かけ」では「その他」と同程度の割合となっています。



問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください

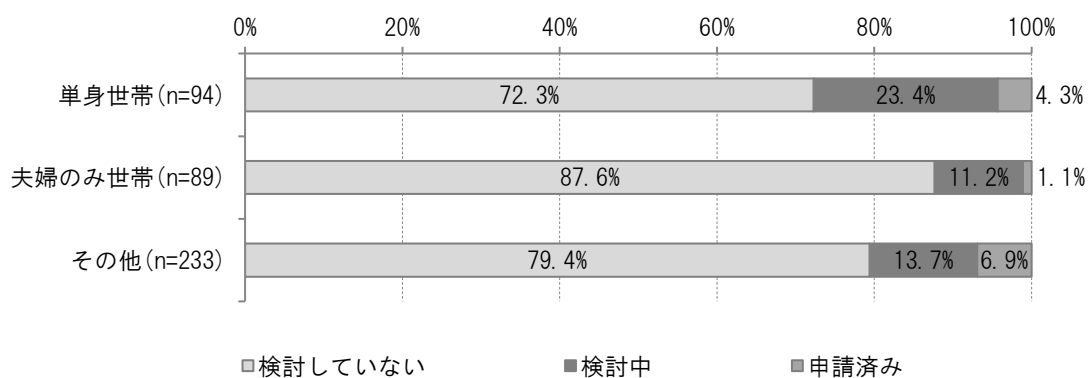
(単数回答)

施設等への入所・入居の検討状況についてみると、「入所・入居は検討していない」が 76.7%と最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が 14.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 4.8%となっています。前回と比較すると、「入所・入居は検討していない」が 7.4 ポイント減少しています。



【世帯類型別】

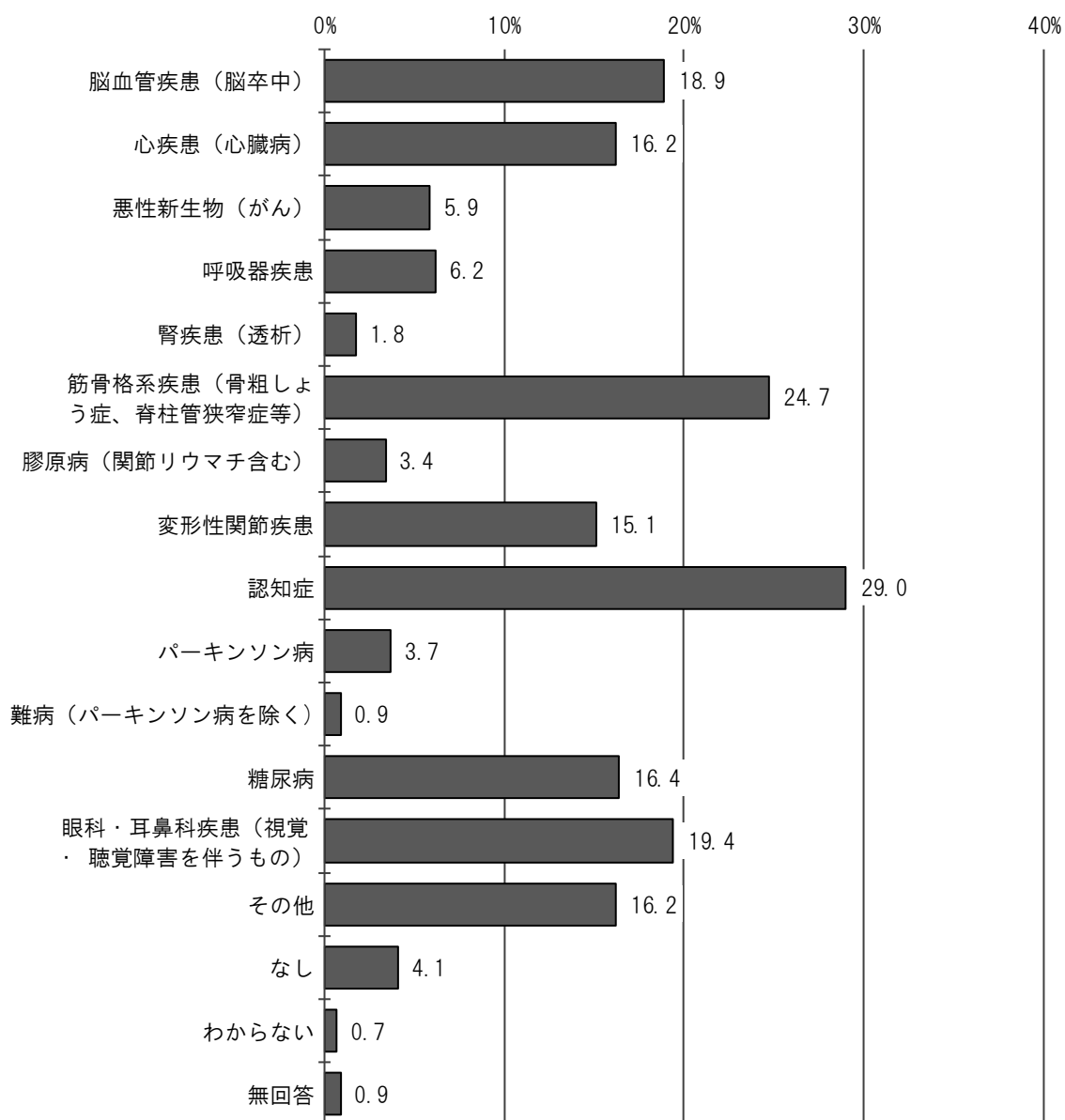
世帯類型別にみると、すべての世帯類型で「検討していない」が最も多くなっていますが、〔単身世帯〕では「検討中」が他に比べて多くなっています。また、〔夫婦のみ世帯〕では「検討していない」が他に比べて多くなっています。



問 11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
（複数回答）

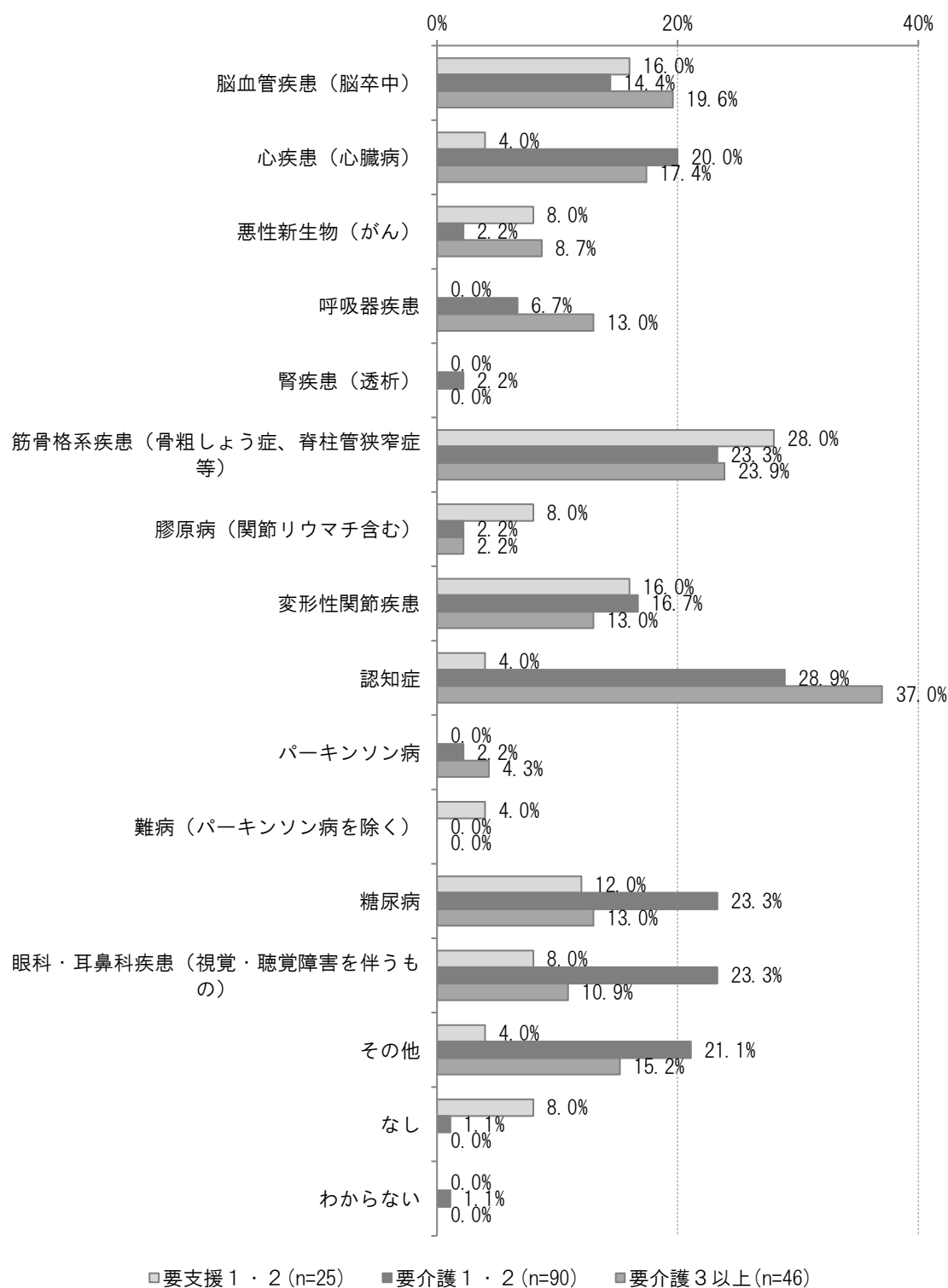
現在抱えている傷病についてみると、「認知症」が 29.0%と最も多く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、
脊柱管狭窄症等）」が 24.7%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 19.4%となっています。

全体（n=438）



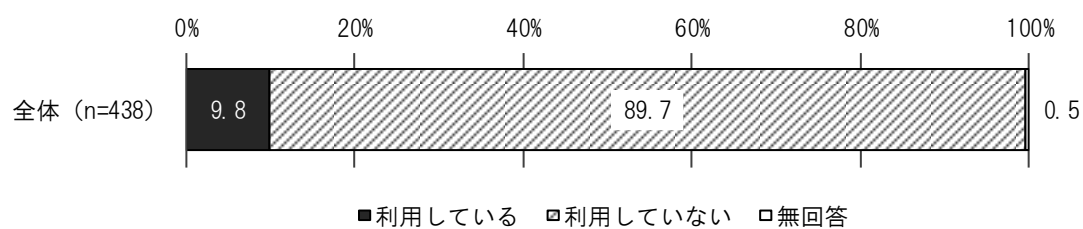
【要介護度別】

要介護度別にみると、〔要支援1・2〕では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、〔要介護1・2〕〔要介護3以上〕では「認知症」が最も多くなっています。「認知症」の割合については、〔要支援1・2〕と〔要介護1・2〕〔要介護3以上〕との間で20ポイントから30ポイント程度の差が生じています。



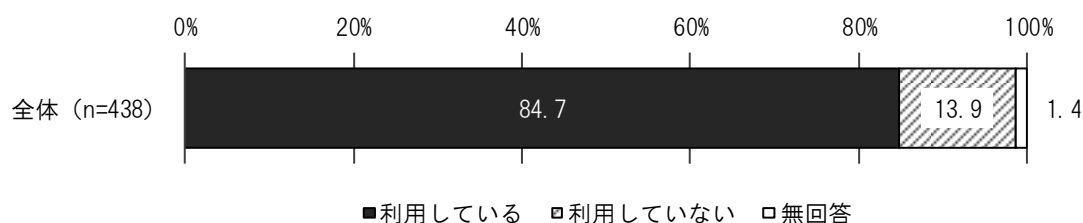
問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（単数回答）

訪問診療の利用状況についてみると、「利用している」が 9.8%、「利用していない」が 89.7%となっています。



問 13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（単数回答）

介護保険サービスの利用状況についてみると、「利用している」が 84.7%、「利用していない」が 13.9%となっています。



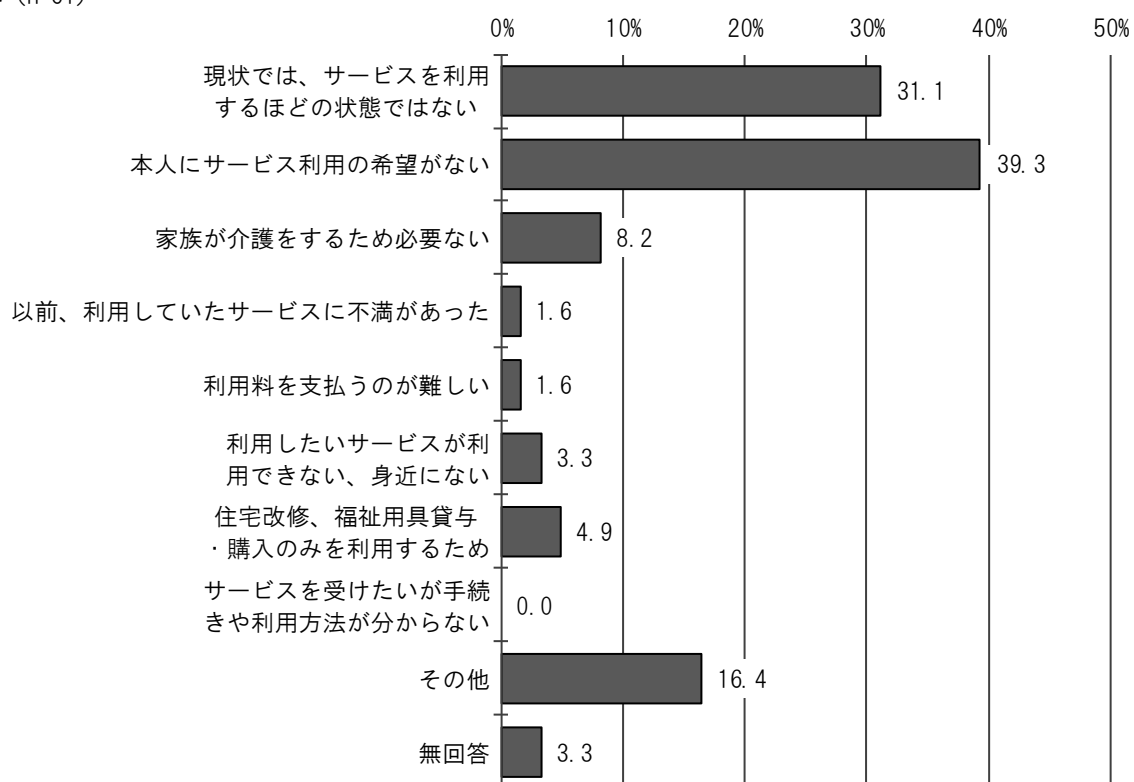
《問 13 で「利用していない」とお答えの方》

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか

(複数回答)

介護保険サービスを利用していない理由についてみると、「本人にサービス利用の希望がない」が 39.3%と最も多く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 31.1%、「その他」が 16.4%となっています。

全体 (n=61)



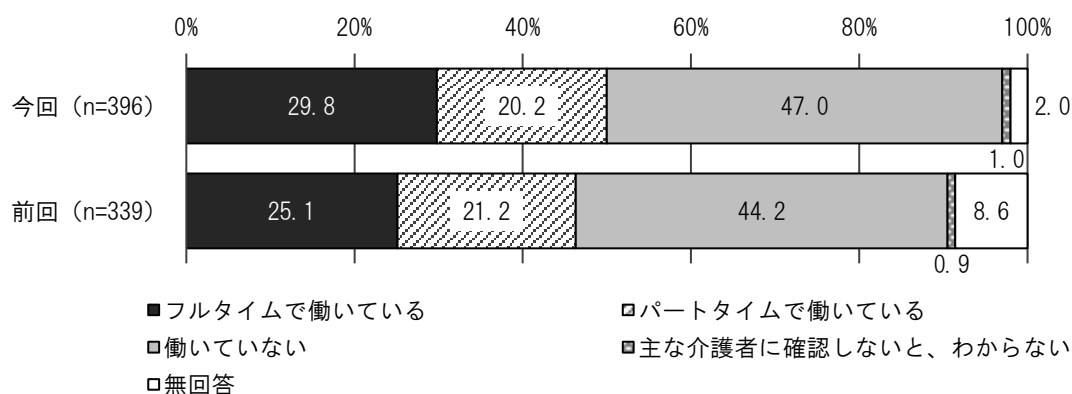
B票 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

《B票は、A票問2で「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」とお答えの方》

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください (単数回答)

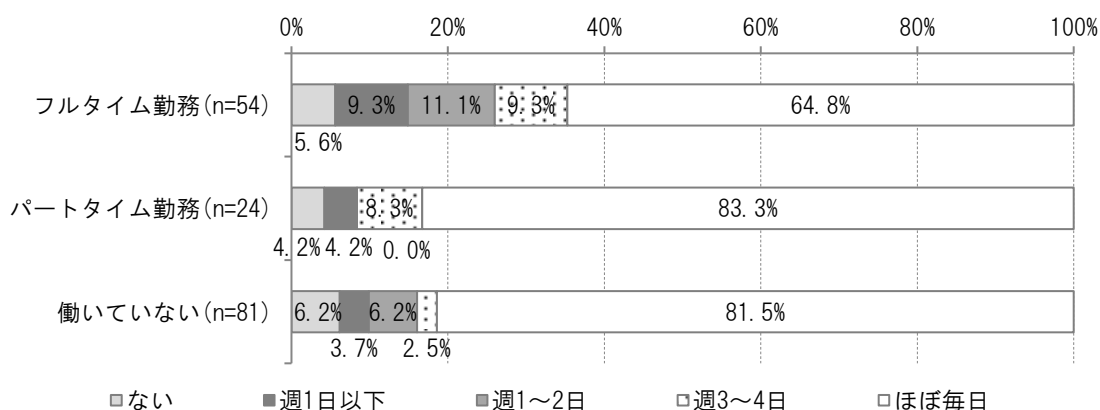
主な介護者の方の現在の勤務形態についてみると、「働いていない」が47.0%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が29.8%、「パートタイムで働いている」が20.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。



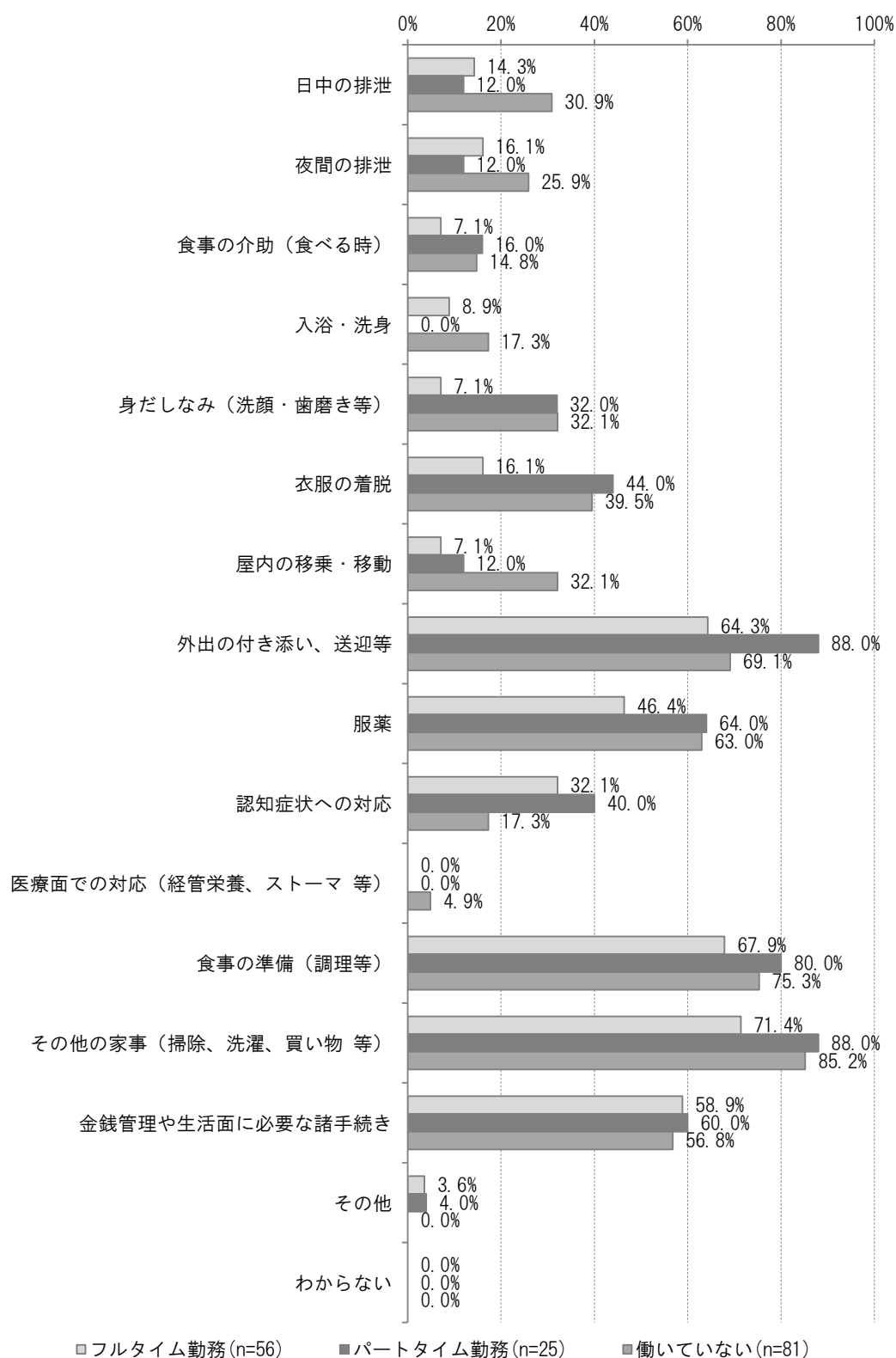
【勤務形態別・家族等による介護の頻度】

家族等による介護の頻度を勤務形態別にみると、いずれの勤務形態でも「ほぼ毎日」が最も多くなっていますが、[フルタイム勤務]では他に比べて「ほぼ毎日」が少なくなっており、20ポイント程度の差が生じています。



【勤務形態別・主な介護者が行っている介護】

主な介護者が行っている介護を勤務形態別にみると、「働いていない」に比べて「フルタイム勤務」で割合が低い項目が多くなっており、特に「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」では、「働いていない」と「フルタイム勤務」の間で 20 ポイント以上の差が生じています。また、「パートタイム勤務」では、「屋内の移乗・移動」において、「働いていない」と比べて 20 ポイント以上の差が生じています。一方、「認知症状への対応」の割合は、「フルタイム勤務」「パートタイム勤務」が「働いていない」を上回っています。

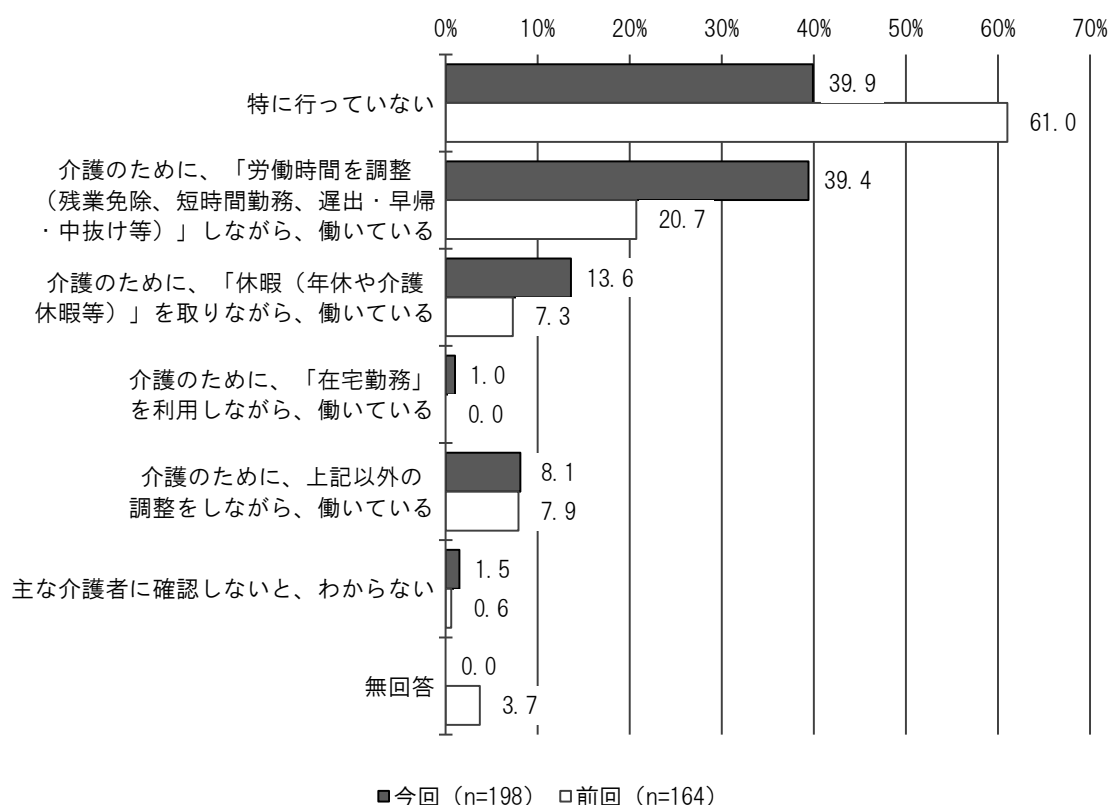


《問2～4は、問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」とお答えの方》

**問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていま
すか。 (複数回答)**

介護するにあたっての働き方の調整についてみると、「特に行っていない」が 39.9%と最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が 39.4%、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が 13.6%となっています。

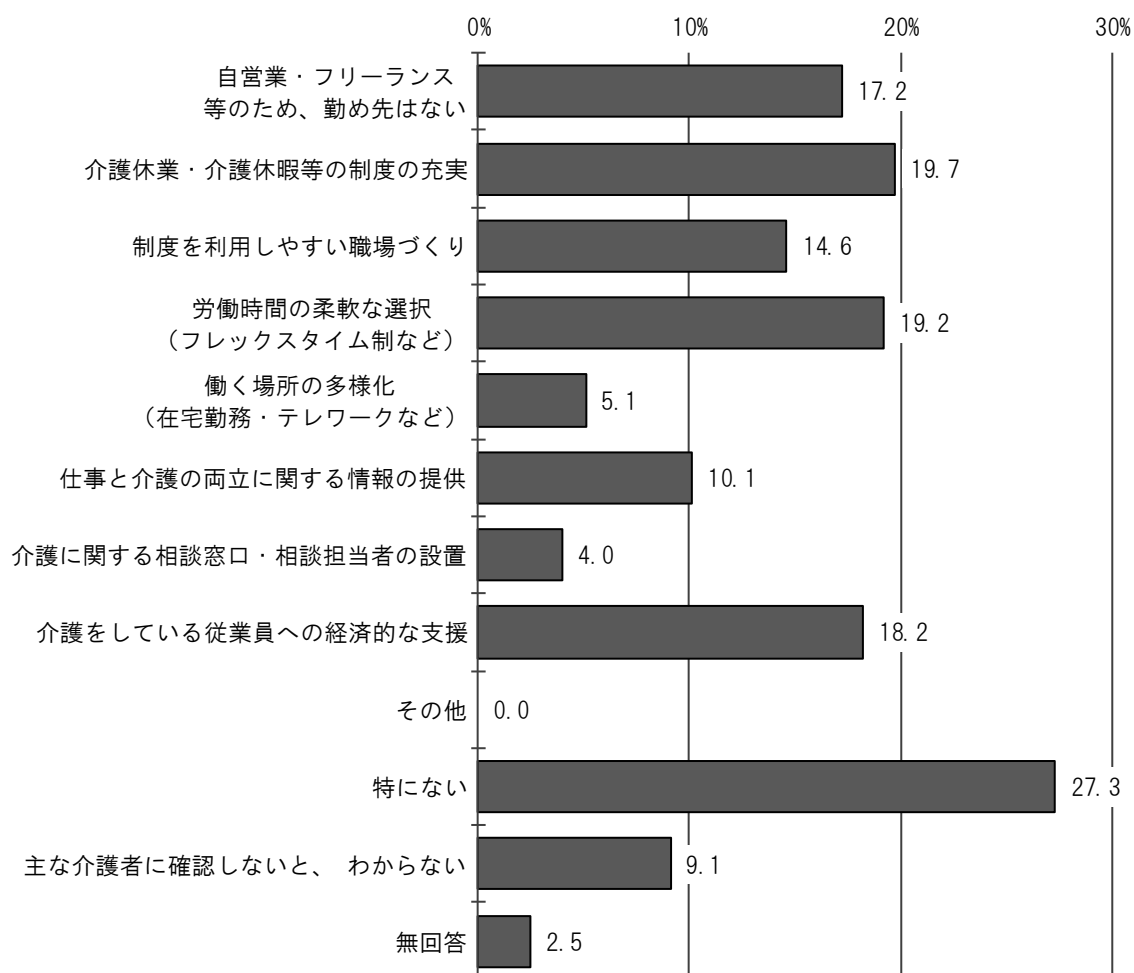
前回と比較すると、「特に行っていない」が 21.1 ポイント減少していますが、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が 18.7 ポイント増加しています。



問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか
(複数回答)

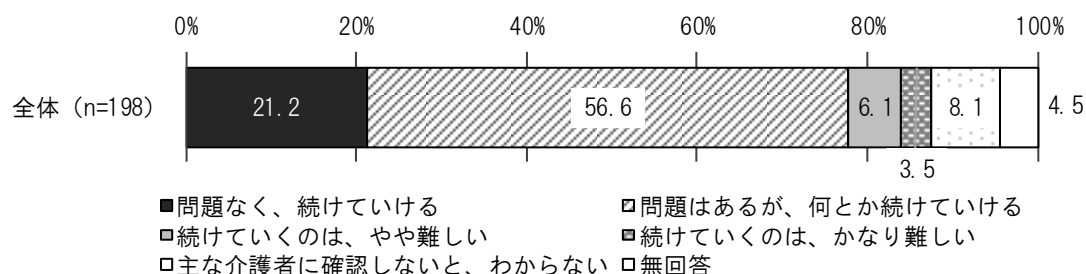
仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援についてみると、「特にない」が 27.3%と最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 19.7%、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が 19.2%となっています。

全体 (n=198)



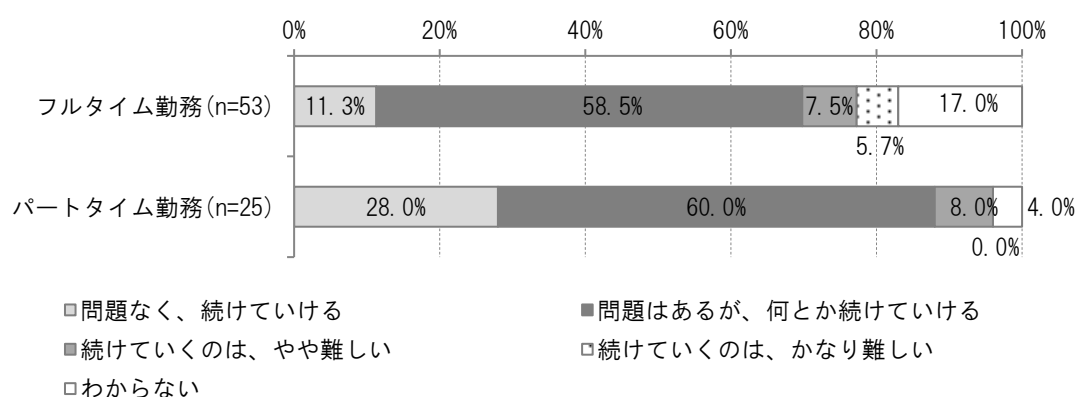
問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか （単数回答）

今後も働きながら介護を続けていけそうかについてみると、「問題はあるが、何とか続けていける」が 56.6%と最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が 21.2%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が 8.1%となっています。



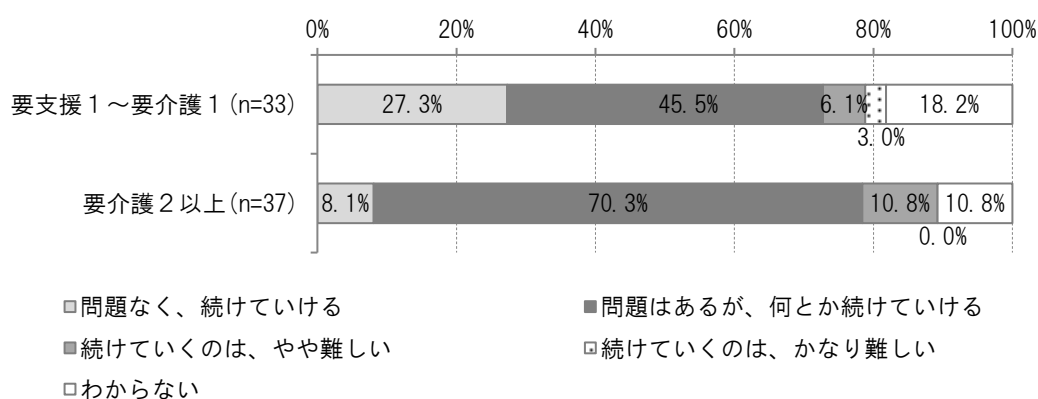
【勤務形態別】

勤務形態別にみると、いずれの勤務形態でも「問題はあるが、何とか続けていける」が最も多くなっていますが、〔フルタイム勤務〕では「問題なく、続けていける」が1割程度にとどまっています。



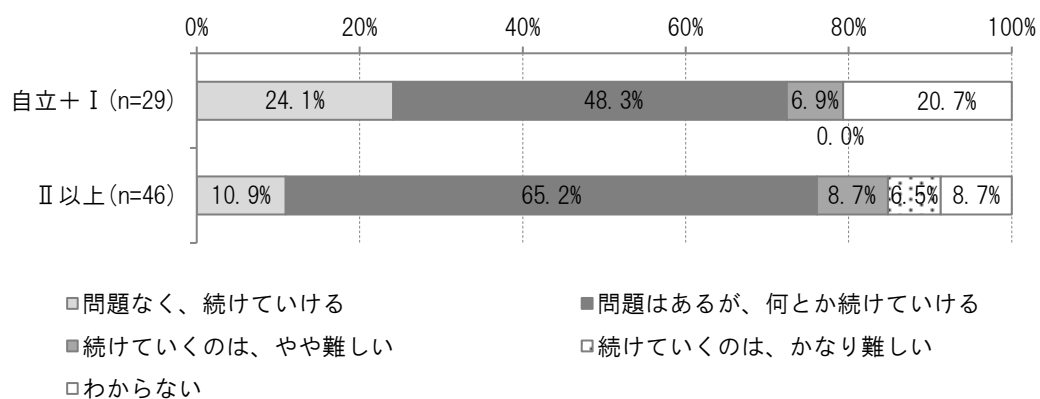
【要介護度別】

要介護度別にみると、〔要介護2以上〕では「問題なく、続けていける」が1割を下回っており、「問題はあるが、何とか続けていける」が7割を超えています。



【認知症自立度別】

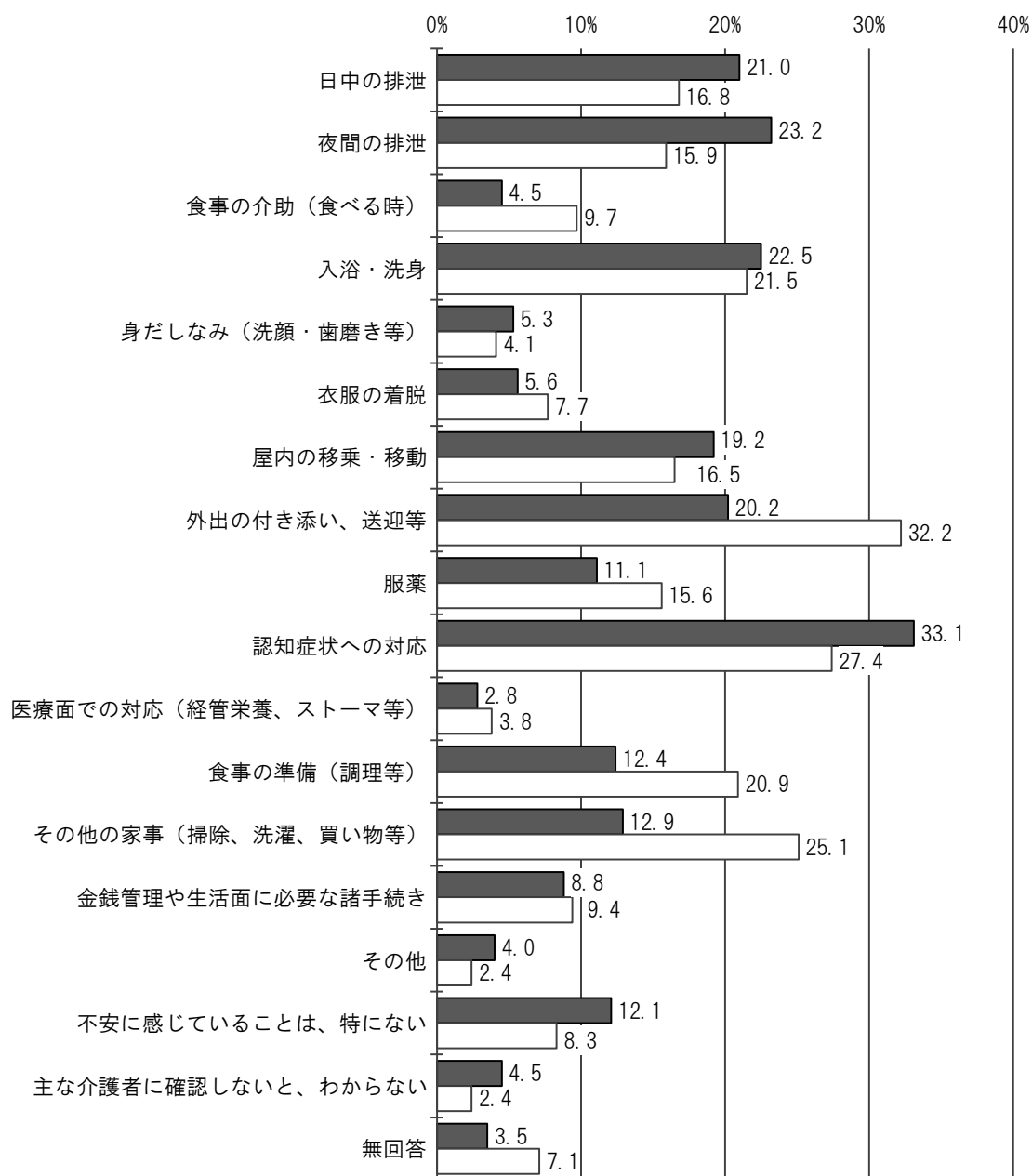
認知症自立度別にみると、〔Ⅱ以上〕では「問題なく、続けていける」が約1割にとどまっています。また、「続けていくのは、かなり難しい」が6.5%となっています。



問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（複数回答）

不安に感じる介護等についてみると、「認知症状への対応」が 33.1%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が 23.2%、「入浴・洗身」が 22.5%となっています。

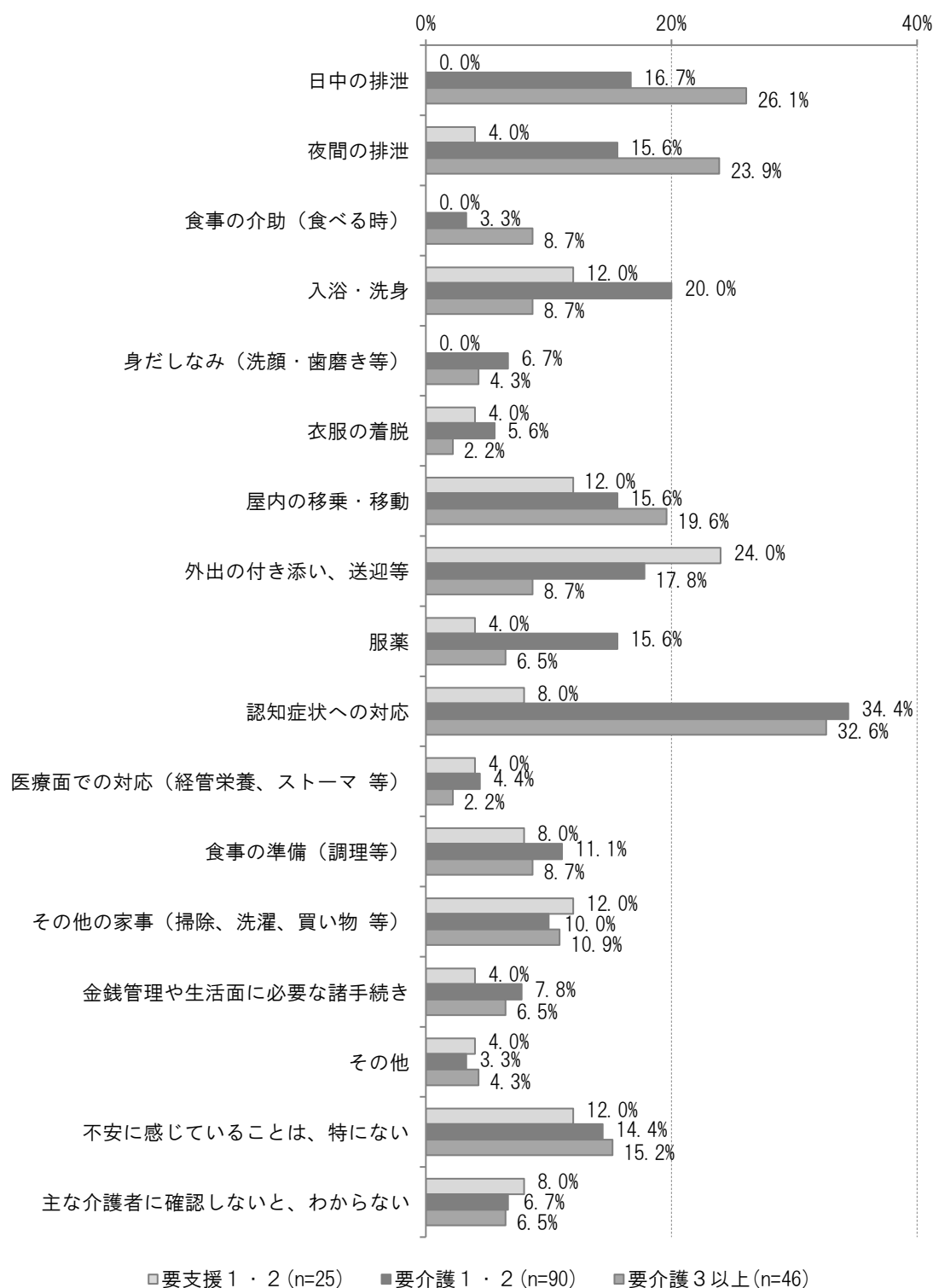
前回と比較すると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 12.2 ポイント、「外出の付き添い、送迎等」が 12.0 ポイント減少しています。



■今回 (n=396) □前回 (n=339)

【要介護度別】

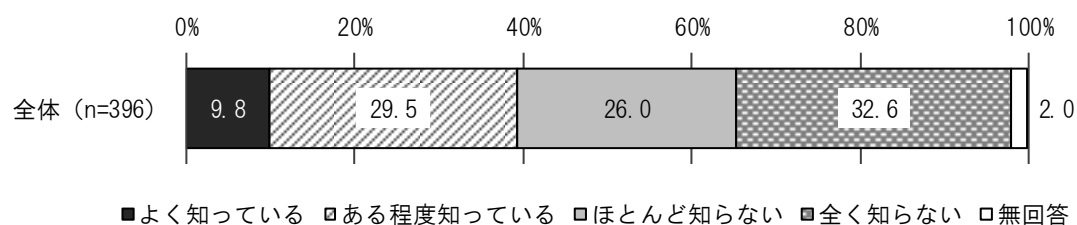
要介護度別にみると、「日中の排泄」「夜間の排泄」について、〔要支援1・2〕、〔要介護1・2〕、〔要介護3以上〕の順に割合が上がり、〔要支援1・2〕と〔要介護3以上〕との間では20ポイントから30ポイント程度の差が生じています。また、「認知症状への対応」については、〔要支援1・2〕で1割を下回っているのに対し、〔要介護1・2〕〔要介護3以上〕では3割を超えています。



問6 「地域包括ケアシステム」について、ご存知ですか

(単数回答)

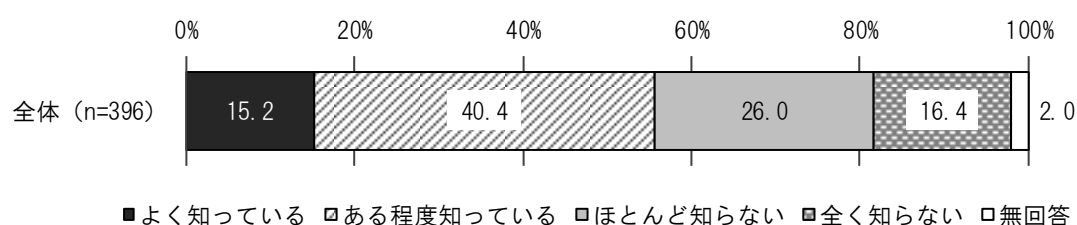
「地域包括ケアシステム」を知っているかについてみると、「全く知らない」が 32.6%と最も多く、次いで「ある程度知っている」が 29.5%、「ほとんど知らない」が 26.0%となっています。



問7 「地域包括支援センター」について、どのような支援を行ってくれるかご存知ですか

(単数回答)

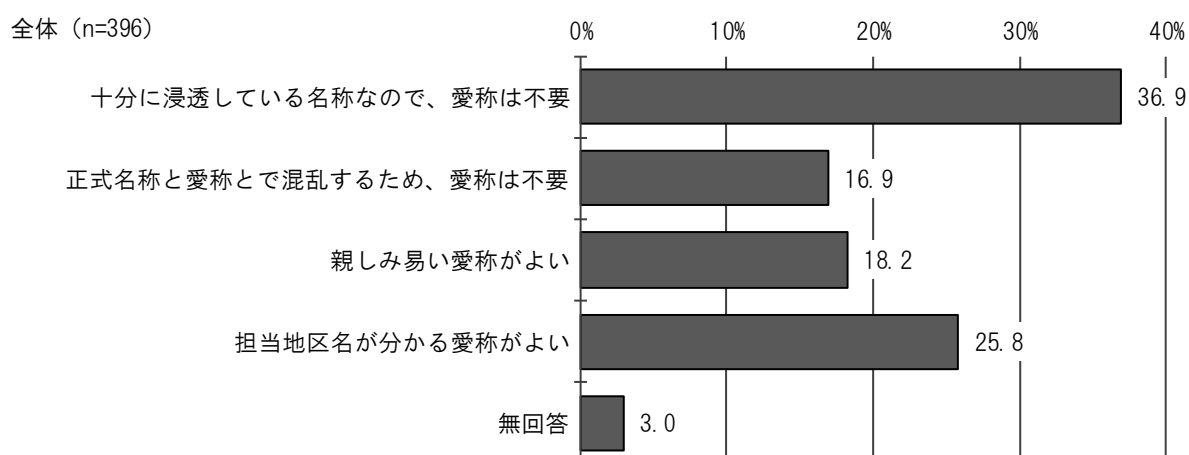
「地域包括支援センター」が、どのような支援を行ってくれるか知っているかについてみると、「ある程度知っている」が 40.4%と最も多く、次いで「ほとんど知らない」が 26.0%、「全く知らない」が 16.4%となっています。



問8 「地域包括支援センター」は、法律上の名称ですが、親しみ易い愛称を付けている自治体もあります。愛称を設けることについて、どう思いますか

(複数回答)

「地域包括支援センター」に愛称を設けることをどう思うかについてみると、「十分に浸透している名称なので、愛称は不要」が 36.9%と最も多く、次いで「担当地区名が分かる愛称がよい」が 25.8%、「親しみ易い愛称がよい」が 18.2%となっています。



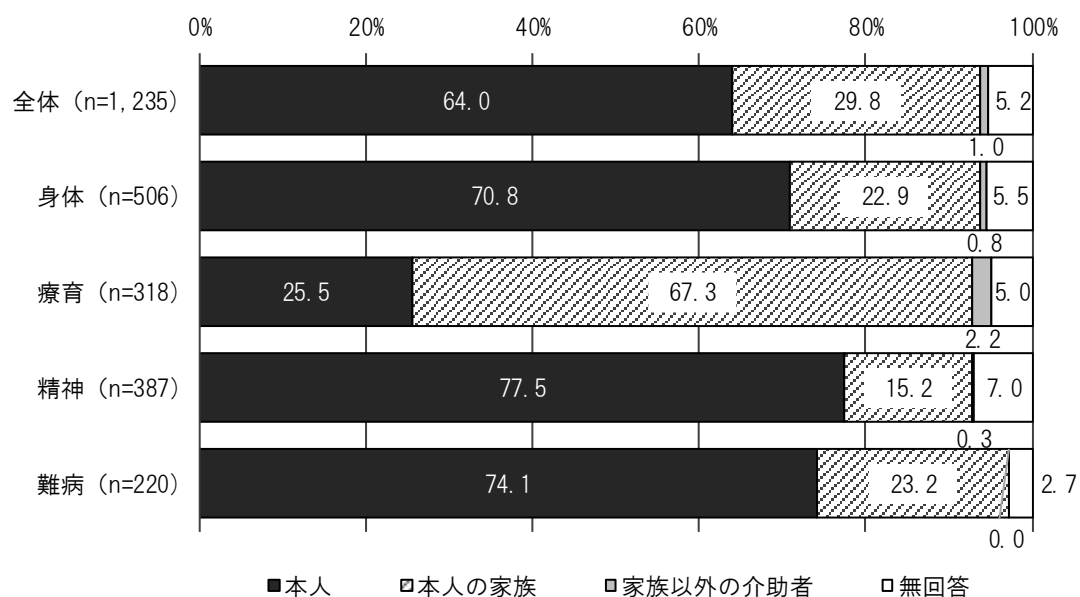
第6章 障害福祉に関するアンケート調査

問1 お答えいただくのは、どなたですか。

(単数回答)

お答えいただく方についてみると、全体では「本人」が 64.0%と最も多く、次いで「本人の家族」が 29.8%、「家族以外の介助者」が 1.0%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔精神〕〔難病〕では「本人」、〔療育〕では「本人の家族」がそれぞれ多くなっています。

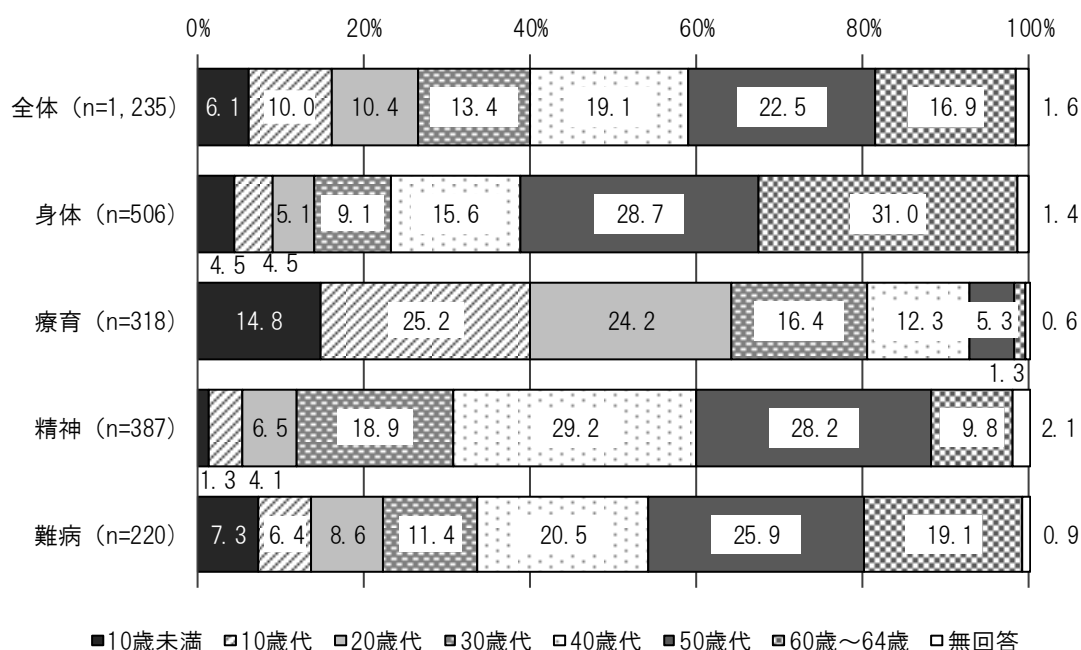


1 あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢をお答えください。（令和元年11月1日現在）（数量回答）

年齢についてみると、全体では「50歳代」が22.5%と最も多く、次いで「40歳代」が19.1%、「60～64歳」が16.9%となっています。

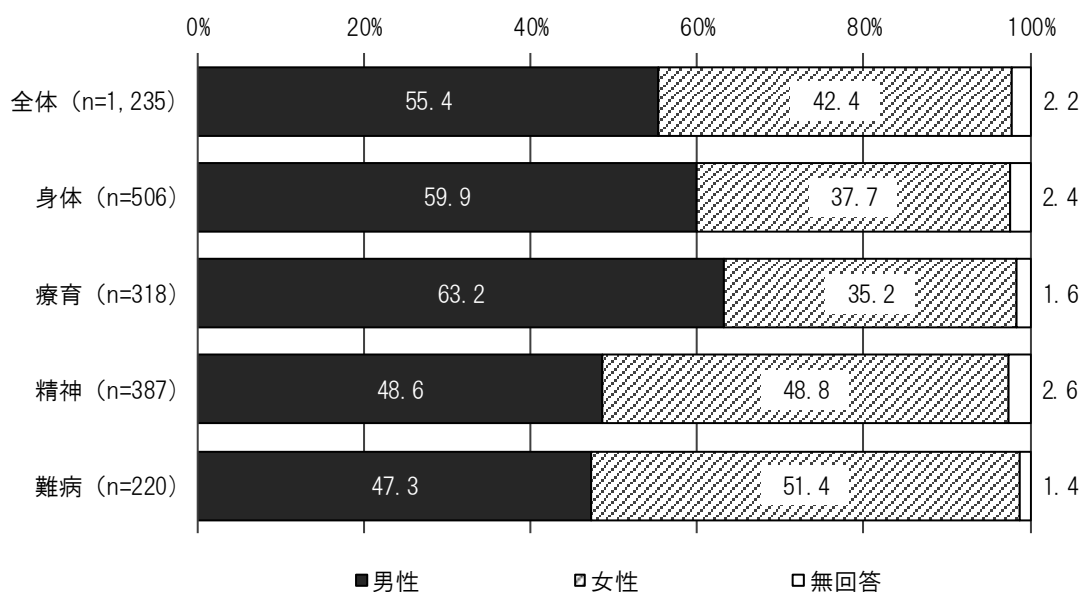
所持手帳別と難病の有無別にみると、〔身体〕では「60～64歳」、〔療育〕では「10歳代」、〔精神〕では「40歳代」、〔難病〕では「50歳代」がそれぞれ多くなっています。



問3 あなたの性別をお答えください。（単数回答）

性別についてみると、全体では「男性」が55.4%、「女性」が42.4%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔療育〕では「男性」、〔精神〕〔難病〕では「女性」がそれぞれ多くなっています。



問4 あなたがお住まいの地区はどこですか。

(単数回答)

お住まいの地区についてみると、全体では「成田地区」が 31.0%と最も多く、次いで「ニュータウン地区」が 21.0%、「公津地区」が 14.0%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「成田地区」が多くなっています。

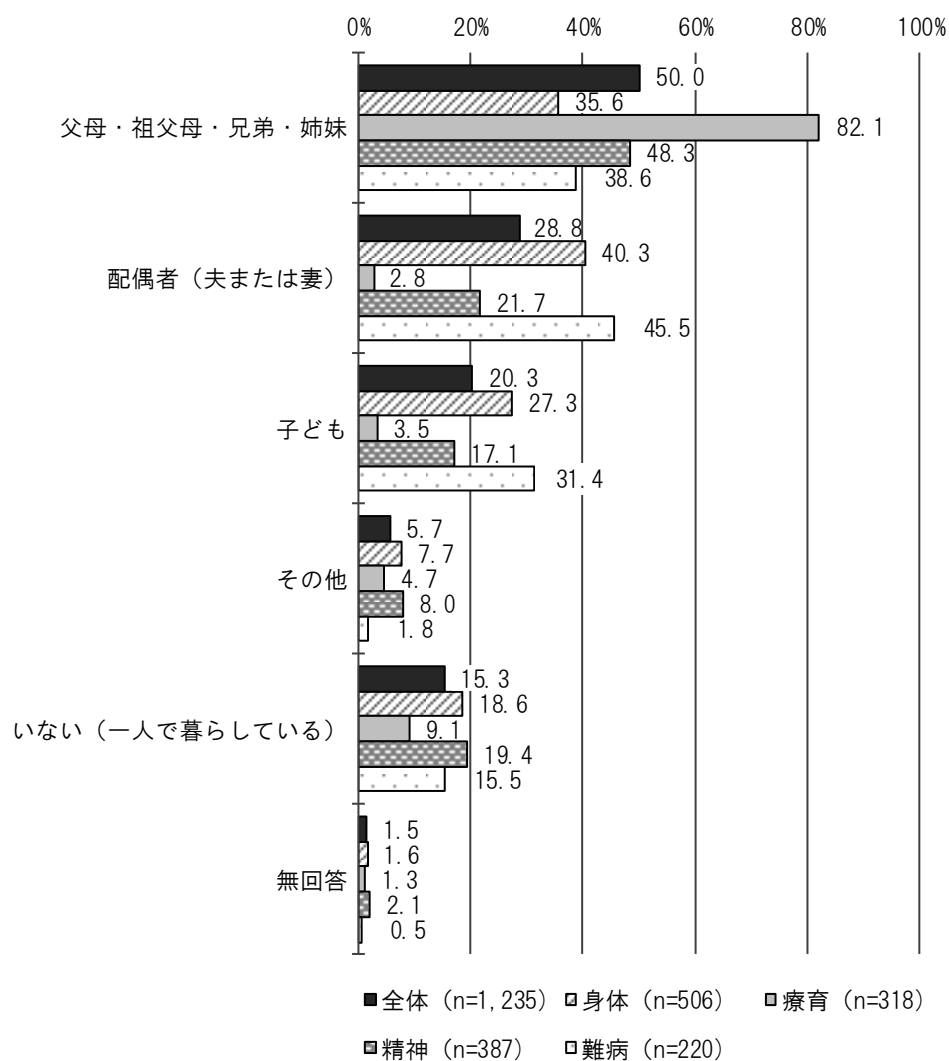
%	問4 あなたがお住まいの地区はどこですか。												
	n	成田地区	公津地区	八生地区	中郷地区	久住地区	豊住地区	遠山地区	ニュータウン地区	下総地区	大栄地区	市外	無回答
全体	1,235	31.0	14.0	2.3	1.4	2.6	1.4	9.6	21.0	5.9	7.9	0.4	2.5
身体	506	29.2	12.8	3.2	1.8	3.4	2.0	8.9	19.4	7.3	9.5	0.4	2.2
療育	318	28.6	16.0	2.5	2.2	1.6	1.3	9.7	22.6	6.6	6.9	0.3	1.6
精神	387	34.6	13.2	1.0	1.3	2.1	0.8	9.3	22.2	4.1	8.0	0.0	3.4
難病	220	30.9	19.1	0.5	0.0	2.3	1.4	10.0	20.5	5.9	5.9	1.4	2.3

問5 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。

(複数回答)

一緒に暮らしている人についてみると、全体では「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が50.0%と最も多く、次いで「配偶者(夫または妻)」が28.8%、「子ども」が20.3%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、[身体][難病]では「配偶者(夫または妻)」、[療育][精神]では「父母・祖父母・兄弟・姉妹」がそれぞれ多くなっています。



問6 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。

(単数回答)

①全体

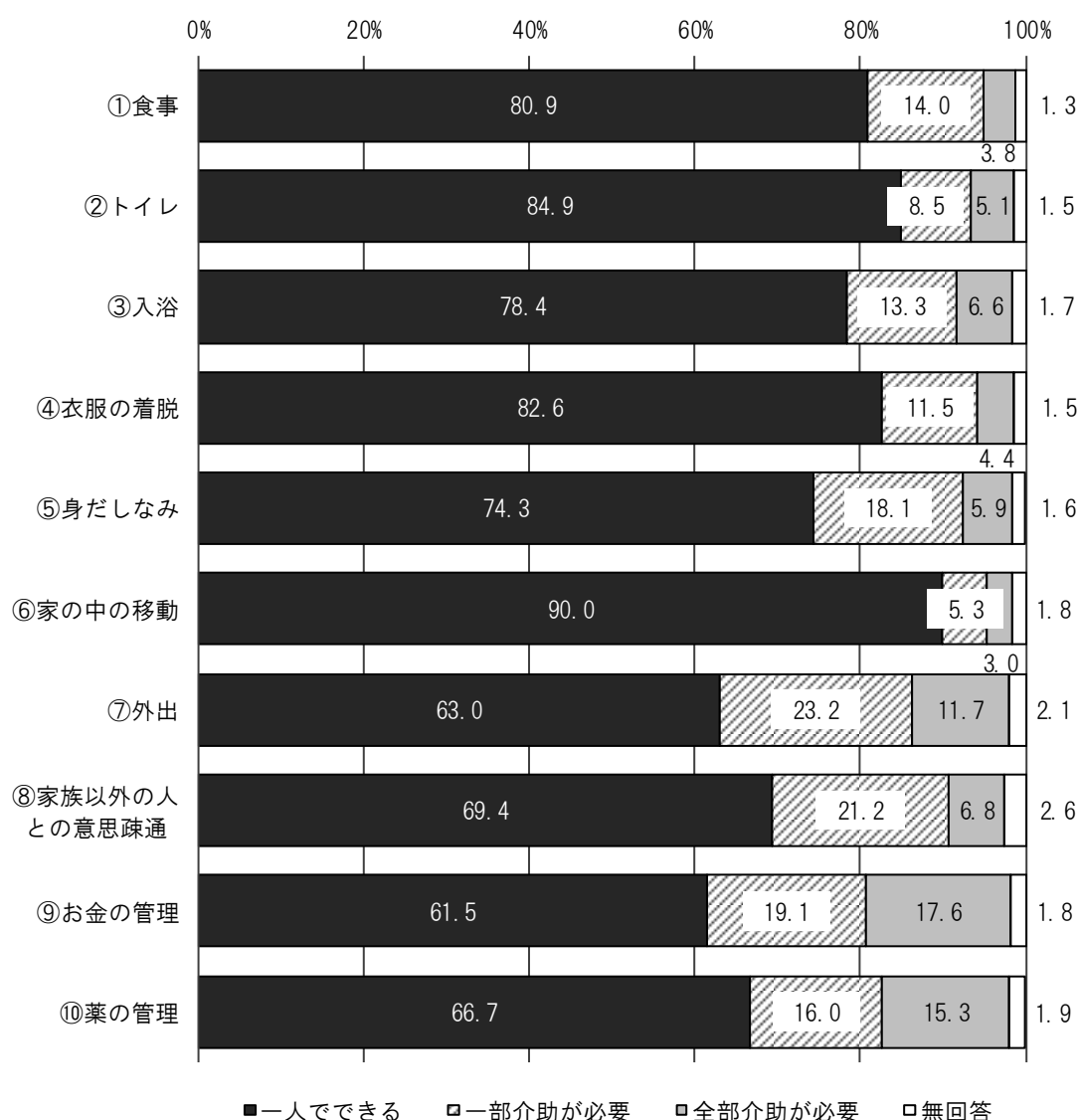
日常生活で行うことについてみると、いずれの項目も「一人できる」が最も多くなっています。

「一部介助が必要」についてみると、〔⑦外出〕〔⑧家族以外の人との意思疎通〕が2割台と他と比べて多くなっています。

「全部介助が必要」についてみると、〔⑦外出〕〔⑨お金の管理〕〔⑩薬の管理〕が1割台と他と比べて多くなっています。

回答者のうち、①～⑩すべての項目において「一人できる」と回答した方は 614 名、どれか一つ以上の項目で「一部介助が必要」もしくは「全部介助が必要」と回答した方は 609 名、無回答の方は 12 名となっています。

全体 (n=1,235)

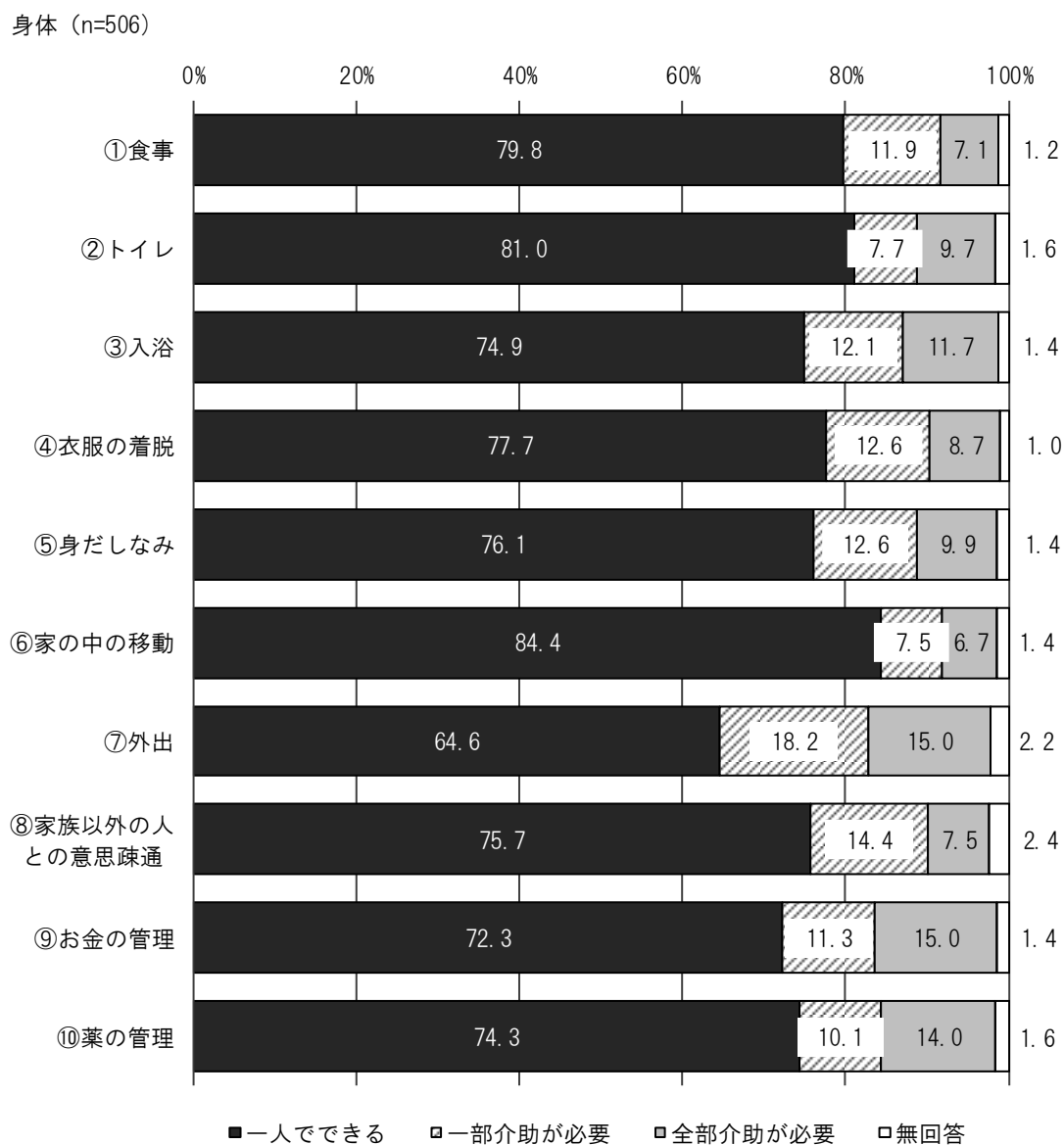


②身体障害者手帳所持者

日常生活で行うことについてみると、いずれの項目も「一人で行える」が最も多くなっていますが、〔⑦外出〕は64.6%と他と比べて少なくなっています。

「一部介助が必要」についてみると、〔⑦外出〕では18.2%と他と比べて多くなっています。

「全部介助が必要」についてみると、〔③入浴〕〔⑦外出〕〔⑨お金の管理〕〔⑩薬の管理〕が1割台と他と比べて多くなっています。



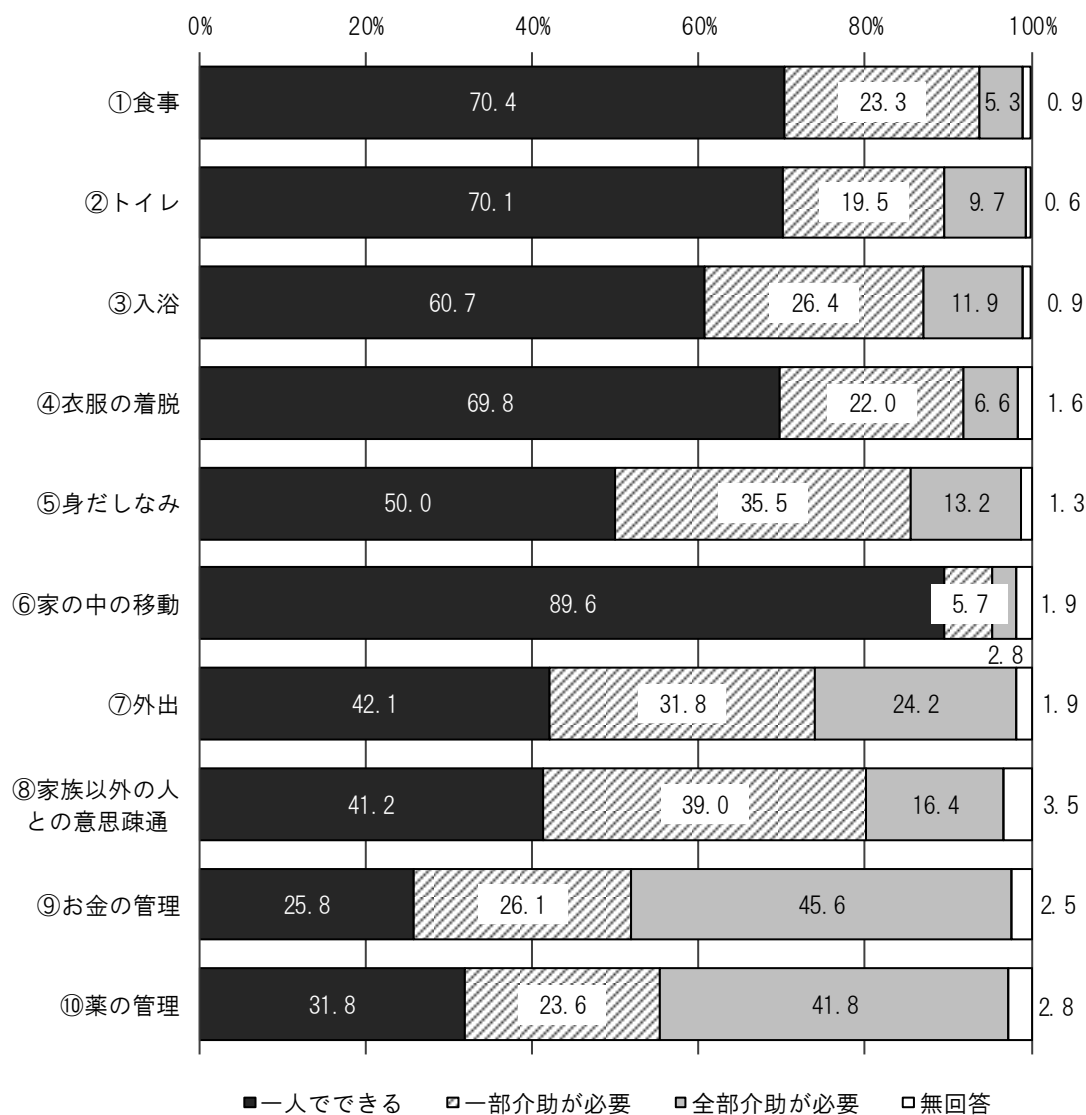
③療育手帳所持者

日常生活で行うことについてみると、〔①食事〕〔②トイレ〕〔③入浴〕〔④衣服の着脱〕〔⑤身だしなみ〕〔⑥家の中の移動〕〔⑦外出〕〔⑧家族以外の人との意思疎通〕では「一人できる」、〔⑨お金の管理〕〔⑩薬の管理〕では「全部介助が必要」が最も多くなっています。

「一部介助が必要」についてみると、〔⑤身だしなみ〕〔⑦外出〕〔⑧家族以外の人との意思疎通〕では3割台と他と比べて多くなっています。

「全部介助が必要」についてみると、〔⑨お金の管理〕〔⑩薬の管理〕が4割台と他と比べて多くなっています。

療育（n=318）

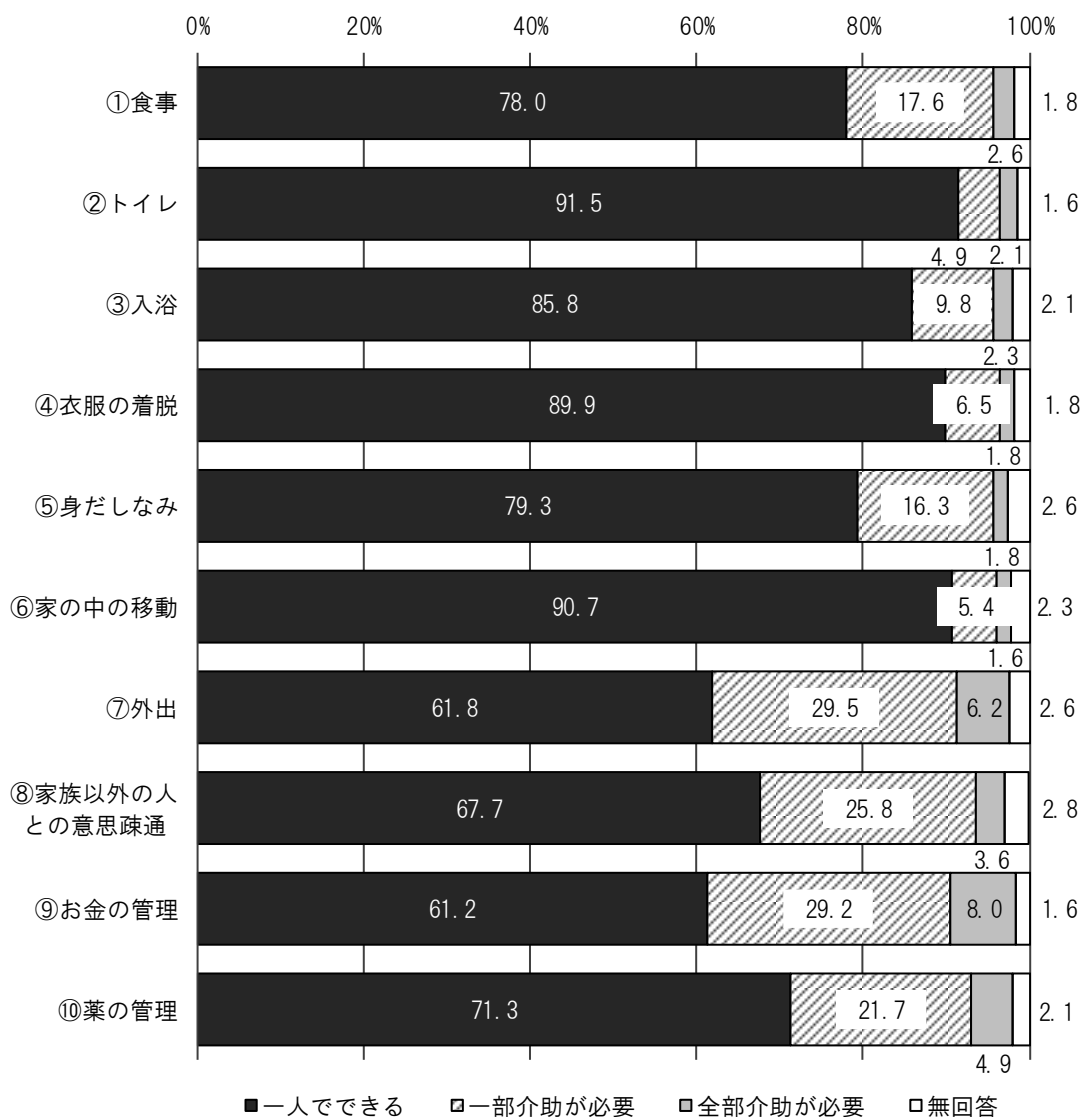


④精神障害者保健福祉手帳所持者

日常生活で行うことについてみると、いずれの項目も「一人できる」が最も多くなっています。

「一部介助が必要」についてみると、〔⑦外出〕〔⑧家族以外の人との意思疎通〕〔⑨お金の管理〕〔⑩薬の管理〕では2割台と他と比べて多くなっています。

精神（n=387）

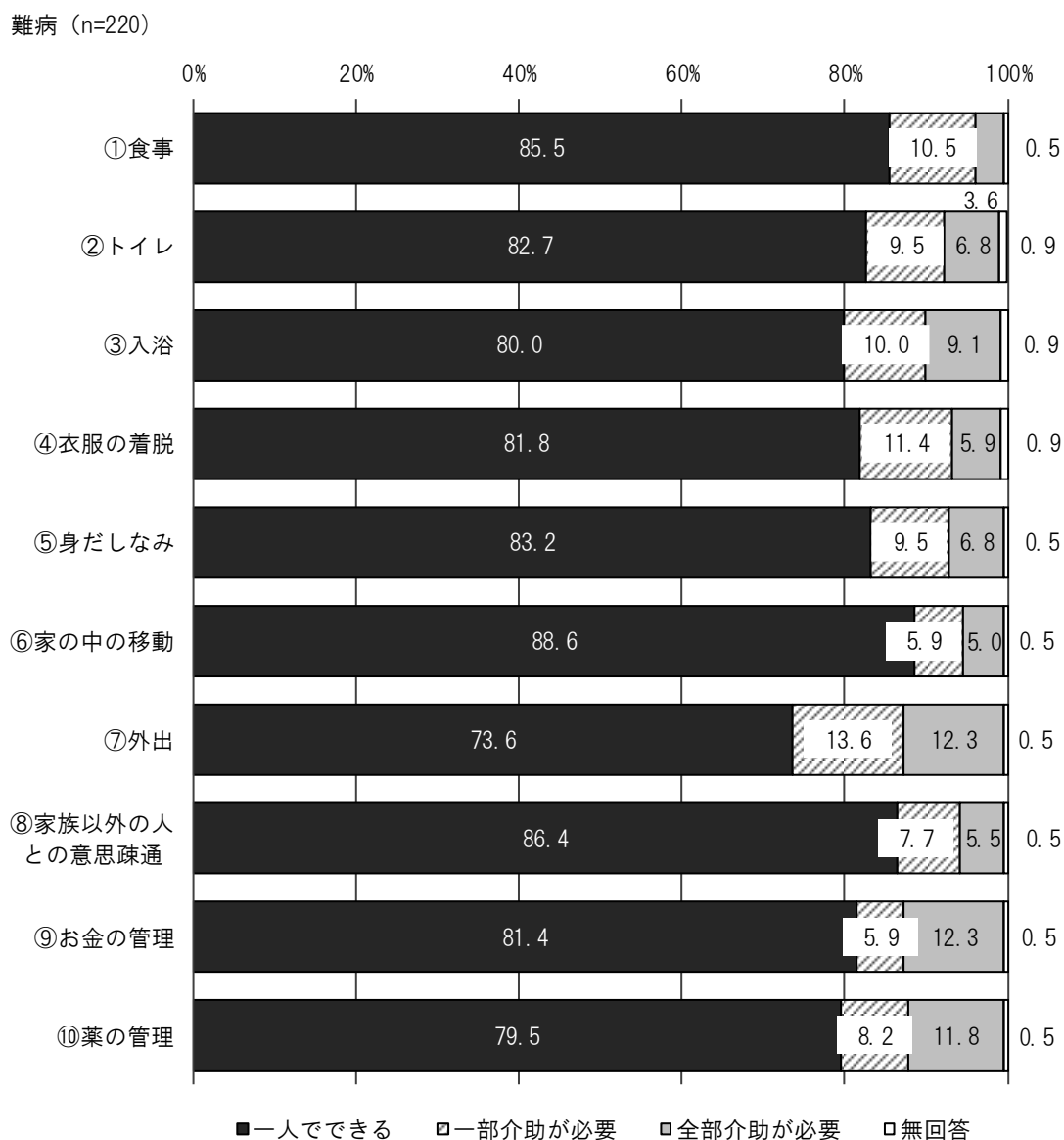


⑤難病（特定疾患）認定者

日常生活で行うことについてみると、いずれの項目も「一人で行える」が最も多くなっていますが、〔⑦外出〕は73.6%と他と比べて少なくなっています。

「一部介助が必要」についてみると、大きな差はみられません。

「全部介助が必要」についてみると、〔⑦外出〕〔⑨お金の管理〕〔⑩薬の管理〕では1割台と他と比べて多くなっています。



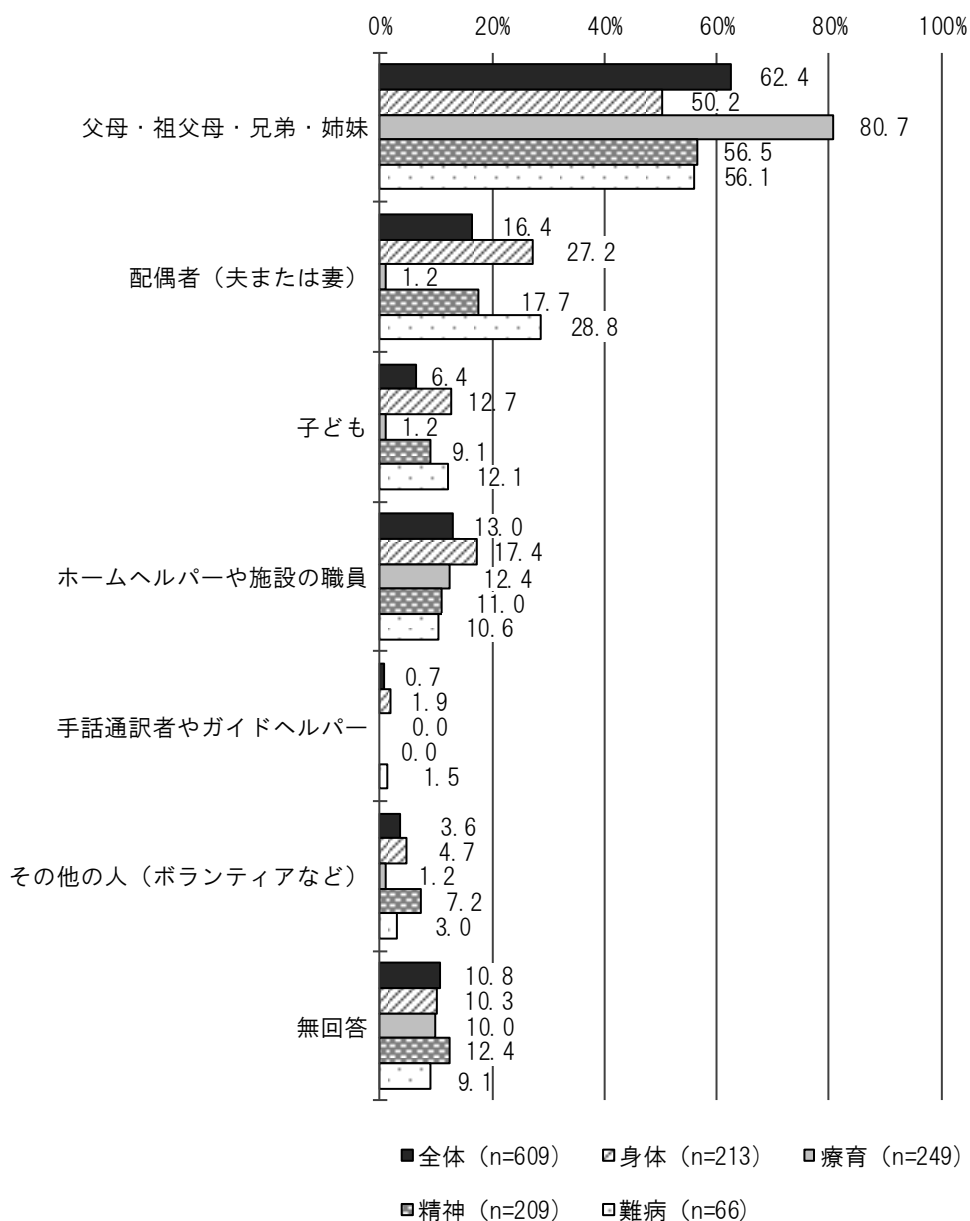
《問6で、一つでも「一部介助が必要」「全部介助が必要」とお答えの方》

問7 あなたを介助している方は誰ですか。

(複数回答)

あなたを介助している方についてみると、全体では「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が 62.4%と最も多く、次いで「配偶者(夫または妻)」が 16.4%、「ホームヘルパーや施設の職員」が 13.0%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が多くなっています。



《問7で「父母・祖父母・兄弟・姉妹」「配偶者(夫または妻)」「子ども」とお答えの方》

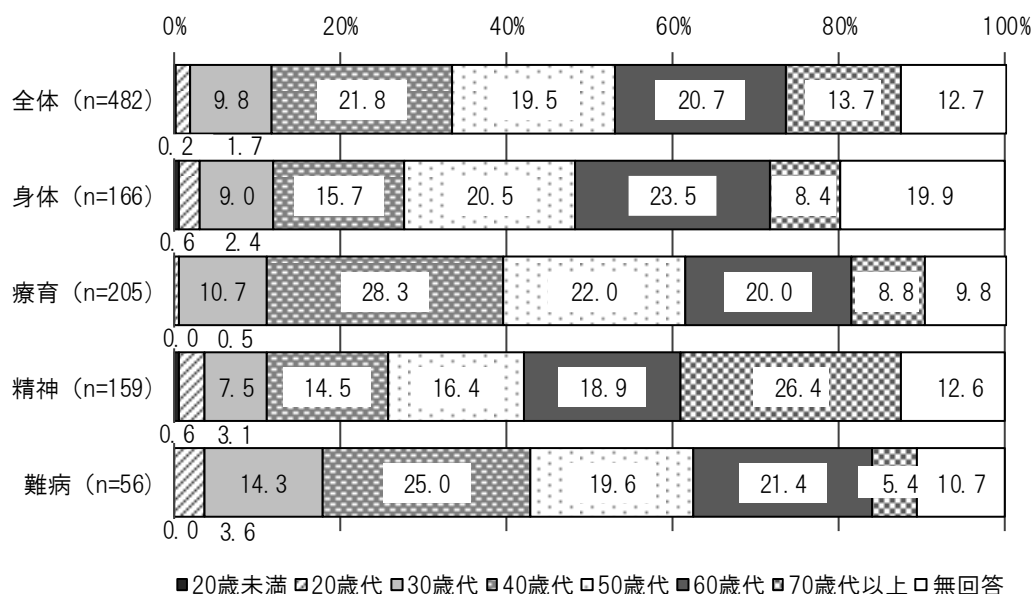
問8 あなたを介助している方で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

①年齢（令和元年11月1日現在）

（数量回答）

介助している方で、特に中心となっている方の年齢についてみると、全体では「40歳代」が21.8%と最も多く、次いで「60歳代」が20.7%、「50歳代」が19.5%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕では「60歳代」、〔療育〕〔難病〕では「40歳代」、〔精神〕では「70歳代以上」がそれぞれ多くなっています。

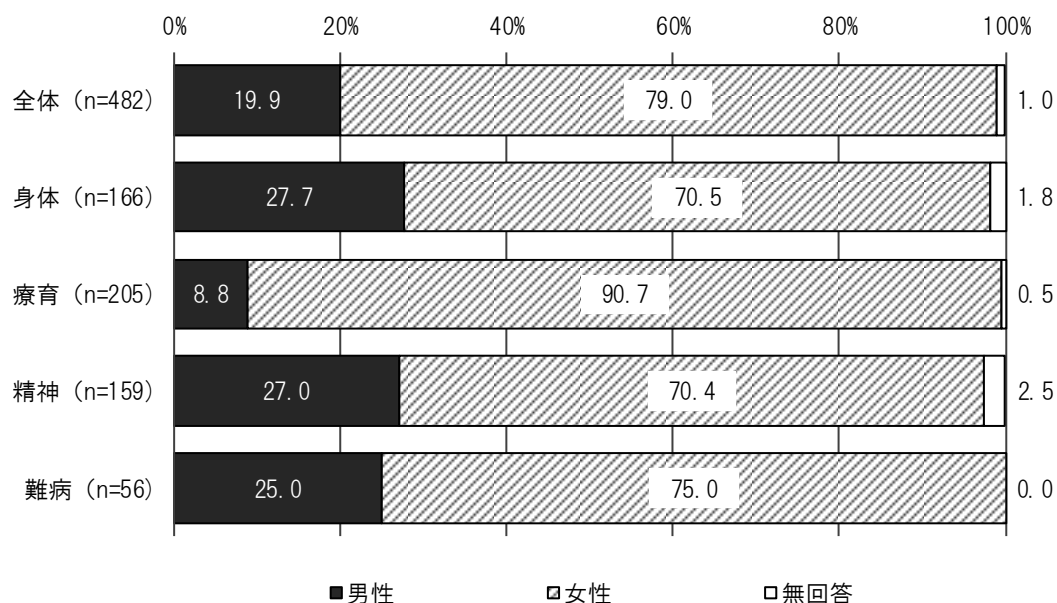


②性別

（単数回答）

介助している方で、特に中心となっている方の性別についてみると、全体では「女性」が79.0%、「男性」が19.9%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「女性」が多くなっています。

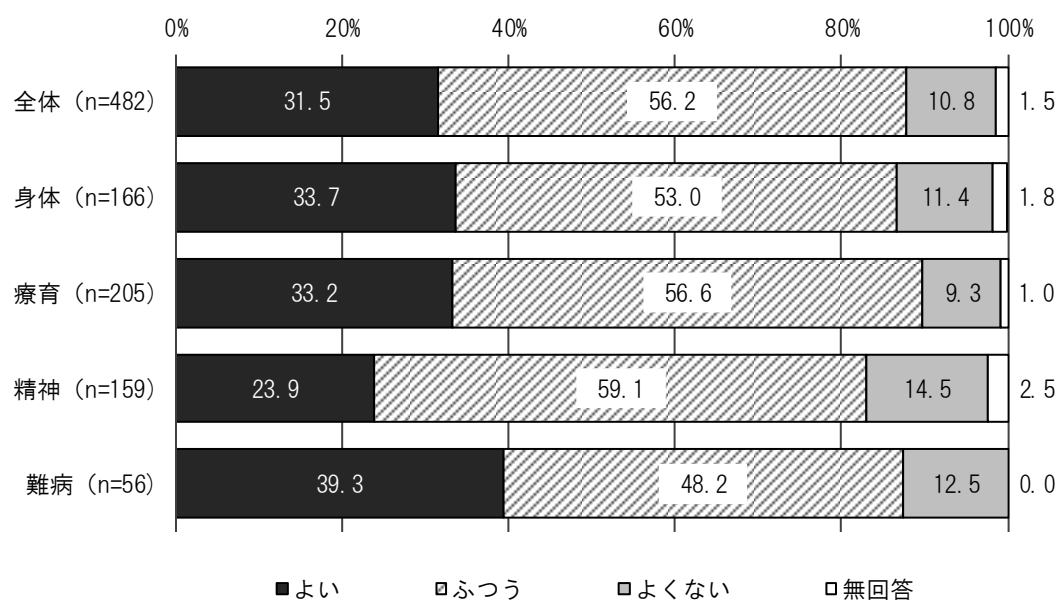


③健康状態

(単数回答)

介助している方で、特に中心となっている方の健康状態についてみると、全体では「ふつう」が 56.2%と最も多く、次いで「よい」が 31.5%、「よくない」が 10.8%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「ふつう」が多くなっています。



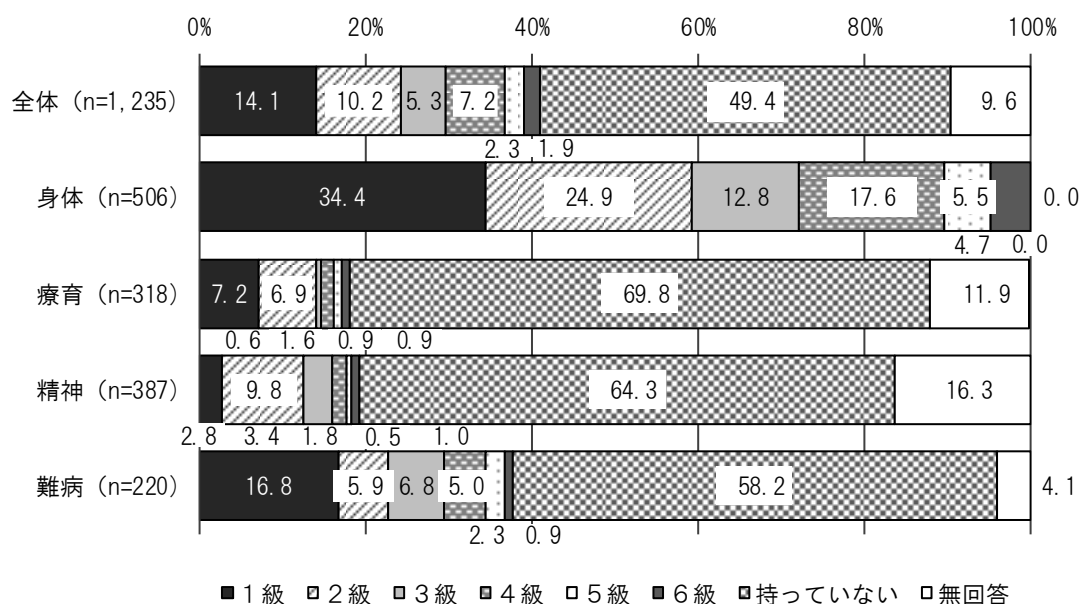
2 障がいの状況について

問9 あなたは「身体障害者手帳」をお持ちですか。

(単数回答)

「身体障害者手帳」をお持ちかどうかについてみると、全体では「持っていない」が49.4%と最も多く、次いで「1級」が14.1%、「2級」が10.2%となっています。

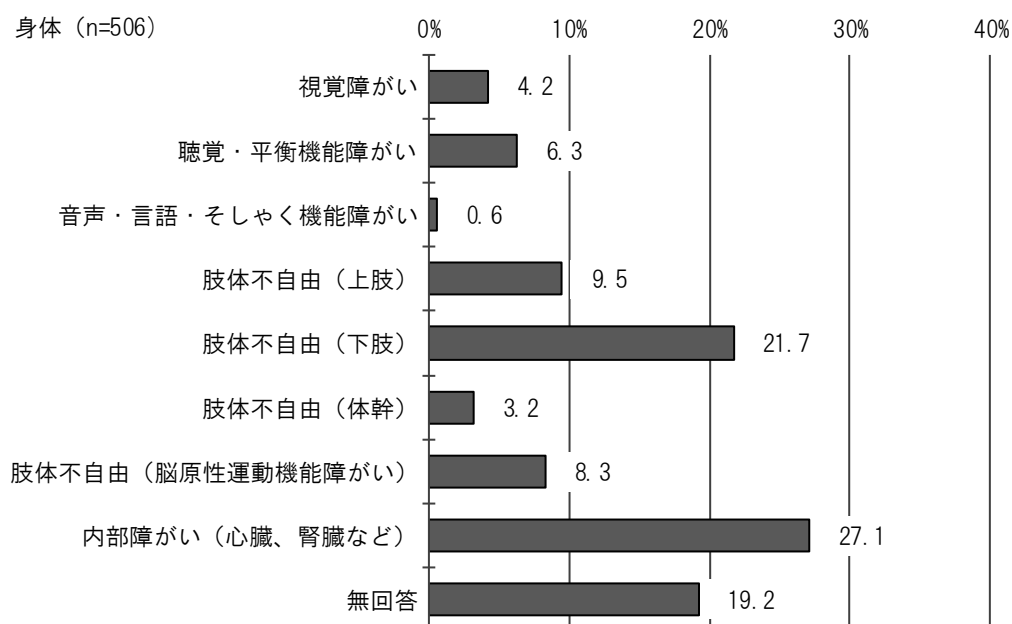
所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕では「1級」、〔療育〕〔精神〕〔難病〕では「持っていない」がそれぞれ多くなっています。



《問9で「1級」「2級」「3級」「4級」「5級」「6級」とお答えの方》

問10 「身体障害者手帳」をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。(単数回答)

「身体障害者手帳」をお持ちの場合の主たる障がいについてみると、「内部障がい(心臓、腎臓など)」が27.1%と最も多く、次いで「肢体不自由(下肢)」が21.7%、「肢体不自由(上肢)」が9.5%となっています。

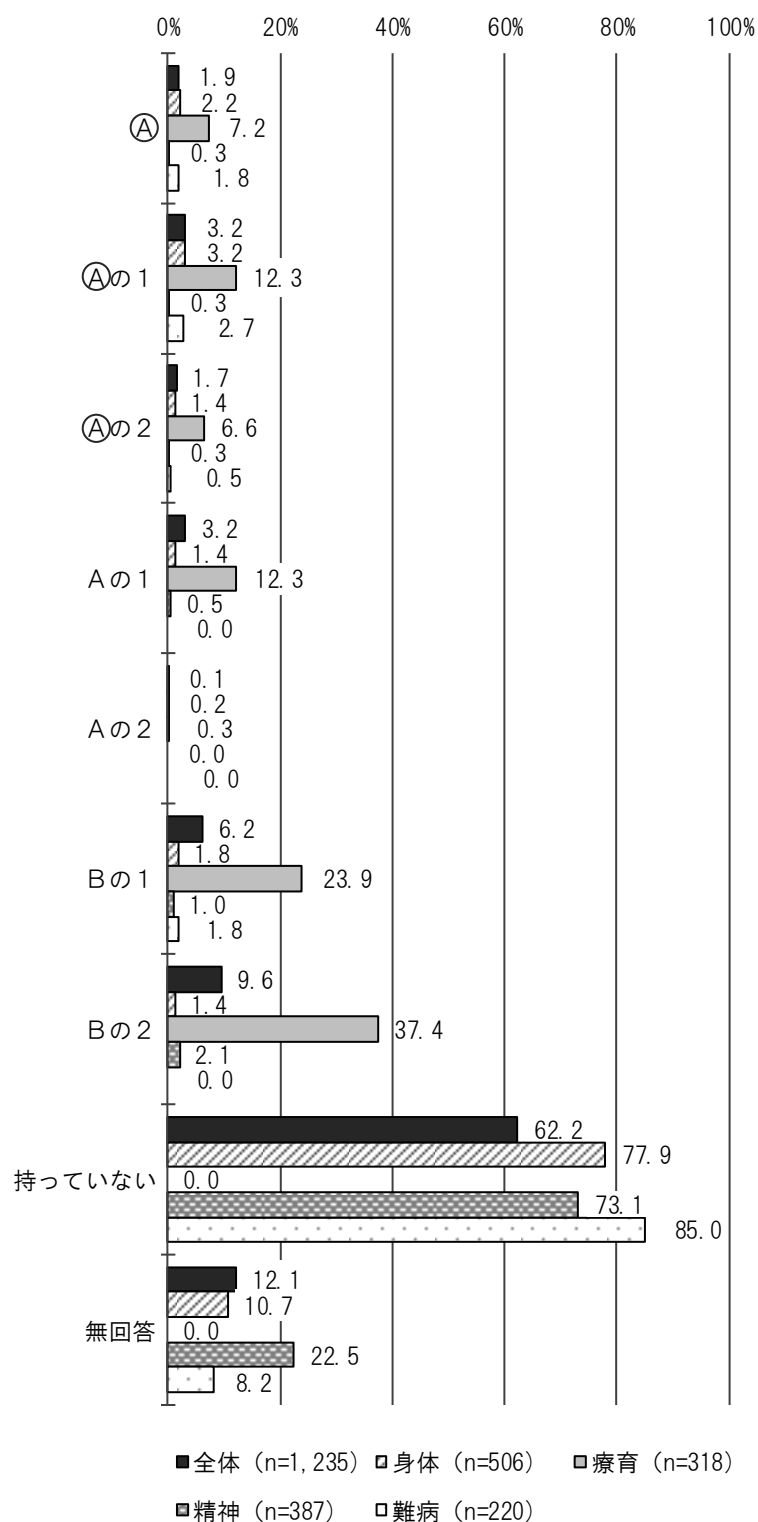


問 11 あなたは「療育手帳」をお持ちですか。

(単数回答)

「療育手帳」をお持ちかどうかについてみると、全体では「持っていない」が 62.2%と最も多く、次いで「Bの2」が 9.6%、「Bの1」が 6.2%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔精神〕〔難病〕では「持っていない」、〔療育〕では「Bの2」がそれぞれ多くなっています。

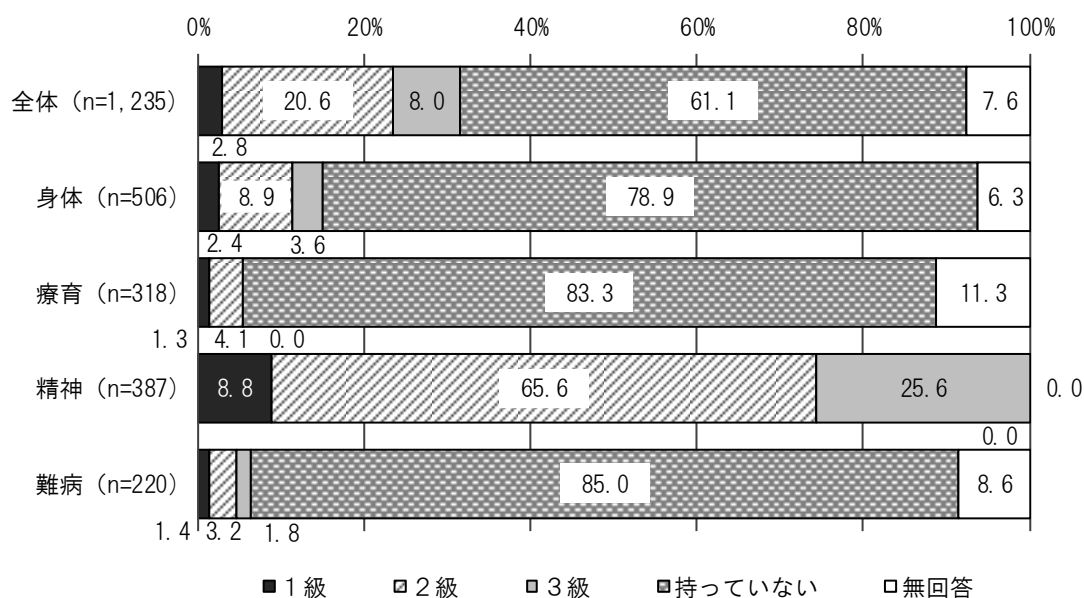


問 12 あなたは「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちですか。

(単数回答)

「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちかどうかについてみると、全体では「持っていない」が 61.1%と最も多く、次いで「2級」が 20.6%、「3級」が 8.0%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔療育〕〔難病〕では「持っていない」、〔精神〕では「2級」がそれぞれ多くなっています。

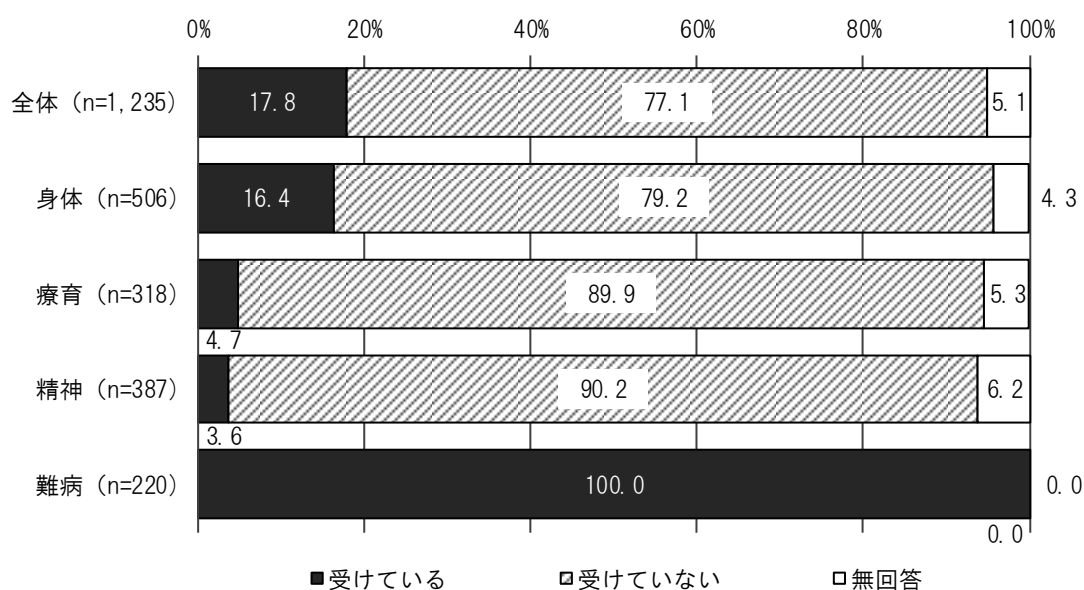


問 13 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。

(単数回答)

難病(特定疾患)の認定についてみると、全体では「受けていない」が 77.1%、「受けている」が 17.8%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔療育〕〔精神〕では「受けていない」が多くなっています。

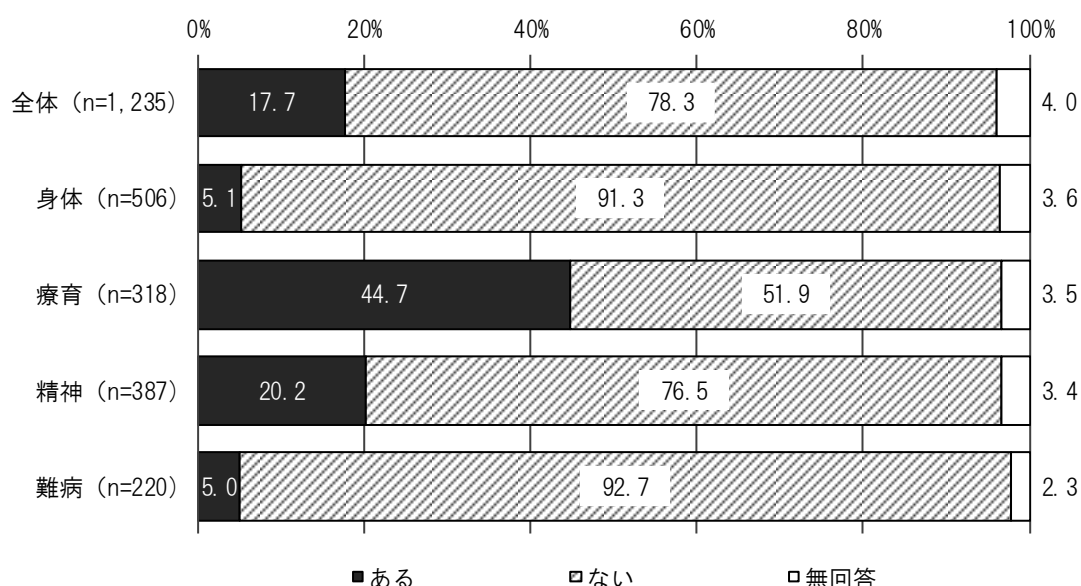


問 14 あなたは発達障がいとして診断されたことがありますか。

(単数回答)

発達障がいとして診断された経験についてみると、全体では「ない」が 78.3%、「ある」が 17.7%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「ない」が多くなっていますが、〔療育〕では「ある」が他と比べて多くなっています。

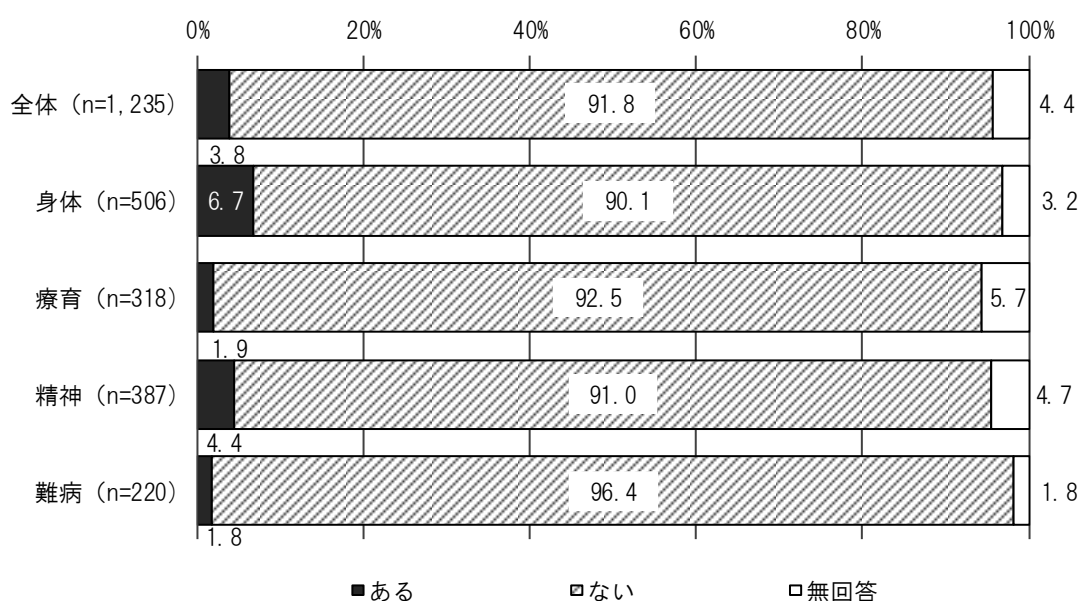


問 15 あなたは高次脳機能障がいとして診断されたことがありますか。

(単数回答)

高次脳機能障がいとして診断された経験についてみると、全体では「ない」が 91.8%、「ある」が 3.8%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「ない」が多くなっています。



問 16 あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。

(複数回答)

現在受けている医療的ケアについてみると、全体では「受けていない」が 51.9%と最も多く、次いで「服薬管理」が 30.7%、「その他」が 7.5%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「受けていない」が多くなっています。

%	問16 あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。														
	n	気管切開	人工呼吸器 (レスピレーター)	吸入	吸引	胃ろう・腸ろう	鼻腔経管栄養	中心静脈栄養 (IVH)	透析	カテーテル留置	ストーマ (人工肛門・人工膀胱)	服薬管理	その他	受けていない	無回答
全体	1,235	0.8	0.9	0.8	1.0	0.7	0.3	0.0	3.2	1.0	1.9	30.7	7.5	51.9	6.2
身体	506	1.8	2.2	1.4	1.8	1.8	0.6	0.0	7.7	2.0	4.3	29.6	10.5	43.7	5.9
療育	318	0.6	0.3	0.9	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3	0.6	19.8	3.8	69.5	5.7
精神	387	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	40.6	6.7	46.8	7.5
難病	220	1.8	1.8	0.5	1.8	1.4	0.5	0.0	3.6	0.5	2.3	36.8	11.4	45.9	3.6

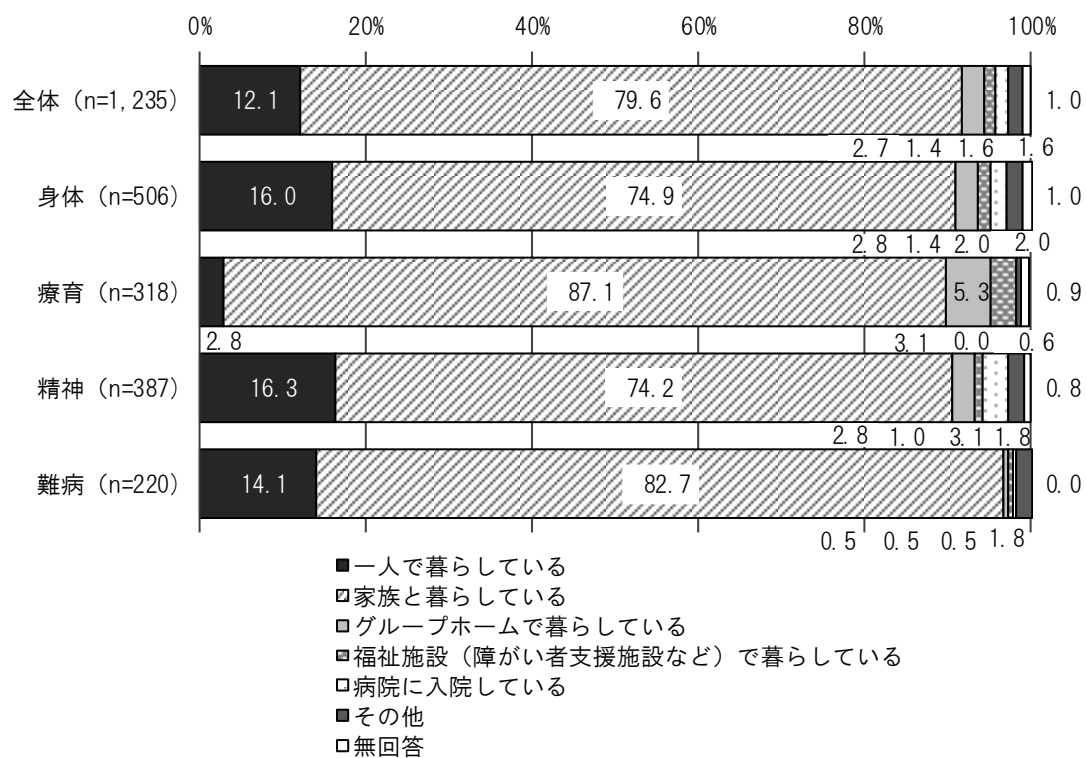
3 住まいや暮らしについて

問 17 あなたは現在どのように暮らしていますか。

(単数回答)

現在どのように暮らしているかについてみると、全体では「家族と暮らしている」が 79.6%と最も多く、次いで「一人で暮らしている」が 12.1%、「グループホームで暮らしている」が 2.7%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「家族と暮らしている」が多くなっていますが、〔療育〕では「一人で暮らしている」が他と比べて少なくなっています。



【経年比較】

前回と比較すると、〔療育〕において「家族と暮らしている」が 10.6 ポイント増加していますが、「福祉施設（障がい者支援施設など）で暮らしている」が 7.1 ポイント減少しています。また、〔精神〕において「家族と暮らしている」が 6.7 ポイント増加しています。

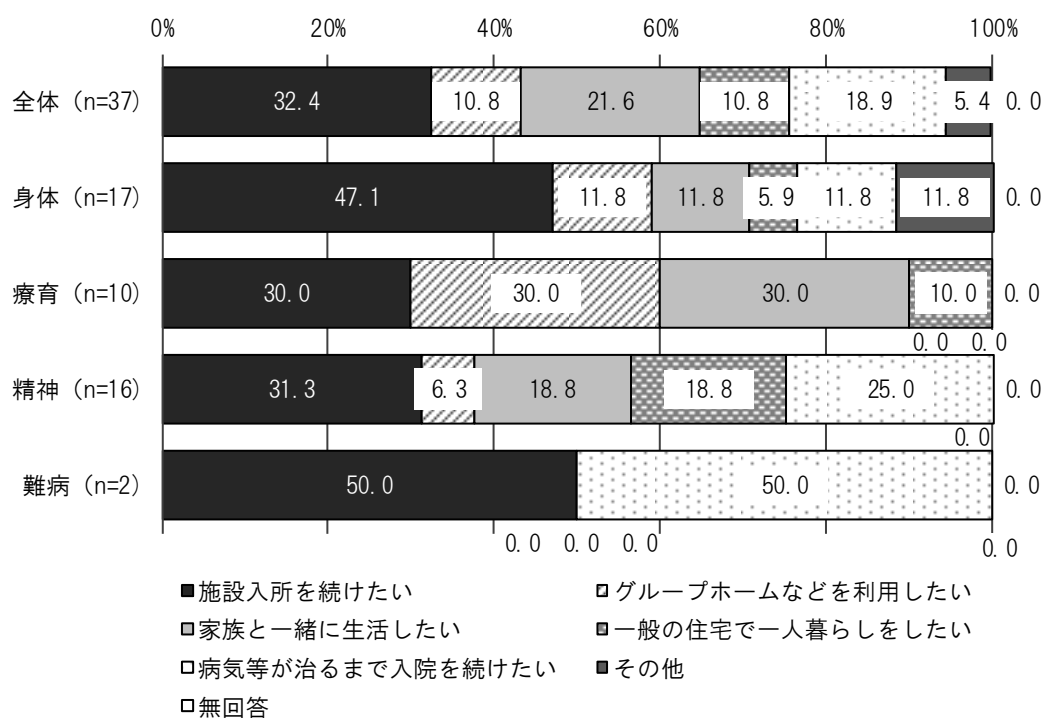
%	問17 あなたは現在どのように暮らしていますか。							
	n	一人で暮らしている	家族と暮らしている	グループホームで暮らしている	福祉施設（障がい者支援施設など）で暮らしている	病院に入院している	その他	無回答
身体(今回)	506	16.0	74.9	2.8	1.4	2.0	2.0	1.0
身体(前回)	612	12.9	78.6	2.6	2.8	1.5	0.8	0.8
療育(今回)	318	2.8	87.1	5.3	3.1	0.0	0.6	0.9
療育(前回)	383	3.4	76.5	7.8	10.2	0.0	0.8	1.3
精神(今回)	387	16.3	74.2	2.8	1.0	3.1	1.8	0.8
精神(前回)	403	19.1	67.5	4.7	3.0	2.2	2.2	1.2
難病(今回)	220	14.1	82.7	0.5	0.5	0.5	1.8	0.0
難病(前回)	261	11.5	87.0	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0

《問 17 で「福祉施設(障がい者支援施設など)で暮らしている」「病院に入院している」とお答えの方》

問 18 あなたは将来、どのような生活をしたと思いますか。(単数回答)

将来、どのような生活をしたと思うかについてみると、全体では「施設入所を続けたい」が 32.4%と最も多く、次いで「家族と一緒に生活したい」が 21.6%、「病気等が治るまで入院を続けたい」が 18.9%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔精神〕では「施設入所を続けたい」、〔療育〕では「施設入所を続けたい」「グループホームなどを利用したい」がともに多くなっています。



【経年比較】

前回と比較すると、〔身体〕において「家族と一緒に生活したい」が 11.3 ポイント、「一般の住宅で一人暮らしをしたい」が 9.5 ポイント減少しています。また、〔療育〕において「施設入所を続けたい」が 44.4 ポイント減少していますが、「グループホームなどを利用したい」が 22.3 ポイント、「家族と一緒に生活したい」が 12.1 ポイント、「一般の住宅で一人暮らしをしたい」が 10.0 ポイント増加しています。〔精神〕において「施設入所を続けたい」が 6.8 ポイント、「グループホームなどを利用したい」が 12.7 ポイント、「一般の住宅で一人暮らしをしたい」が 5.0 ポイント減少しています。

%	問18 あなたは将来、どのような生活をしたいと思いますか。							
	n	施設入所を続けたい	グループホームなどを利用したい	家族と一緒に生活したい	一般の住宅で一人暮らしをしたい	病気等が治るまで入院を続けたい	その他	無回答
身体(今回)	17	47.1	11.8	11.8	5.9	11.8	11.8	0.0
身体(前回)	26	50.0	7.7	23.1	15.4	0.0	0.0	3.8
療育(今回)	10	30.0	30.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0
療育(前回)	39	74.4	7.7	17.9	0.0	0.0	0.0	0.0
精神(今回)	16	31.3	6.3	18.8	18.8	25.0	0.0	0.0
精神(前回)	21	38.1	19.0	14.3	23.8	0.0	4.8	0.0
難病(今回)	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
難病(前回)	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

*前回は「病気等が治るまで入院を続けたい」の選択肢は設けられていません。

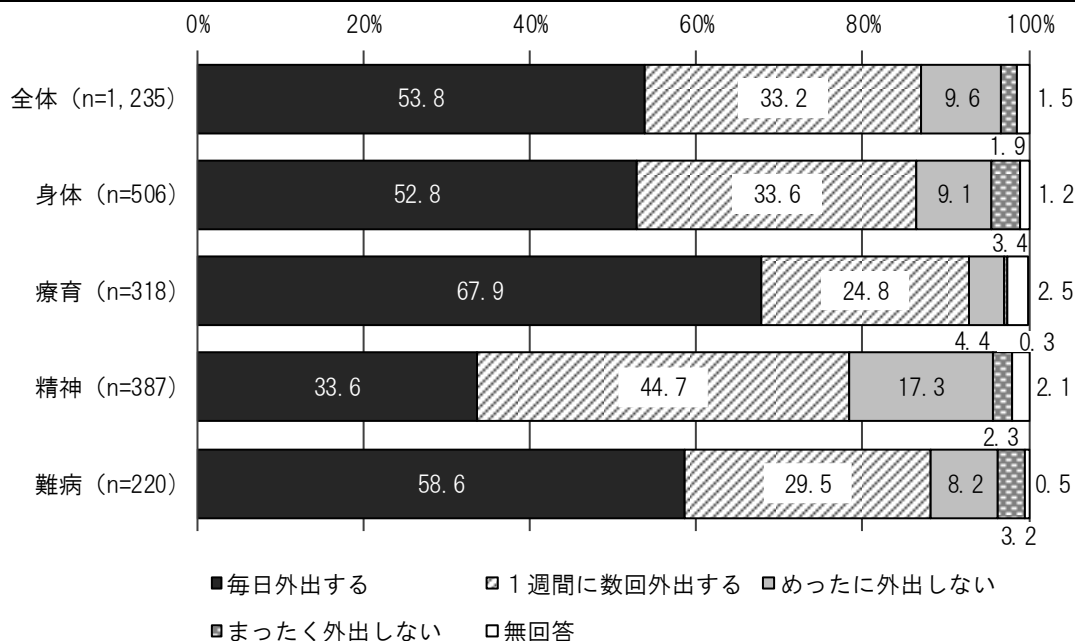
4 日中活動や就労について

問 19 あなたは、1 週間にどの程度外出しますか。

(単数回答)

1 週間にどの程度外出するかについてみると、全体では「毎日外出する」が 53.8%と最も多く、次いで「1 週間に数回外出する」が 33.2%、「めったに外出しない」が 9.6%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔療育〕〔難病〕では「毎日外出する」、〔精神〕では「1 週間に数回外出する」がそれぞれ多くなっています。



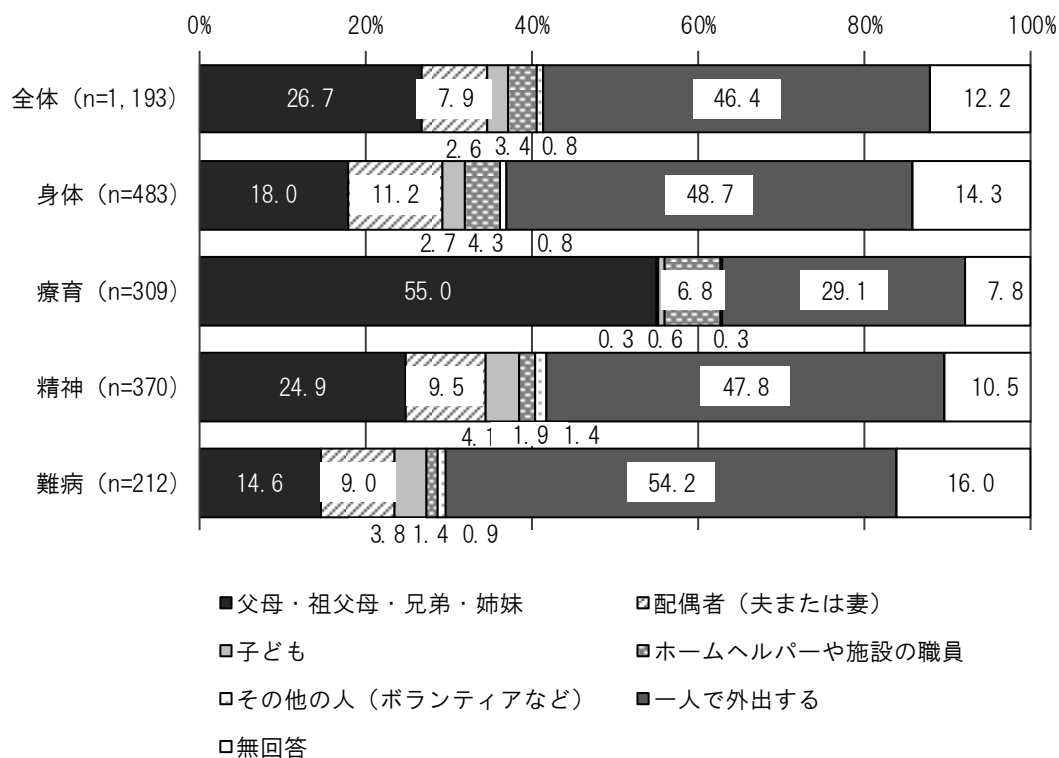
《問 19 で「まったく外出しない」以外をお答えの方》

問 20 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。

(単数回答)

外出する際の主な同伴者についてみると、全体では「一人で外出する」が 46.4%と最も多く、次いで「父母・祖父母・兄弟・姉妹」が 26.7%、「配偶者(夫または妻)」が 7.9%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔精神〕〔難病〕では「一人で外出する」、〔療育〕では「父母・祖父母・兄弟・姉妹」がそれぞれ多くなっています。



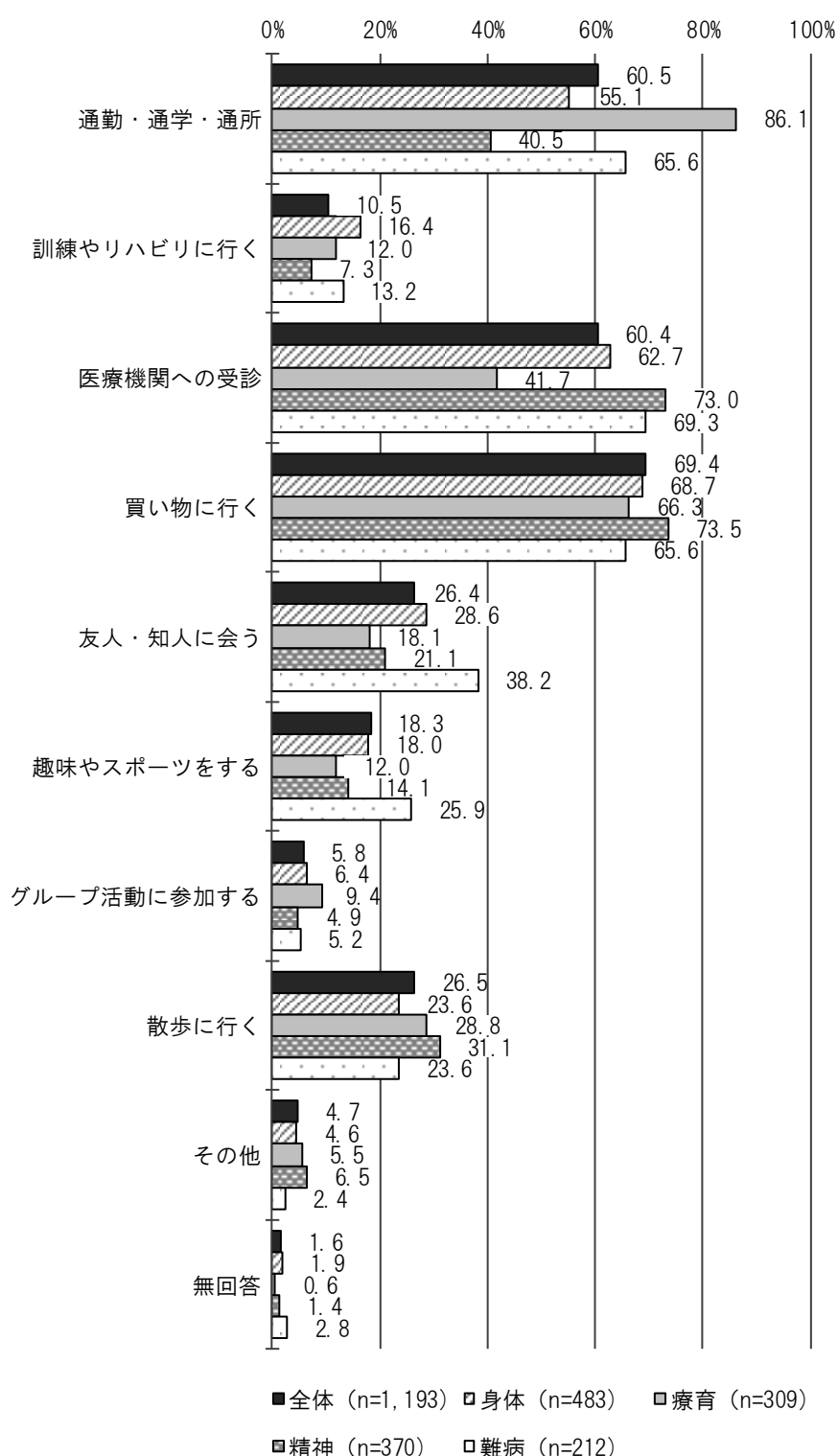
《問 19 で「まったく外出しない」以外をお答えの方》

問 21 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。

(複数回答)

どのような目的で外出することが多いかについてみると、全体では「買い物に行く」が 69.4%と最も多く、次いで「通勤・通学・通所」が 60.5%、「医療機関への受診」が 60.4%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔精神〕では「買い物に行く」、〔療育〕では「通勤・通学・通所」、〔難病〕では「医療機関への受診」がそれぞれ多くなっています。



《問 19 で「まったく外出しない」以外をお答えの方》

問 22 外出する時に困ることは何ですか。

(複数回答)

外出する時に困ることについてみると、全体では「困った時にどうすればいいのか心配」が 27.2%と最も多く、次いで「公共交通機関が少ない(ない)」が 25.0%、「外出にお金がかかる」が 23.1%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕では「道路や駅に階段や段差が多い」、〔療育〕では「困った時にどうすればいいのか心配」、〔精神〕では「外出にお金がかかる」、〔難病〕では「発作など、急に体調が悪くなるのが心配」がそれぞれ多くなっています。

%	問22 外出する時に困ることは何ですか。													
	n	公共交通機関が少ない (ない)	電車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便 (通路、トイレ、エレベーターなど)	介助者を確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など、急に体調が悪くなるのが心配	困った時にどうすればいいのか心配	その他	無回答	
全体	1,193	25.0	11.9	17.5	11.7	13.4	4.9	23.1	16.6	19.7	27.2	12.9	18.2	
身体	483	25.5	16.6	30.2	6.4	22.4	5.8	23.0	11.6	19.7	19.7	14.7	17.6	
療育	309	22.3	14.2	12.9	25.6	11.3	7.8	13.6	19.7	10.0	39.8	12.3	15.5	
精神	370	28.4	9.7	9.2	10.8	6.5	4.6	38.4	28.4	30.0	30.8	11.1	14.3	
難病	212	20.3	13.2	24.5	5.7	23.1	6.6	16.5	6.1	27.4	19.8	14.2	22.6	

【経年比較】

前回と比較すると、「難病」において「公共交通機関が少ない(ない)」が 5.6 ポイント減少していますが、「外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)」が 6.6 ポイント、「発作など、急に体調が悪くなることが心配」が 6.2 ポイント、「困った時にどうすればいいのか心配」が 5.7 ポイント増加しています。

%	問22 外出する時に困ることは何ですか。											
	n	公共交通機関が少ない (ない)	電車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	外出先の建物の設備が不便 (通路、トイレ、エレベーターなど)	介助者を確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目が気になる	発作など、急に体調が悪くなることが心配	困った時にどうすればいいのか心配	
身体(今回)	483	25.5	16.6	30.2	6.4	22.4	5.8	23.0	11.6	19.7	19.7	
身体(前回)	581	25.3	17.2	27.7	8.3	21.5	5.2	20.0	10.7	20.0	19.8	
療育(今回)	309	22.3	14.2	12.9	25.6	11.3	7.8	13.6	19.7	10.0	39.8	
療育(前回)	374	21.7	12.0	13.9	28.6	11.2	9.4	13.6	16.3	9.4	42.0	
精神(今回)	370	28.4	9.7	9.2	10.8	6.5	4.6	38.4	28.4	30.0	30.8	
精神(前回)	389	29.8	11.3	10.0	12.9	6.4	5.7	39.6	29.8	33.7	32.4	
難病(今回)	212	20.3	13.2	24.5	5.7	23.1	6.6	16.5	6.1	27.4	19.8	
難病(前回)	255	25.9	12.9	22.4	4.7	16.5	3.5	16.1	5.1	21.2	14.1	

	n	その他	無回答
身体(今回)	506	14.7	17.6
身体(前回)	612	11.0	40.1
療育(今回)	318	12.3	15.5
療育(前回)	383	10.4	62.3
精神(今回)	387	11.1	14.3
精神(前回)	403	11.1	59.9
難病(今回)	220	14.2	22.6
難病(前回)	261	14.5	91.4

問 23 あなたは、日中を主にどのように過ごしていますか。

(単数回答)

日中の主な過ごし方についてみると、全体では「会社員や、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」が 31.8%と最も多く、次いで「自宅で過ごしている」が 22.7%、「福祉施設、作業所などに通っている(就労継続支援A型も含む)」が 10.4%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔難病〕では「会社員や、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」、〔療育〕では「福祉施設、作業所などに通っている(就労継続支援A型も含む)」、〔精神〕では「自宅で過ごしている」がそれぞれ多くなっています。

問23 あなたは、日中を主にどのように過ごしていますか。											
%	n	会社員や、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	専業主婦（主夫）をしている	福祉施設、作業所などに通っている（就労継続支援A型も含む）	病院などのデイケアに通っている	リハビリを受けている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院などで過ごしている	大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	特別支援学校（小中高等部）に通っている
全体	1,235	31.8	0.2	6.2	10.4	1.8	0.6	22.7	2.3	0.6	5.3
身体	506	37.4	0.2	6.5	6.7	1.6	1.0	26.3	2.6	0.4	4.2
療育	318	19.5	0.0	0.6	27.7	0.6	0.0	5.3	2.5	0.3	17.9
精神	387	21.7	0.5	7.5	8.3	4.1	1.0	37.0	3.4	0.5	1.0
難病	220	44.1	0.0	8.2	1.8	0.0	1.4	19.5	1.4	2.3	5.0

%	n	通っている一般的な小中学校、高校に通っている	幼稚園、保育園など、通っている児童	その他	無回答
全体	1,235	6.8	1.7	2.7	7.0
身体	506	1.8	0.6	2.8	8.1
療育	318	14.8	4.1	1.9	4.7
精神	387	2.8	0.0	3.9	8.3
難病	220	5.9	1.8	2.3	6.4

【経年比較】

前回と比較すると、「療育」において「福祉施設、作業所などに通っている（就労継続支援A型も含む）」が6.0ポイント減少しています。また、「精神」において「自宅で過ごしている」が5.9ポイント減少しています。

%	問23 あなたは、日中を主にどのように過ごしていますか。										
	n	会社員や、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている	ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	専業主婦（主夫）をしている	福祉施設、作業所などに通っている（就労継続支援A型も含む）	病院などのデイケアに通っている	リハビリを受けている	自宅で過ごしている	入所している施設や病院などで過ごしている	大学、専門学校、職業訓練校に通っている	特別支援学校（小中高等部）に通っている
身体(今回)	506	37.4	0.2	6.5	6.7	1.6	1.0	26.3	2.6	0.4	4.2
身体(前回)	612	36.5	0.7	10.0	8.3	3.6	2.2	29.1	3.1	0.3	4.6
療育(今回)	318	19.5	0.0	0.6	27.7	0.6	0.0	5.3	2.5	0.3	17.9
療育(前回)	383	17.6	0.0	0.0	33.7	0.8	0.0	5.9	6.4	0.0	15.8
精神(今回)	387	21.7	0.5	7.5	8.3	4.1	1.0	37.0	3.4	0.5	1.0
精神(前回)	403	19.0	1.5	9.5	12.3	7.5	0.0	42.9	3.3	0.5	0.5
難病(今回)	220	44.1	0.0	8.2	1.8	0.0	1.4	19.5	1.4	2.3	5.0
難病(前回)	261	44.7	0.8	11.8	2.7	0.8	0.8	23.9	0.0	2.0	3.5

	n	通っている小学校、中学校、高校に	幼稚園、保育園、通所施設などに通っている児童	その他	無回答
身体(今回)	506	1.8	0.6	2.8	8.1
身体(前回)	612	2.1	1.0	2.2	1.5
療育(今回)	318	14.8	4.1	1.9	4.7
療育(前回)	383	13.6	4.5	1.6	2.4
精神(今回)	387	2.8	0.0	3.9	8.3
精神(前回)	403	2.1	0.0	3.6	0.8
難病(今回)	220	5.9	1.8	2.3	6.4
難病(前回)	261	6.7	1.2	1.6	2.0

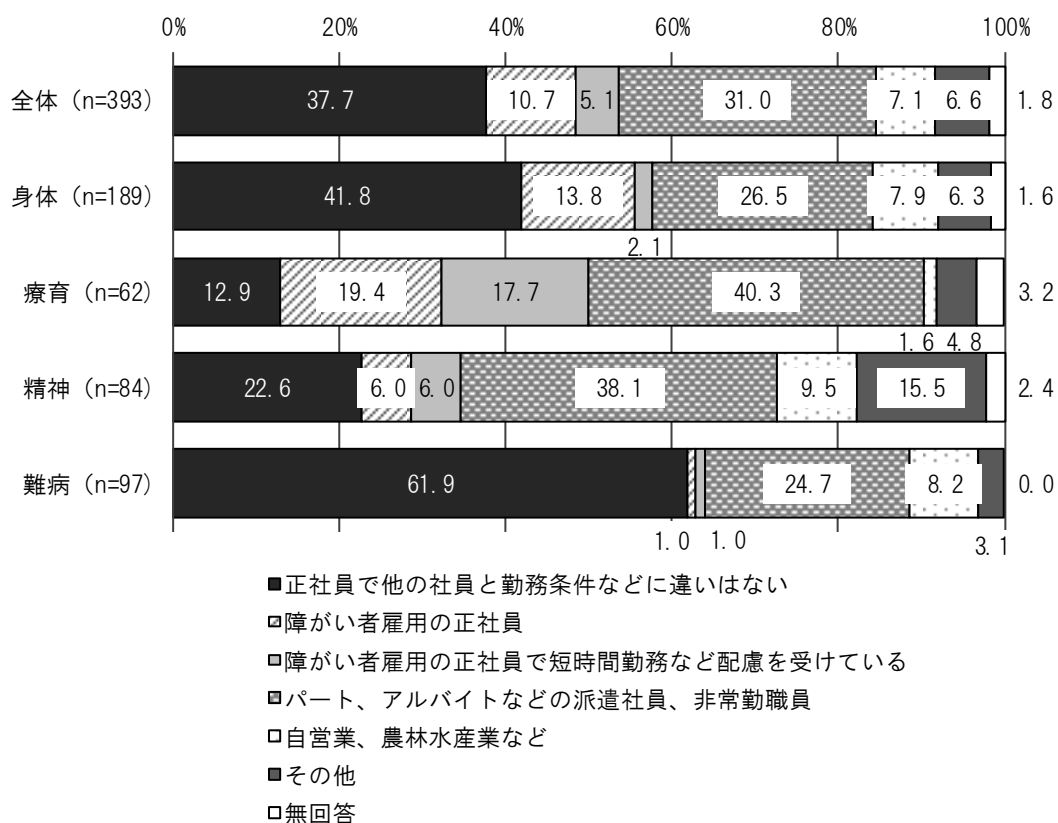
《問 23 で「会社員や、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」とお答えの方》

問 24 どのような勤務形態で働いていますか。

(単数回答)

勤務形態についてみると、全体では「正社員で他の社員と勤務条件などに違いはない」が 37.7%と最も多く、次いで「パート、アルバイトなどの派遣社員、非常勤職員」が 31.0%、「障がい者雇用の正社員」が 10.7%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔難病〕では「正社員で他の社員と勤務条件などに違いはない」、〔療育〕〔精神〕では「パート、アルバイトなどの派遣社員、非常勤職員」がそれぞれ多くなっています。



【経年比較】

前回と比較すると、〔身体〕において「障がい者雇用の正社員で短時間勤務など配慮を受けている」が6.4ポイント、「パート、アルバイトなどの派遣社員、非常勤職員」が 7.9 ポイント減少しています。また、〔療育〕において「パート、アルバイトなどの派遣社員、非常勤職員」が 11.2 ポイント減少しています。〔精神〕において「パート、アルバイトなどの派遣社員、非常勤職員」が 11.9 ポイント減少していますが、「その他」が 8.7 ポイント増加しています。〔難病〕において「正社員で他の社員と勤務条件などに違いはない」が 6.6 ポイント増加しています。

%	問24 どのような勤務形態で働いていますか。							
	n	正社員で他の社員と勤務条件に違いはない	障がい者雇用の正社員	障がい者雇用など配慮を受けている短時間勤務	パート、アルバイト、派遣社員、非常勤職員などの派遣社員	自営業、農林水産業など	その他	無回答
身体(今回)	189	41.8	13.8	2.1	26.5	7.9	6.3	1.6
身体(前回)	212	41.5	0.0	8.5	34.4	9.0	5.2	1.4
療育(今回)	62	12.9	19.4	17.7	40.3	1.6	4.8	3.2
療育(前回)	66	16.7	0.0	21.2	51.5	3.0	7.6	0.0
精神(今回)	84	22.6	6.0	6.0	38.1	9.5	15.5	2.4
精神(前回)	74	20.3	0.0	9.5	50.0	10.8	6.8	2.7
難病(今回)	97	61.9	1.0	1.0	24.7	8.2	3.1	0.0
難病(前回)	114	55.3	0.0	6.1	28.1	5.3	5.3	0.0

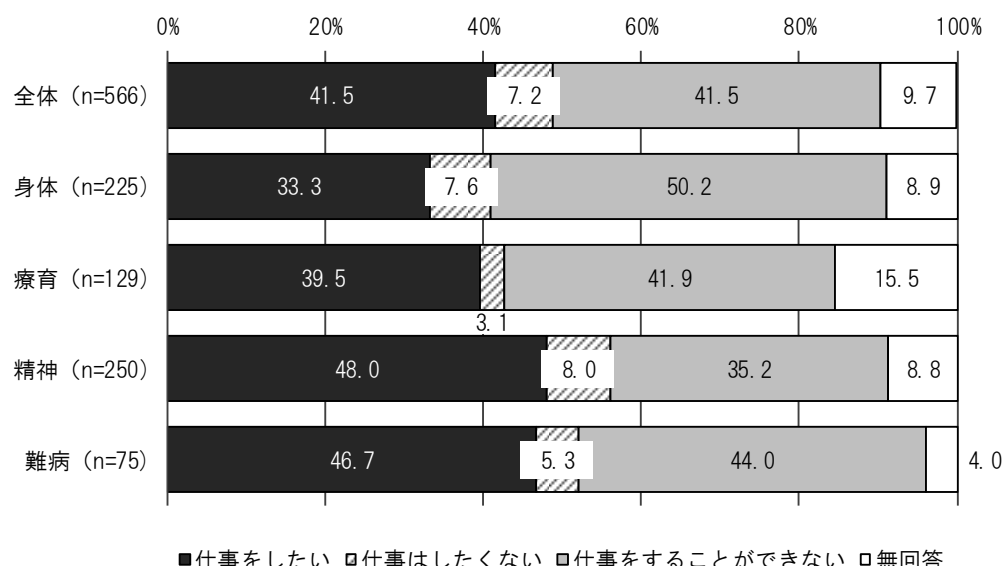
*前回は「障がい者雇用の正社員」の選択肢は設けられていません。

《問 23 で「会社員や、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」以外をお答えの 18～64 歳の方》

問 25 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。 (単数回答)

今後、収入を得る仕事をしたいと思うかについてみると、全体では「仕事をしたい」「仕事をするのができない」がともに 41.5%と最も多く、次いで「仕事はしたくない」が 7.2%となっています。

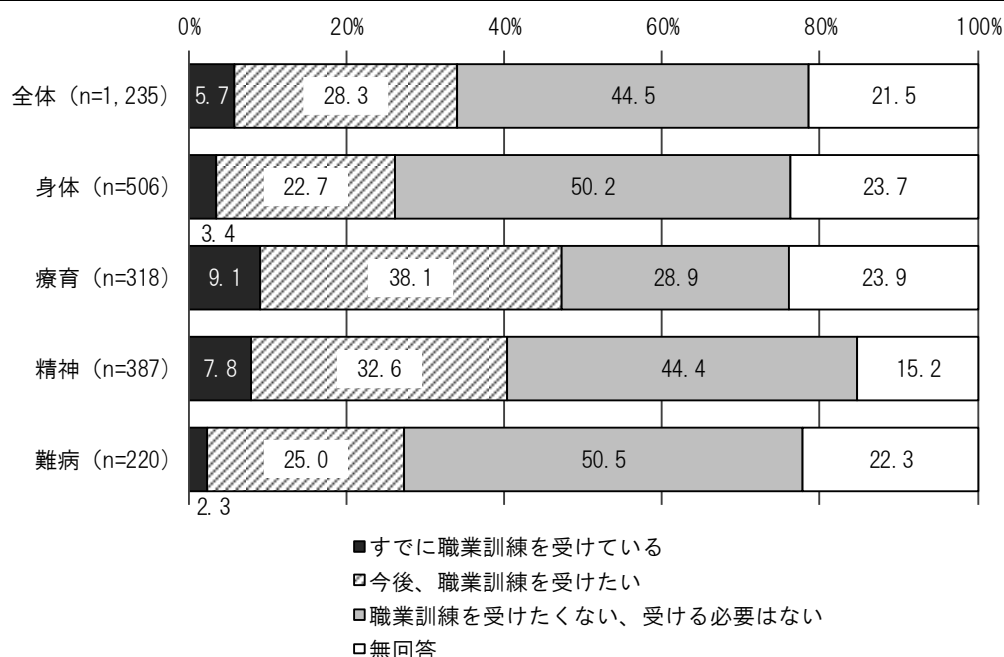
所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔療育〕では「仕事をするのができない」、〔精神〕〔難病〕では「仕事をしたい」がそれぞれ多くなっています。



問 26 収入を得る仕事に就くために、職業訓練を受けたいと思いますか。 (単数回答)

収入を得る仕事に就くために、職業訓練を受けたいと思うかについてみると、全体では「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が 44.5%と最も多く、次いで「今後、職業訓練を受けたい」が 28.3%、「すでに職業訓練を受けている」が 5.7%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔精神〕〔難病〕では「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」、〔療育〕では「今後、職業訓練を受けたい」がそれぞれ多くなっています。



問 27 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
(複数回答)

障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思うかについてみると、全体では「職場の障がい者理解」が 59.4%と最も多く、次いで「短時間勤務や勤務日数などの配慮」が 43.5%、「通勤手段の確保」が 37.0%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「職場の障がい者理解」が多くなっています。

問27 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。													
%	n	通勤手段の確保	勤務場所における配慮	短時間勤務や勤務日数などの配慮	在宅勤務の拡充	職場の障がい者理解	職場で介助や援助などが受けられること	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	仕事の内容に合った就労訓練	仕事に対する支援	障がい者法等法定雇用率の達成	その他	無回答
全体	1,235	37.0	21.1	43.5	27.0	59.4	26.9	31.4	30.9	29.6	24.1	4.8	15.9
身体	506	37.7	30.2	40.1	28.9	52.0	25.3	23.7	24.5	20.0	21.1	4.3	16.6
療育	318	40.6	15.4	32.4	12.9	63.8	35.8	42.8	39.0	38.4	28.6	4.4	16.0
精神	387	36.2	12.1	54.5	30.7	64.9	24.8	35.1	33.9	36.7	27.4	6.5	12.1
難病	220	40.5	35.0	50.0	39.5	59.5	31.4	26.8	27.7	24.1	19.1	4.5	15.9

【経年比較】

前回と比較すると、〔身体〕において「在宅勤務の拡充」が 6.0 ポイント増加していますが、「仕事についての職場外での相談対応、支援」が 7.1 ポイント減少しています。また、〔精神〕において「仕事についての職場外での相談対応、支援」が 5.0 ポイント減少しています。〔難病〕において「勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮」が 7.0 ポイント、「在宅勤務の拡充」が 5.4 ポイント、「職場の障がい者理解」が 9.3 ポイント、「職場で介助や援助などが受けられること」が 5.7 ポイント増加していますが、「仕事の内容に合った就労訓練」が 6.0 ポイント減少しています。

%	問27 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。											
	n	通勤手段の確保	バリアフリーなどにおける配慮	勤務場所におけるバリアフリーなどの配慮	短時間勤務や勤務日数などの配慮	在宅勤務の拡充	職場の障がい者理解	職場で介助や援助などが受けられること	就業後のフォローなど職場と連携	仕事の内容に合った就労訓練	仕事についての職場外での相談対応、支援	障がい者法定雇用率の達成企業等の増加
身体(今回)	506	37.7	30.2	40.1	28.9	52.0	25.3	23.7	24.5	20.0	21.1	
身体(前回)	612	36.4	27.1	39.9	22.9	53.1	21.9	23.7	27.3	27.1	0.0	
療育(今回)	318	40.6	15.4	32.4	12.9	63.8	35.8	42.8	39.0	38.4	28.6	
療育(前回)	383	36.6	15.1	32.6	11.7	64.2	38.4	43.9	43.6	36.3	0.0	
精神(今回)	387	36.2	12.1	54.5	30.7	64.9	24.8	35.1	33.9	36.7	27.4	
精神(前回)	403	37.2	13.6	50.9	28.3	62.3	23.8	36.5	37.5	41.7	0.0	
難病(今回)	220	40.5	35.0	50.0	39.5	59.5	31.4	26.8	27.7	24.1	19.1	
難病(前回)	261	39.8	28.0	51.7	34.1	50.2	25.7	26.1	33.7	27.2	0.0	

	n	その他	無回答
身体(今回)	506	4.3	16.6
身体(前回)	612	4.2	32.8
療育(今回)	318	4.4	16.0
療育(前回)	383	5.0	52.5
精神(今回)	387	6.5	12.1
精神(前回)	403	4.5	49.9
難病(今回)	220	4.5	15.9
難病(前回)	261	3.1	77.0

*前回は「障がい者法定雇用率の達成企業等の増加」の選択肢は設けられていません。

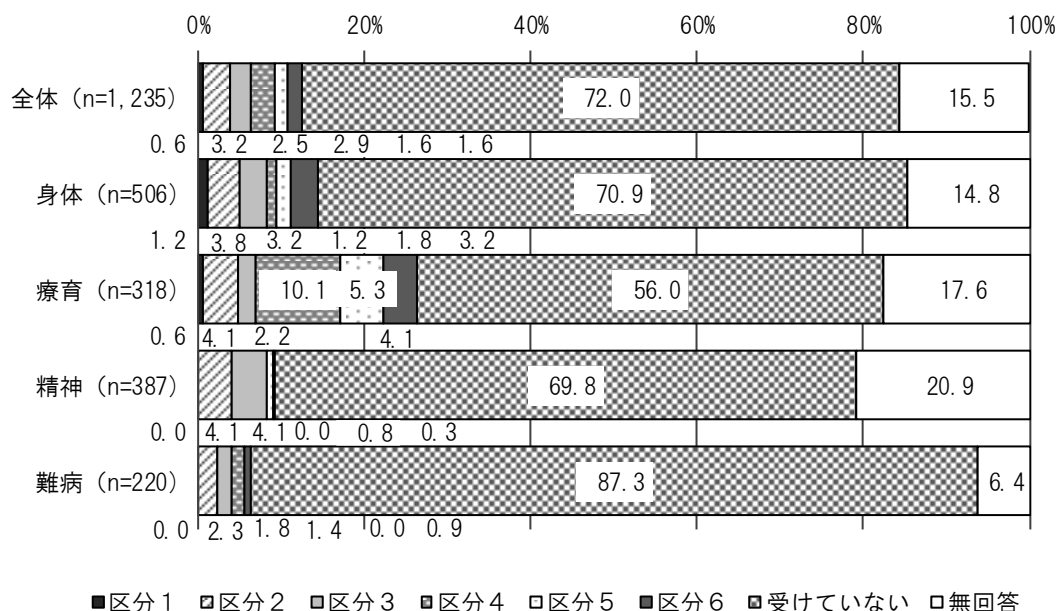
5 障害福祉サービスの利用について

問 28 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。

(単数回答)

障害支援区分の認定を受けているかについてみると、全体では「受けていない」が 72.0%と最も多く、次いで「区分2」が 3.2%、「区分4」が 2.9%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「受けていない」が多くなっています。



問 29 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えていますか。
(単数回答)

①全体

A: 現在利用しているかについてみると、「利用している」では〔⑰児童発達支援〕が 55.9%と最も多く、次いで〔⑱放課後等デイサービス〕が 43.2%、〔⑯相談支援〕が 11.8%となっています。

B: 今後利用したいかについてみると、「利用したい」では〔⑰児童発達支援〕が 47.1%と最も多く、次いで〔⑯相談支援〕〔⑱放課後等デイサービス〕がともに 44.4%となっています。

%	n	A: 現在利用しているか			B: 今後利用したいか		
		利用している	利用していない	無回答	利用したい	利用したくない	無回答
①居宅介護(ホームヘルプ)	1,235	3.9	82.9	13.2	22.8	56.9	20.2
②重度訪問介護	1,235	1.0	84.4	14.7	17.3	60.6	22.1
③同行援護	1,235	0.6	83.6	15.8	14.0	62.0	24.0
④行動援護	1,235	1.8	84.1	14.1	24.8	53.9	21.3
⑤重度障害者等包括支援	1,235	0.5	84.5	15.0	16.4	60.5	23.2
⑥短期入所(ショートステイ)	1,235	4.4	81.8	13.8	28.1	51.7	20.2
⑦療養介護	1,235	1.0	84.4	14.7	20.2	57.5	22.3
⑧生活介護	1,235	4.9	81.4	13.8	23.4	55.1	21.5
⑨施設入所支援	1,235	1.9	83.7	14.4	23.4	54.9	21.7
⑩自立訓練(機能訓練、生活訓練)	1,235	3.6	82.3	14.1	31.4	47.9	20.6
⑪就労移行支援	1,235	1.9	82.0	16.1	30.7	45.9	23.4
⑫就労継続支援(A型、B型)	1,235	5.1	79.7	15.2	29.5	47.3	23.2
⑬就労定着支援	1,235	1.1	82.4	16.4	28.9	46.8	24.3
⑭自立生活援助	1,235	1.1	82.4	16.4	24.0	52.1	24.0
⑮共同生活援助(グループホーム)	1,235	2.1	82.1	15.8	23.4	52.6	24.0
⑯相談支援	1,235	11.8	73.3	14.9	44.4	33.8	21.9
⑰児童発達支援	34	55.9	35.3	8.8	47.1	17.6	35.3
⑱放課後等デイサービス	169	43.2	46.2	10.7	44.4	30.2	25.4
⑲保育所等訪問支援	189	5.8	80.4	13.8	31.7	41.3	27.0
⑳居宅訪問型児童発達支援	189	0.0	84.7	15.3	13.8	57.1	29.1
㉑医療型児童発達支援	189	1.6	85.7	12.7	23.3	49.2	27.5
㉒福祉型児童入所支援	189	2.6	86.2	11.1	17.5	58.2	24.3
㉓医療型児童入所支援	189	0.5	86.8	12.7	12.7	60.3	27.0
㉔移動支援	1,235	4.0	76.6	19.4	28.8	43.6	27.6
㉕日中一時支援	1,235	6.3	74.9	18.8	27.4	45.5	27.0
㉖地域活動支援センター	1,235	4.4	77.2	18.5	26.6	46.5	27.0
㉗訪問入浴	1,235	2.0	78.3	19.7	16.9	55.8	27.3

②身体障害者手帳所持者

A: 現在利用しているかについてみると、「利用している」では〔⑱放課後等デイサービス〕が 52.6%と最も多く、次いで〔⑰児童発達支援〕が 40.0%、〔⑯相談支援〕が 10.7%となっています。

B: 今後利用したいかについてみると、「利用したい」では〔⑰児童発達支援〕〔⑱放課後等デイサービス〕がともに 50.0%と最も多く、次いで〔㉑医療型児童発達支援〕が 41.9%となっています。

%	n	A: 現在利用しているか			B: 今後利用したいか		
		利用している	利用していない	無回答	利用したい	利用したくない	無回答
①居宅介護(ホームヘルプ)	506	6.5	80.6	12.8	26.9	54.0	19.2
②重度訪問介護	506	2.2	83.6	14.2	22.1	56.7	21.1
③同行援護	506	1.0	83.4	15.6	15.8	60.7	23.5
④行動援護	506	1.4	84.2	14.4	19.8	58.5	21.7
⑤重度障害者等包括支援	506	0.8	84.2	15.0	19.0	58.7	22.3
⑥短期入所(ショートステイ)	506	5.3	81.4	13.2	28.3	52.0	19.8
⑦療養介護	506	1.4	85.0	13.6	25.1	53.4	21.5
⑧生活介護	506	5.9	81.2	12.8	24.9	54.2	20.9
⑨施設入所支援	506	1.8	83.8	14.4	24.9	54.0	21.1
⑩自立訓練(機能訓練、生活訓練)	506	4.2	82.2	13.6	29.1	50.6	20.4
⑪就労移行支援	506	0.8	83.2	16.0	22.9	53.6	23.5
⑫就労継続支援(A型、B型)	506	3.0	80.8	16.2	22.9	53.0	24.1
⑬就労定着支援	506	0.4	82.8	16.8	20.9	54.7	24.3
⑭自立生活援助	506	1.4	81.4	17.2	17.0	58.9	24.1
⑮共同生活援助(グループホーム)	506	2.4	81.4	16.2	20.0	56.7	23.3
⑯相談支援	506	10.7	74.3	15.0	39.9	37.9	22.1
⑰児童発達支援	10	40.0	50.0	10.0	50.0	20.0	30.0
⑱放課後等デイサービス	38	52.6	39.5	7.9	50.0	31.6	18.4
⑲保育所等訪問支援	43	4.7	83.7	11.6	37.2	41.9	20.9
⑳居宅訪問型児童発達支援	43	0.0	83.7	16.3	34.9	46.5	18.6
㉑医療型児童発達支援	43	2.3	86.0	11.6	41.9	37.2	20.9
㉒福祉型児童入所支援	43	2.3	88.4	9.3	27.9	55.8	16.3
㉓医療型児童入所支援	43	2.3	83.7	14.0	25.6	55.8	18.6
㉔移動支援	506	4.5	76.1	19.4	33.4	40.1	26.5
㉕日中一時支援	506	5.3	75.5	19.2	29.4	44.9	25.7
㉖地域活動支援センター	506	6.1	74.9	19.0	25.1	48.6	26.3
㉗訪問入浴	506	3.8	76.3	20.0	20.9	53.4	25.7

③療育手帳所持者

A: 現在利用しているかについてみると、「利用している」では〔⑪児童発達支援〕が 85.0%と最も多く、次いで〔⑱放課後等デイサービス〕が 55.9%、〔⑯相談支援〕が 23.6%となっています。

B: 今後利用したいかについてみると、「利用したい」では〔⑪児童発達支援〕が 60.0%と最も多く、次いで〔⑯相談支援〕が 56.0%、〔⑱放課後等デイサービス〕が 54.1%となっています。

%	n	A: 現在利用しているか			B: 今後利用したいか		
		利用している	利用していない	無回答	利用したい	利用したくない	無回答
①居宅介護(ホームヘルプ)	318	2.5	83.0	14.5	18.9	58.2	23.0
②重度訪問介護	318	0.6	83.3	16.0	13.5	61.9	24.5
③同行援護	318	1.3	81.1	17.6	7.2	64.2	28.6
④行動援護	318	5.3	81.1	13.5	37.7	40.6	21.7
⑤重度障害者等包括支援	318	0.9	83.0	16.0	16.0	58.5	25.5
⑥短期入所(ショートステイ)	318	10.7	75.5	13.8	42.5	37.4	20.1
⑦療養介護	318	0.6	83.0	16.4	17.6	57.2	25.2
⑧生活介護	318	11.9	73.9	14.2	31.1	46.5	22.3
⑨施設入所支援	318	3.8	81.4	14.8	31.8	45.3	23.0
⑩自立訓練(機能訓練、生活訓練)	318	4.7	80.2	15.1	39.6	39.0	21.4
⑪就労移行支援	318	2.8	79.2	17.9	37.1	36.2	26.7
⑫就労継続支援(A型、B型)	318	11.0	73.3	15.7	41.5	34.0	24.5
⑬就労定着支援	318	2.2	80.5	17.3	36.8	36.2	27.0
⑭自立生活援助	318	0.6	82.4	17.0	32.1	42.8	25.2
⑮共同生活援助(グループホーム)	318	3.8	79.2	17.0	39.9	33.6	26.4
⑯相談支援	318	23.6	61.0	15.4	56.0	20.4	23.6
⑰児童発達支援	20	85.0	0.0	15.0	60.0	0.0	40.0
⑱放課後等デイサービス	111	55.9	32.4	11.7	54.1	22.5	23.4
⑲保育所等訪問支援	122	8.2	74.6	17.2	40.2	33.6	26.2
⑳居宅訪問型児童発達支援	122	0.0	82.8	17.2	16.4	54.9	28.7
㉑医療型児童発達支援	122	1.6	83.6	14.8	27.0	45.9	27.0
㉒福祉型児童入所支援	122	3.3	84.4	12.3	22.1	54.9	23.0
㉓医療型児童入所支援	122	0.0	85.2	14.8	13.9	59.0	27.0
㉔移動支援	318	7.9	73.0	19.2	34.0	36.2	29.9
㉕日中一時支援	318	14.5	67.3	18.2	38.1	33.3	28.6
㉖地域活動支援センター	318	3.8	78.3	17.9	32.7	38.1	29.2
㉗訪問入浴	318	1.3	79.2	19.5	13.8	56.6	29.6

④精神障害者保健福祉手帳所持者

A: 現在利用しているかについてみると、「利用している」では〔⑱放課後等デイサービス〕が 33.3%と最も多く、次いで〔⑯相談支援〕が 11.6%、〔㉔地域活動支援センター〕が 7.8%となっています。

B: 今後利用したいかについてみると、「利用したい」では〔⑱放課後等デイサービス〕が 61.1%と最も多く、次いで〔⑯相談支援〕が 44.4%、〔⑪就労移行支援〕が 34.1%となっています。

%	n	A: 現在利用しているか			B: 今後利用したいか		
		利用している	利用していない	無回答	利用したい	利用したくない	無回答
①居宅介護(ホームヘルプ)	387	4.7	77.3	18.1	19.6	58.4	22.0
②重度訪問介護	387	0.8	79.8	19.4	12.7	63.3	24.0
③同行援護	387	0.5	79.3	20.2	11.1	64.6	24.3
④行動援護	387	1.6	80.6	17.8	23.3	55.0	21.7
⑤重度障害者等包括支援	387	0.3	79.8	19.9	12.7	63.0	24.3
⑥短期入所(ショートステイ)	387	0.8	80.1	19.1	18.6	57.9	23.5
⑦療養介護	387	0.8	79.8	19.4	15.2	60.2	24.5
⑧生活介護	387	1.6	79.6	18.9	18.1	58.1	23.8
⑨施設入所支援	387	1.3	79.3	19.4	16.5	59.4	24.0
⑩自立訓練(機能訓練、生活訓練)	387	4.9	77.3	17.8	30.2	46.8	23.0
⑪就労移行支援	387	3.4	77.0	19.6	34.1	41.6	24.3
⑫就労継続支援(A型、B型)	387	6.2	75.2	18.6	31.3	43.9	24.8
⑬就労定着支援	387	1.3	77.5	21.2	31.3	42.6	26.1
⑭自立生活援助	387	2.3	77.0	20.7	26.9	47.8	25.3
⑮共同生活援助(グループホーム)	387	2.8	77.8	19.4	17.1	58.1	24.8
⑯相談支援	387	11.6	70.0	18.3	44.4	32.8	22.7
⑰児童発達支援	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑱放課後等デイサービス	18	33.3	66.7	0.0	61.1	27.8	11.1
⑲保育所等訪問支援	18	5.6	88.9	5.6	33.3	50.0	16.7
⑳居宅訪問型児童発達支援	18	0.0	94.4	5.6	11.1	61.1	27.8
㉑医療型児童発達支援	18	0.0	94.4	5.6	33.3	50.0	16.7
㉒福祉型児童入所支援	18	0.0	94.4	5.6	11.1	72.2	16.7
㉓医療型児童入所支援	18	0.0	94.4	5.6	5.6	72.2	22.2
㉔移動支援	387	2.3	73.4	24.3	22.2	46.8	31.0
㉕日中一時支援	387	6.2	70.8	23.0	19.9	49.1	31.0
㉖地域活動支援センター	387	7.8	70.8	21.4	26.1	45.2	28.7
㉗訪問入浴	387	1.3	74.2	24.5	11.6	58.4	30.0

⑤難病（特定疾患）認定者

A：現在利用しているかについてみると、「利用している」では〔⑱放課後等デイサービス〕が 41.7%と最も多く、次いで〔⑰児童発達支援〕が 16.7%、〔⑯相談支援〕が 5.5%となっています。

B：今後利用したいかについてみると、「利用したい」では〔⑰児童発達支援〕が 50.0%と最も多く、次いで〔⑯相談支援〕が 47.3%、〔㉑医療型児童発達支援〕が 46.7%となっています。

%	n	A：現在利用しているか			B：今後利用したいか		
		利用している	利用していない	無回答	利用したい	利用したくない	無回答
①居宅介護（ホームヘルプ）	220	4.5	86.8	8.6	34.1	50.0	15.9
②重度訪問介護	220	0.0	89.1	10.9	30.5	52.3	17.3
③同行援護	220	0.9	87.3	11.8	26.8	55.5	17.7
④行動援護	220	0.0	88.6	11.4	26.8	54.5	18.6
⑤重度障害者等包括支援	220	0.0	88.6	11.4	26.4	55.0	18.6
⑥短期入所（ショートステイ）	220	2.7	86.8	10.5	34.1	50.5	15.5
⑦療養介護	220	0.5	88.2	11.4	34.5	49.5	15.9
⑧生活介護	220	1.8	88.2	10.0	30.9	52.3	16.8
⑨施設入所支援	220	0.5	88.2	11.4	30.9	52.3	16.8
⑩自立訓練（機能訓練、生活訓練）	220	1.8	87.7	10.5	36.8	46.8	16.4
⑪就労移行支援	220	0.5	87.7	11.8	33.6	47.7	18.6
⑫就労継続支援（A型、B型）	220	0.9	87.7	11.4	30.5	50.0	19.5
⑬就労定着支援	220	0.5	87.7	11.8	30.5	50.0	19.5
⑭自立生活援助	220	0.0	87.7	12.3	25.0	54.5	20.5
⑮共同生活援助（グループホーム）	220	0.5	88.2	11.4	22.7	56.8	20.5
⑯相談支援	220	5.5	82.7	11.8	47.3	32.7	20.0
⑰児童発達支援	6	16.7	83.3	0.0	50.0	50.0	0.0
⑱放課後等デイサービス	24	41.7	54.2	4.2	45.8	33.3	20.8
⑲保育所等訪問支援	30	3.3	93.3	3.3	30.0	53.3	16.7
⑳居宅訪問型児童発達支援	30	0.0	93.3	6.7	36.7	46.7	16.7
㉑医療型児童発達支援	30	3.3	93.3	3.3	46.7	36.7	16.7
㉒福祉型児童入所支援	30	3.3	93.3	3.3	33.3	53.3	13.3
㉓医療型児童入所支援	30	0.0	93.3	6.7	33.3	50.0	16.7
㉔移動支援	220	0.9	85.5	13.6	39.5	40.0	20.5
㉕日中一時支援	220	1.8	85.5	12.7	33.6	46.8	19.5
㉖地域活動支援センター	220	2.7	83.6	13.6	32.7	46.4	20.9
㉗訪問入浴	220	1.8	85.0	13.2	29.5	49.5	20.9

6 相談相手について

問 30 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。 (複数回答)

悩みや困ったことの相談先についてみると、全体では「家族や親せき」が 75.1%と最も多く、次いで「友人・知人」が 36.0%、「かかりつけ医療機関の医師や看護師」が 33.1%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「家族や親せき」が多くなっています。

%	問30 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。										
	n	家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	施設の支援員など	ホームヘルプ事業所の人	障がい者団体や家族会	計画相談員 (相談支援事業所)	かかりつけ医療機関の医師や看護師	病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー
全体	1,235	75.1	36.0	5.3	12.3	16.2	4.8	3.4	6.7	33.1	6.6
身体	506	74.7	39.1	6.1	13.0	11.7	5.7	3.0	5.9	31.6	9.1
療育	318	78.6	23.3	2.2	12.6	34.6	4.7	5.7	11.9	22.0	1.3
精神	387	68.0	33.9	5.9	10.3	17.8	4.4	3.6	9.0	48.3	11.4
難病	220	82.7	48.2	9.1	13.2	5.9	3.6	1.4	3.2	35.5	7.7

%	n	民生委員・児童委員	通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	市や県の相談窓口(ほっとすまいるセンターを含む)	その他	相談する人はいない	無回答
全体	1,235	0.6	7.4	8.3	3.5	6.0	3.9
身体	506	1.2	4.9	7.5	2.8	6.3	4.0
療育	318	0.0	22.6	7.5	4.1	2.5	5.0
精神	387	1.8	2.6	14.0	4.7	8.3	3.9
難病	220	0.0	5.5	3.2	1.4	5.9	1.4

問 31 あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。
(複数回答)

障がいのことや福祉サービスなどに関する情報の入手先についてみると、全体では「家族や親せき、友人・知人」が 34.3%と最も多く、次いで「市や県の広報紙やホームページ」が 32.7%、「インターネット」が 32.6%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕では「市や県の広報紙やホームページ」、〔療育〕では「家族や親せき、友人・知人」、〔精神〕では「かかりつけ医療機関の医師や看護師」、〔難病〕では「インターネット」がそれぞれ多くなっています。

%	問31 あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。											
	n	テレビやラジオのニュース	本や新聞、雑誌の記事、ホームページ	市や県の広報紙やホームページ	インターネット	家族や親せき、友人・知人	施設職員	サービス事業所の人や	障がい者団体や家族会（団体の機関誌など）	かかりつけ医療機関の医師や看護師	病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	民生委員・児童委員
全体	1,235	29.3	32.7	32.6	34.3	15.5	5.6	26.7	8.8	0.6	8.6	
身体	506	33.4	39.1	32.4	32.6	14.2	4.7	26.7	11.9	0.8	4.7	
療育	318	21.4	19.8	17.6	46.9	28.6	9.4	14.5	2.5	0.3	27.7	
精神	387	26.6	29.5	33.1	30.7	17.6	5.4	37.7	14.0	1.0	3.6	
難病	220	35.0	39.5	47.3	34.5	10.0	2.3	31.4	8.6	0.5	5.0	

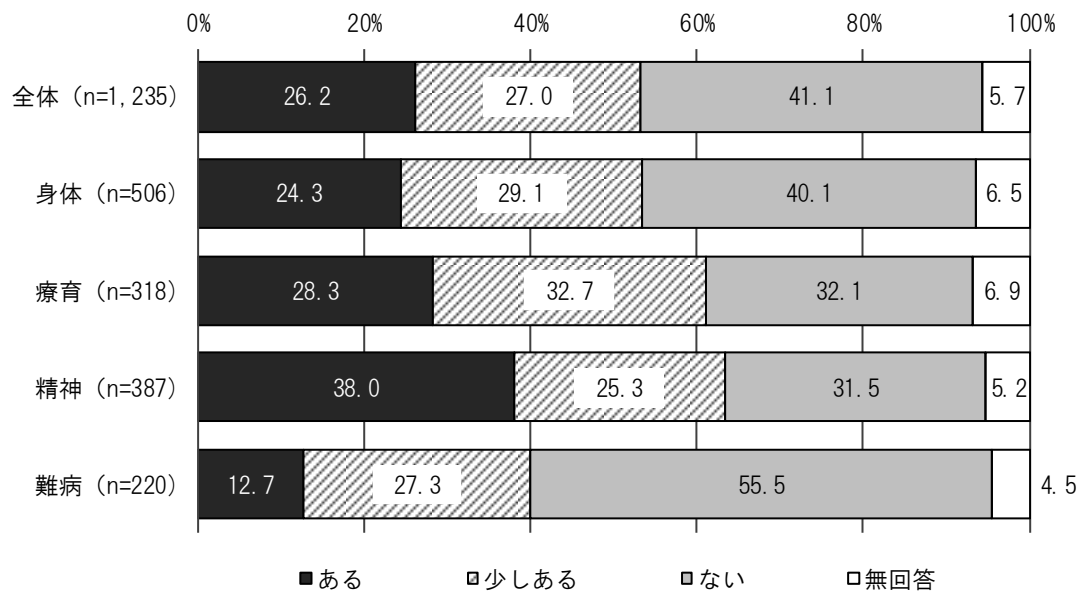
%	n	計画相談支援事業所（相談相談員）	市や県の相談窓口（ほっとすまいるセンターを含む）	その他	無回答
全体	1,235	6.6	13.0	4.6	5.7
身体	506	3.8	11.3	4.2	6.1
療育	318	14.8	11.6	6.9	7.2
精神	387	7.5	20.9	3.9	5.7
難病	220	2.3	7.3	2.7	2.3

7 権利擁護について

問 32 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。
(単数回答)

障がいがあることで差別や嫌な思いをする(した)経験についてみると、全体では「ない」が 41.1%と最も多く、次いで「少しある」が 27.0%、「ある」が 26.2%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、「身体」「難病」では「ない」、「療育」では「少しある」、「精神」では「ある」がそれぞれ多くなっています。



【経年比較】

前回と比較すると、いずれの障がいでも大きな差はみられません。

	問32 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする(した)ことがありますか。				
	%	n	ある	少しある	ない 無回答
身体(今回)		506	24.3	29.1	40.1 6.5
身体(前回)		612	22.1	32.2	41.3 4.4
療育(今回)		318	28.3	32.7	32.1 6.9
療育(前回)		383	27.4	34.7	30.0 7.8
精神(今回)		387	38.0	25.3	31.5 5.2
精神(前回)		403	37.2	28.3	30.0 4.5
難病(今回)		220	12.7	27.3	55.5 4.5
難病(前回)		261	11.9	25.7	56.7 5.7

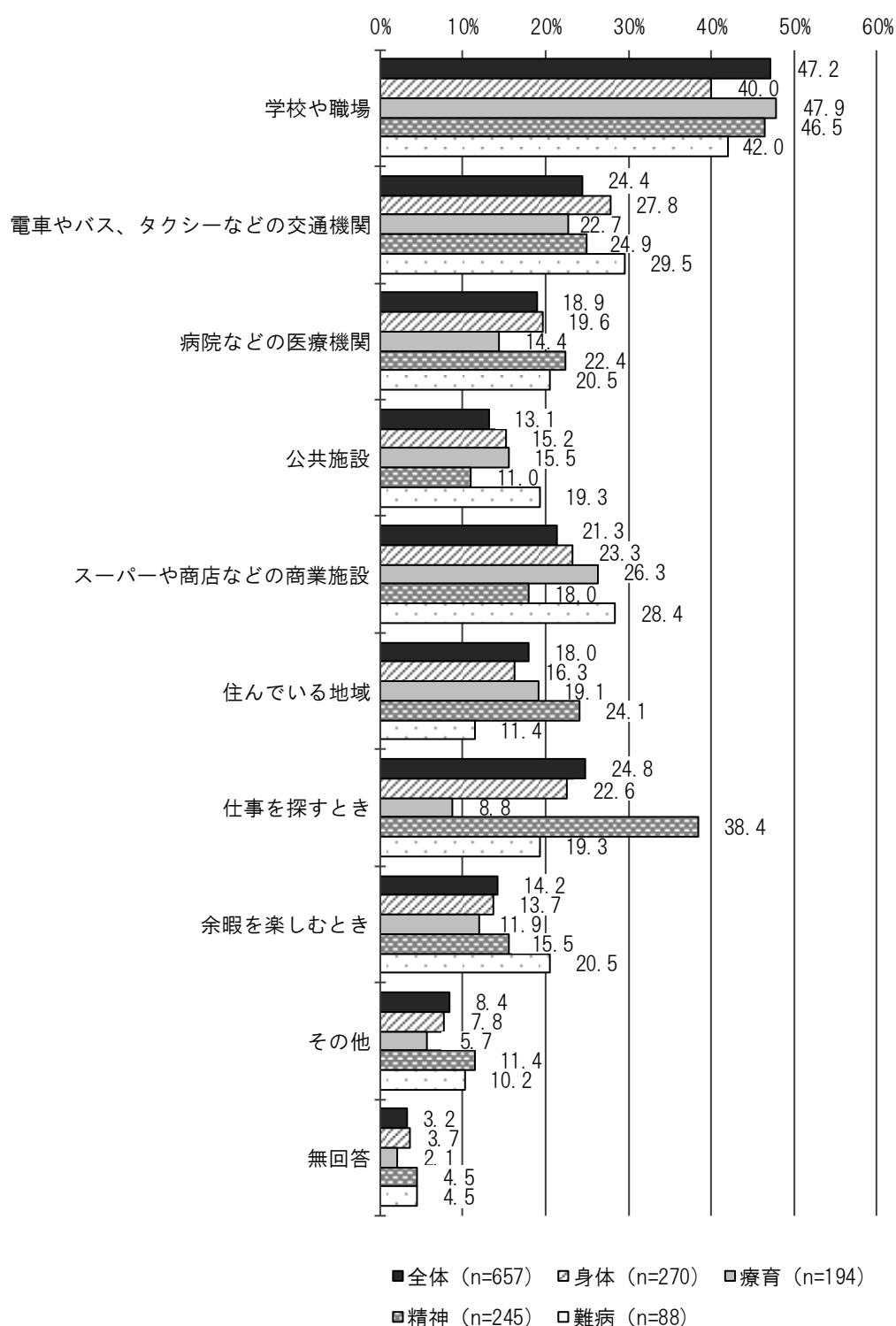
《問 32 で「ある」「少しある」とお答えの方》

問 33 どのようなところで差別や嫌な思いをしましたか。

(複数回答)

差別や嫌な思いをした場所についてみると、全体では「学校や職場」が 47.2%と最も多く、次いで「仕事を探すとき」が 24.8%、「電車やバス、タクシーなどの交通機関」が 24.4%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「学校や職場」が多くなっていますが、〔精神〕では「仕事を探すとき」が他と比べて多くなっています。



【経年比較】

前回と比較すると、いずれの障がいでも大きな差はみられません。

%	問33 どのようなところで差別や嫌な思いをしましたか。										
	n	学校や職場	電車やバス、タクシーなどの交通機関	病院などの医療機関	公共施設	スーパーや商店などの商業施設	住んでいる地域	仕事を探すとき	余暇を楽しむとき	その他	無回答
身体(今回)	270	40.0	27.8	19.6	15.2	23.3	16.3	22.6	13.7	7.8	3.7
身体(前回)	332	36.7	28.3	16.9	14.5	25.6	16.6	25.9	19.0	8.1	3.6
療育(今回)	194	47.9	22.7	14.4	15.5	26.3	19.1	8.8	11.9	5.7	2.1
療育(前回)	238	47.5	23.9	14.7	19.3	30.3	19.3	10.1	16.4	8.4	5.0
精神(今回)	245	46.5	24.9	22.4	11.0	18.0	24.1	38.4	15.5	11.4	4.5
精神(前回)	264	42.8	22.0	20.1	11.0	18.2	26.5	37.1	14.4	14.4	4.5
難病(今回)	88	42.0	29.5	20.5	19.3	28.4	11.4	19.3	20.5	10.2	4.5
難病(前回)	98	38.8	23.5	18.4	12.2	24.5	10.2	19.4	11.2	7.1	12.2

《問 33 をお答えの方》

問 34 どのようなことがありましたか。

(自由回答)

差別や嫌な思いをしたことについて、「嫌がらせや悪口を受ける」が 81 件、「周囲の理解がない」が 80 件、「周囲と違う接し方をされた」が 55 件となっています。

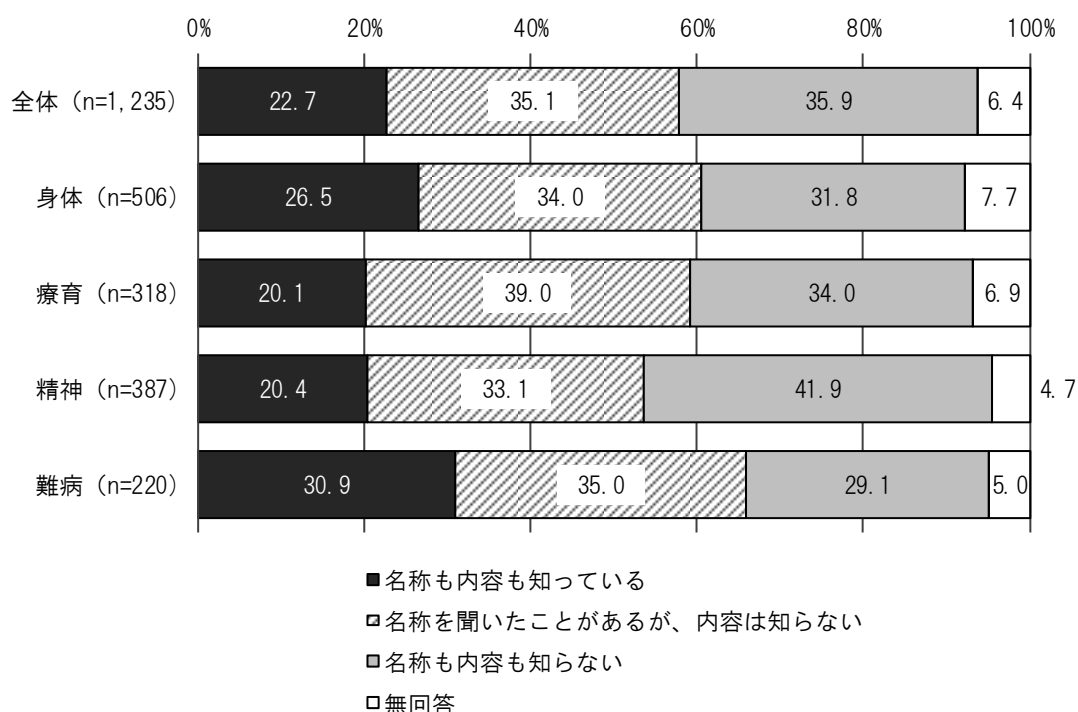
	項目	件数
1	嫌がらせや悪口を受ける	81
2	周囲の理解がない	80
3	周囲と違う接し方をされた	55
4	視線を感じる	29
5	職業の選択の幅が狭まる	23

問 35 成年後見制度について知っていますか。

(単数回答)

成年後見制度についてみると、全体では「名称も内容も知らない」が 35.9%と最も多く、次いで「名称を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 35.1%、「名称も内容も知っている」が 22.7%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔療育〕〔難病〕では「名称を聞いたことがあるが、内容は知らない」、「〔精神〕では「名称も内容も知らない」がそれぞれ多くなっています。



【経年比較】

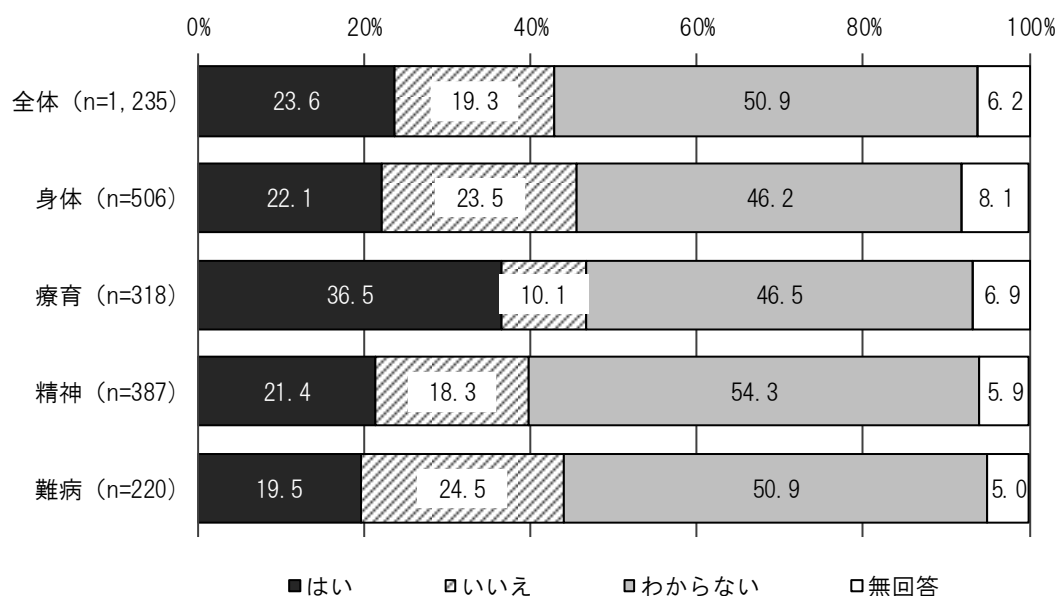
前回と比較すると、〔身体〕において「名称も内容も知らない」が 5.0 ポイント減少しています。また、〔療育〕において「名称を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 11.1 ポイント増加していますが、「名称も内容も知らない」が 9.3 ポイント減少しています。〔難病〕において「名称も内容も知っている」が 6.8 ポイント、「名称を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 5.5 ポイント増加していますが、「名称も内容も知らない」が 7.7 ポイント減少しています。

%	問35 成年後見制度について知っていますか。				
	n	名称も内容も知っている	名称は聞いたことがあるが、内容も知らない	名称も内容も知らない	無回答
身体(今回)	506	26.5	34.0	31.8	7.7
身体(前回)	612	23.4	34.0	36.8	5.9
療育(今回)	318	20.1	39.0	34.0	6.9
療育(前回)	383	23.5	27.9	43.3	5.2
精神(今回)	387	20.4	33.1	41.9	4.7
精神(前回)	403	18.4	35.0	42.7	4.0
難病(今回)	220	30.9	35.0	29.1	5.0
難病(前回)	261	24.1	29.5	36.8	9.6

問 36 成年後見制度に関する講義や研修等があれば学びたいと思いますか。（単数回答）

成年後見制度に関する講義や研修等があれば学びたいと思うかについてみると、全体では「わからない」が 50.9%と最も多く、次いで「はい」が 23.6%、「いいえ」が 19.3%となっています。

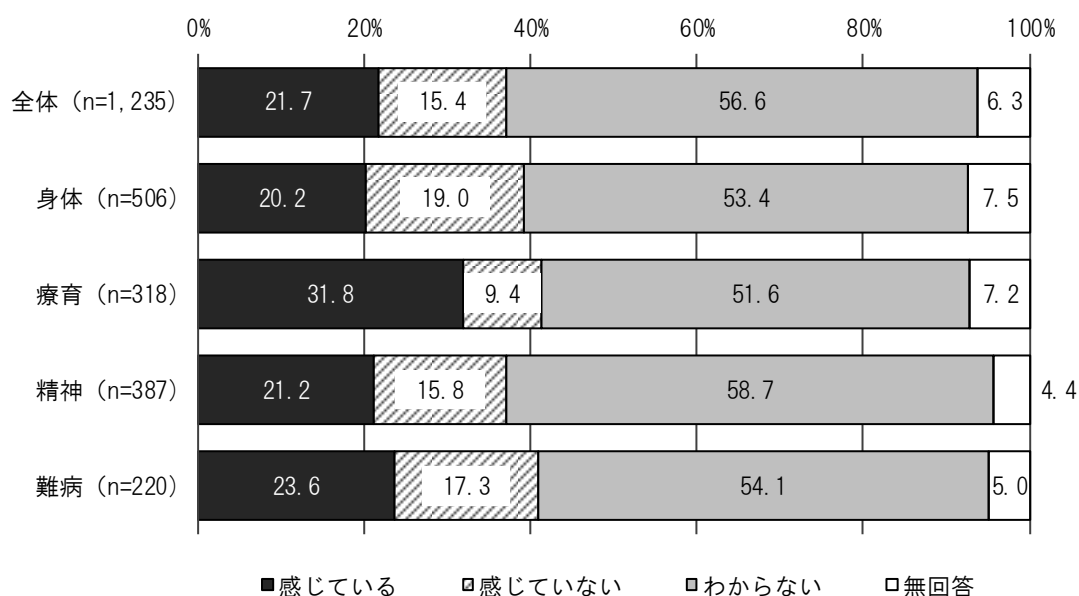
所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「わからない」が多くなっていますが、〔療育〕では「はい」が他と比べて多くなっています。



問 37 成年後見制度の必要性を感じていますか。（単数回答）

成年後見制度の必要性についてみると、全体では「わからない」が 56.6%と最も多く、次いで「感じている」が 21.7%、「感じていない」が 15.4%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「わからない」が多くなっています。

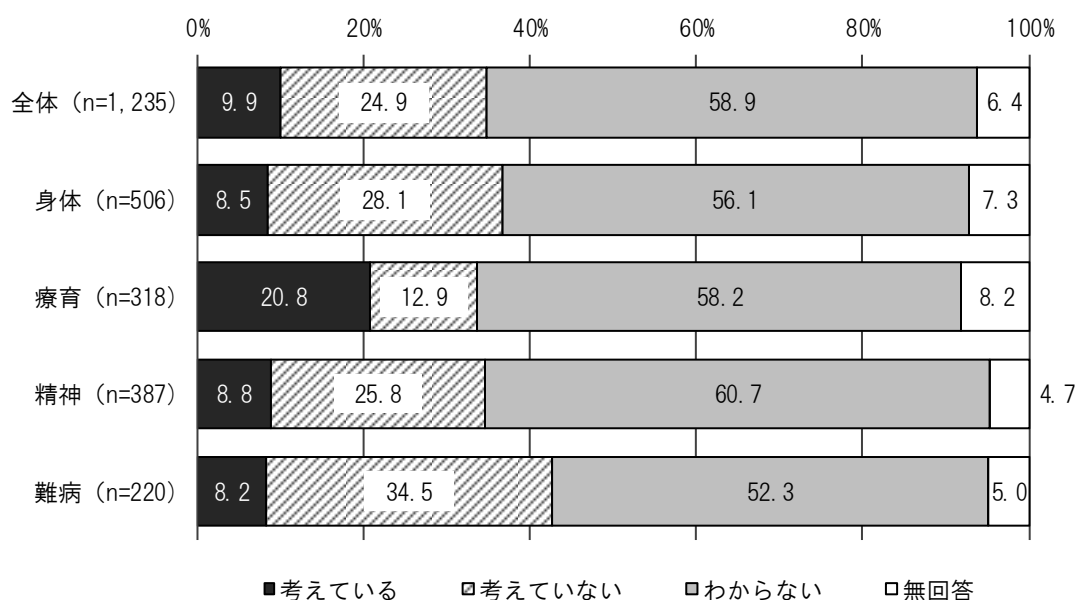


問 38 成年後見制度の利用を考えていますか。

(単数回答)

成年後見制度の利用を考えるかについてみると、全体では「わからない」が 58.9%と最も多く、次いで「考えていない」が 24.9%、「考えている」が 9.9%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「わからない」が多くなっていますが、〔療育〕では「考えている」が他と比べて多くなっています。

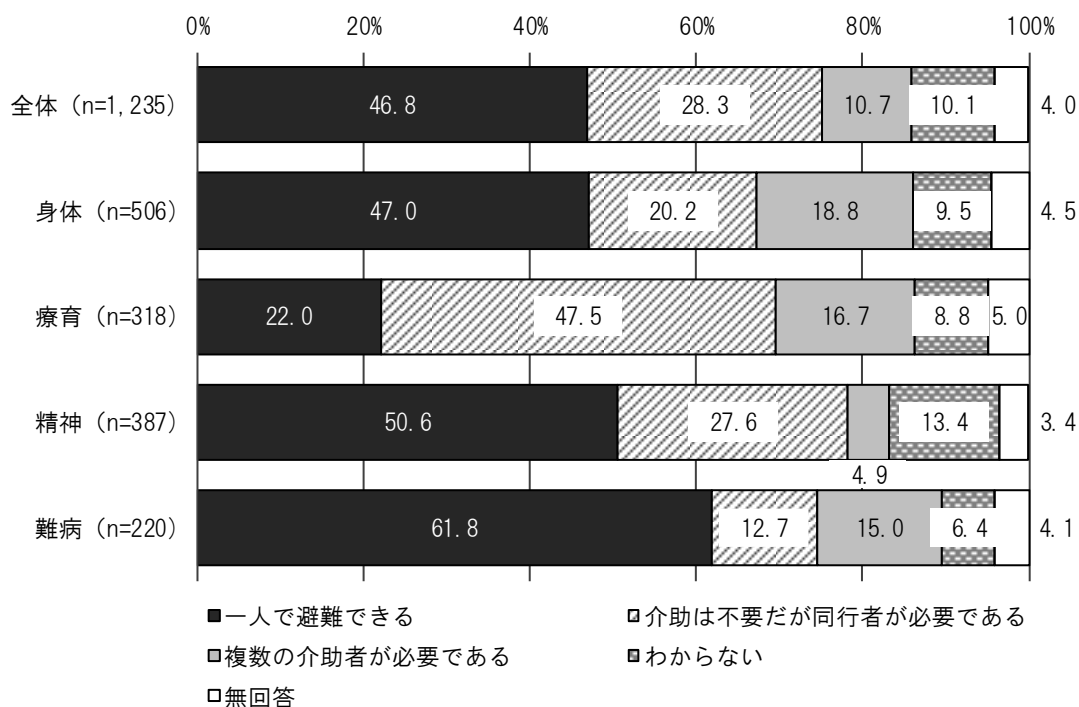


8 災害時の避難などについて

問 39 あなたは、火事や地震、風水害などの災害時に避難できますか。 (単数回答)

火事や地震、風水害などの災害時に避難できるかについてみると、全体では「一人で避難できる」が 46.8%と最も多く、次いで「介助は不要だが同行者が必要である」が 28.3%、「複数の介助者が必要である」が 10.7%となっています。

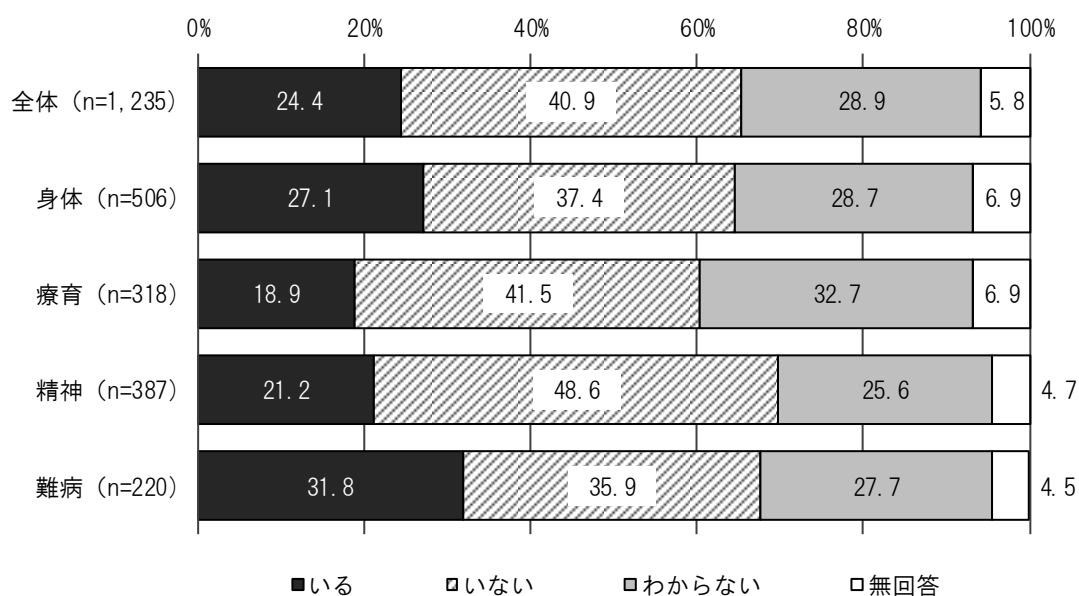
所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕〔精神〕〔難病〕では「一人で避難できる」、〔療育〕では「介助は不要だが同行者が必要である」がそれぞれ多くなっています。



問40 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。
(単数回答)

家族が不在の場合や一人暮らしの場合、助けてくれる人についてみると、全体では「いない」が 40.9%と最も多く、次いで「わからない」が 28.9%、「いる」が 24.4%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「いない」が多くなっています。

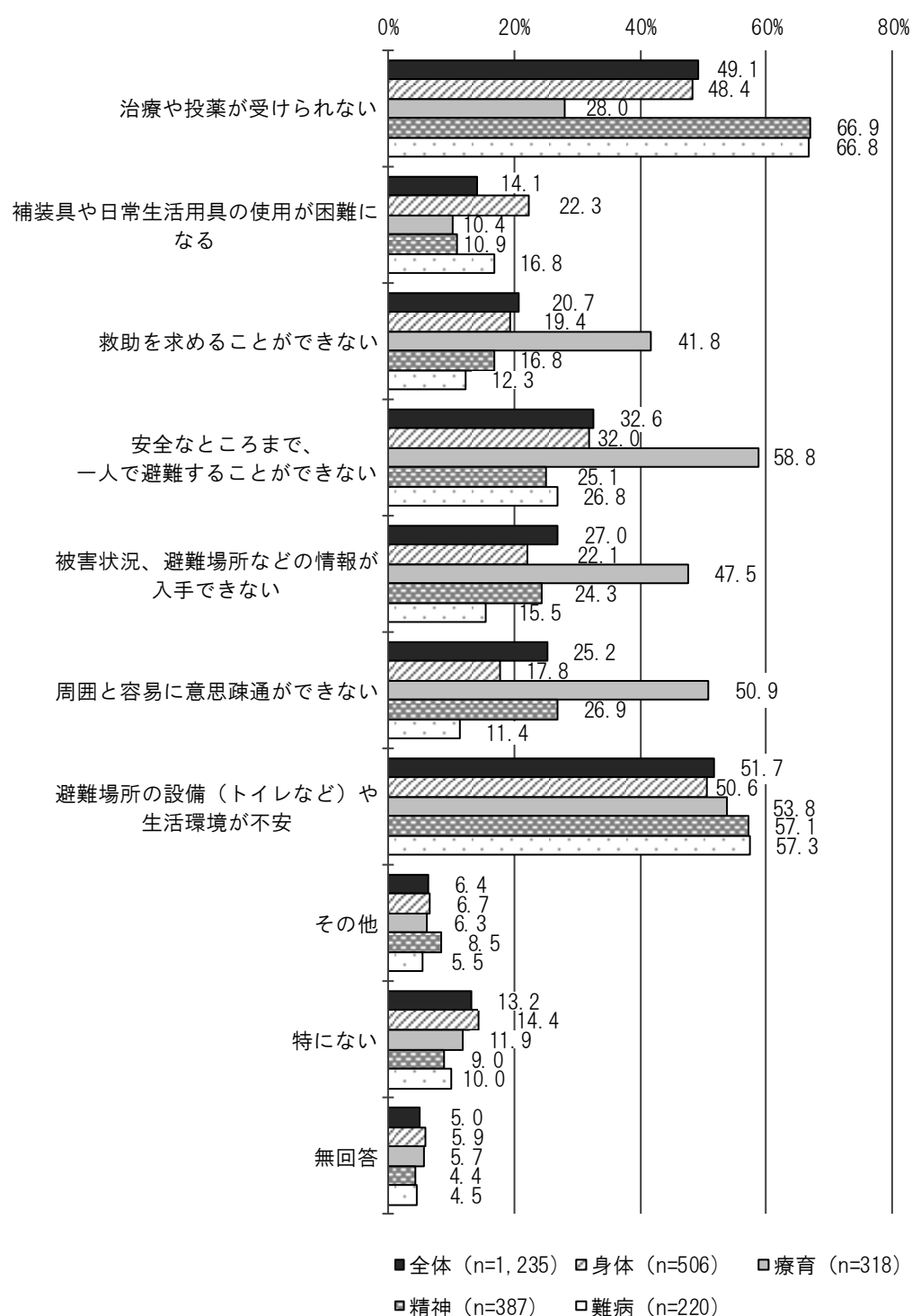


問 41 火事や地震、風水害などの災害時に困ることは何ですか。

(複数回答)

火事や地震、風水害などの災害時に困ることについてみると、全体では「避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安」が 51.7%と最も多く、次いで「治療や投薬が受けられない」が 49.1%、「安全なところまで、一人で避難することができない」が 32.6%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、〔身体〕では「避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安」、〔療育〕では「安全なところまで、一人で避難することができない」、〔精神〕〔難病〕では「治療や投薬が受けられない」がそれぞれ多くなっています。



【経年比較】

前回と比較すると、〔療育〕において「救助を求めることができない」が 7.0 ポイント減少しています。また、〔精神〕において「被害状況、避難場所などの情報が入手できない」が 7.5 ポイント、「周囲と容易に意思疎通ができない」が 5.4 ポイント減少しています。〔難病〕において「補装具や日常生活用具の使用が困難になる」が 5.3 ポイント、「安全なところまで、一人で避難することができない」が 5.3 ポイント増加しています。

%	n	問41 火事や地震、風水害などの災害時に困ることは何ですか。										
		治療や投薬が受けられない	補装具や日常生活用具の使用が困難になる	救助を求めることができない	一人で避難することができない	安全なところまで、一人で避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	周囲と容易に意思疎通ができない	避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安	その他	特にない	無回答
身体(今回)	506	48.4	22.3	19.4	32.0	22.1	17.8	50.6	6.7	14.4	5.9	
身体(前回)	612	47.4	21.6	18.6	36.8	23.9	18.8	53.4	4.2	14.4	11.4	
療育(今回)	318	28.0	10.4	41.8	58.8	47.5	50.9	53.8	6.3	11.9	5.7	
療育(前回)	383	25.8	10.2	48.8	61.4	51.2	52.7	49.6	4.2	8.9	18.3	
精神(今回)	387	66.9	10.9	16.8	25.1	24.3	26.9	57.1	8.5	9.0	4.4	
精神(前回)	403	68.0	12.2	19.1	29.8	31.8	32.3	52.4	7.7	8.9	17.4	
難病(今回)	220	66.8	16.8	12.3	26.8	15.5	11.4	57.3	5.5	10.0	4.5	
難病(前回)	261	64.8	11.5	13.4	21.5	17.6	12.6	52.5	5.7	14.6	26.8	

9 障がい福祉全般について

問 42 火事や地震、風水害などの災害時の主な情報の入手方法は何ですか。（自由回答）

主な情報の入手方法については、「テレビ」が 437 件、「携帯電話（スマートフォン）」が 252 件、「インターネット」が 201 件となっています。

	項目	件数
1	テレビ	437
2	携帯電話（スマートフォン）	252
3	インターネット	201
4	ラジオ	185
5	家族	57
6	防災無線	48
7	放送（自治体・市内）	39
8	新聞・広報紙・回覧板	27
9	市・消防団からの防災メール	23
10	近所・知人	19

問 43 これからも地域で安心して生活していくためには、どのような体制や仕組みが必要だと考えますか。
(複数回答)

地域で安心して生活していくために必要な体制や仕組みについてみると、全体では「家族等の急な体調不良などに対応できる、緊急時の受け入れ体制」が 56.7%と最も多く、次いで「災害などが発生したときに、障がい者児が安心して過ごせる仕組み」が 52.1%、「移動手段の充実やタクシー助成券の交付など移動に関する負担の軽減」が 46.1%となっています。

所持手帳別と難病の有無別についてみると、すべての場合において「家族等の急な体調不良などに対応できる、緊急時の受け入れ体制」が多くなっていますが、〔療育〕では「成年後見制度に関する相談や必要な手続きを代わりに行う仕組み」「災害などが発生したときに、障がい者児が安心して過ごせる仕組み」が他と比べて多くなっています。

%	問43 これからも地域で安心して生活していくためには、どのような体制や仕組みが必要だと考えますか。																	
	n	こ と 24 時 間 365 日 相 談 を 受 け ら れ る	家 族 等 の 急 な 体 調 不 良 な 受 け 入 れ 体 制	仕 組 み	成 年 後 見 制 度 に 関 する 相 談 や 必 要 な 手 続 き を 代 わ り に 行 う	制 児 が 通 所 や 短 期 入 所 で 可 能 な 障 が い 者 が 居 る	医 療 的 ケ ア が 必 要 な 障 が い 者 が 居 る	災 害 な ど が 発 生 し た と き に 、 障 が い 者 が 安 心 し て 過 ご せ る	障 が い 者 が 安 心 し て 就 業 す る た め の 相 談 ・ 訓 練 体 制	障 が い 者 が 参 加 し た り ま す な イ ベ ン ト や 講 義 会 等 の 開 催	障 が い 者 が 参 加 し た り ま す な イ ベ ン ト や 講 義 会 等 の 開 催	公 園 ・ 施 設 等 の 整 備	視 覚 ・ 聴 覚 の 障 が い 者 が 参 加 し た り ま す	聴 覚 ・ 障 が い 者 が 参 加 し た り ま す	負 担 の 軽 減	成 年 後 見 制 度 に 関 する 相 談 や 必 要 な 手 続 き を 代 わ り に 行 う	移 動 手 段 の 充 実 や タ ク シ ー 助 成 券 の 交 付 な ど に 関 する	
全体	1,235	33.8	56.7	17.0	25.3	52.1	39.9	20.7	18.9	16.0	46.1							
身体	506	31.2	55.3	13.4	26.9	50.4	29.4	17.8	19.0	16.8	48.4							
療育	318	29.9	68.2	32.4	30.2	66.7	48.4	24.5	18.2	15.7	39.3							
精神	387	41.9	49.4	14.5	22.2	44.7	45.7	24.0	16.8	14.2	45.5							
難病	220	29.5	61.4	10.9	30.0	51.4	31.4	15.9	21.8	16.8	49.5							

%	n	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	1,235	6.0	5.4	7.6
身体	506	5.7	5.7	8.9
療育	318	6.0	4.4	5.3
精神	387	7.5	5.4	9.8
難病	220	5.0	5.9	5.5

第7章 自由回答

1 市民アンケート調査

◇経済的支援について

- 子育て世代、年金暮らしの方々、学生など金銭的に負担が色々かかります。共同で車、自転車、ベビーカーなどレンタルできる施設などが気楽に利用できればいいと思います。共同で使用できれば物やゴミも減らすこともできると思います。〔女性/50 歳代/大栄地区〕
- 子ども医療費助成受給権の年齢を引き上げてほしい。難病指定給付の認知基準を下げしてほしい。長期間の治療で経済的負担が大きい。〔女性/40 歳代/遠山地区〕

◇情報提供について

- なりたメール配信サービスで、地域行事の案内も発信してくれると便利。〔女性/60 歳代/下総地区〕
- 介護、福祉サービスの利用が広まるよう広報活動や体験ができる機会を作ってもらえると嬉しいです。多様な人が働き、過ごしやすい環境を整えていく事が大切だと思っています。年齢、人種、障がいの有無などで線引きされずに何かあったら誰でも相談にのれる場所があることを希望しています。〔男性/30 歳代/遠山地区〕
- 成田の広報紙が見れないので、地区に配布してほしい。回覧板に付けるなど。〔女性/60 歳代/下総地区〕
- なりたメール配信サービスを利用しています。警察署からのメールなど便利です。メールで受け取れる健康、福祉、医療などの情報配信があれば嬉しいです。〔女性/30 歳代/遠山地区〕
- 以前母親が認知症になった際に福祉課の方に大変お世話になりました。これからは新しい問題が出てくるとはと思いますが、情報の発信を宜しくお願い致します。〔男性/60 歳代/成田地区〕

◇市民活動や地域について

- 転勤で成田市にきているような人が、短期間でも地域に参加できる活動の情報があると良いと思います。〔女性/50 歳代/公津地区〕
- 高齢者の単独世帯が今後増加する地域です。なかなかボランティアという形で活動する余裕がないのが現状ですが、今後、自分も何かしなければと考えています。〔男性/60 歳代/豊住地区〕
- 高齢者が若い世代と交流できる場や仕組みがないです。〔男性/40 歳代/中郷地区〕
- 自治会に入ることがメリットに感じるように、市がバックアップしていることを知りたい。実際、町内会や市の皆さんはご努力されていることとは思いますが。〔男性/30 歳代/成田地区〕
- 成田市で子供食堂があるとのことでまだ利用したことはないのですが、高齢者の方で食事を毎食作ることを負担に感じている方や一人暮らしで一人で食事をされる方が利用しやすい場所があるといいなと思います。一食当たりの料金も負担にならない金額で食事ができる場所があれば、と思います。〔女性/30 歳代/ニュータウン地区〕
- 赤坂の福祉センターは立派なのに活用できたらなと思います。子ども連れで室内で広々遊ばせる場所が成田市にはないです。お年寄りにもそういう場所があるのかわかりませんがあったら一人暮らしのお年寄りが気軽に外に出ようと思い知り合える場になるのでは？そのためには市内バスの無料券など交通手段も確保してあげて欲しいです。〔女性/30 歳代/公津地区〕

◇健康づくりについて

- 元気でいつまでも働けることが目標です。こればかりは先のことはわかりません、近くに利用できる健康施設やリハビリ施設があると便利かなーと思います。これからどんどん年齢を重ねて行くことに不安がたくさんありますよろしくお願いします。〔女性/60 歳代/久住地区〕
- 健康診断をセンターで行っているのはとても助かっているので続けて頂きたい。〔女性/60 歳代/下総地区〕
- 取り組みやすいスポーツ(卓球、バトミントン等)の紹介をわかりやすくお願いします。〔男性/60 歳代/成田地区〕

◇医療・医療費について

- 子どものインフルエンザ予防接種に対して、1 万円～2 万円目安で補助があると嬉しい。〔男性/30 歳代/成田地区〕
- 市のがん検診ですが、受けられる年齢幅を広くしてほしいです。もっと気軽に、もっとも身近に、健診が受けられたらいいのになと思います。〔女性/20 歳代/成田地区〕
- 婦人科の健診が 2 年に 1 回となっていますが、毎年受けられたらいいと思います。医療保険が子供 200 円で済んでいるのが中学生までですが、高校生の間も 200 円で受診できたらいいと思います。〔女性/50 歳代/公津地区〕
- 病院の予約システムをインターネットでできるようにして欲しい。〔男性/40 歳代/ニュータウン地区〕
- 大栄地区に住んでいます。大栄診療所に常勤する Dr. がおりません。その為なのか往診に来てもらえません。数少ない医療機関です。助けてください。〔女性/60 歳代/大栄地区〕

◇交通環境について

- 歩道に凸凹がある箇所があり、整備して欲しい。〔男性/20 歳代/成田地区〕
- コミュニティバスの本数が増えたらありがたいです。〔女性/20 歳代/成田地区〕
- 公津の杜駅からのバスが少なく、利便性が悪い。バスルートの増加、本数を増やしてほしい。〔男性/40 歳代/公津地区〕
- 新しく大学病院で近所に開業するが、バスなどの交通の便をよくしてほしい。コミュニティバスの始発など、時間を早くしてほしい。通院のため、救急車などの緊急車両がスムーズに走行できるように、三里塚交差点、三里塚消防署交差点の渋滞をなんとかしてほしい。〔女性/40 歳代/遠山地区〕
- 久住駅エレベーター設置してほしい。ベビーカーを持つての階段大変です。〔男性/40 歳代/久住地区〕
- 成田市は車社会なので、自転車に乗っていて「ひやり」とすることが多い。成田ニュータウンの町中・家中の狭い道路でもスピードを出して運転している車が多い。その為、小さな子供が事故にあわないか不安になる。〔男性/40 歳代/ニュータウン地区〕

◇子育て・子どもの遊び場について

- 去年、成田市に引っ越してきましたが、子育て支援は、4ヵ所も支援センターがあり、利用しやすいと思います。しかし、あまり周知が行き届いていないようで、公園などで会うママさんの中に、センターの存在を知らない方もいらっしゃいます。〔女性/30歳代/公津地区〕
- 経済的に厳しい子育て家庭が、安心して生活できる住居に対する支援が欲しい。市営住宅などを、リノベーションしたきれいなところに、安く住めるといいです。〔女性/20歳代/遠山地区〕
- アレルギーの子どもへの支援をしてほしい。〔女性/30歳代/公津地区〕
- 少子化に伴い、妊娠、出産に対する期待が高まってる中で金銭面や妊娠中の女性に対する待遇がいまいち。検診チケットがあっても全くゼロで子供を育てることはできない。それでは働いている人はいいけどなかなか子供を作ろう！とは思えないのでは？金銭面が原因で子作りが出来ない、では今後の成田市も心配です。〔女性/20歳代/久住地区〕
- 保育園の入園等の改善。待機児童の改善。一時保育の利用のしやすさ、簡素化。〔男性/30歳代/ニュータウン地区〕

◇老後・介護・福祉について

- 高齢者の日中1人住まいで心配があるので、見守りサービスで何かあると良い。オンデマンド交通の利用は本人の他に付き添い1名も同乗できると良い。〔女性/60歳代/下総地区〕
- 運転免許の返納後の高齢者の外出手段を確保して欲しい（コミュニティバスの増便や利用しやすいオンデマンド移送サービスの停まる場所がわかりづらい）。〔女性/50歳代/遠山地区〕
- 介護保険の手続きの簡素化。〔女性/50歳代/遠山地区〕
- 年をとっても、住みよい町であるように、バリアフリーやスロープなど社会弱者に優しい町づくりをお願いします。〔女性/30歳代/八生地区〕
- 定年退職後の仕事、成田市内で働けると良い。〔男性/50歳代/成田地区〕
- 安い老人ホーム（1人で行動できる人用、介護が必要な人）がほしい。〔女性/40歳代/遠山地区〕
- ますますの高齢化社会に向けて、先取りをしたサービスに取り組んでほしい。〔男性/60歳代/成田地区〕

◇防犯・防災について

- 昨年の台風時の対応について、改善していただきたいです。市内全域に避難指示が出ていたにもかかわらず、開設されていた避難所は市内数か所だけでした。市内の小中学校も開かれたのは、台風が最も強い時間帯でした（その時間帯に市からのメールが来ました）。災害時の避難は、なるべく早く、徒歩で、が基本だと思います。今後も自然災害が大きくなることが予想されます。早め早めの対応をお願いします。小さな子どもや高齢者のいる家では心配だと思います。〔女性/40歳代/公津地区〕
- 災害で停電があったとき、どのあたりが停電していてどの辺りが復旧しているのか情報が入らなくて困りました。情報が入ると助かります。高速道路など道路の渋滞もすごかったのですが、交通の情報もあるとうれしいです。〔女性/30歳代/成田地区〕

- 災害時のマップを各家に配っておいて欲しい（貼れるタイプ）。〔女性/50 歳代/遠山地区〕
- まだまだ夜は暗く子どもたちが安心して歩けるような街灯が少ない（特に下総、豊住）場所も多いので、そういう部分が福祉や健康を考える上では根底にくるべきではないでしょうか。〔男性/30 歳代/成田地区〕
- 災害時の避難導動の際に放送が入るのですが、何を言っているのかが聞きづらく聞こえない！言葉もゆっくりはっきり聞きやすくしてもらいたい！とぎれとぎれに聞こえて内容が解らない！〔女性/60 歳代/成田地区〕
- 災害発生時の対応が市職員頼みになっているケースがあるかと。スポーツボランティア団体との連携等、有事に備える訓練があってもよいと思います。〔男性/50 歳代/公津地区〕
- 災害対策として、緊急車両の通過や要支援者の移送を妨げないよう、道路の浸水対策や無電柱化などをもう少し考えた方がよいかと思います(台風、地震の経験から)。〔男性/40 歳代/公津地区〕

◇障がい者支援について

- 成人障がい者のためのサービスが少なすぎる。また、サービスが少ないことが理由で仕事もできなくなっている。これでは先が不安になり、外にも出たくない…肩身が狭い思いで生活するようになる。近い将来のために、成人障がい者に対してのサービス等の見直しを願いたい。〔女性/40 歳代/遠山地区〕
- 障がいを持つ子どもたちの施設、専門家がいる環境を整えて欲しい。精神疾患の親のサポートもしっかりして欲しい。〔女性/20 歳代/成田地区〕

◇市への要望について

- 市の活動が具体的なものが見えづらい。また、もっとインフォメーションをして、市役所が働いているところを見せてほしいと感じる。アンケートを取るだけでは意味がない。千葉県内でみても、成田市はお金がある方だと感じるので、そのお金の使い道をハッキリとさせてほしい。〔男性/30 歳代/成田地区〕
- 成田といっても市街地と農村部では環境も違ってくるし、文化も違うため、そういった面では今後も格差は広がると思う。福祉の充実、サービスの向上、本当に必要なところはどこか今一度自分たちの目と足で判断して頂きたい。〔男性/30 歳代/大栄地区〕
- アンケートに協力をしてみて、自分が健康、福祉、医療などに目を向けていなかった事に気づきました。いざ直面した時には、自分自身には余力や体力がなく正しい情報を整理できず困るのが目に見える様です。アンケートを配って下さって自分を気付かせて下さった市役所の皆様に感謝いたします。〔女性/50 歳代/公津地区〕

2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

◇相談体制について

- 医療機関に行くかどうか迷うような健康に関することを相談できるような窓口があると良いです（あるのかも知れませんが）。今設けて頂いているいろいろなサービスについて知るように心がけたいです。〔女性/70 歳代/下総地区〕
- 相談、サービスの窓口の一本化。組織の分野を越える総合的対応。〔男性/80 歳代/成田地区〕
- 土曜日、日曜日の相談窓口を作っていただきたい。悩み事の相談をしたい時、いつ、どこでする事の制限があるため、仕事をしているとその時に行けない事があります。いつでも、どこでも行けるようにしてほしいです。〔不明/不明/不明〕
- 市に対して相談のため窓口でも電話でも即決対応ができる教育体制を確立願いたい。〔男性/60 歳代/遠山地区〕
- 何でも相談できる窓口を作るなど相談体制が欲しいです。〔女性/80 歳代/大栄地区〕

◇情報提供について

- 年を重ねてゆく独り暮らしの者は情報をキャッチしづらくなってゆくの、行政からの働きかけ、お知らせなどして頂きたい。〔女性/60 歳代/下総地区〕
- 健康・福祉・医療等に関して、どのようなサービスがあるか分からないので教えてほしい。〔男性/60 歳代/遠山地区〕
- これからの成田市の福祉について、市民に広報などで引き続き宣伝していただけると幸いです。〔女性/60 歳代/ニュータウン地区〕
- 健康、福祉、医療等のサービス情報については広報で見ただけですが、出来れば全体の精度や内容をまとめた冊子等を各家庭毎に配布していただければありがたい。〔男性/70 歳代/成田地区〕
- 成田市に越してきてまだ 2 年足らずで、関わるサービスもよく知らないの、あまり関わっていません。保健福祉も知らない事も多いので、教えていただける会とかあれば参加してみたいです。〔女性/60 歳代/ニュータウン地区〕
- 「包括支援センター」はどこの地区が、どこのセンターの管轄なのか、ホームページを観ても分からない。センターに該当する町名を入れてほしい。コミュニティバスの名前が、分かりにくい。「〇〇行き」の表示名を旧地名でなく、解りやすい地名にしてほしい。〔女性/60 歳代/不明〕

◇環境整備について

- 防災放送が聞こえない。何を言っているのか、音声割れて聞こえない。〔女性/70 歳代/ニュータウン地区〕
- 災害時の避難誘導體制についてですね。昨年大雨の際、道路冠水が多々見られ、身動き出来ない状況でした。まずは道路冠水対策を急ぐべきかと思います。〔男性/60 歳代/成田地区〕
- バリアフリーの改善をお願い致します。一人で電車に乗る事ができません。エレベーターを駅の入場口まで行ける設備をお願い致します。〔男性/70 歳代/成田地区〕

- 車が無いとどこへもいけない様な地域は、広く歩道を設置し、老人が家に引きこもらない様安心して散歩や買い物に出歩ける環境を作って欲しい。〔女性/70 歳代/下総地区〕
- 道路の整備に力を入れて、転倒による事故の防止。〔女性/60 歳代/成田地区〕
- 色々な面で安全を守る為に防犯カメラの出来るだけ多く設置をしてほしい。不審者、泥棒に入られたなど聞いたりする。〔女性/60 歳代/遠山地区〕

◇施設について

- 市営の温水プールを是非お願いしたいです。年金生活から月 7 千円のプール代は大変です。健康の為に週 3, 4 日通っています。補助金でも出して欲しいです。〔女性/80 歳代/成田地区〕
- 無料のスポーツジムがあれば行く老人が多くいると思います。各共同利用施設に簡単な器具を配置して下さい。〔女性/60 歳代/遠山地区〕
- 高齢者の生活する為の食料面、生活用品等の小さなスーパーで良い。市内に作って欲しい。〔女性/80 歳代/成田地区〕
- 現在夫婦共に 83 歳ですが、更に高齢になった時の生活に大きな不安があります。老人ホーム等 1 人でも（どちらかが欠けた場合）生きて行くことができるような施設が整備されることを強く望んでおります。老後の資金が十分に用意できていないため、市営住宅等に入居できれば、現在の持家を手放して、今後の生活資金に充てることで不安が解消されある程度豊かな生活が送れるのではと考えております。〔男性/80 歳代/遠山地区〕
- 特養の施設を増やしてほしい(経済面)。家での介護は絶対無理だと思う。今ある年金でまかなってもらえる程度の施設を切に望んでいます。いかに死を迎えるか今一番の課題です。〔女性/70 歳代/公津地区（はなのき台を除く）〕

◇交通環境・交通手段について

- 高齢化により車運転免許停止された場合の交通手段を多く出して欲しい。〔女性/70 歳代/成田地区〕
- 市営バスの本数を増やして下さい。同一金額での循環バス希望。〔男性/80 歳代/ニュータウン地区〕
- 私達（豊住地区）はバスの本数が少なくオンデマンドタクシーを依頼してもなかなか利用できないと困っている方が多いです。オンデマンドタクシーを 2、3 台増やして欲しい。〔女性/70 歳代/豊住地区〕
- 医療等への通院する為のタクシーに変わるものが欲しい。高齢者が増加、自家用車の事故見込まれる為。〔男性/70 歳代/下総地区〕
- 通院するのもサークルに行くのも交通の便が悪くおっくうになり、外へ出かける回数が減ってしまう！〔女性/70 歳代/成田地区〕
- 循環バスが廃止され、買い物施設に行くのが不便になりました。再度運行して頂きたいです。〔女性/60 歳代/ニュータウン地区〕

◇地域・住環境について

- 自治会からの脱会者が年々多く、高齢化に伴い役員が負担になります。若い役員に期待します。〔女性/70 歳代/公津地区（はなのき台を除く）〕

- 久住中央は若い世代が多いため住民同士が触れ合う場が少なく身近に集える場所がほしいです。乗りの物に乗って出かけるのもおっくうになる方もおられるので是非検討してほしい。〔女性/70 歳代/久住地区〕
- 各種行事の開催場所が市街地に偏在していると思います。周辺部（山間部）での開催に努力して頂きたい。〔男性/70 歳代/下総地区〕
- 子ども達がそれぞれ独立したお年寄り夫婦が多くなっています。家の中の片付け整理が億劫になり、次から次へと物を乗せるのでゴミ屋敷になりつつあるお宅も見受けられます。そういう方々に力を貸したい気持ちは有りますが、難しい問題です。〔女性/60 歳代/久住地区〕

◇介護保険について

- 介護が必要になり施設に入りたいと思っても経済的に余裕がなく困っている人をよく耳にします。国民年金でも入れる（安い所）所を市でも作って頂けたらどんなに助かるかと思います。お願いします。〔女性/70 歳代/成田地区〕
- 介護保険の認定に病院で審査を受けたら認定してもらえなかった。かなり体に痛みがあり現在は杖を使用しているが何の支援も得られていない。何か援助が受けられるとありがたい。〔女性/80 歳代/成田地区〕

◇医療・医療費について

- 市の補助で受けられる人間ドックを香取市のように、何処の病院でも受診できるようになれば良いと思います。〔女性/60 歳代/遠山地区〕
- 在宅医療を充実させて下さい。〔男性/70 歳代/成田地区〕
- 4 月に開設予定の国際医療福祉大学付属病院との介護医療等の連携に期待したい。〔男性/60 歳代/成田地区〕
- 高齢者で少額年金受給の為、医療費及び薬剤費 1 割負担に据え置いて下さい。特にお願い致します。〔男性/80 歳代/八生地区〕

◇支援やサービスについて

- 孤独死を 2 度程見えています。孤独死を無くす対策をお願い出来ないでしょうか。〔男性/60 歳代/大栄地区〕
- 障がい者支援及び社会的弱者が孤立しない様に見守り支援。〔男性/70 歳代/ニュータウン地区〕
- 最後まで出来る限り在宅をと多くの人が望んでいます。それにはまず携わる人の待遇を良くして人員の確保、サービスの向上を今からは是非高めてほしいと思います。目の前の最重要課題だと切に感じます。〔女性/70 歳代/公津地区（はなのき台を除く）〕
- サービスは手厚いほどありがたいと思いますが財源に限りがありますね。福祉は手厚く年金は生活に十分な程を当然のごとく要求してしまう。自分も反省しなければと思います。若い時から「自助」をもっと考える社会作り、教育が必要だったのかと反省しています。〔男性/70 歳代/八生地区〕
- 子どもの多い家庭への支援。例えば、双子などの家庭の場合祖父母も育休をとること出来る様にして欲しいと思います。子育ての支援は厚くして欲しい。〔女性/60 歳代/ニュータウン地区〕

◇健康について

- 体力測定を年2回して欲しい。元気なうちは受けて見たいので。〔男性/70 歳代/成田地区〕
- 健康体操の回数を増やして欲しい。〔男性/70 歳代/成田地区〕
- 健康のために常に体を動かす習慣づくりとして、市で行っている「まるごとげんき体操」のような取り組みを実行してください。皆が身に付いたら地区の公民館を利用して行ったらいかがですか。〔女性/80 歳代/大栄地区〕

◇ボランティアや就労・社会交流について

- ますます老人が増えて来ます。年寄り子どもと一緒に“何かをする”機会があると良いと思います。よろしくお願い致します。〔女性/70 歳代/ニュータウン地区〕
- リタイヤした元気な老人のボランティア活動等の動きができる機会の提供。〔男性/70 歳代/ニュータウン地区〕
- 仕事やサークルに属していないと周りと交わる機会が減り、家族以外とあまり話す機会がありません。気軽に気楽に誰でも参加できる場や機会を作ってほしいと思います。これまでにあったかもしれませんが機会があれば参加したい。〔女性/60 歳代/ニュータウン地区〕
- 地域の活性化。今は中央公民館や中央図書館に週1程度行っています。三里塚コミセンでもっと活動出来るようになれば良いと思います。〔男性/60 歳代/遠山地区〕
- 住民同士が触れ合える機会・場所を作ってあげる事が必要と思う。老人を家から出し会話を楽しむ事が必要で、当自治会では週2回100円カフェでコーヒーと会話を楽しんでいる。〔男性/70 歳代/ニュータウン地区〕

3 障害福祉に関するアンケート調査

◇相談体制について

- カウンセリングを受けるところが成田市にはないと聞いた。カウンセリングを受けたい。取り組みやサービスには不満はないです。相談したいことがあるが、どこに話せば良いか分かりません。〔女性/50 歳代/公津地区/身体・精神〕
- もっと行政が積極的に親身になって相談を受けられる又は PR などをしてもらいたい。〔男性/60 歳代/成田地区/難病〕
- 軽度障がいや発達障がいの方の支援、相談をもっと充実して欲しいです。〔女性/40 歳代/大栄地区/身体〕
- 障がい者の家族は、会話も事故によって本人とは出来ず、やりきれない気持ちをどこにも聞いてもらう機会がありません。家族のケアに力を入れてほしいです。〔男性/40 歳代/成田地区/身体〕
- 障がいにあった相談を受けたい。〔男性/10 歳代/公津地区/知的〕

◇情報提供について

- 広報でしか成田市の情報を入手できません。他にも何かあるのでしょうか？又、聞かなければ知らないサービスがたくさんありそうです。その様な情報を公開してもらいたい。〔女性/60 歳代/ニュータウン地区/身体〕
- 成田市独自で行っている又は国が行っている障害福祉サービスを知る機会をもっと多く作って欲しい。受けられるのに知らなくて、受けずにいる人が多いため。〔女性/30 歳代/公津地区/精神〕
- 市からのお知らせなど個人宅に欲しい。新聞をとらないと広報も見られない。わざわざ市役所に取りに行く時間もないので。〔男性/10 歳代/遠山地区/身体〕
- 色々とサービスに取り組んでいる様ですが、情報があまり伝わってない様に思います。精神障がい者のサービスがあるのを知ったのは、ここ数年です。外見ではわからない障がい者がいる事を今一度理解してください。〔女性/40 歳代/下総地区/精神〕

◇環境整備について

- 私の住む地域は歩道、道路の整備が遅れています（バリアフリー）。安心して散歩の出来る町並になるといいですね。病院が出来、駅も出来る予定ですが、住み良い町になるといいです。〔女性/60 歳代/遠山地区/身体〕
- 道路の整備（ガタガタ道が多く、車イスに座っている方は恐怖を感じる）。公共機関のバリアフリー化の強化と車イス用トイレの増加。障がいに対する世間の周知、理解はまだまだ薄い。〔男性/50 歳代/成田地区/身体〕
- 道路、歩道の整備をお願いしたいです。トイレが洋式じゃない店が多い。外にあったりする。〔女性/40 歳代/遠山地区/身体・難病〕
- 精神障がい者が地域で一人暮らしができるような環境が整うとよい。〔男性/30 歳代/遠山地区/精神〕
- 外灯が少なく暗い。又、歩道や横断の白線が薄い。音声式、押しボタンの信号がない。〔女性/60 歳代/下総地区/身体〕

◇施設・ショートステイ等について

- もっとグループホームを作してほしい。安全、安心して生活できる町であってほしい。一人で生きていけない人間は、これからどうして生きていけるのか親は不安です。〔女性/30 歳代/公津地区/知的〕
- 家族が急に介護できなくなった時、いつも利用しているデイサービスやショートステイ先は、利用者がいっぱいだからと言って断らないで欲しい。〔男性/60 歳代/中郷地区/身体〕
- 放課後デイサービスが大変込み合い、利用が難しいと言われることが多い。障がいを持った子がかけもちをしないと利用できない状況は混乱を招きます。また、親も仕事を持つことが難しくなる。早急な対応をお願いします。〔男性/10 歳未満/成田地区/知的〕
- 障がい児の利用できるショートステイが少ない。また希望する日で利用することができない。障がい者の親が正社員で働けるようにデイサービス等の時間外の拡大をして欲しい。〔女性/10 歳未満/公津地区/身体・知的〕
- 福祉施設、入所施設を増やしてほしい。〔男性/20 歳代/下総地区/知的〕

◇交通手段・交通環境について

- 車が無いと生活ができない事が困る。車の運転が病気によってできないので、とても不便。バスなどを増やして欲しい。〔女性/30 歳代/大栄地区/精神〕
- バスや電車を利用する際にも、割引サービスを受けられるといい。〔女性/40 歳代/ニュータウン地区/精神〕
- タクシー助成券の枚数を増やしてほしい。〔男性/30 歳代/中郷地区/精神〕
- 成田市コミュニティバスの本数をもう少し増やしてほしい。バスの時間を増やしてほしい。〔女性/20 歳代/豊住地区/知的〕

◇医療・医療費について

- 具合が悪くなった時の病院の受け入れ態勢を整えて欲しい（手帳を持っている人に対して）。〔男性/20 歳代/八生地区/難病〕
- 障がい者認定に必要な病院から出してもらった診断書が毎年高額なのできついです。〔男性/50 歳代/遠山地区/身体〕
- 土日やっている病院が少ない！ 〔女性/40 歳代/成田地区/精神〕

◇学校教育について

- 特別支援学校と普通の学校の子ども達もっと交流が必要。年間を通して一緒に何かをする機会（ワークショップやイベント等）があることを希望します。〔女性/40 歳代/公津地区/身体〕
- 障がい者への理解が大切であり、基本的には学校教育が大切と思われます。後はその方々との関わり、体験等。〔男性/10 歳代/中郷地区/知的〕

◇通所・就労支援について

- 臨時の職員を採用するとき、優先的に障がい者を採用してほしい。〔女性/40 歳代/ニュータウン地区/精神〕
- 精神疾患の方が、体調に合わせて働ける場所があれば長期に働けるのではないかと。〔男性/30 歳代/成田地区/身体・精神〕
- 障がい者向けの雇用の拡大、充実。〔男性/50 歳代/遠山地区/精神〕
- 医療的ケアを必要とする障がい児をもつ母親への就労支援をして頂きたいです。〔女性/10 歳未満/ニュータウン地区/身体・知的・難病〕
- 発達障がい者が将来自立できるような市になってほしいと思います。障がい者の就職訓練の場で「面接練習」とよく書かれていますが、声を出せない、緘黙症の人間はどうすればよいのでしょうか。また、知的レベルが低いわけではないので、軽作業ではなく、能力を生かせる仕事がしたいのですが、例えば PC スキルを学んで在宅ワークを紹介していただける場所など無いのでしょうか。都内までは通えません。今のままではひきこもり、生活保護で生きていくしかないのかと思っています。〔不明/10 歳代/公津地区精神〕

◇偏見・周囲の理解について

- 知ってもらうためにイベントなどが豊富にあるととても参加しやすい。障がいには様々あって理解が薄い事はよくある。もっと沢山の方に知ってもらえる機会がほしいです。意見交換会などを開催してもらえともっともっと沢山意見が出て色々な発想が生まれると思います。〔男性/10 歳未満/遠山地区/知的〕
- 見た目では障がいが見えなくても理解して欲しいし、助けて欲しい場合、嫌な顔をしないで欲しい。自分から障がいがありますとも言にくい。〔女性/30 歳代/成田地区精神〕
- 障がいだから、遠慮しがちがよくみられる。知らないとか分からないとかは関係なく、思いやりなど接する機会を増やして欲しい。〔男性/40 歳代/ニュータウン地区/身体〕

◇補助・支援について

- 知人もおらず、生存確認する方法がない。高齢者だけではなく、一人暮らしの障がい者に向けたサービスを提供して欲しい。〔男性/40 歳代/ニュータウン地区/精神〕
- 障がい者が安心して参加し、交流できるスポーツやイベントをして欲しい。〔女性/20 歳代/ニュータウン地区/身体〕
- 障がい者が交流できる場所を提供して欲しい。情報交換など話し合いがしてみたいです。〔女性/60 歳代/豊住地区/身体〕
- 「行動援護」でも「外出支援」でもいいから、土曜日に個別で出かける支援が欲しいです。いきなり集団行動は本人が拒否気味です。〔男性/30 歳代/ニュータウン地区/知的〕

◇将来への不安について

- 親が亡くなった後、障がいを持った者がどうやって生きていけるか、不安を感じずにはいられません。安心して暮らせる場所を作っていただけたらと願います。〔男性/30 歳代/大栄地区/知的〕
- 最重度の知的障がい者です。親が高齢になると、入所先の施設が成田市には在りません。移動支援もヘルパー不足で断られる事もあり、毎日不安な日々を過ごしています。〔男性/30 歳代/ニュータウン地区/身体・知的〕
- 1 人暮らしで収入もない。今は 1 人で動けるけど、10 年先は分からない。将来も不安だが、風水害はもっと毎日心配です。〔女性/60 歳代/大栄地区/身体〕

◇経済的支援について

- 働き口が見つかるまで、生活支援金制度などを利用できる取り組みをして頂きたいです。〔男性/40 歳代/成田地区/身体〕
- 人工内耳、ロジャーに対する助成は全国的には徐々に広がっています。成田市、千葉県でもぜひ認めて欲しいと思います。〔女性/50 歳代/成田地区/身体〕
- 指定難病の見舞い金を増やして欲しい。〔女性/30 歳代/下総地区/難病〕

成田市総合保健福祉計画策定のための市民アンケート調査報告書

発行：成田市 福祉部 社会福祉課

住所：〒286-8585 成田市花崎町 760

TEL：0476-20-1536 FAX：0476-24-2367

発行年月：令和2年3月
